

令和2年度

江戸川区民世論調査

< 第 33 回 >

江戸川区

～ 目 次 ～

I 調査の概要	3
II 結果のあらまし	15
III 結果と分析	25
1. 居住年数・永住意向について	25
(1) 居住年数	25
(2) 永住意向	28
(3) 区への親近感や愛着	32
2. 江戸川区の現況について	35
(1) 各項目の満足度	35
(2) 区の現況への満足度	91
3. SDGsについて	95
(1) SDGsについての認知度	95
(2) 「SDGs」17の目標（ゴール）のうち、区が特に力を入れて 取り組んでほしい目標（ゴール）	97
4. 共生社会について	102
(1) 共生社会を目指す上で、区が特に力を入れて行うべきと思う取り組み	102
5. なごみの家の認知度などについて	105
(1) なごみの家の認知度	105
(2) 「地域の支えあい活動」への参加の意向	107
6. 災害対策について	111
(1) 防災行政無線放送の聞こえ方について	111
(1-1) 聞こえなかった理由	117
(2) 防災情報の取得方法	119
(3) 大規模水害時における江戸川区外の浸水しない地域等への広域避難	123
(3-1) 江戸川区外の避難先	126
(3-2) 避難する手段	129
(3-3) 江戸川区内の避難	132
(3-4) 広域避難しない理由	135
(3-5) 地震への備え	143
7. 省エネ・省資源を意識した行動について	156
8. 葛西海浜公園について	177
(1) 葛西海浜公園がラムサール条約湿地に登録されたことの認知度	177
(2) 葛西海浜公園の利用	179
(3) イベントへの参加	181

9. 区立図書館の利用について	183
(1) 図書館サービスの利用内容	183
(2) 借りたいと思う本や雑誌	186
(3-1) 図書館の利用頻度	189
(3-2) 図書館を利用していない理由	191
10. 地域活動への参加意向について	194
(1) 地域活動への参加の意向	194
(1-1) 地域活動をするために必要なこと	198
(2) 参加したい活動	201
11. 問題のある商法の提示・悪質業者からの勧誘について	204
(1) 問題のある商法の提示・悪質業者からの勧誘などの経験	204
12. 睡眠について	207
(1) 1日の平均睡眠時間	207
(2) 睡眠による休養	209
(3) 睡眠に関する悩み	211
13. 自殺予防・対策について	213
(1) ゲートキーパー（いのち見守り隊）という言葉の認知度	213
(2) 区の自殺対策の取り組みについての認知度	215
(3) 自殺者をなくすために必要な自殺対策について	217
14. 今後の公園の役割と区民参加について	220
(1) 今後の公園に求める役割	220
(2) 今後の公園に必要な施設	223
(3) 参加したい活動、興味がある活動	226
15. 広報と情報化について	229
(1) 区の情報の入手手段	229
(2) インターネットの利用状況	232
(3) 「くらしの便利帳」の配布方法	235
(4) 「くらしの便利帳」の発行期間	237
16. 江戸川区職員の接遇について	239
(1) 江戸川区職員の接遇に対する満足度	239
17. 区政への要望について	241
(1) 今後推進してほしい施策	241
18. 自由記述	245
(1) 江戸川区ならではの良さ、改善してほしいこと	245
IV 調査票	265

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 目的

区政に対する区民の意識・評価・要望などを把握し、その結果を区政へ反映させることにより、区民参加による区政運営を推進していくため実施。

2. 対象

満18歳以上の区民4,000人

対象者は、住民基本台帳より無作為に抽出

3. 期間

令和2年11月13日（金）～12月4日（金）＜22日間＞

4. 内容

- | | |
|------------------------|-------------------------------|
| (1) 居住年数・永住意向について | (10) 地域活動への参加意向について |
| (2) 江戸川区の現況について | (11) 問題のある商法の提示・悪質業者からの勧誘について |
| (3) SDGsについて | (12) 睡眠について |
| (4) 共生社会について | (13) 自殺予防・対策について |
| (5) なごみの家の認知度などについて | (14) 今後の公園の役割と区民参加について |
| (6) 災害対策について | (15) 広報と情報化について |
| (7) 省エネ・省資源を意識した行動について | (16) 江戸川区職員の接遇について |
| (8) 葛西海浜公園について | (17) 区政への要望について |
| (9) 区立図書館の利用について | |

5. 調査方法

調査票を対象者に郵送し、本人記入方式。

回収は、郵送回収とWEB回収の併用。

【回収結果】

- ・ 標本数 4,000 件
- ・ 有効回収数 1,548 件 ○有効回収率 38.7%

(人口は、令和2年11月1日現在)

人口(人)	配布数(人)	回収数(人)	回収率(%)
694,307	4,000	1,548	38.7

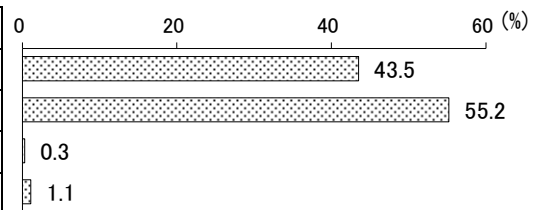
<注>

本調査は、新型コロナウイルス感染症の影響により、調査の実施時期や調査方法を変更して実施した。過去の調査と同程度の回収数を確保するため、対象者数も変更している。

6. 回答者の属性

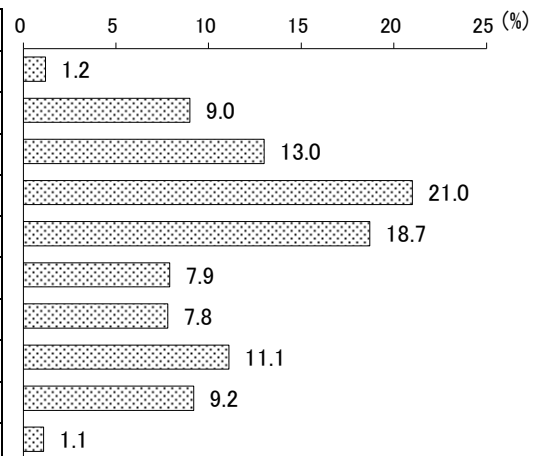
(1) F1 性別

	基数	構成比
1 男性	673	43.5
2 女性	854	55.2
3 その他	4	0.3
(無回答)	17	1.1
全体	1,548	100.0



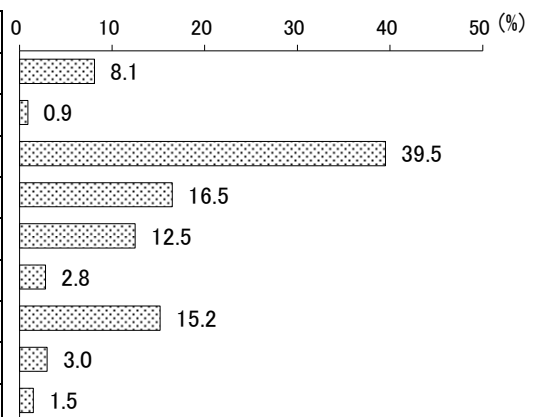
(2) F2 年齢

	基数	構成比
1 18・19歳	19	1.2
2 20～29歳	140	9.0
3 30～39歳	202	13.0
4 40～49歳	325	21.0
5 50～59歳	289	18.7
6 60～64歳	122	7.9
7 65～69歳	120	7.8
8 70～74歳	172	11.1
9 75歳以上	142	9.2
(無回答)	17	1.1
全体	1,548	100.0



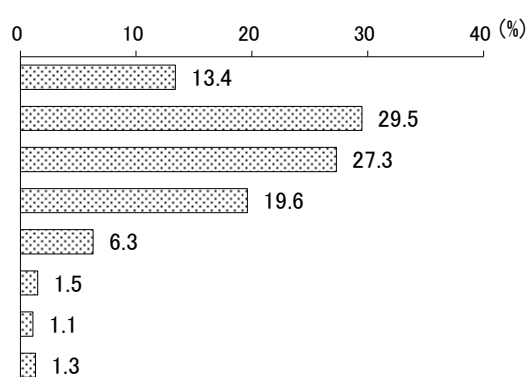
(3) F3 職業

	基数	構成比
1 自営業者	126	8.1
2 家族従業(家事手伝い)	14	0.9
3 勤め(フルタイム)	611	39.5
4 勤め(パートタイム)	255	16.5
5 家事専業	194	12.5
6 学生	43	2.8
7 無職	235	15.2
8 その他	47	3.0
(無回答)	23	1.5
全体	1,548	100.0



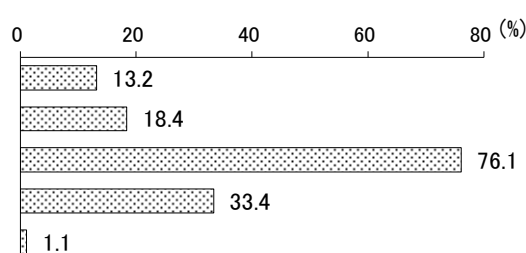
(4) F4 同居家族数

	基数	構成比
1 1人	207	13.4
2 2人	457	29.5
3 3人	422	27.3
4 4人	304	19.6
5 5人	98	6.3
6 6人	23	1.5
7 7人以上	17	1.1
(無回答)	20	1.3
全 体	1,548	100.0



(5) F5 同居者

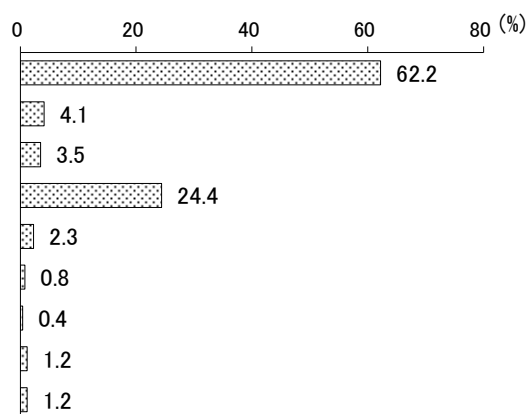
	基数	構成比
1 小学校入学前のお子さん	175	13.2
2 小・中学生	243	18.4
3 16～64歳の方	1,005	76.1
4 65歳以上の方	441	33.4
(無回答)	14	1.1
全 体	1,321	100.0



※複数回答の設定であるため、基数・構成比ともに選択項目の合計が全体数を上回る。

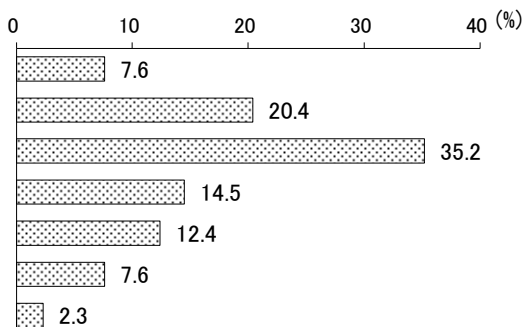
(6) F6 住居形態

	基数	構成比
1 持ち家	963	62.2
2 都営・区営の賃貸住宅	63	4.1
3 都市再生機構・公社の賃貸住宅	54	3.5
4 民間の賃貸住宅	377	24.4
5 給与住宅(社宅・公務員住宅など)	36	2.3
6 住宅に間借り	13	0.8
7 会社等の独身寮・寄宿舍	6	0.4
8 その他	18	1.2
(無回答)	18	1.2
全 体	1,548	100.0



(7) F7 居住地区

	基数	構成比
1 小松川地区	118	7.6
2 中央地区	316	20.4
3 葛西地区	545	35.2
4 小岩地区	224	14.5
5 東部地区	192	12.4
6 鹿骨地区	117	7.6
(無回答)	36	2.3
全 体	1,548	100.0



7. 報告書の見方

この報告書における表・グラフの見方

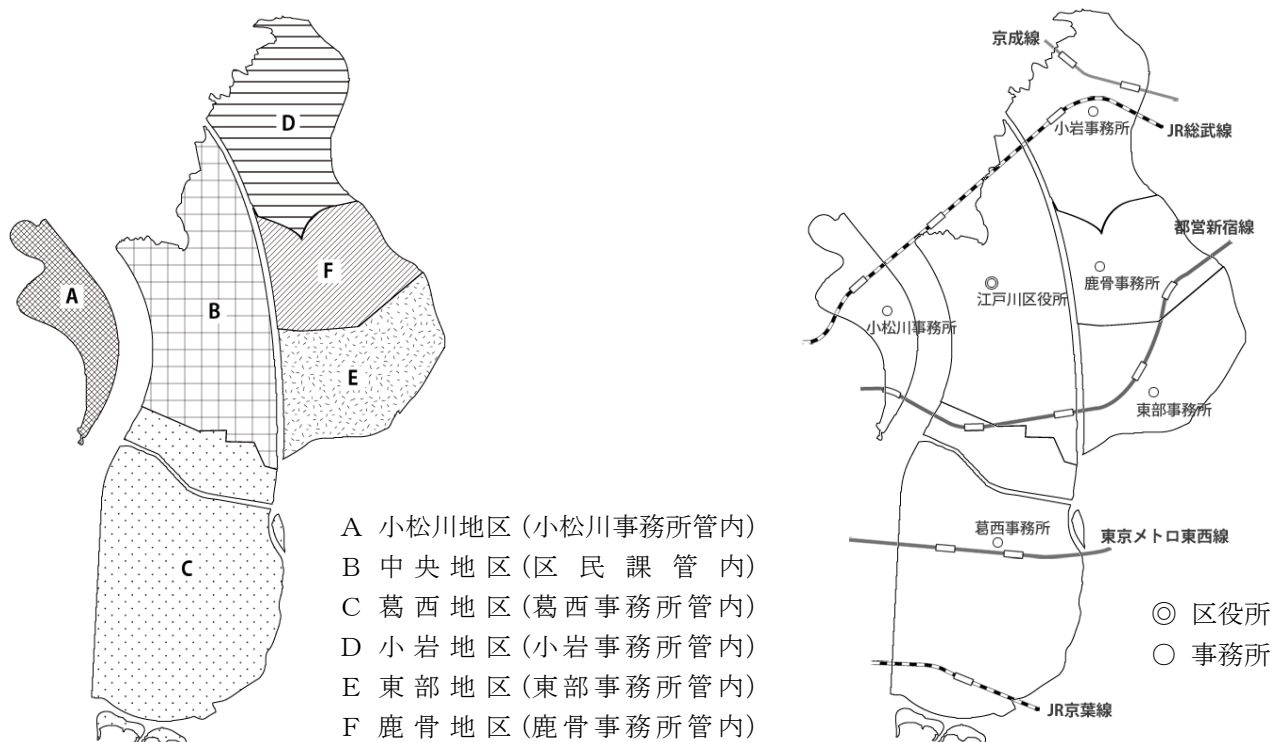
- 図表の中のnとは回答者総数（または該当質問の該当者数）を表している。
- 比率はnを100%とした百分比で算出し、小数点以下第2位を四捨五入した。そのために、百分比の合計が100%に満たない、または上回ることがある。
- 1人の回答者が複数回答で行なう設問では、その比率の合計が100%を上回ることがある。
- 分析軸では、その特徴をより明確に出せるように「その他」「無回答」は掲載していない。そのため、分析軸のそれぞれの（n）の合計が全体と一致しない場合がある。
- nが小さくなるほどデータの精度が保証しがたくなるので、nが30未満の場合は注意を要する。したがって、nが30を下回る場合、原則的に数値をあげた具体的なコメントは行わない。
- 地区は、管轄ごとに以下のように分類した。

[管轄別区域表]

管 轄 名	管 轄 内 町 丁 名
小松川事務所 (小松川地区)	小松川1~4丁目、平井1~7丁目
区 民 課 (中央地区)	中央1~4丁目、松島1~4丁目、松江1~7丁目、東小松川1~4丁目、西小松川町、大杉1~5丁目、西一之江1~4丁目、春江町4丁目、上一色1~3丁目、本一色1~3丁目、一之江1~8丁目、西瑞江4丁目1~2・10~27、江戸川4丁目15~25、松本1・2丁目、興宮町
葛西事務所 (葛西地区)	春江町5丁目、西瑞江5丁目、江戸川5・6丁目、一之江町、二之江町、船堀1~7丁目、宇喜田町、東葛西1~9丁目、西葛西1~8丁目、中葛西1~8丁目、南葛西1~7丁目、北葛西1~5丁目、清新町1・2丁目、臨海町1~6丁目
小岩事務所 (小岩地区)	東小岩1~6丁目、西小岩1~5丁目、南小岩1~8丁目、北小岩1~8丁目
東部事務所 (東部地区)	春江町2・3丁目、東瑞江1~3丁目、西瑞江3丁目・4丁目5~9、江戸川1~3丁目・4丁目1~14、谷河内2丁目、下篠崎町、篠崎町3~6丁目、南篠崎町1~5丁目、東篠崎1・2丁目、瑞江1~4丁目
鹿骨事務所 (鹿骨地区)	新堀1・2丁目、春江町1丁目、谷河内1丁目、鹿骨町、鹿骨1~6丁目、上篠崎1~4丁目、篠崎町1・2・7・8丁目、西篠崎1・2丁目、北篠崎1・2丁目、東松本1・2丁目

※調査票では番地まで聞いていないため、西瑞江4丁目、江戸川4丁目は便宜上中央地区としている。

〔地区別区分図〕



○ 標本誤差は次式で得られ、①比率算出の基数 (n)、②回答の比率 (P) によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = 2\sqrt{P(1-P)/n}$$

P = 回答比率 (%)

n = 回答者数

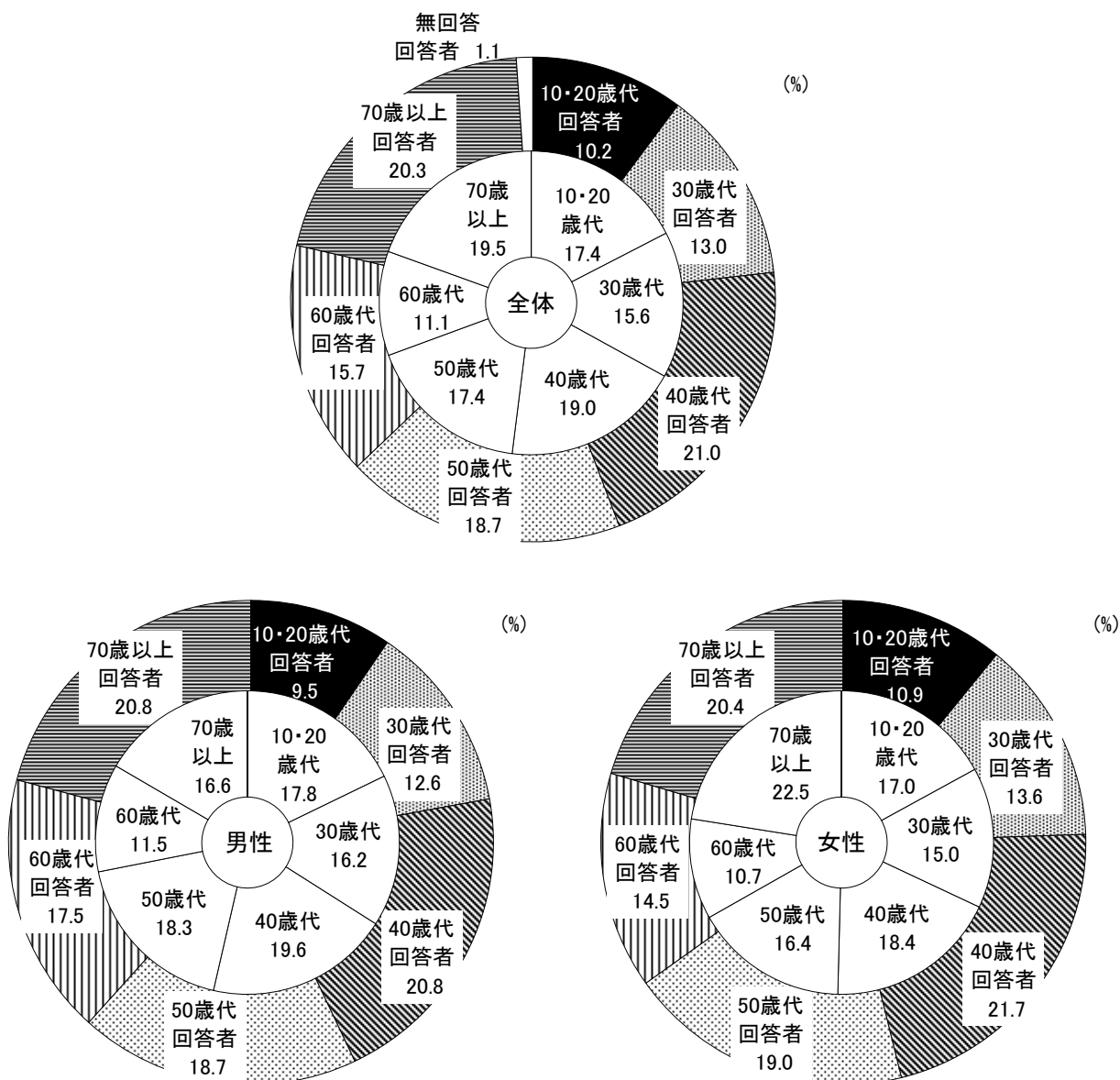
今回の調査結果の標本誤差は下記のようなになる。

回答率 (p) 回答者数 (n)	90% または 10%程度	80% または 20%程度	70% または 30%程度	60% または 40%程度	50%程度
1,548	±1.52	±2.03	±2.33	±2.49	±2.54
1,000	±1.90	±2.53	±2.90	±3.10	±3.16
500	±2.68	±3.58	±4.10	±4.38	±4.47
300	±3.46	±4.62	±5.29	±5.66	±5.77
100	±6.00	±8.00	±9.17	±9.80	±10.00

<注/この表の見方>

標本誤差とは、今回のように全体 (母集団) の中から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあるが、その誤差のことをいう。この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なるが、その誤差を数学的に計算することが可能である。その計算式を今回の調査に当てはめて算出したのが、上記の表である。見方としては、例えば、「ある設問の回答数が 1,548 であり、その設問中の選択肢の回答比率が 60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも ±2.49% 以内 (57.51~62.49%) である」とみることができる。

8. 性・年齢別回収結果（母集団との比較）



※内円は母集団 18 歳以上の人口 (N=590,252) の構成比、外円は調査回答者 (n=1,584) の構成比を示している。

※性別が「その他」の回答者については「n」が少ないため掲載をしていない。

9. 過去の世論調査の概要（主要項目）

回数 (時期)	第1回 (S51.1)	第2回 (S52.1)	第3回 (S53.1)	第4回 (S54.1)	第5回 (S55.1)	第6回 (S56.1)	
標本数	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
回収数 (回収率)	1,587 79.4%	1,610 80.5%	1,543 77.2%	1,541 77.1%	1,451 72.6%	1,741 87.1%	
主な調査内容	永住意向	55.2%	—	56.5%	66.3%	71.5%	72.1%
	転出意向	25.2%	—	25.4%	21.9%	15.7%	14.5%
	施設への 要望(※) (上位3つ)	病院	公園・遊び場	下水道	病院・診療所	病院	下水道
		下水道	病院	病院	公園・遊び場	下水道	都市ガス
		公園・遊び場	下水道	公園・遊び場	下水道	鉄道の駅	鉄道の駅
	施策への 要望 (上位3つ)	保健・衛生・医療	—	—	—	—	—
		災害対策	—	—	—	—	—
		公害対策	—	—	—	—	—
	区政への 信頼度	76.7%	—	76.2%	76.2%	78.8%	77.9%
	区政への 関心度	77.8%	83.7%	80.8%	76.4%	83.2%	83.1%
	その他の 調査項目	区政に対する 満足度	区政に対する 満足度	地域活動への 参加意向	地域活動への 参加意向	地域活動への 参加意向	区独自事業の 周知度
住環境意識		地域活動の実態	住環境意識	近隣関係の 満足度	災害に対する 備え	区民の文化・ スポーツ活動	

回数 (時期)	第7回 (S57.1)	第8回 (S58.1)	第9回 (S59.1)	第10回 (S60.1)	第11回 (S61.1)	第12回 (S62.1)	
標本数	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
回収数 (回収率)	1,677 83.9%	1,717 85.9%	1,763 88.2%	1,738 86.9%	1,754 87.7%	1,748 87.4%	
主な調査内容	永住意向	69.8%	86.4%	86.5%	82.1%	82.8%	78.6%
	転出意向	17.1%	8.2%	8.1%	9.8%	10.5%	13.2%
	施設への 要望(※) (上位3つ)	下水道	下水道	病院	病院	病院	病院
		公園・遊び場	鉄道の駅	下水道	下水道	鉄道の駅	大型店
		鉄道の駅	都市ガス	都市ガス	都市ガス	都市ガス	都市ガス
	施策への 要望 (上位3つ)	—	—	—	保健・衛生・医療	—	—
		—	—	—	災害	—	—
		—	—	—	高齢者	—	—
	区政への 信頼度	79.0%	80.0%	78.7%	81.5%	82.5%	79.8%
	区政への 関心度	81.0%	80.6%	81.9%	83.6%	82.6%	79.6%
	その他の 調査項目	地域活動への 参加意向	区民の健康状態	ボランティア活動 の参加意向	文化事業	生活環境への 満足度	区民の健康状態
街の美観 について		区民の悩み事 の実態	区内のバス交通	地域情報の媒体	広報紙の印象	区の紋章等の 周知度	

(※) 第7回～第22回は都市環境施設への要望。第24回以降は自由記述による設問。

I 調査の概要

回数 (時期)	第13回 (S63. 2)	第14回 (H元. 1)	第15回 (H2. 1)	第16回 (H3. 1)	第17回 (H4. 1)	第18回 (H5. 1)	
標本数	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
回収数 (回収率)	1,677 83.9%	1,711 85.6%	1,670 83.5%	1,680 84.0%	1,672 83.6%	1,614 80.7%	
主な調査内容	永住意向	80.2%	80.7%	81.1%	79.1%	77.5%	78.5%
	転出意向	11.9%	12.9%	12.6%	13.6%	14.9%	14.8%
	施設への 要望(※) (上位3つ)	大型店	駐車場	駐車場	駐車場	駐車場	駐車場
		駐車場	病院	病院	大型店	病院	病院
		病院	大型店	大型店	病院	大型店	大型店
	施策への 要望 (上位3つ)	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—
	区政への 信頼度	82.9%	84.0%	87.4%	80.6%	79.3%	80.9%
	区政への 関心度	83.8%	84.3%	87.9%	82.7%	81.5%	82.1%
その他の 調査項目	街の魅力	余暇の考え方	広報紙の印象	区民の健康状態	区民のいきがい	保健所の 利用状況	
	友好都市との 交流	ボランティア活動 の考え方	国際交流の 参加意向	住みよさの評価	地元商店街の 印象	広報紙閲読状況	

回数 (時期)	第19回 (H6. 1)	第20回 (H7. 1)	第21回 (H8. 1)	第22回 (H8. 10)	第23回 (H10. 10)	第24回 (H12. 7)	
標本数	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
回収数 (回収率)	1,643 82.2%	1,642 82.1%	1,684 84.2%	1,658 82.9%	1,672 83.6%	1,574 78.7%	
主な調査内容	永住意向	80.0%	80.1%	80.1%	80.7%	78.0%	82.5%
	転出意向	11.8%	11.2%	11.9%	11.0%	9.9%	6.6%
	施設への 要望(※) (上位3つ)	病院	病院	病院	病院	病院	医療機関
		大型店	大型店	大型店	大型店	駐車場・駐輪場	スポーツ
		駐車場	駐車場	駐車場	駐車場	大型店 (スーパー)	高齢者
	施策への 要望 (上位3つ)	—	—	—	—	高齢者	高齢者
		—	—	—	—	環境・公害	子育て
		—	—	—	—	交通網	環境・公害
	区政への 信頼度	77.8%	77.6%	76.7%	74.4%	—	—
	区政への 関心度	79.8%	80.2%	78.7%	77.9%	—	—
その他の 調査項目	区のイメージ	江戸川区の魅力	災害時への備え	地域活動への 参加意向	江戸川区の魅力	江戸川区の 将来像	
	区民まつり 満足度	健康診査の 受診状況	住まいの満足度	生活環境満足度	産業振興施策	介護保険に ついて	

(※) 第7回～第22回は都市環境施設への要望。第24回以降は自由記述による設問。

回数 (時期)	第25回 (H14. 4)	第26回 (H16. 6)	第27回 (H18. 6)	第28回 (H20. 5)	第29回 (H22. 5)	第30回 (H24. 5)	
標本数	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
回収数 (回収率)	1,524 76.2%	1,490 74.5%	1,356 67.8%	1,408 70.4%	1,405 70.3%	1,314 65.7%	
主な調査内容	永住意向	77.6%	74.7%	74.1%	76.6%	78.8%	76.9%
	転出意向	7.6%	6.9%	8.3%	5.1%	5.8%	5.6%
	施設への 要望 (上位3つ)	スポーツ	スポーツ	児童・保育	スポーツ	児童・保育	児童・保育
		高齢者	教育・文化	教育・文化	児童・保育	スポーツ	スポーツ
		教育・文化	公園・広場	スポーツ	医療機関	教育・文化	教育・文化
	施策への 要望(※) (上位3つ)	高齢者	防犯	防犯	防犯	防犯	震災
		保健・健康	高齢者	高齢者	災害	高齢者	防犯
		景気・物価	学校教育	災害	高齢者	子育て	高齢者
	区政への 信頼度	—	—	—	—	—	—
	区政への 関心度	—	—	—	—	64.5%	63.4%
	その他の 調査項目	区のイメージ	まちづくりの状況	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度
		区民のかかり つけ医の状況	資源とごみの 分別状況	省エネを 意識した行動	区の景観	運動・健(検)診	喫煙について

(※)第29回以降は、「災害対策」を「震災対策」と「水害対策」に分割。

回数 (時期)	第31回 (H26. 5)	第32回 (H29. 5)	第33回 (R2. 11)	
標本数	2,000	2,000	4,000	
回収数 (回収率)	1,512 75.6%	1,486 74.3%	1,548 38.7%	
主な調査内容	永住意向	74.4%	73.3%	74.5%
	転出意向	4.6%	6.2%	8.5%
	施設への 要望 (上位3つ)	—	—	—
		—	—	—
		—	—	—
	施策への 要望(※) (上位3つ)	震災	震災	水害
		防犯	防犯	震災
		水害	水害	防犯対策
	区政への 信頼度	—	—	—
	区政への 関心度	—	—	—
その他の 調査項目	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度	
	駐輪場・レンタサイクルについて	スポーツの実践 について	災害対策に ついて	

II 結果のあらまし

II 結果のあらまし

【居住年数・永住意向について】(25～34 ページ)

- 江戸川区での居住年数は、「21年～30年」(17.2%)、「31年以上」(44.4%)を合わせた<長期の居住者>が61.6%となっている。次いで「6年～10年」(9.0%)と「11年～20年」(16.9%)を合わせた<中期の居住者>が25.9%、「1年未満」(2.1%)と「1年～5年」(10.3%)を合わせた<短期の居住者>が12.4%となっている。(25ページ/問1)
- 今後も江戸川区に住み続けたいか尋ねたところ、「住み続けたい」(46.5%)と「できれば住み続けたい」(28.0%)を合わせた<永住意向>(74.5%)は7割台半ばとなっている。

昭和55年からの調査結果を時系列でみると、<永住意向>は前回の平成29年よりも1.2ポイント増加している。また、<転出意向>も前回より2.3ポイント増加している。

(28ページ/問2)

- 江戸川区に親近感や愛着を感じるか尋ねたところ、「感じている」が55.5%と最も高く、これに「やや感じている」(32.5%)を合わせた<感じている(計)>(88.0%)は9割弱となっている。(32ページ/問3)

【江戸川区の現況について】(35～94 ページ)

- 江戸川区の18項目の現況の満足度について聞いたところ、「満足」と「やや満足」を合わせた<満足(計)>は、【公園・水辺の整備】(65.6%)、【買い物の便】(63.0%)、【緑化の推進】(62.0%)が6割台と高くとなっている。

一方、「不満」と「やや不満」を合わせた<不満(計)>は、【災害の備え】(30.6%)、【地域の治安・安全性】(28.8%)が3割前後、【街のバリアフリー】(25.8%)が2割台半ばと高く、これらの項目は<不満(計)>が<満足(計)>よりも高くなっている。(35ページ/問4)

- 区の現況への満足度を尋ねたところ、「満足」(15.6%)と「やや満足」(41.9%)を合わせた<満足(計)>(57.5%)となり、「やや不満」(9.2%)と「不満」(0.6%)を合わせた<不満(計)>(9.8%)を上回っている。(91ページ/問5)

【SDGsについて】(95～101 ページ)

- SDGsについての認知度について尋ねたところ、「知っている」が23.3%、「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」(25.1%)と「全く知らない」(49.4%)を合わせた<知らない(計)>が74.5%となっている。(95ページ/問6)

- 「SDGs」17の目標（ゴール）のうち、区が特に力を入れて取り組んでほしい目標（ゴール）について尋ねたところ、「住み続けられるまちづくりを」（58.7%）、「すべての人に健康と福祉を」（57.3%）が上位となり、以下、「貧困をなくそう」（37.0%）、「質の高い教育をみんなに」（34.0%）、「働きがいも 経済成長も」（30.2%）、「気候変動に具体的な対策を」（29.7%）の順で続いている。（97 ページ／問7）

【共生社会について】（102～104 ページ）

- 共生社会を目指す上で、区が特に力を入れて行うべきと思う取り組みについて尋ねたところ、「子どもに関する取り組み」（66.5%）が6割台半ばで最も高く、次いで「熟年者に関する取り組み」（57.8%）、「不登校、ひきこもり、生活困窮などの状態にある人々に関する取り組み」（47.4%）となっている。（102 ページ／問8）

【なごみの家の認知度などについて】（105～110 ページ）

- なごみの家の認知度について尋ねたところ、「利用したことがあり、内容をよく知っている」（0.8%）、「利用したことはないが、内容はよく知っている」（1.6%）、「利用したことはないが、だいたいの内容は知っている」（8.6%）を合わせた＜内容を知っている（計）＞が11.0%となっている。また、「利用したことがあり、内容をよく知っている」（0.8%）と「利用したことがあるが、内容は知らない」（0.4%）を合わせた＜利用したことがある（計）＞は1.2%となっている。（105 ページ／問9）
- 「地域の支えあい活動」への参加の意向について尋ねたところ、「子育て世帯への見守りや支援」（18.0%）、「子ども食堂の補助等、運営の支援」（17.4%）、「安否確認が必要な熟年者宅への見守りや支援」（17.1%）が上位にあげられている。（107 ページ／問10）

【災害対策について】（111～155 ページ）

- 防災行政無線の聞こえ方について尋ねたところ、【屋外】では「よく聞こえた」（37.1%）と「まあ聞こえた」（29.0%）を合わせた＜聞こえた（計）＞が66.1%となっている。【屋内（窓を開けていた）】では「よく聞こえた」（23.5%）と「まあ聞こえた」（32.4%）を合わせた＜聞こえた（計）＞が55.9%、【屋内（窓を閉めていた）】では「よく聞こえた」（10.5%）と「まあ聞こえた」（24.5%）を合わせた＜聞こえた（計）＞が35.0%となっている。（111 ページ／問11-2）
- 防災行政無線が「あまり聞こえなかった」または「まったく聞こえなかった」理由について尋ねたところ、「放送音が反響している」（63.2%）が6割台半ばで最も高く、次いで「放送内容が分かりづらい」（23.1%）が2割台半ばとなっている。（117 ページ／問11-3）

- 区からの防災情報をどのように取得したかについて尋ねたところ、「防災行政無線」(42.1%)が4割強と最も高く、続いて「区公式ホームページ」(30.0%)が3割、「テレビ・ラジオなどの報道情報(J:COM、FM えどがわを除く)」(25.0%)、「インターネット(区公式ホームページを除く)」(24.0%)が2割半ばとなっている。(119 ページ/問 12)
- 大規模水害時に江戸川区外の浸水しない地域等に広域避難できるか尋ねたところ、「24 時間前なら広域避難できると思う」(28.2%)が3割弱で最も高く、次いで「直前まで判断できないと思う」(25.5%)が2割台半ば、「広域避難できるかわからない」(21.4%)が2割強となっている。(123 ページ/問 13-1)
- 広域避難できると思うと回答した方に江戸川区外のどこへ避難するか尋ねたところ、「親戚、友人・知人宅、別宅」(53.4%)が5割台半ばと最も高く、次いで「避難先として行政から指定された施設」(24.0%)が2割台半ば、「民間施設(ホテル、旅館など)」(13.7%)が1割台半ばとなっている。(126 ページ/問 13-2)
- 広域避難できると回答した方に広域避難先への避難手段を尋ねたところ、「自動車」(45.2%)が4割台半ばで最も高く、続いて「鉄道」(42.3%)、「徒歩」(27.6%)、「自転車」(16.6%)となっている。(129 ページ/問 13-3)
- 広域避難できないと回答した方に江戸川区内のどこへ避難するか尋ねたところ、「避難しないで自宅にとどまる」(41.8%)が4割強で最も高くなっている。避難先を挙げた人の中では、「公共施設(小・中学校、区民館など)」(33.0%)が3割台半ば、「民間施設(マンションなど高層建物)」(16.8%)が1割台半ばとなっている。(132 ページ/問 13-4 (1))
- 広域避難しない理由を尋ねたところ、「あてはまる」は【広域避難する先の当てがない】(65.9%)が6割台半ばで最も高く、以下、【自宅が一番安全だと思う】(29.2%)、【遠くまでの避難が困難な家族がいる】(24.7%)、【仕事や学校がある】(23.7%)の順となっている。
(135 ページ/問 13-4 (2))
- 地震が起こったときのために、日頃から備えていることを尋ねたところ、「はい」は【消火器の使い方を知っている】(72.2%)が7割強と最も高く、次いで【職場や学校などから徒歩で帰宅するルートを確認している】(56.4%)が5割台半ばと高くなっている。(143 ページ/問 14)

【省エネ・省資源を意識した行動について】（156～176 ページ）

- 省エネ・省資源を意識した行動をしているかを尋ねたところ、「はい」は【買い物の際にはレジ袋削減のため買い物袋（マイバッグ）を持参している】（89.7%）が9割弱で最も高い。次いで【食品ロスという言葉もしくは取り組みを知っている】（87.9%）が高く、以下、【生ごみの水切りを行っている】（87.5%）、【部屋の照明や冷暖房などは、省エネに配慮したスイッチの入・切をしている】（82.5%）、【修理できるものは修理して使うようにしている】（81.1%）、【家電製品を購入するときには、省エネルギー製品を購入するようにしている】（75.2%）の順となっている。（156 ページ／問 15）

【葛西海浜公園について】（177～182 ページ）

- 葛西海浜公園がラムサール条約湿地に登録されたことを知っているか尋ねたところ、「知っている」（28.6%）が3割弱となっている。一方、「知らない」（70.9%）は7割強となっている。
（177 ページ／問 16）
- 葛西海浜公園に行ったことがあるか尋ねたところ、「ある」（86.2%）が8割台半ばとなっている。一方、「ない」は7.5%、「行ったことはないが、行ってみたい」は5.7%となっている。
（179 ページ／問 17）
- 葛西海浜公園で開催されるイベントに行ったことがあるか尋ねたところ、「ある」が3.7%、「ない」が81.8%、「参加したことはないが、参加してみたい」が13.9%となっている。
（181 ページ／問 18）

【区立図書館の利用について】（183～193 ページ）

- 江戸川区立図書館のサービスで利用している、または利用してみたいサービスについて尋ねたところ、「本・雑誌などの貸出し」（61.2%）が6割強と最も高く、続いて「閲覧（図書館内での利用）」（39.5%）、「コンサート（ジャズ、クラシックなど）」（17.1%）、「映画の上映会」（16.0%）、「趣味や健康講座」（15.2%）となっている。（183 ページ／問 19）
- 借りたいと思う本や雑誌について尋ねたところ、「小説・文学の本」（48.4%）が5割弱と最も高く、続いて「スポーツ・趣味の本」（27.3%）、「旅行ガイドブック」（26.9%）、「参考図書（調査や研究のために必要な図書）」（26.5%）、「育児・料理・手芸の本」（24.6%）、「雑誌（スポーツ・趣味・育児など）」（21.2%）となっている。（186 ページ／問 20）
- 区立図書館をどのくらいの頻度で利用しているか尋ねたところ、「1週間に数回程度」が2.0%、「1か月に数回程度」が11.4%、「年に数回」が19.6%、「年1回程度」が5.9%となっている。一方、「過去に利用したが現在は利用していない」は36.1%、「利用したことは無い」は23.2%となっている。（189 ページ／問 21-1）

- 現在は区立図書館を利用していない、利用したことがないと回答した人に理由を尋ねたところ、「図書館へ行って、本・雑誌を借りたり、返したりすることが面倒だから」(44.1%)が4割台半ばで最も高く、次いで「近くにないから」(30.8%)が3割強となっている。

(191 ページ/問 21-2)

【地域活動への参加意向について】(194~203 ページ)

- 地域活動をしたか尋ねたところ、「現在参加している」(8.2%)は1割弱、「ぜひ参加したい」(2.3%)、「きっかけや条件を整えば参加してみたい」(16.0%)、「参加してみたいが、できない(仕事や健康上の理由など)」(22.7%)を合せたく参加したい(計) > (41.0%)は4割強となっている。一方、「関心がない(参加したくない)」(22.0%)が2割強、「わからない(どちらともいえない)」(27.3%)は2割台半ばとなっている。(194 ページ/問 22-1)
- 「きっかけや条件を整えば参加してみたい」と回答した人に活動をするために必要なことを尋ねたところ、「活動の情報」(56.5%)が5割台半ばで最も高く、続いて「友人・知人からの呼びかけ」(32.3%)、「町会・自治会など地域団体からの呼びかけ」(31.9%)が各3割強となっている。(198 ページ/問 22-2)
- どのような地域活動に参加したいかを尋ねたところ、「環境・自然・みどりなどを守り育てる活動」(25.8%)が2割台半ばと最も高く、続いて「子どもの学びや遊びをサポートする活動」(21.2%)、「行事やイベント活動」(18.8%)が2割前後となっている。一方、「特にない」(31.3%)は3割強となっている。(201 ページ/問 23)

【問題のある商法の提示・悪質業者からの勧誘について】(204~206 ページ)

- 問題のある商法の提示・悪質業者からの勧誘などの経験について尋ねたところ、「電話・メールでのしつこい勧誘」(22.5%)が2割強と最も高く、次いで「架空請求・不当請求」(10.3%)となっている。一方、「提示や勧誘を受けたことはない」(56.7%)は5割台半ばとなっている。

(204 ページ/問 24)

【睡眠について】(207~212 ページ)

- この1か月間の1日の平均睡眠時間を尋ねたところ、「5時間以上6時間未満」(29.7%)、「6時間以上7時間未満」(33.9%)が3割前後、続いて「7時間以上8時間未満」(20.0%)が2割となっている。(207 ページ/問 25)

- この1か月間、睡眠で休養が充分とれていると感じるかを尋ねたところ、「充分とれている」(16.7%)と「まあまあとれている」(51.0%)を合わせた<とれている(計)>(67.7%)が7割弱となっている。これに対し、「あまりとれていない」(28.0%)と「まったくとれていない」(3.2%)を合わせた<とれていない(計)>(31.2%)が3割強となっている。

(209 ページ/問 26)

- 睡眠に関する悩みについて尋ねたところ、「日中眠気を感じる」(26.3%)が2割台半ば最も高く、続いて「夜中に何度も目が覚める」(25.2%)、「朝すっきりと起きられない」(23.1%)、「睡眠の時間が足りない」(20.1%)となっている。一方、「特にない」(22.4%)は2割強となっている。(211 ページ/問 27)

【自殺予防・対策について】(213~219 ページ)

- これまでに自殺予防におけるゲートキーパー(いのち見守り隊)という言葉聞いたことがあるかを尋ねたところ、「聞いたことがあり、役割も知っている」(7.2%)と「聞いたことはあったが、役割はわからない」(24.7%)を合わせた<聞いたことがある(計)>(31.9%)が3割強、「初めて聞いた」(66.9%)が6割台半ばとなっている。(213 ページ/問 28)

- 区の自殺対策の取り組みを見聞きしたことがあるかについて尋ねたところ、「自殺防止えどがわキャンペーン」(3月・9月に実施)(9.4%)が1割弱で最も高く、続いて「さまざまな相談先が載っている配布物(ハンカチ型リーフレット等)」(6.5%)、「図書館でのパネルやリーフレット・関連図書の展示」(5.6%)となっている。一方、「見聞きしたことはない」(77.6%)は8割弱となっている。(215 ページ/問 29)

- 江戸川区の自殺者をなくすために、どのような自殺対策が必要か尋ねたところ、「様々な悩みに対応した相談窓口」(62.7%)が6割強で最も高く、続いて「学校での教育」(43.6%)、「職場におけるメンタルヘルス対策」(42.6%)、「見守り・支えあいができる地域づくり」(36.2%)となっている。(217 ページ/問 30)

【今後の公園の役割と区民参加について】(220~228 ページ)

- 今後の公園に特に求める役割について尋ねたところ、「子どもたちの外遊びの場」(62.3%)が6割強と最も高く、続いて「散歩や休養する場」(55.4%)、「花壇づくりなど、みどりと触れ合う場」(23.8%)、「スポーツや健康づくりの場」(23.1%)、「子育てで活用・交流する場」(21.3%)となっている。(220 ページ/問 31)

- 今後の公園に特に必要だと思う施設について尋ねたところ、「自由に遊べる広場」(42.1%)が4割強と最も高く、続いて「休憩できる施設(ベンチ、四阿(あずまや)など)」(35.0%)、「防災施設(かまどベンチ、マンホールトイレ、防災井戸など)」(29.1%)、「ボール遊びできる場所」(23.3%)、「手洗所」(22.6%)、「花壇などの景観施設」(20.9%)となっている。

(223 ページ/問 32)

- 参加したい活動や、興味がある活動について尋ねたところ、「子どもたちの見守り」(17.4%)、「花壇づくりや花壇の世話」(16.0%)、「清掃活動」(15.7%)が各1割台半ばで上位となっている。一方、「参加してみたいが、できない(仕事や健康上の理由など)」(26.6%)、「関心がない(参加したくない)」(22.9%)はいずれも2割台半ばとなっている。(226 ページ/問 33)

【広報と情報化について】(229~238 ページ)

- 区の情報入手手段を聞いたところ、「広報誌(広報えどがわ)」(54.7%)が5割台半ばと最も高く、続いて「区公式ホームページ」(34.9%)、「くらしの便利帳」(31.0%)、「町会・自治会回覧などの資料」(24.2%)などとなっている。(229 ページ/問 34)

- インターネットの利用機器は、「スマートフォン・タブレット」(76.3%)が7割台半ばと最も高くなっている。また、「スマートフォン・タブレット」「パソコン」「フィーチャーフォン(携帯電話)」「その他」を合わせた<利用している(計)>(83.5%)は8割台半ばを占め、「今後は利用したい」(5.0%)と「今後も利用しない」(11.4%)を合わせた<利用していない(計)>(16.4%)は1割台半ばとなっている。(232 ページ/問 35)

- 「くらしの便利帳」をどのように配布することが適切かを尋ねたところ、「全戸に配布」(49.2%)が5割弱と最も高く、続いて「希望者のみに配布」(30.8%)が3割強となっている。

(235 ページ/問 36)

- 「くらしの便利帳」の発行期間はどのくらいが適切だと思うかを尋ねたところ、「2年に1回」(73.8%)が7割台半ばで最も高く、続いて「配布は不要」(12.4%)、「3年に1回」(9.1%)が1割前後となっている。(237 ページ/問 37)

【江戸川区職員の接遇について】(239~240 ページ)

- 江戸川区職員の接遇に対する満足度は、「満足」(15.8%)と「やや満足」(15.3%)を合わせた<満足(計)>(31.1%)が3割強となっている。一方、「不満」(2.6%)と「やや不満」(4.7%)を合わせた<不満(計)>(7.3%)は1割弱となっている。(239 ページ/問 38)

【区政への要望について】(241～244 ページ)

- 今後推進してほしい施策については、「水害対策」(55.6%)が5割台半ばと最も高く、次いで「震災対策」(36.4%)、「防犯対策(安全・安心まちづくり)」(32.0%)、「子育て支援」(19.2%)、「交通網整備」(15.6%)、「都市基盤整備(道路など)」(15.1%)となっている。

(241 ページ/問 39)

【自由記述】(245～261 ページ)

- 江戸川区の「良さ」または「改善してほしい」と感じることを聞いたところ、江戸川区の「良さ」と「改善してほしいこと」の合計では、「環境保全・リサイクル」(30.1%)が3割強と多く、次いで「子育て支援」(19.2%)が2割弱となっている。

江戸川区の「良さ」では、「環境保全・リサイクル」(22.2%)が2割強と多く、「子育て支援」(15.1%)が1割台半ばとなっている。

「改善してほしいこと」では、「都市基盤整備(道路など)」(8.6%)が最も高く、「水害対策」(8.4%)と「環境保全・リサイクル」(7.9%)などと続いている。(245 ページ/問 40)

Ⅲ 結果と分析

Ⅲ 結果と分析

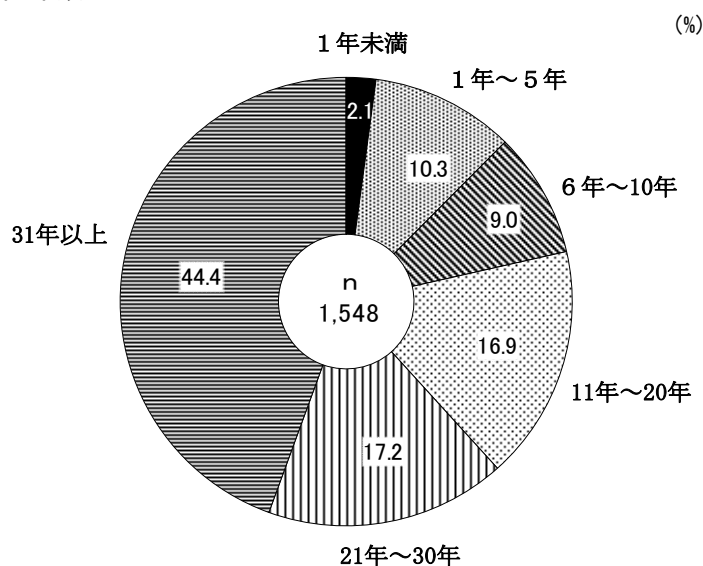
1. 居住年数・永住意向について

(1) 居住年数

◇ <長期の居住者>が6割台

問1 あなたは、江戸川区に住んで何年になりますか。(○は1つだけ)

<図表1-1> 居住年数



(注) <短期の居住者> = 「1年未満」 + 「1年～5年」・・・12.4%

<中期の居住者> = 「6年～10年」 + 「11年～20年」・・・25.9%

<長期の居住者> = 「21年～30年」 + 「31年以上」・・・61.6%

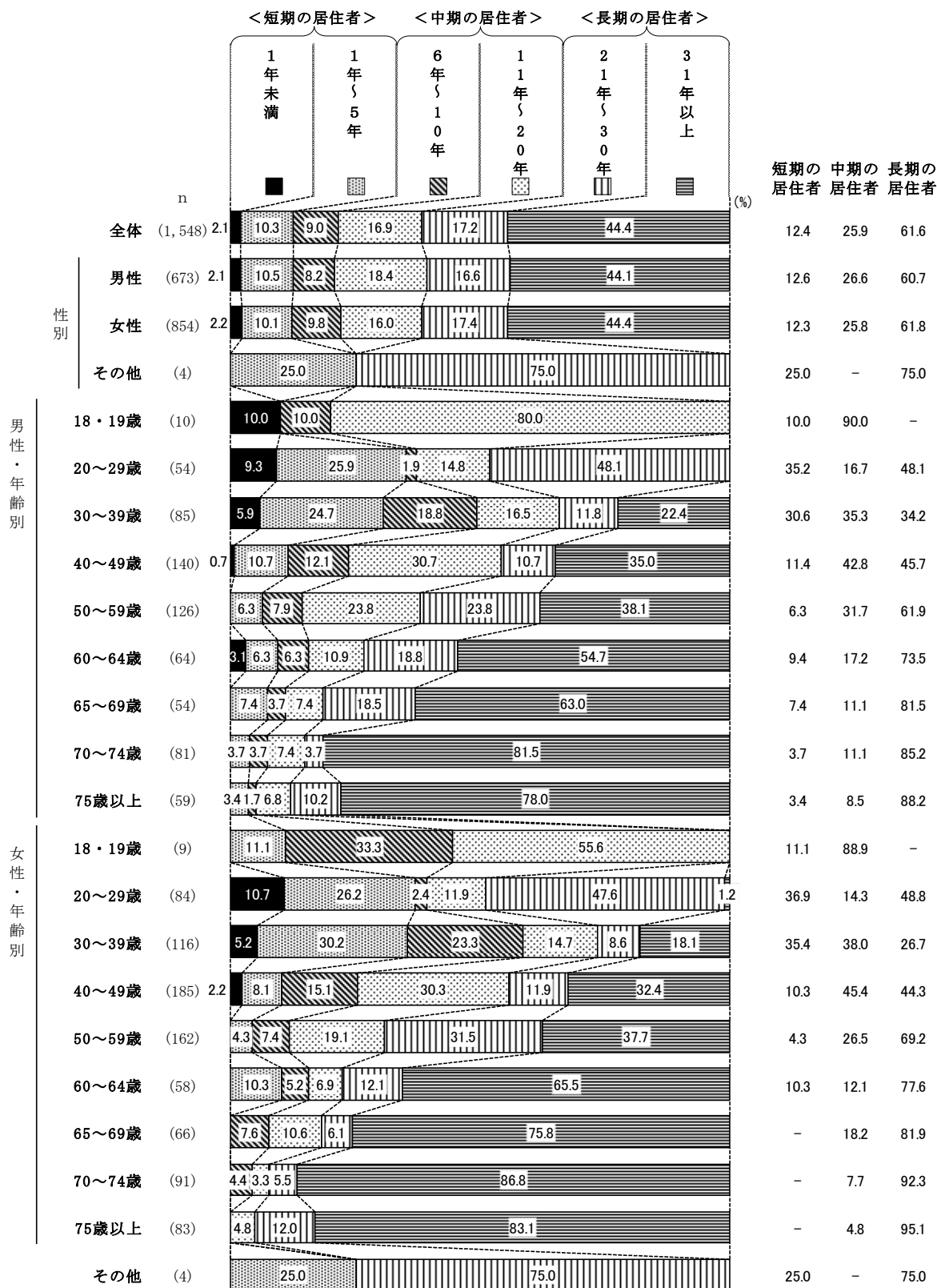
江戸川区での居住年数は、「21年～30年」(17.2%)、「31年以上」(44.4%)を合わせた<長期の居住者>が61.6%となっている。次いで「6年～10年」(9.0%)と「11年～20年」(16.9%)を合わせた<中期の居住者>が25.9%、「1年未満」(2.1%)と「1年～5年」(10.3%)を合わせた<短期の居住者>が12.4%となっている。(図表1-1)

【性・年齢別】

性別では、男女間であまり大きな違いはみられない。

性・年齢別でみると、<長期の居住者>は女性75歳以上(95.1%)で最も高くなっている。また、<中期の居住者>は女性40～49歳(45.4%)で最も高く、<短期の居住者>は女性20～29歳(36.9%)で最も高くなっている。(図表1-2)

<図表1-2> 居住年数/性・年齢別

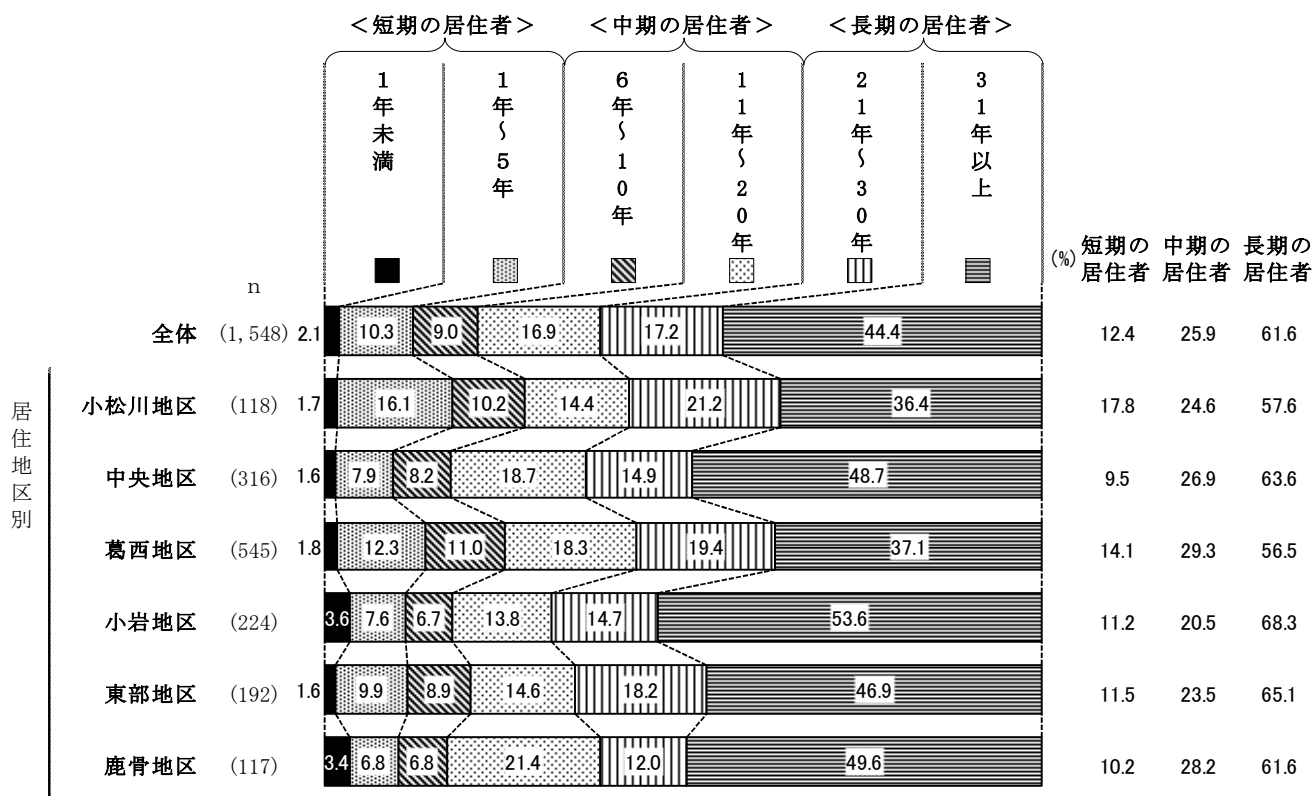


※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【居住地区別】

居住地区別でみると、＜長期の居住者＞は“小岩地区”（68.3%）で7割弱と最も高くなっている。＜中期の居住者＞は“葛西地区”（29.3%）と“鹿骨地区”（28.2%）で3割弱と高く、＜短期の居住者＞は“小松川地区”（17.8%）で2割弱と高くなっている。（図表1-3）

＜図表1-3＞ 居住年数／居住地区別

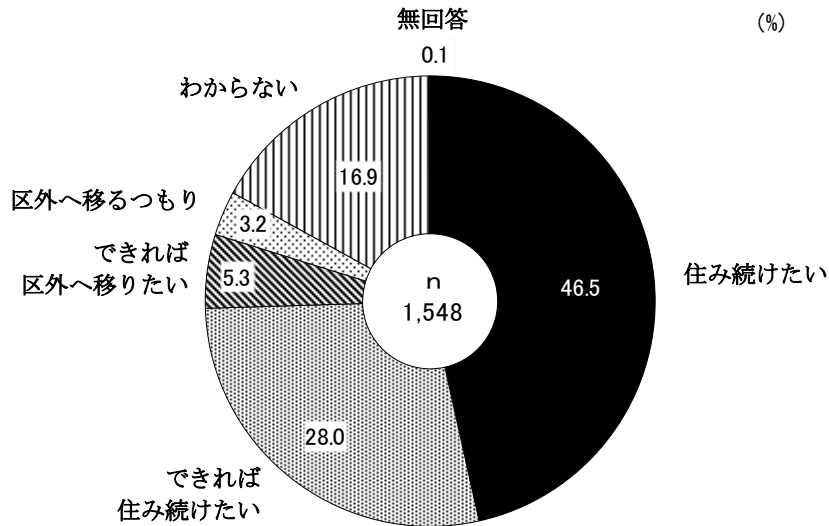


(2) 永住意向

◇ <永住意向>が7割台半ば

問2 あなたは、今後も江戸川区に住み続けたいと思いますか。(○は1つだけ)

<図表1-4> 永住意向



(注) <永住意向> = 「住み続けたい」 + 「できれば住み続けたい」・・・74.5%

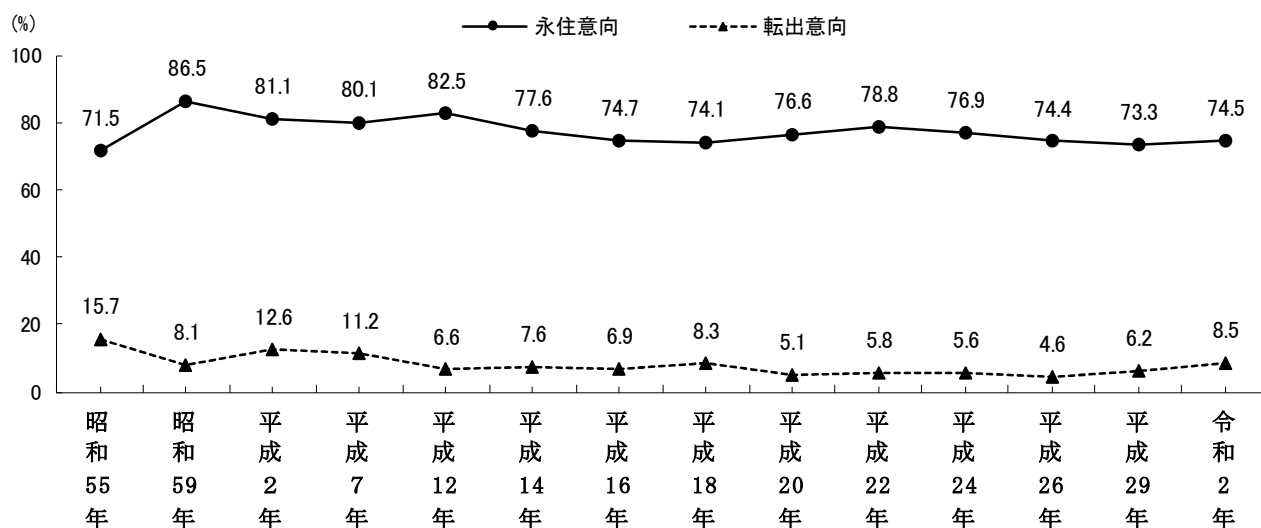
<転出意向> = 「区外へ移るつもり」 + 「できれば区外へ移りたい」・・・8.5%

今後も江戸川区に住み続けたいか尋ねたところ、「住み続けたい」(46.5%)と「できれば住み続けたい」(28.0%)を合わせた<永住意向>(74.5%)は7割台半ばとなっている。(図表1-4)

【時系列比較】

昭和 55 年からの調査結果を時系列で見ると、＜永住意向＞は前回の平成 29 年よりも 1.2 ポイント増加している。また、＜転出意向＞も前回より 2.3 ポイント増加している。（図表 1－5）

＜図表 1－5＞ 永住意向／時系列比較

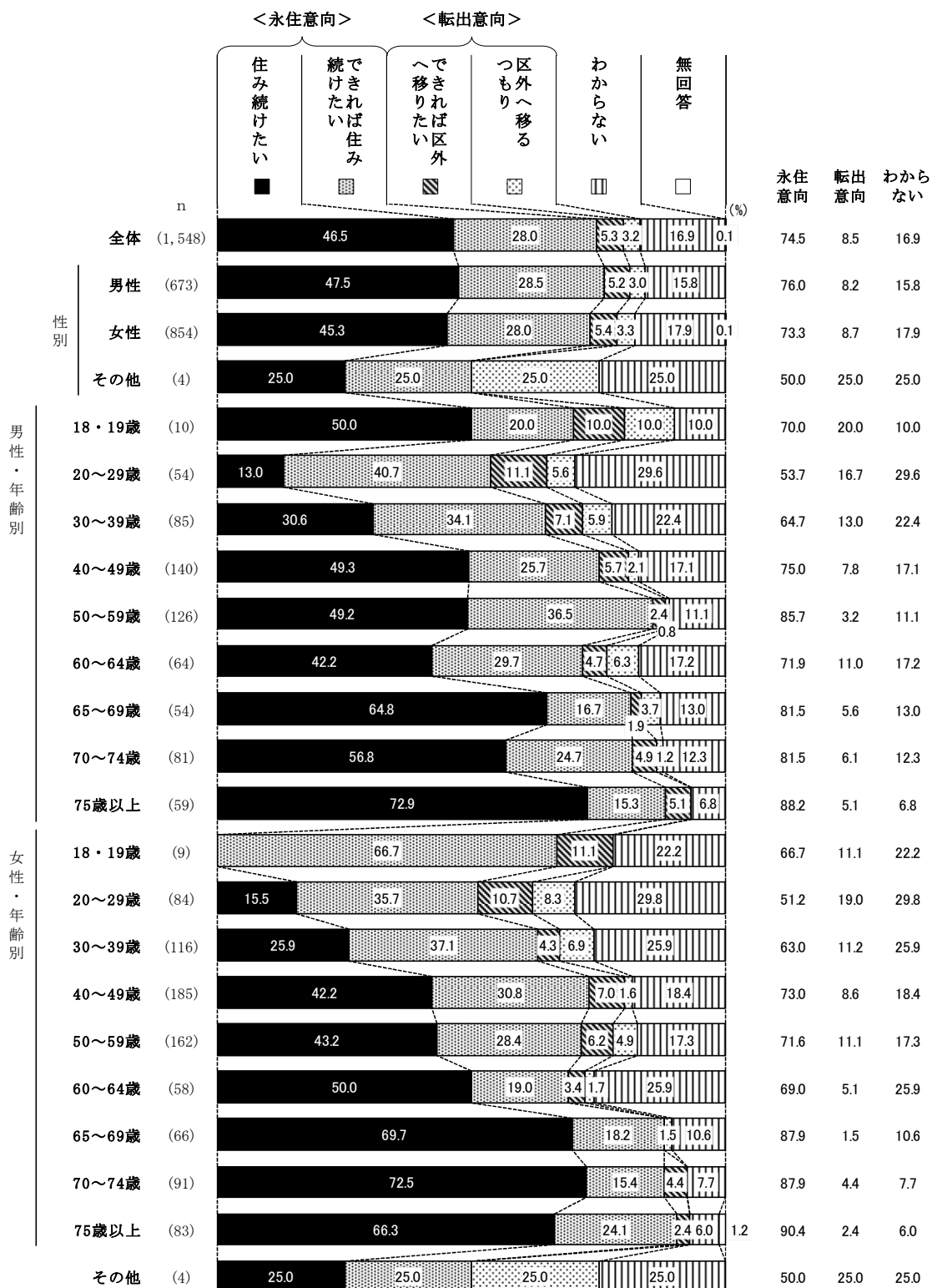


【性・年齢別】

性別では、＜永住意向＞は男性（76.0%）が女性（73.3%）よりも 2.7 ポイント高くなっている。性・年齢別で見ると、＜永住意向＞は女性 75 歳以上（90.4%）で 9 割と最も高くなっている。

（図表 1－6）

＜図表 1－6＞ 永住意向／性・年齢別

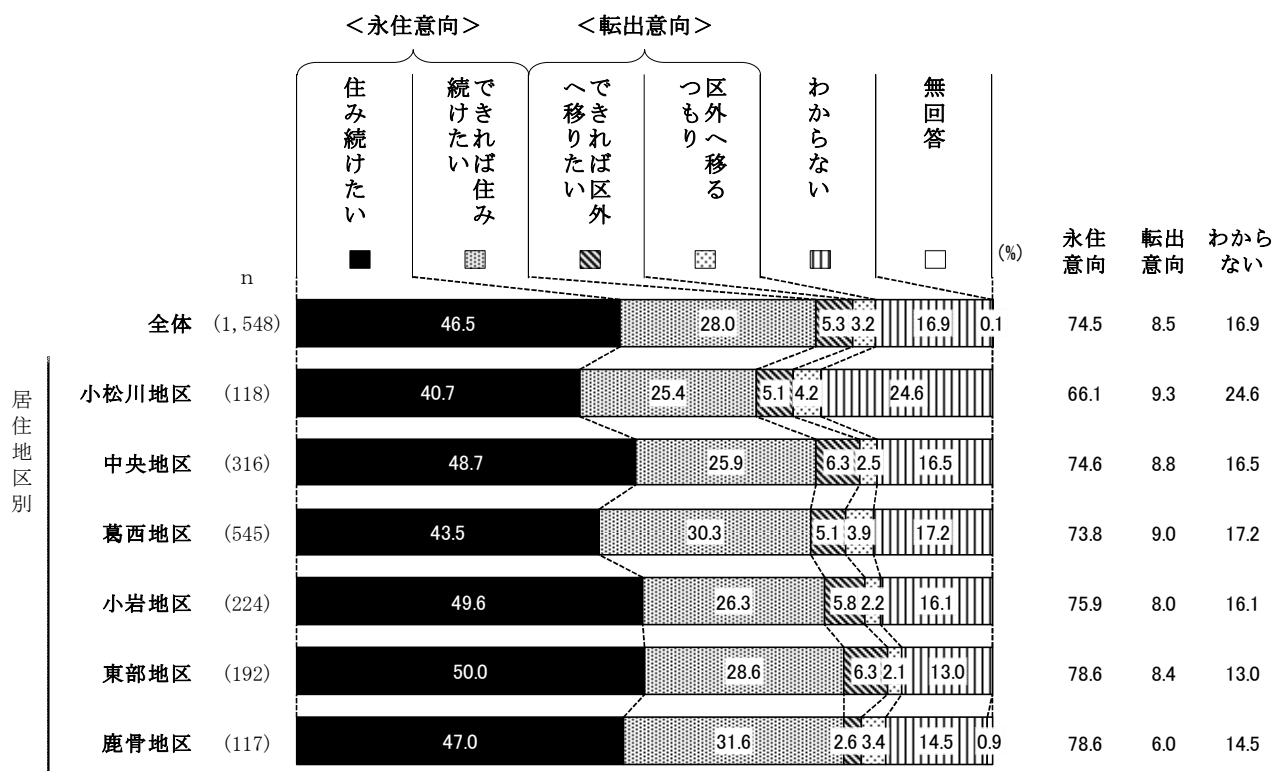


※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【居住地区別】

居住地区別でみると、＜永住意向＞は“東部地区”と“鹿骨地区”（各 78.6%）で8割弱と高くなっている。（図表1-7）

＜図表1-7＞ 永住意向／居住地区別

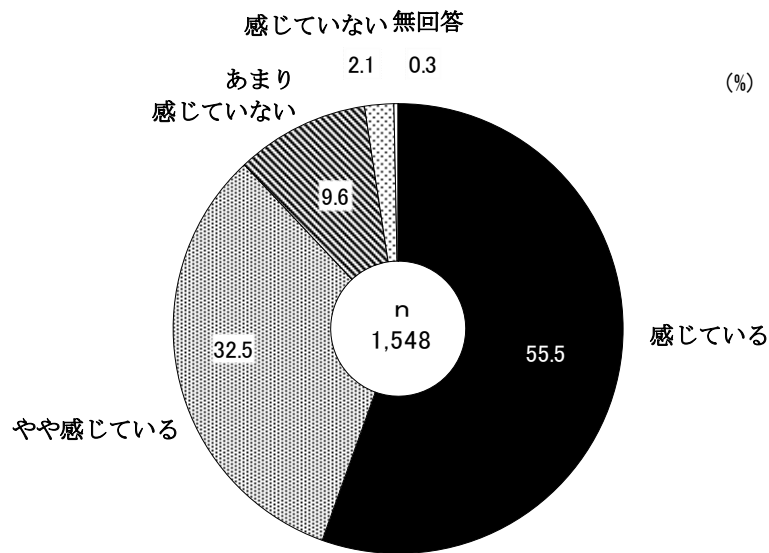


(3) 区への親近感や愛着

◇ 親近感や愛着を<感じている (計)>は9割弱

問3 あなたは、江戸川区に親近感や愛着を感じますか。(○は1つだけ)

<図表1-8> 区への親近感や愛着



(注) <親近感や愛着を感じる> = 「感じている」 + 「やや感じている」・・・88.0%

江戸川区に親近感や愛着を感じるか尋ねたところ、「感じている」が55.5%と最も高く、これに「やや感じている」(32.5%)を合わせた<感じている (計)>(88.0%)は9割弱となっている。

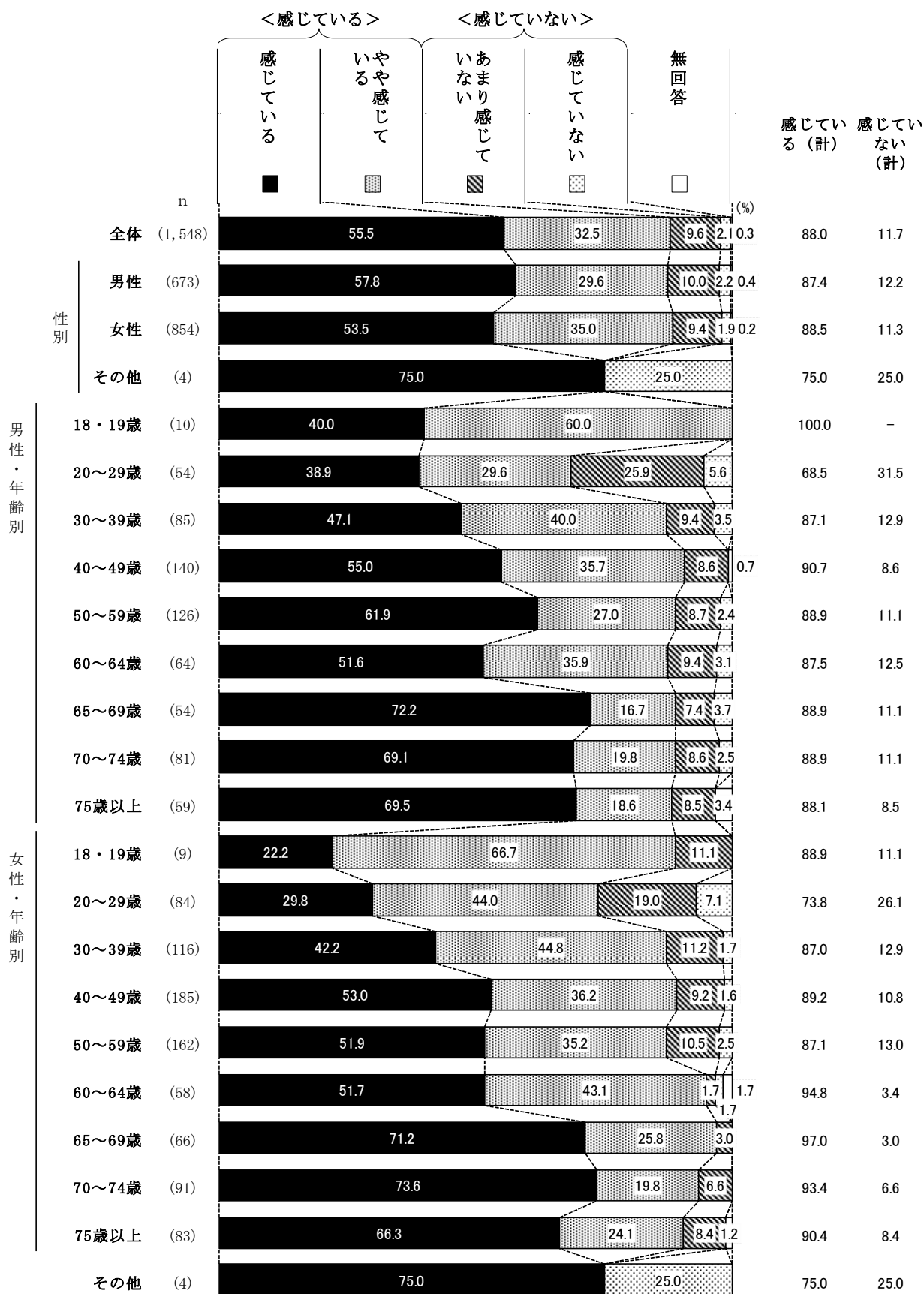
(図表1-8)

【性・年齢別】

性別では、<感じている (計)>は女性(88.5%)が男性(87.4%)より1.1ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、<感じている (計)>は女性65~69歳(97.0%)で9割台半ばと最も高くなっている。(図表1-9)

<図表1-9> 区への親近感や愛着／性・年齢別

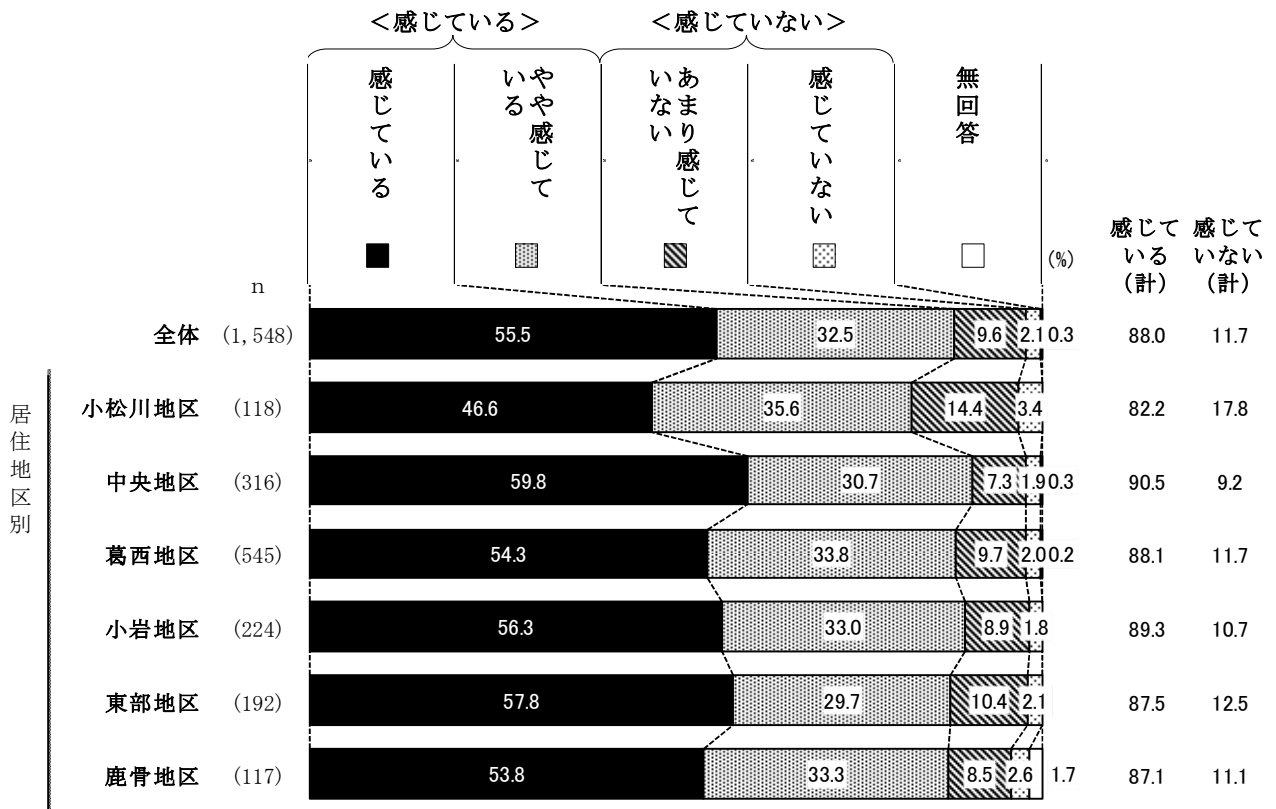


※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【居住地区別】

居住地区別でみると、＜感じている（計）＞は“中央地区”（90.5%）で9割と最も高くなっている。（図表1-10）

＜図表1-10＞ 区への親近感や愛着／居住地区別



2. 江戸川区の現況について

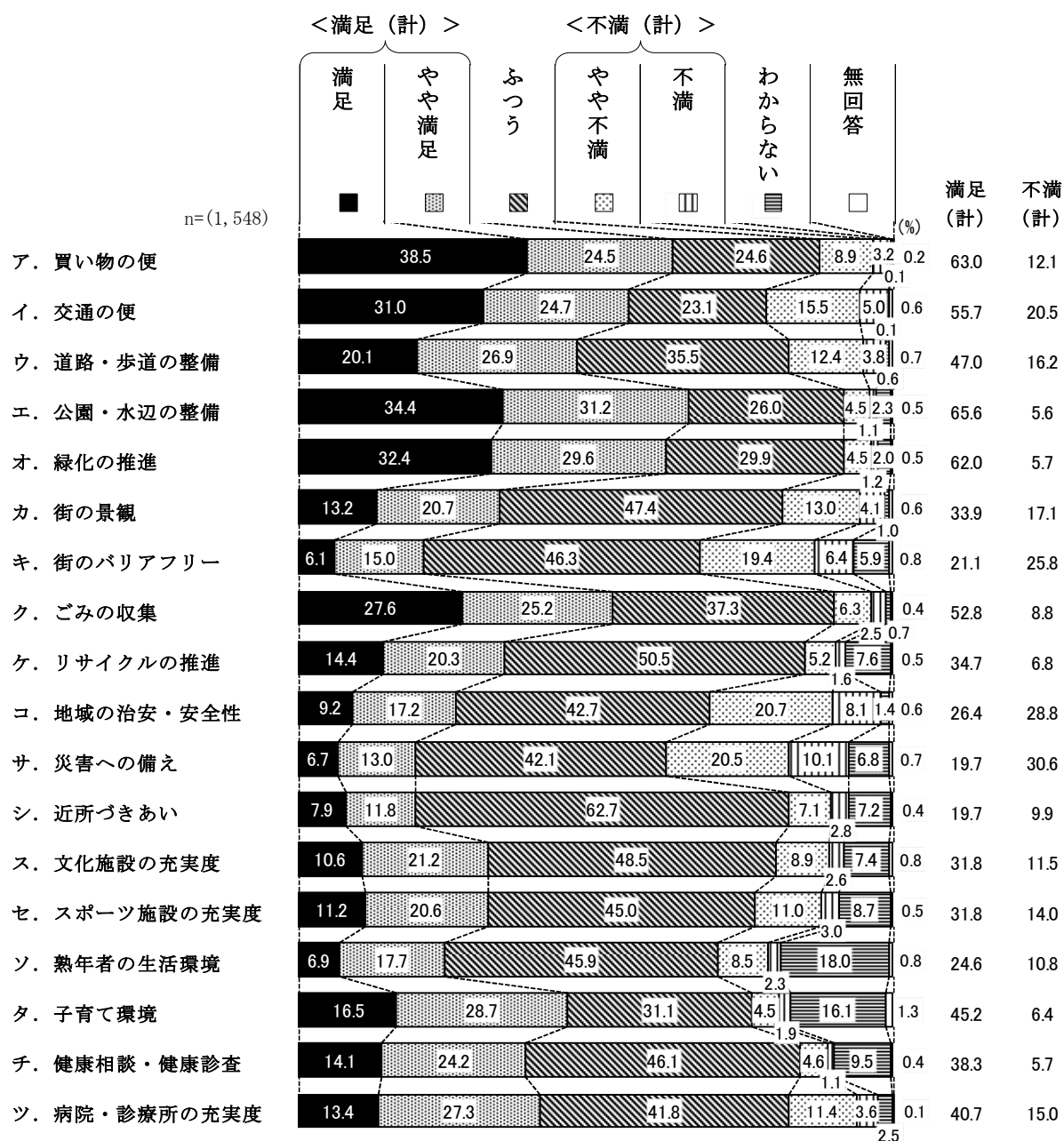
(1) 各項目の満足度

◇ 【買い物の便】【公園・水辺の整備】【緑化の推進】の〈満足（計）〉が6割台にのぼる

問4 あなたは、ア～ツの各項目の現況について、どの程度満足しているかお答えください。

(それぞれ〇は1つずつ)

<図表2-1> 各項目の満足度



Ⅲ 結果と分析 2. 江戸川区の現況について

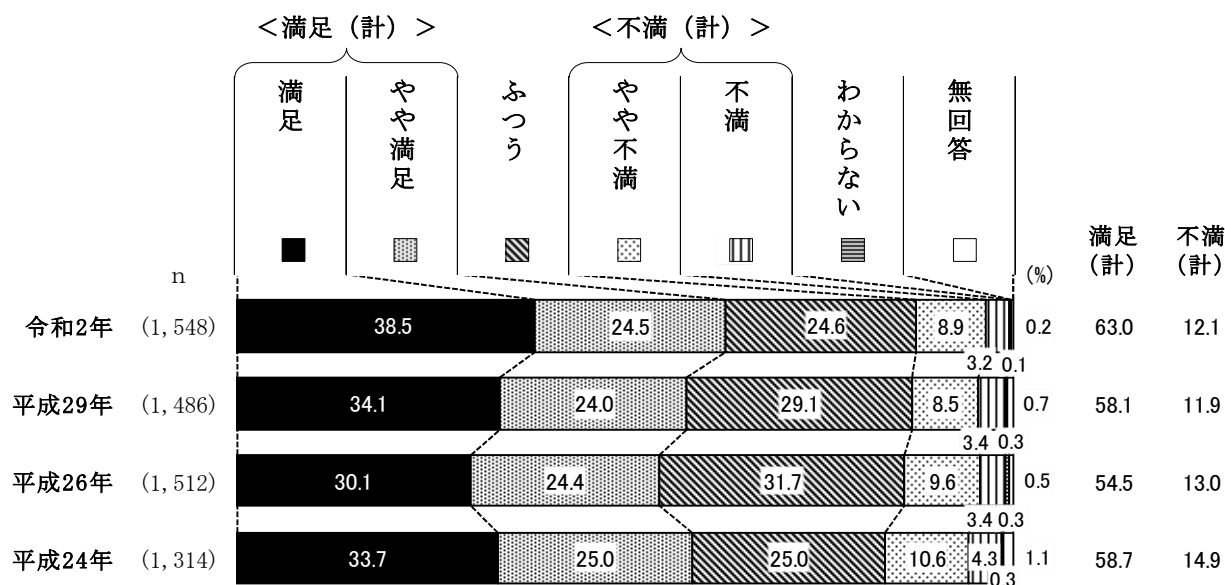
江戸川区の18項目の現況の満足度について聞いたところ、「満足」と「やや満足」を合わせた＜満足（計）＞は、【公園・水辺の整備】（65.6%）、【買い物の便】（63.0%）、【緑化の推進】（62.0%）が6割台と高くとなっている。

一方、「不満」と「やや不満」を合わせた＜不満（計）＞は、【災害の備え】（30.6%）、【地域の治安・安全性】（28.8%）が3割前後、【街のバリアフリー】（25.8%）が2割台半ばと高く、これらの項目は＜不満（計）＞が＜満足（計）＞よりも高くなっている。（図表2-1）

【ア. 買い物の便／時系列比較】

平成 24 年からの調査結果を時系列で見ると、＜満足（計）＞は前回の平成 29 年（58.1%）から 4.9 ポイント増加している。（図表 2－2）

＜図表 2－2＞ ア. 買い物の便／時系列比較



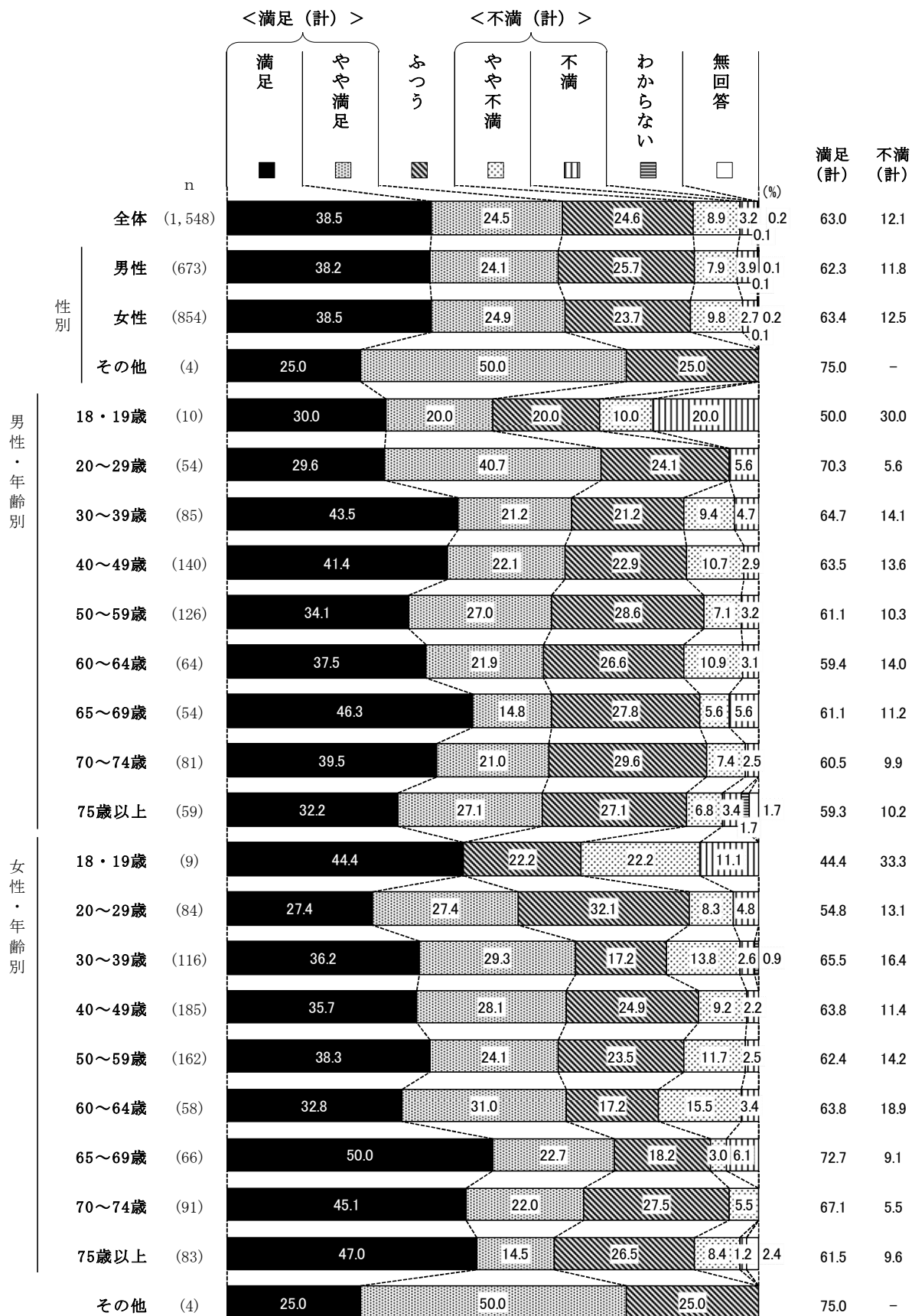
【ア. 買い物の便／性・年齢別】

性別では、＜満足（計）＞は女性（63.4%）が男性（62.3%）より 1.1 ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、＜満足（計）＞は、男性 20～29 歳（70.3%）と女性 65～69 歳（72.7%）で 7 割台と高くなっている。一方、女性 20～29 歳（54.8%）で 5 割台半ばと最も低くなっている。

（図表 2－3）

<図表2-3> ア. 買い物の便／性・年齢別

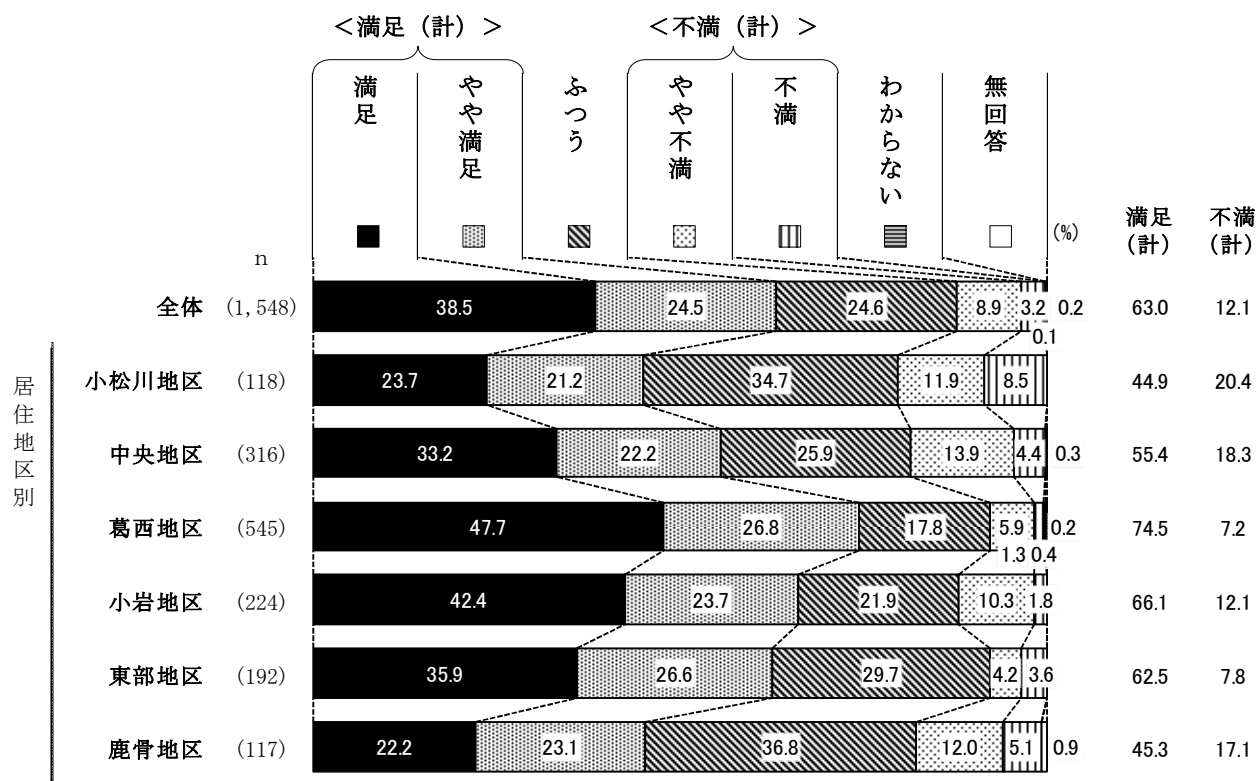


※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【ア. 買い物の便／居住地区別】

居住地区別にみると、＜満足（計）＞は、“葛西地区”（74.5%）で7割台半ばと最も高く、“小松川地区”（44.9%）で4割台半ばと最も低くなっている。（図表2－4）

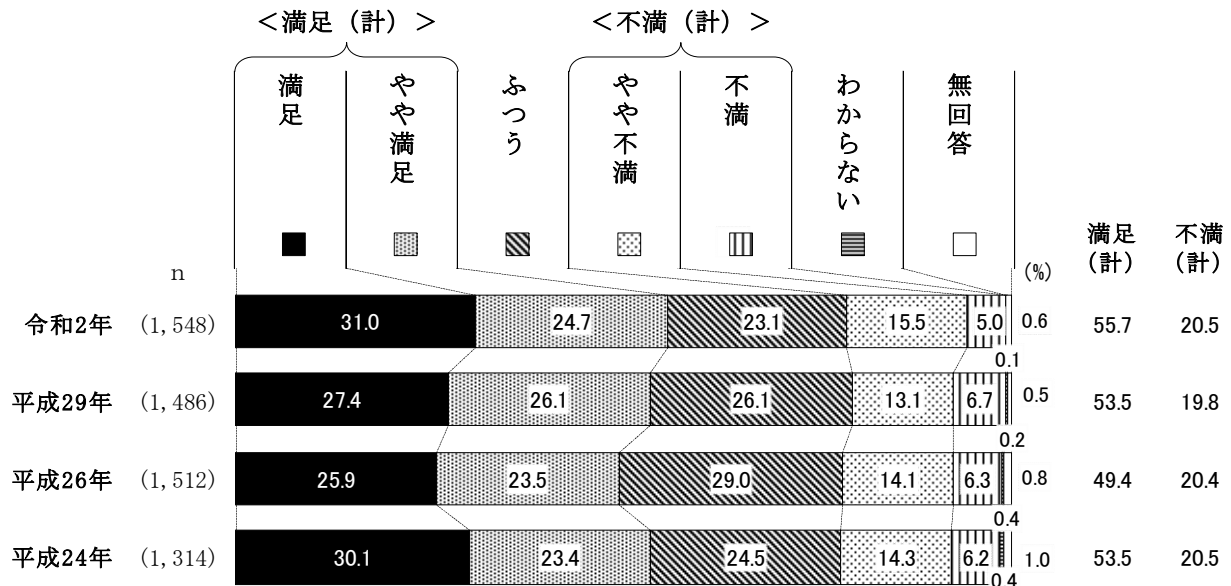
＜図表2－4＞ ア. 買い物の便の便／居住地区別



【イ. 交通の便／時系列比較】

平成 24 年からの調査結果を時系列で見ると、＜満足（計）＞は前回の平成 29 年（53.5%）から 2.2 ポイント増加している。（図表 2－5）

＜図表 2－5＞ イ. 交通の便／時系列比較



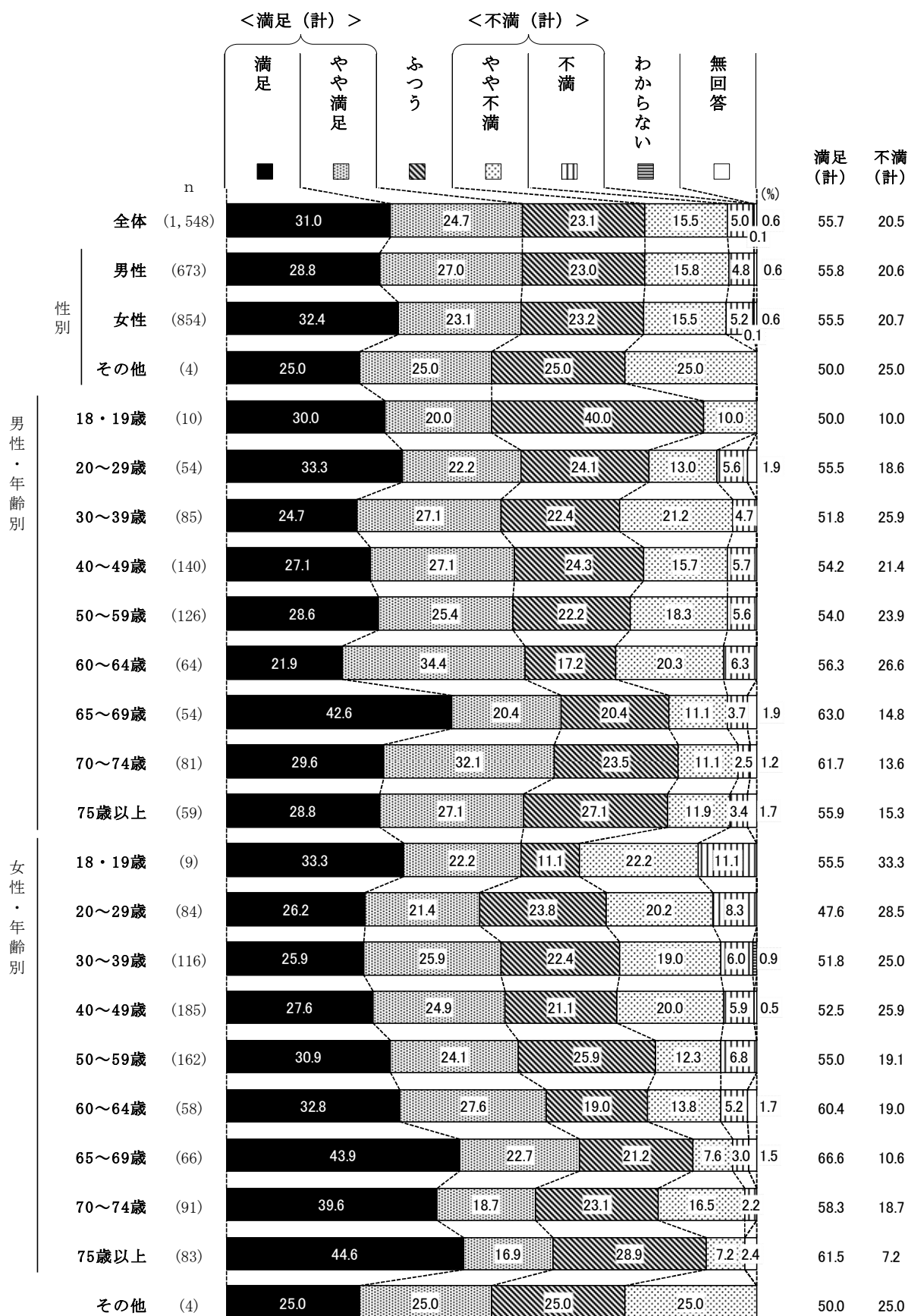
【イ. 交通の便／性・年齢別】

性別では、＜満足（計）＞は、男女間であまり大きな違いはみられない。

性・年齢別にみると、＜満足（計）＞は、男性 65～69 歳（63.0%）と女性 65～69 歳（66.6%）で 6 割台半ばと高くなっている。一方、女性 20～29 歳（47.6%）で 5 割弱と最も低くなっている。

（図表 2－6）

<図表2-6> イ. 交通の便／性・年齢別

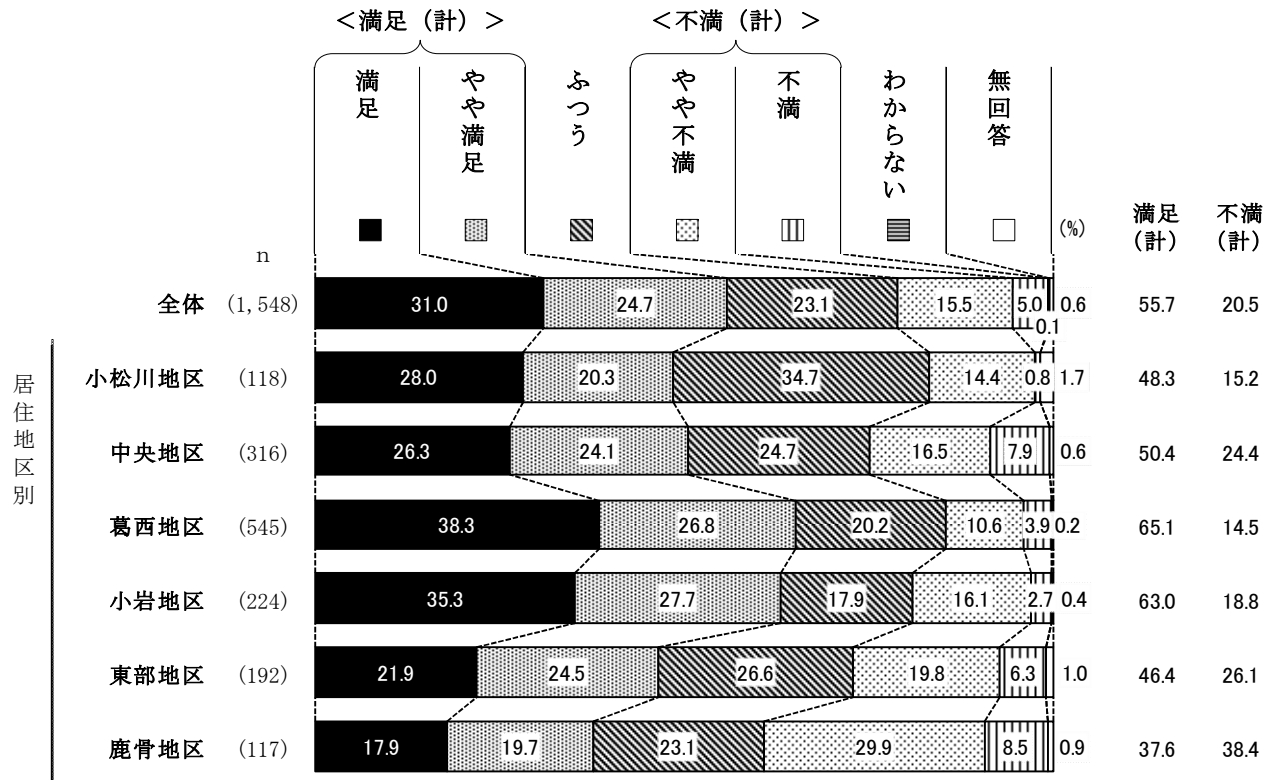


※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【イ. 交通の便／居住地区別】

居住地区別にみると、＜満足（計）＞は、“葛西地区”（65.1%）と“小岩地区”（63.0%）で6割台と高くなっている。一方、“鹿骨地区”（37.6%）で4割弱と最も低くなっている。（図表2－7）

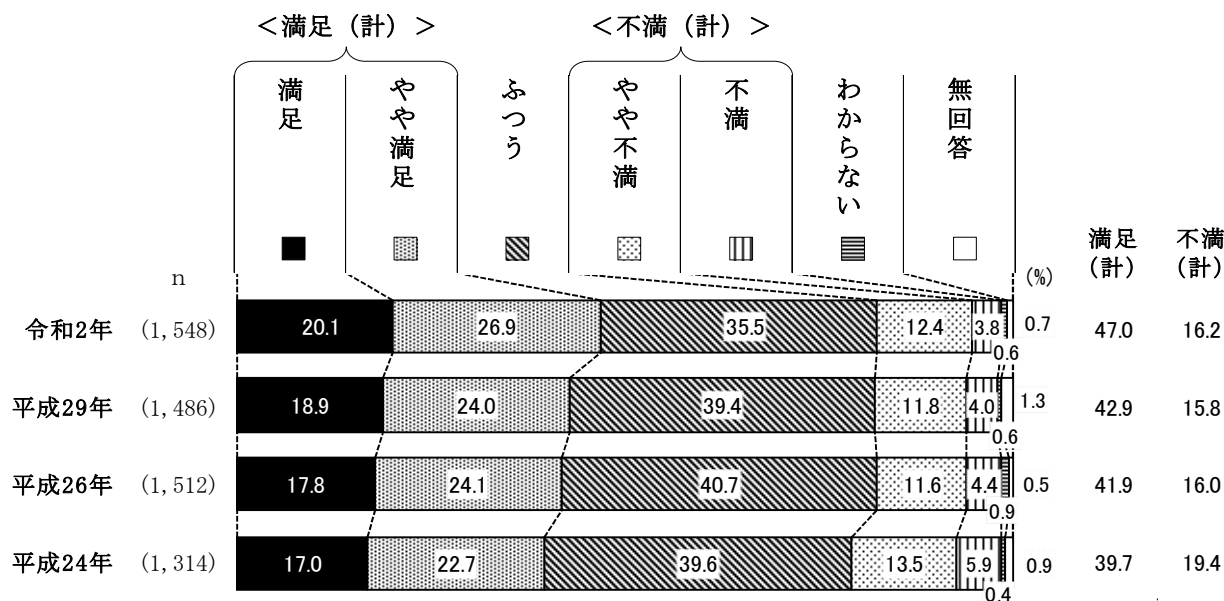
＜図表2－7＞ イ. 交通の便／居住地区別



【ウ. 道路・歩道の整備／時系列比較】

平成24年からの調査結果を時系列で見ると、＜満足（計）＞は前回の平成29年（42.9%）から4.1ポイント増加している。（図表2-8）

＜図表2-8＞ ウ. 道路・歩道の整備／時系列比較



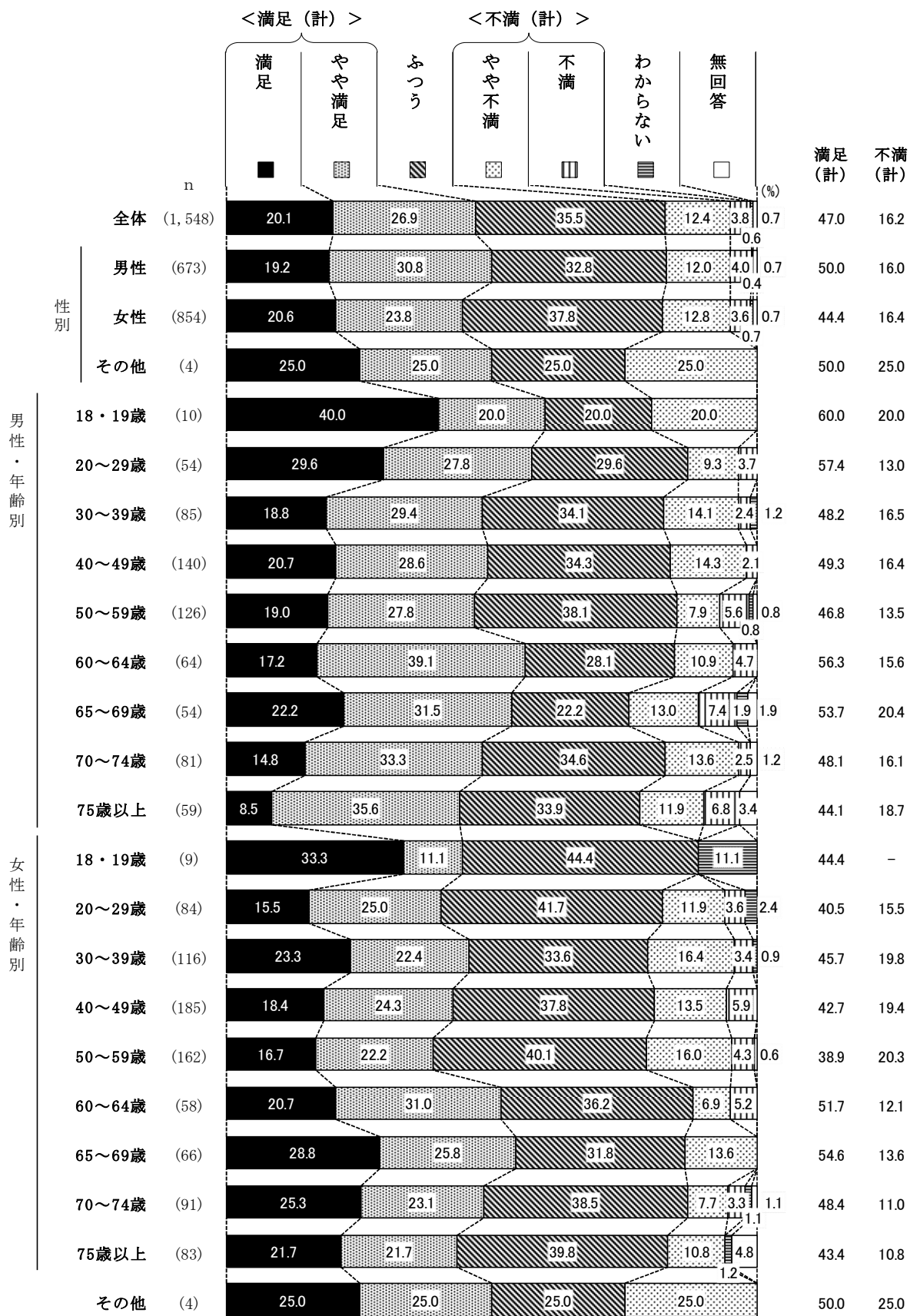
【ウ. 道路・歩道の整備／性・年齢別】

性別では、＜満足（計）＞は男性（50.0%）が女性（44.4%）よりも5.6ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、＜満足（計）＞は、男性20～29歳（57.4%）と男性60～64歳（56.3%）で5割台半ばと高くなっている。一方、女性50～59歳（38.9%）で4割弱と最も低くなっている。

（図表2-9）

<図表2-9> ウ. 道路・歩道の整備／性・年齢別

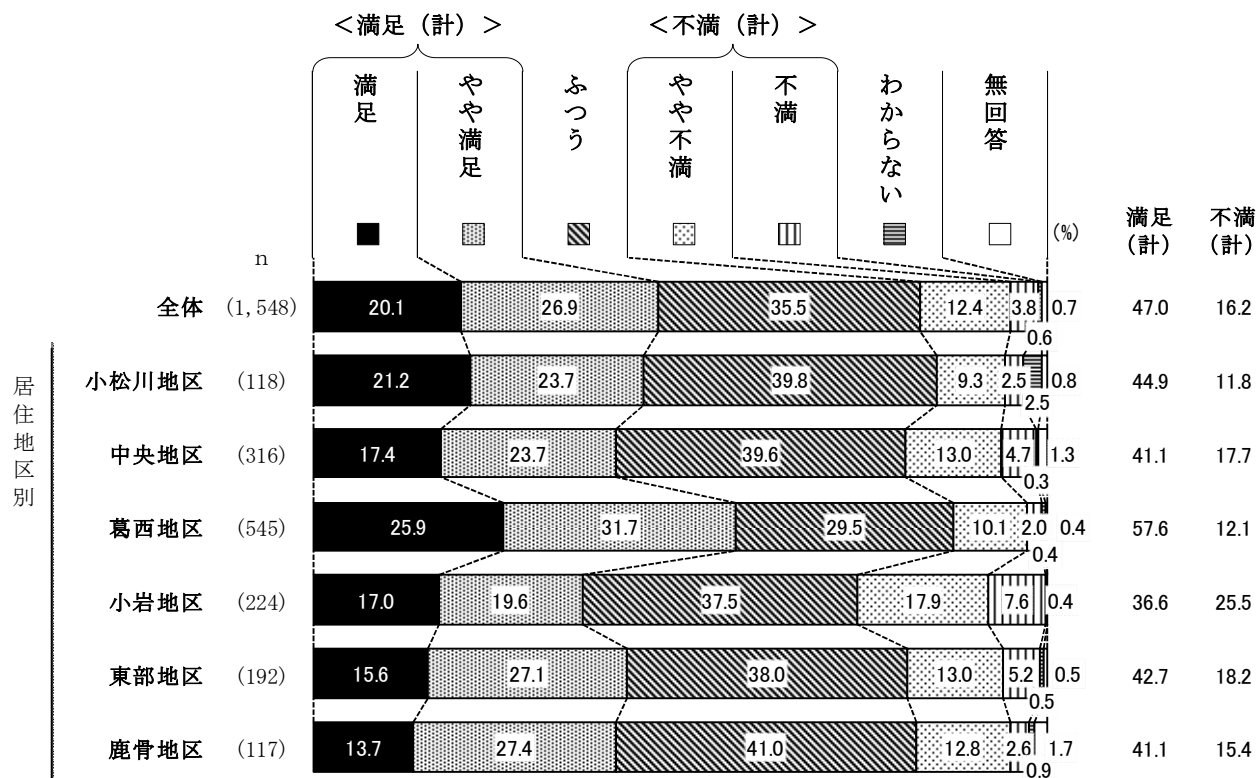


※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【ウ. 道路・歩道の整備／居住地区別】

居住地区別にみると、＜満足（計）＞は、“葛西地区”（57.6％）で5割台半ばと高くなっている。一方、“小岩地区”（36.6％）では3割台半ばと低くなっている。（図表2－10）

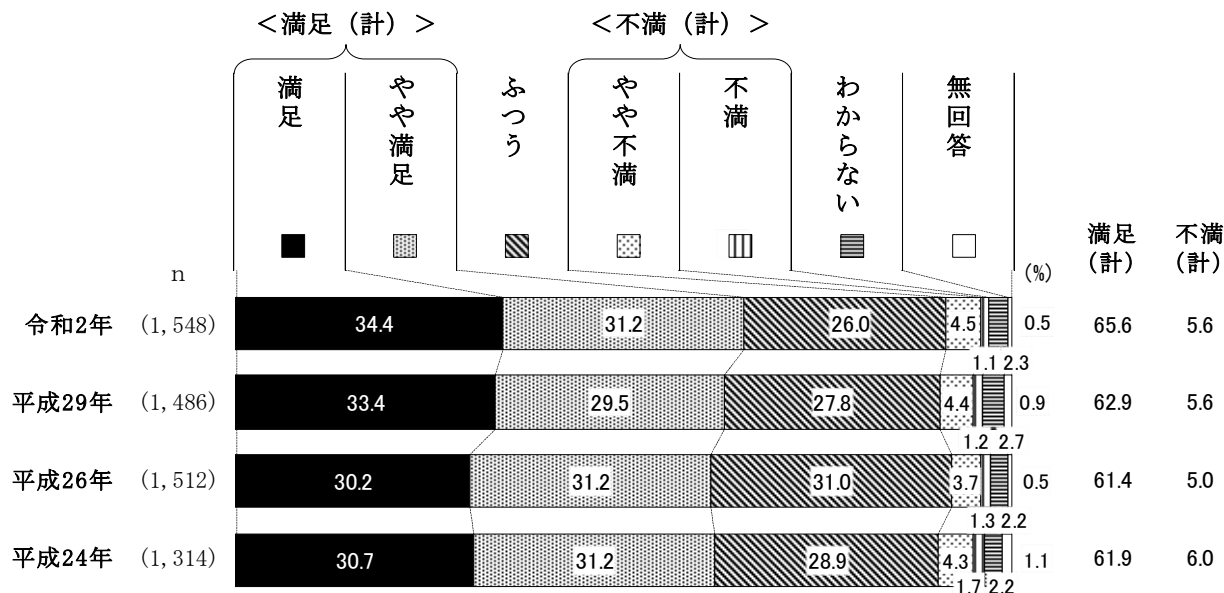
＜図表2－10＞ ウ. 道路・歩道の整備／居住地区別



【エ. 公園・水辺の整備／時系列比較】

平成 24 年からの調査結果を時系列で見ると、＜満足（計）＞は前回の平成 29 年（62.9%）から 2.7 ポイント増加している。（図表 2-11）

＜図表 2-11＞ エ. 公園・水辺の整備／時系列比較

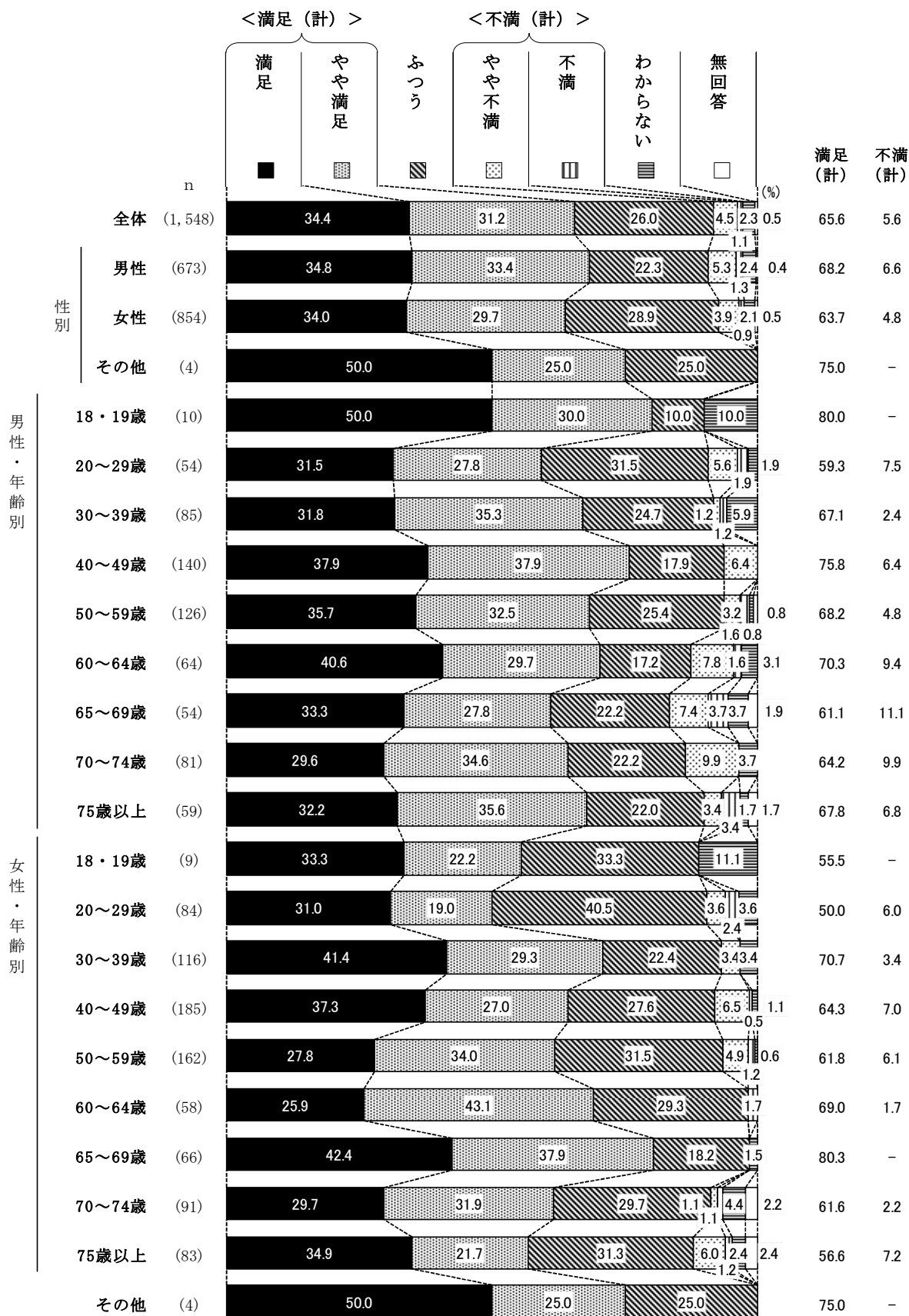


【エ. 公園・水辺の整備／性・年齢別】

性別では、＜満足（計）＞は男性（68.2%）が女性（63.7%）よりも 4.5 ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、＜満足（計）＞は、女性 65～69 歳（80.3%）で 8 割と最も高く、次いで男性 40～49 歳（75.8%）で 7 割台半ばとなっている。一方、女性 20～29 歳（50.0%）で 5 割と最も低くなっている。（図表 2-12）

<図表2-12> エ. 公園・水辺の整備／性・年齢別

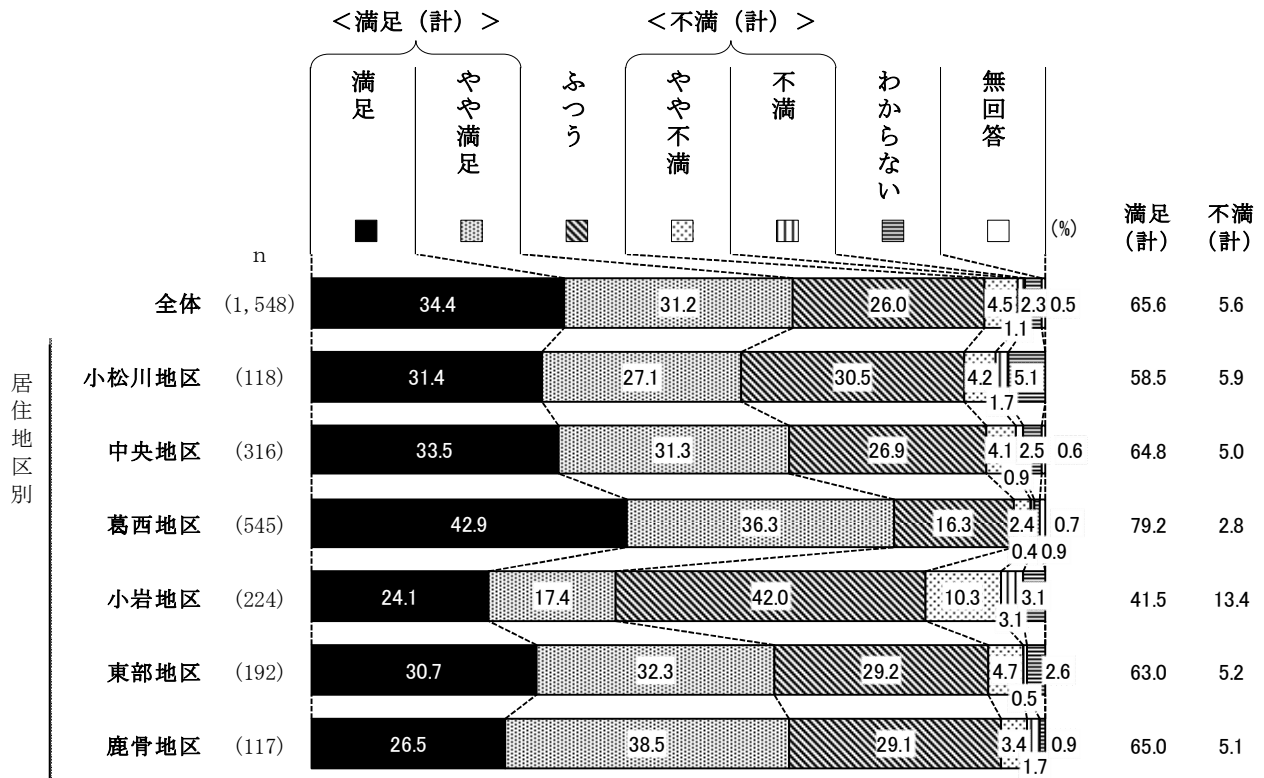


※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【エ. 公園・水辺の整備／居住地区別】

居住地区別にみると、＜満足（計）＞は、“葛西地区”（79.2％）で8割強と最も高くなっている。一方、“小岩地区”（41.5％）で4割強と最も低くなっている。（図表2－13）

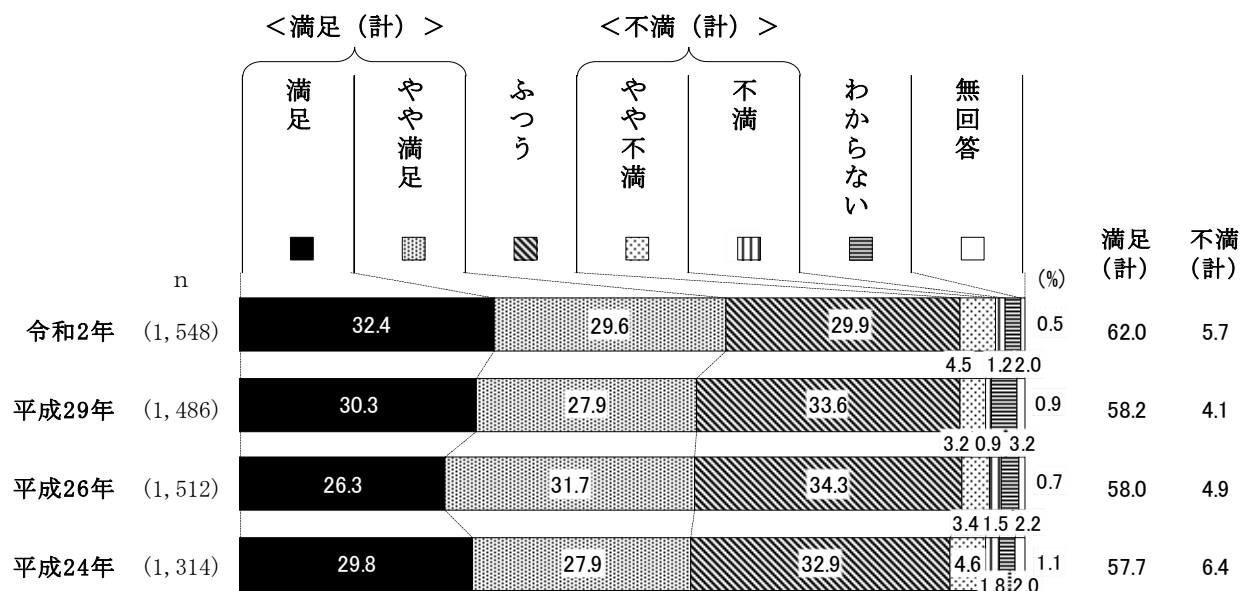
＜図表2－13＞ エ. 公園・水辺の整備／居住地区別



【オ. 緑化の推進／時系列比較】

平成 24 年からの調査結果を時系列で見ると、＜満足（計）＞は前回の平成 29 年（58.2%）から 3.8 ポイント増加している。（図表 2-14）

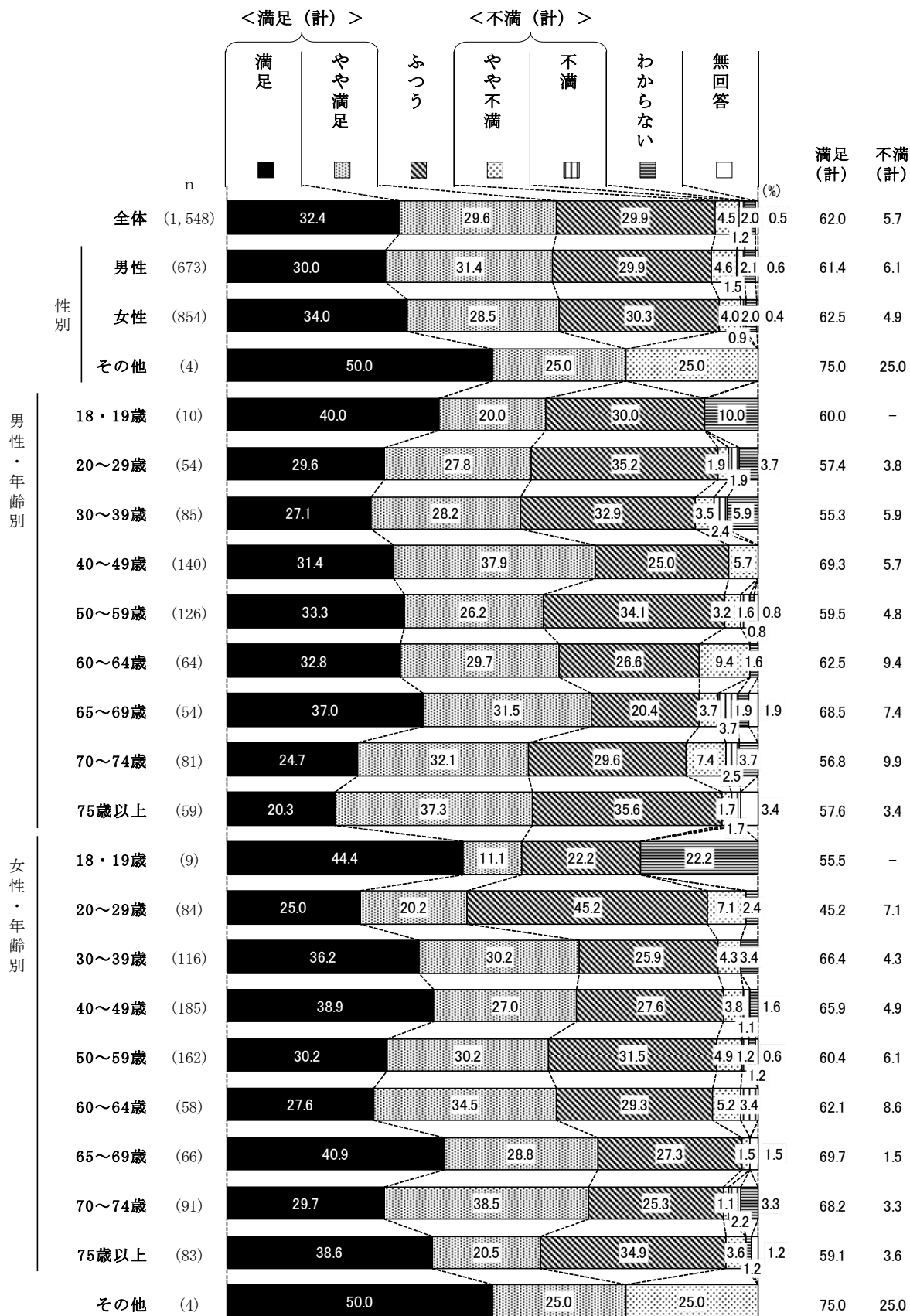
＜図表 2-14＞ オ. 緑化の推進／時系列比較



【オ. 緑化の推進／性・年齢別】

性別では、＜満足（計）＞は女性（62.5%）が男性（61.4%）よりも 1.1 ポイント高くなっている。
 性・年齢別にみると、＜満足（計）＞は、男性 40～49 歳（69.3%）、男性 65～69 歳（68.5%）、女性 65～69 歳（69.7%）、女性 70～74 歳（68.2%）で各 7 割弱と高くなっている。一方、女性 20～29 歳（45.2%）で 4 割台半ばと最も低くなっている。（図表 2-15）

<図表2-15> 才. 緑化の推進/性・年齢別

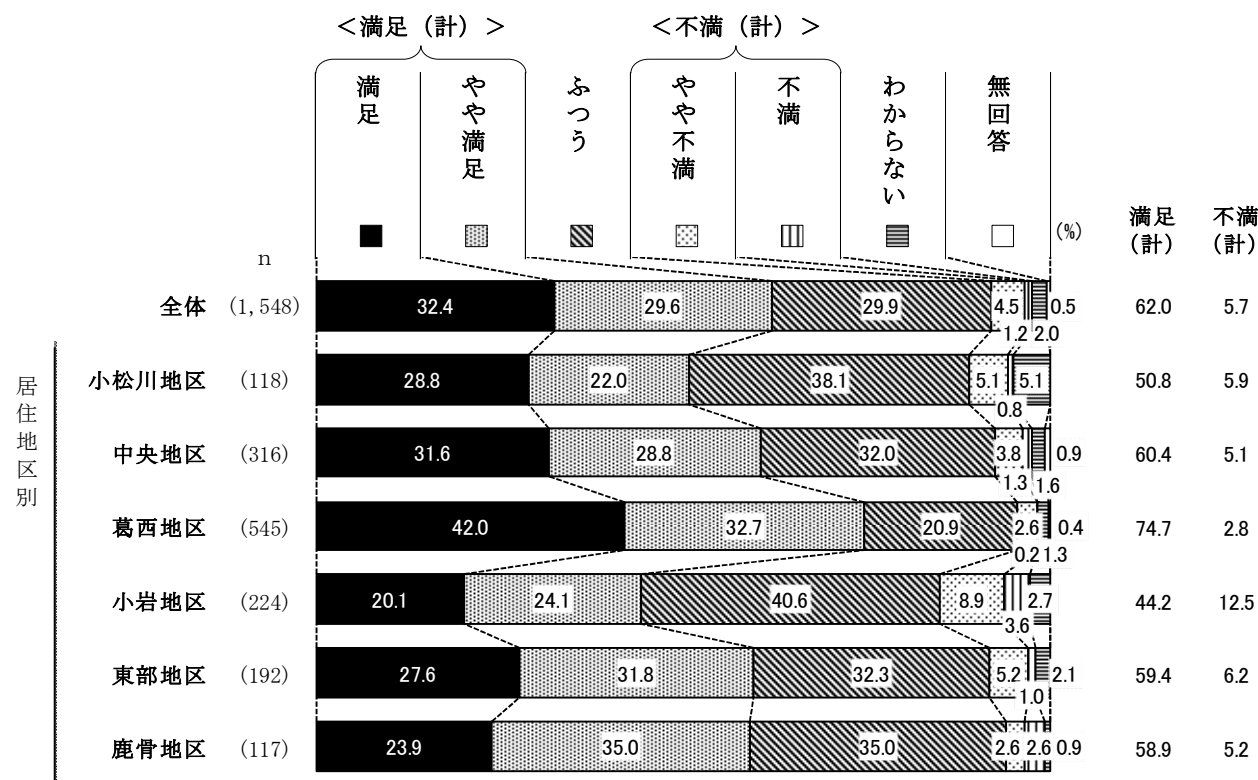


※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【オ. 緑化の推進／居住地区別】

居住地区別にみると、＜満足（計）＞は、“葛西地区”（74.7%）で7割半ばと最も高くなっている。一方、“小岩地区”（44.2%）で4割台半ばと最も低くなっている。（図表2-16）

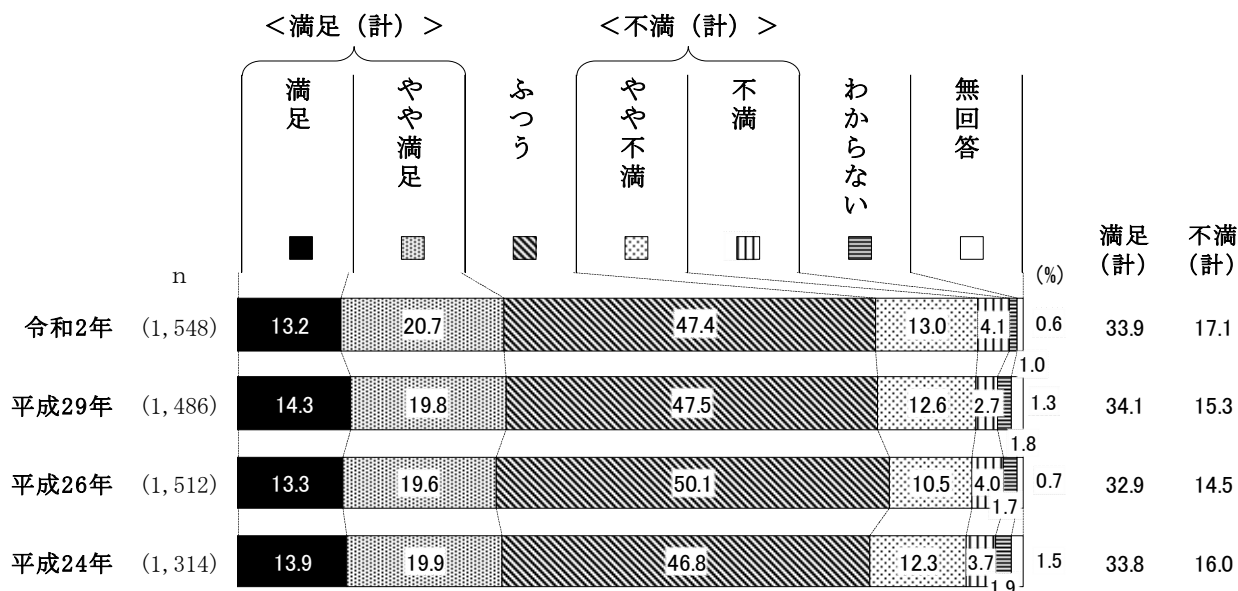
＜図表2-16＞ オ. 緑化の推進／居住地区別



【カ. 街の景観／時系列比較】

平成 24 年からの調査結果を時系列で見ると、＜満足（計）＞は前回の平成 29 年（34.1%）とほぼ同率となっている。（図表 2－17）

＜図表 2－17＞ カ. 街の景観／時系列比較

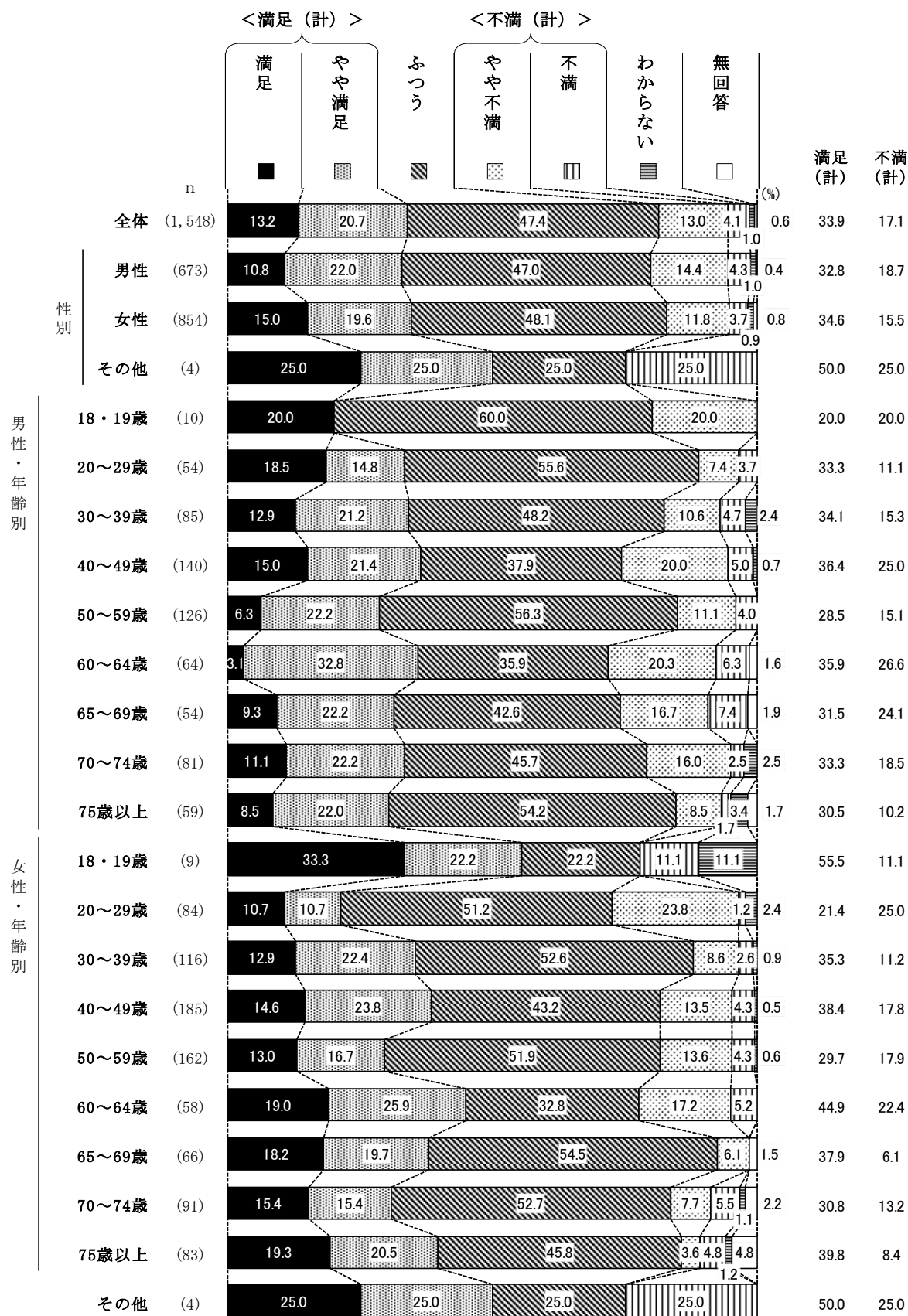


【カ. 街の景観／性・年齢別】

性別では、＜満足（計）＞は女性（34.6%）が男性（32.8%）よりも 1.8 ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、＜満足（計）＞は、女性 60～64 歳（44.9%）で 4 割台半ばと最も高く、次いで女性 75 歳以上（39.8%）となっている。一方、女性 20～29 歳（21.4%）で 2 割強と最も低くなっている。（図表 2－18）

<図表2-18> カ. 街の景観／性・年齢別

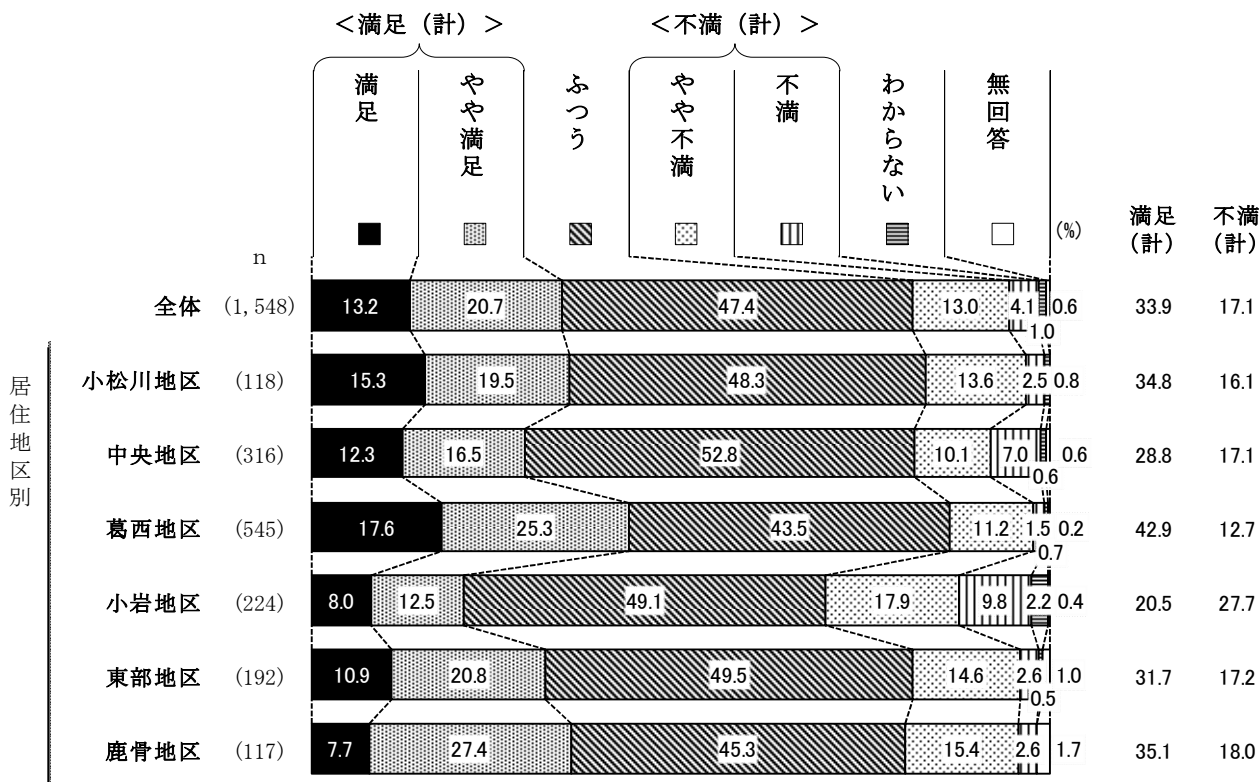


※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【カ. 街の景観／居住地区別】

居住地区別にみると、＜満足（計）＞は、“葛西地区”（42.9％）で4割台半ばと最も高くなっている。一方、“小岩地区”（20.5％）で2割と最も低くなっている。（図表2－19）

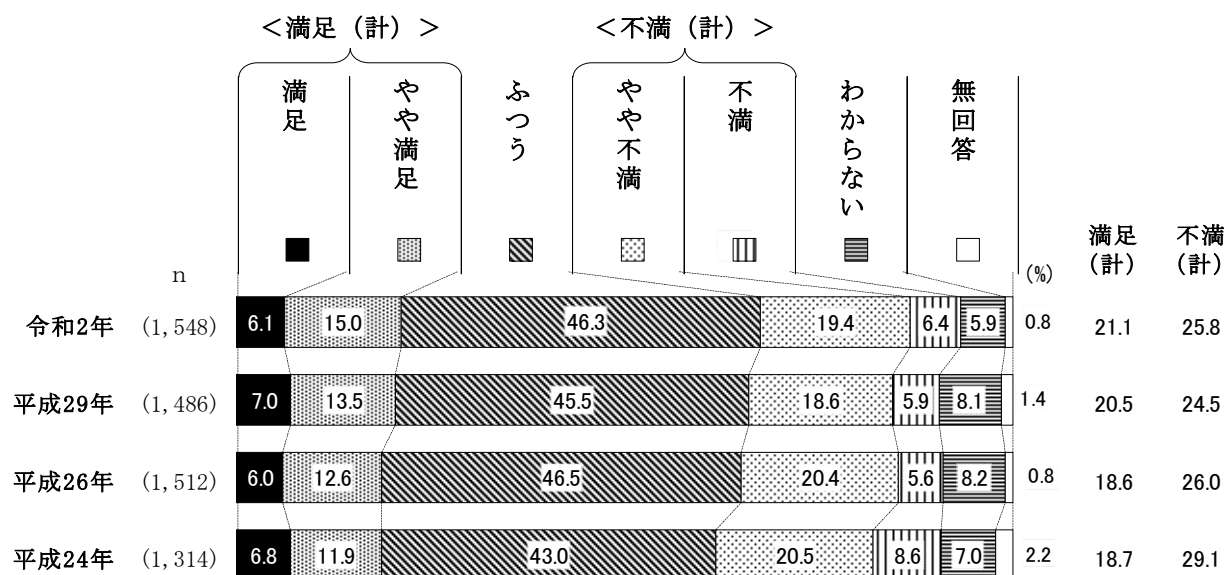
＜図表2－19＞ カ. 街の景観／居住地区別



【キ. 街のバリアフリー／時系列比較】

平成 24 年からの調査結果を時系列で見ると、＜満足（計）＞は前回の平成 29 年（20.5%）とほぼ同率となっている。（図表 2-20）

＜図表 2-20＞ キ. 街のバリアフリー／時系列比較

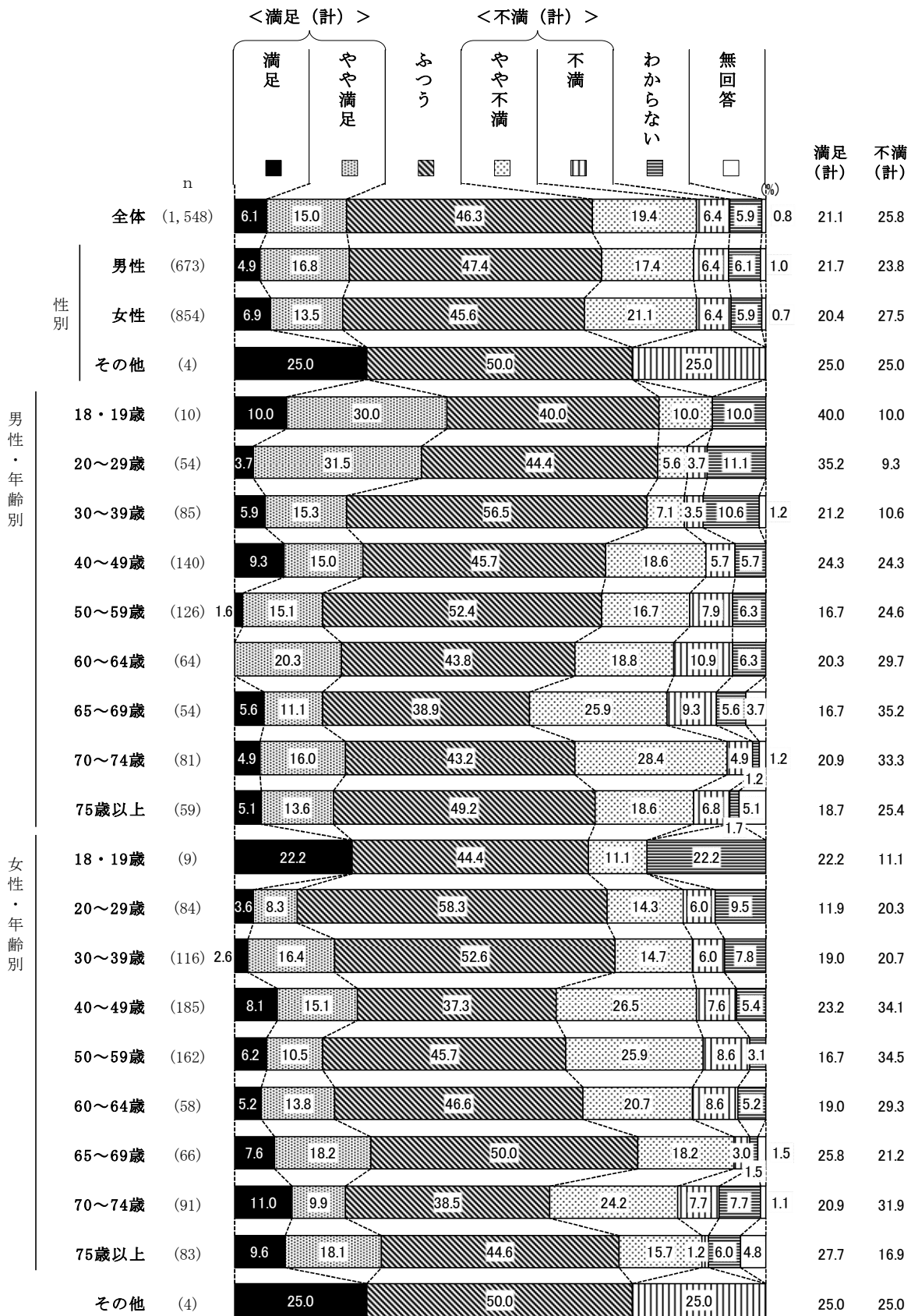


【キ. 街のバリアフリー／性・年齢別】

性別では、＜満足（計）＞は、男女間であまり大きな違いはみられない、

性・年齢別にみると、＜満足（計）＞は、男性 20～29 歳（35.2%）で 3 割台半ばと最も高く、次いで女性 75 歳以上（27.7%）、女性 65～69 歳（25.8%）となっている。一方、女性 20～29 歳（11.9%）で 1 割強と低くなっている。（図表 2-21）

<図表2-21> キ. 街のバリアフリー／性・年齢別

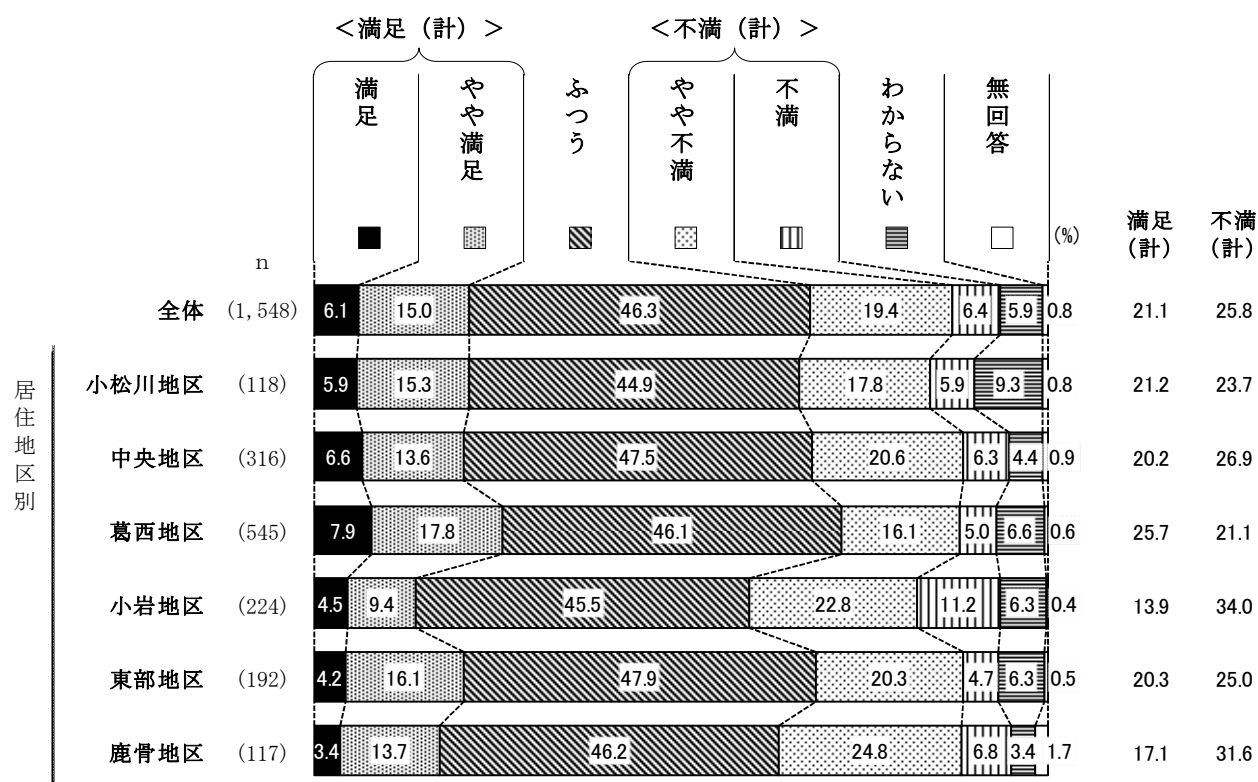


※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【キ. 街のバリアフリー／居住地区別】

居住地区別にみると、＜満足（計）＞は、“葛西地区”（25.7％）で2割台半ばと最も高く、“小岩地区”（13.9％）で1割台半ばと最も低くなっている。（図表2－22）

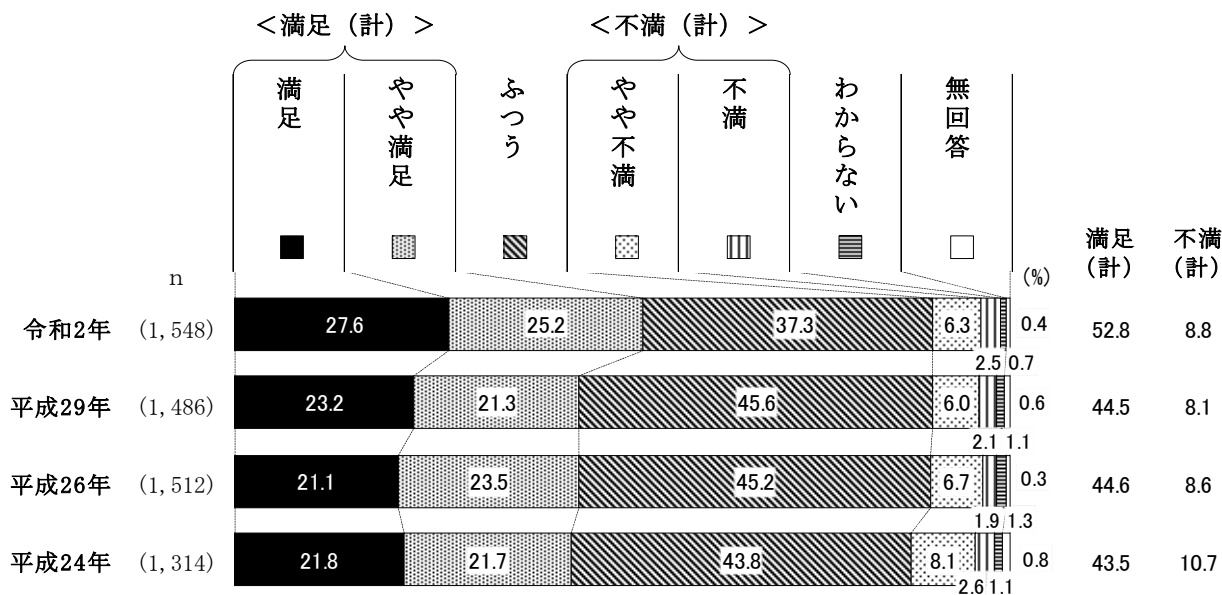
＜図表2－22＞ キ. 街のバリアフリー／居住地区別



【ク. ごみの収集／時系列比較】

平成 24 年からの調査結果を時系列で見ると、＜満足（計）＞は前回の平成 29 年（44.5%）から 8.3 ポイント増加している。（図表 2-23）

＜図表 2-23＞ ク. ごみの収集／時系列比較

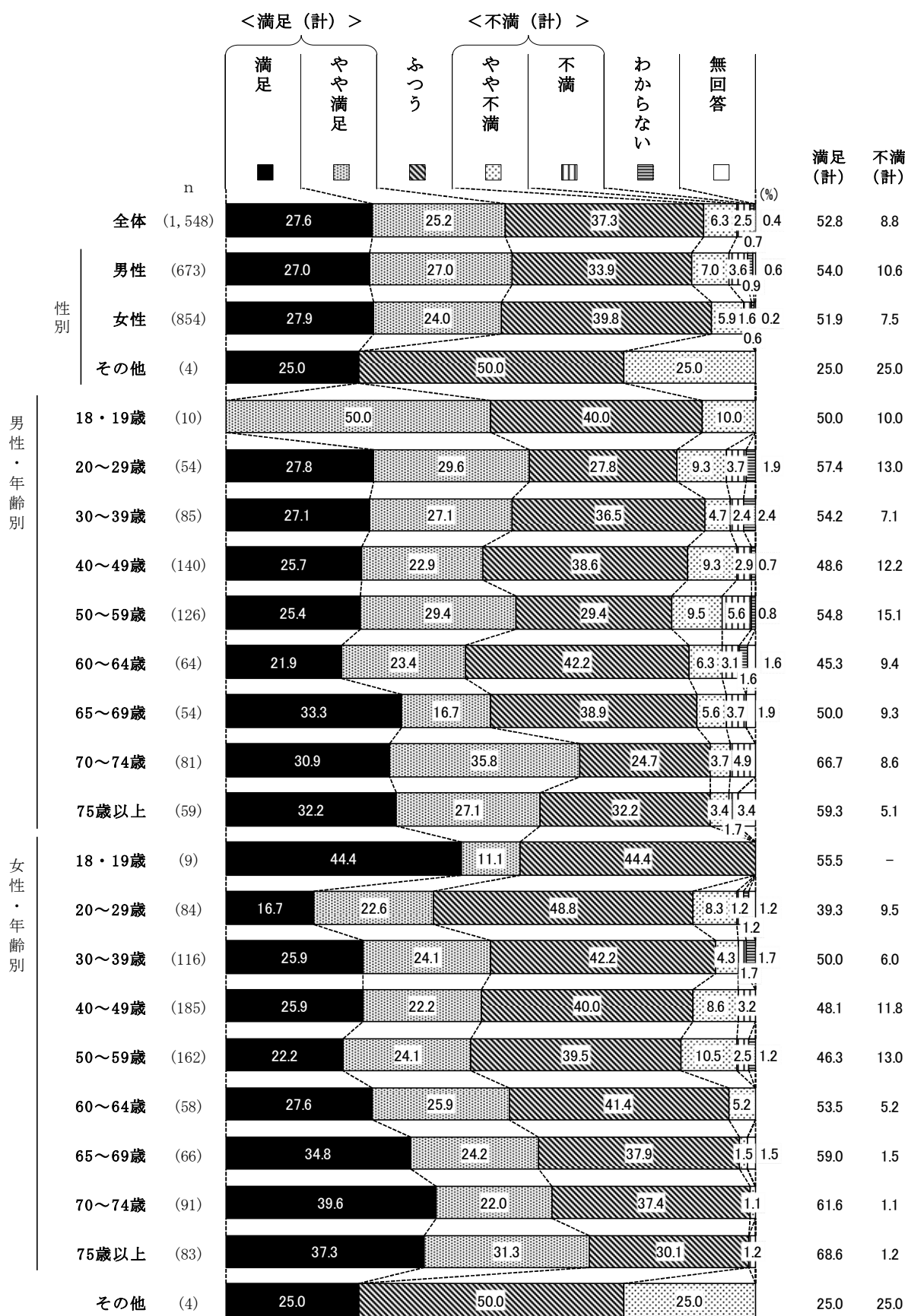


【ク. ごみの収集／性・年齢別】

性別では、＜満足（計）＞は男性（54.0%）が女性（51.9%）よりも 2.1 ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、＜満足（計）＞は、女性 75 歳以上（68.6%）で 7 割弱と最も高く、次いで男性 70～74 歳（66.7%）、女性 70～74 歳（61.6%）となっている。一方、女性 20～29 歳（39.3%）で 4 割弱と最も低くなっている。（図表 2-24）

<図表2-24> ク. ごみの収集/性・年齢別

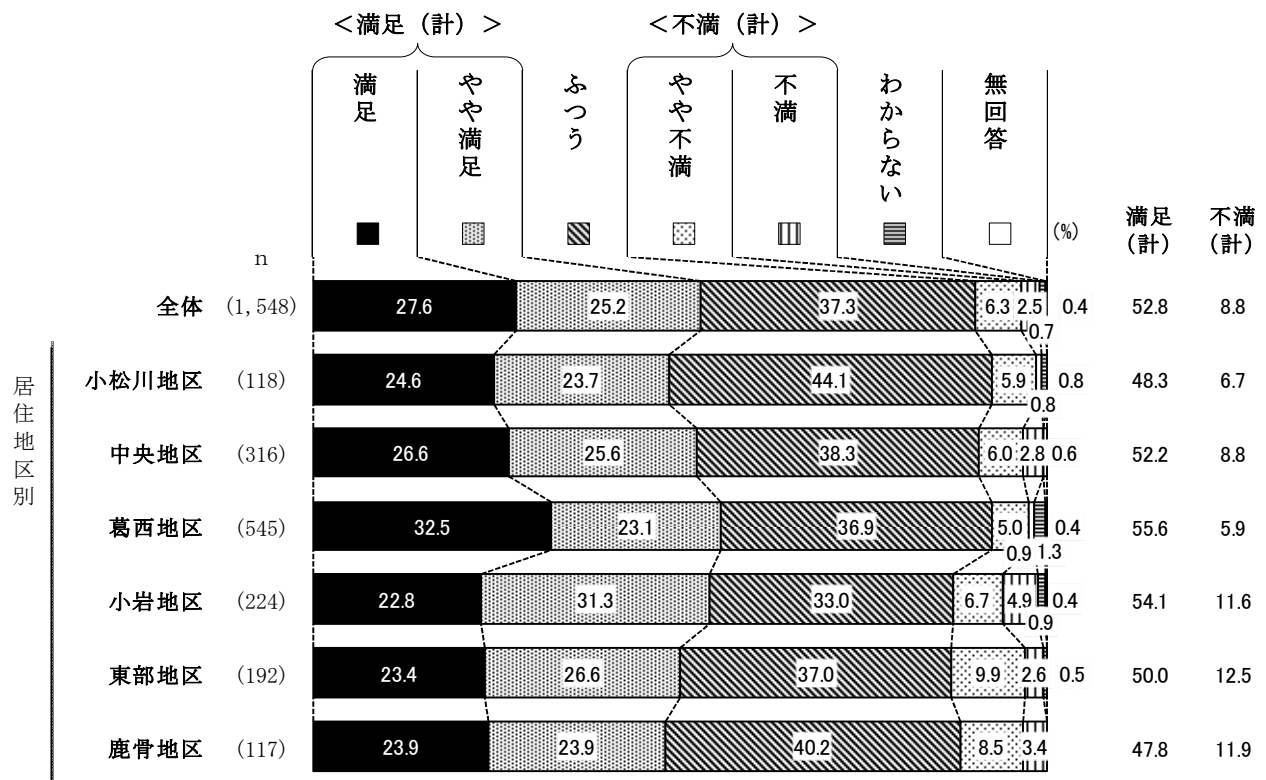


※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【ク. ごみの収集／居住地区別】

居住地区別にみると、＜満足（計）＞は、“葛西地区”（55.6％）で5割台半ばと最も高く、次いで“小岩地区”（54.1％）、“中央地区”（52.2％）となっている。一方、“鹿骨地区”（47.8％）で5割弱と最も低くなっている。（図表2-25）

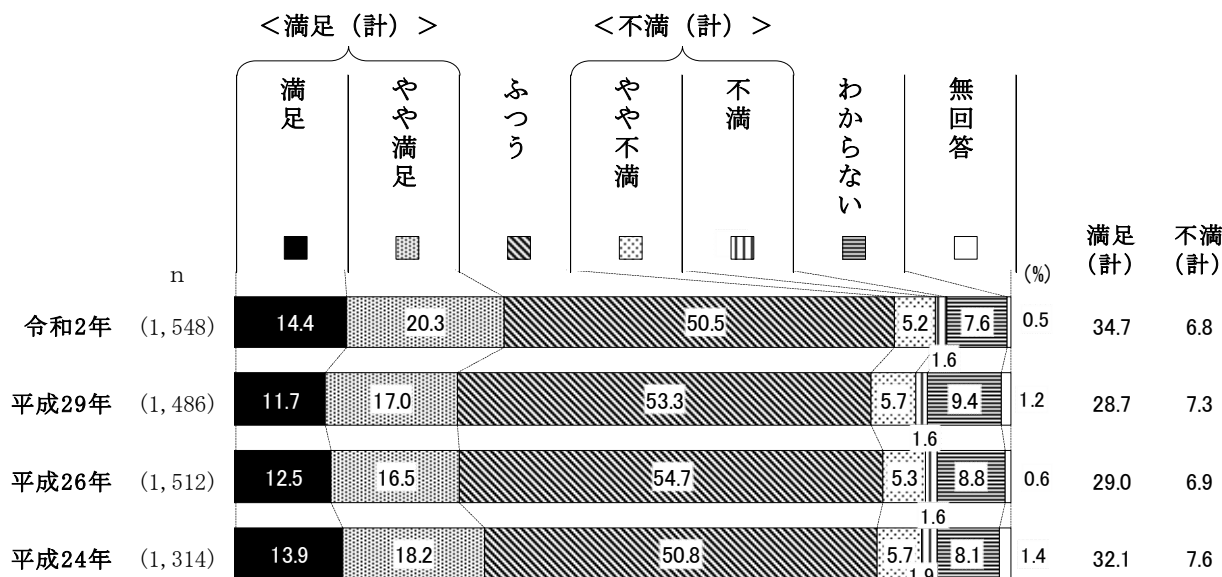
＜図表2-25＞ ク. ごみの収集／居住地区別



【ケ. リサイクルの推進／時系列比較】

平成 24 年からの調査結果を時系列で見ると、＜満足（計）＞は前回の平成 29 年（28.7%）から 6.0 ポイント増加している。（図表 2-26）

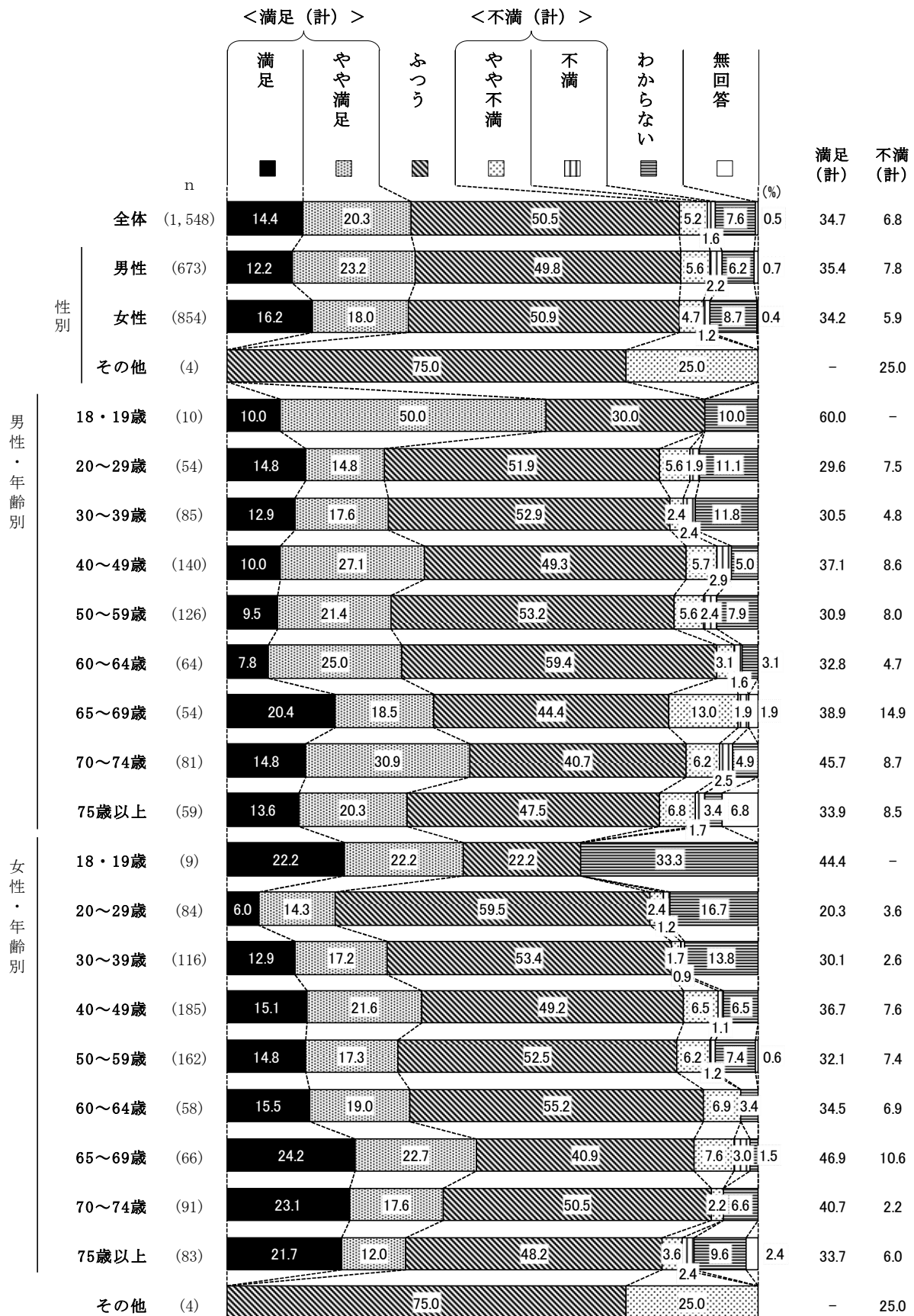
＜図表 2-26＞ ケ. リサイクルの推進／時系列比較



【ケ. リサイクルの推進／性・年齢別】

性別では、＜満足（計）＞は男性（35.4%）が女性（34.2%）よりも 1.2 ポイント高くなっている。性・年齢別にみると、＜満足（計）＞は、女性 65～69 歳（46.9%）で 4 割台半ばと最も高く、次いで男性 70～74 歳（45.7%）となっている。一方、女性 20～29 歳（20.3%）で 2 割と最も低くなっている。（図表 2-27）

<図表2-27> ケ. リサイクルの推進/性・年齢別

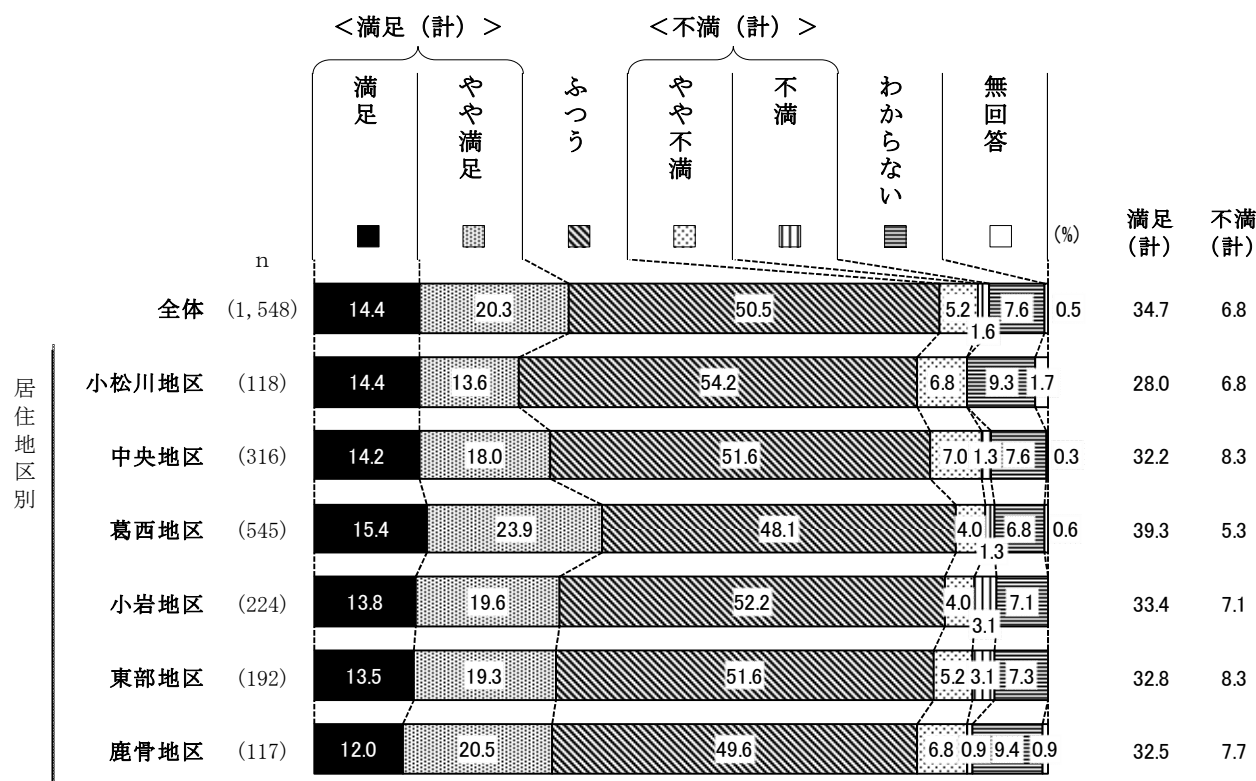


※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【ケ. リサイクルの推進／居住地区別】

居住地区別にみると、＜満足（計）＞は、“葛西地区”（39.3%）で4割弱と最も高くなっている。一方、“小松川地区”（28.0%）で3割弱と最も低くなっている。（図表2-28）

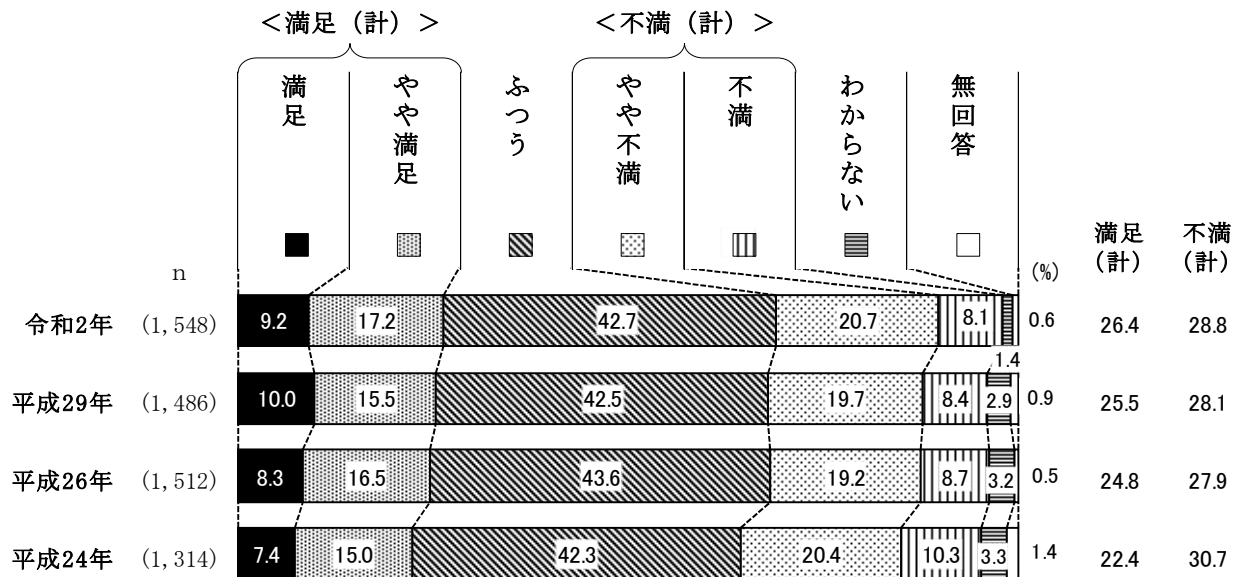
＜図表2-28＞ ケ. リサイクルの推進／居住地区別



【コ. 地域の治安・安全性／時系列比較】

平成24年からの調査結果を時系列で見ると、＜満足（計）＞は前回の平成29年（25.5%）から0.9ポイント増加している。（図表2-29）

＜図表2-29＞ コ. 地域の治安・安全性／時系列比較

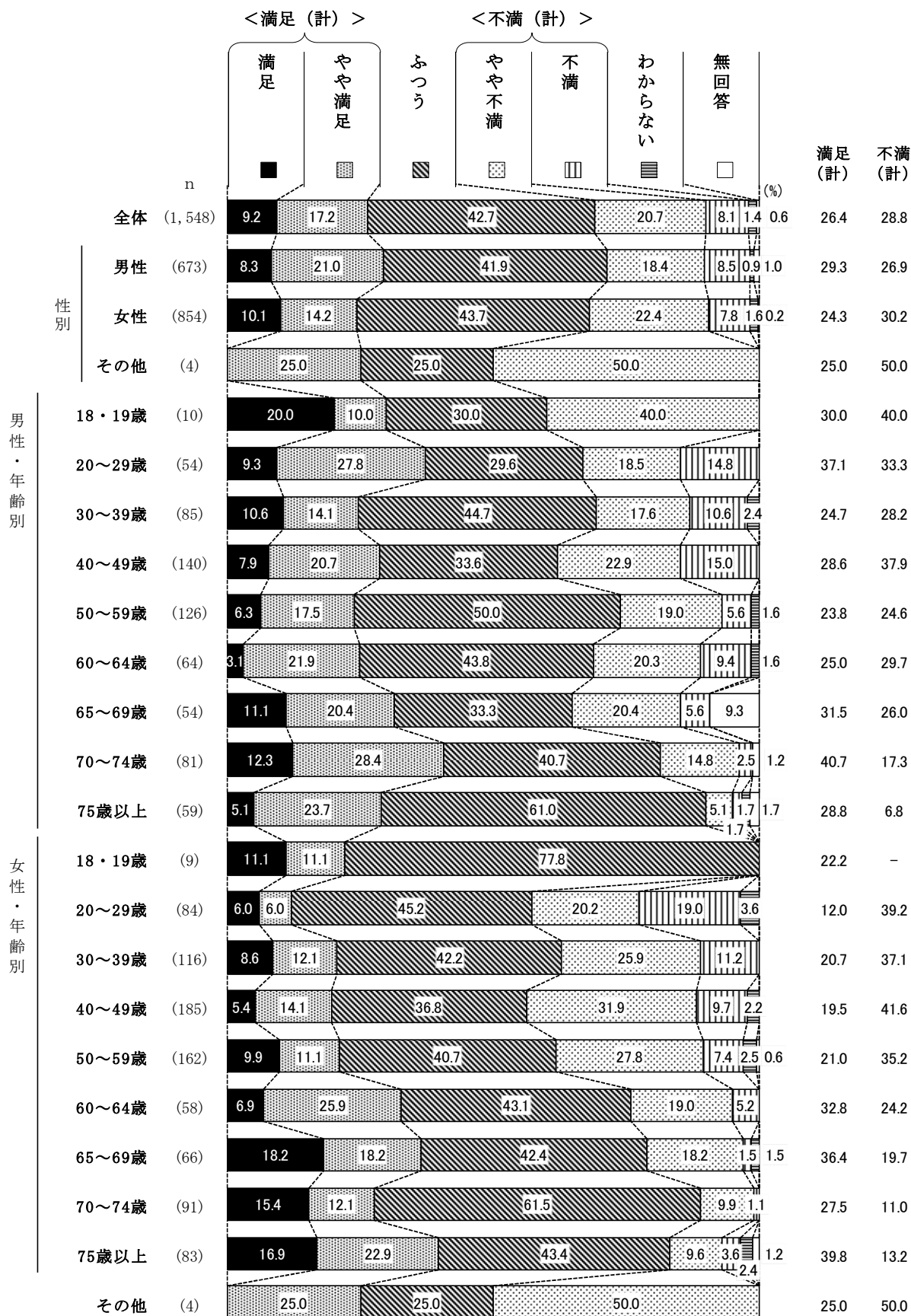


【コ. 地域の治安・安全性／性・年齢別】

性別では、＜満足（計）＞は男性（29.3%）が女性（24.3%）よりも5.0ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、＜満足（計）＞は男性70～74歳（40.7%）で4割強と最も高く、次いで女性75歳以上（39.8%）、男性20～29歳（37.1%）、女性65～69歳（36.4%）となっている。一方、女性20～29歳（12.0%）で1割強と最も低くなっている。（図表2-30）

<図表2-30> コ. 地域の治安・安全性/性・年齢別



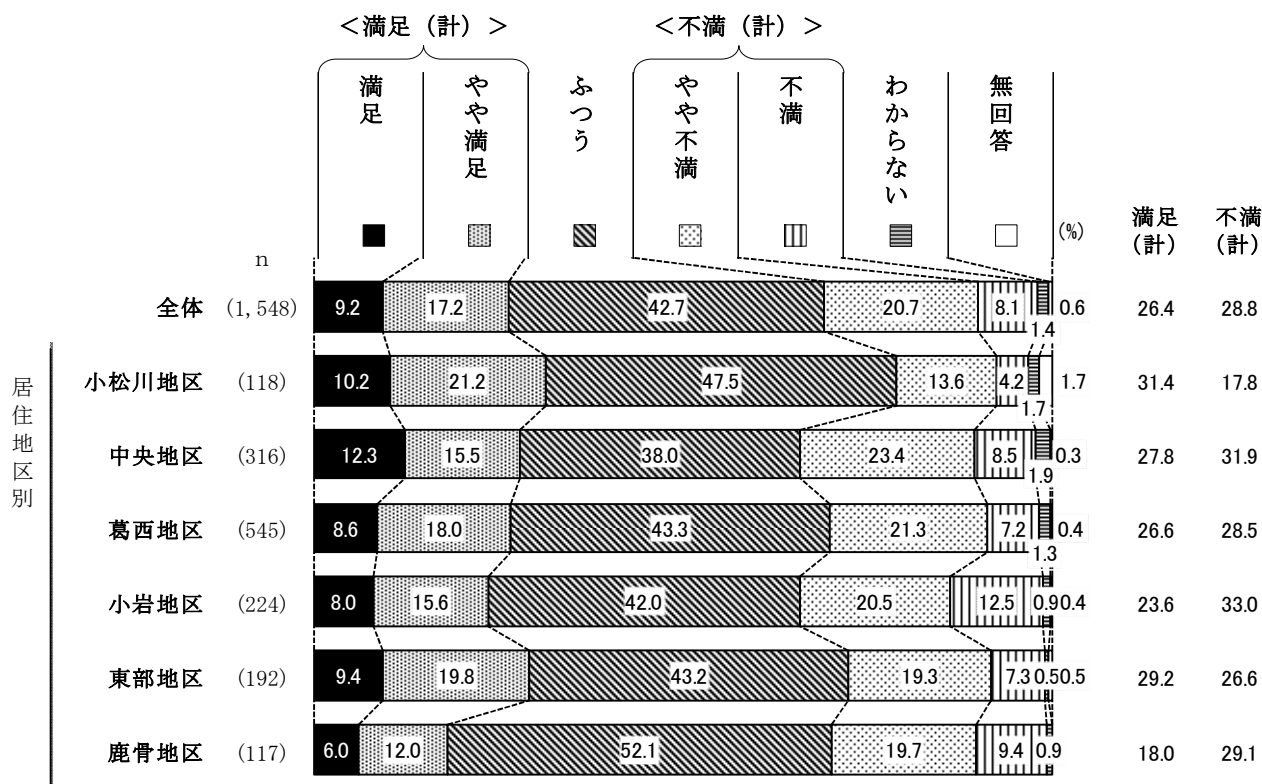
※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【コ. 地域の治安・安全性／居住地区別】

居住地区別にみると、＜満足（計）＞は、“小松川地区”（31.4%）で3割強と最も高く、次いで“東部地区”（29.2%）となっている。一方、“鹿骨地区”（18.0%）で2割弱と最も低くなっている。

（図表2-31）

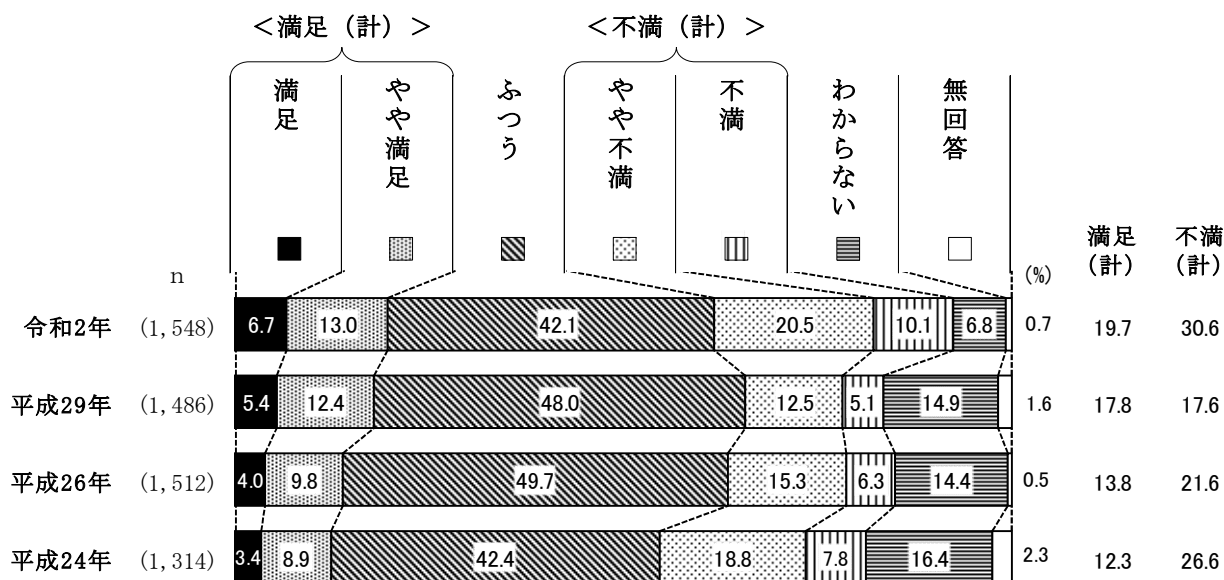
＜図表2-31＞ コ. 地域の治安・安全性／居住地区別



【サ. 災害への備え／時系列比較】

平成 24 年からの調査結果を時系列で見ると、＜満足（計）＞は前回の平成 29 年（17.8%）から 1.9 ポイント増加している。（図表 2-32）

＜図表 2-32＞ サ. 災害への備え／時系列比較



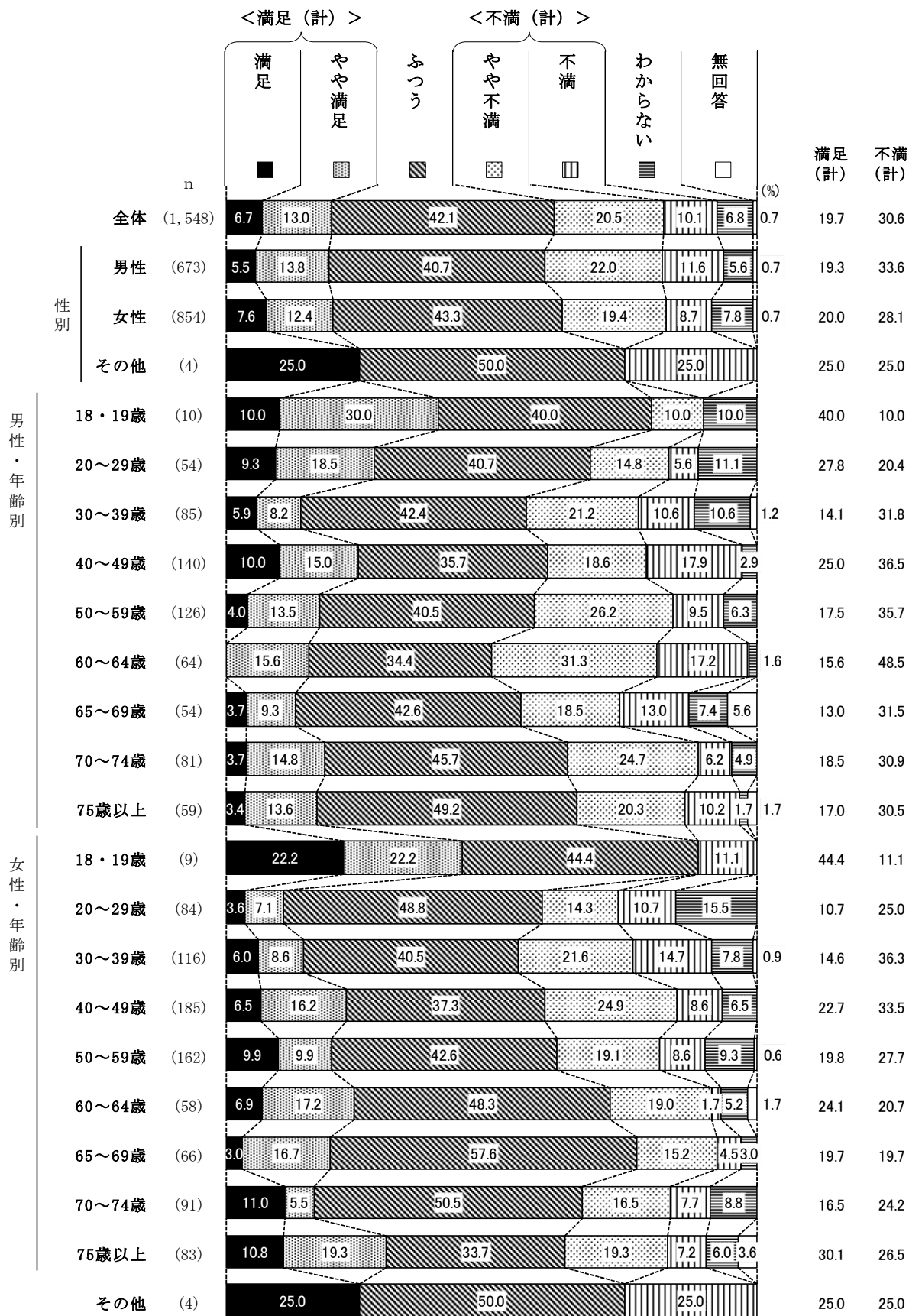
【サ. 災害への備え／性・年齢別】

性別では、男女間にあまり大きな違いはみられない。

性・年齢別にみると、＜満足（計）＞は女性 75 歳以上（30.1%）で 3 割と最も高く、次いで男性 20～29 歳（27.8%）となっている。一方、女性 20～29 歳（10.7%）で 1 割と最も低くなっている。

（図表 2-33）

<図表2-33> サ. 災害への備え／性・年齢別



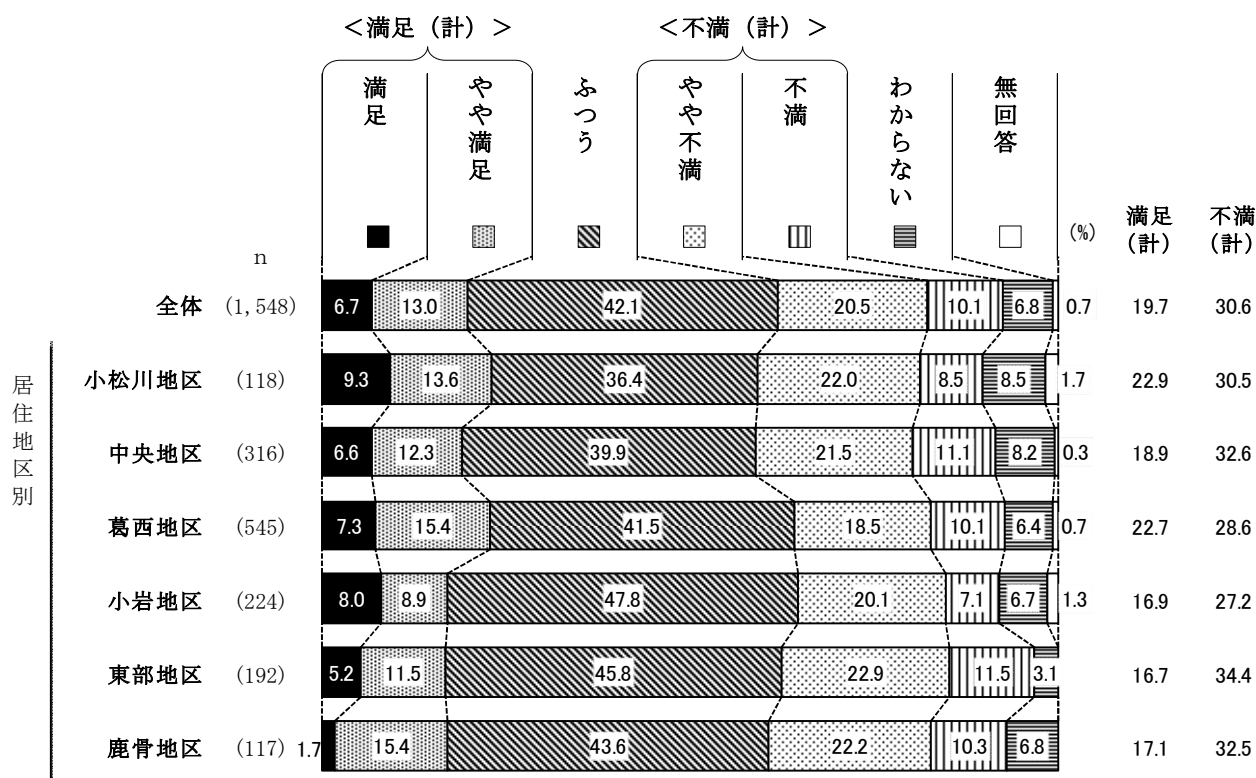
※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【サ. 災害への備え／居住地区別】

居住地区別にみると、＜満足（計）＞は、“小松川地区”（22.9%）と“葛西地区”（22.7%）で2割台と高くなっている。一方、“東部地区”（16.7%）で1割台半ばと最も低くなっている。

（図表2-34）

＜図表2-34＞ サ. 災害への備え／居住地区別

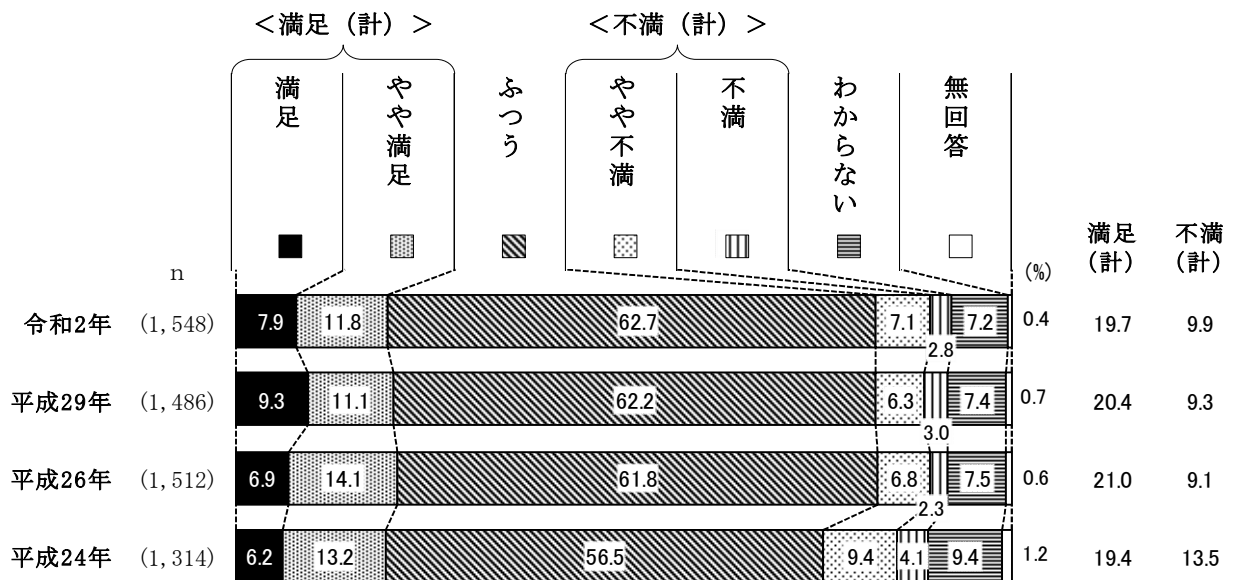


【シ. 近所づきあい／時系列比較】

平成 24 年からの調査結果を時系列で見ると、＜満足（計）＞は大きな変化はみられない。

(図表 2-35)

＜図表 2-35＞ シ. 近所づきあい・助けあい／時系列比較

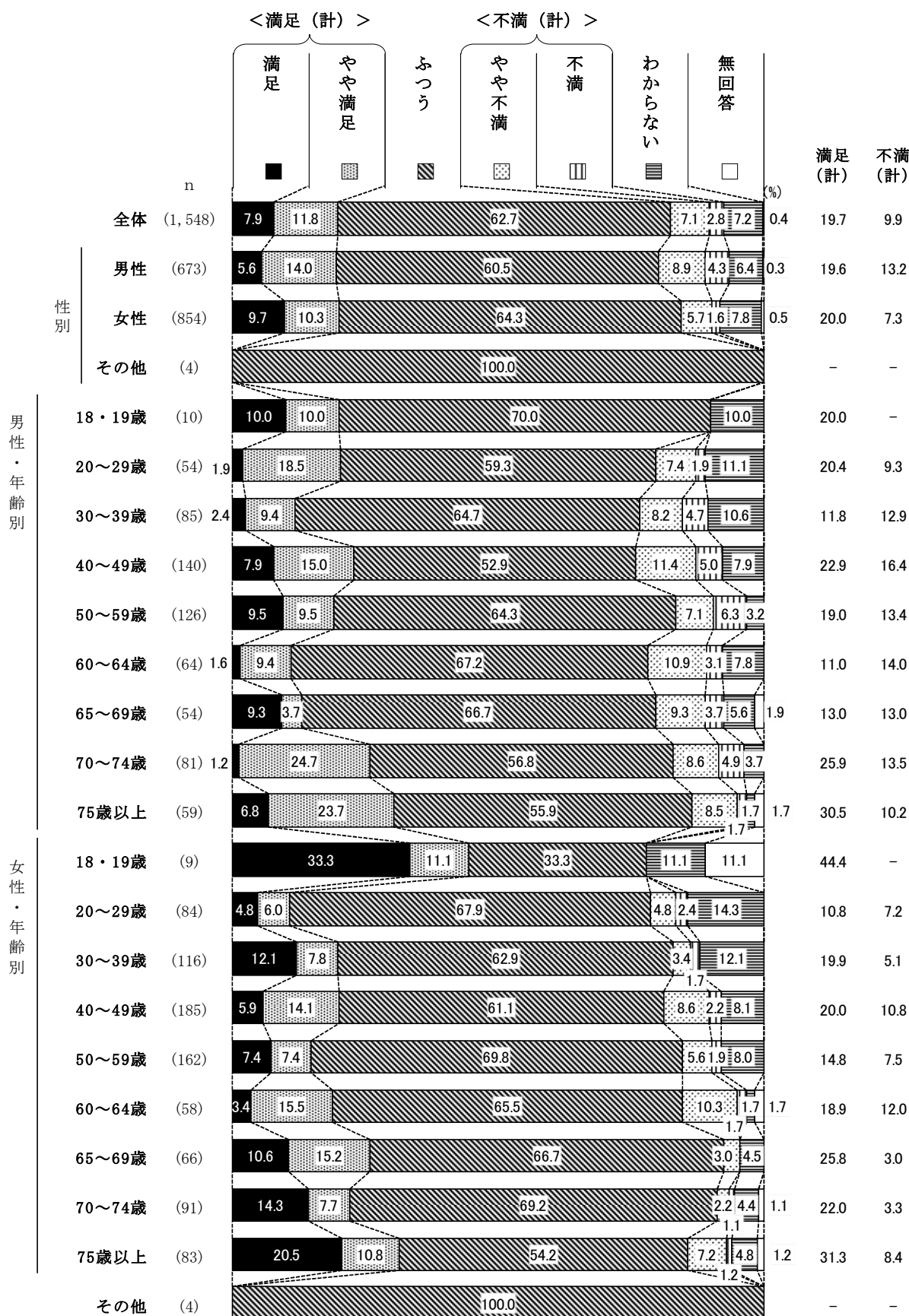


【シ. 近所づきあい／性・年齢別】

性別では、男女間にあまり大きな違いはみられない。

性・年齢別で見ると、＜満足（計）＞は女性 75 歳以上（31.3%）で 3 割強と最も高く、次いで男性 75 歳以上（30.5%）となっている。一方、男性 60～64 歳（11.0%）、女性 20～29 歳（10.8%）で 1 割と低くなっている。(図表 2-36)

<図表2-36> シ. 近所づきあい／性・年齢別

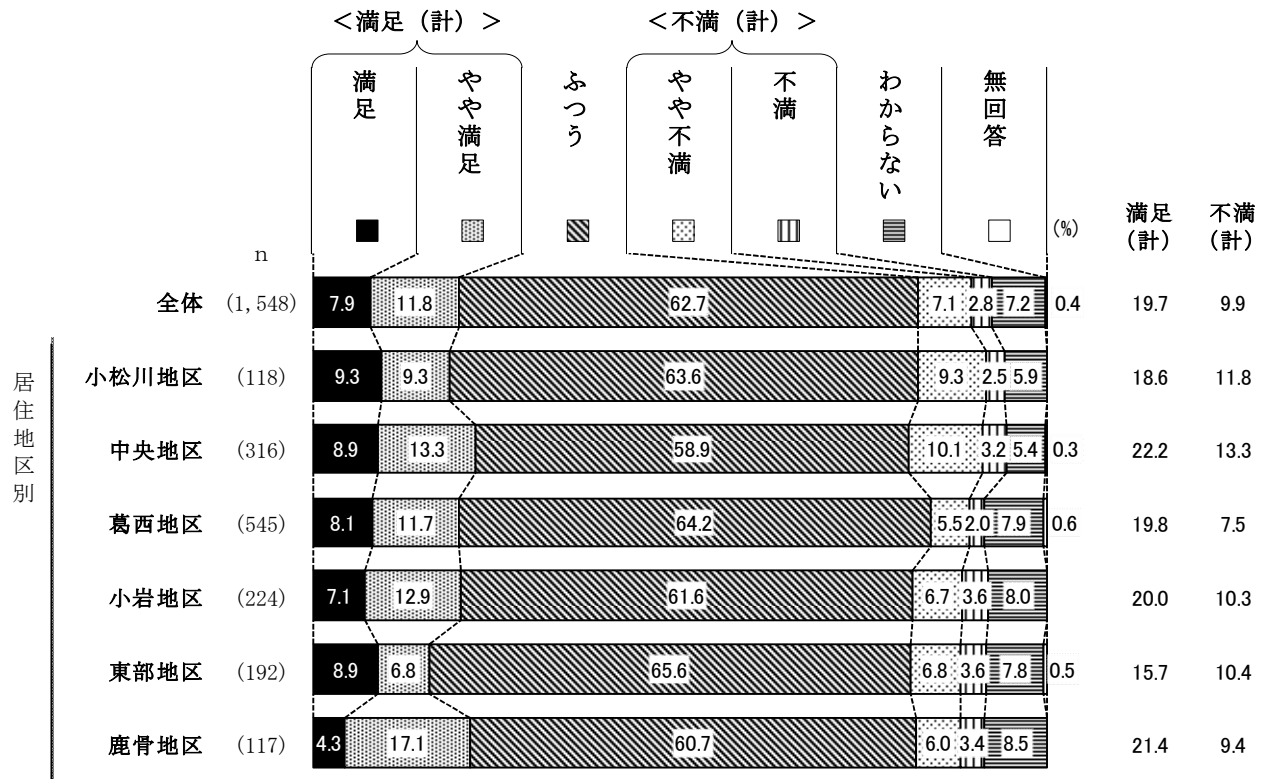


※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【シ. 近所づきあい／居住地区別】

居住地区別にみると、＜満足（計）＞は、“中央地区”（22.2%）、“鹿骨地区”（21.4%）、“小岩地区”（20.0%）で2割台となっている。一方、“東部地区”（15.7%）で1割台半ばと最も低くなっている。（図表2-37）

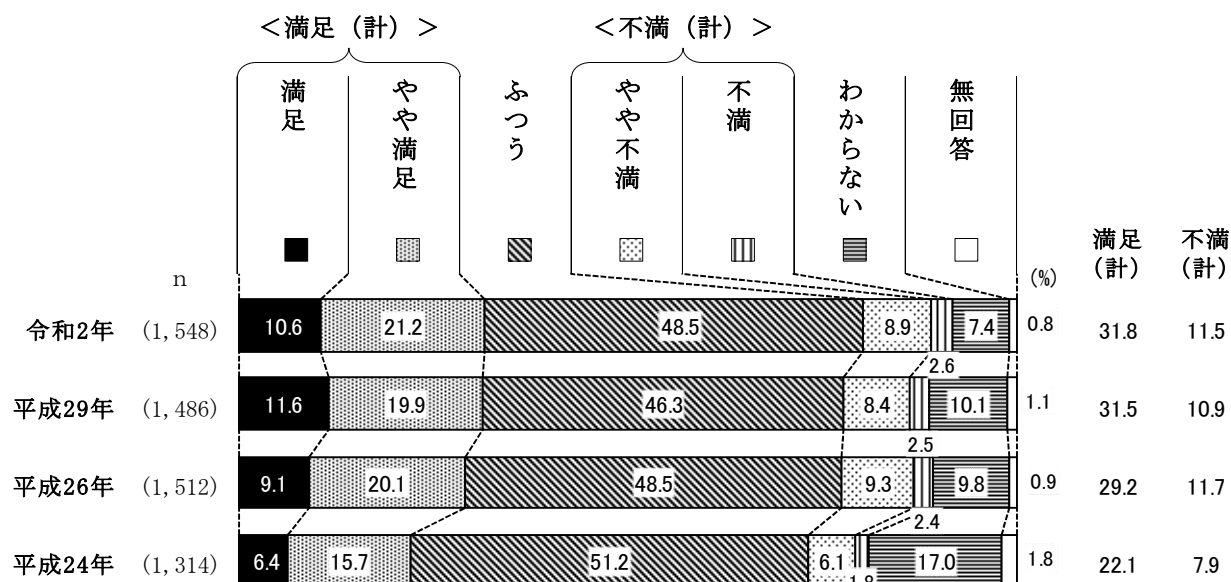
＜図表2-37＞ シ. 近所づきあい／居住地区別



【ス. 文化施設の充実度／時系列比較】※平成24年以前の項目名は“文化活動の充実度”

平成24年からの調査結果を時系列で見ると、＜満足（計）＞は平成26年以降、大きな変化はみられない。（図表2-38）

＜図表2-38＞ ス. 文化施設の充実度／時系列比較

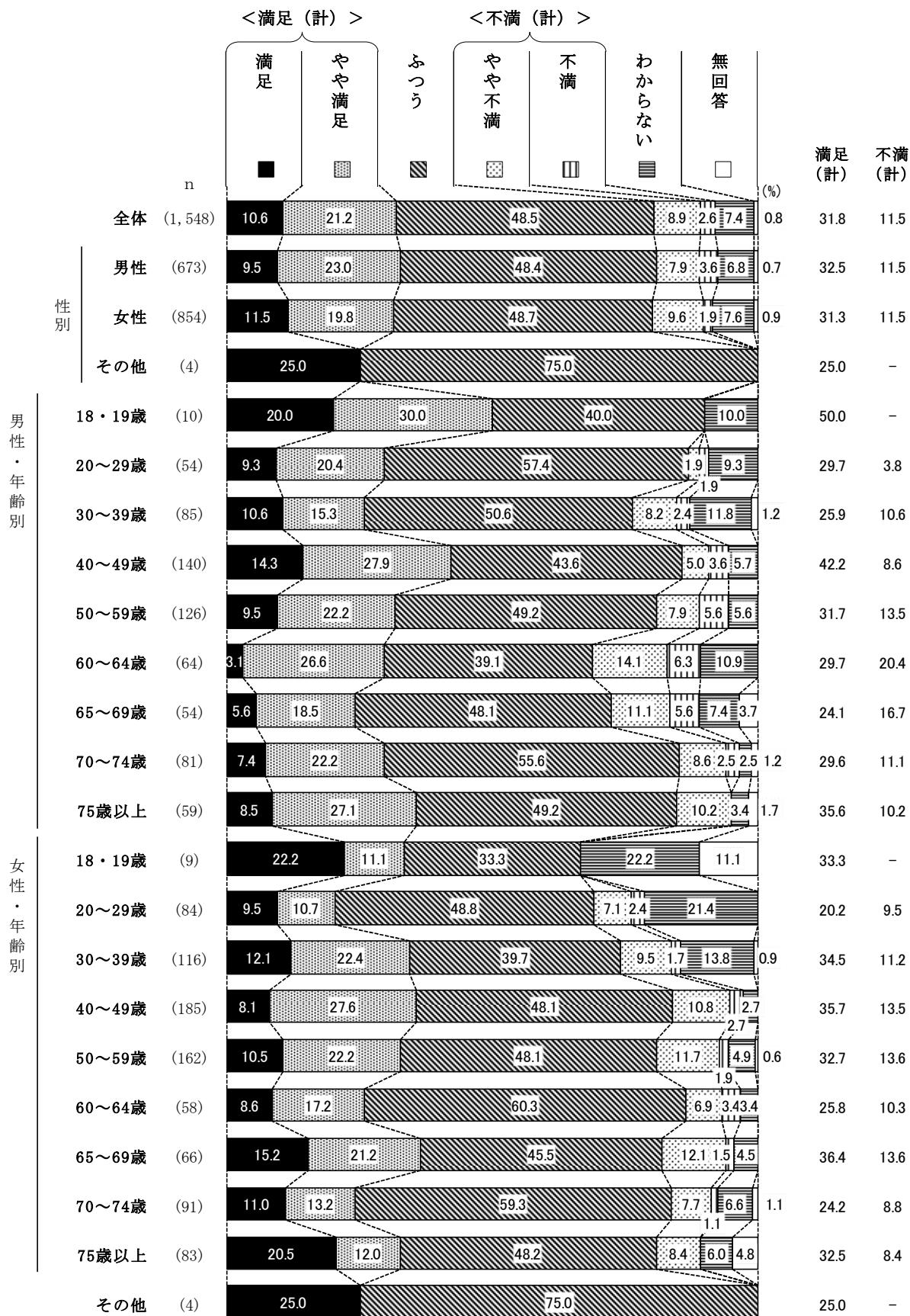


【ス. 文化施設の充実度／性・年齢別】

性別では、＜満足（計）＞は男性（32.5%）が女性（31.3%）よりも1.2ポイント高くなっている。

性・年齢別で見ると、＜満足（計）＞は男性40～49歳（42.2%）で4割強と最も高く、次いで女性65～69歳（36.4%）となっている。一方、女性で最も低いのは20～29歳（20.2%）で2割と低くなっている。（図表2-39）

<図表2-39> ス. 文化施設の充実度／性・年齢別

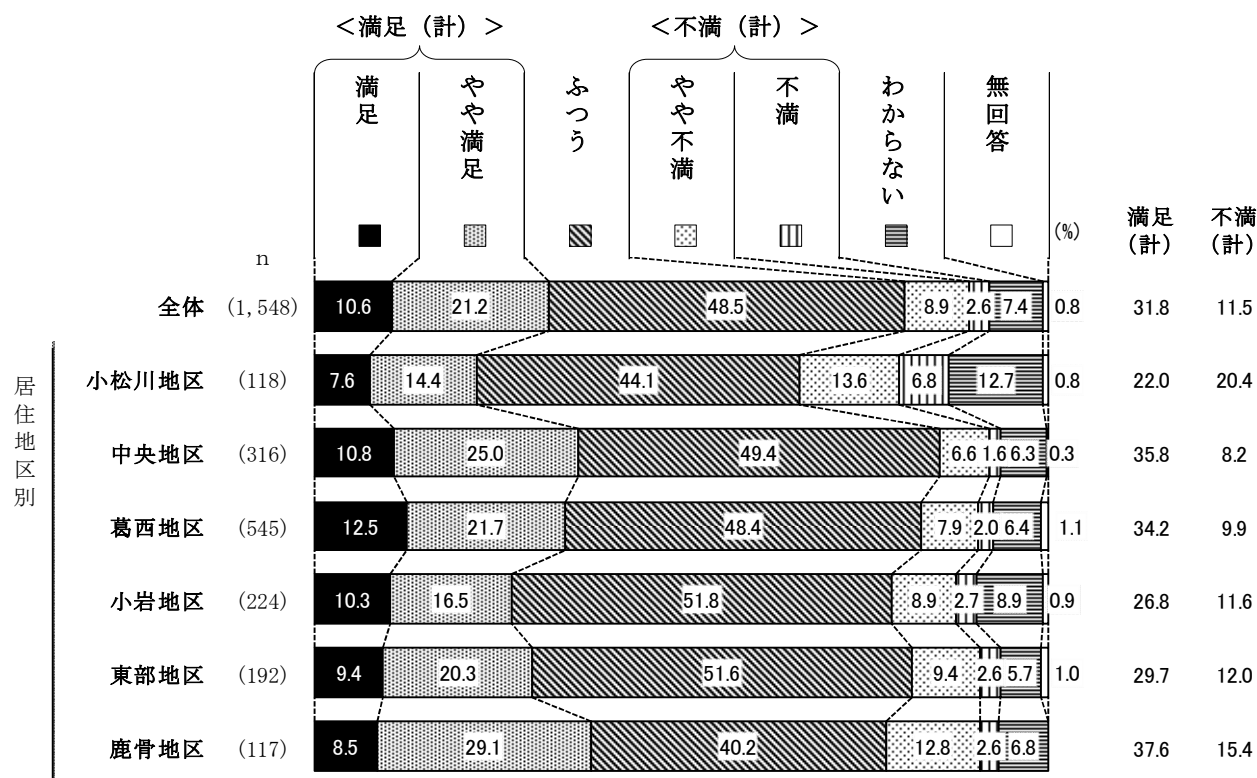


※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【ス. 文化施設の充実度／居住地区別】

居住地区別にみると、＜満足（計）＞は、“鹿骨地区”（37.6%）で4割強と最も高く、次いで“中央地区”（35.8%）、“葛西地区”（34.2%）となっている。一方、“小松川地区”（22.0%）で2割強と最も低くなっている。（図表2-40）

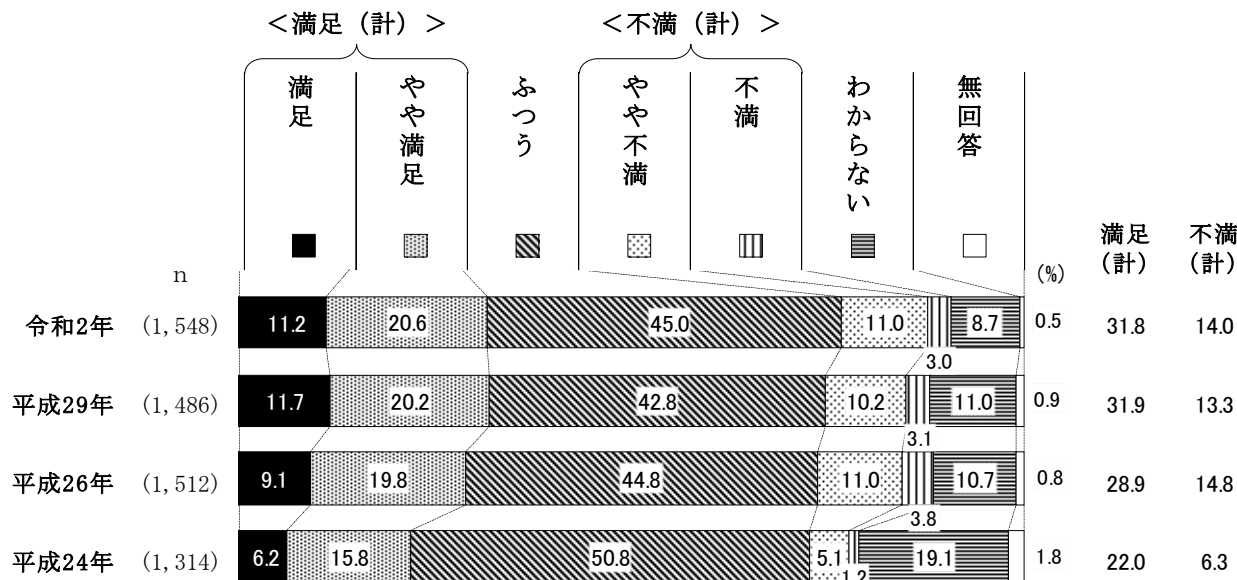
＜図表2-40＞ ス. 文化施設の充実度／居住地区別



【セ. スポーツ施設の充実度／時系列比較】※平成24年以前の項目名は“スポーツ活動の充実度”

平成24年からの調査結果を時系列で見ると、＜満足（計）＞は平成26年以降、大きな変化はみられない。（図表2-41）

＜図表2-41＞ セ. スポーツ施設の充実度／時系列比較

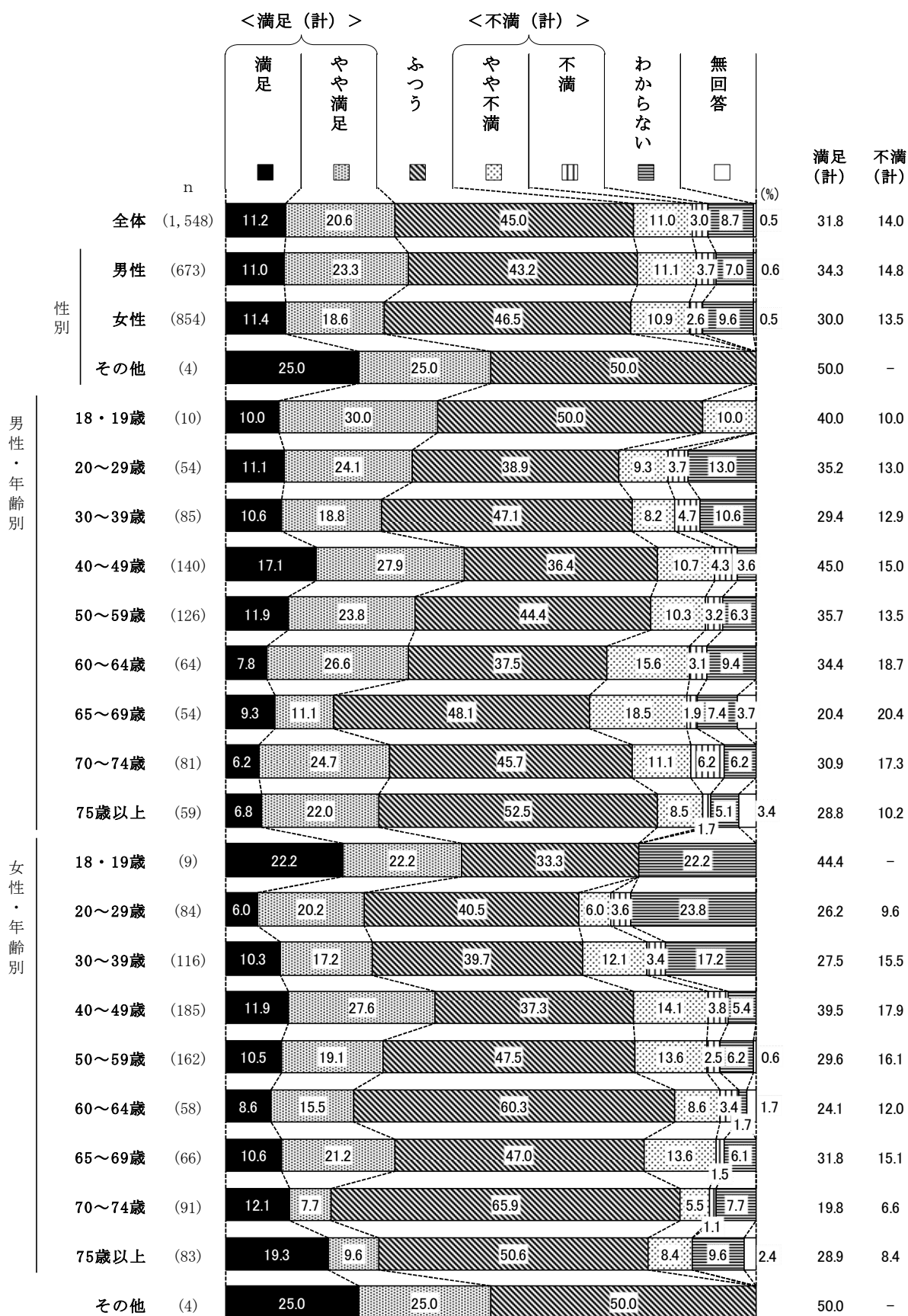


【セ. スポーツ施設の充実度／性・年齢別】

性別では、＜満足（計）＞は男性（34.3%）が女性（30.0%）よりも4.3ポイント高くなっている。

性・年齢別で見ると、＜満足（計）＞は男性40～49歳（45.0%）で4割台半ばと最も高く、次いで女性40～49歳（39.5%）となっている。一方、女性70～74歳（19.8%）で2割弱と最も低くなっている。（図表2-42）

<図表2-42> セ. スポーツ施設の充実度/性・年齢別

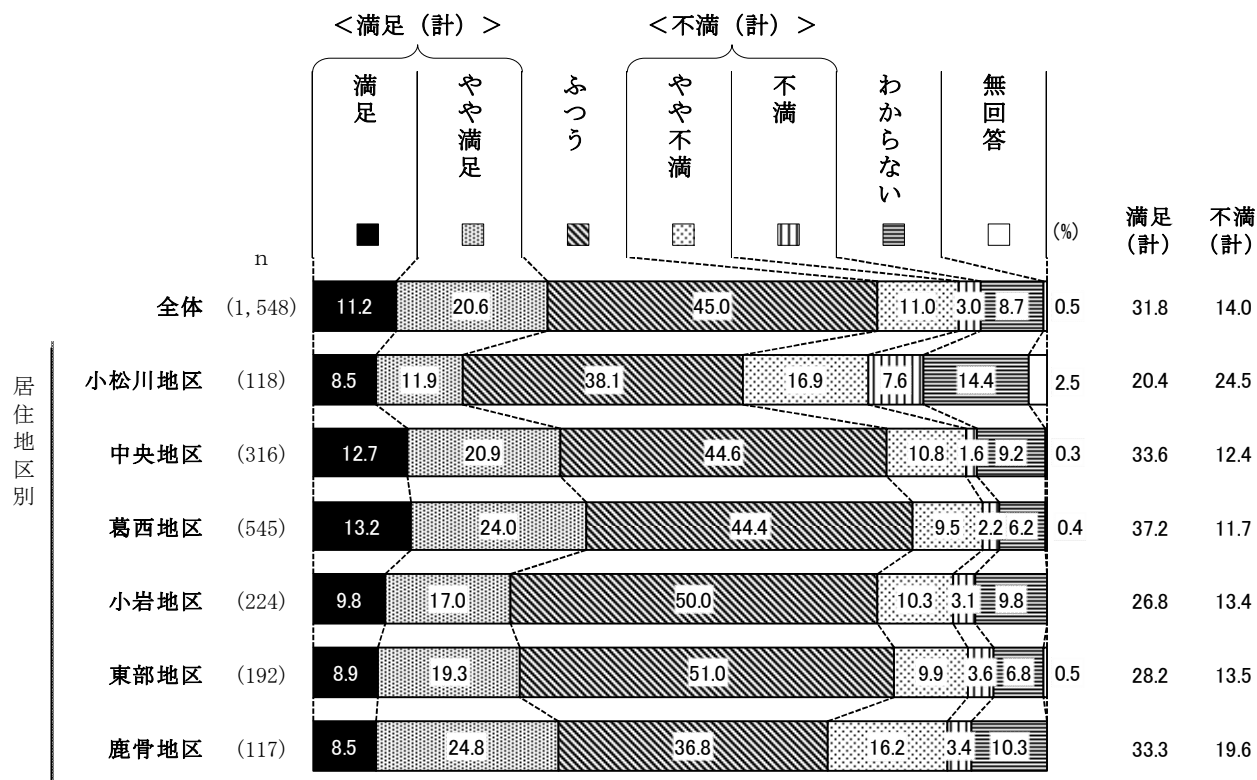


※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【セ. スポーツ施設の充実度／居住地区別】

居住地区別にみると、＜満足（計）＞は、“葛西地区”（37.2%）で3割台半ばと最も高く、次いで“中央地区”（33.6%）、“鹿骨地区”（33.3%）となっている。一方、“小松川地区”（20.4%）で2割と最も低くなっている。（図表2-43）

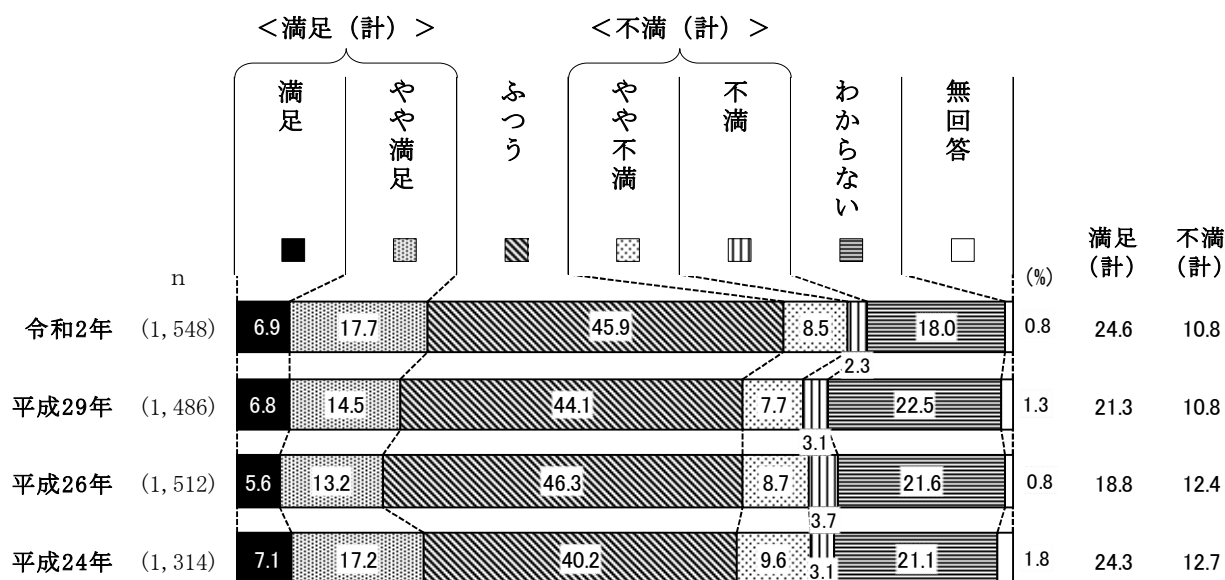
＜図表2-43＞ セ. スポーツ施設の充実度／居住地区別



【ソ. 熟年者の生活環境／時系列比較】

平成 24 年からの調査結果を時系列で見ると、＜満足（計）＞は前回の平成 29 年（21.3%）より 3.3 ポイント増加している。（図表 2-44）

＜図表 2-44＞ ソ. 熟年者の生活環境／時系列比較

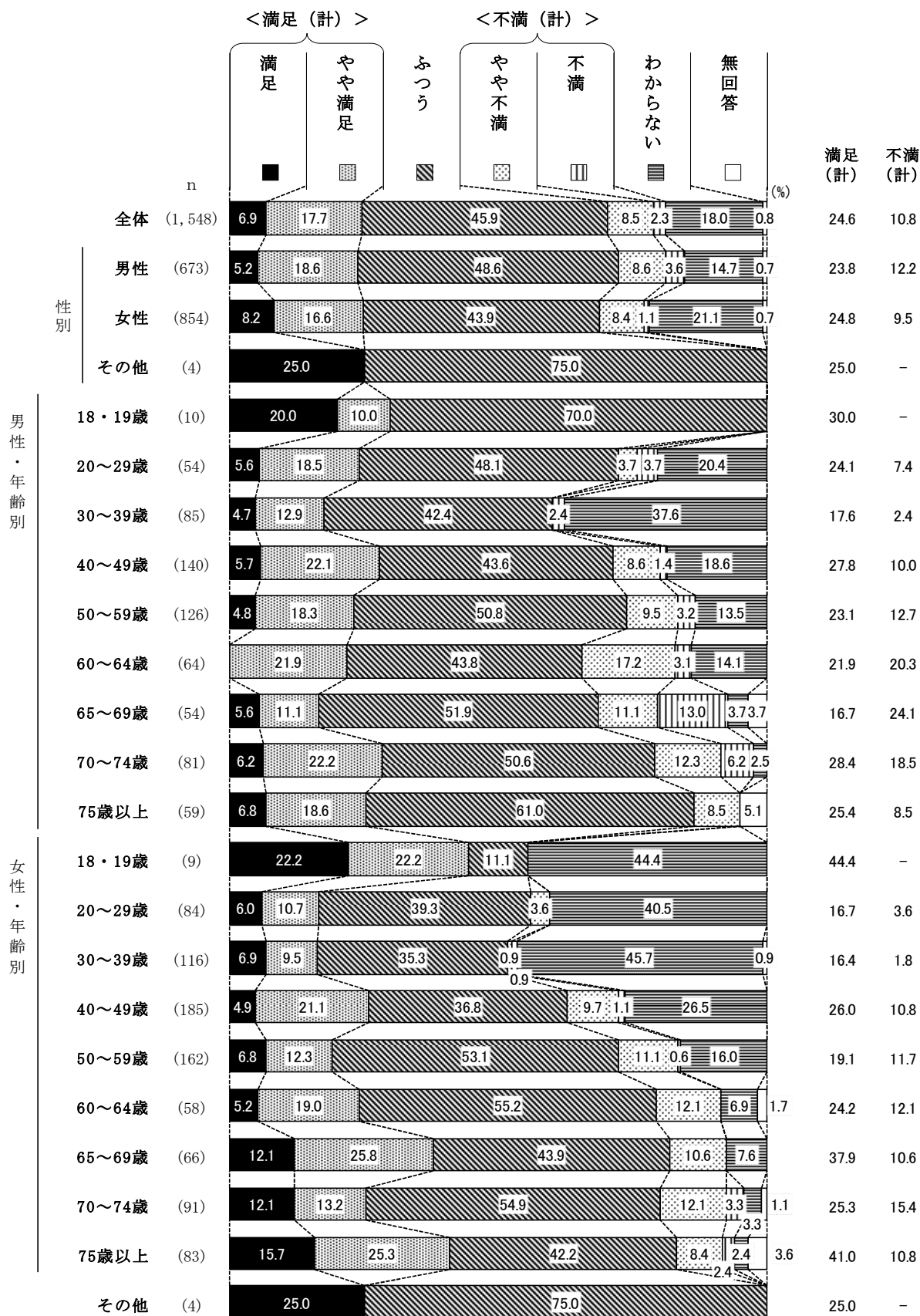


【ソ. 熟年者の生活環境／性・年齢別】

性別では、＜満足（計）＞は女性（24.8%）が男性（23.8%）よりも1.0ポイント高くなっている。

性・年齢別で見ると、＜満足（計）＞は女性75歳以上（41.0%）で4割強と最も高く、次いで女性65～69歳（37.9%）となっている。一方、男性65～69歳・女性20～29歳（16.7%）、女性30～39歳（16.4%）で1割台半ばと低くなっている。（図表 2-45）

<図表2-45> ソ. 熟年者の生活環境／性・年齢別

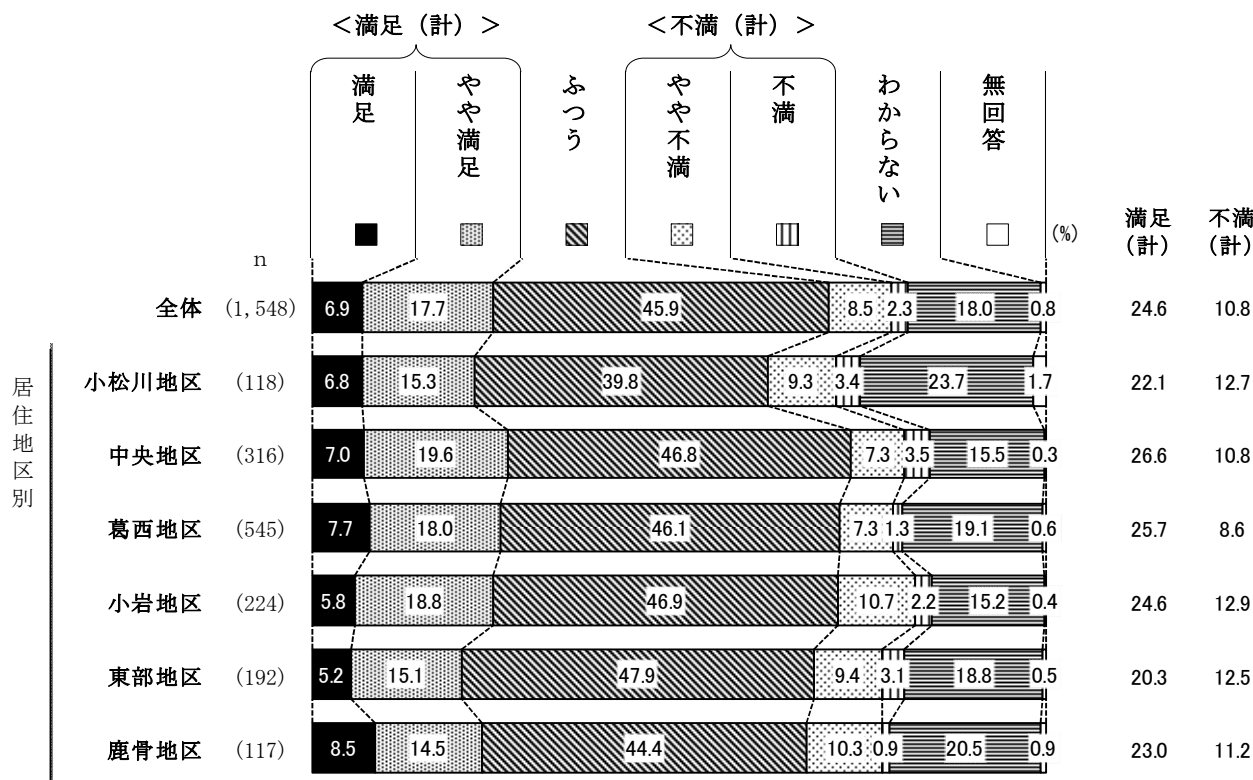


※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【ソ. 熟年者の生活環境／居住地区別】

居住地区別にみると、＜満足（計）＞は、“中央地区”（26.6%）で2割台半ばと最も高くなっている。一方、“東部地区”（20.3%）で約2割と最も低くなっている。（図表2-46）

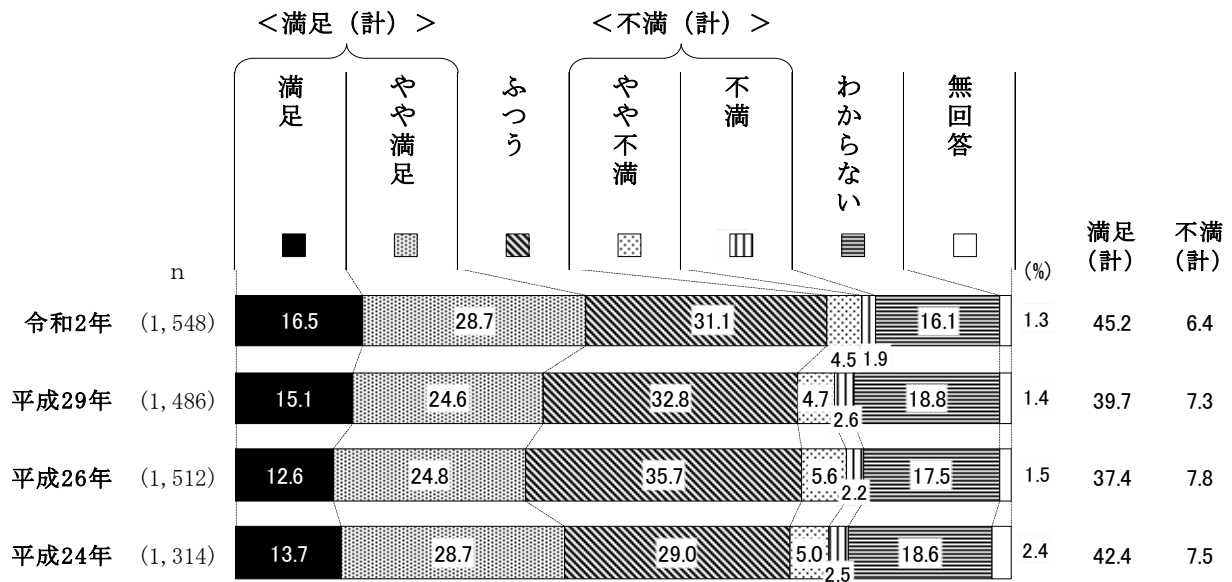
＜図表2-46＞ ソ. 熟年者の生活環境／居住地区別



【タ. 子育て環境／時系列比較】

平成 24 年からの調査結果を時系列で見ると、＜満足（計）＞は前回の平成 29 年（39.7%）から 5.5 ポイント増加している。（図表 2-47）

＜図表 2-47＞ タ. 子育て環境／時系列比較

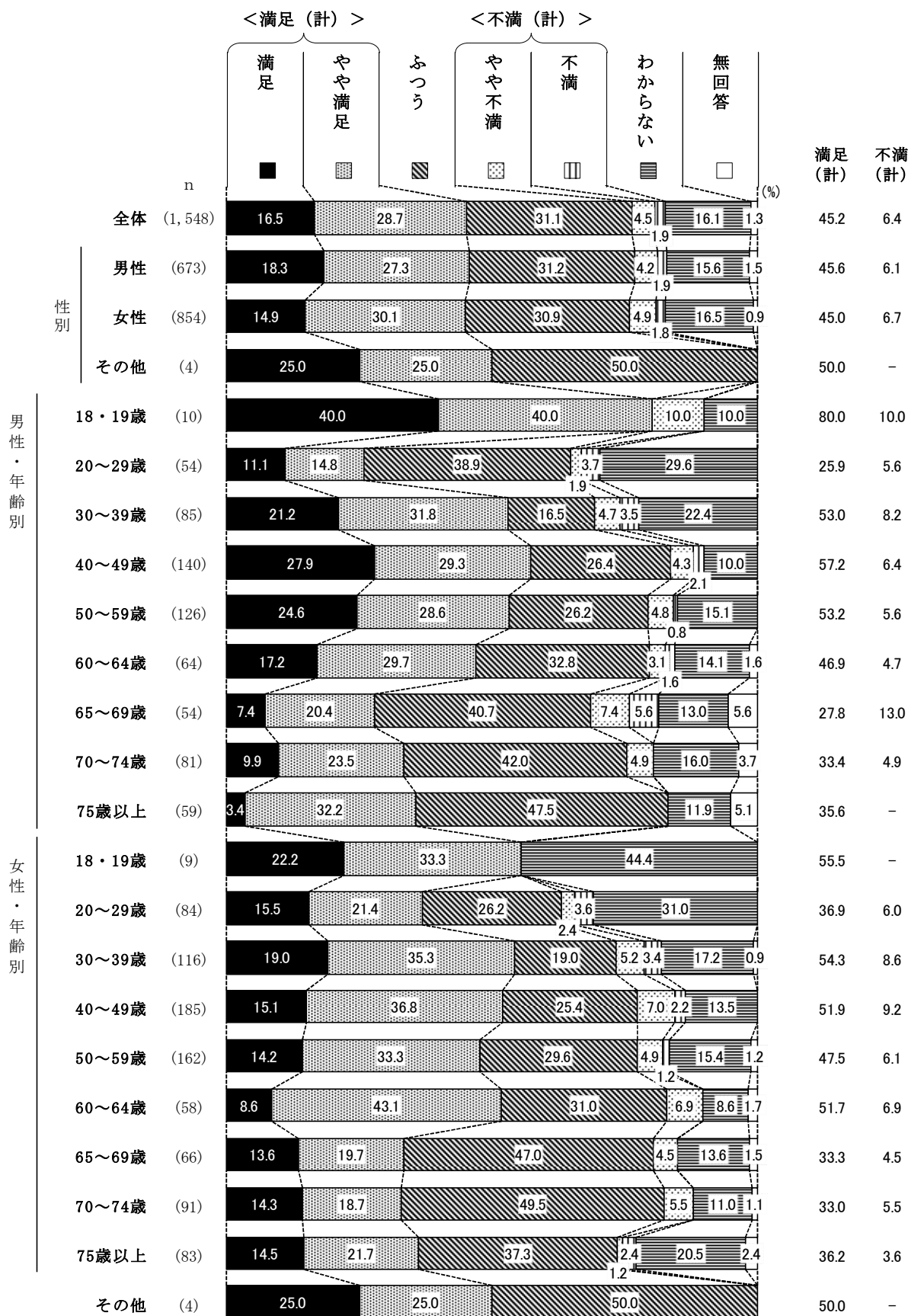


【タ. 子育て環境／性・年齢別】

性別では、男女間にあまり大きな違いはみられない。

性・年齢別で見ると、＜満足（計）＞は男性40～49歳（57.2%）で5割台半ばと最も高く、次いで女性30～39歳（54.3%）、男性50～59歳（53.2%）となっている。一方、男性20～29歳（25.9%）で2割台半ばと最も低くなっている。（図表 2-48）

<図表2-48> タ. 子育て環境／性・年齢別

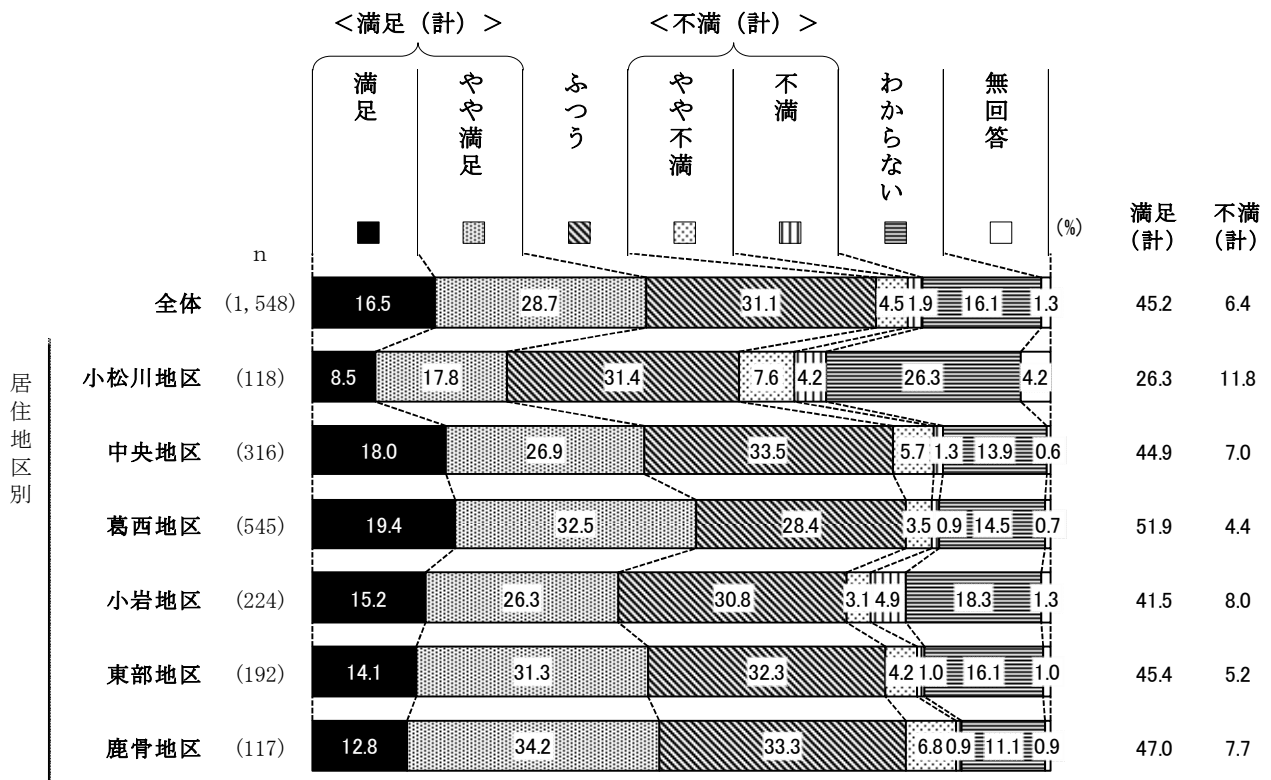


※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【タ. 子育て環境／居住地区別】

居住地区別にみると、＜満足（計）＞は、“葛西地区”（51.9%）で5割強と最も高く、次いで“鹿骨地区”（47.0%）となっている。一方、“小松川地区”（26.3%）で2割台半ばと最も低くなっている。（図表2-49）

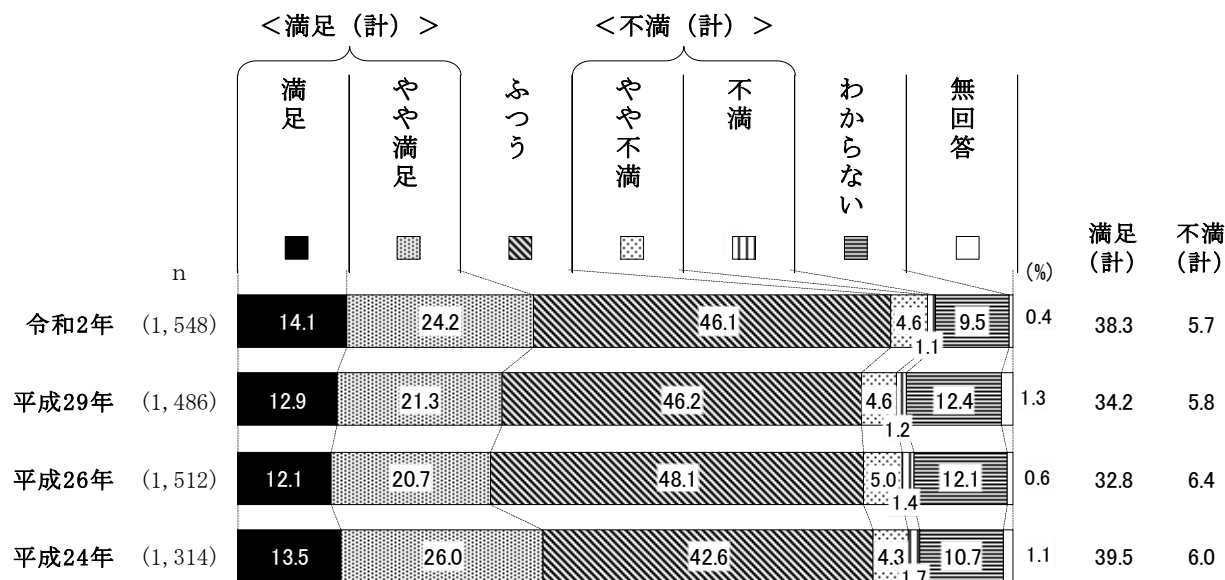
＜図表2-49＞ タ. 子育て環境／居住地区別



【チ. 健康相談・健康診査／時系列比較】

平成 24 年からの調査結果を時系列で見ると、＜満足（計）＞は前回の平成 29 年（34.2%）から 4.1 ポイント増加している。（図表 2-50）

＜図表 2-50＞ チ. 健康相談・健康診査／時系列比較

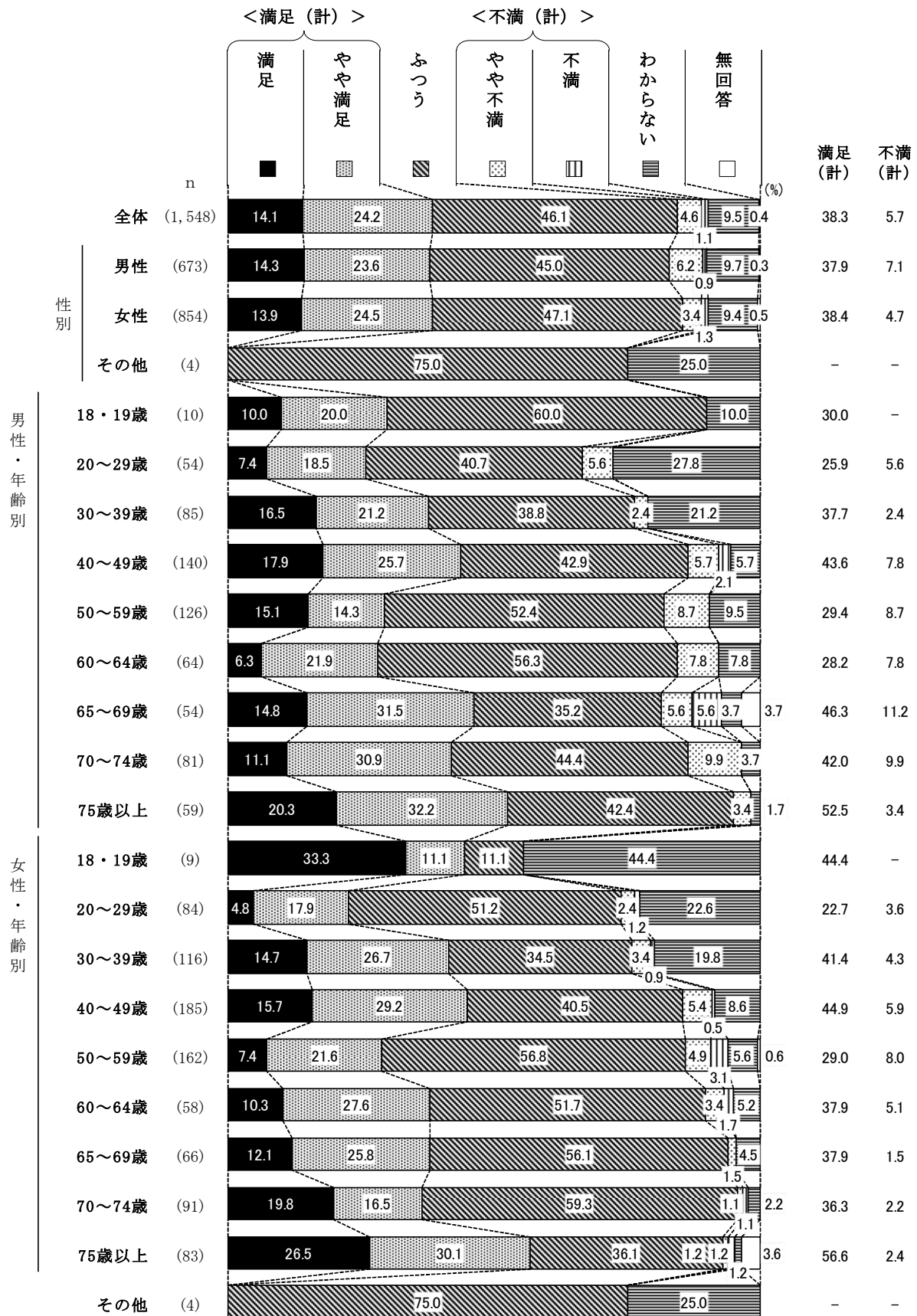


【チ. 健康相談・健康診査／性・年齢別】

性別では、＜満足（計）＞は男女間に特に大きな違いはみられない。

性・年齢別で見ると、＜満足（計）＞は女性75歳以上（56.6%）で5割台半ばと最も高く、次いで男性75歳以上（52.5%）となっている。一方、女性20～29歳（22.7%）で2割台半ばと最も低くなっている。（図表 2-51）

<図表2-51> 子. 健康相談・健康診査/性・年齢別

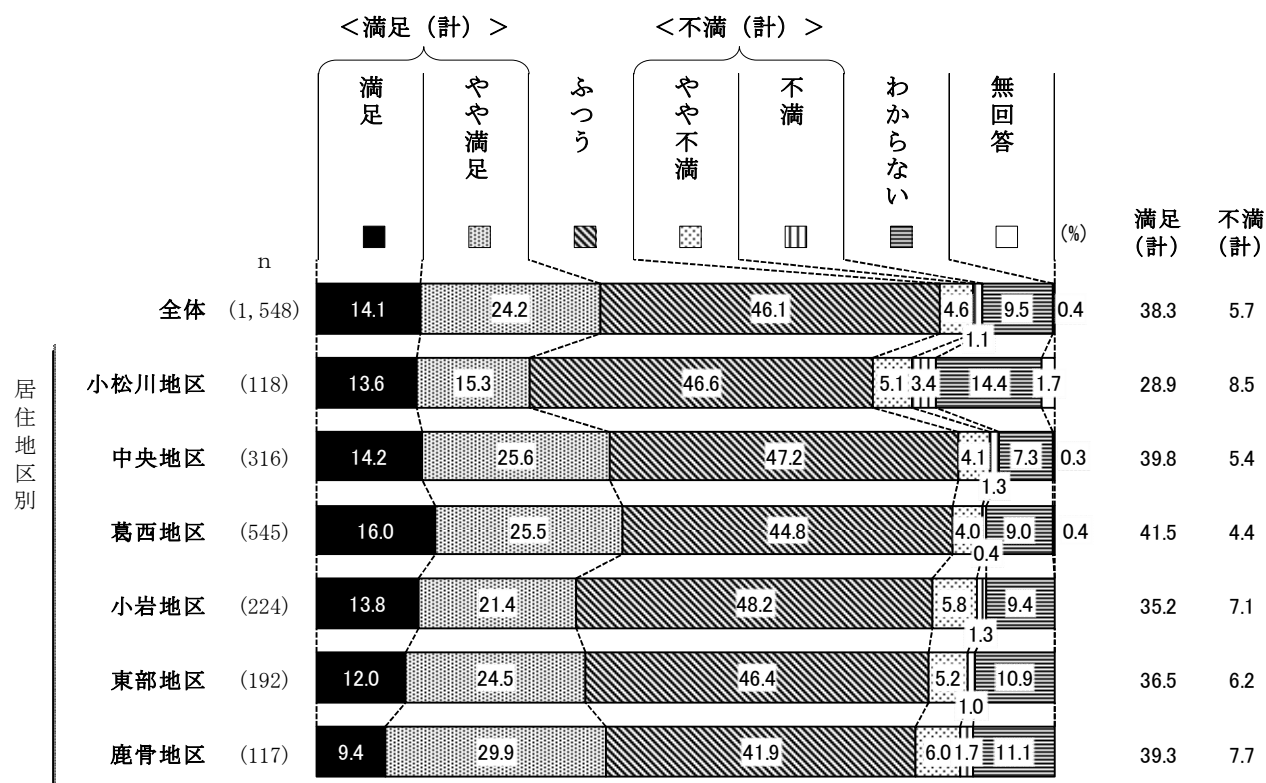


※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【チ. 健康相談・健康診査／居住地区別】

居住地区別にみると、＜満足（計）＞は、“葛西地区”（41.5%）で4割強と最も高く、次いで“中央地区”（39.8%）、“鹿骨地区”（39.3%）となっている。一方、“小松川地区”（28.9%）で3割弱と最も低くなっている。（図表2-52）

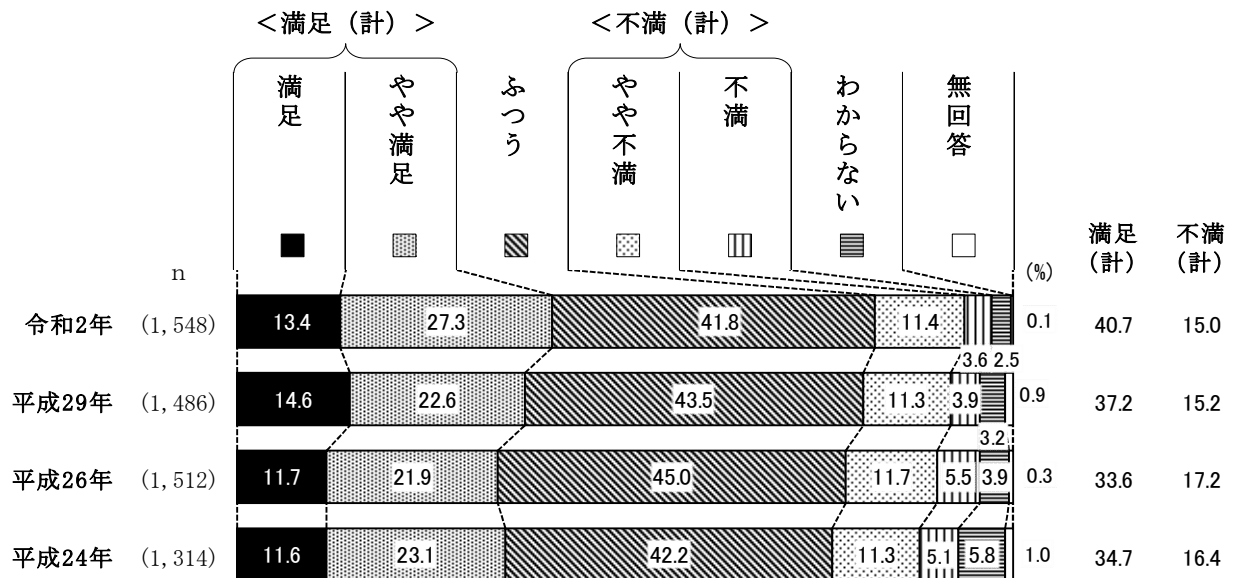
＜図表2-52＞ チ. 健康相談・健康診査／居住地区別



【ツ. 病院・診療所の充実度／時系列比較】※平成24年以前の項目名は“医療機関・医療体制”

平成24年からの調査結果を時系列で見ると、＜満足（計）＞は前回の平成29年（37.2%）から3.5ポイント増加している。（図表2-53）

＜図表2-53＞ ツ. 病院・診療所の充実度／時系列比較

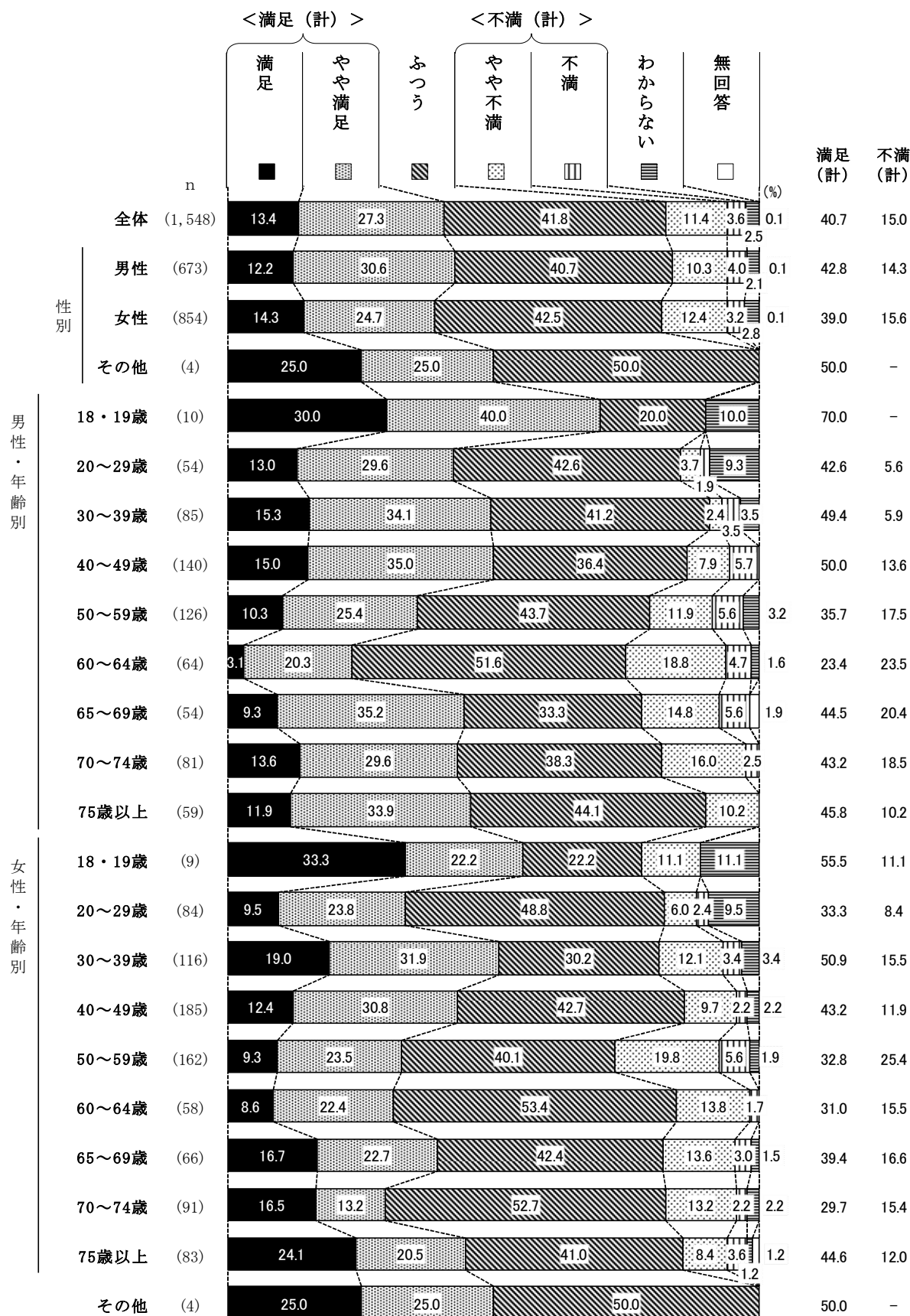


【ツ. 病院・診療所の充実度／性・年齢別】

性別では、＜満足（計）＞は男性（42.8%）が女性（39.0%）よりも3.8ポイント高くなっている。

性・年齢別で見ると、＜満足（計）＞は女性30～39歳（50.9%）で5割強と最も高く、次いで男性40～49歳（50.0%）、男性30～39歳（49.4%）となっている。一方、男性60～64歳（23.4%）で2割台半ばと最も低くなっている。（図表2-54）

<図表2-54> ツ. 病院・診療所の充実度／性・年齢別

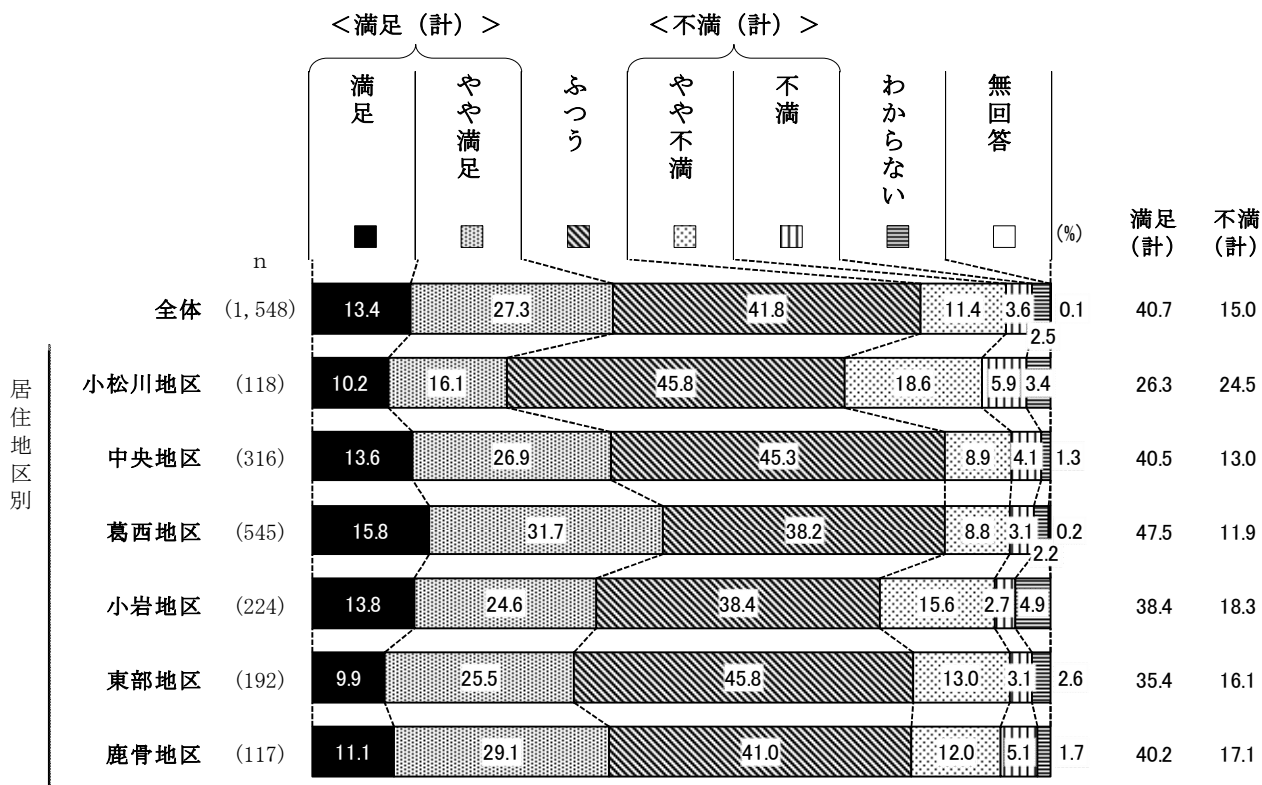


※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【ツ. 病院・診療所の充実度／居住地区別】

居住地区別にみると、＜満足（計）＞は、“葛西地区”（47.5%）で4割台半ばと最も高く、次いで“中央地区”（40.5%）、“鹿骨地区”（40.2%）となっている。一方、“小松川地区”（26.3%）で2割台半ばと最も低くなっている。（図表2-55）

＜図表2-55＞ ツ. 病院・診療所の充実度／居住地区別

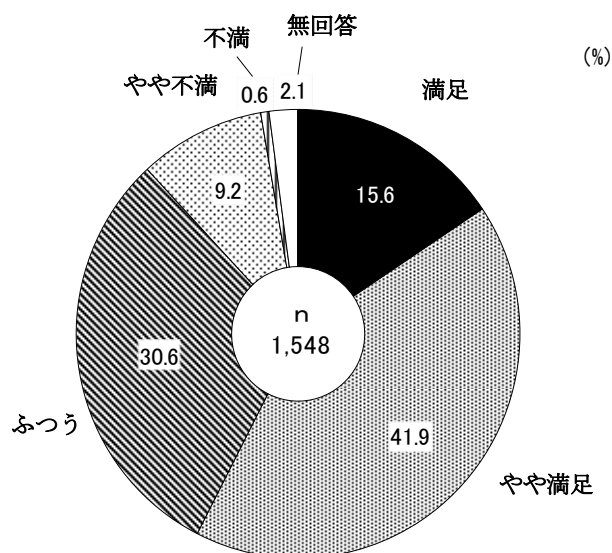


(2) 区の現況への満足度

◇ <満足(計)>が5割強

問5 あなたは、区の現況を総合的にみた場合、どの程度満足していますか。(○は1つだけ)

<図表2-56> 区の現況への満足度



(注) <満足(計)> = 「満足」 + 「やや満足」・・・57.5%

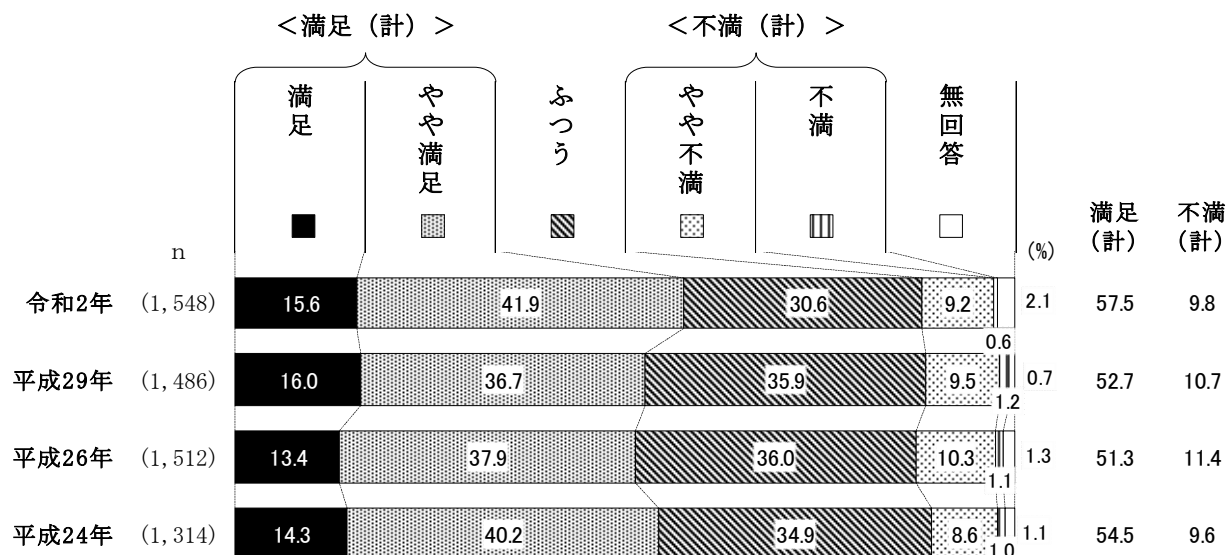
<不満(計)> = 「不満」 + 「やや不満」・・・9.8%

区の現況への満足度を尋ねたところ、「満足」(15.6%)と「やや満足」(41.9%)を合わせた<満足(計)>(57.5%)となり、「やや不満」(9.2%)と「不満」(0.6%)を合わせた<不満(計)>(9.8%)を上回っている。(図表2-56)

【時系列比較】

平成 24 年からの調査結果を時系列で見ると、＜満足（計）＞は前回の平成 29 年（52.7%）から 4.8 ポイント増加している。（図表 2－57）

＜図表 2－57＞ 区の現況への満足度／時系列比較

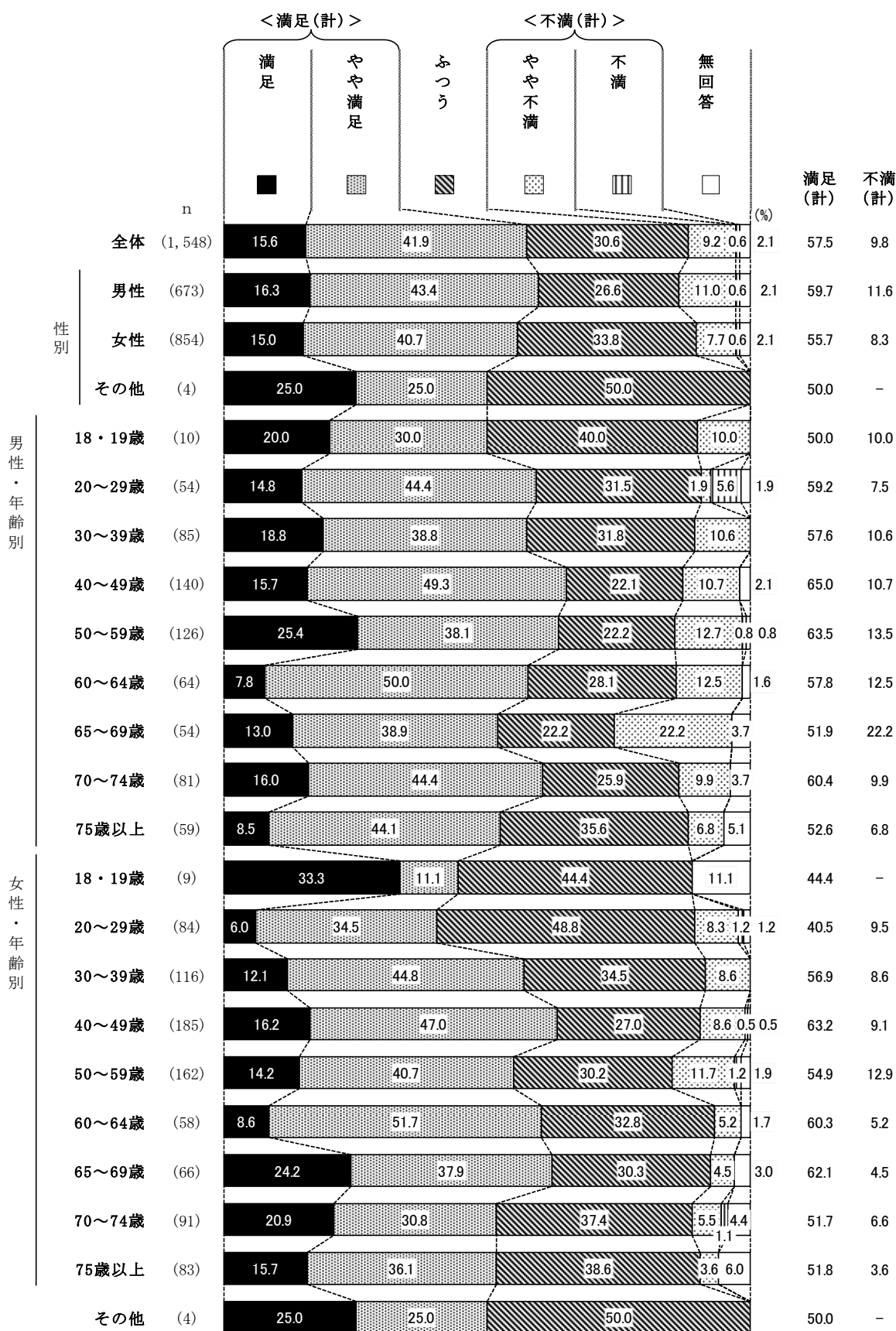


【性・年齢別】

性別では、＜満足（計）＞は男性（59.7%）が女性（55.7%）よりも 4.0 ポイント高くなっている。

性・年齢別で見ると、＜満足（計）＞は男性 40～49 歳（65.0%）で 6 割台半ばと最も高く、次いで男性 50～59 歳（63.5%）となっている。一方、女性 20～29 歳（40.5%）で 4 割と最も低くなっている。（図表 2－58）

<図表2-58> 区の現況への満足度／性・年齢別

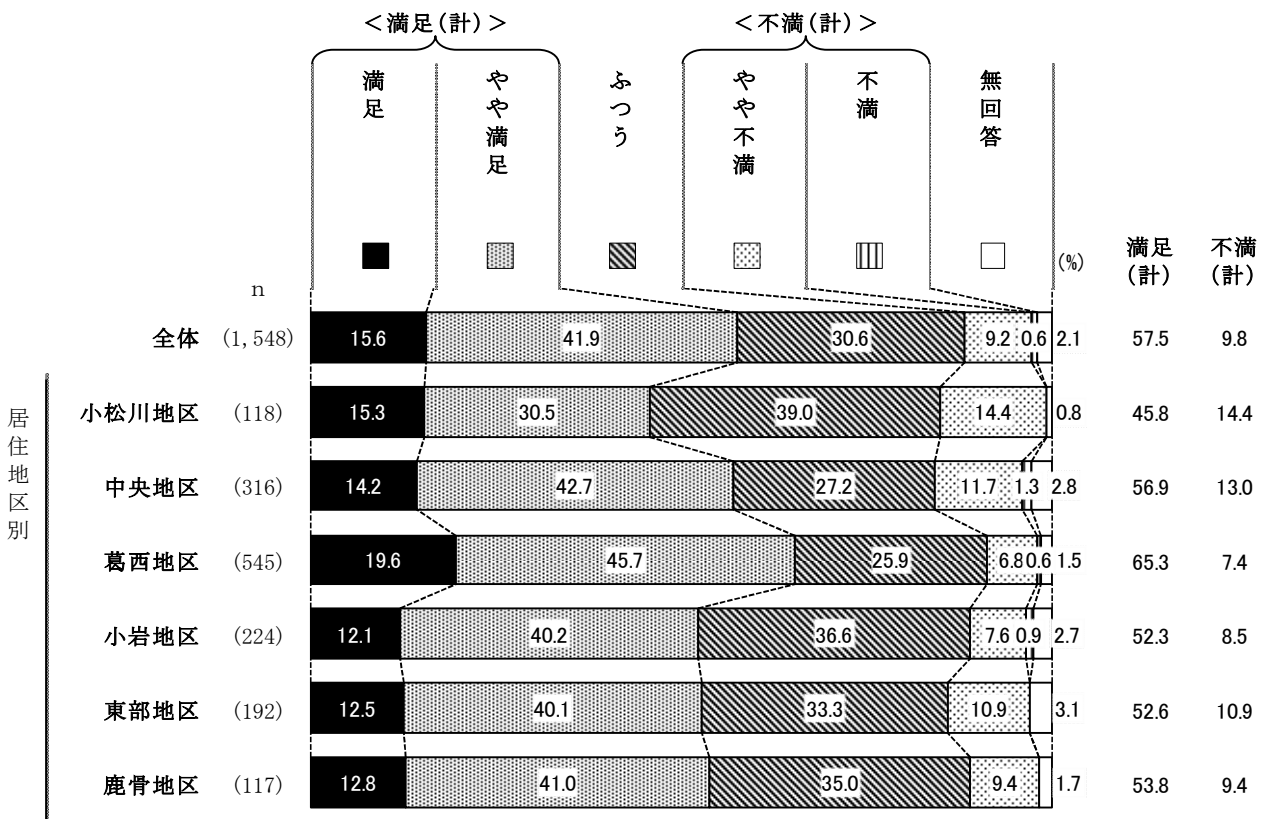


※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【居住地区別】

居住地区別でみると、＜満足（計）＞は、“葛西地区”（65.3%）で6割台半ばと最も高く、次いで“中央地区”（56.9%）となっている。一方、“小松川地区”（45.8%）で4割台半ばと最も低くなっている。（図表2-59）

＜図表2-59＞ 区の現況への満足度／居住地区別



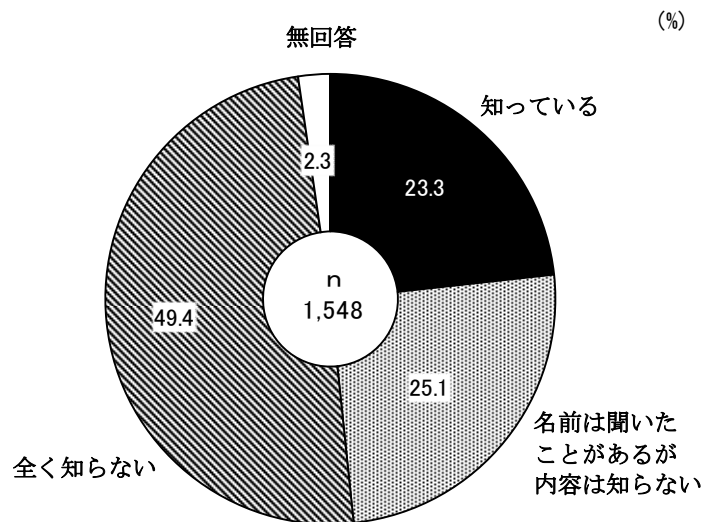
3. SDGsについて

(1) SDGsについての認知度

◇ 「知っている」が2割台半ば

問6 あなたは「SDGs」を知っていますか。(○は1つ)

<図表3-1> SDGsについての認知度



(注) <知らない(計)> = 「名前を聞いたことがあるが内容は知らない」 + 「全く知らない」・・・74.5%

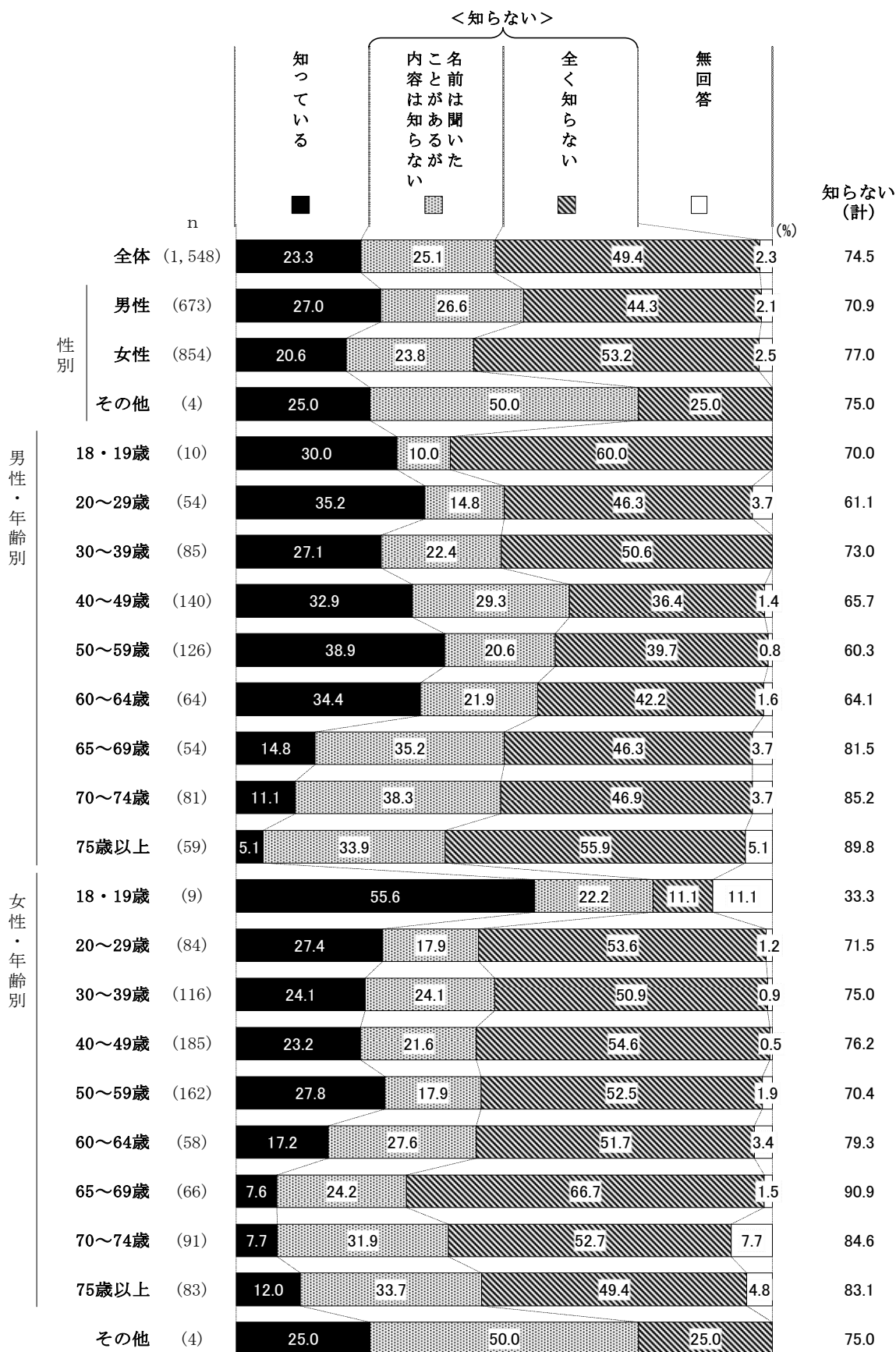
SDGsについての認知度について尋ねたところ、「知っている」が23.3%、「名前を聞いたことがあるが内容は知らない」(25.1%)と「全く知らない」(49.4%)を合わせた<知らない(計)>が74.5%となっている。(図表3-1)

【性・年齢別】

性別では、「知っている」は男性(27.0%)が女性(20.6%)よりも6.4ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「知っている」は男性50~59歳(38.9%)で4割弱と最も高く、次いで男性20~29歳(35.2%)、男性60~64歳(34.4%)となっている。

<図表3-2> SDGsについての認知度/性・年齢別



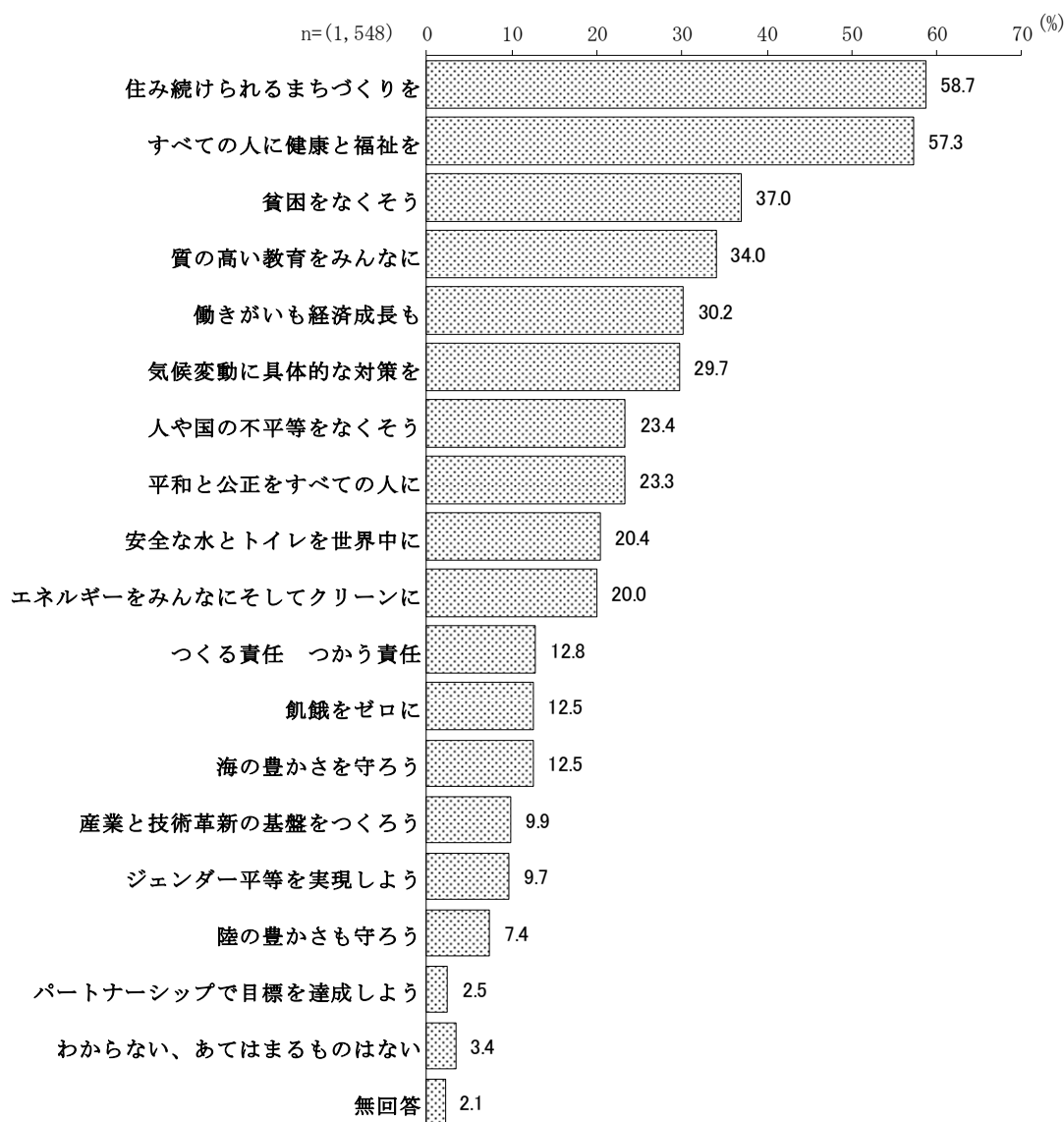
※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

(2) 「SDGs」17の目標（ゴール）のうち、区が特に力を入れて取り組んでほしい目標（ゴール）

◇ 「住み続けられるまちづくりを」、「すべての人に健康と福祉を」が6割弱

問7 「SDGs」17の目標（ゴール）のうち、区が特に力を入れて取り組んでほしい目標（ゴール）をお答えください。（〇は5つまで）

<図表3-3> 「SDGs」17の目標（ゴール）のうち、区が特に力を入れて取り組んでほしい目標（ゴール）



「SDGs」17の目標（ゴール）のうち、区が特に力を入れて取り組んでほしい目標（ゴール）について尋ねたところ、「住み続けられるまちづくりを」（58.7%）、「すべての人に健康と福祉を」（57.3%）が上位となり、以下、「貧困をなくそう」（37.0%）、「質の高い教育をみんなに」（34.0%）、「働きがいも 経済成長も」（30.2%）、「気候変動に具体的な対策を」（29.7%）の順で続いている。

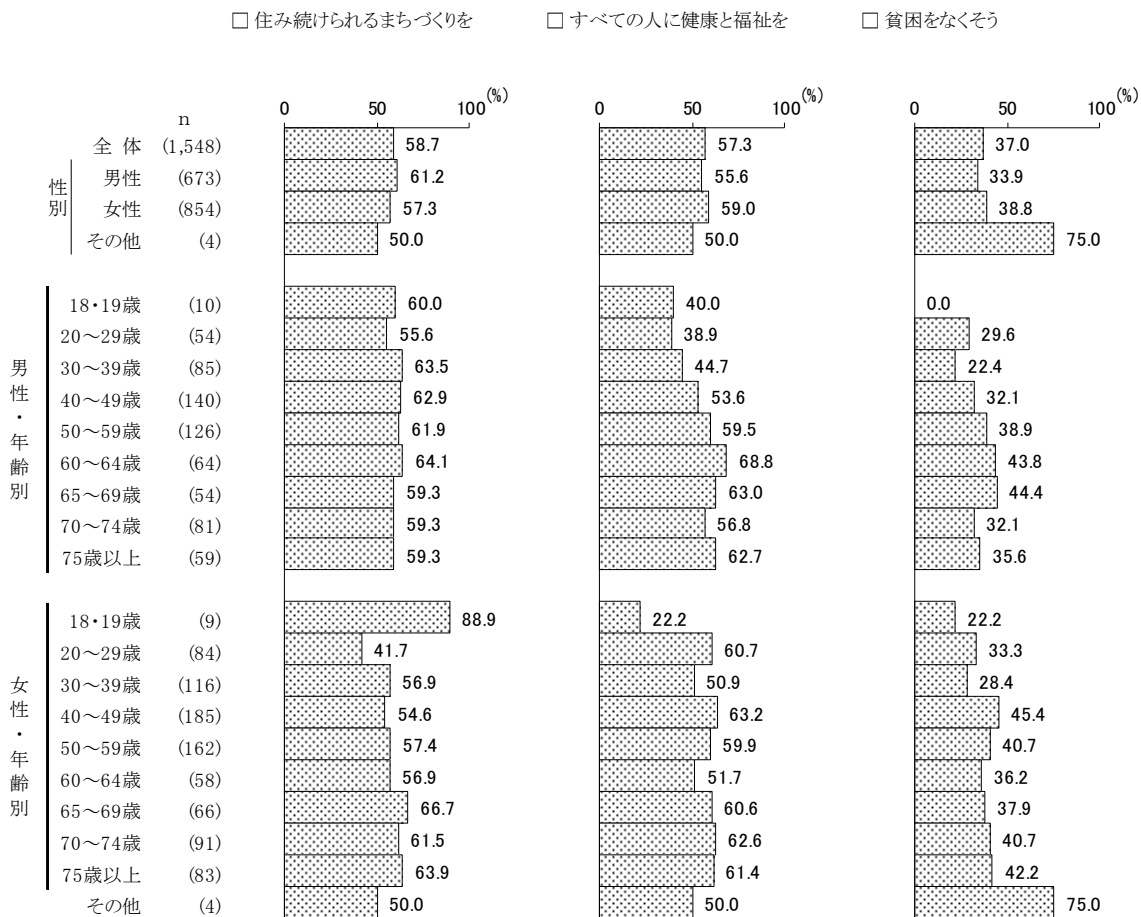
（図表3-3）

【性・年齢別】

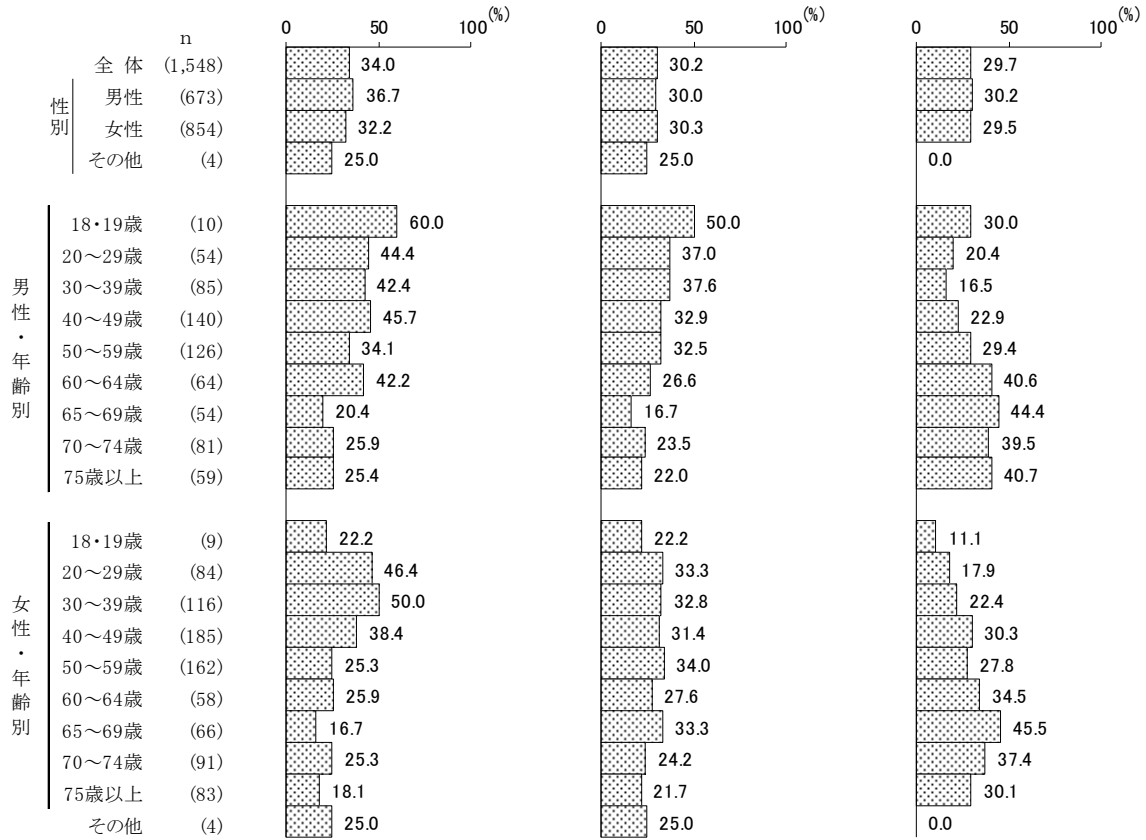
性別では、「住み続けられるまちづくりを」は男性（61.2%）が女性（57.3%）より3.9ポイント高く、「質の高い教育をみんなに」も男性（36.7%）が女性（32.2%）よりも4.5ポイント高くなっている。また、「すべての人に健康と福祉を」は女性（59.0%）が男性（55.6%）より3.4ポイント高く、「貧困をなくそう」も女性（38.8%）が男性（33.9%）よりも4.9ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「住み続けられるまちづくりを」は女性65～69歳（66.7%）、「すべての人に健康と福祉を」は男性60～64歳（68.8%）、「貧困をなくそう」は女性40～49歳（45.4%）でそれぞれ最も高い。また、「質の高い教育をみんなに」は女性30～39歳（50.0%）、「働きがいも 経済成長も」は男性30～39歳（37.6%）、「気候変動に具体的な対策を」は女性65～69歳（45.5%）でそれぞれ最も高くなっている。（図表3-4）

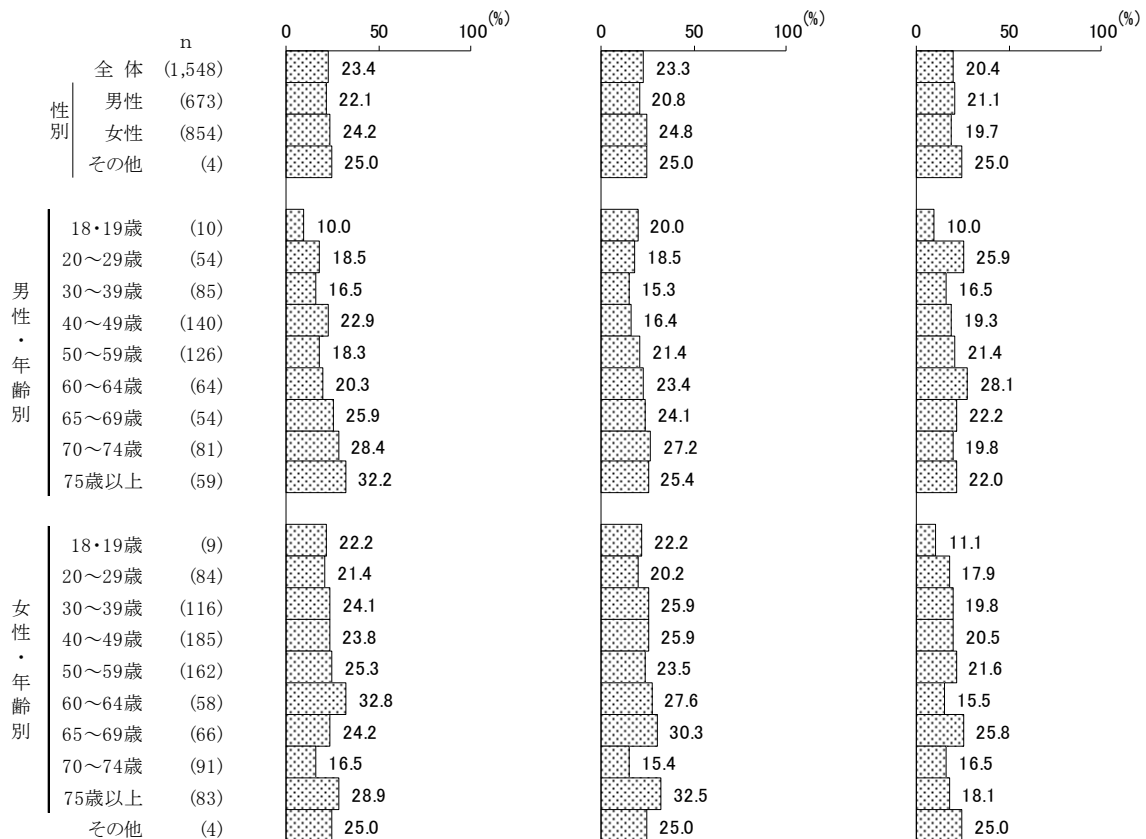
＜図表3-4＞ 「SDGs」17の目標（ゴール）のうち、区が特に力を入れて取り組んでほしい目標（ゴール）／性・年齢別



□ 質の高い教育をみんなに □ 働きがいも経済成長も □ 気候変動に具体的な対策を

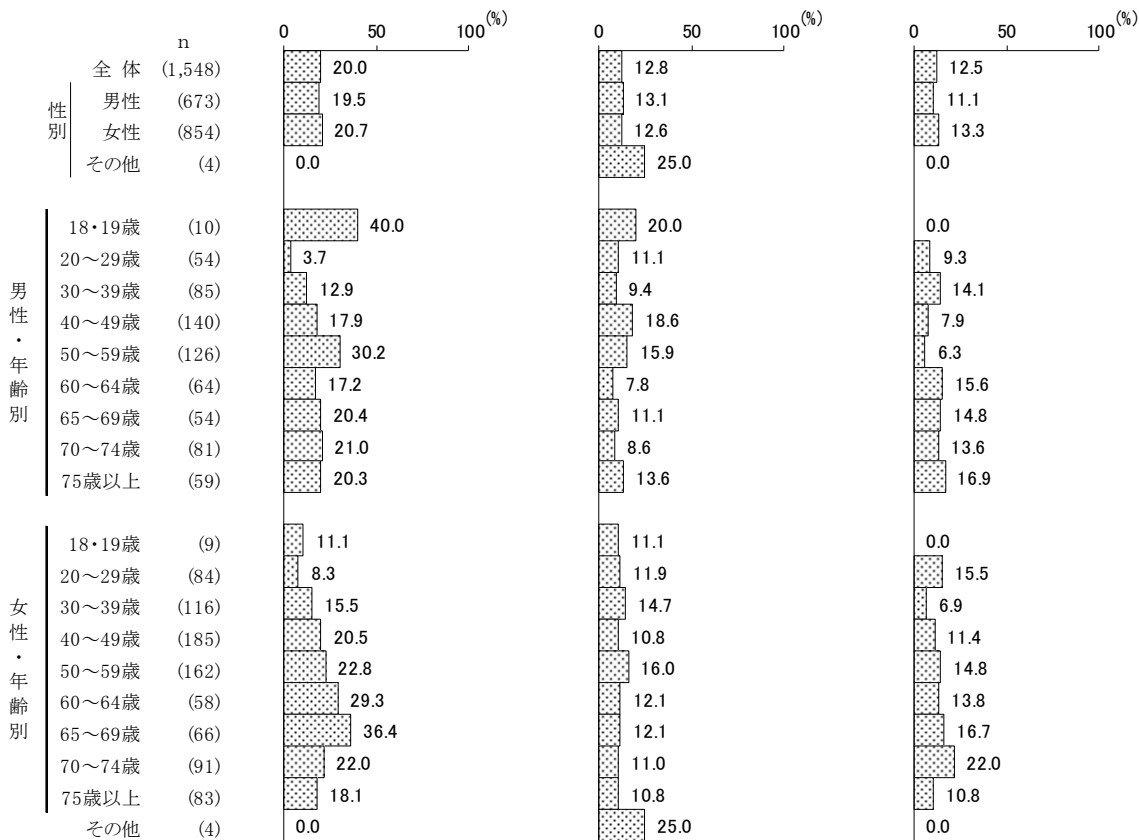


□ 人や国の不平等をなくそう □ 平和と公正をすべての人に □ 安全な水とトイレを世界中に

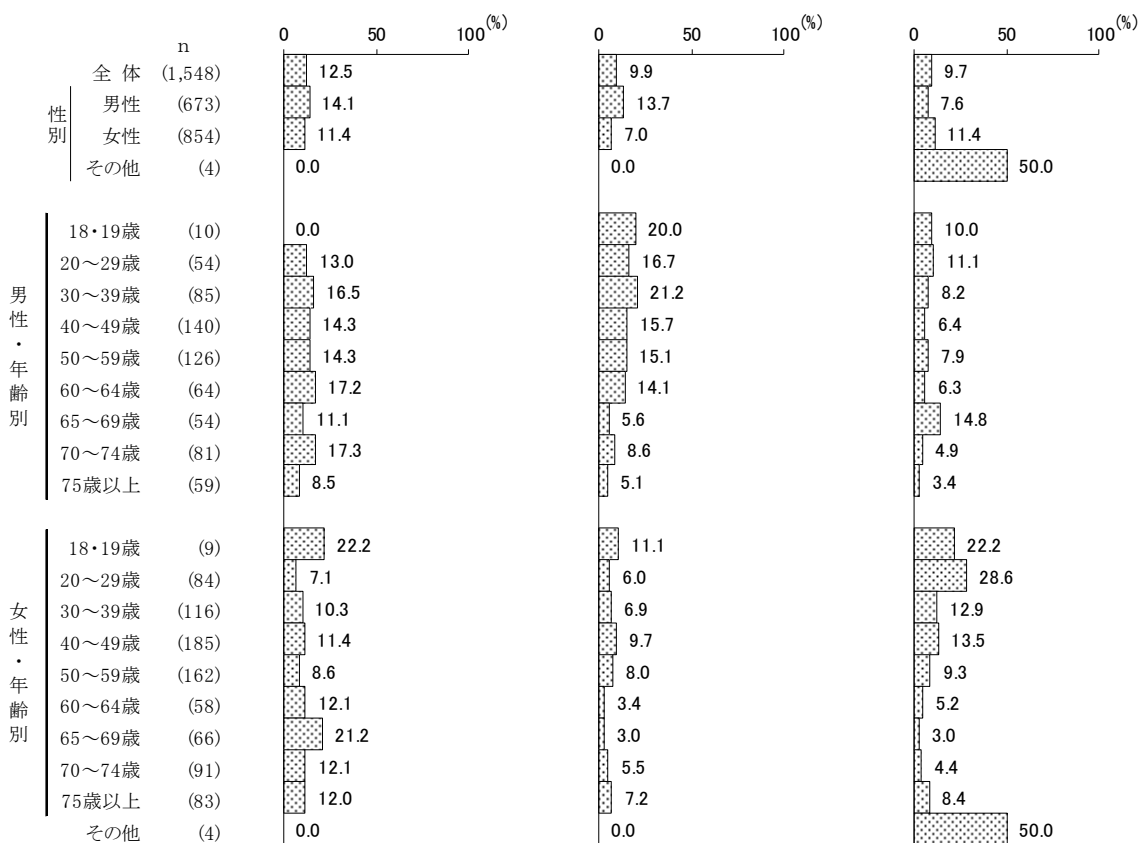


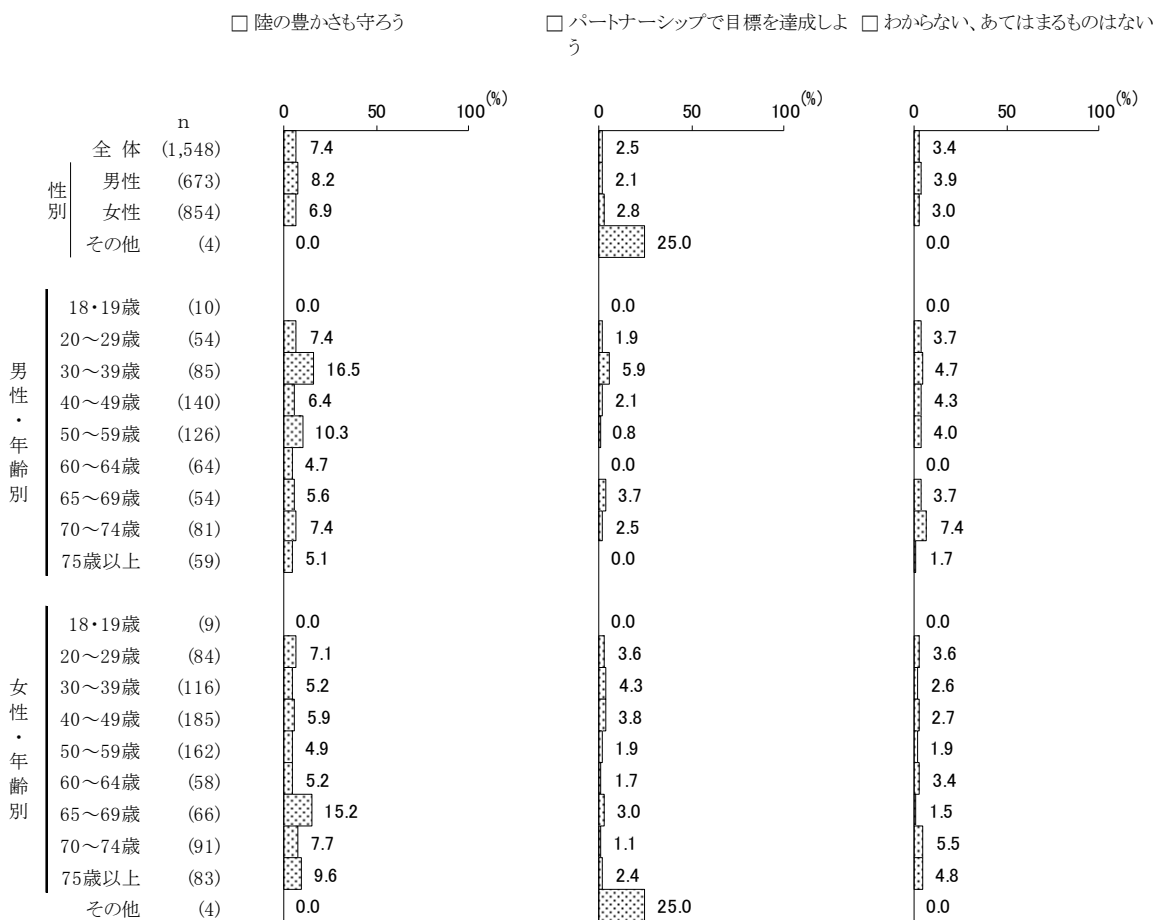
Ⅲ 結果と分析 3. SDGsについて

□ エネルギーをみんなにそしてクリーンに □ つくる責任 つかう責任 □ 飢餓をゼロに



□ 海の豊かさを守ろう □ 産業と技術革新の基盤をつくろう □ ジェンダー平等を実現しよう





※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

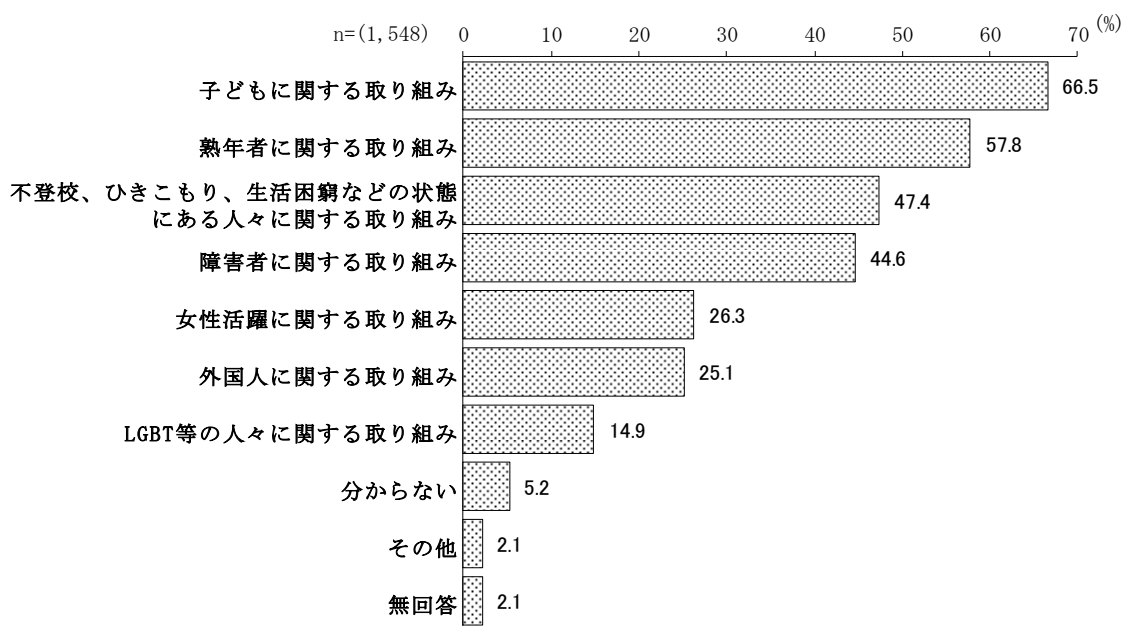
4. 共生社会について

(1) 共生社会を目指す上で、区が特に力を入れて行うべきと思う取り組み

◇ <子どもに関する取り組み>が6割台半ばで最も高い

問8 江戸川区は、「誰もが安心して自分らしく暮らせる共生社会」を目指しています。共生社会を目指す上で、区が特に力を入れて行うべきと思う取り組みをお答えください。(〇はいくつでも)

<図表4-1> 共生社会を目指す上で、区が特に力を入れて行うべきと思う取り組み



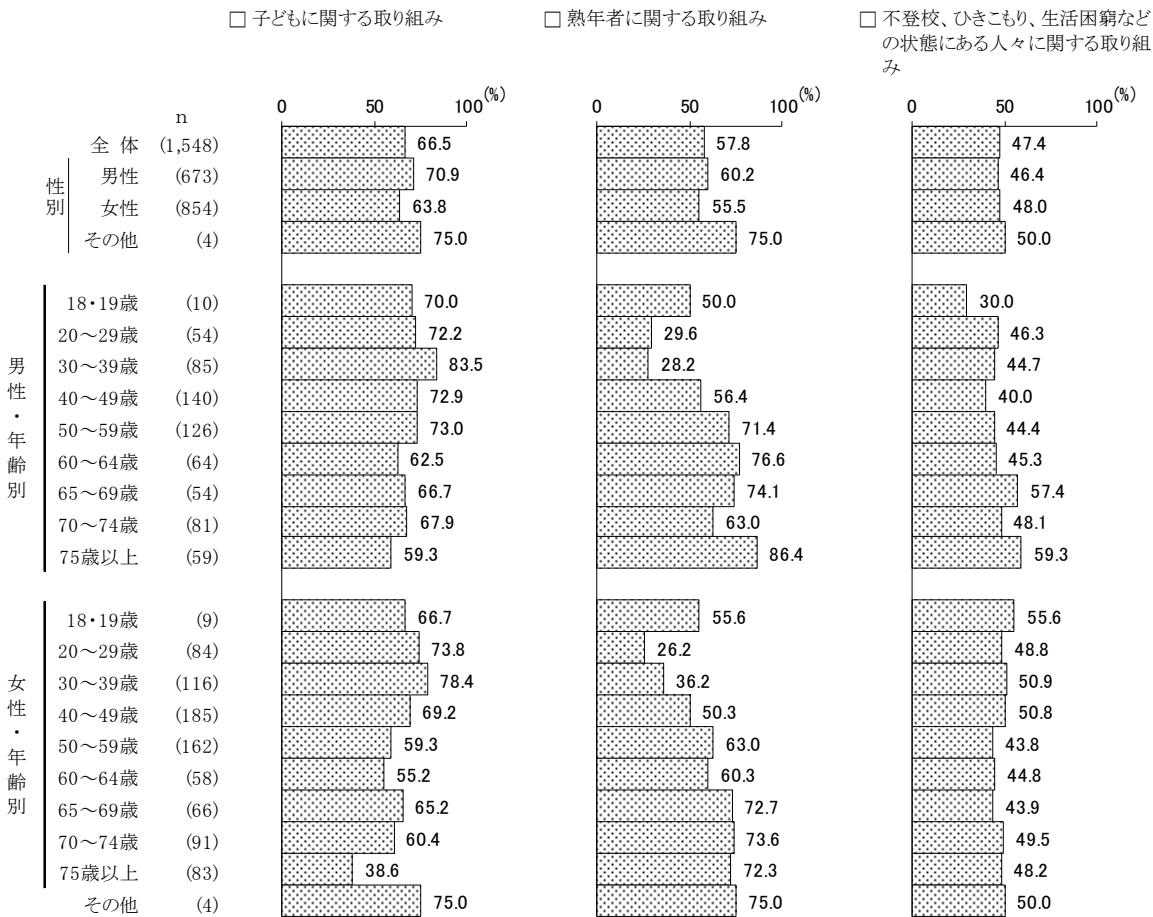
共生社会を目指す上で、区が特に力を入れて行うべきと思う取り組みについて尋ねたところ、「子どもに関する取り組み」(66.5%)が6割台半ばで最も高く、次いで「熟年者に関する取り組み」(57.8%)、「不登校、ひきこもり、生活困窮などの状態にある人々に関する取り組み」(47.4%)となっている。(図表4-1)

【性・年齢別】

性別では、「子どもに関する取り組み」は男性（70.9%）が女性（63.8%）よりも7.1ポイント高く、「熟年者に関する取り組み」も男性（60.2%）が女性（55.5%）よりも4.7ポイント、さらに「外国人に関する取り組み」も男性（27.9%）が女性（22.7%）よりも5.2ポイント高くなっている。一方、「女性活躍に関する取り組み」は女性（29.0%）が男性（22.7%）より6.3ポイント高くなっている。

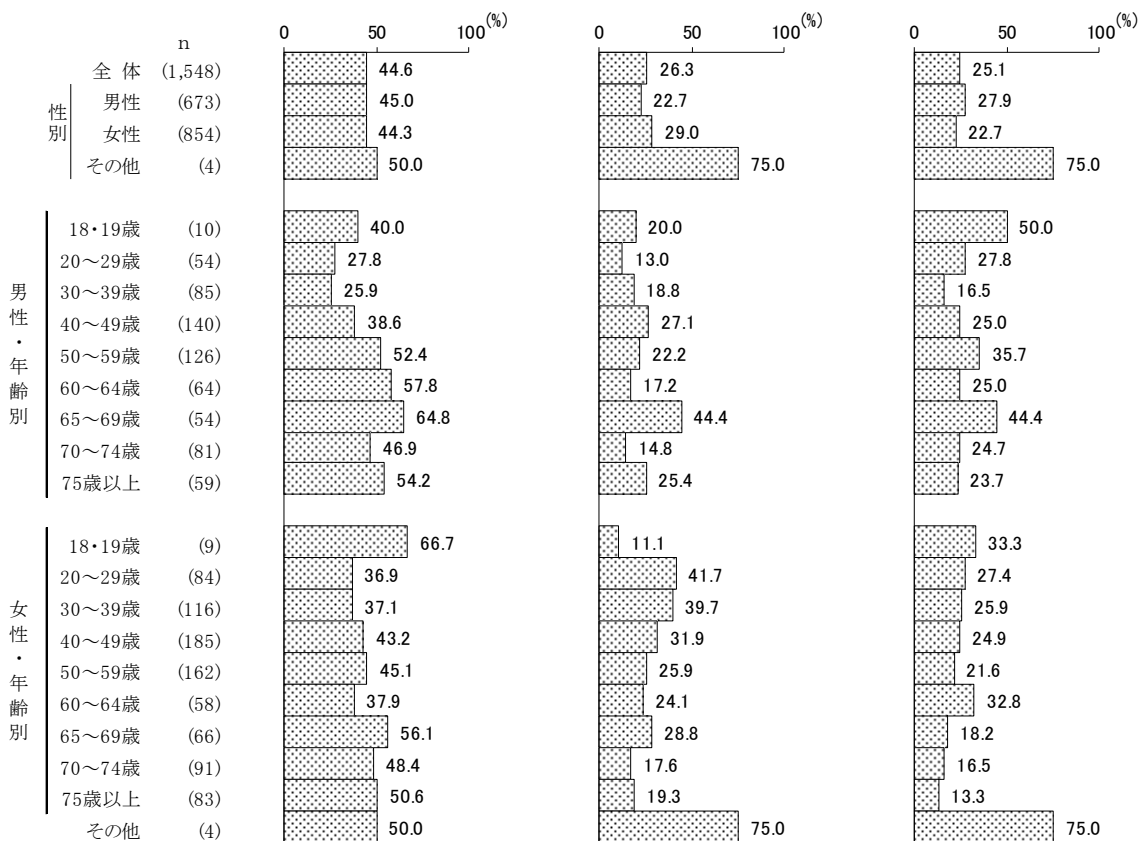
性・年齢別でみると、「子どもに関する取り組み」は男性30～39歳（83.5%）、「熟年者に関する取り組み」と「不登校、ひきこもり、生活困窮などの状態にある人々に関する取り組み」は男性75歳以上（86.4%、59.3%）で最も高い。また、「障害者に関する取り組み」「女性活躍に関する取り組み」「外国人に関する取り組み」はいずれも男性65～69歳（64.8%、44.4%、44.4%）で高くなっている。（図表4-2）

＜図表4-2＞ 共生社会を目指す上で、区が特に力を入れて行うべきと思う取り組み／性・年齢別

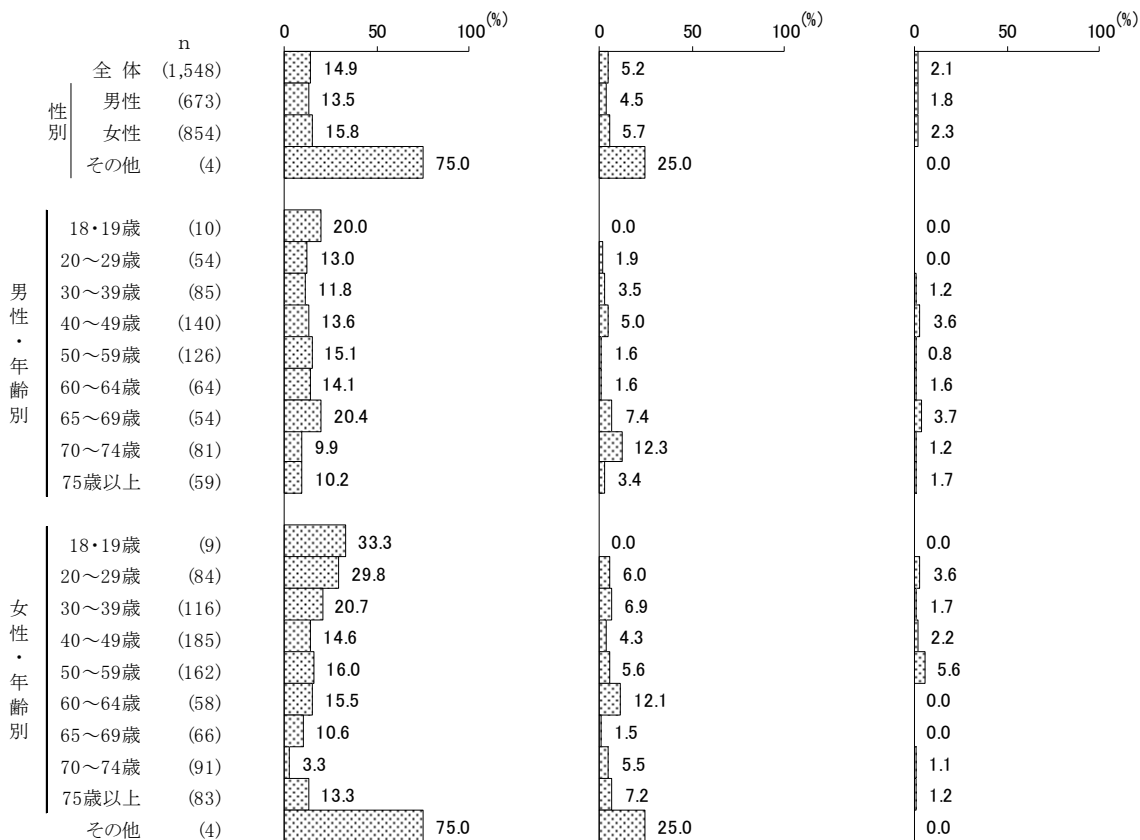


Ⅲ 結果と分析 4. 共生社会について

□ 障害者に関する取り組み □ 女性活躍に関する取り組み □ 外国人に関する取り組み



□ LGBT等の人々に関する取り組み □ 分からない □ その他



※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

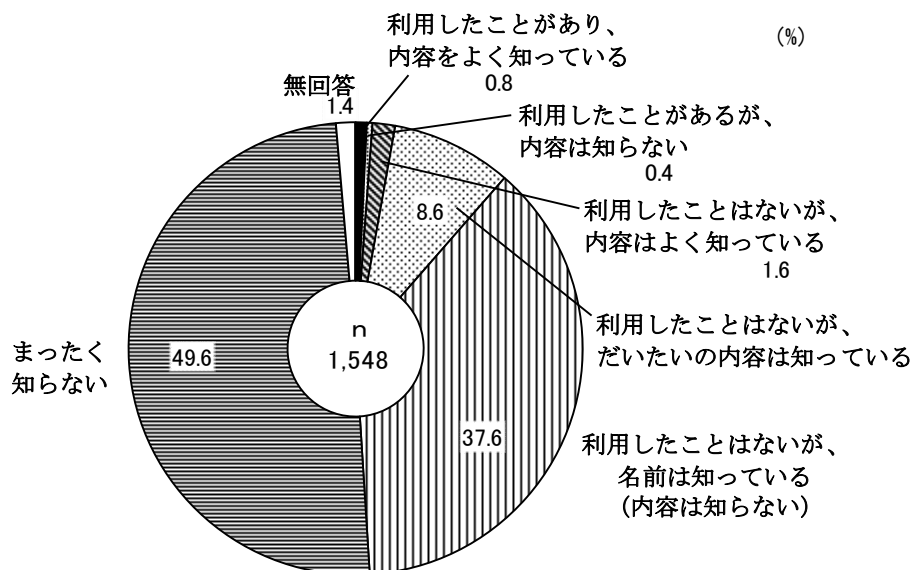
5. なごみの家の認知度などについて

(1) なごみの家の認知度

◇ <内容を知っている(計)>が11.0%

問9 あなたは、「なごみの家」について知っていますか。(○は1つ)

<図表5-1> なごみの家の認知度



(注) <内容を知っている(計)> = 「利用したことがあり、内容をよく知っている」 + 「利用したことはないが内容はよく知っている」 + 「利用したことはないが、だいたいの内容は知っている」・・・11.0%

<利用したことがある(計)> = 「利用したことがあり、内容をよく知っている」 + 「利用したことがあるが、内容は知らない」・・・1.2%

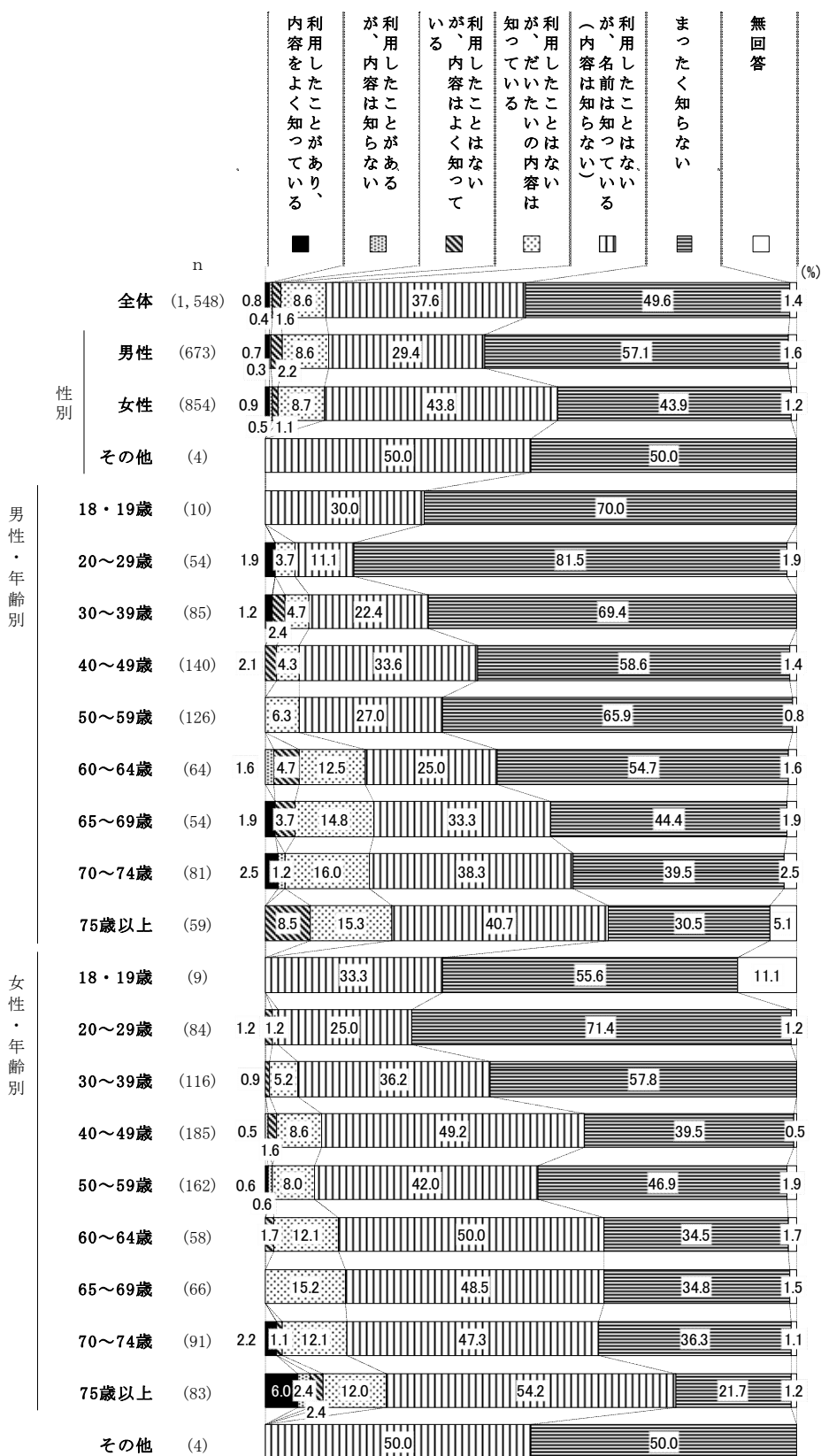
なごみの家の認知度について尋ねたところ、「利用したことがあり、内容をよく知っている」(0.8%)、「利用したことはないが、内容はよく知っている」(1.6%)、「利用したことはないが、だいたいの内容は知っている」(8.6%)を合わせた<内容を知っている(計)>が11.0%となっている。また、「利用したことがあり、内容をよく知っている」(0.8%)と「利用したことがあるが、内容は知らない」(0.4%)を合わせた<利用したことがある(計)>は1.2%となっている。(図表5-1)

【性・年齢別】

性別では、男女間に大きな違いはみられない。

性・年齢別でみると、<内容を知っている(計)>は男性65～69歳(20.4%)、男性75歳以上(23.8%)、女性75歳以上(20.4%)で2割台と高くなっている。<利用したことがある(計)>は女性75歳以上(8.4%)で1割弱と最も高くなっている。(図表5-2)

<図表5-2> なごみの家の認知度／性・年齢別



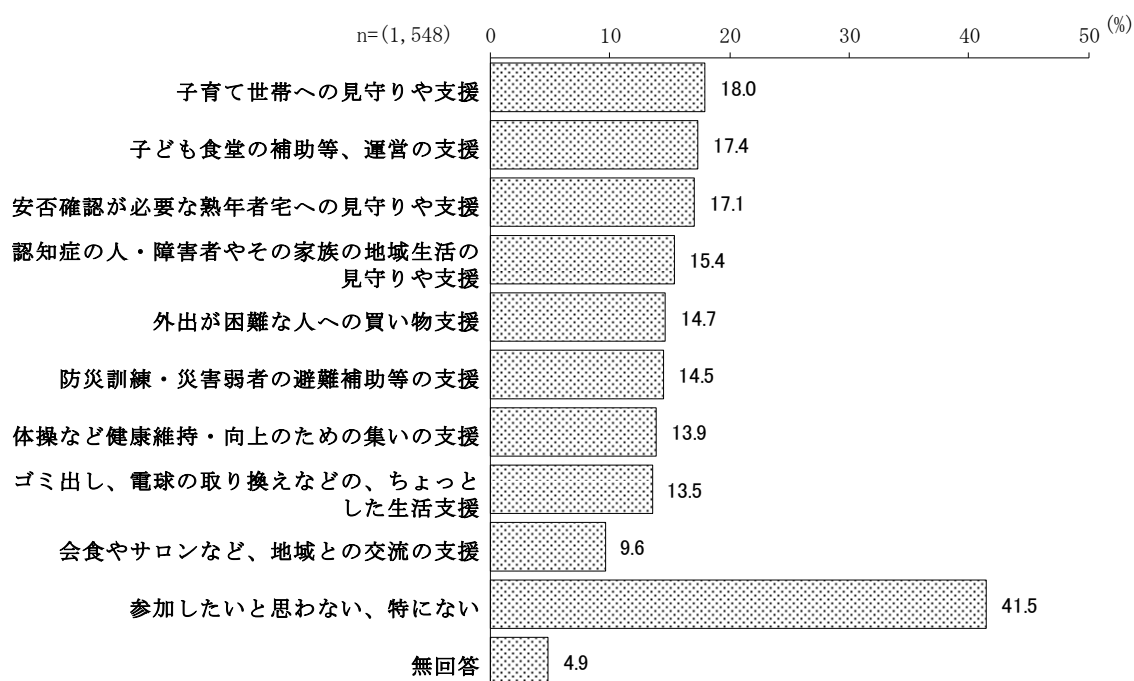
※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

(2) 「地域の支えあい活動」への参加の意向

◇ 「子育て世帯への見守りや支援」「子ども食堂の補助等、運営の支援」「安否確認が必要な熟年者宅への見守りや支援」が上位

問10 あなたは、「なごみの家」などで進めている下記の「地域の支えあい活動」に参加したいと
 思いますか。(〇はいくつでも)

<図表5-3> 「地域の支えあい活動」への参加の意向(複数回答)



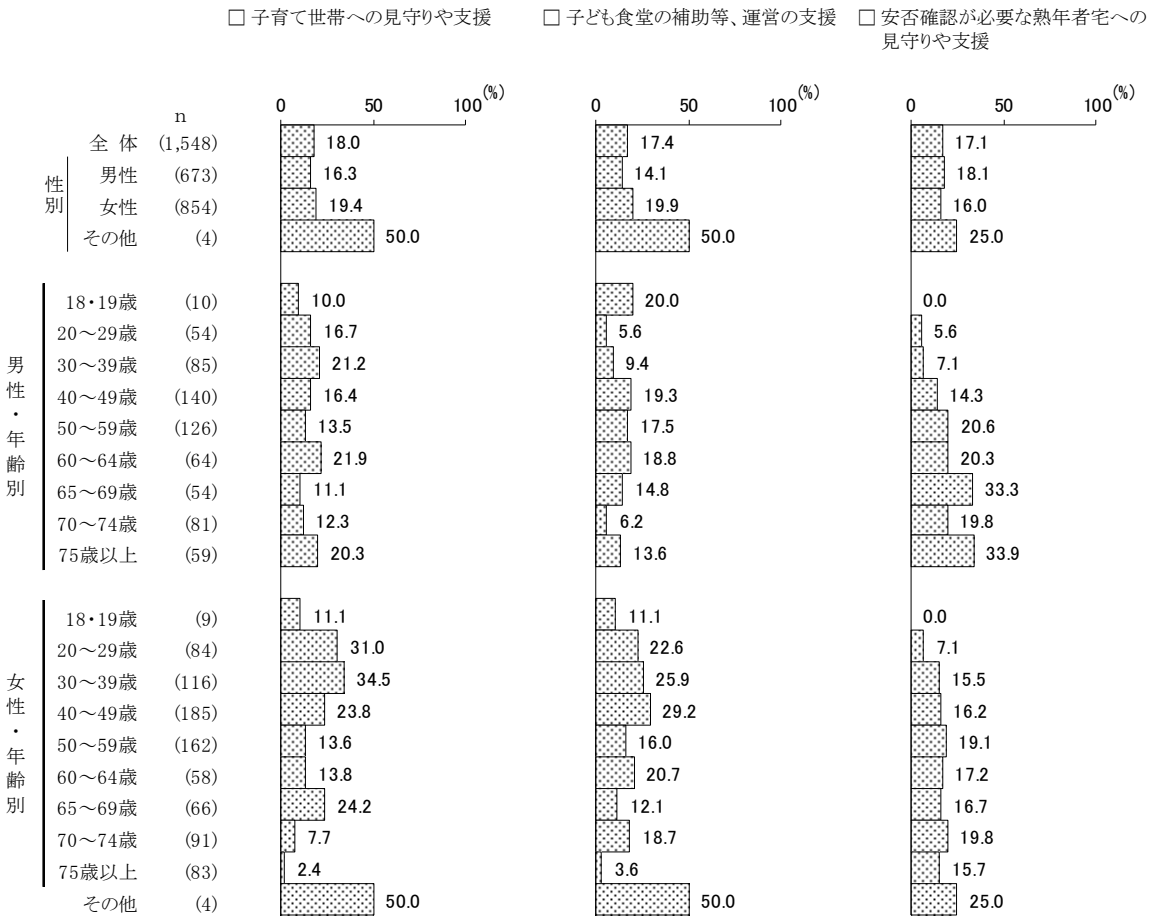
「地域の支えあい活動」への参加の意向について尋ねたところ、「子育て世帯への見守りや支援」(18.0%)、「子ども食堂の補助等、運営の支援」(17.4%)、「安否確認が必要な熟年者宅への見守りや支援」(17.1%)が上位にあげられている。(図表5-3)

【性・年齢別】

性別では、「子ども食堂の補助等、運営の支援」は女性（19.9%）が男性（14.1%）よりも5.8ポイント高く、「防災訓練・災害弱者の避難補助等の支援」は男性（18.7%）が女性（11.4%）よりも7.3ポイント高くなっている。

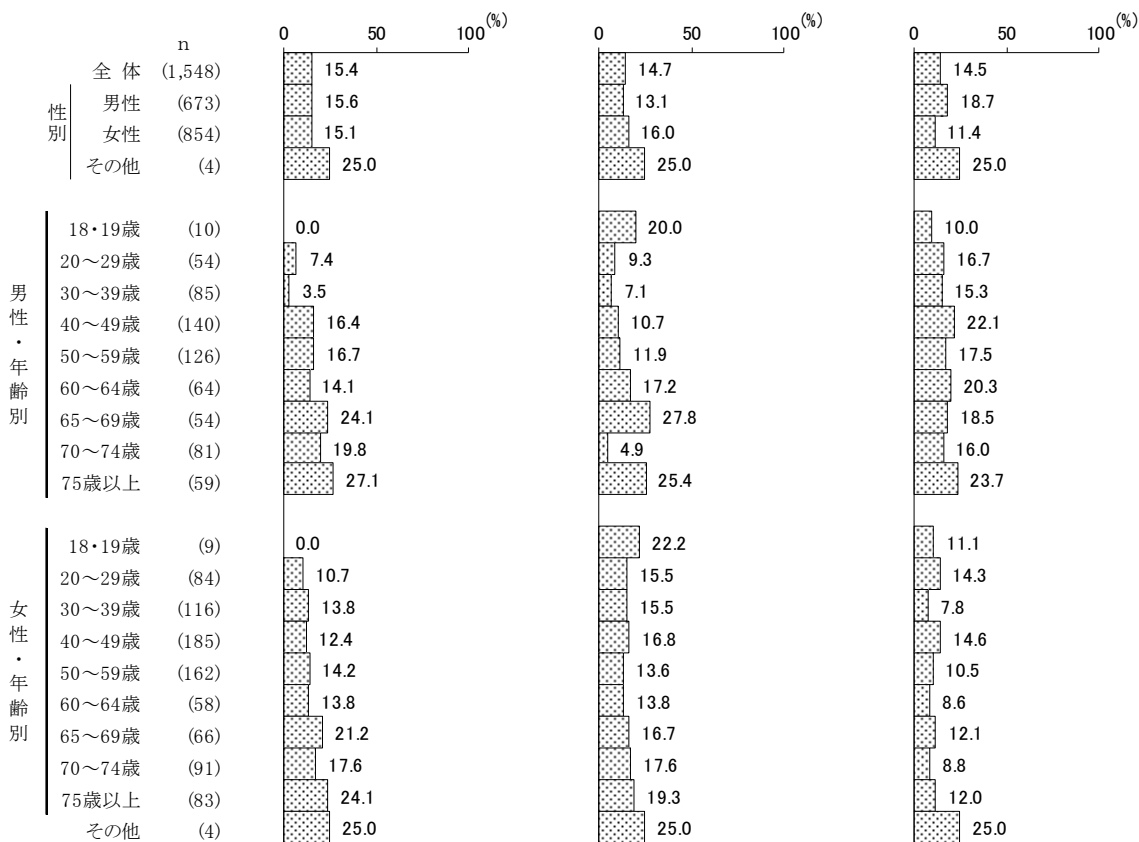
性・年齢別で見ると、「子育て世帯への見守りや支援」は女性30～39歳（34.5%）で3割台半ばと高く、「子ども食堂の補助等、運営の支援」は女性40～49歳（29.2%）で3割弱と高い。また、「安否確認が必要な熟年者宅への見守りや支援」は男性65～69歳（33.3%）、男性75歳以上（33.9%）で3割台半ばと高く、「認知症の人・障害者やその家族の地域生活の見守りや支援」は男性65～69歳（24.1%）、男性75歳以上（27.1%）、「外出が困難な人への買い物支援」は男性65～69歳（27.8%）、男性75歳以上（25.4%）、「防災訓練・災害弱者の避難補助等の支援」は男性75歳以上（23.7%）で2割台半ばと高くなっている。（図表5-4）

<図表5-4> 「地域の支えあい活動」への参加の意向／性・年齢別

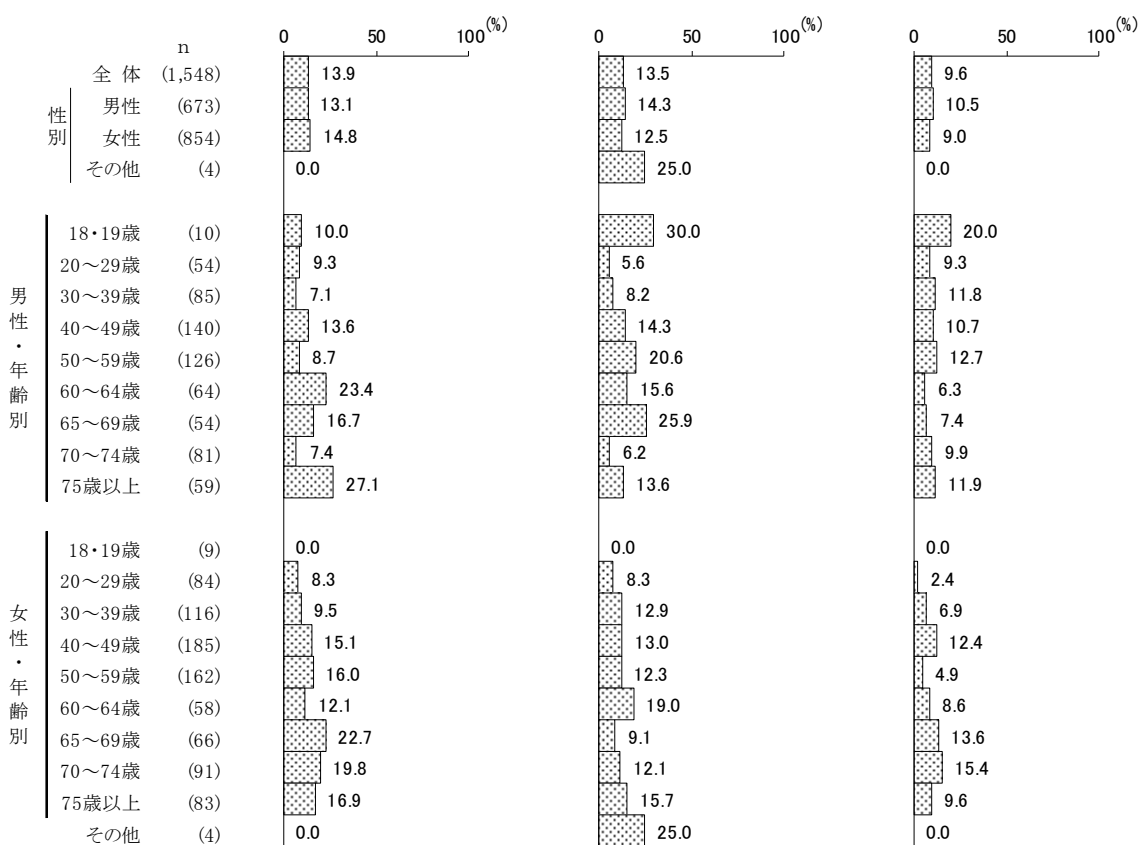


Ⅲ 結果と分析 5. なごみの家の認知度などについて

認知症の人・障害者やその家族の地域生活の見守りや支援
 外出が困難な人への買い物支援
 防災訓練・災害弱者の避難補助等の支援

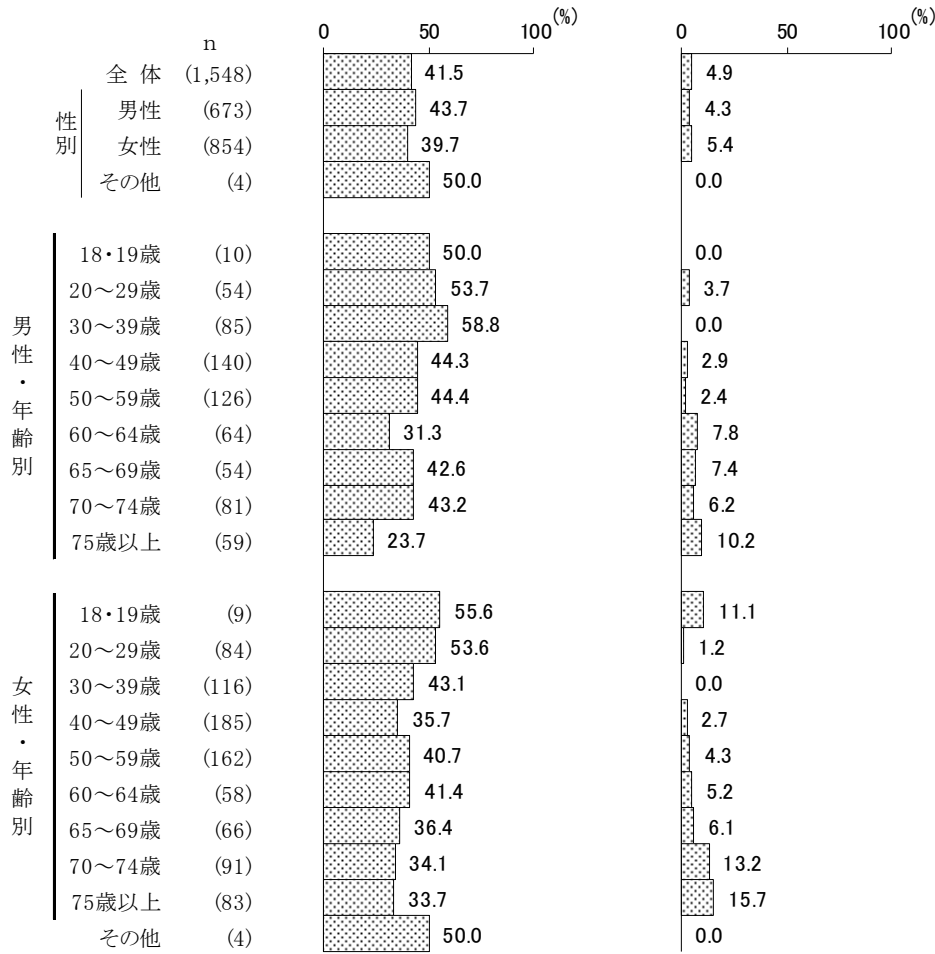


体操など健康維持・向上のための集いの支援
 ゴミ出し、電球の取り換えなどの、ちょっとした生活支援
 会食やサロンなど、地域との交流の支援



Ⅲ 結果と分析 5. なごみの家の認知度などについて

□ 参加したいと思わない、特にない □ 無回答



※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

6. 災害対策について

(1) 防災行政無線放送の聞こえ方について

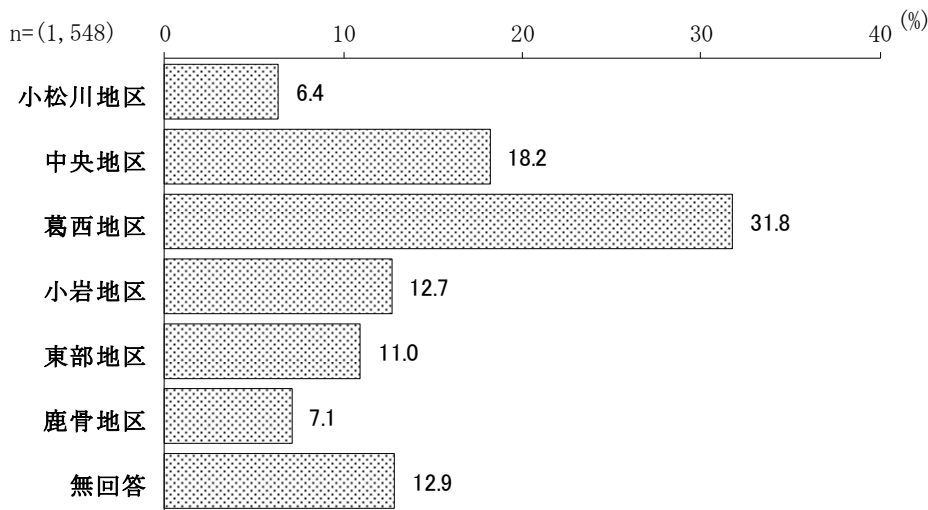
◇ 【屋内（窓を閉めていた）】の〈聞こえた（計）〉は3割台半ば

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、緊急事態宣言発令中の約2ヶ月間、防災行政無線による外出自粛などの呼びかけを行いました。区民の皆様からは、役立ったとの声のほか、聞き取りづらいという声もいただきました。

そこで、防災行政無線放送の聞こえ方について伺います。

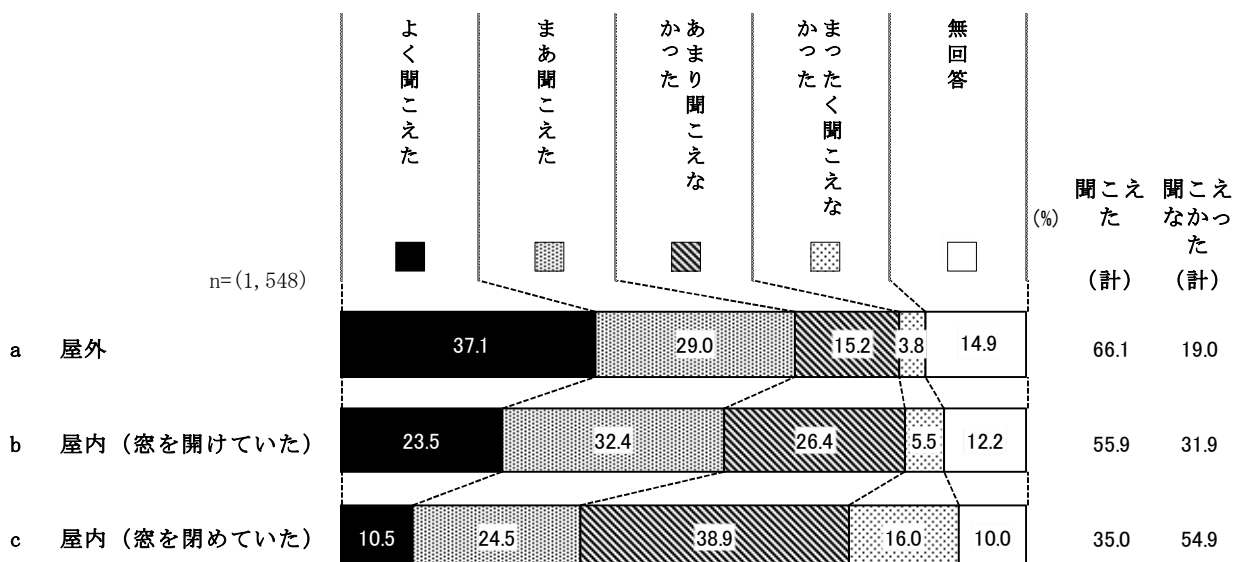
問11-1 防災行政無線を聞いた場所を可能な範囲で教えてください。

<図表6-1> 防災行政無線を聞いた場所



問11-2 防災行政無線の聞こえ方を教えてください。

<図表6-2> 防災行政無線の聞こえ方



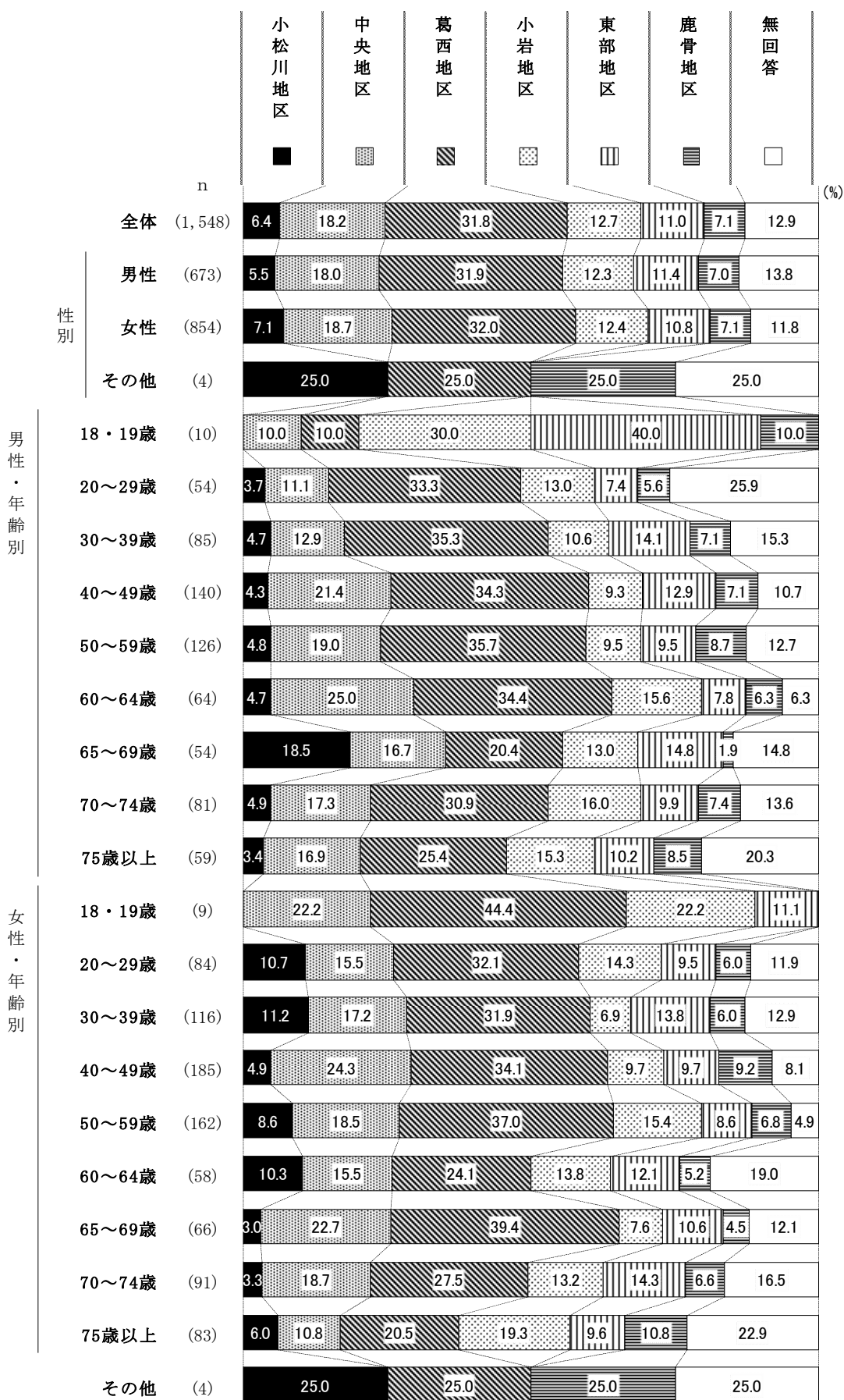
防災行政無線の聞こえ方について尋ねたところ、【屋外】では「よく聞こえた」(37.1%)と「まあ聞こえた」(29.0%)を合わせた<聞こえた(計)>が66.1%となっている。【屋内(窓を開けていた)】では「よく聞こえた」(23.5%)と「まあ聞こえた」(32.4%)を合わせた<聞こえた(計)>が55.9%、【屋内(窓を閉めていた)】では「よく聞こえた」(10.5%)と「まあ聞こえた」(24.5%)を合わせた<聞こえた(計)>が35.0%となっている。(図表6-2)

【性・年齢別】

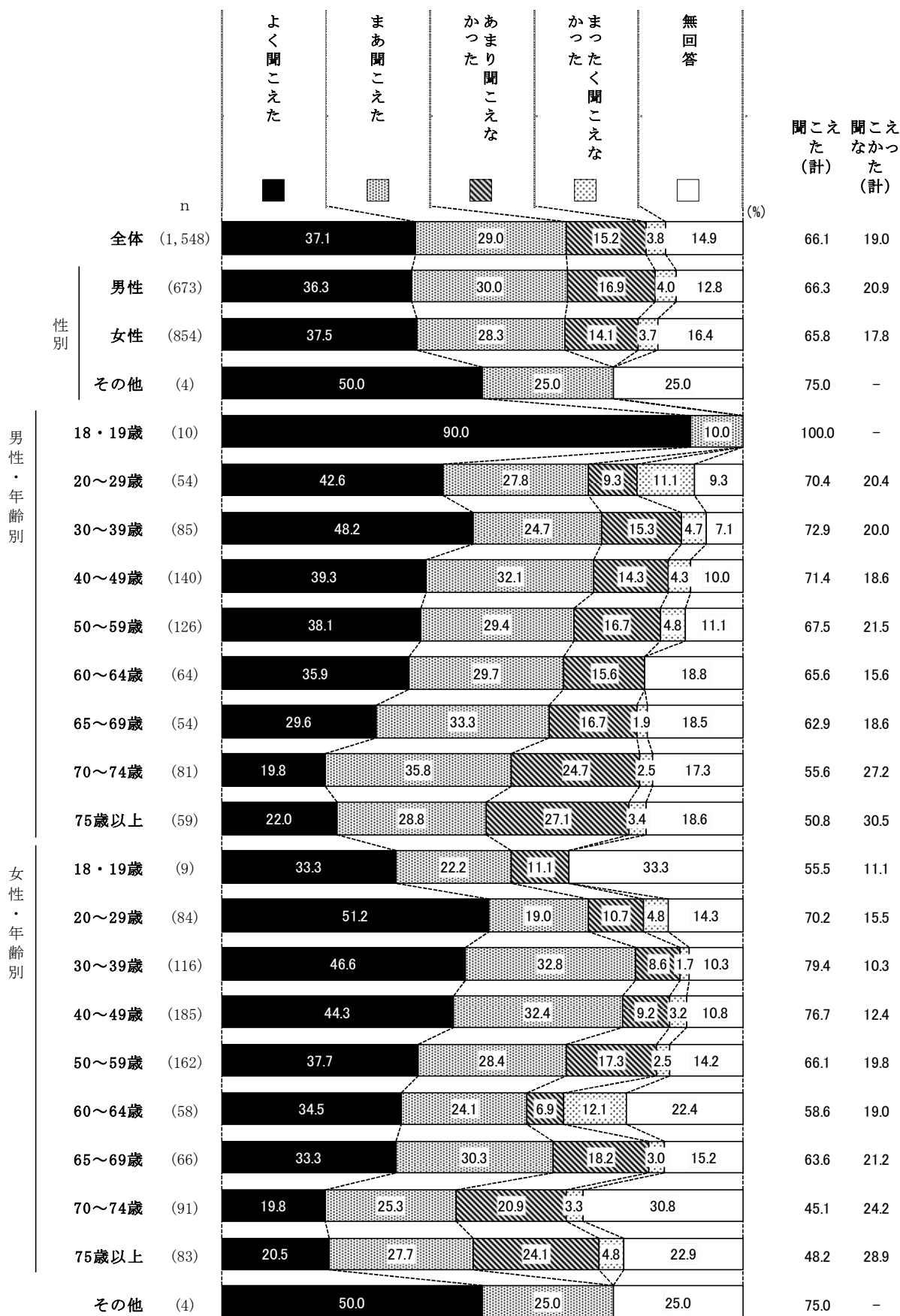
性別では、【屋内(窓を閉めていた)】の<聞こえた(計)>は男性(38.6%)が女性(32.1%)よりも6.5ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、【屋外】【屋内(窓を開けていた)】【屋内(窓を閉めていた)】のいずれの場合も概ね若年層ほど<聞こえた(計)>のスコアが高く、高年層ほど<聞こえた(計)>のスコアが低い傾向がみられる。特に<屋内(窓を閉めていた)>の<聞こえた(計)>は男性70~74歳(17.3%)、男性75歳以上(15.3%)、女性70~74歳(14.3%)、女性75歳以上(14.4%)で2割未満と低くなっている。(図表6-4、5、6)

<図表6-3> 防災行政無線を聞いた場所／性・年齢別

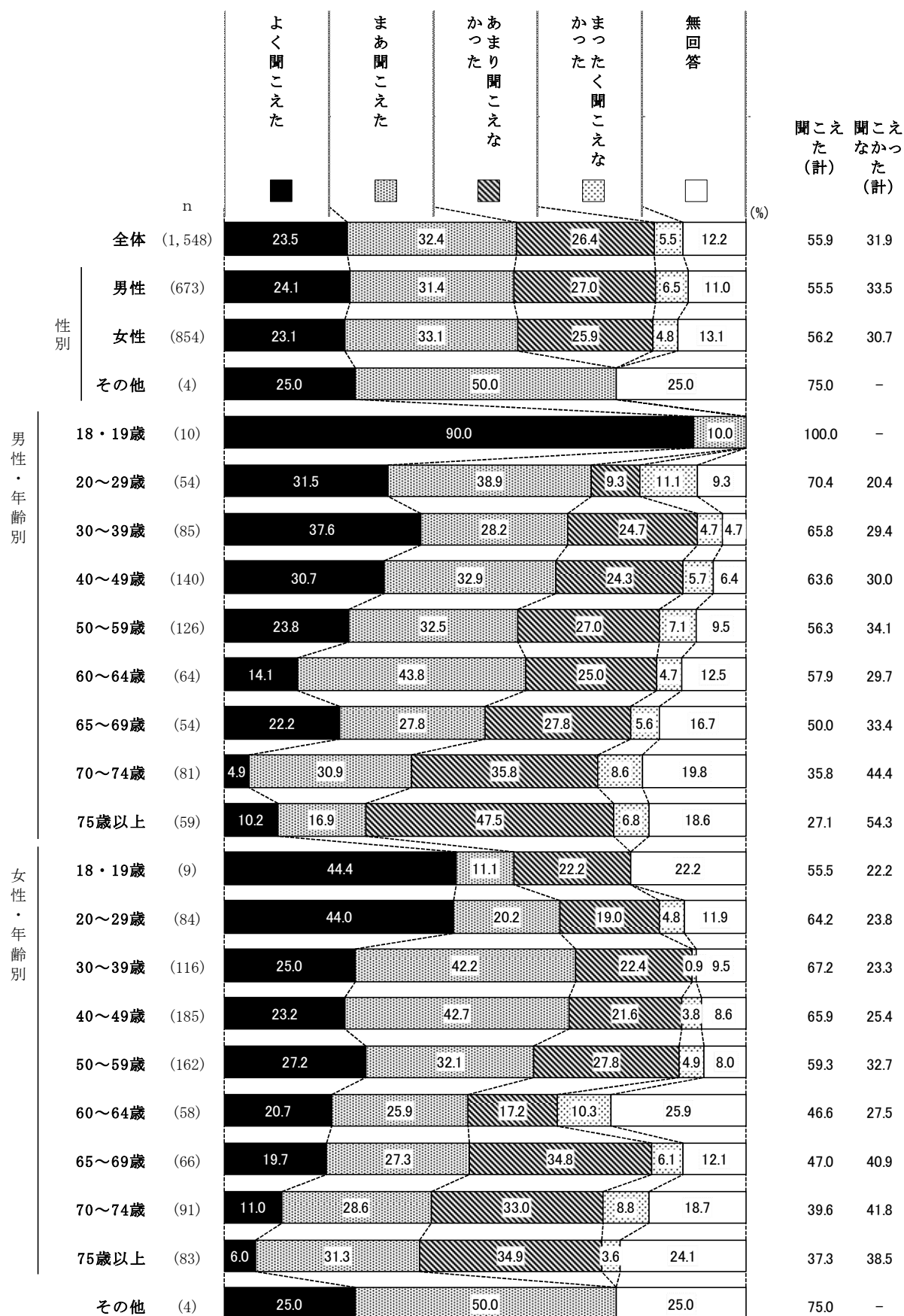


<図表6-4> 防災行政無線の聞こえ方—屋外／性・年齢別



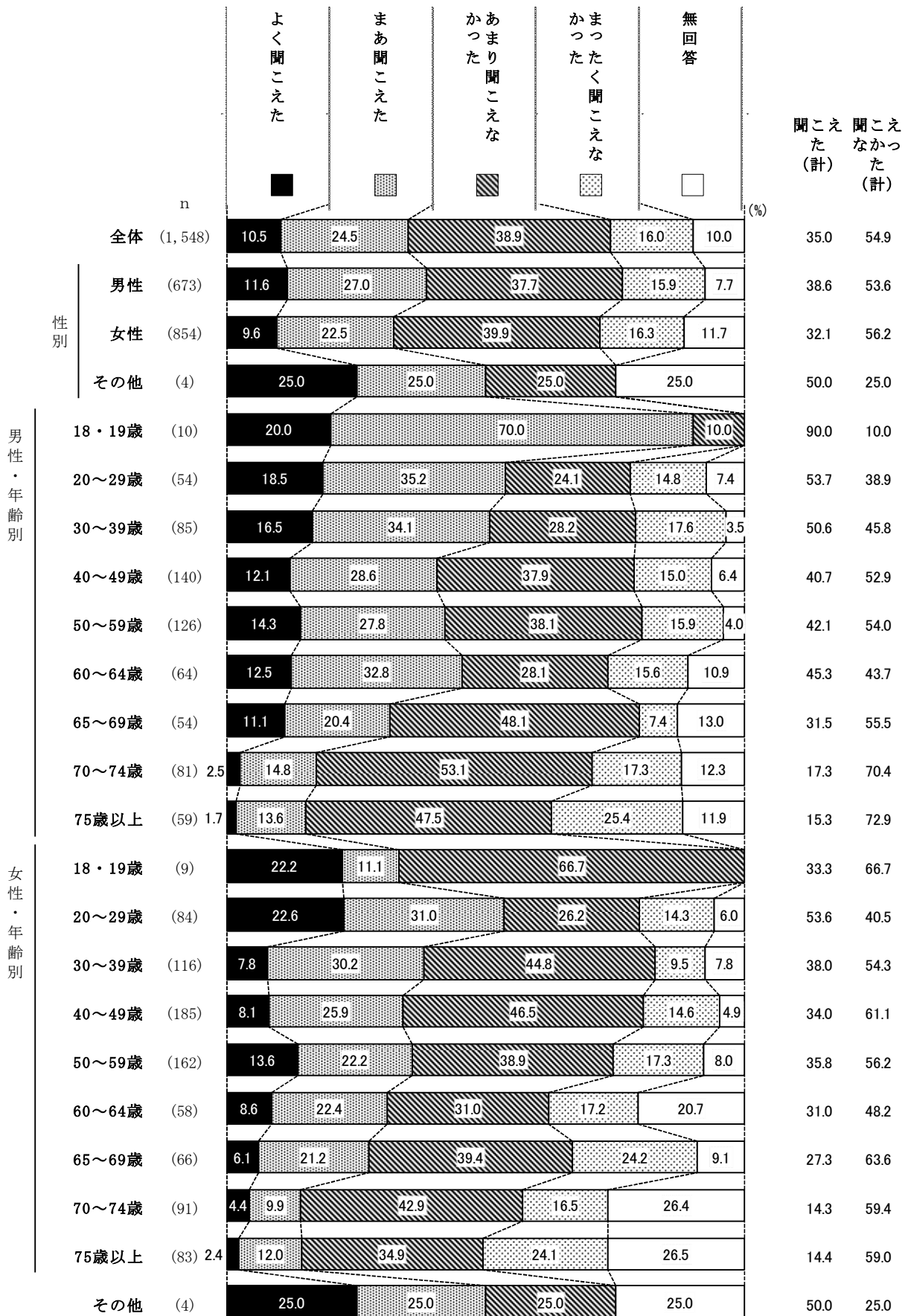
※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

<図表6-5> 防災行政無線の聞こえ方—屋内（窓を開けていた）／性・年齢別



※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

<図表6-6> 防災行政無線の聞こえ方—屋内（窓を閉めていた）／性・年齢別



※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

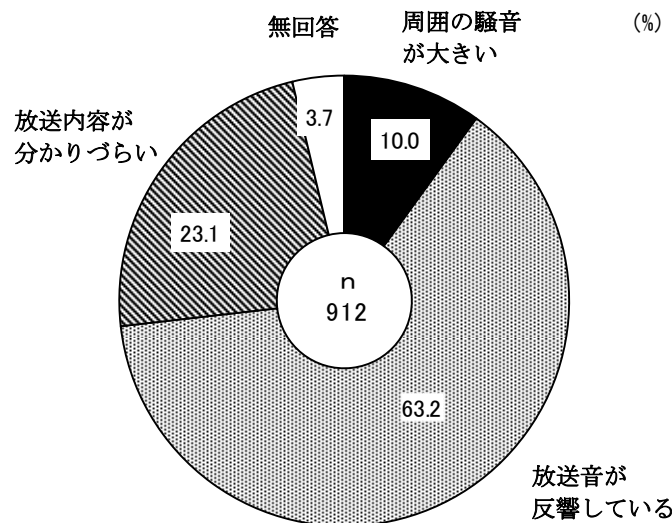
(1-1) 聞こえなかった理由

◇ 「放送音が反響している」などがあげられる

<問11-2で「あまり聞こえなかった」「まったく聞こえなかった」とお答えの方に>

問11-3 聞こえなかった理由は何ですか。(○は1つ)

<図表6-7> 聞こえなかった理由



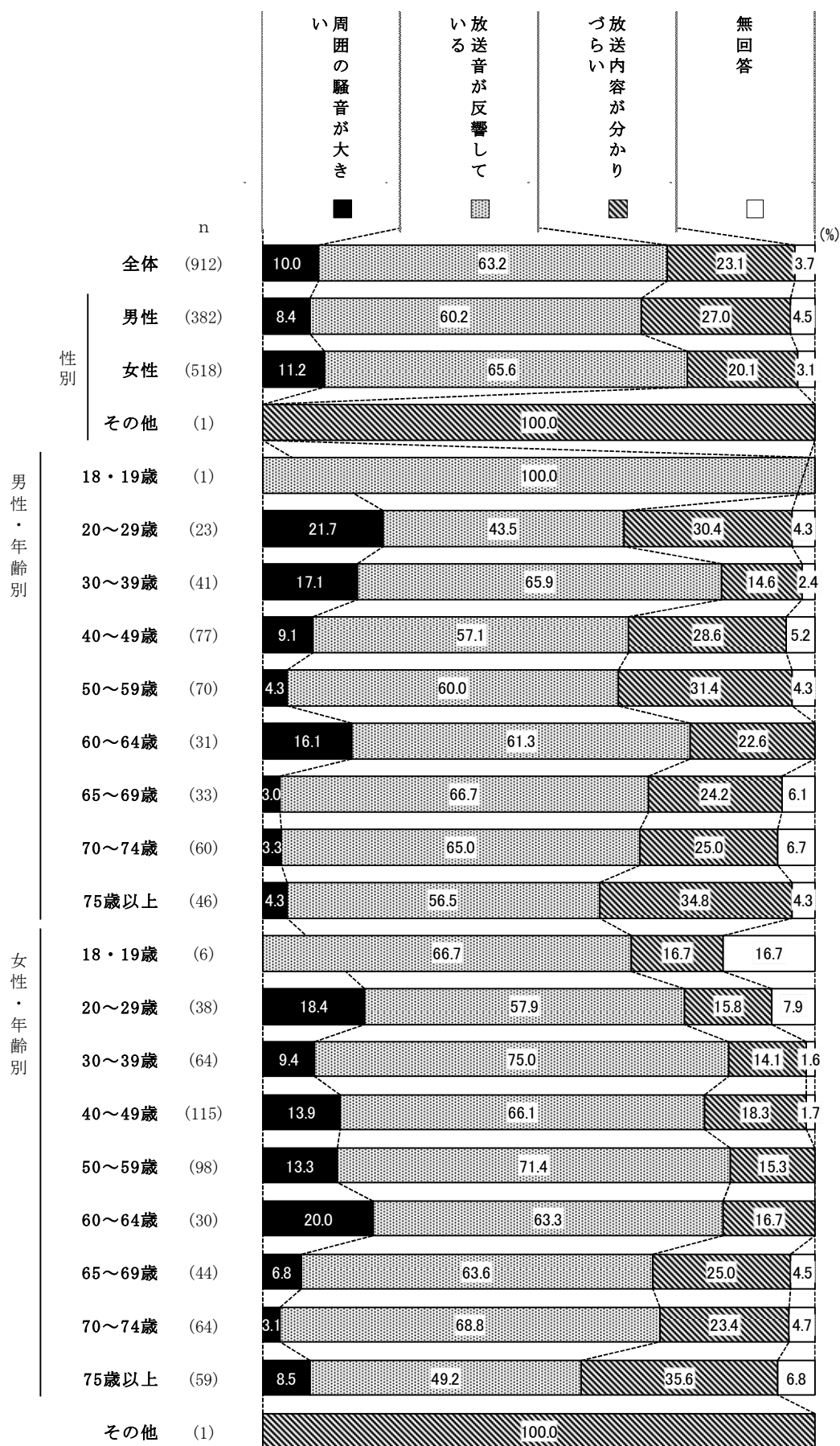
防災行政無線が「あまり聞こえなかった」または「まったく聞こえなかった」理由について尋ねたところ、「放送音が反響している」(63.2%)が6割台半ばで最も高く、次いで「放送内容が分かりづらい」(23.1%)が2割台半ばとなっている。(図表6-7)

【性・年齢別】

性別では、「放送内容が分かりづらい」は男性(38.6%)が女性(32.1%)よりも6.5ポイント高くなっている。

性・年齢別は、「放送音が反響している」はどの性・年齢でも高くなっているが、女性30~39歳(75.0%)で7割台半ばと高くなっている。(図表6-8)

<図表6-8> 聞こえなかった理由／性・年齢別



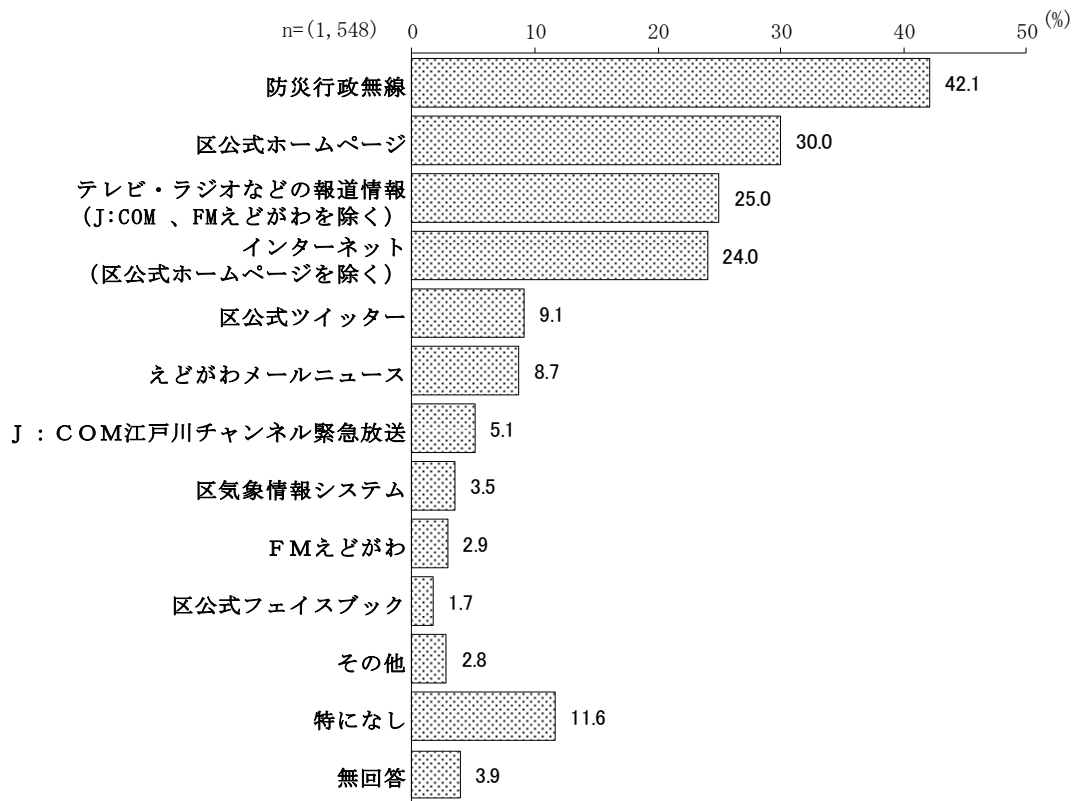
※男性、女性の「18・19歳」及び「その他」については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

(2) 防災情報の取得方法

◇ 「防災行政無線」が4割強でトップ

問12 あなたは区からの防災情報をどのように取得しますか。(〇はいくつでも)

<図表6-9> 防災情報の取得方法(複数回答)



区からの防災情報をどのように取得したかについて尋ねたところ、「防災行政無線」(42.1%)が4割強と最も高く、続いて「区公式ホームページ」(30.0%)が3割、「テレビ・ラジオなどの報道情報(J:COM、FMえどがわを除く)」(25.0%)、「インターネット(区公式ホームページを除く)」(24.0%)が2割半ばとなっている。(図表6-9)

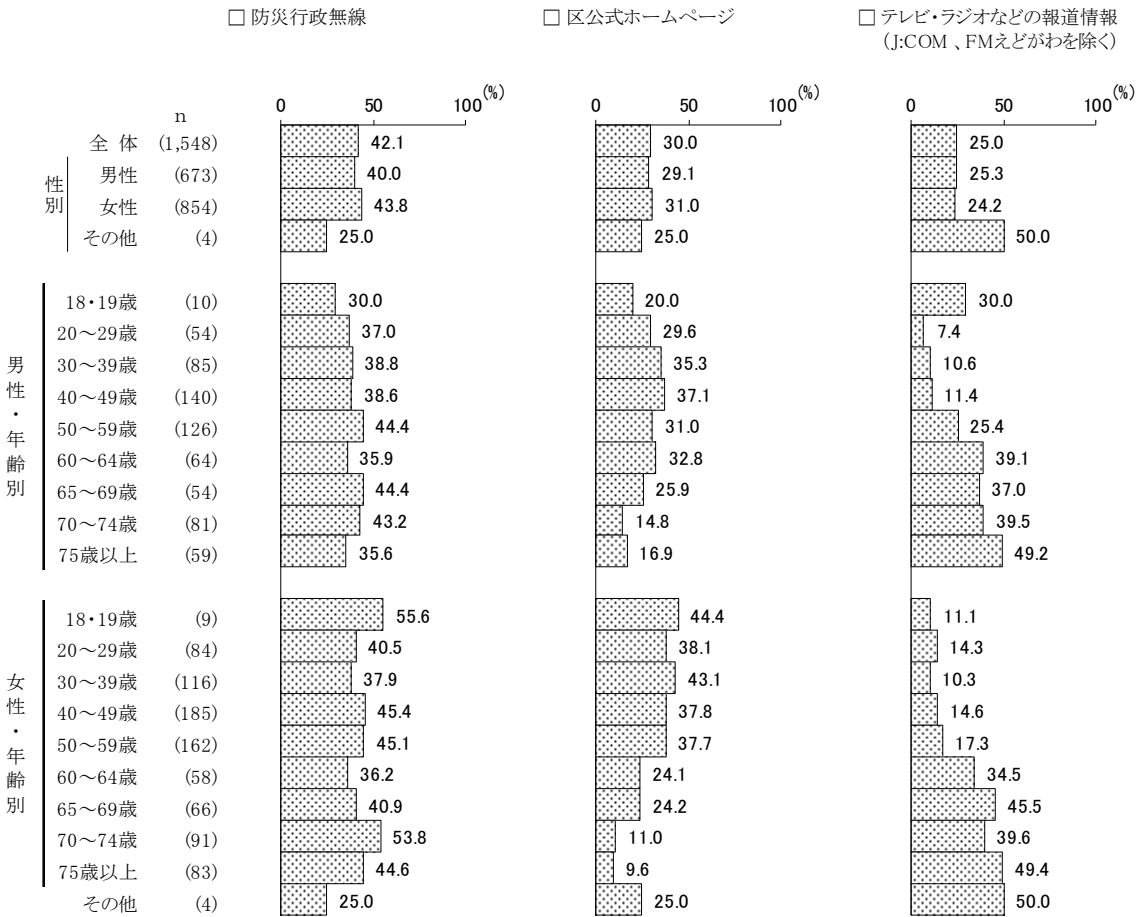
【性・年齢別】

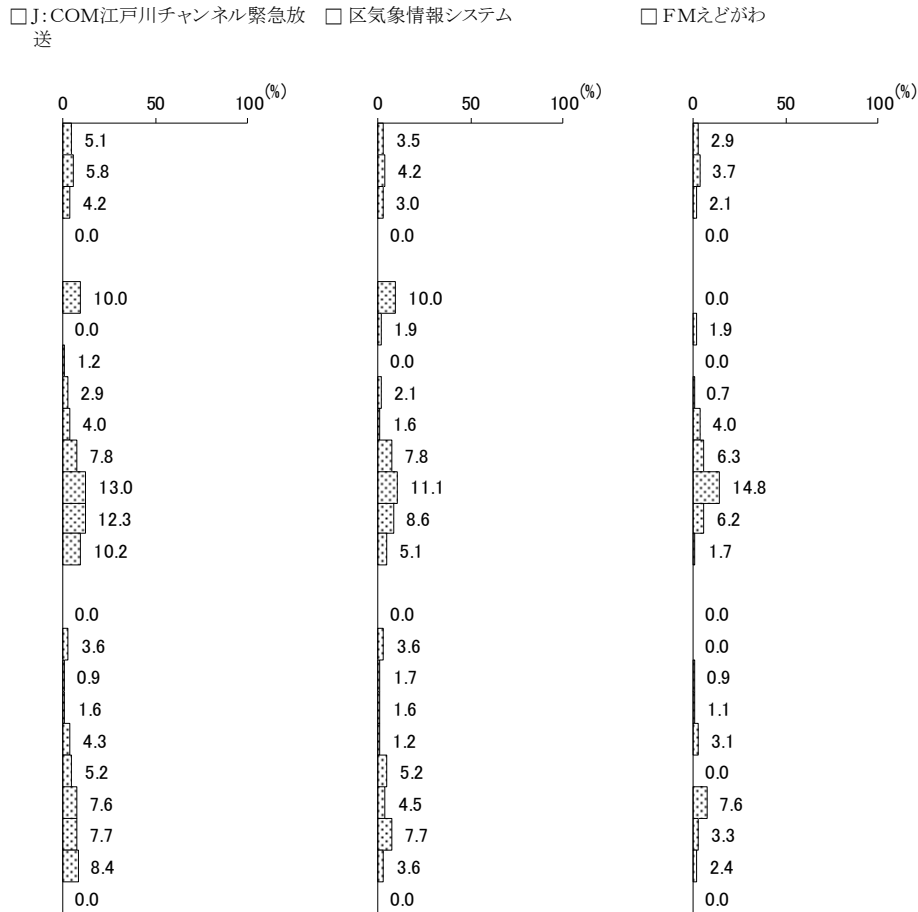
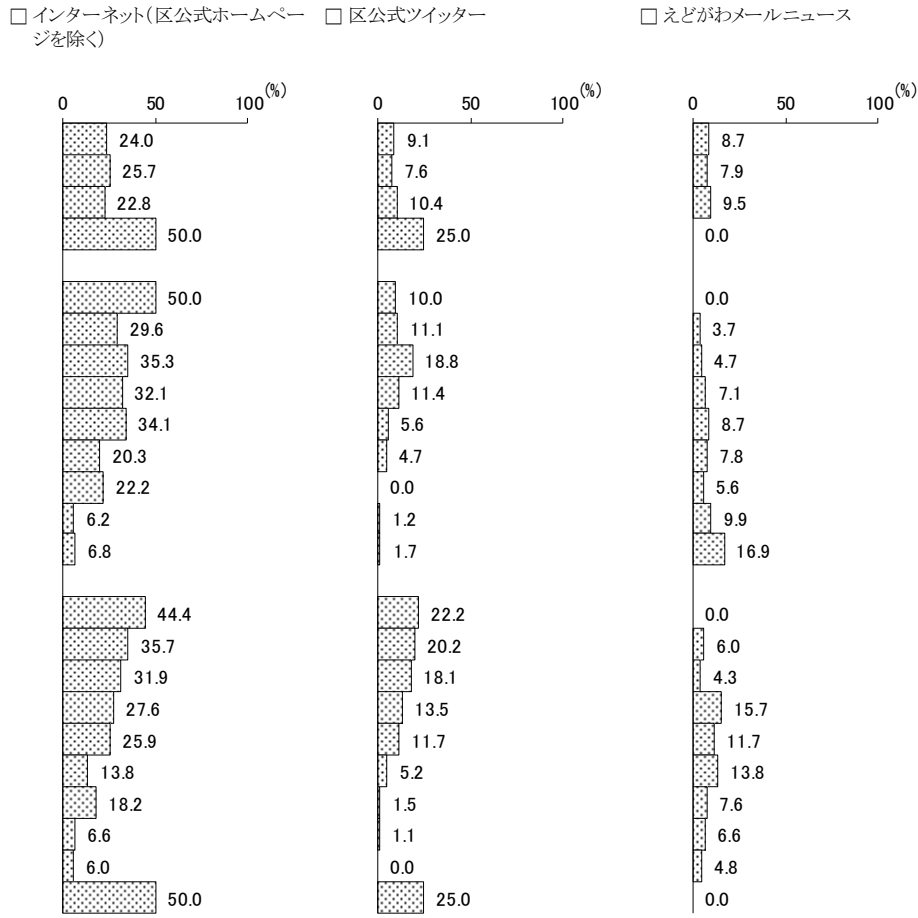
性別では、「防災行政無線」は女性（43.8%）が男性（40.0%）よりも3.8ポイント高く、「インターネット（区公式ホームページを除く）」は男性（25.7%）が女性（22.8%）よりも2.9ポイント高くなっている。

性・年齢別で見ると、「防災行政無線」は女性70～74歳（53.8%）で5割台半ばと最も高く、「区公式ホームページ」は女性30～39歳（43.1%）で4割台半ばと最も高い。また、「テレビ・ラジオなどの報道情報」は男性75歳以上（49.2%）、女性75歳以上（49.4%）で5割弱と高く、「インターネット」は男性30～39歳（35.3%）、女性20～29歳（35.7%）で3割台半ばと高くなっている。

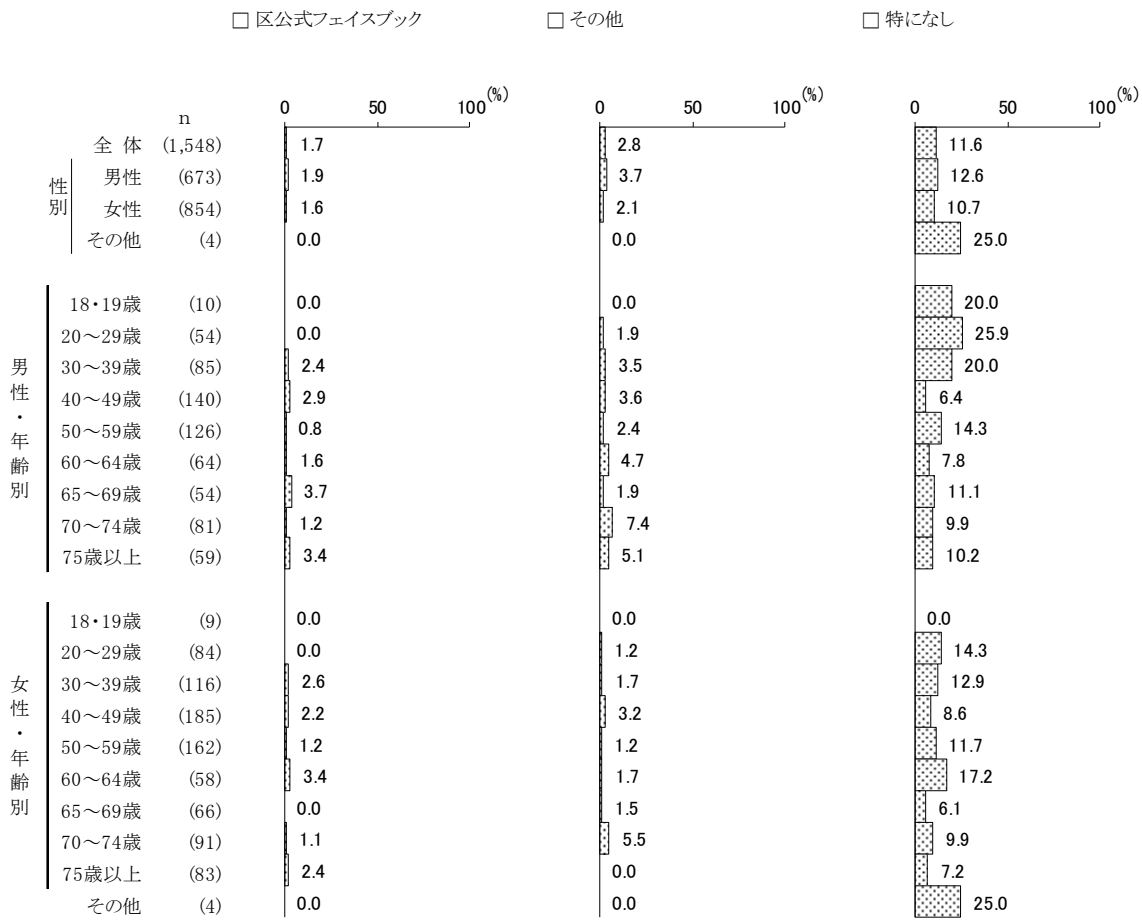
（図表6-10）

<図表6-10> 防災情報の取得方法／性・年齢別





Ⅲ 結果と分析 6. 災害対策について



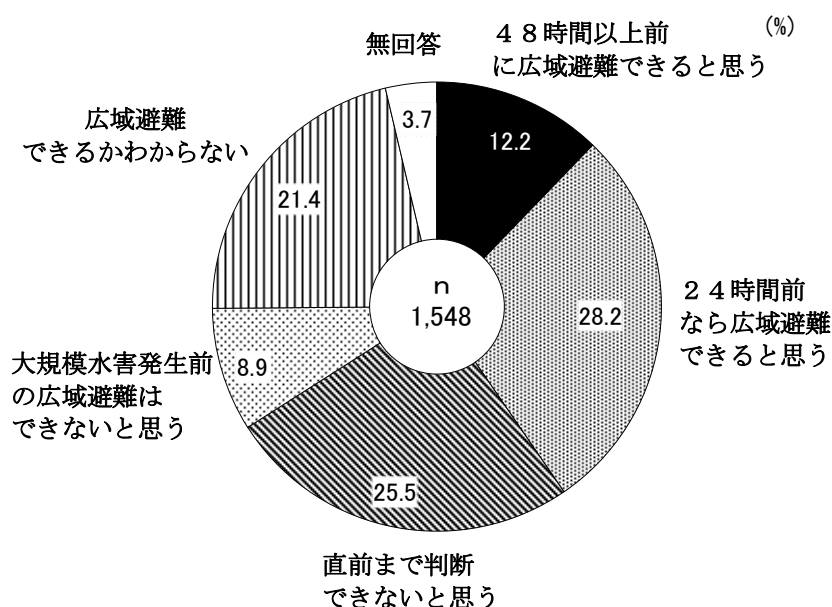
※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

(3) 大規模水害時における江戸川区外の浸水しない地域等への広域避難

◇ 「24時間前なら広域避難できると思う」が3割弱

問13-1 大規模水害時、あなたは江戸川区外の浸水しない地域へ広域避難できますか。(○は1つ)

<図表6-11> 大規模水害時における江戸川区外の浸水しない地域等への広域避難



大規模水害時に江戸川区外の浸水しない地域等に広域避難できるか尋ねたところ、「24時間前なら広域避難できると思う」(28.2%)が3割弱で最も高く、次いで「直前まで判断できないと思う」(25.5%)が2割台半ば、「広域避難できるかわからない」(21.4%)が2割強となっている。

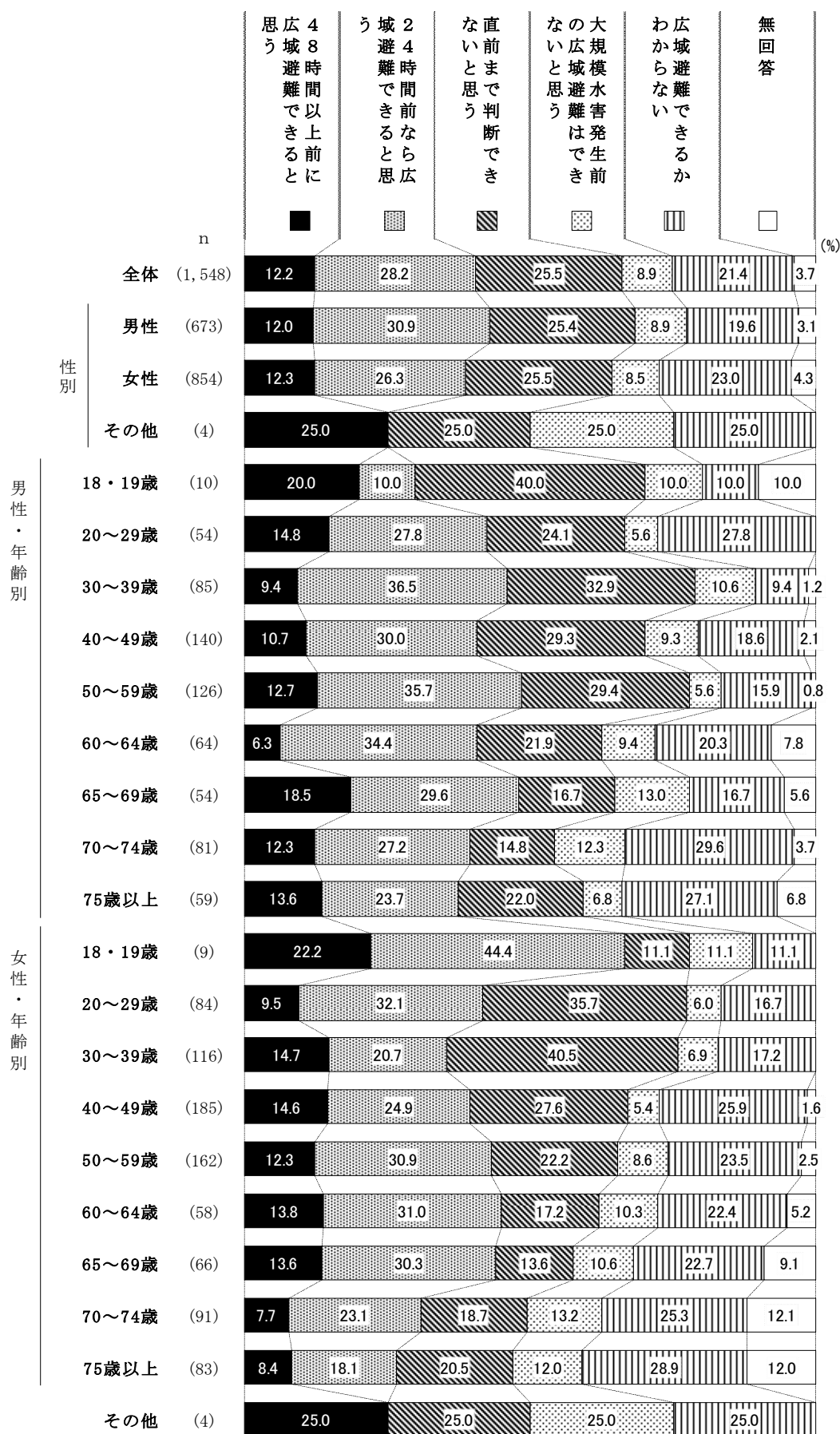
(図表6-11)

【性・年齢別】

性別では、「24時間前なら広域避難できると思う」は男性(30.9%)が女性(26.3%)よりも4.6ポイント高く、「広域避難できるかわからない」は女性(23.0%)が男性(19.6%)よりも3.4ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「24時間前なら広域避難できると思う」は男性30~39歳(36.5%)で3割台半ばと最も高く、「直前まで判断できないと思う」は女性30~39歳(40.5%)で4割強と最も高い。また、「広域避難できるかわからない」は男性70~74歳(29.6%)、男性75歳以上(27.1%)、女性75歳以上(28.9%)で3割弱と高くなっている。(図表6-12)

<図表6-12> 大規模水害時における江戸川区外の浸水しない地域等への広域避難／性・年齢別

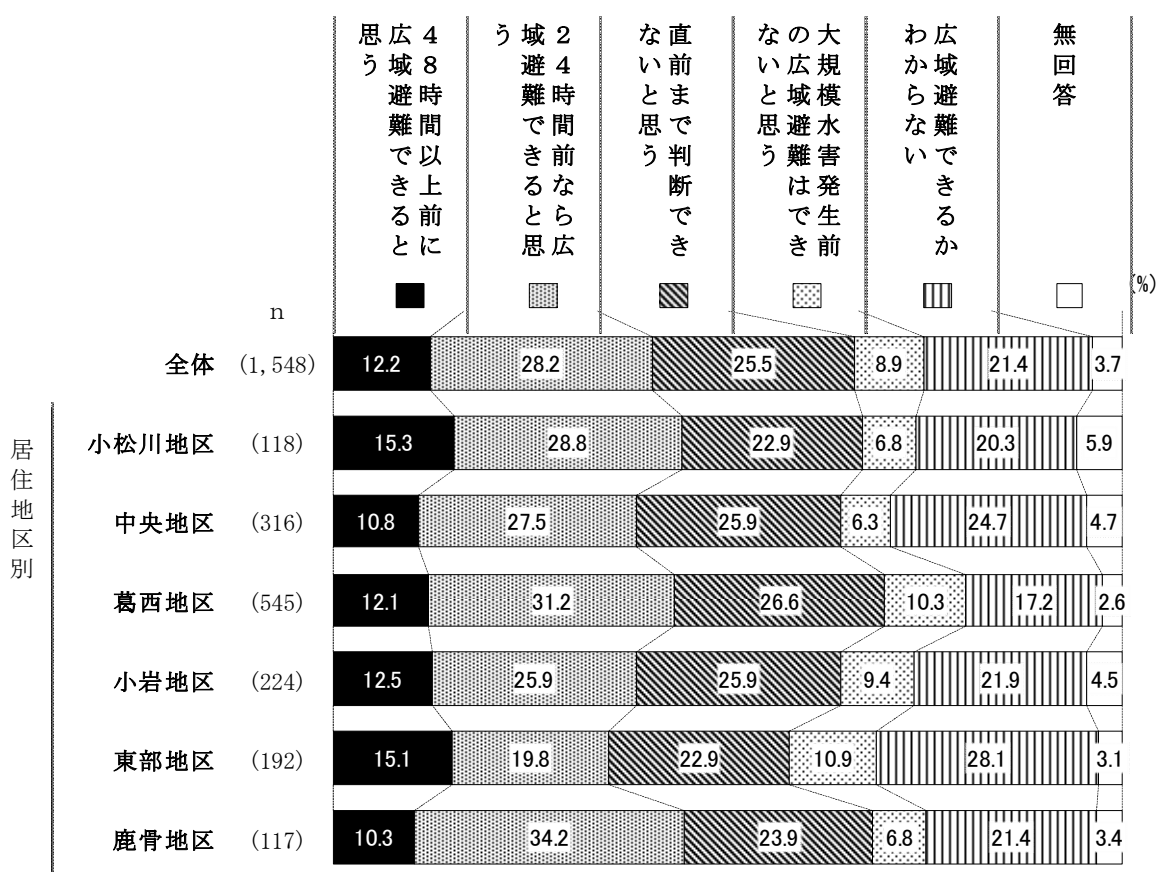


※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【居住地区別】

居住地区別でみると、「24時間前なら広域避難できると思う」は“鹿骨地区”（34.2%）で3割台半ばと最も高く、「広域避難できるかわからない」は、“東部地区”（28.1%）で3割弱と最も高くなっている。（図表6-13）

＜図表6-13＞ 大規模水害時における江戸川区外の浸水しない地域等への広域避難／居住地区別

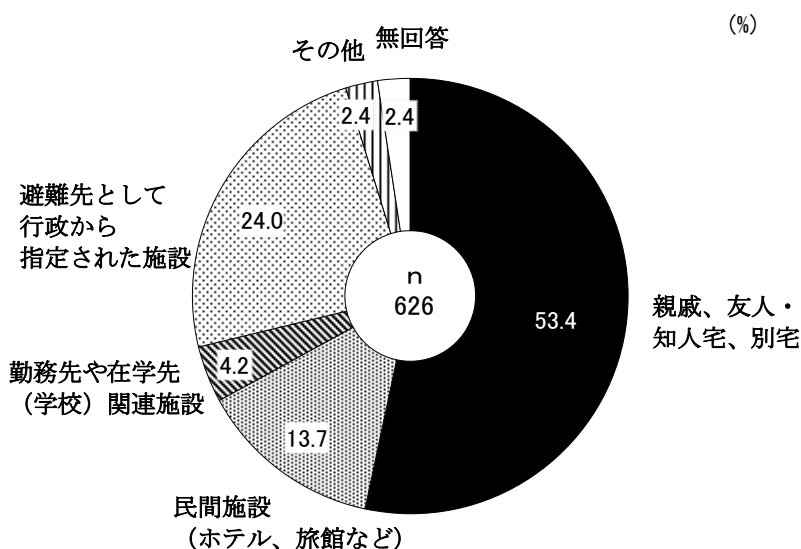


(3-1) 江戸川区外の避難先

◇ 「親戚、友人・知人宅、別宅」が5割台半ば

問13-2 <問13-1で「1 48時間以上前に広域避難できると思う」「2 24時間前なら広域避難できると思う」とお答えの方に>
大規模水害時に広域避難する場合、あなたは江戸川区外のどこへ避難しますか。(〇は1つ)

<図表6-14> 江戸川区外の避難先



広域避難できると思うと回答した方に江戸川区外のどこへ避難するか尋ねたところ、「親戚、友人・知人宅、別宅」(53.4%)が5割台半ばと最も高く、次いで「避難先として行政から指定された施設」(24.0%)が2割台半ば、「民間施設(ホテル、旅館など)」(13.7%)が1割台半ばとなっている。

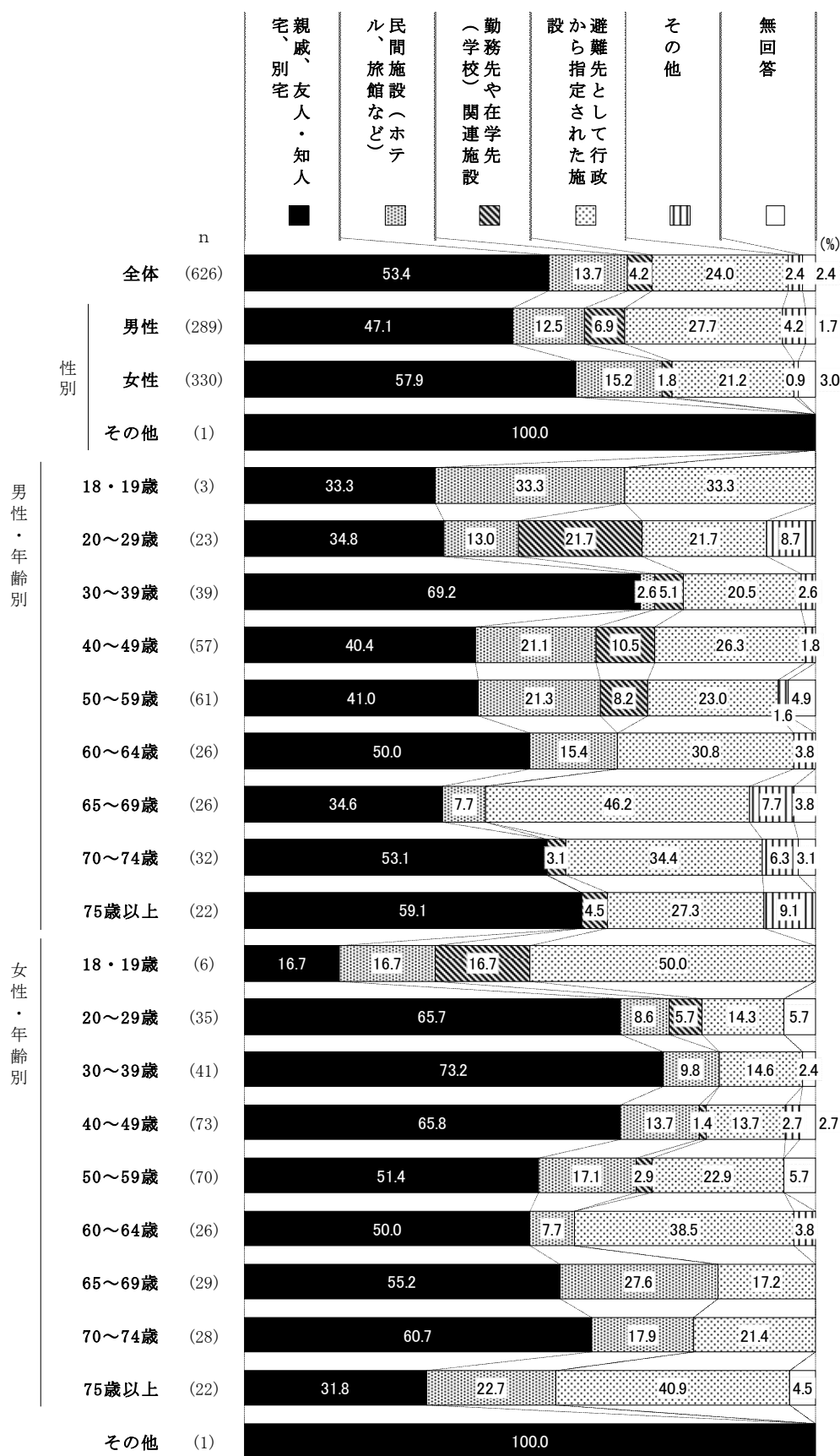
(図表6-14)

【性・年齢別】

性別では、「親戚、友人・知人宅、別宅」は女性(57.9%)が男性(47.1%)よりも10.8ポイント高く、「避難先として行政から指定された施設」は男性(27.7%)が女性(21.2%)よりも6.5ポイント高くなっている。

性・年齢別で見ると、「親戚、友人・知人宅、別宅」は男性30~39歳(69.2%)、女性30~39歳(73.2%)で7割台半ばと高くなっている。また、「避難先として行政から指定された施設」は男性65~69歳(46.2%)で4割台半ばと最も高く、「民間施設(ホテル、旅館など)」は女性65~69歳(27.6%)で3割弱と最も高くなっている。(図表6-15)

<図表6-15> 江戸川区外の避難先／性・年齢別

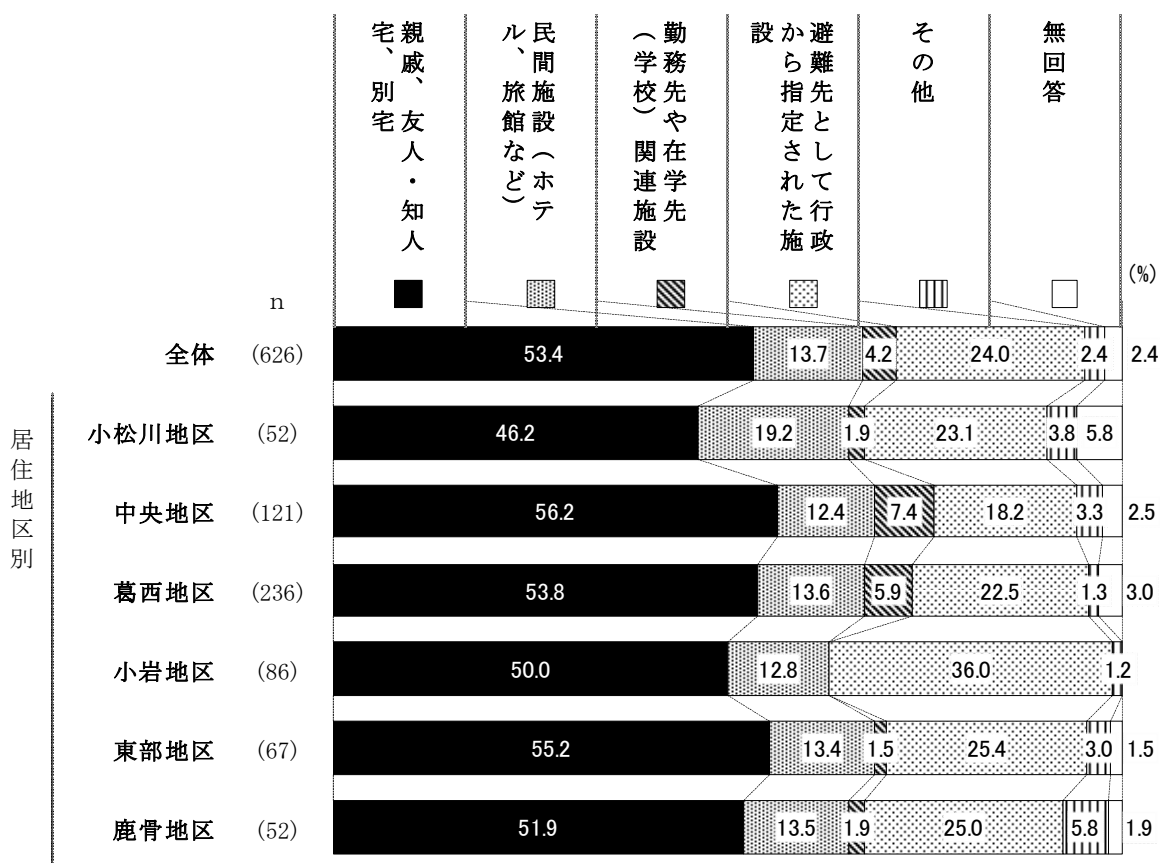


※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【居住地区別】

居住地区別でみると、「親戚、友人・知人宅、別宅」は“中央地区”（56.2%）と“東部地区”（55.2%）で5割台半ばと高く、「避難先として行政から指定された施設」は“小岩地区”（36.0%）で3割台半ばと高くなっている。（図表6-16）

＜図表6-16＞ 江戸川区外の避難先／居住地区別



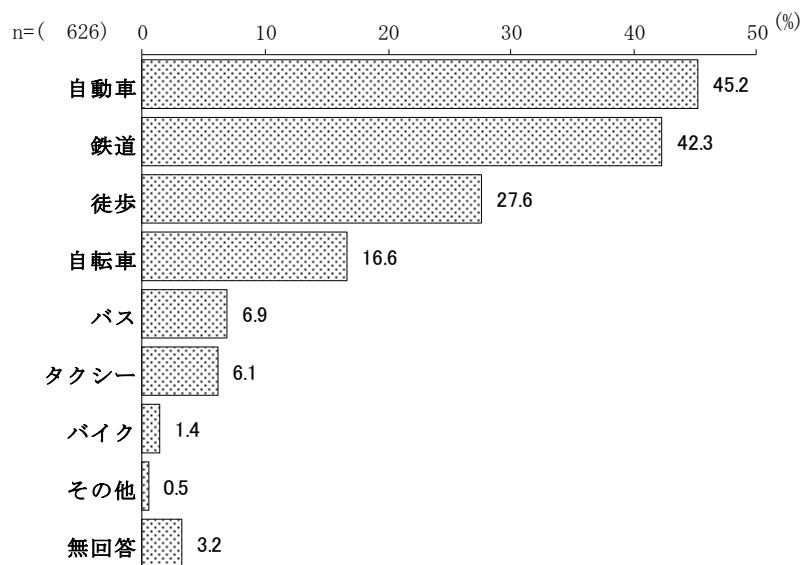
(3-2) 避難する手段

◇ 「自動車」が4割台半ばで最も高い

問13-3 <問13-1で「1 48時間以上前に広域避難できると思う」「2 24時間前なら広域避難できると思う」とお答えの方に>

広域避難先へは、どのような手段で避難しますか。(〇は2つまで)

<図表6-17> 避難する手段(複数回答)



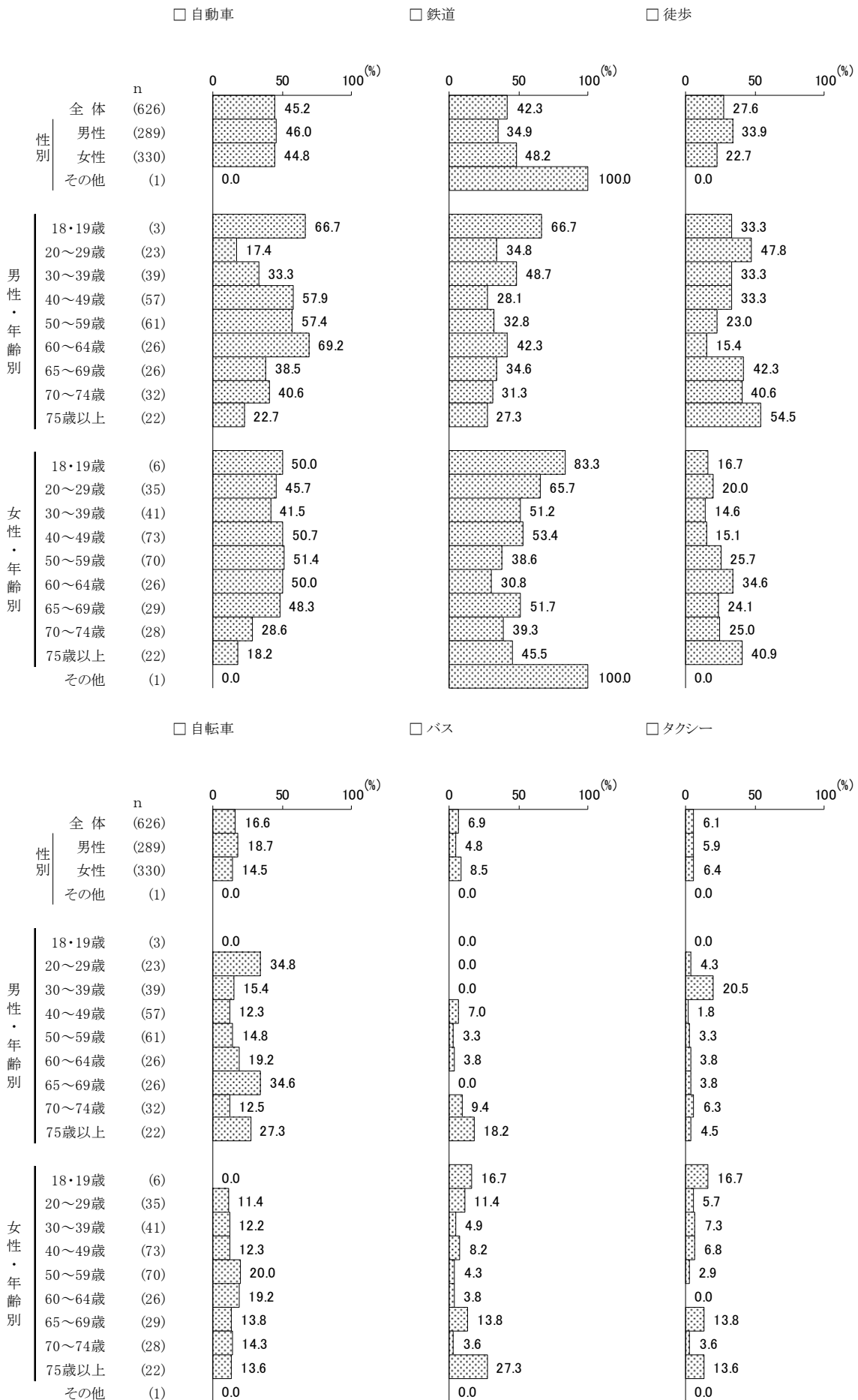
広域避難できると回答した方に広域避難先への避難手段を尋ねたところ、「自動車」(45.2%)が4割台半ばで最も高く、続いて「鉄道」(42.3%)、「徒歩」(27.6%)、「自転車」(16.6%)となっている。(図表6-17)

【性・年齢別】

性別では、「鉄道」は女性(48.2%)が男性(34.9%)よりも13.3ポイント高く、「徒歩」は男性(33.9%)が女性(22.7%)よりも11.2ポイント高くなっている。

性・年齢別は、「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず参考資料とする。(図表6-18)

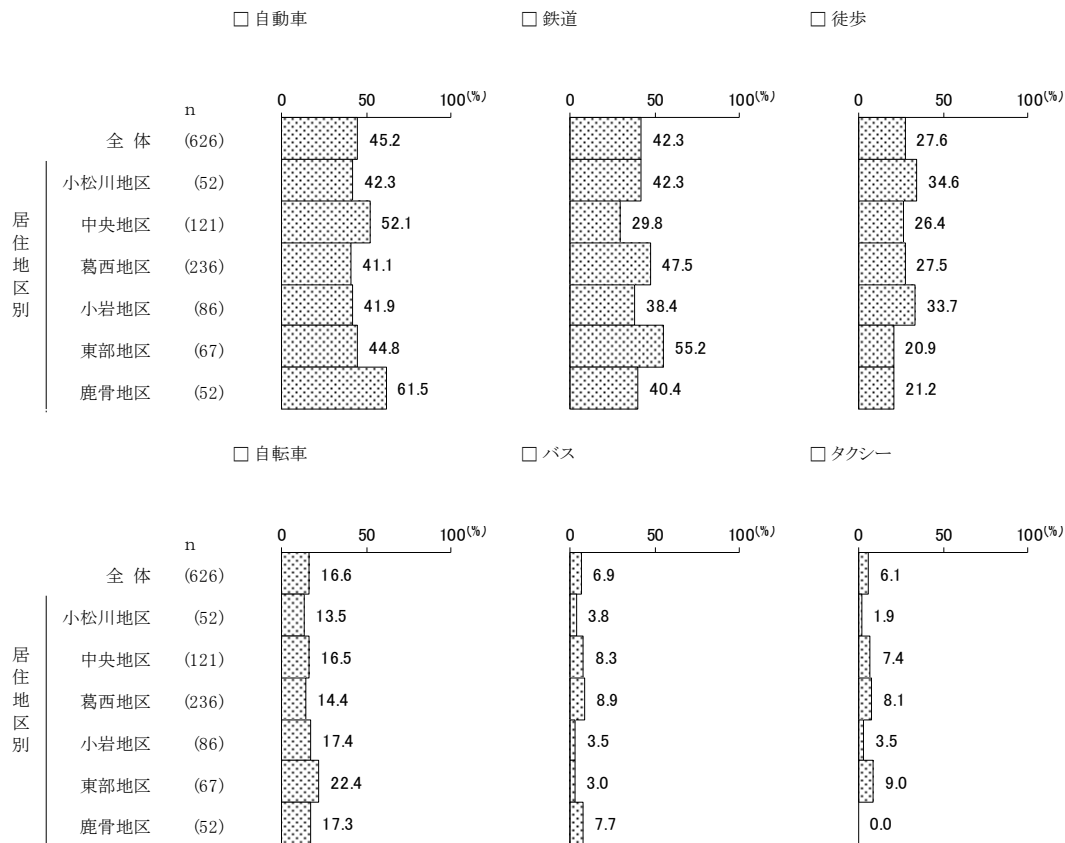
<図表6-18> 避難する手段／性・年齢別（上位6項目）



【居住地区別】

居住地区別でみると、「自動車」は“鹿骨地区”（61.5%）で6割強と最も高く、「鉄道」は“東部地区”（55.2%）で5割台半ばと最も高い。また、「徒歩」は“小松川地区”（34.6%）、“小岩地区”（33.7%）で高く、「自転車」は“東部地区”（22.4%）で高くなっている。（図表6-19）

＜図表6-19＞ 避難する手段／居住地区別（上位6項目）



(3-3) 江戸川区内の避難

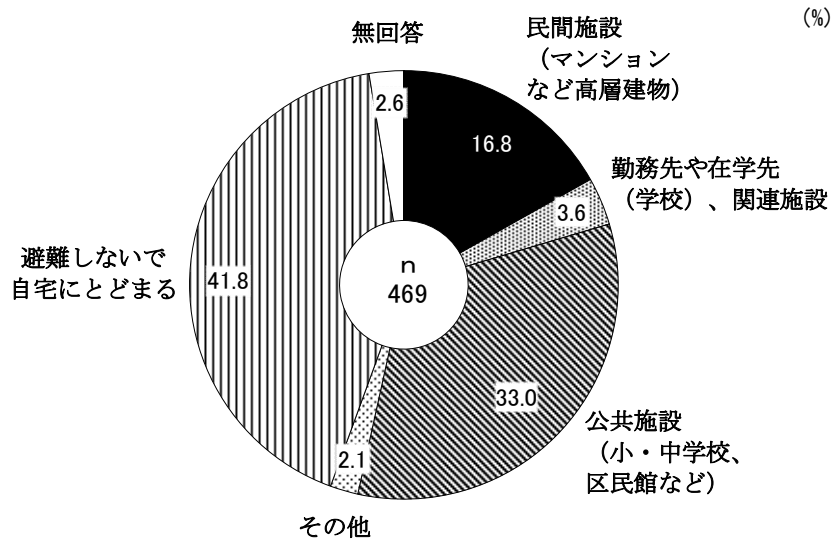
◇ 「避難しないで自宅にとどまる」が4割強

問13-4 <問13-1で「4 大規模水害発生前の広域避難はできないと思う」「5 広域避難できるかわからない」とお答えの方に>

(1) 大規模水害時に広域避難しない場合、あなたは江戸川区内のどこへ避難しますか。

(○は1つだけ)

<図表6-20> 江戸川区内の避難先



広域避難できないと回答した方に江戸川区内のどこへ避難するか尋ねたところ、「避難しないで自宅にとどまる」(41.8%)が4割強で最も高くなっている。避難先を挙げた人の中では、「公共施設(小・中学校、区民館など)」(33.0%)が3割台半ば、「民間施設(マンションなど高層建物)」(16.8%)が1割台半ばとなっている。(図表6-20)

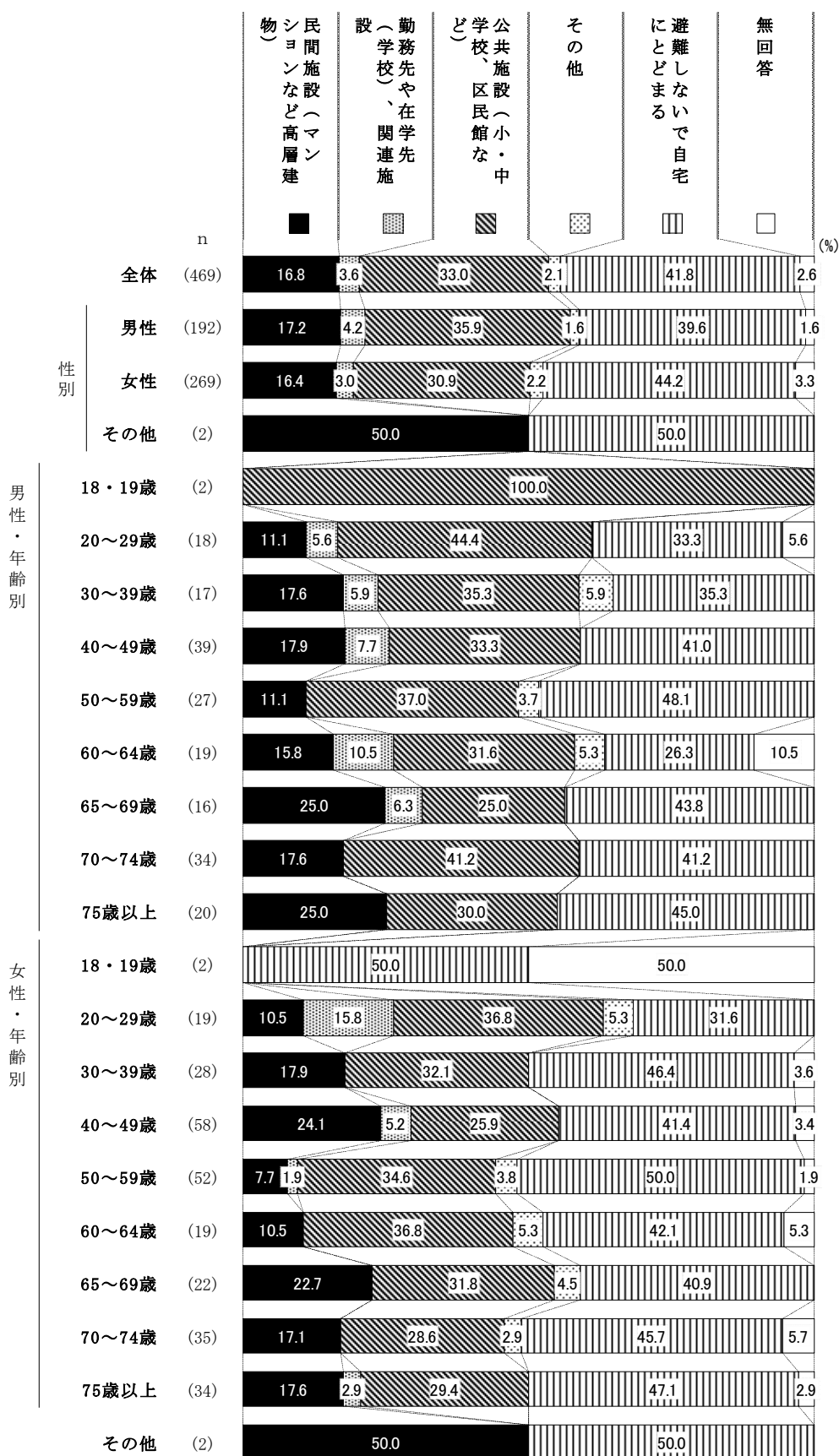
【性・年齢別】

性別では、「避難しないで自宅にとどまる」は女性(44.2%)が男性(39.6%)より4.6ポイント高く、「公共施設(小・中学校、区民館など)」は男性(35.9%)が女性(30.9%)より5.0ポイント高くなっている。

性・年齢別で見ると、「避難しないで自宅にとどまる」は女性50~59歳(50.0%)で5割と最も高く、次いで男性50~59歳(48.1%)となっている。一方、「公共施設(小・中学校、区民館など)」は男性20~29歳(44.4%)、男性70~74歳(41.2%)で高く、「民間施設(マンションなど高層建物)」は男性65~69歳、男性75歳以上(各25.0%)、女性40~49歳(24.1%)で高くなっている。

(図表6-21)

<図表6-21> 江戸川区内の避難先／性・年齢別

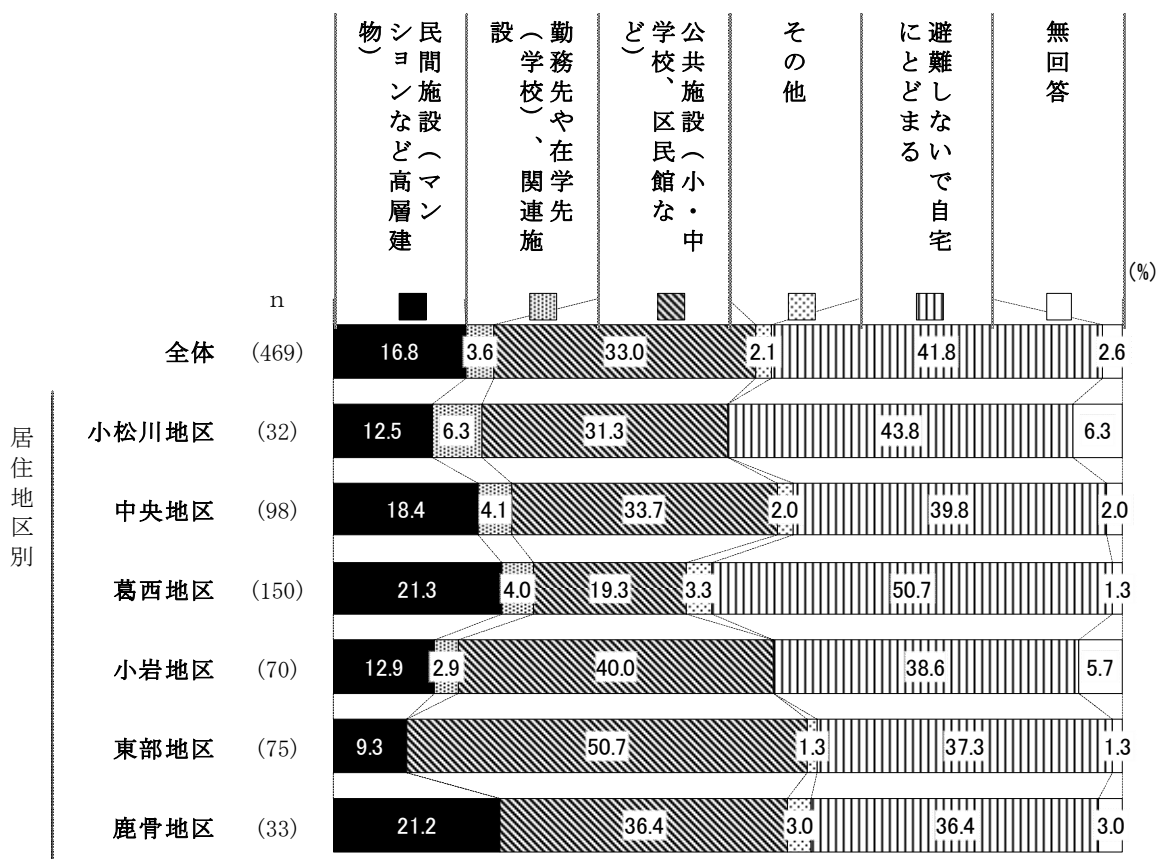


※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【居住地区別】

居住地区別でみると、「避難しないで自宅にとどまる」は“葛西地区”（50.7%）で5割強と高くなっている。一方、「公共施設（小・中学校、区民館など）」は“東部地区”（50.7%）で5割強と高くなっている。（図表6-22）

＜図表6-22＞ 江戸川区内の避難先／居住地区別



(3-4) 広域避難しない理由

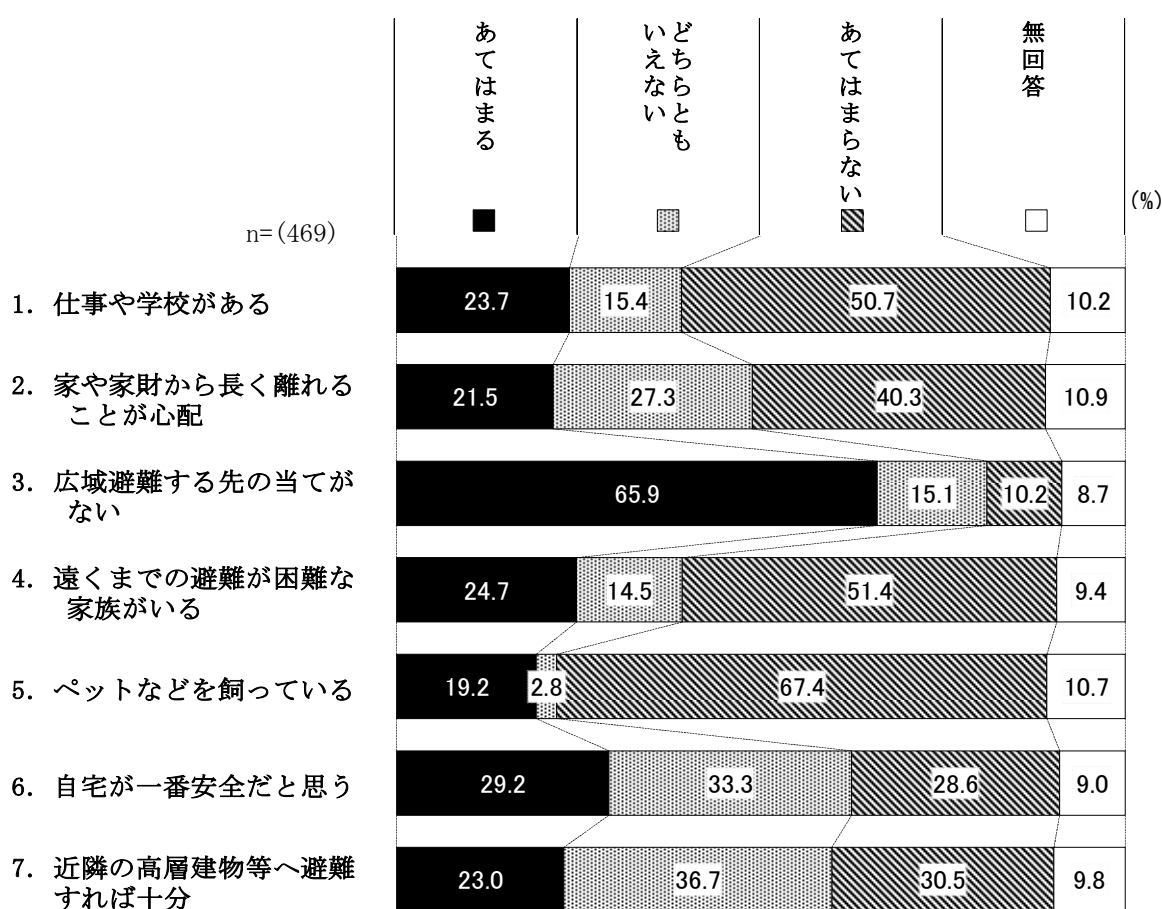
◇ 【広域避難する先の当てがない】が6割台半ば

問13-4 <問13-1で「4 大規模水害発生前の広域避難はできないと思う」「5 広域避難できるかわからない」とお答えの方に>

(2) 大規模水害時に広域避難しない理由について、あなたはどのようにお考えですか。

(それぞれ〇は1つつ)

<図表6-23> 広域避難しない理由

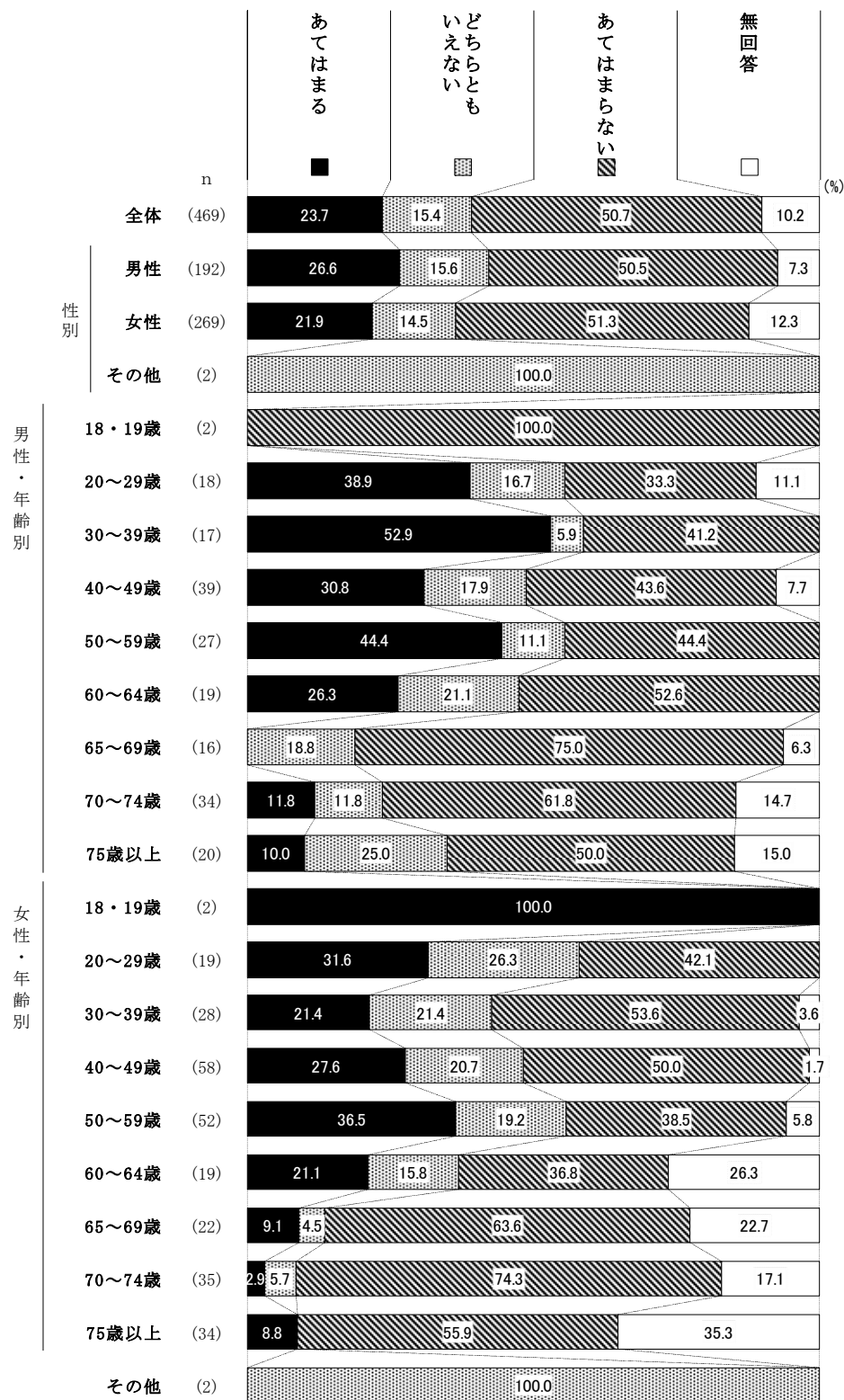


広域避難しない理由を尋ねたところ、「あてはまる」は【広域避難する先の当てがない】(65.9%)が6割台半ばで最も高く、以下、【自宅が一番安全だと思う】(29.2%)、【遠くまでの避難が困難な家族がいる】(24.7%)、【仕事や学校がある】(23.7%)の順となっている。(図表6-23)

【1 仕事や学校がある／性・年齢別】

性別では、「あてはまる」は男性（26.6%）が女性（21.9%）より4.7ポイント高くなっている。
 性・年齢別は、「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず参考資料とする。（図表6-24）

<図表6-24> 1 仕事や学校がある／性・年齢別

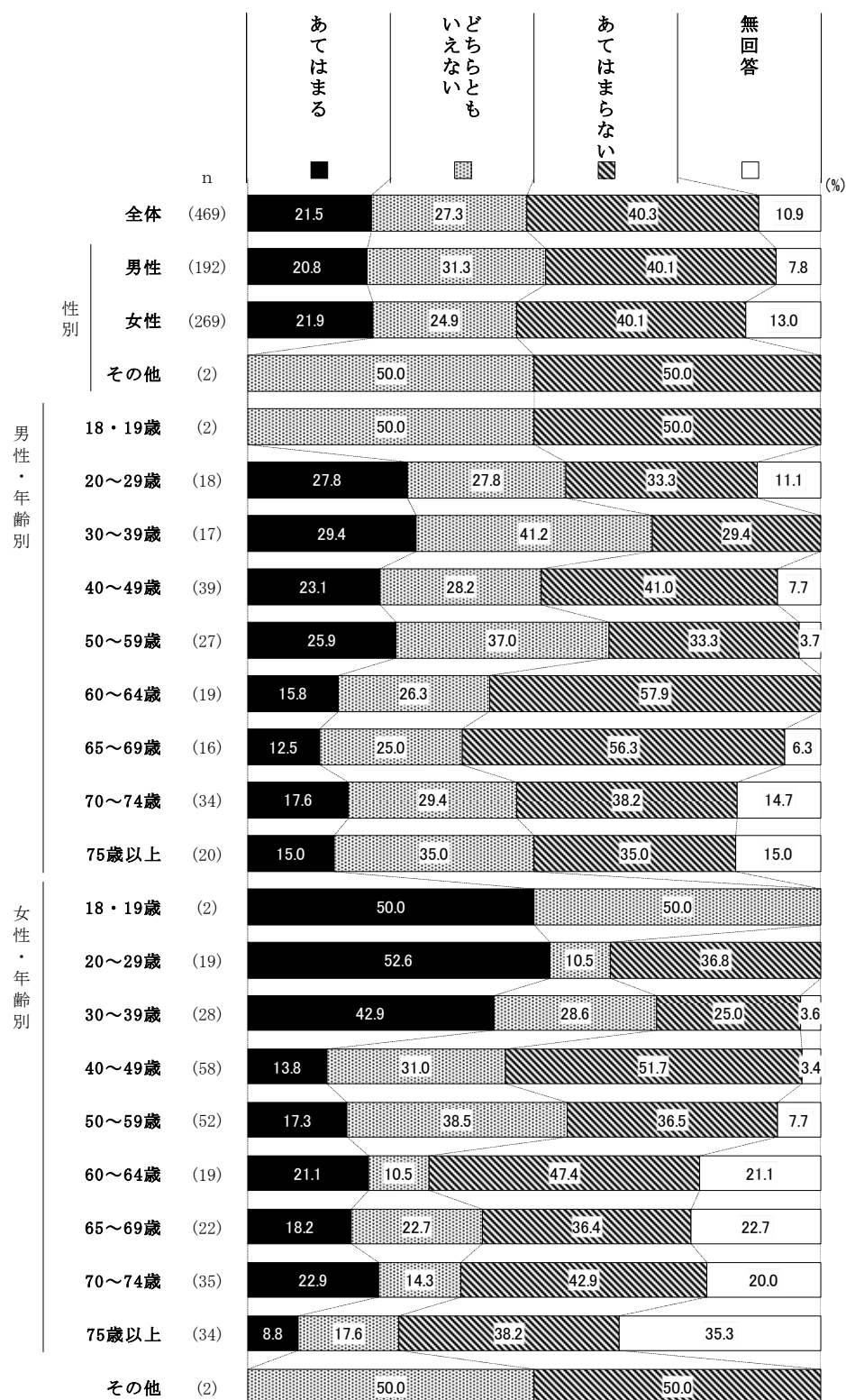


【2 家や家財から長く離れることが心配／性・年齢別】

性別では、「あてはまる」は男女間で大きな違いはみられない。

性・年齢別は、「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず参考資料とする。(図表6-25)

＜図表6-25＞ 2 家や家財から長く離れることが心配／性・年齢別

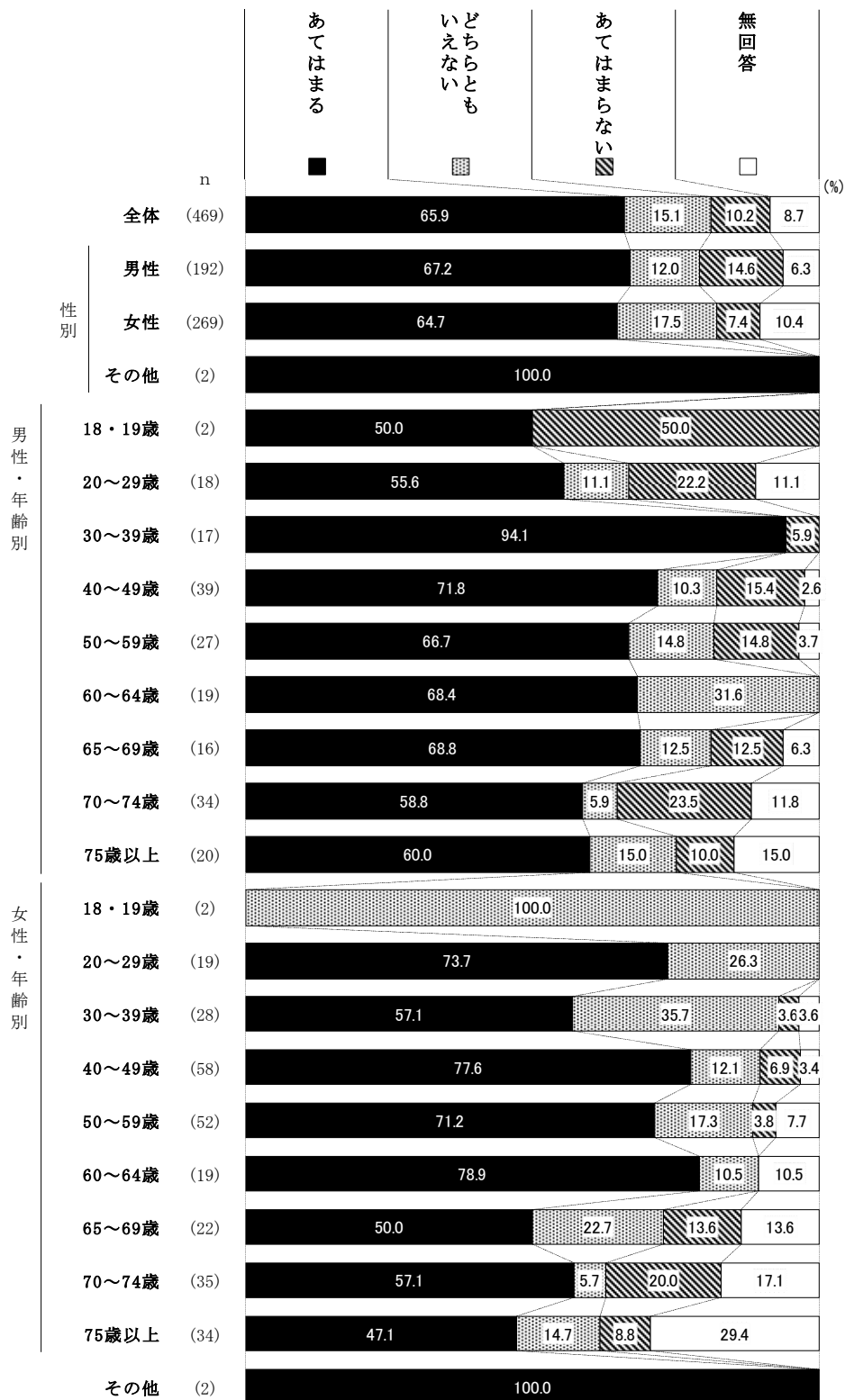


【3 広域避難する先の当てがない／性・年齢別】

性別では、「あてはまる」は男性（67.2%）が女性（64.7%）より2.5ポイント高くなっている。

性・年齢別は、「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず参考資料とする。（図表6-26）

<図表6-26> 3 広域避難する先の当てがない／性・年齢別

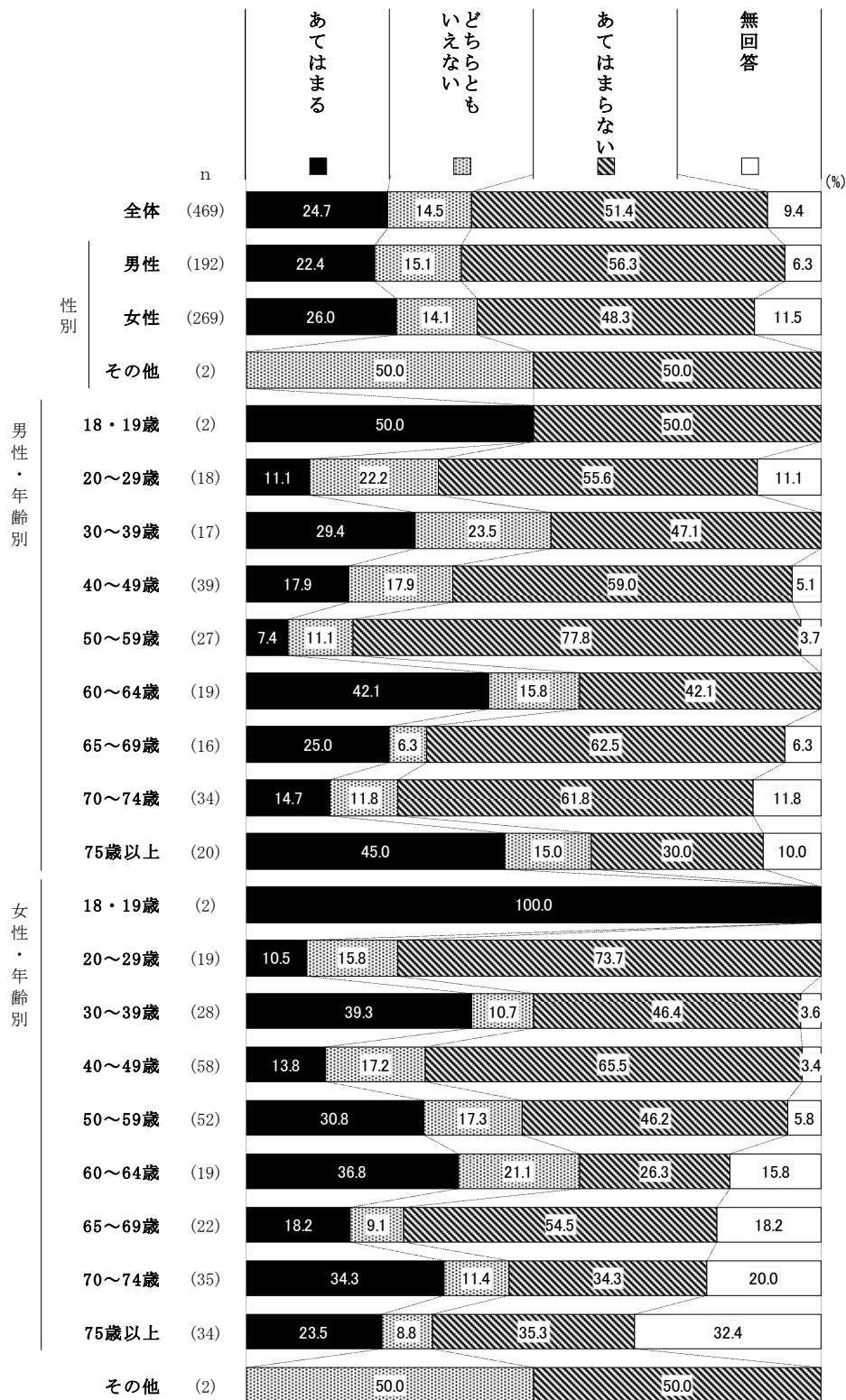


【4 遠くまでの避難が困難な家族がいる／性・年齢別】

性別では、「あてはまる」は女性（26.0%）が男性（22.4%）より3.6ポイント高くなっている。

性・年齢別は、「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず参考資料とする。（図表6-27）

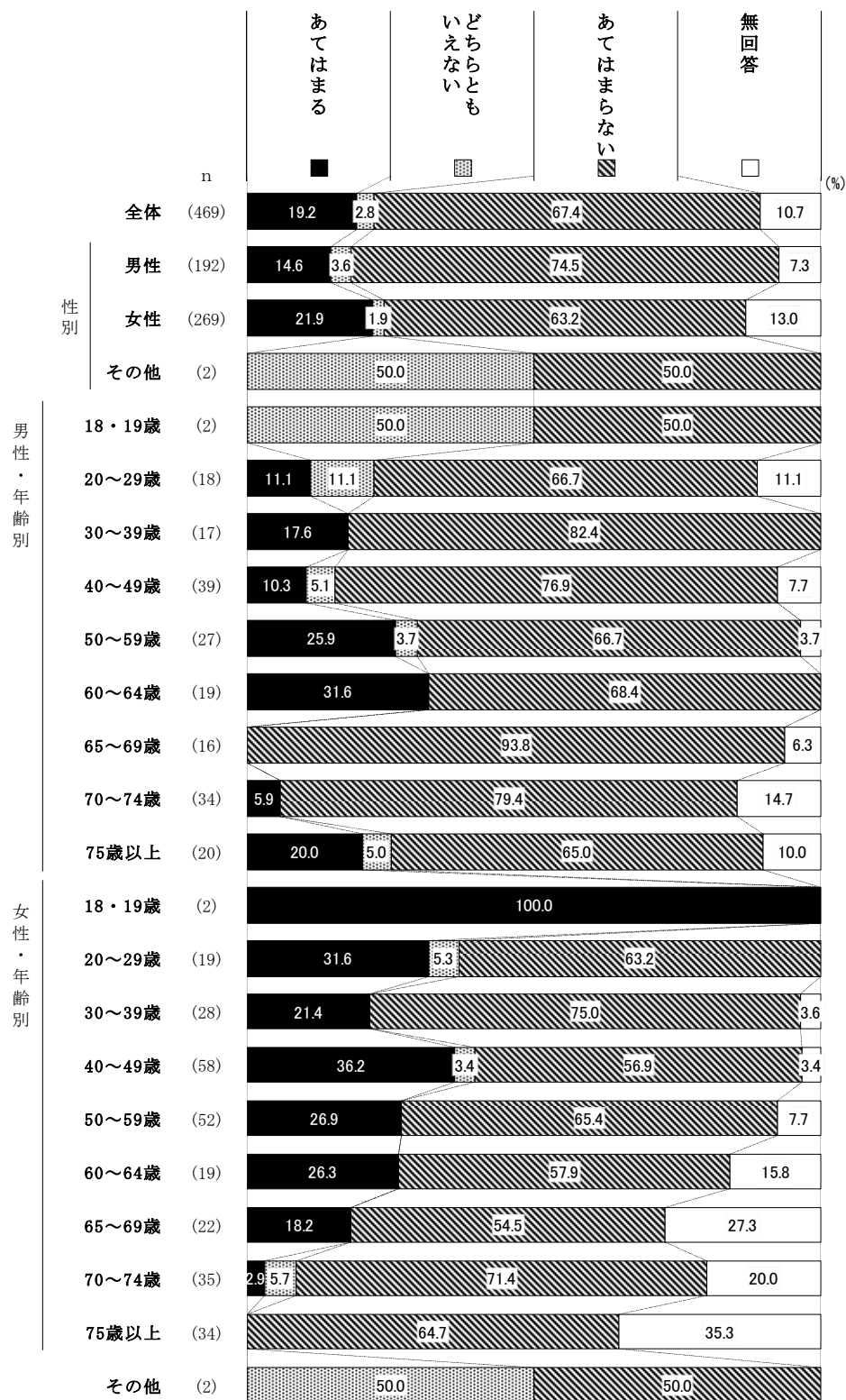
＜図表6-27＞ 4 遠くまでの避難が困難な家族がいる／性・年齢別



【5 ペットなどを飼っている／性・年齢別】

性別では、「あてはまる」は女性（21.9%）が男性（14.6%）より7.3ポイント高くなっている。
 性・年齢別は、「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず参考資料とする。（図表6-28）

＜図表6-28＞ 5 ペットなどを飼っている／性・年齢別

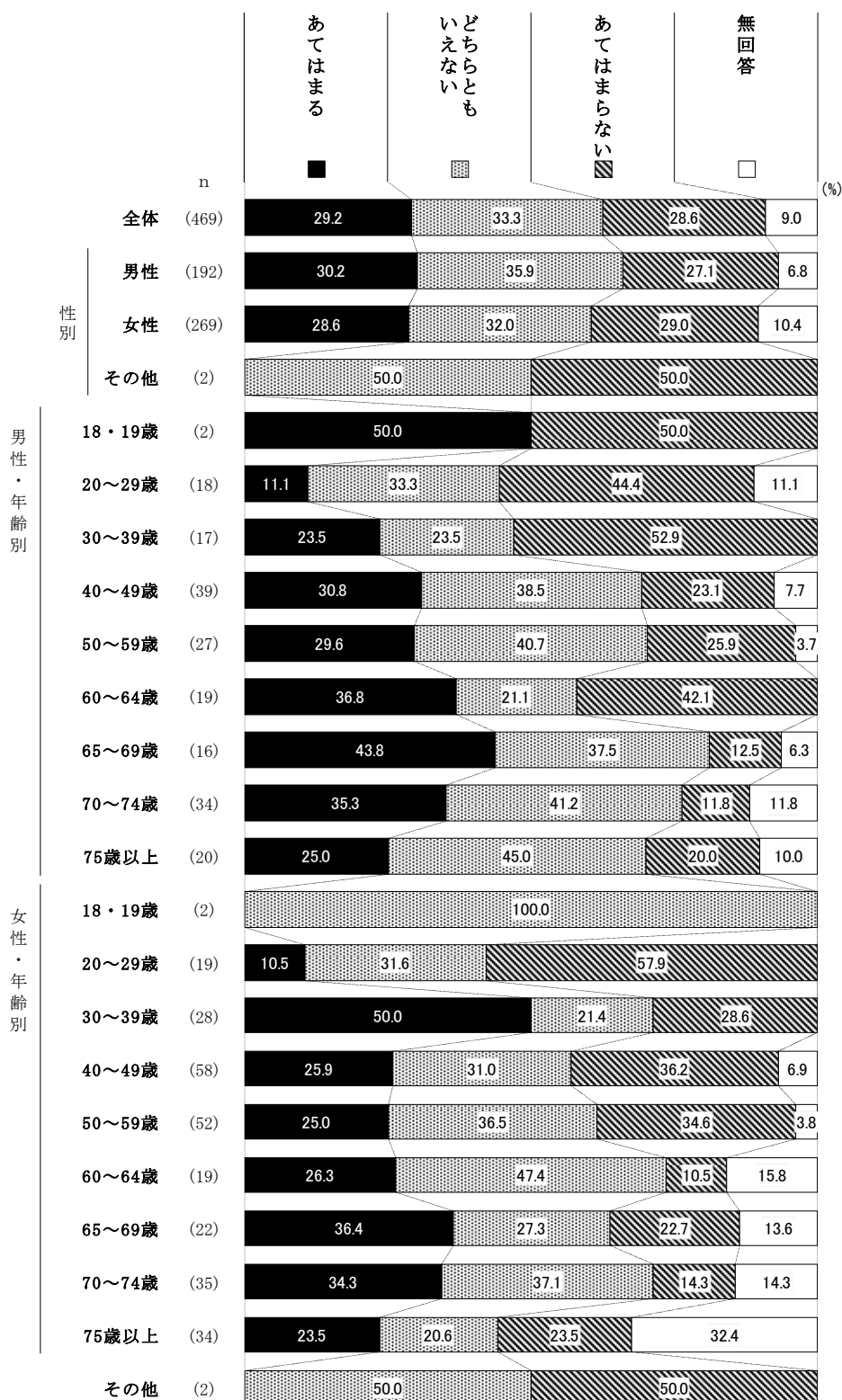


【6 自宅が一番安全だと思う／性・年齢別】

性別では、「あてはまる」は男性（30.2%）が女性（28.6%）より1.6ポイント高くなっている。

性・年齢別は、「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず参考資料とする。（図表6-29）

＜図表6-29＞ 6 自宅が一番安全だと思う／性・年齢別

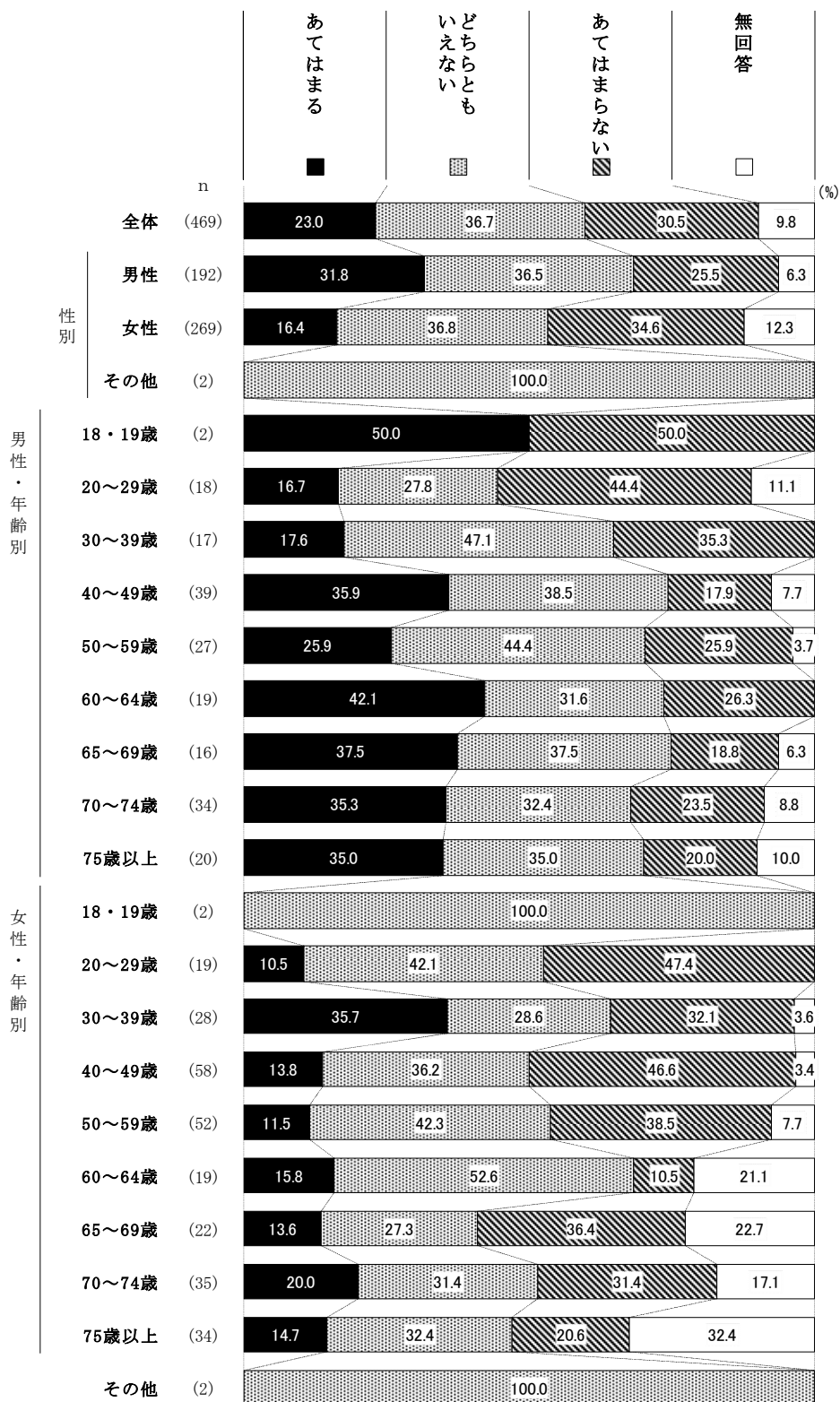


【7 近隣の高層建物等へ避難すれば十分／性・年齢別】

性別では、「あてはまる」は男性（31.8%）が女性（16.4%）より 15.4 ポイント高くなっている。

性・年齢別は、「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず参考資料とする。（図表6-30）

<図表6-30> 7 近隣の高層建物等へ避難すれば十分／性・年齢別

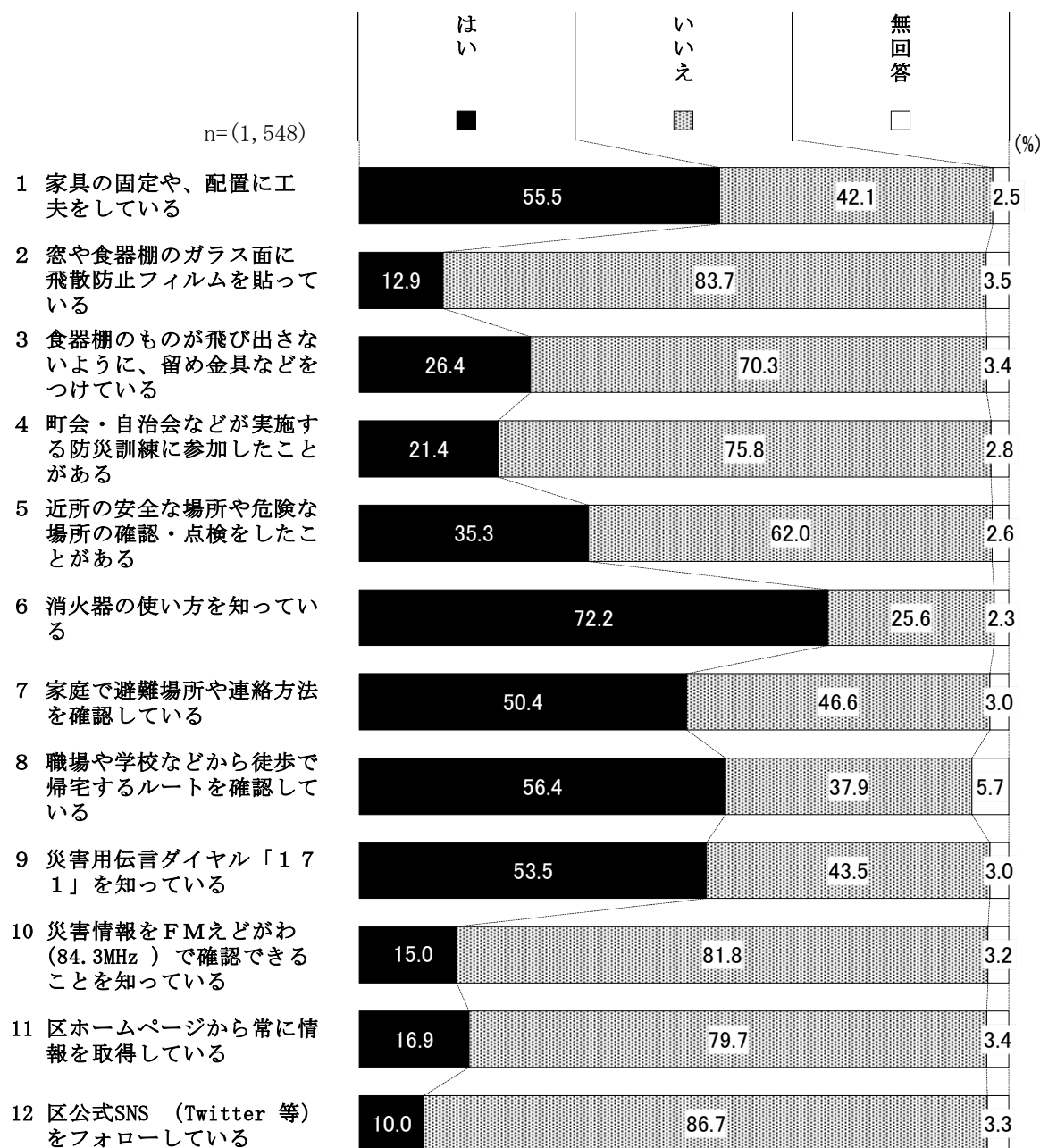


(3-5) 地震への備え

◇ 【消火器の使い方を知っている】が7割強と最も高い

問14 あなたは地震が起こったときのために、日頃から備えをしていますか。
項目ごとにお答えください。(それぞれ〇は1つつ)

<図表6-31> 地震への備え



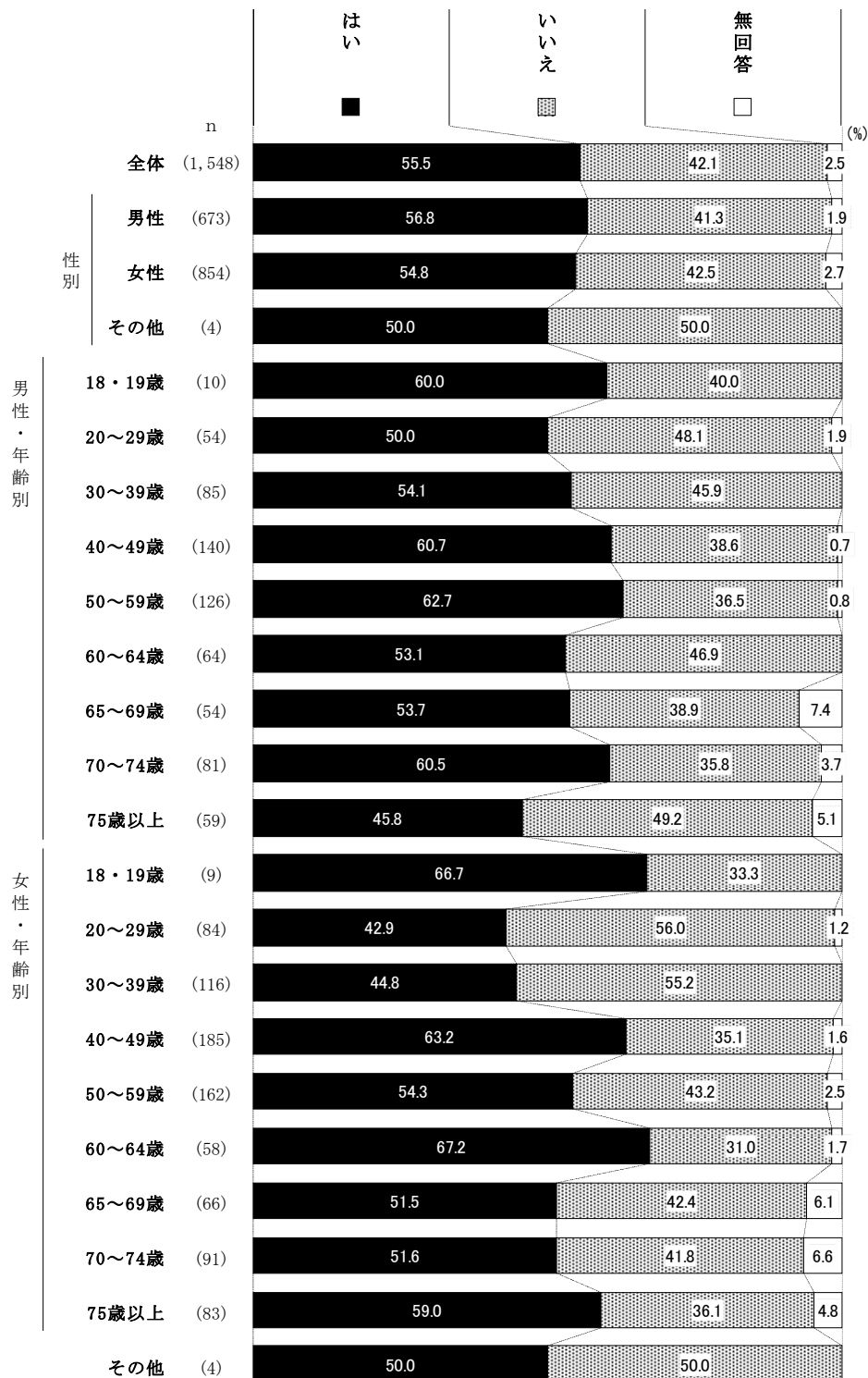
地震が起こったときのために、日頃から備えていることを尋ねたところ、「はい」は【消火器の使い方を知っている】(72.2%)が7割強と最も高く、次いで【職場や学校などから徒歩で帰宅するルートを確認している】(56.4%)が5割台半ばと高くなっている。(図表6-31)

【1 家具の固定や、配置に工夫をしている／性・年齢別】

性別では、「はい」は男性（56.8%）が女性（54.8%）より2.0ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は女性60～64歳（67.2%）で6割台半ばと最も高く、次いで女性40～49歳（63.2%）、男性50～59歳（62.7%）となっている。（図表6－32）

＜図表6－32＞ 1 家具の固定や、配置に工夫をしている／性・年齢別



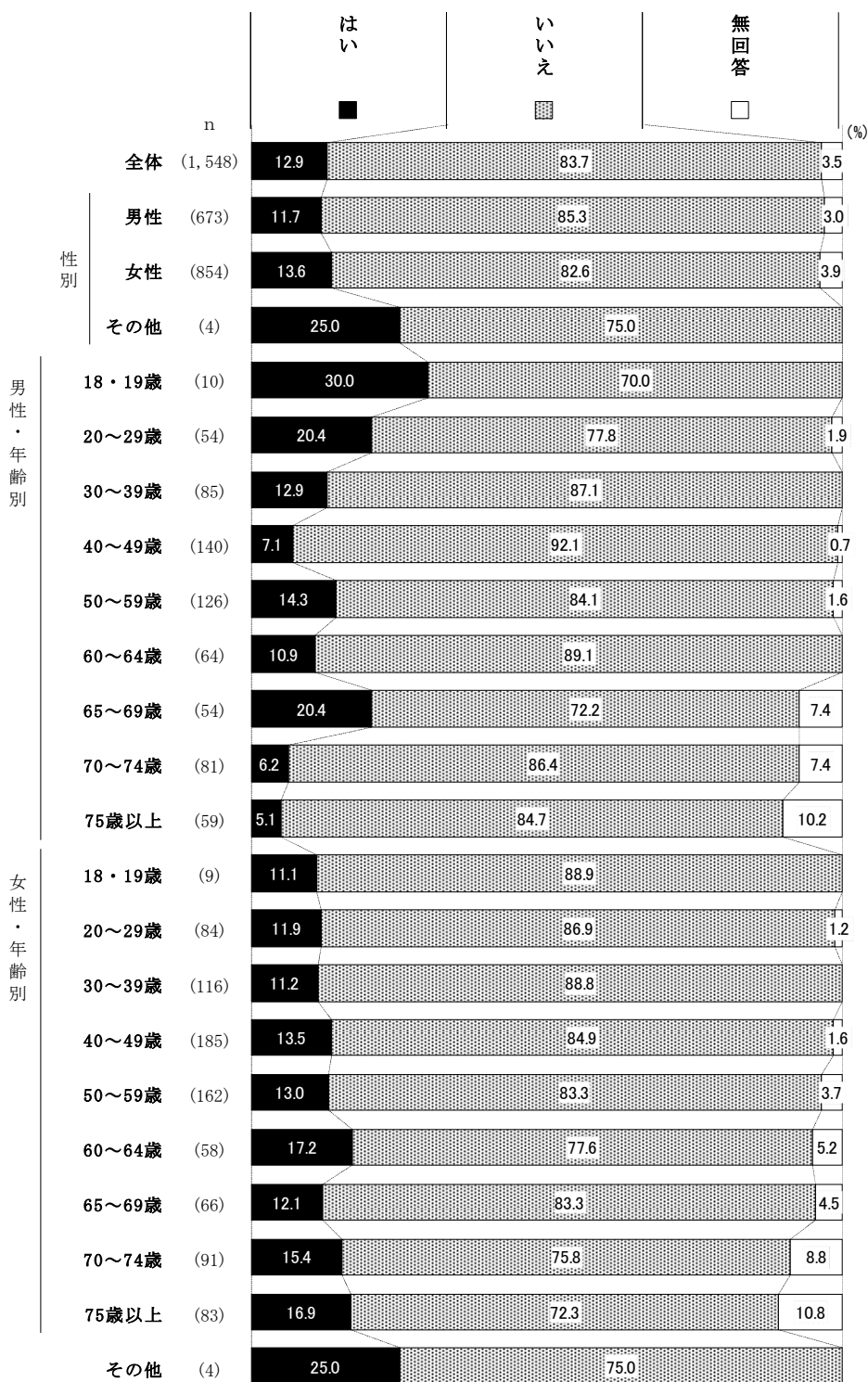
※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【2 窓や食器棚のガラス面に飛散防止フィルムを貼っている／性・年齢別】

性別では、「はい」は女性（13.6%）が男性（11.7%）より1.9ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は男性20～29歳、男性65～69歳（各20.4%）で2割と高くなっている。（図表6-33）

＜図表6-33＞ 2 窓や食器棚のガラス面に飛散防止フィルムを貼っている／性・年齢別



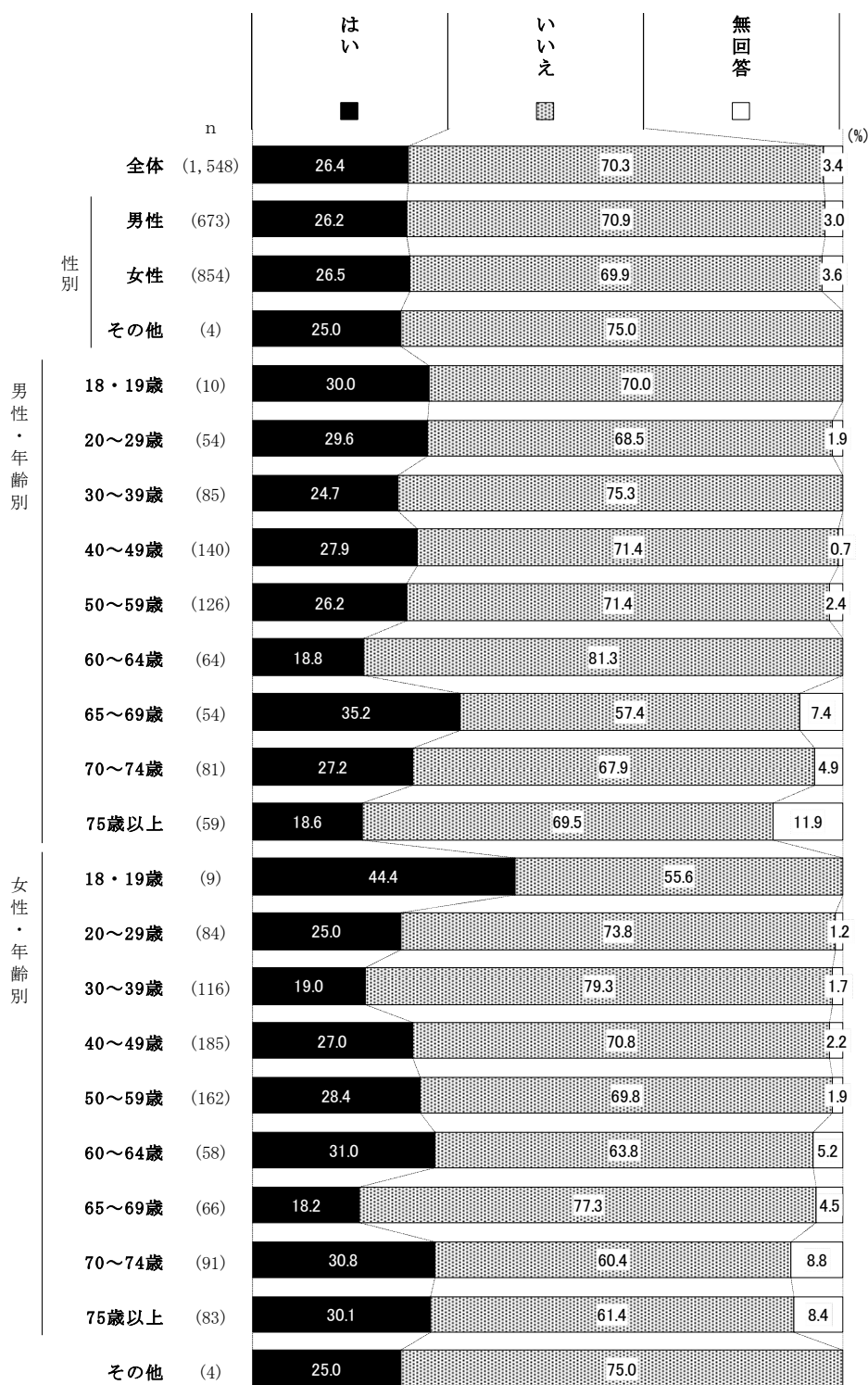
※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【3 食器棚のものが飛び出さないように、留め金具などをつけている／性・年齢別】

性別では、「はい」は男女間で大きな違いはみられない。

性・年齢別でみると、「はい」は男性 65～69 歳 (35.2%) で 3 割台半ばと最も高く、次いで女性 60～64 歳 (31.0%)、女性 70～74 歳 (30.8%)、女性 75 歳以上 (30.1%) となっている。(図表 6-34)

＜図表 6-34＞ 3 食器棚のものが飛び出さないように、留め金具などをつけている／性・年齢別



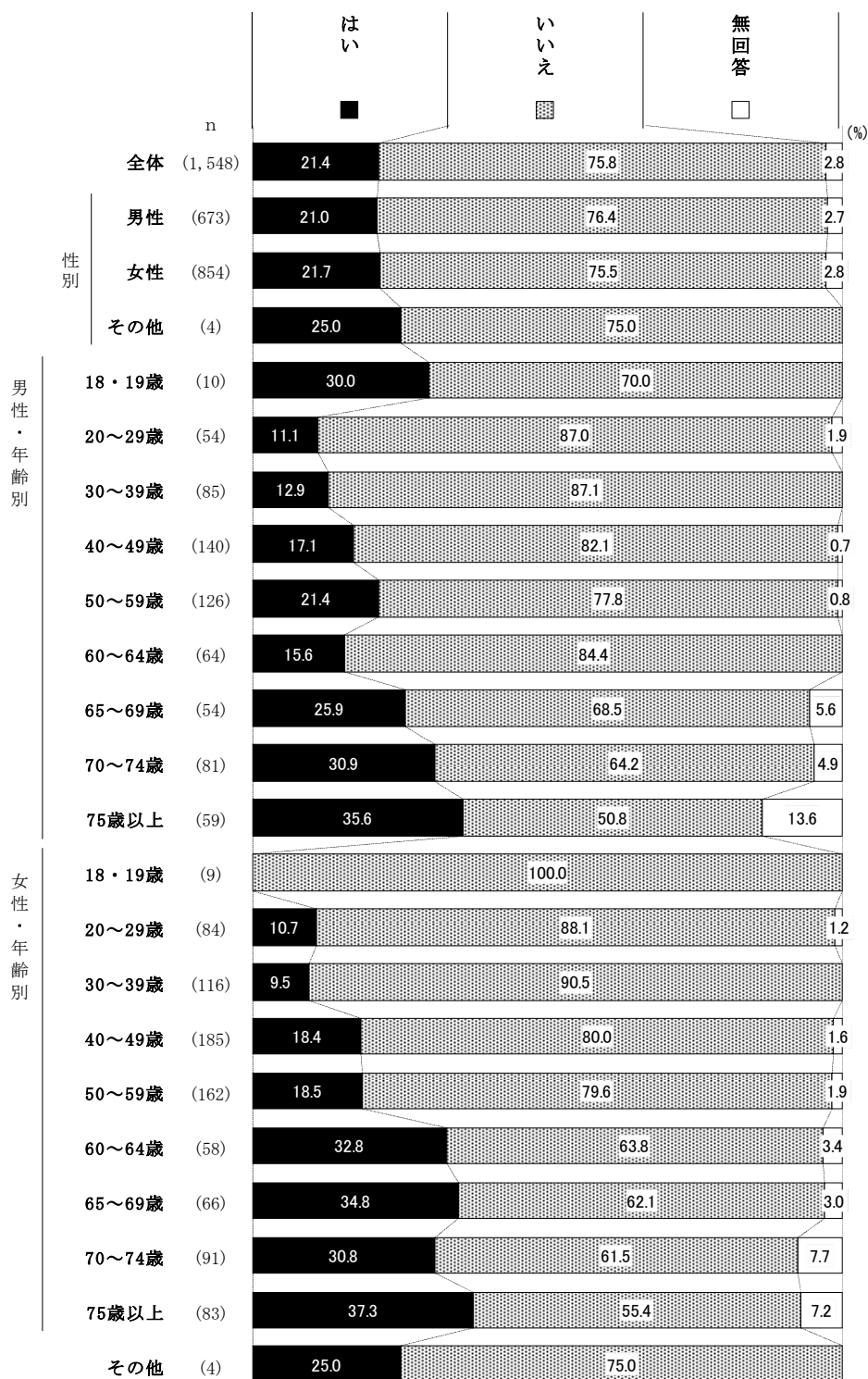
※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【4 町会・自治会などが実施する防災訓練に参加したことがある／性・年齢別】

性別では、「はい」は男女間で大きな違いはみられない。

性・年齢別でみると、「はい」は女性 75 歳以上 (37.3%) で 3 割台半ばと最も高く、次いで男性 75 歳以上 (35.6%)、女性 65～69 歳 (34.8%) となっている。(図表 6-35)

＜図表 6-35＞ 4 町会・自治会などが実施する防災訓練に参加したことがある／性・年齢別



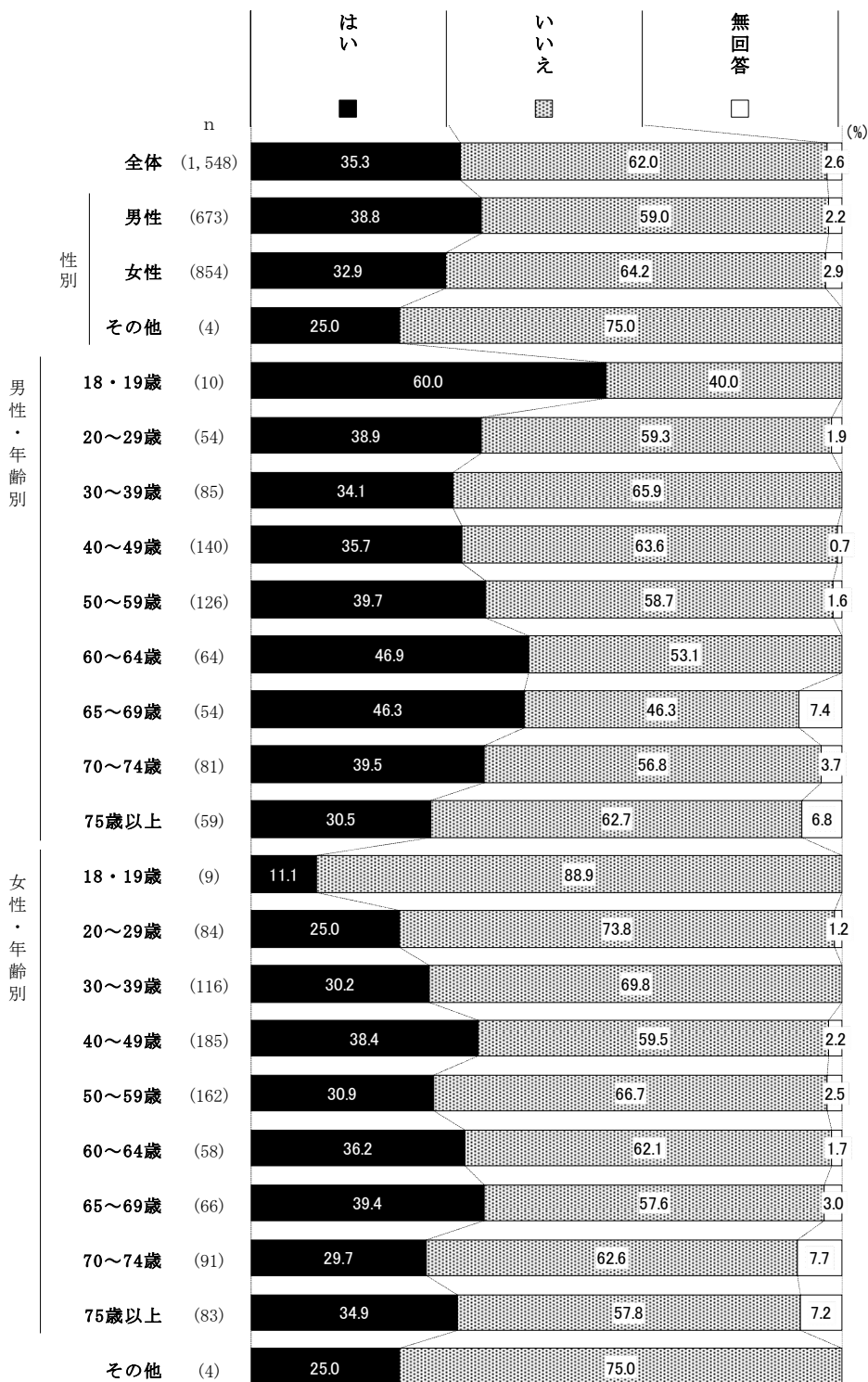
※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【5 近所の安全な場所や危険な場所の確認・点検をしたことがある／性・年齢別】

性別では、「はい」は男性（38.8%）が女性（32.9%）より5.9ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は男性60～64歳（46.9%）、男性65～69歳（46.3%）で4割台半ばと高くなっている。（図表6-36）

＜図表6-36＞ 5 近所の安全な場所や危険な場所の確認・点検をしたことがある／性・年齢別



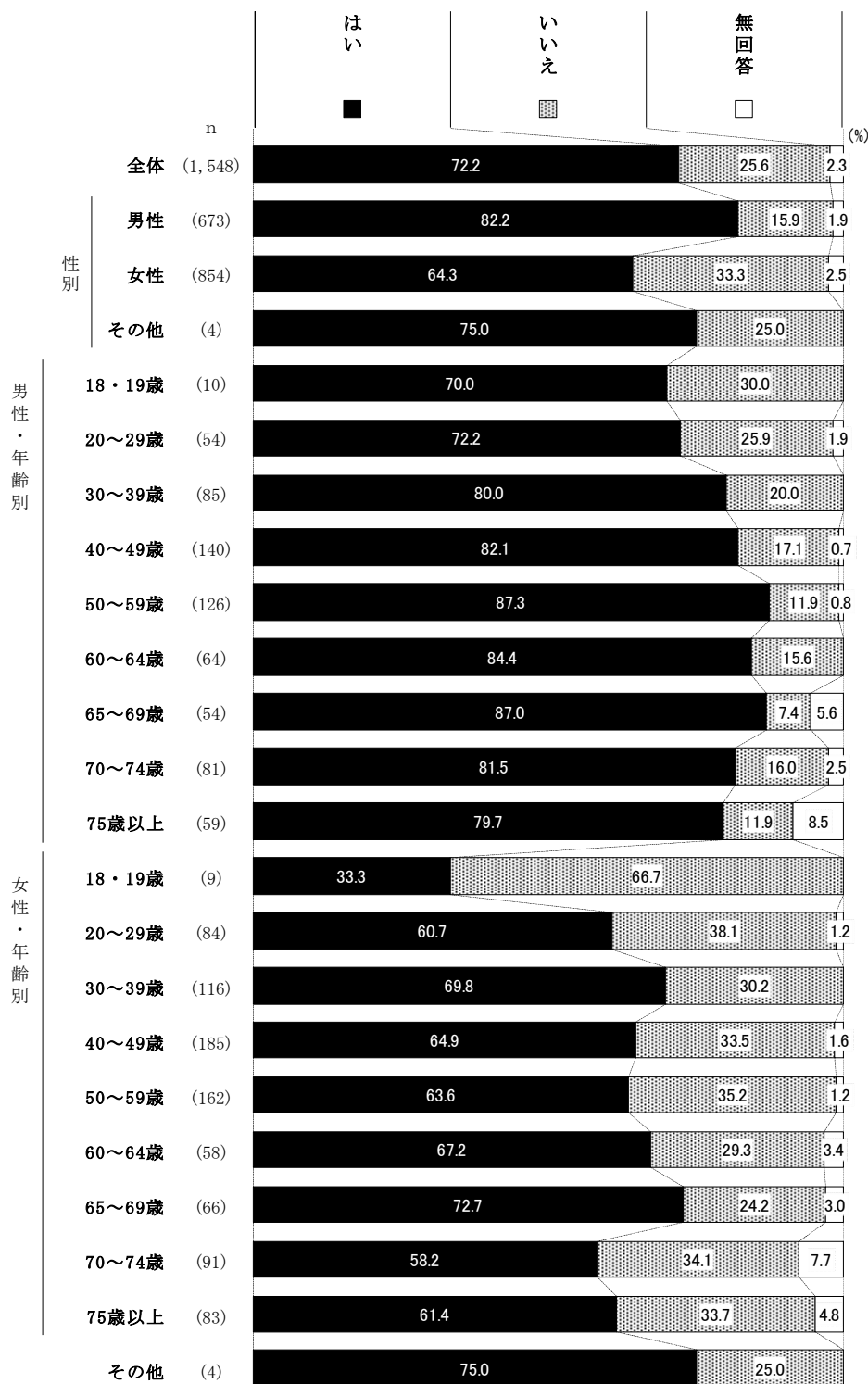
※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【6 消火器の使い方を知っている／性・年齢別】

性別では、「はい」は男性（82.2%）が女性（64.3%）より17.9ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は男性50～59歳（87.3%）、男性65～69歳（87.0%）で8割台半ばと高くなっている。（図表6-37）

＜図表6-37＞ 6 消火器の使い方を知っている／性・年齢別



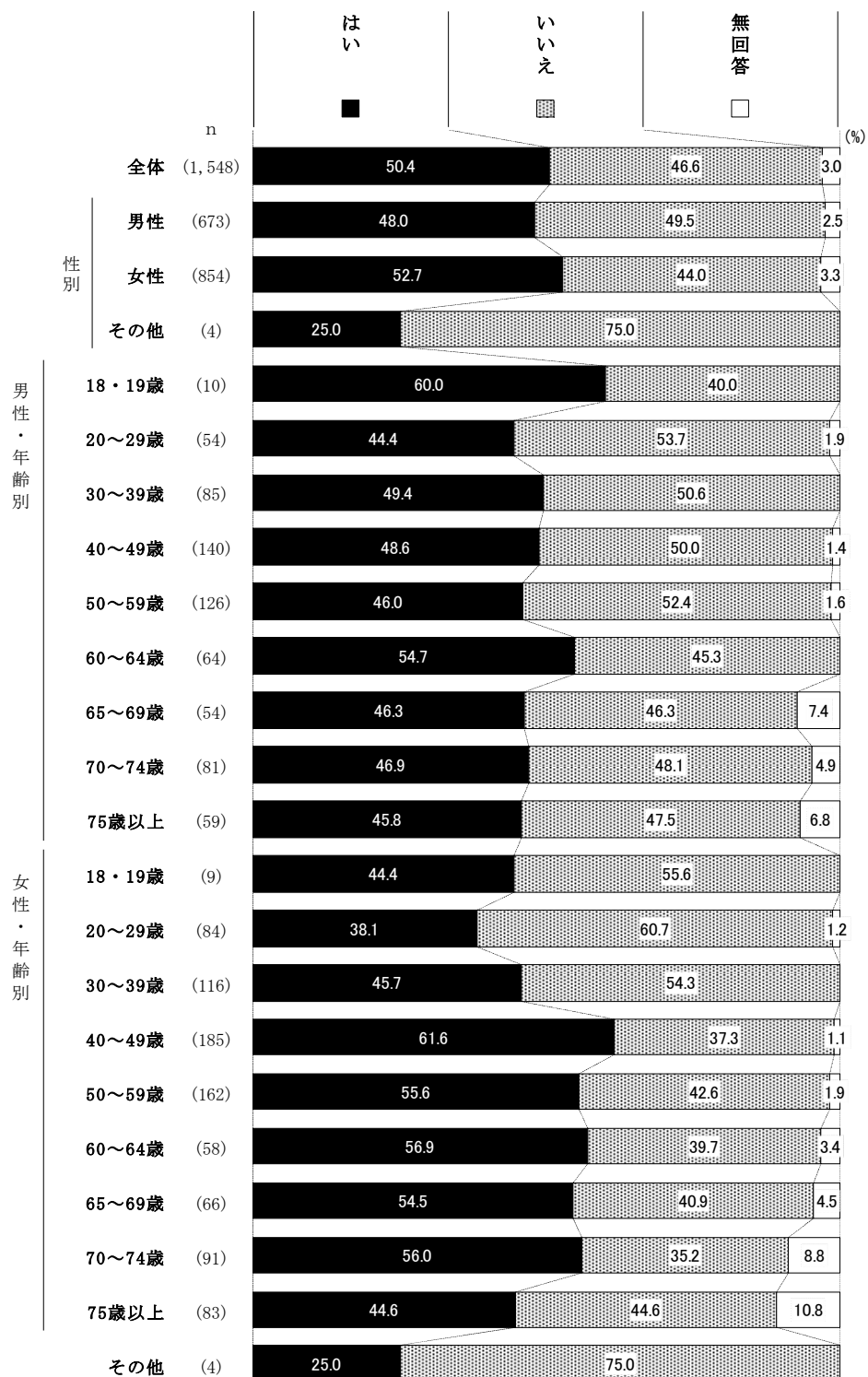
※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【7 家庭で避難場所や連絡方法を確認している／性・年齢別】

性別では、「はい」は女性（52.7%）が男性（48.0%）より4.7ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は女性40～49歳（61.6%）で6割強と最も高く、次いで女性60～64歳（56.9%）、女性70～74歳（56.0%）となっている。（図表6－38）

＜図表6－38＞ 7 家庭で避難場所や連絡方法を確認している／性・年齢別



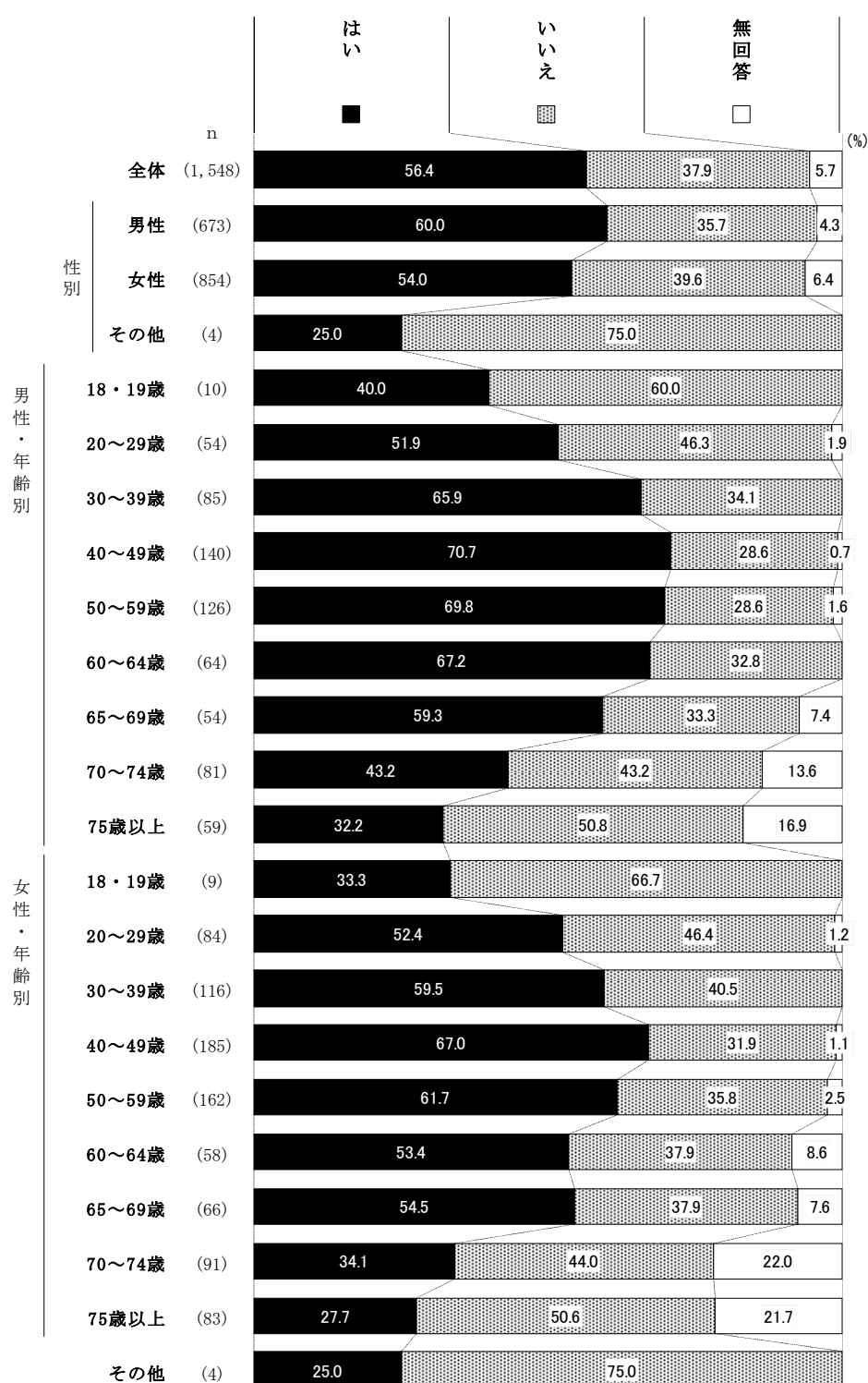
※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【8 職場や学校などから徒歩で帰宅するルートを確認している／性・年齢別】

性別では、「はい」は男性（60.0%）が女性（54.0%）より6.0ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は男性40～49歳（70.7%）で7割強と最も高く、次いで男性50～59歳（69.8%）となっている。（図表6-39）

＜図表6-39＞ 8 職場や学校などから徒歩で帰宅するルートを確認している／性・年齢別



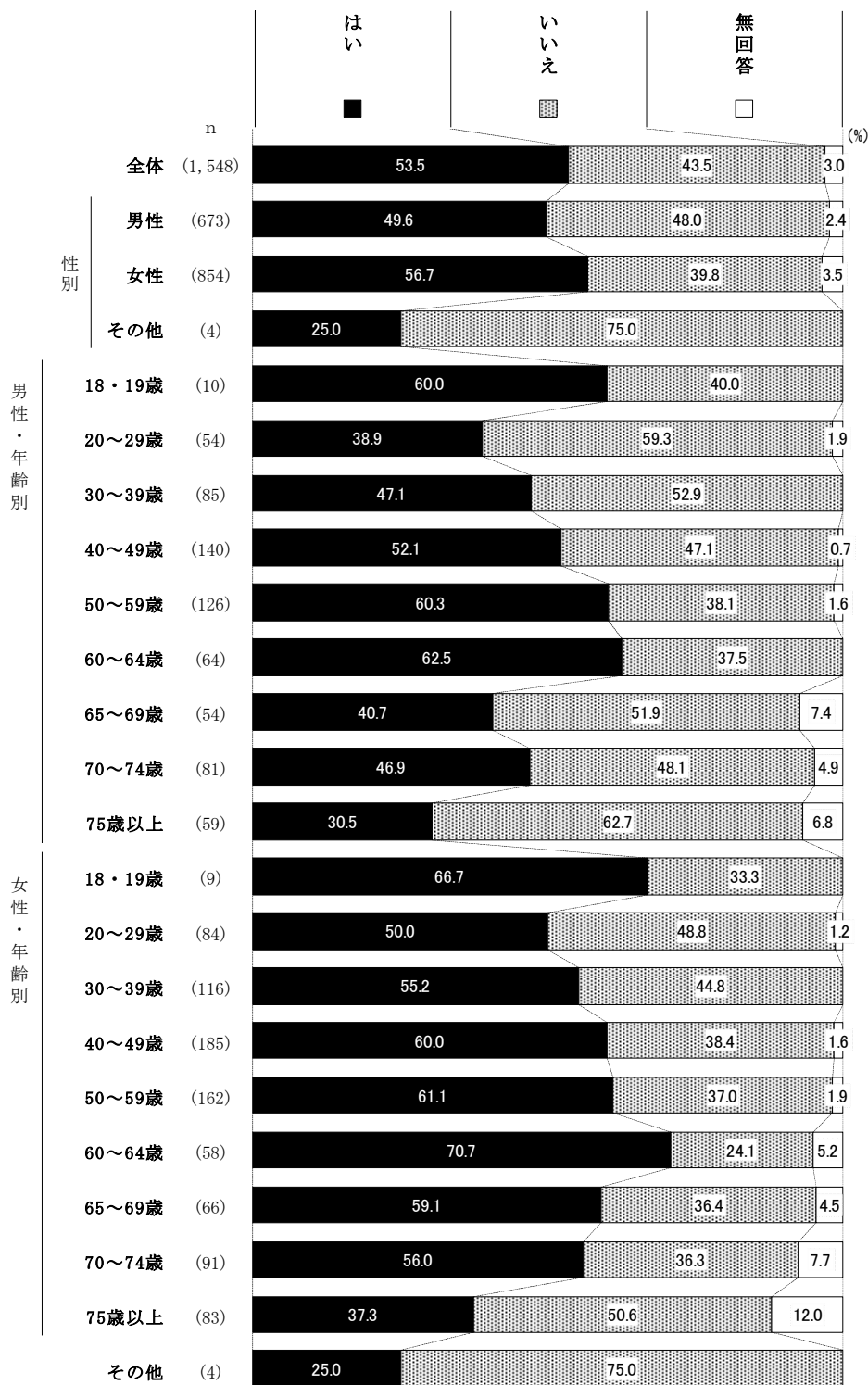
※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【9 災害用伝言ダイヤル「171」を知っている／性・年齢別】

性別では、「はい」は女性（56.7%）が男性（49.6%）より7.1ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は女性60～64歳（70.7%）で7割と最も高く、次いで男性60～64歳（62.5%）、女性50～59歳（61.1%）となっている。（図表6-40）

＜図表6-40＞ 9 災害用伝言ダイヤル「171」を知っている／性・年齢別



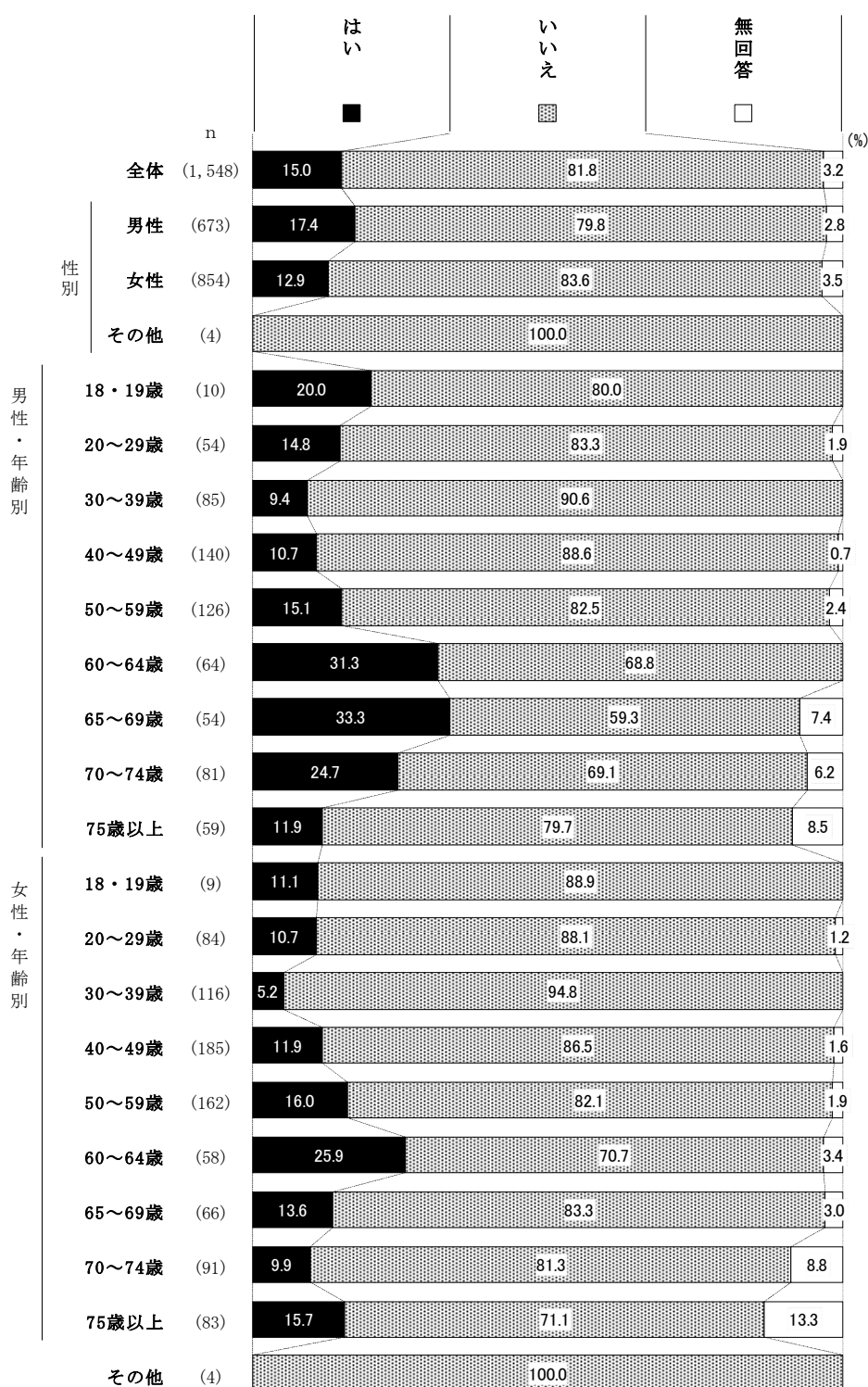
※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【10 災害情報をFMえどがわ（84.3MHz）で確認できることを知っている／性・年齢別】

性別では、「はい」は男性（17.4%）が女性（12.9%）より4.5ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は男性65～69歳（33.3%）で3割台半ばと最も高く、次いで男性60～64歳（31.3%）、女性60～64歳（25.9%）となっている。（図表6-41）

＜図表6-41＞ 10 災害情報をFMえどがわ（84.3MHz）で確認できることを知っている／性・年齢別



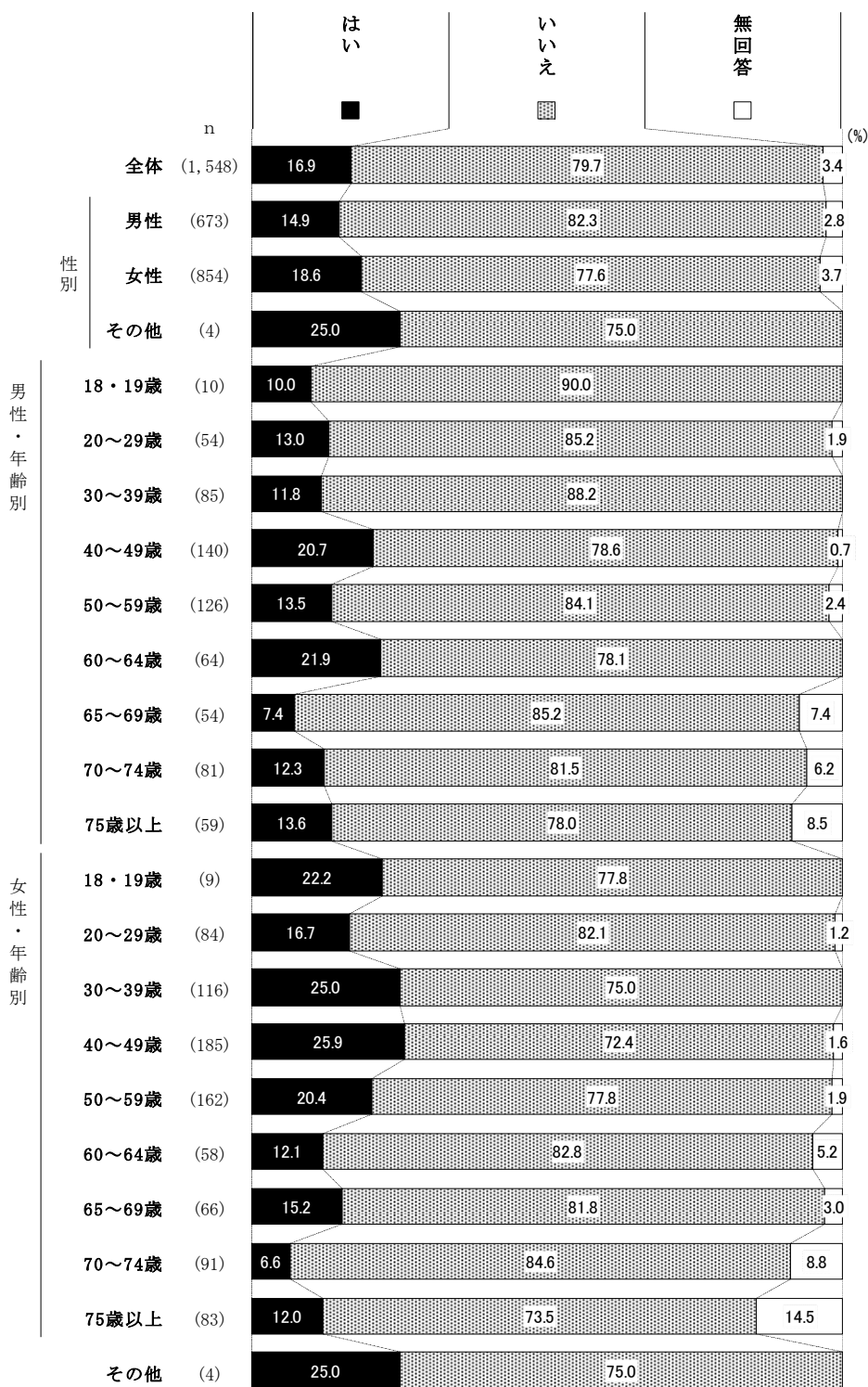
※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【11 区ホームページから常に情報を取得している／性・年齢別】

性別では、「はい」は女性（18.6%）が男性（14.9%）より3.7ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は女性40～49歳（25.9%）で2割台半ばと最も高く、次いで女性30～39歳（25.0%）、男性60～64歳（21.9%）となっている。（図表6-42）

＜図表6-42＞ 11 区ホームページから常に情報を取得している／性・年齢別



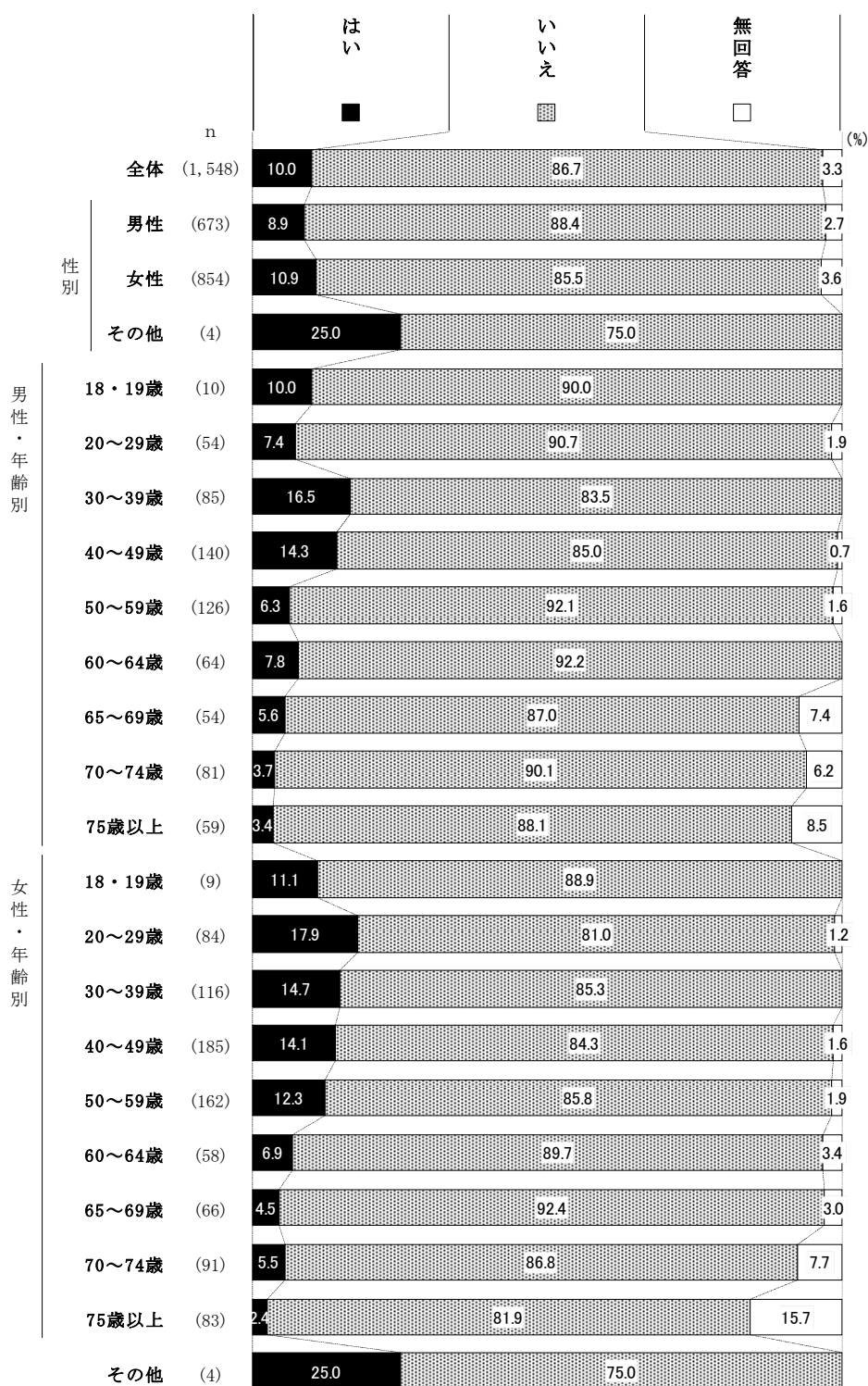
※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【12 区公式 SNS (Twitter 等) をフォローしている／性・年齢別】

性別では、「はい」は女性 (10.9%) が男性 (8.9%) より 2.0 ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は女性 20～29 歳 (17.9%) で 2 割弱と最も高く、次いで男性 30～39 歳 (16.5%) となっている。(図表 6-43)

＜図表 6-43＞ 12 区公式 SNS (Twitter 等) をフォローしている／性・年齢別



※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

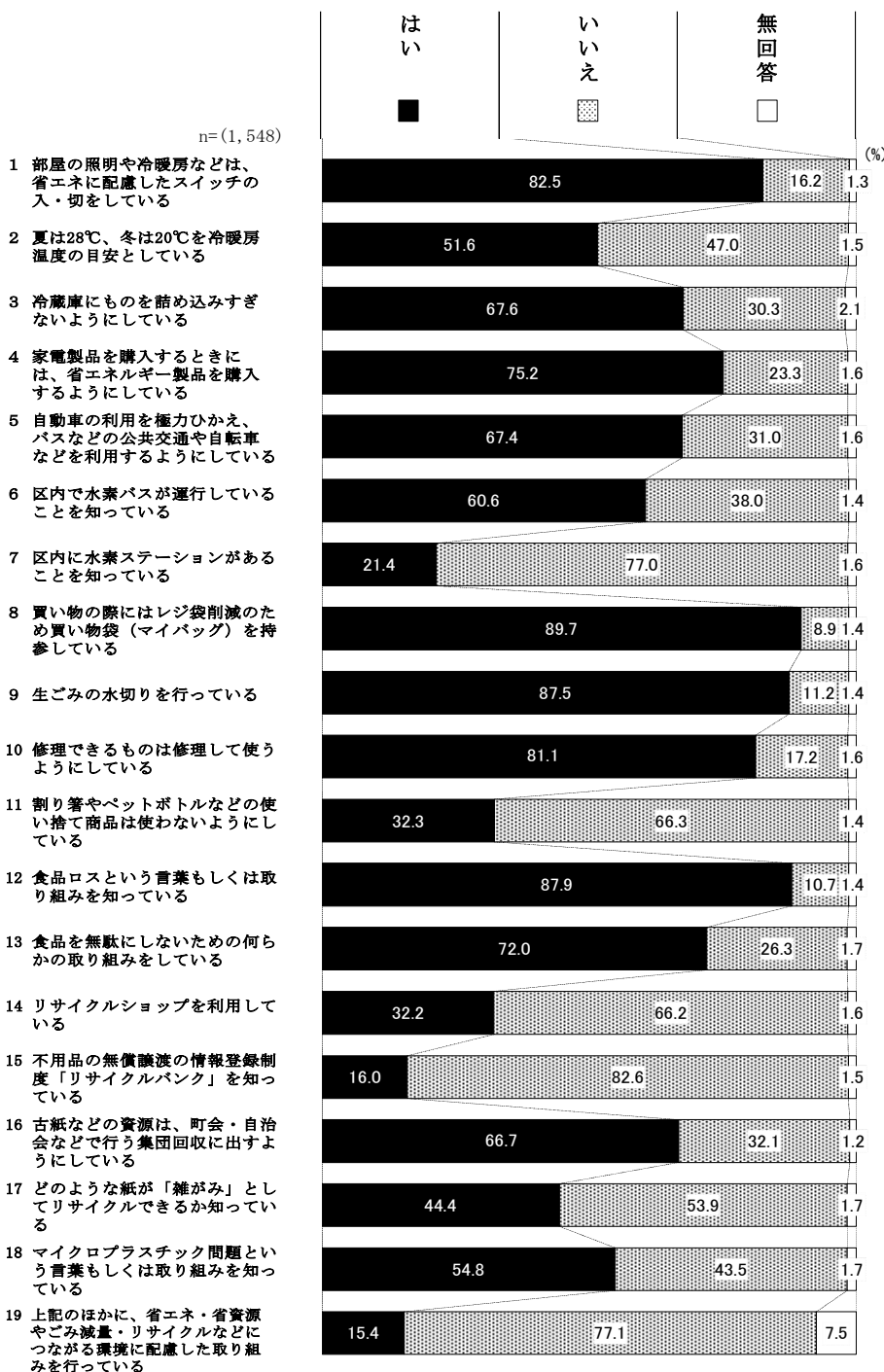
7. 省エネ・省資源を意識した行動について

◇ 【買い物の際にはレジ袋削減のため買い物袋（マイバッグ）を持参している】が9割弱

江戸川区は平成20年2月に「エコタウンえどがわ推進計画」を策定しました。この計画をもとに区は、えどがわエコセンターと協力して省エネルギーの取り組みである「もったいない運動」などを推進しています。この「もったいない運動」では、地球温暖化防止のため、省エネ・省資源を意識した行動やごみ減量・リサイクルなどを呼びかけています。

問15 あなたは次の1～19の行動をしていますか。（それぞれ○は1つずつ）

<図表7-1> 省エネ・省資源を意識した行動



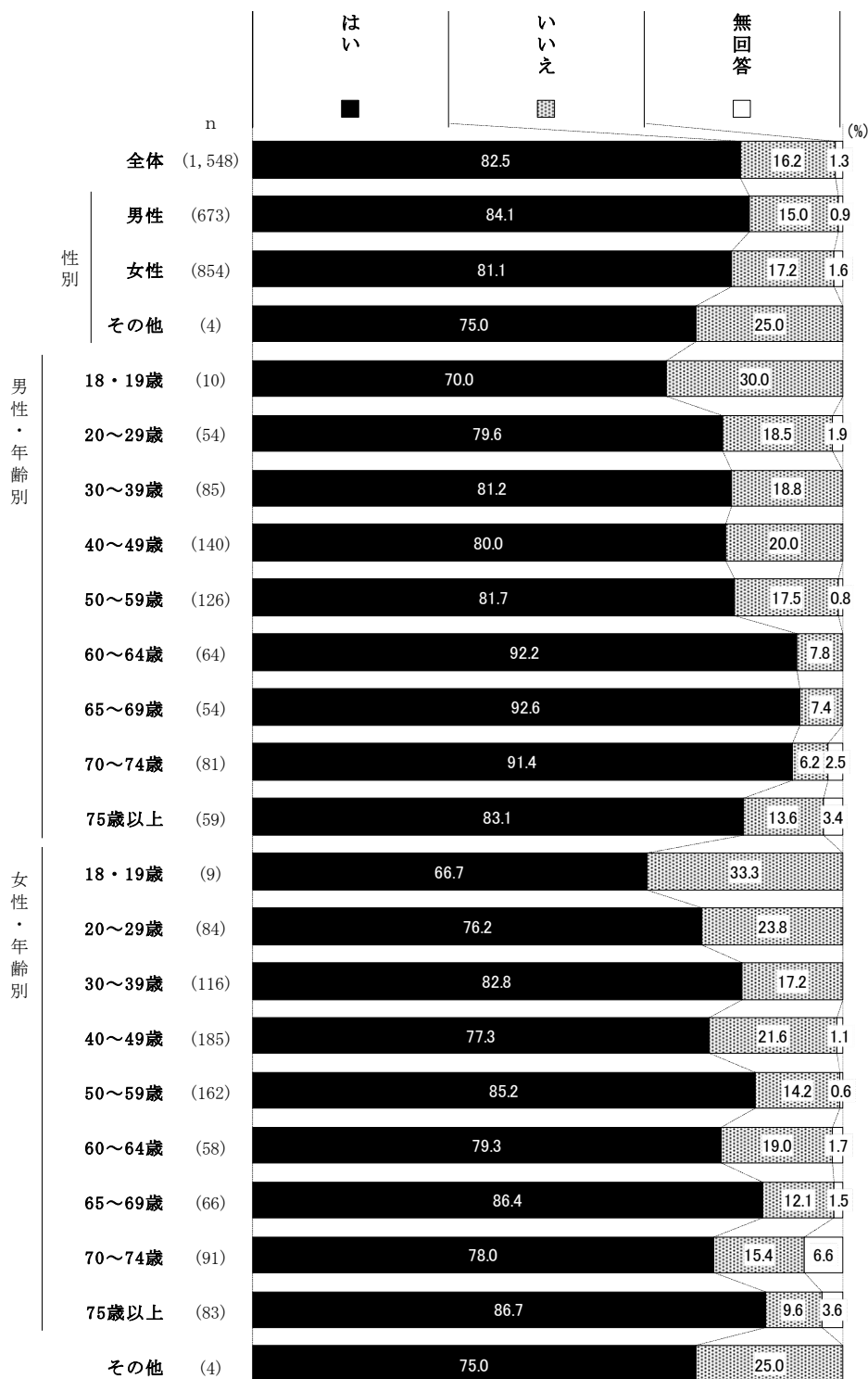
省エネ・省資源を意識した行動をしているかを尋ねたところ、「はい」は【買い物の際にはレジ袋削減のため買い物袋（マイバッグ）を持参している】（89.7%）が9割弱で最も高い。次いで【食品ロスという言葉もしくは取り組みを知っている】（87.9%）が高く、以下、【生ごみの水切りを行っている】（87.5%）、【部屋の照明や冷暖房などは、省エネに配慮したスイッチの入・切をしている】（82.5%）、【修理できるものは修理して使うようにしている】（81.1%）、【家電製品を購入するときには、省エネルギー製品を購入するようにしている】（75.2%）の順となっている。（図表7-1）

【1 部屋の照明や冷暖房などは、省エネに配慮したスイッチの入・切をしている／性・年齢別】

性別では、「はい」は男性（84.1%）が女性（81.1%）より3.0ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は男性60～64歳（92.2%）、男性65～69歳（92.6%）、男性70～74歳（91.4%）で9割強と高くなっている。（図表7-2）

＜図表7-2＞ 1 部屋の照明や冷暖房などは、省エネに配慮したスイッチの入・切をしている／性・年齢別



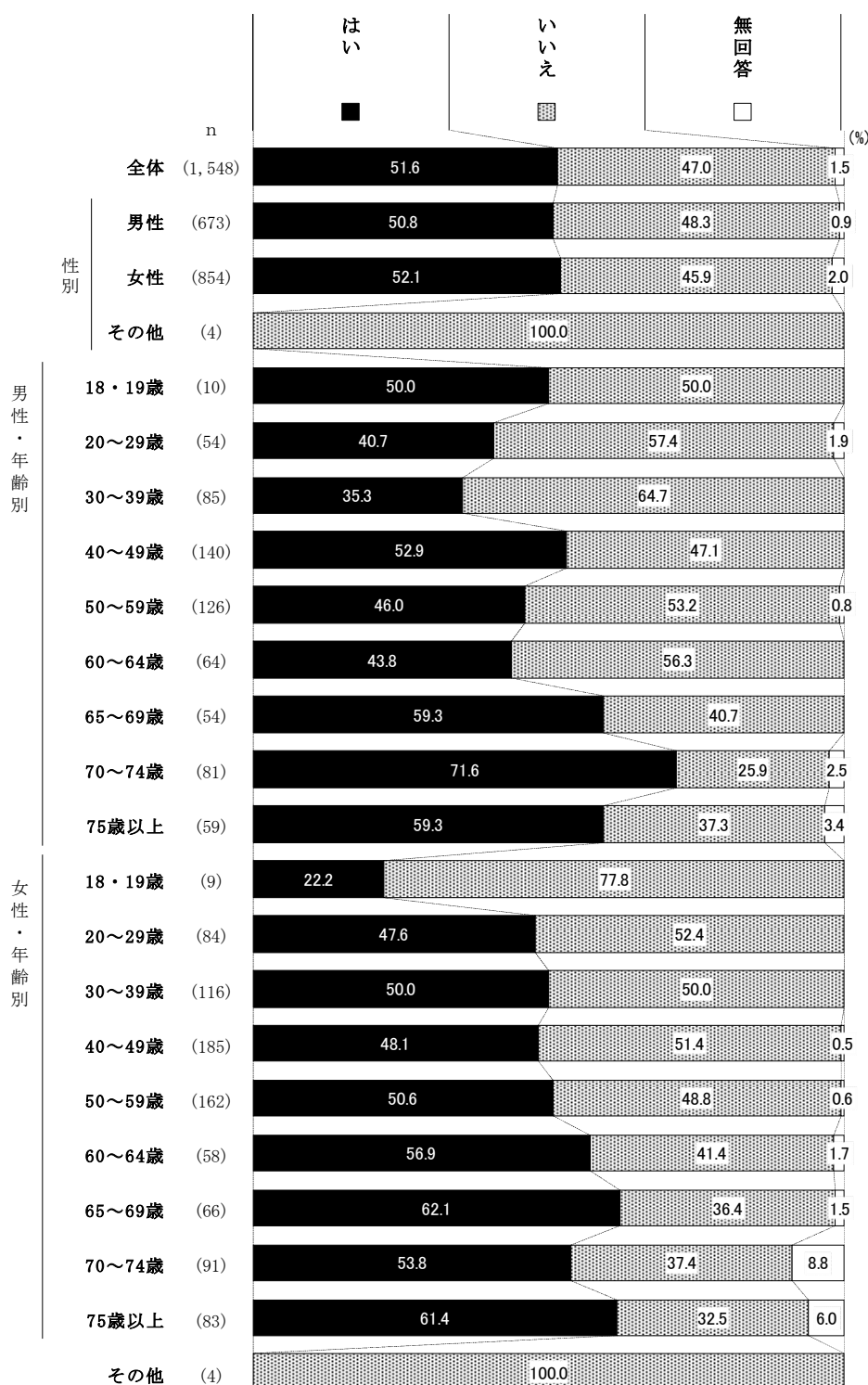
※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【2 夏は 28℃、冬は 20℃を冷暖房温度の目安としている／性・年齢別】

性別では、「はい」は女性（52.1%）が男性（50.8%）より 1.3 ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は男性 70～74 歳（71.6%）で 7 割強と最も高く、次いで女性 65～69 歳（62.1%）、女性 75 歳以上（61.4%）となっている。（図表 7－3）

＜図表 7－3＞ 2 夏は 28℃、冬は 20℃を冷暖房温度の目安としている／性・年齢別



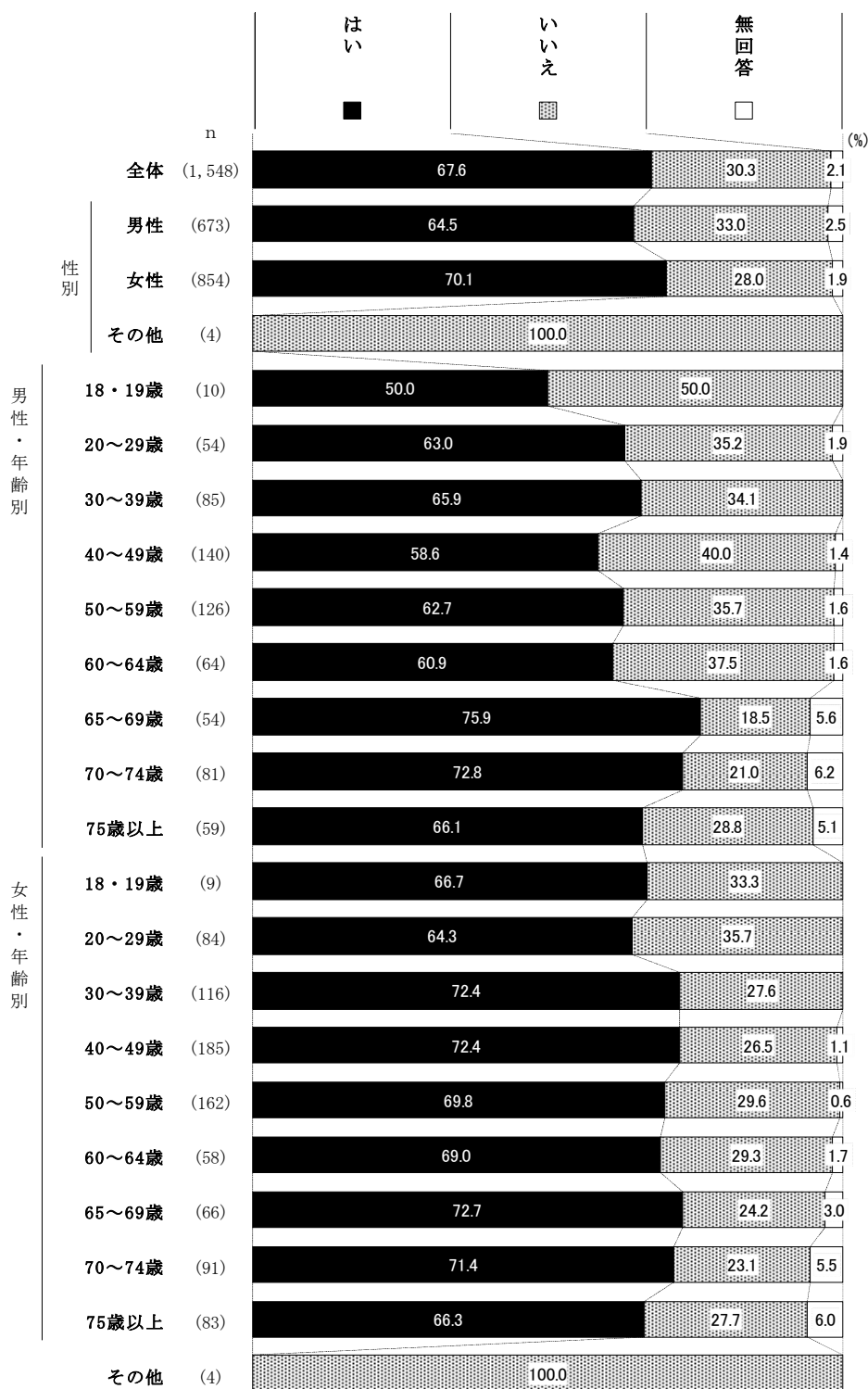
※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【3 冷蔵庫にものを詰め込みすぎないようにしている／性・年齢別】

性別では、「はい」は女性（70.1%）が男性（64.5%）より 5.6 ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は男性 65～69 歳（75.9%）で 7 割台半ばと最も高く、次いで男性 70～74 歳（72.8%）、女性 65～69 歳（72.7%）となっている。（図表 7-4）

＜図表 7-4＞ 3 冷蔵庫にものを詰め込みすぎないようにしている／性・年齢別



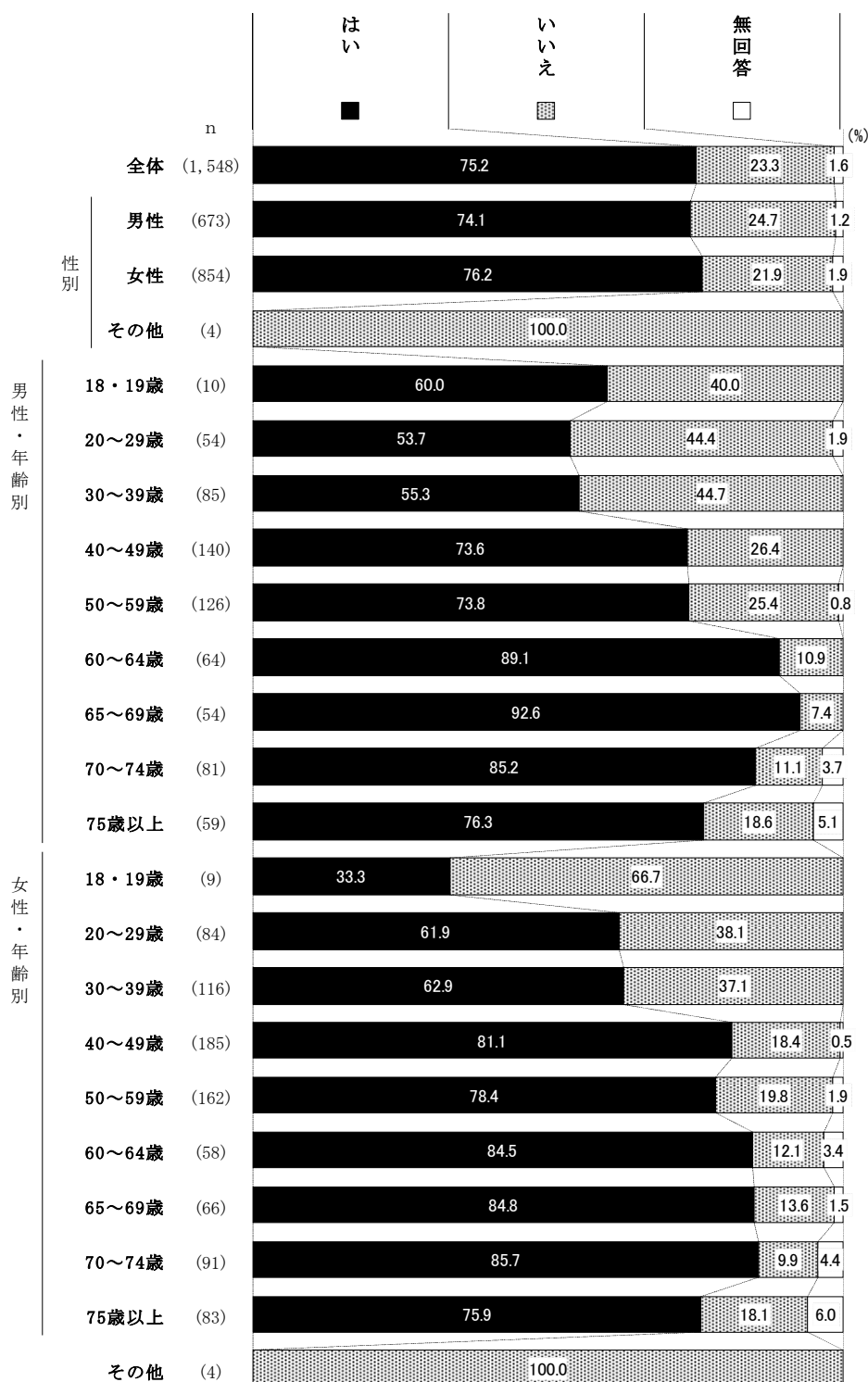
※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【4 家電製品を購入するときには、省エネルギー製品を購入するようにしている／性・年齢別】

性別では、「はい」は女性（76.2%）が男性（74.1%）より2.1ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は男性65～69歳（92.6%）で9割台半ばと最も高く、次いで男性60～64歳（89.1%）、女性70～74歳（85.7%）となっている。（図表7-5）

＜図表7-5＞ 4 家電製品を購入するときには、省エネルギー製品を購入するようにしている／性・年齢別



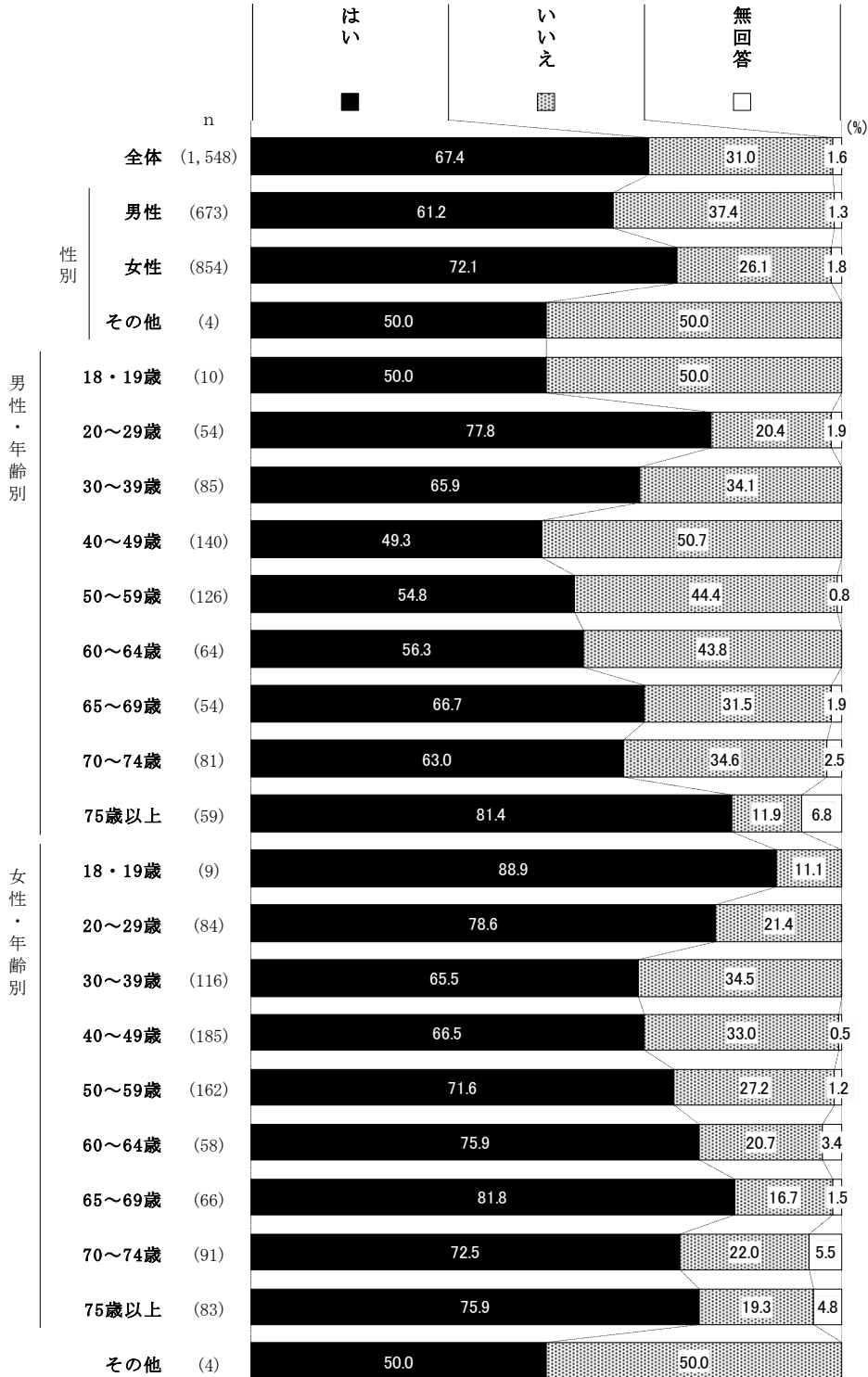
※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【5 自動車の利用を極力ひかえ、バスなどの公共交通や自転車などを利用するようにしている
／性・年齢別】

性別では、「はい」は女性（72.1%）が男性（61.2%）より 10.9 ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は女性 65～69 歳（81.8%）で 8 割強と最も高く、次いで男性 75 歳以上（81.4%）となっている。（図表 7－6）

＜図表 7－6＞ 5 自動車の利用を極力ひかえ、バスなどの公共交通や自転車などを利用するようにしている／性・年齢別



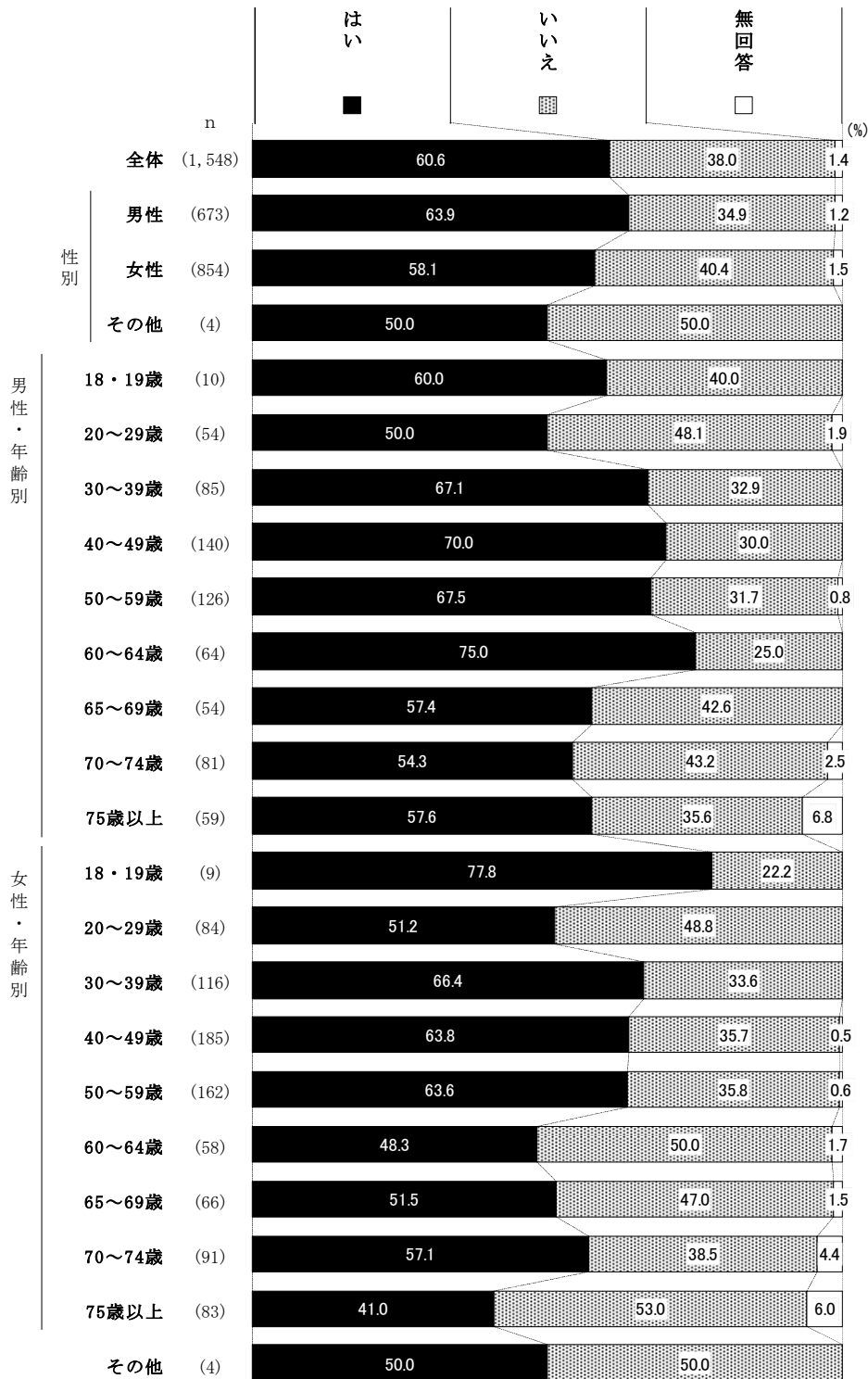
※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【6 区内で水素バスが運行していることを知っている／性・年齢別】

性別では、「はい」は男性（63.9%）が女性（58.1%）より5.8ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は男性60～64歳（75.0%）で7割台半ばと最も高く、次いで男性40～49歳（70.0%）となっている。（図表7-7）

＜図表7-7＞ 6 区内で水素バスが運行していることを知っている／性・年齢別



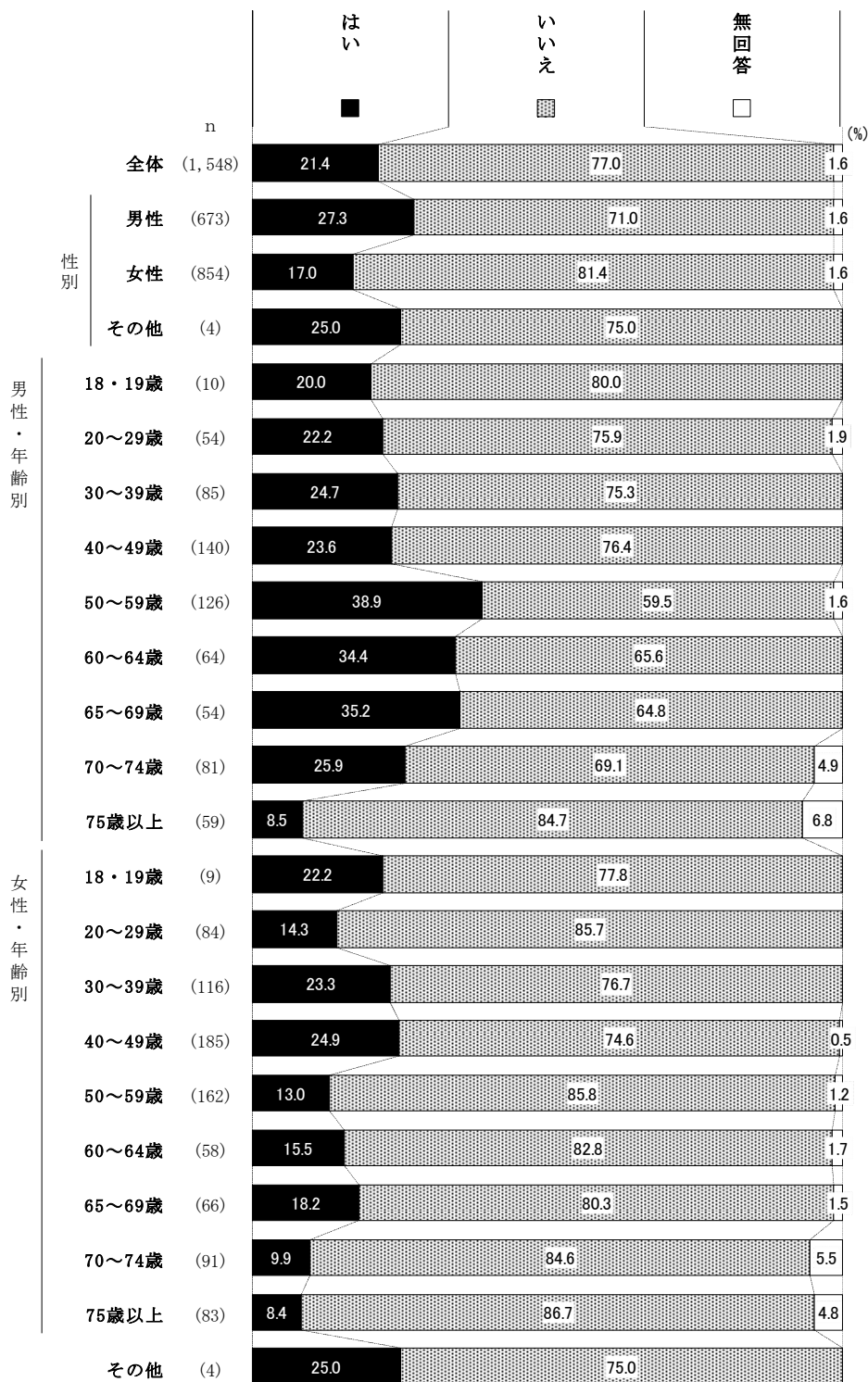
※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【7 区内に水素ステーションがあることを知っている／性・年齢別】

性別では、「はい」は男性（27.3%）が女性（17.0%）より 10.3 ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は男性 50～59 歳（38.9%）で 4 割弱と最も高く、次いで男性 65～69 歳（35.2%）、男性 60～64 歳（34.4%）となっている。（図表 7－8）

＜図表 7－8＞ 7 区内に水素ステーションがあることを知っている／性・年齢別



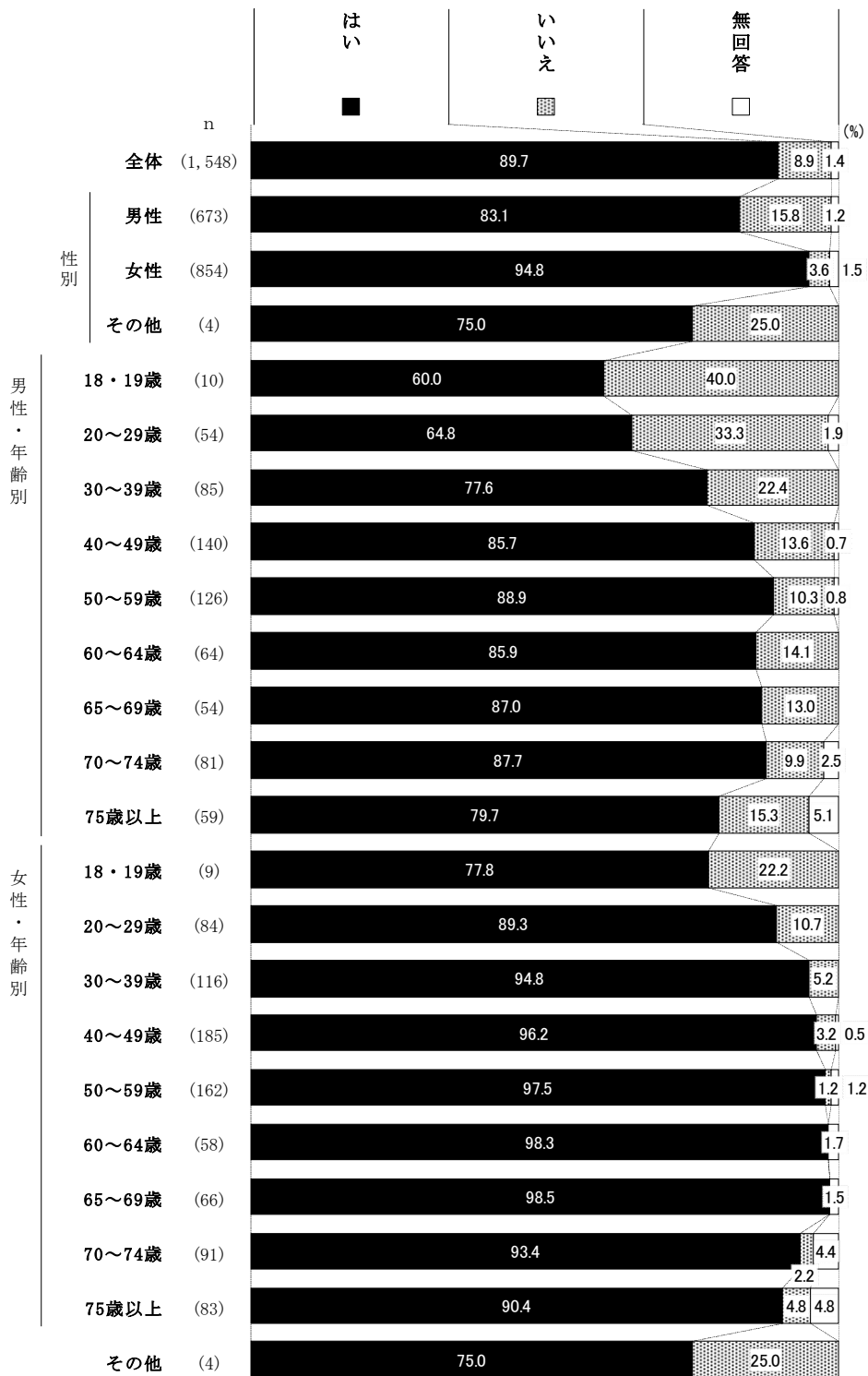
※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【8 買い物の際にはレジ袋削減のため買い物袋（マイバッグ）を持参している／性・年齢別】

性別では、「はい」は女性（94.8%）が男性（83.1%）より11.7ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」はすべて年齢層で女性が男性を上回っている。また、女性では20～29歳（89.3%）以外の年代層はいずれも9割以上となっている。（図表7－9）

＜図表7－9＞ 8 買い物の際にはレジ袋削減のため買い物袋（マイバッグ）を持参している／性・年齢別



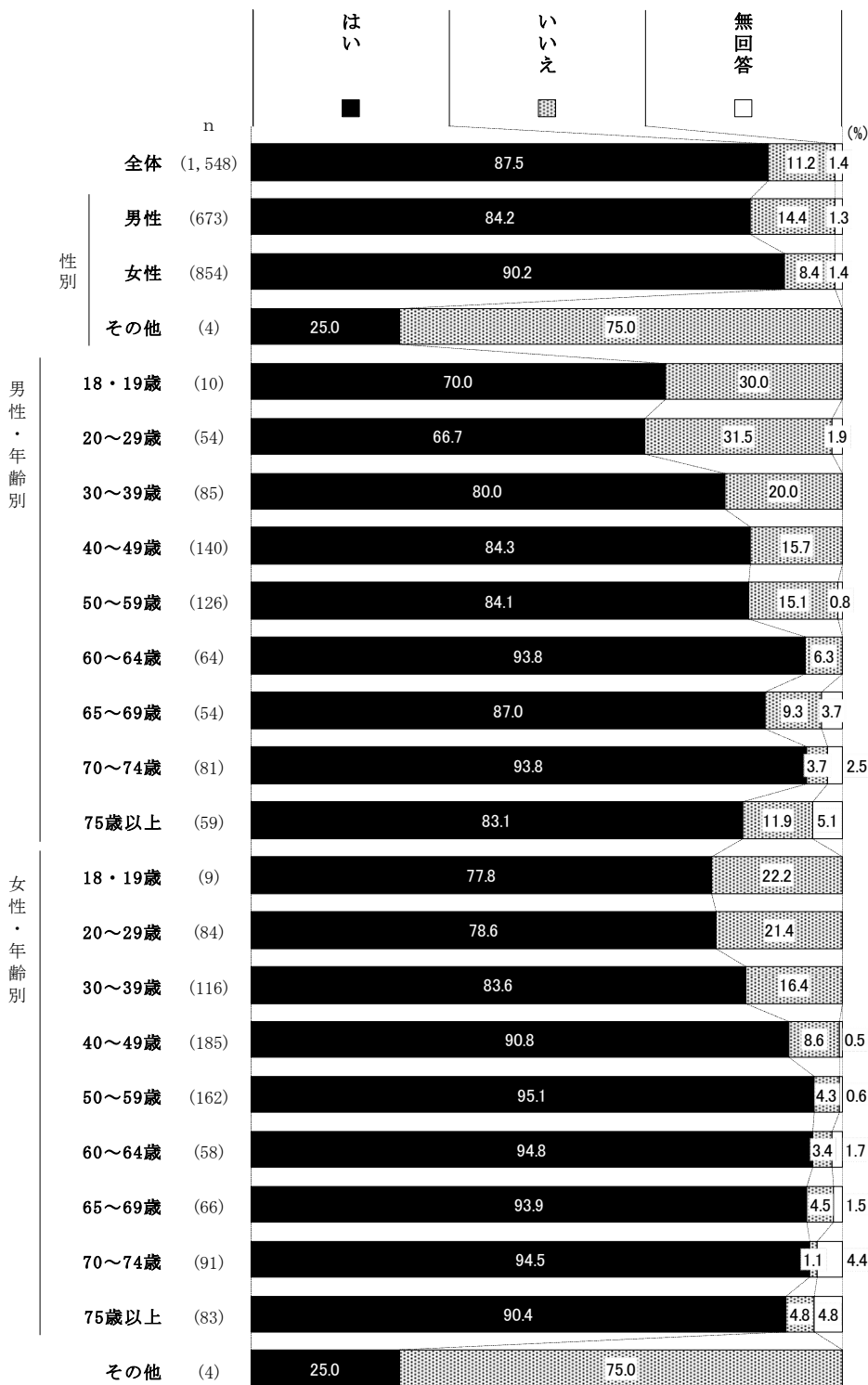
※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【9 生ごみの水切りを行っている／性・年齢別】

性別では、「はい」は女性（90.2%）が男性（84.2%）より6.0ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は女性50～59歳（95.1%）で9割台半ばと最も高くなっている。また、女性40歳以上の各年代で「はい」が9割以上となっている。（図表7-10）

＜図表7-10＞ 9 生ごみの水切りを行っている／性・年齢別



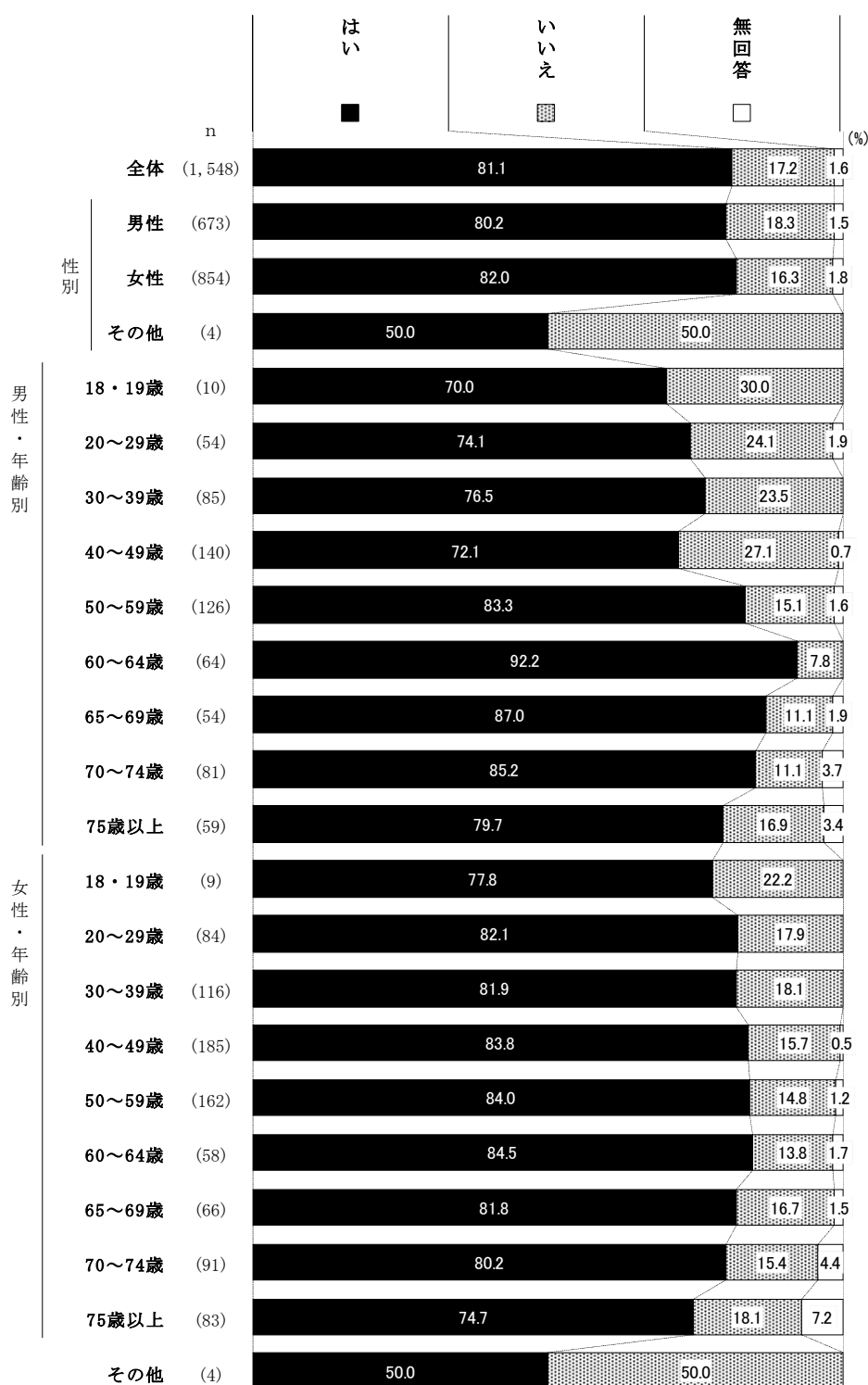
※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【10 修理できるものは修理して使うようにしている／性・年齢別】

性別では、「はい」は女性（82.0%）が男性（80.2%）より1.8ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は男性60～64歳（92.2%）で9割強と最も高く、次いで男性65～69歳（87.0%）、男性70～74歳（85.2%）となっている。（図表7-11）

＜図表7-11＞ 10 修理できるものは修理して使うようにしている／性・年齢別



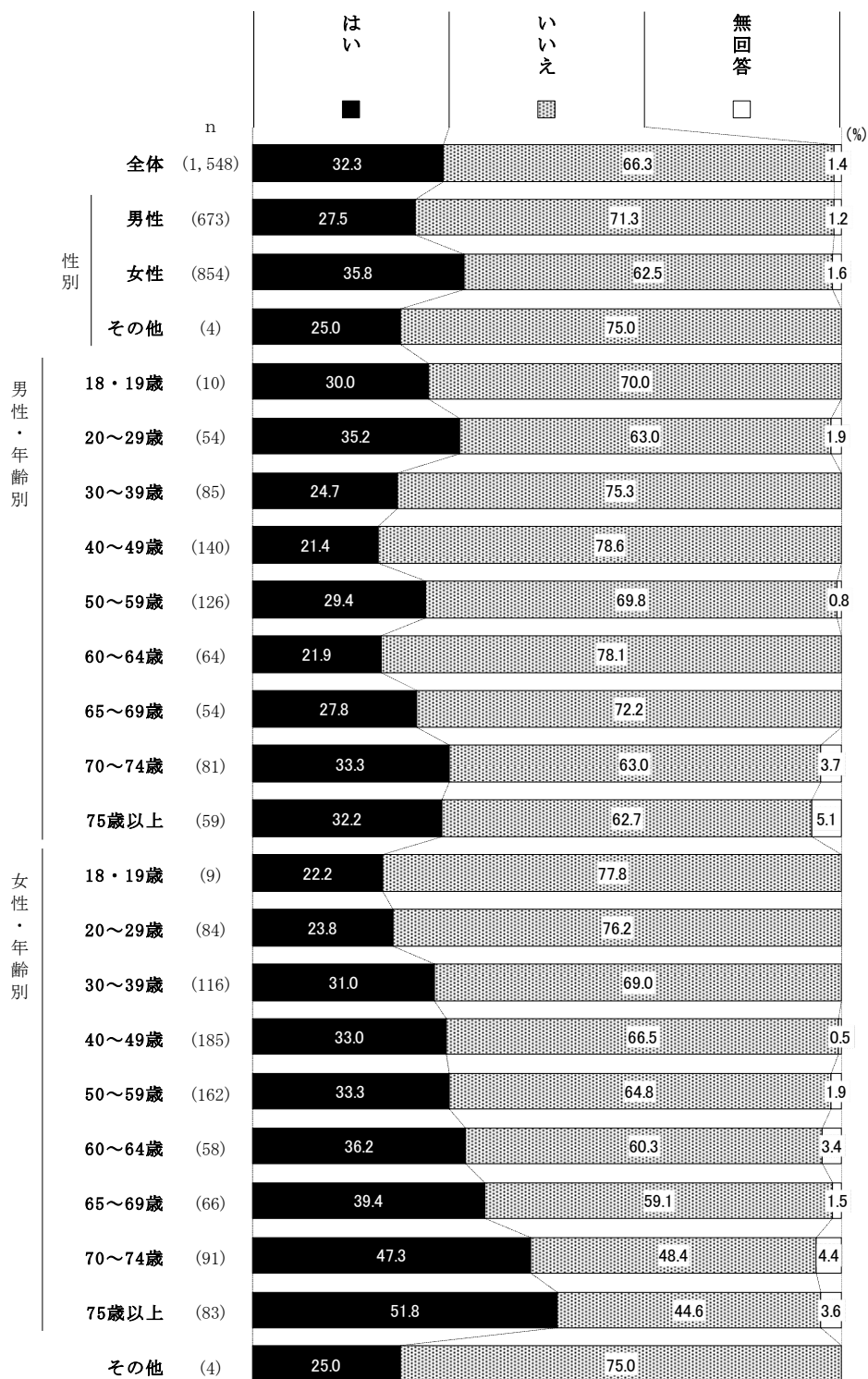
※男性、女性の「18・19歳」及び「その他」については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【11 割り箸やペットボトルなどの使い捨て商品は使わないようにしている／性・年齢別】

性別では、「はい」は女性（35.8%）が男性（27.5%）より8.3ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は女性75歳以上（51.8%）で5割強と最も高く、次いで女性70～74歳（47.3%）、女性65～69歳（39.4%）となっている。（図表7-12）

＜図表7-12＞ 11 割り箸やペットボトルなどの使い捨て商品は使わないようにしている／性・年齢別



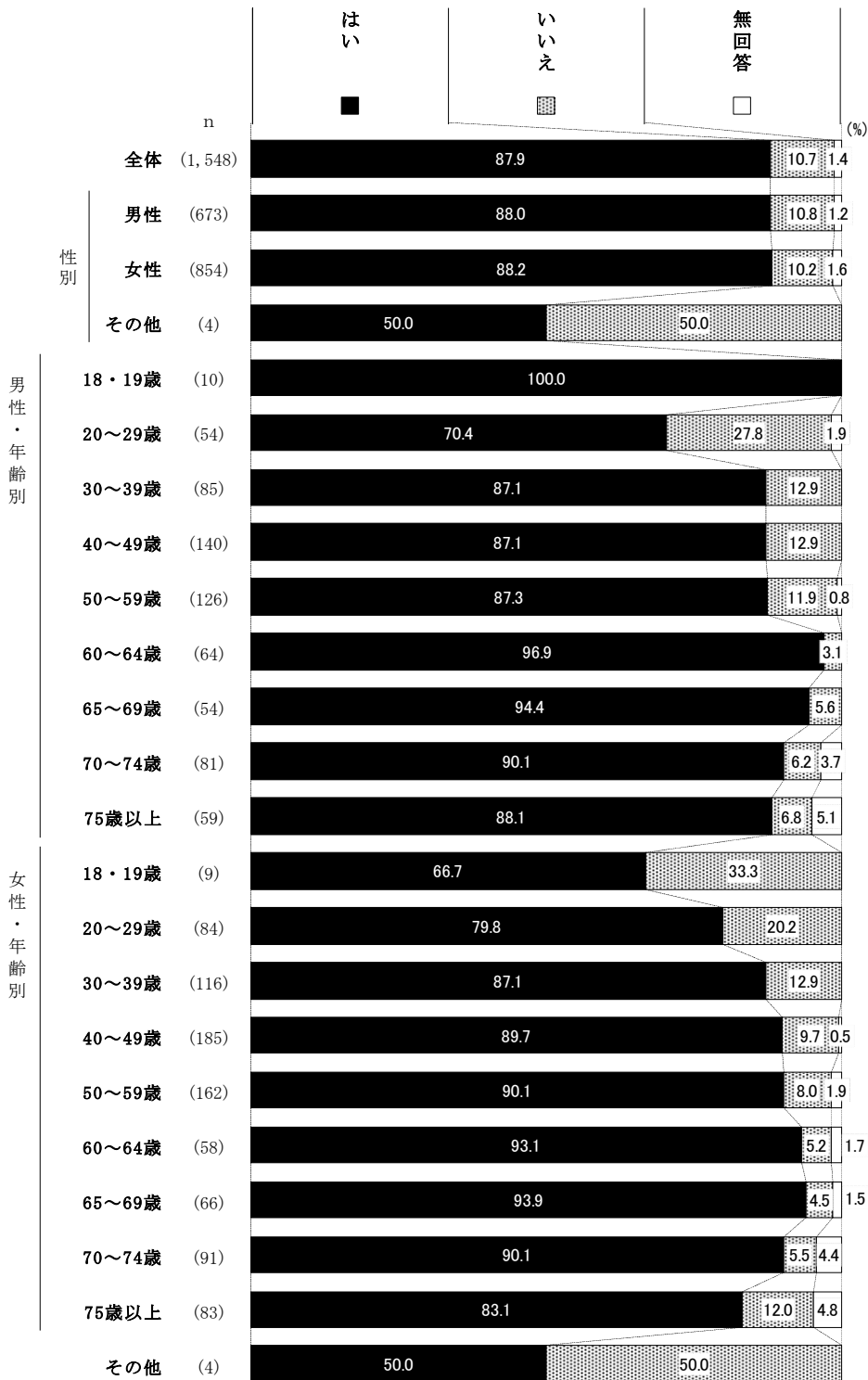
※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【12 食品ロスという言葉もしくは取り組みを知っている／性・年齢別】

性別では、男女間で大きな違いはみられない。

性・年齢別でみると、「はい」は男性 60～64 歳 (96.9%) で 9 割台半ばと最も高く、次いで男性 65～69 歳 (94.4%)、女性 65～69 歳 (93.9%) となっている。(図表 7-13)

＜図表 7-13＞ 12 食品ロスという言葉もしくは取り組みを知っている／性・年齢別



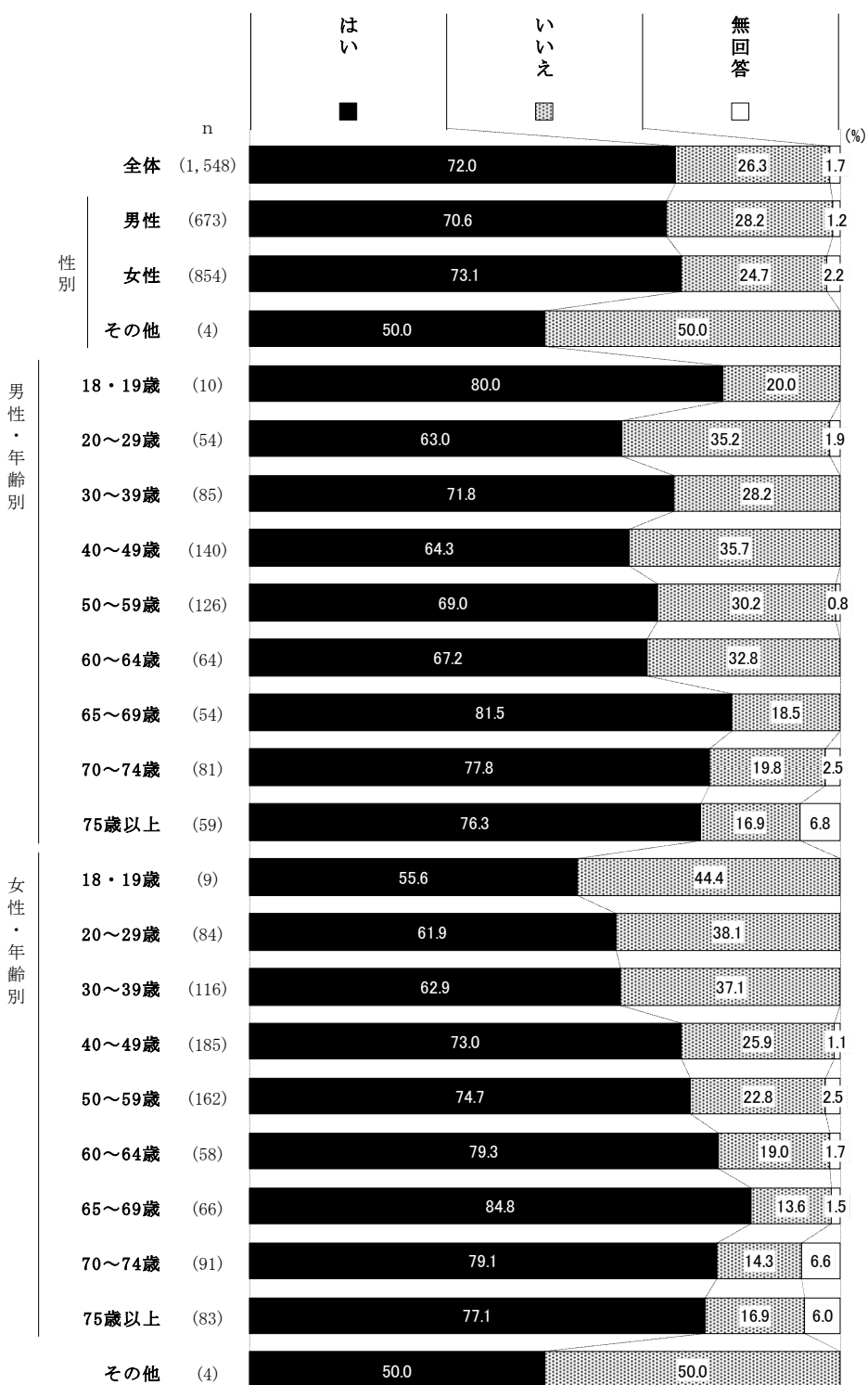
※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【13 食品を無駄にしないための何らかの取り組みをしている／性・年齢別】

性別では、「はい」は女性（73.1%）が男性（70.6%）より 2.5 ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は女性 65～69 歳（84.8%）で 8 割台半ばと最も高く、次いで男性 65～69 歳（81.5%）、女性 60～64 歳（79.3%）となっている。（図表 7-14）

<図表 7-14> 13 食品を無駄にしないための何らかの取り組みをしている／性・年齢別



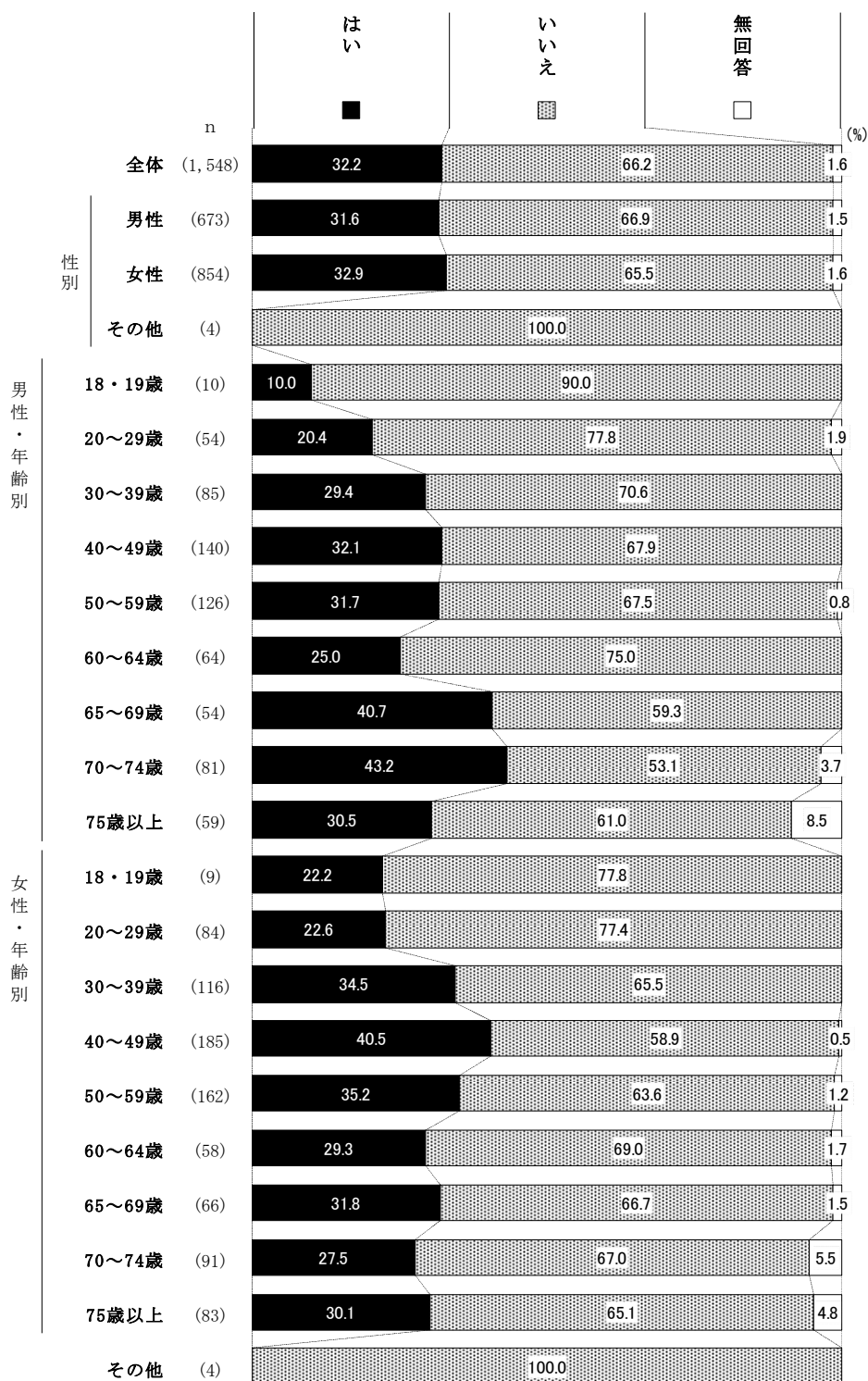
※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【14 リサイクルショップを利用している／性・年齢別】

性別では、「はい」は女性（32.9%）が男性（31.6%）より1.3ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は男性70～74歳（43.2%）で4割台半ばと最も高く、次いで男性65～69歳（40.7%）、女性40～49歳（40.5%）となっている。（図表7-15）

＜図表7-15＞ 14 リサイクルショップを利用している／性・年齢別



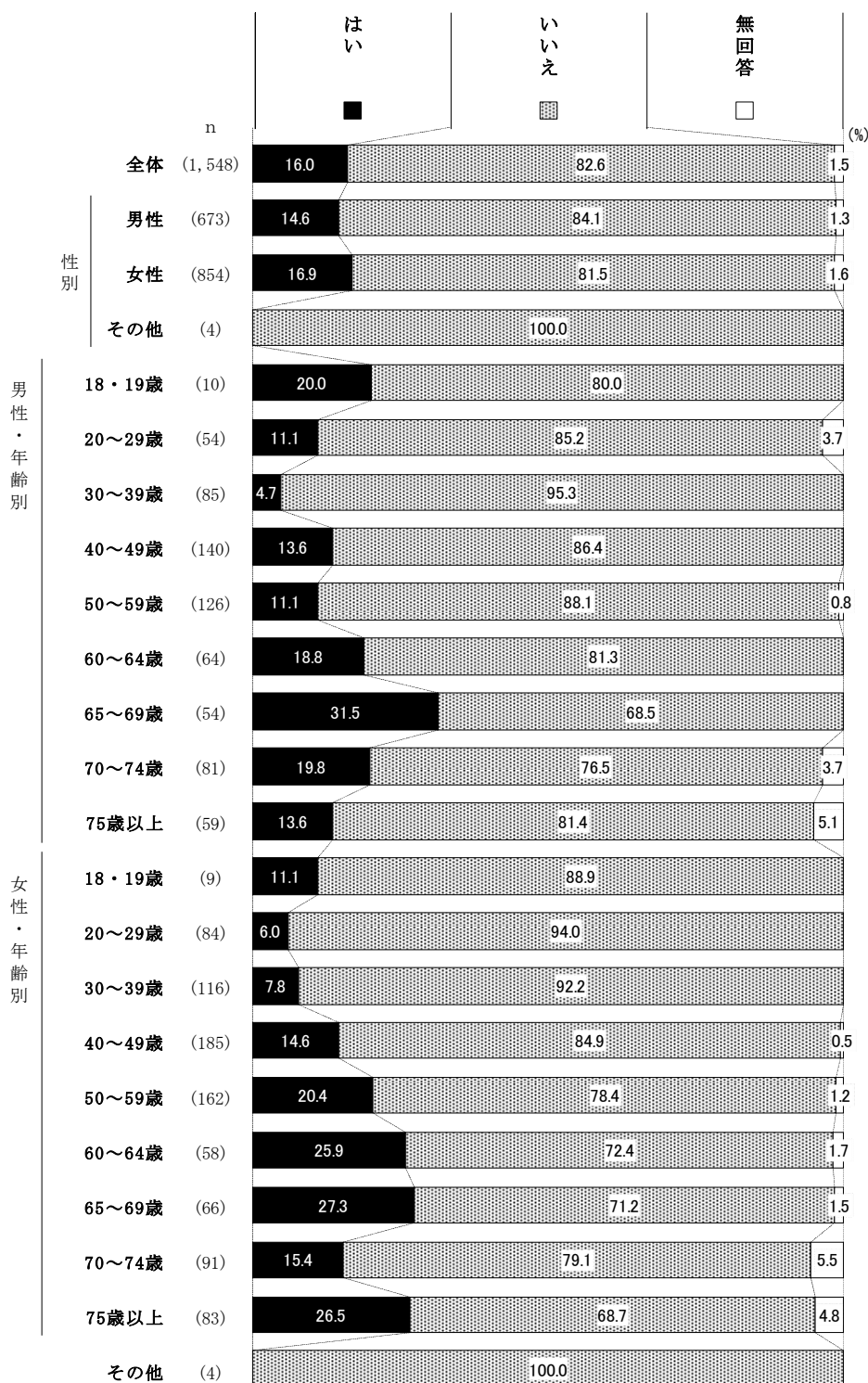
※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【15 不用品の無償譲渡の情報登録制度「リサイクルバンク」を知っている／性・年齢別】

性別では、「はい」は女性（16.9%）が男性（14.6%）より2.3ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は男性65～69歳（31.5%）で3割強と最も高く、次いで女性65～69歳（27.3%）、女性75歳以上（26.5%）となっている。（図表7-16）

＜図表7-16＞ 15 不用品の無償譲渡の情報登録制度「リサイクルバンク」を知っている
／性・年齢別



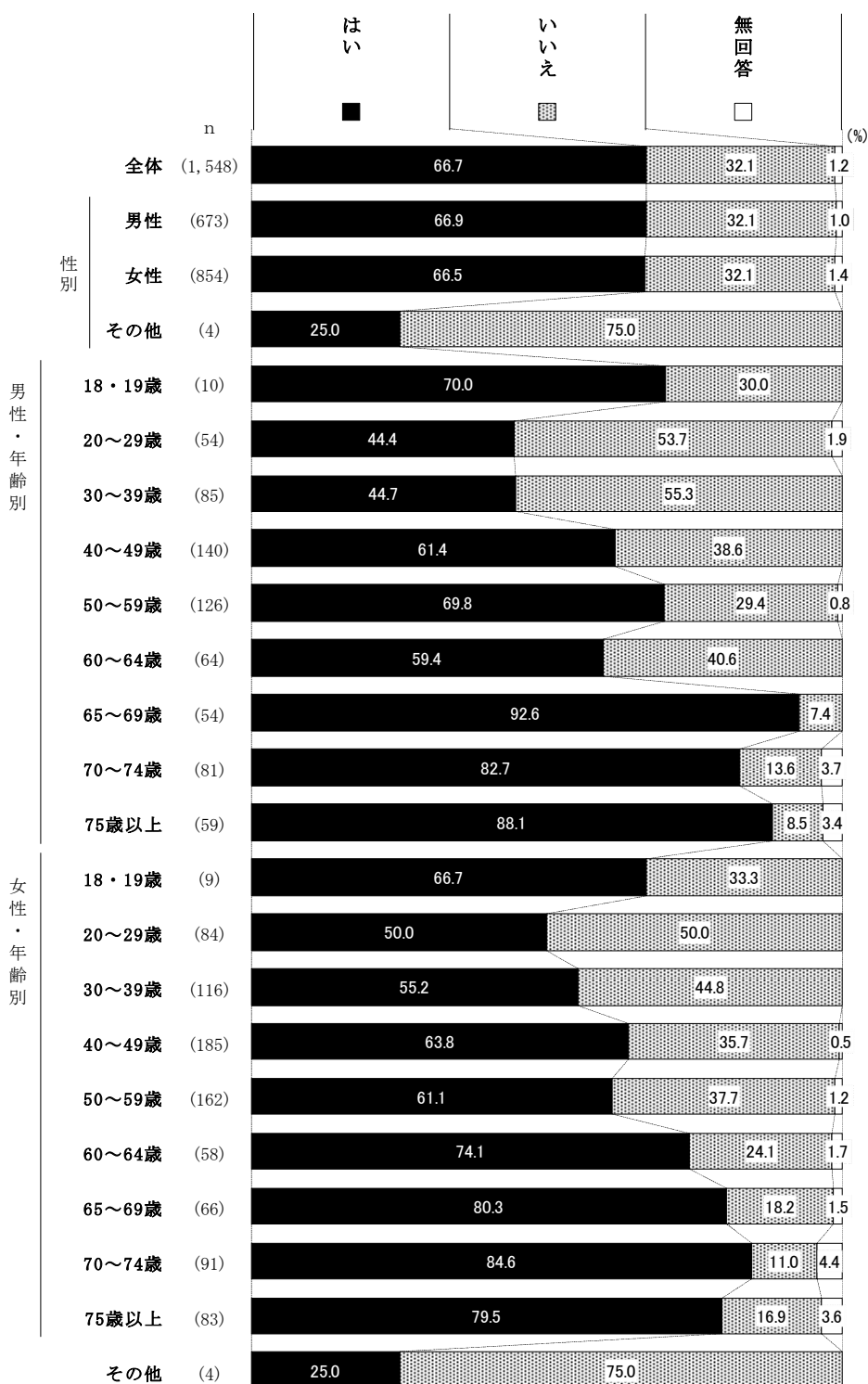
※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【16 古紙などの資源は、町会・自治会などで行う集団回収に出すようにしている／性・年齢別】

性別では、男女間で大きな違いはみられない。

性・年齢別でみると、「はい」は男性 65～69 歳（92.6%）で 9 割強と最も高く、次いで男性 75 歳以上（88.1%）、女性 70～74 歳（84.6%）となっている。（図表 7-17）

＜図表 7-17＞ 16 古紙などの資源は、町会・自治会などで行う集団回収に出すようにしている／性・年齢別



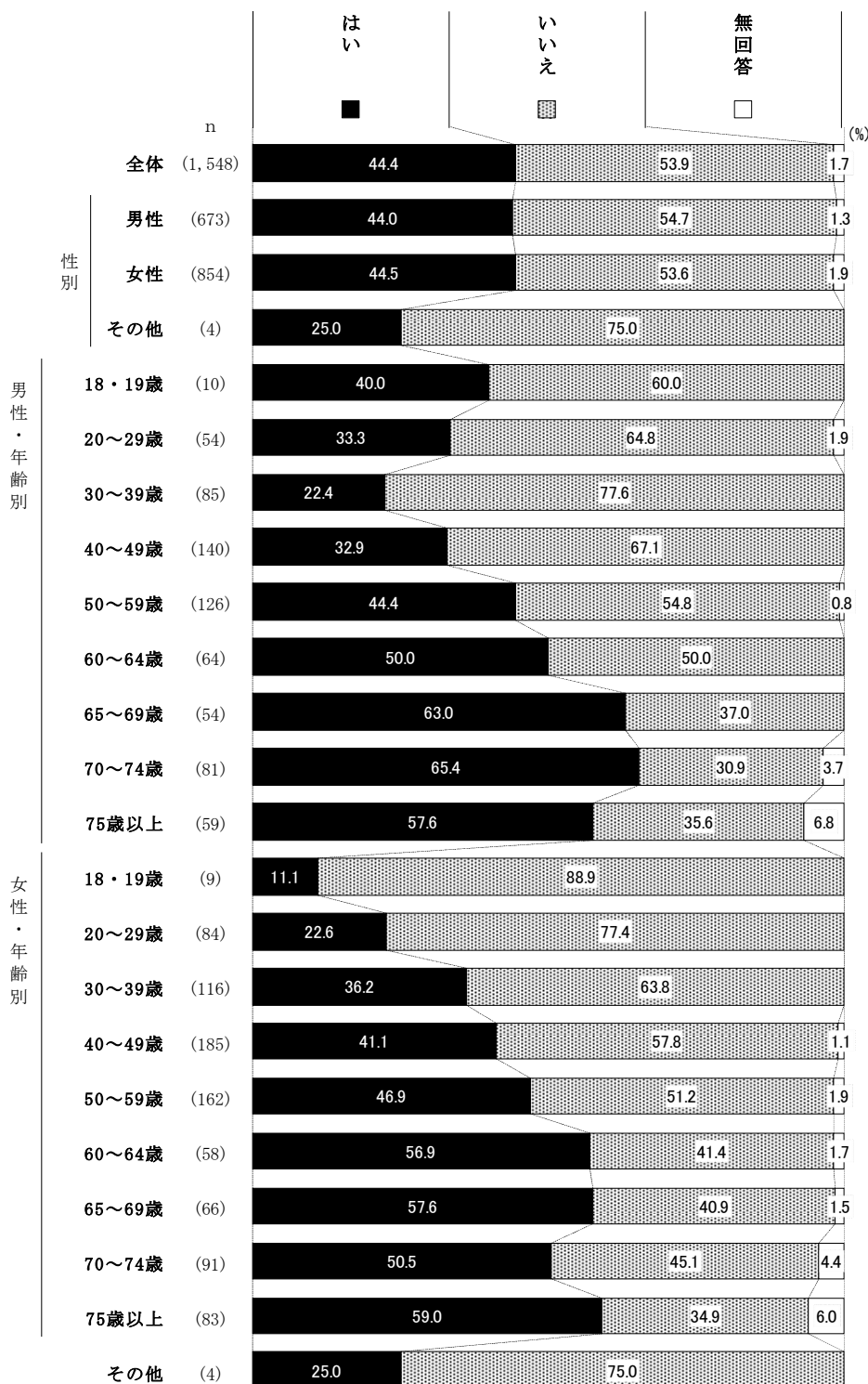
※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【17 どのような紙が「雑がみ」としてリサイクルできるか知っている／性・年齢別】

性別では、男女間で大きな違いはみられない。

性・年齢別でみると、「はい」は男性 70～74 歳 (65.4%) で 6 割台半ばと最も高く、次いで男性 65～69 歳 (63.0%)、女性 75 歳以上 (59.0%) となっている。(図表 7-18)

＜図表 7-18＞ 17 どのような紙が「雑がみ」としてリサイクルできるか知っている
／性・年齢別



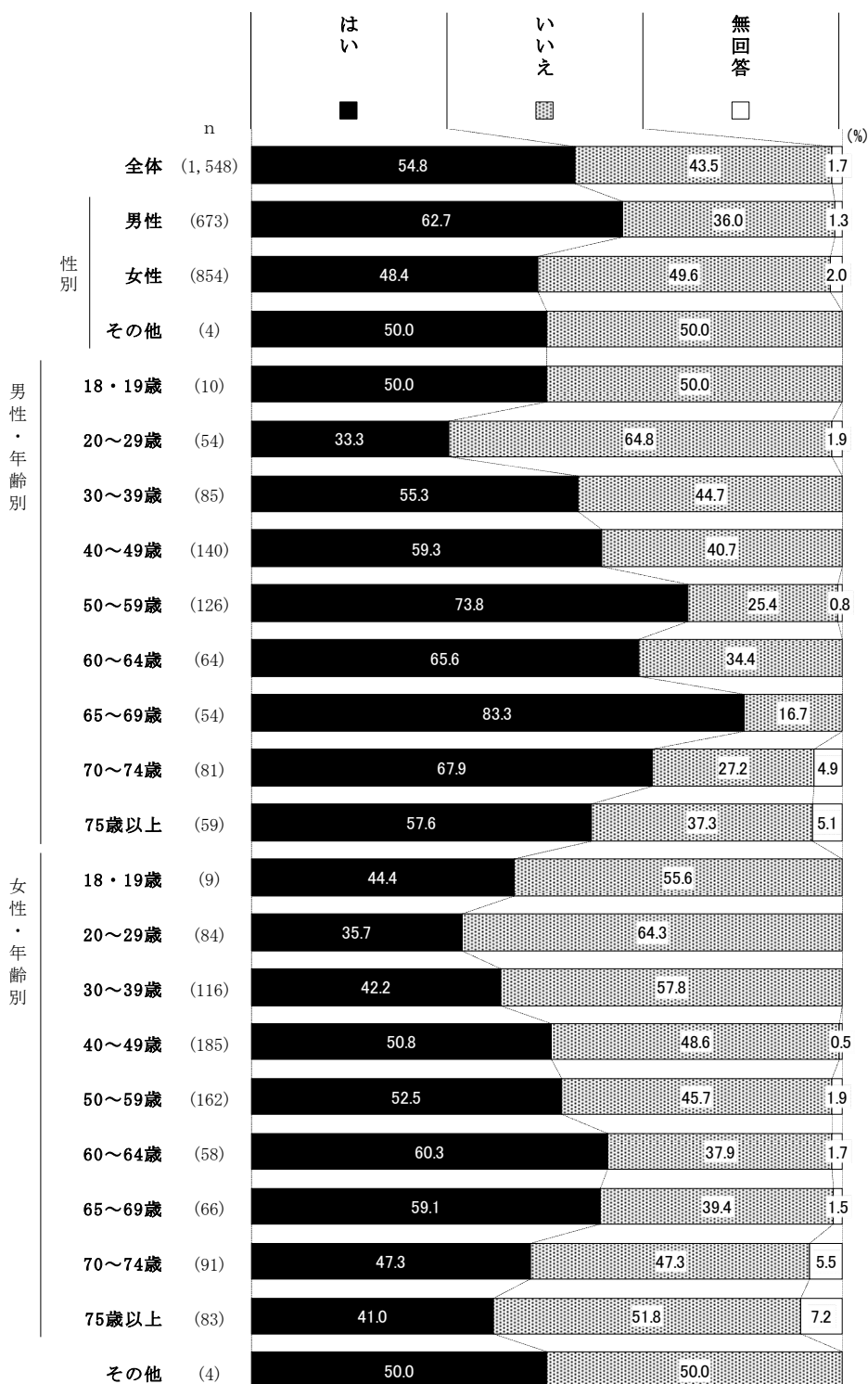
※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【18 マイクロプラスチック問題という言葉もしくは取り組みを知っている／性・年齢別】

性別では、「はい」は男性（62.7%）が女性（48.4%）より14.3ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は男性65～69歳（83.3%）で8割台半ばと最も高く、次いで男性50～59歳（73.8%）、男性70～74歳（67.9%）となっている。（図表7-19）

＜図表7-19＞ 18 マイクロプラスチック問題という言葉もしくは取り組みを知っている
／性・年齢別



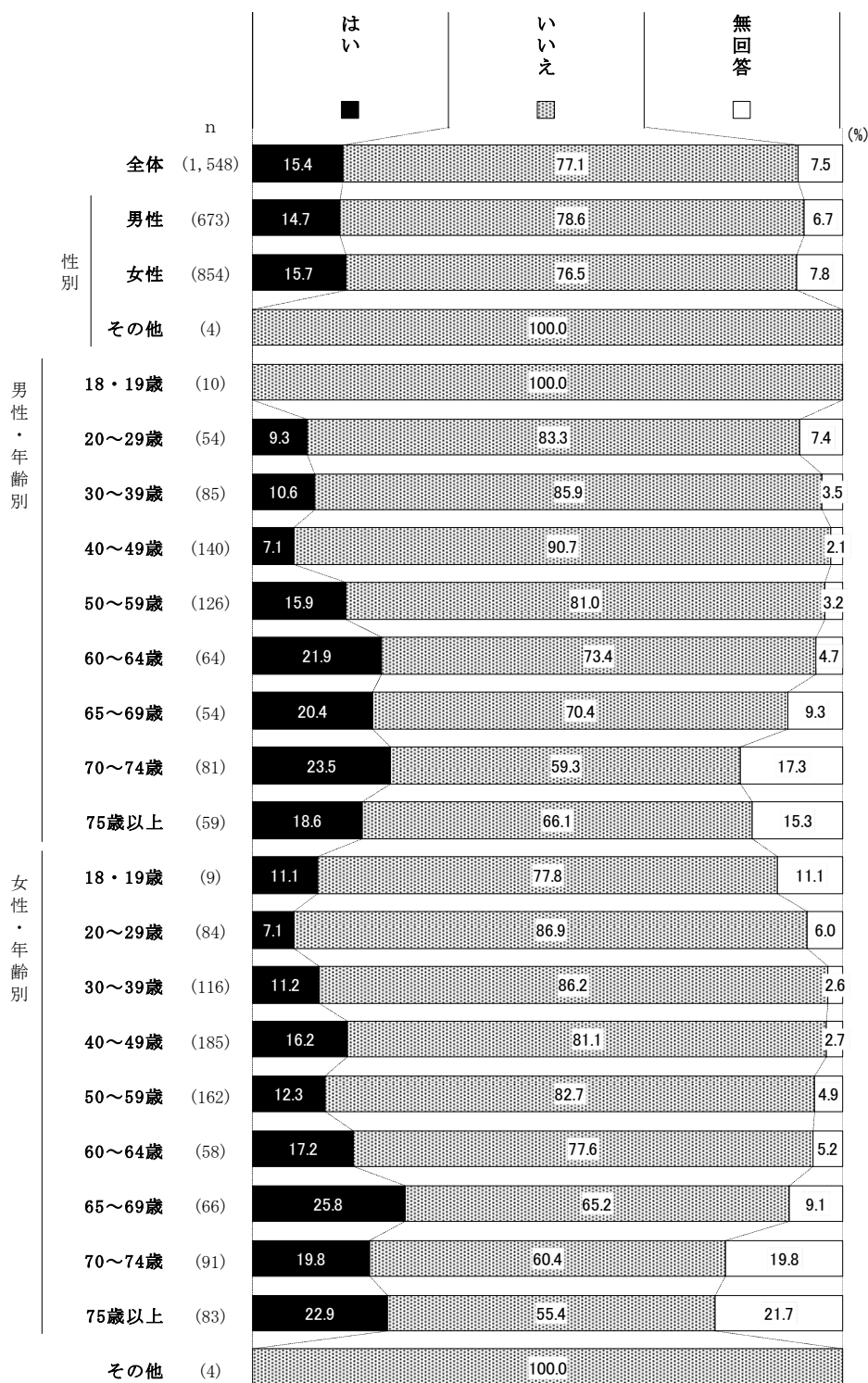
※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【19 1～18のほかに、省エネ・省資源やごみ減量・リサイクルなどにつながる環境に配慮した取り組みを行っている／性・年齢別】

性別では、男女間で大きな違いはみられない。

性・年齢別でみると、「はい」は女性 65～69 歳 (25.8%) で 2 割台半ばと最も高く、次いで男性 70～74 歳 (23.5%)、女性 75 歳以上 (22.9%) となっている。(図表 7-20)

＜図表 7-20＞ 19 1～18のほかに、省エネ・省資源やごみ減量・リサイクルなどにつながる環境に配慮した取り組みを行っている／性・年齢別



※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

8. 葛西海浜公園について

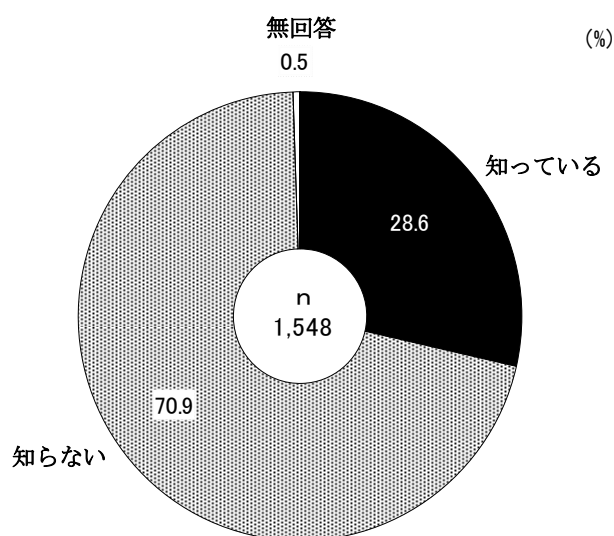
(1) 葛西海浜公園がラムサール条約湿地に登録されたことの認知度

◇ 葛西海浜公園がラムサール条約湿地に登録されたことを「知っている」は3割弱

平成30年10月に、葛西海浜公園がラムサール条約湿地に登録されました。東京駅から15分という都心に近いこの葛西海浜公園の貴重な環境の保全と活用を江戸川区は東京都とともに進めていきます。

問16 あなたは、葛西海浜公園がラムサール条約湿地に登録されたことを知っていますか。
(○は1つ)

<図表8-1> 葛西海浜公園がラムサール条約湿地に登録されたことの認知度



葛西海浜公園がラムサール条約湿地に登録されたことを知っているか尋ねたところ、「知っている」(28.6%)が3割弱となっている。一方、「知らない」(70.9%)は7割強となっている。

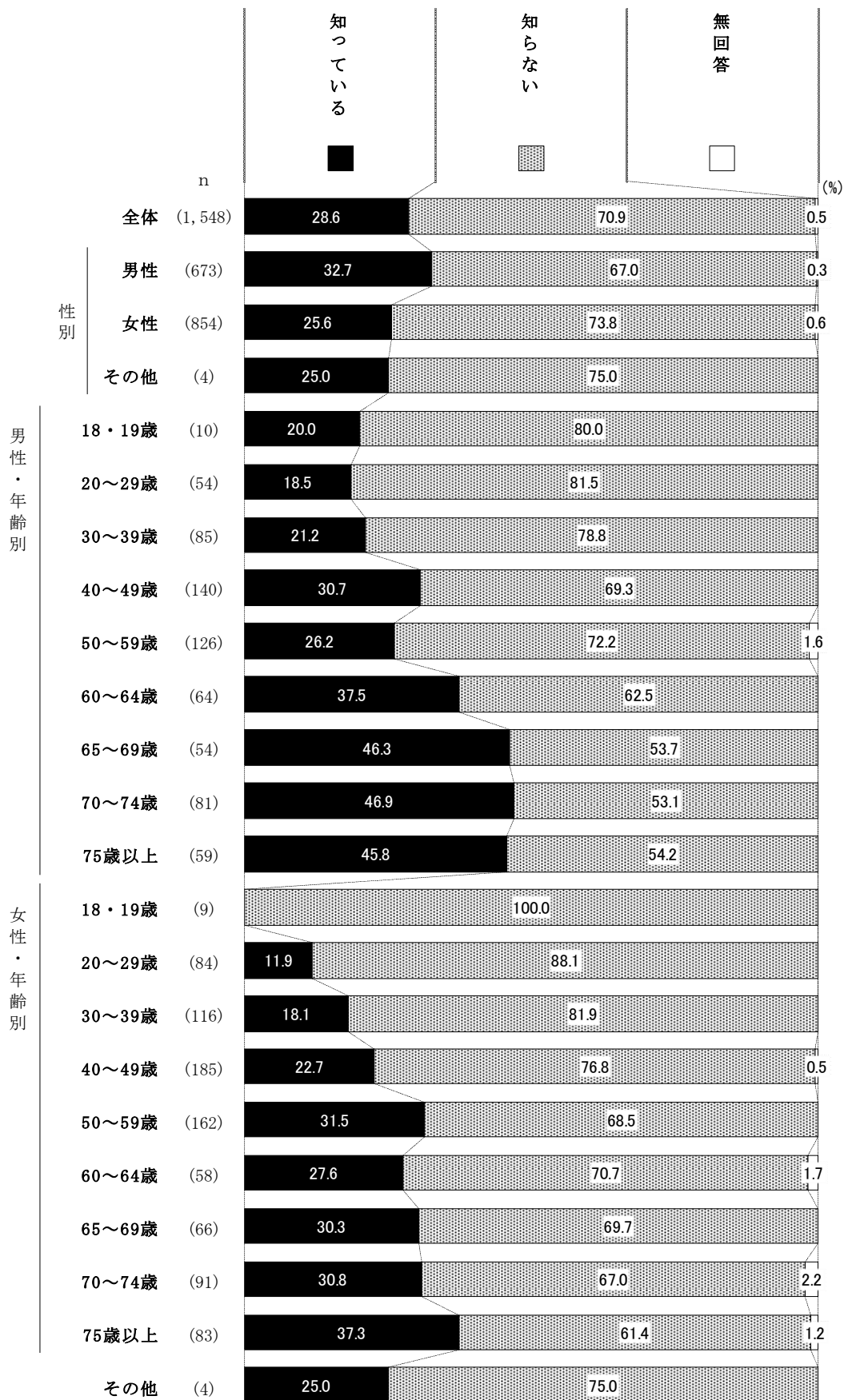
(図表8-1)

【性・年齢別】

性別では、「知っている」は男性(32.7%)が女性(25.6%)より7.1ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「知っている」は男性65~69歳(46.3%)、男性70~74歳(46.9%)、男性75歳以上(45.8%)で4割台半ばと高くなっている。(図表8-2)

＜図表 8-2＞ 葛西海浜公園がラムサール条約湿地に登録されたことの認知度／性・年齢別



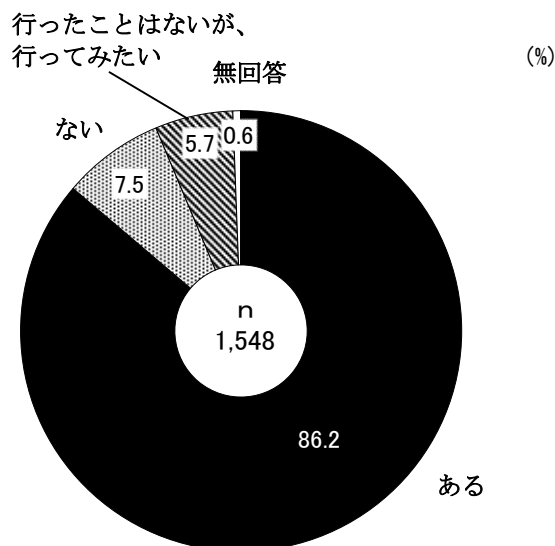
※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

(2) 葛西海浜公園の利用

◇ 「行ったことがある」は8割台半ば

問17 あなたは、葛西海浜公園に行ったことがありますか。(○は1つ)

<図表8-3> 葛西海浜公園の利用



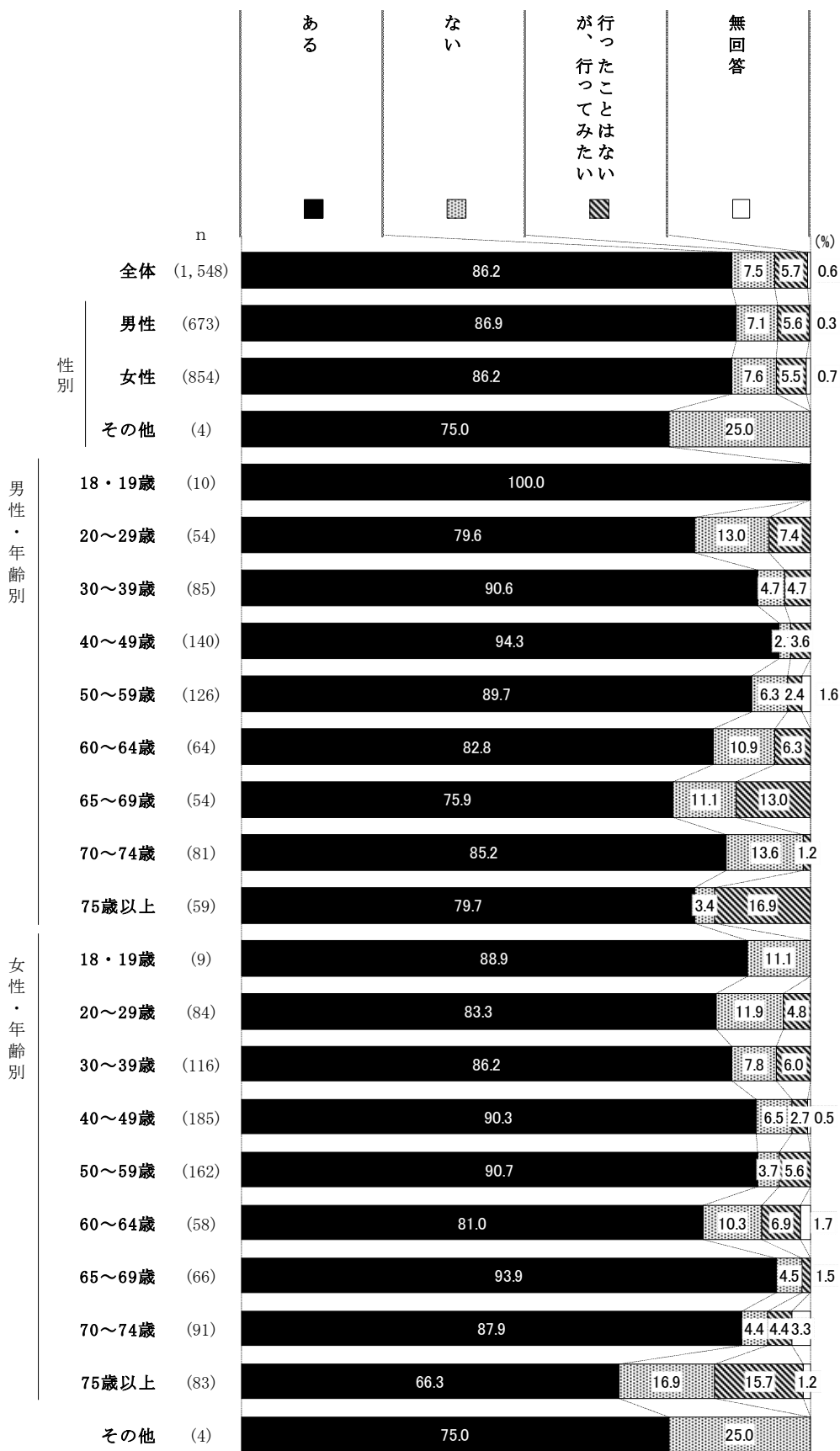
葛西海浜公園に行ったことがあるか尋ねたところ、「ある」(86.2%)が8割台半ばとなっている。一方、「ない」は7.5%、「行ったことはないが、行ってみたい」は5.7%となっている。(図表8-3)

【性・年齢別】

性別では、男女間で大きな違いはみられない。

性・年齢別でみると、「ある」は男性30～39歳(90.6%)、男性40～49歳(94.3%)、女性40～49歳(90.3%)、女性50～59歳(90.7%)、女性65～69歳(93.9%)で9割を超えている。一方、「行ったことはないが、行ってみたい」は、男性75歳以上(16.9%)、女性75歳以上(15.7%)で1割台半ばとなっている。(図表8-4)

＜図表 8-4＞ 葛西海浜公園の利用／性・年齢別



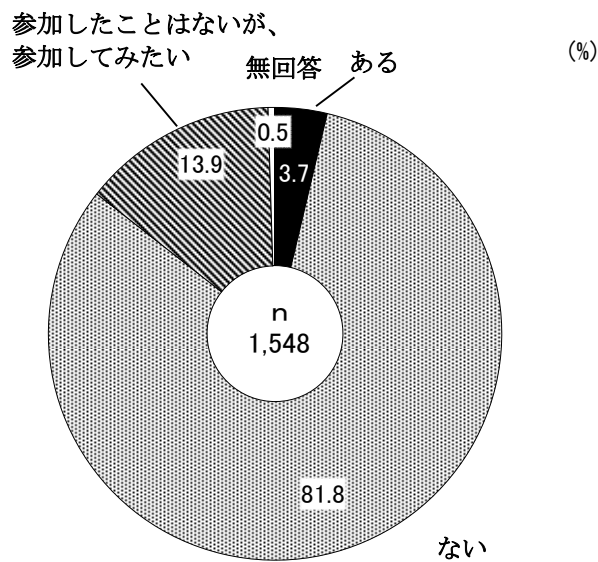
※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

(3) イベントへの参加

◇ 「参加したことがある」は3.7%

問18 あなたは、葛西海浜公園で開催される野鳥など生きもの観察会や清掃活動などのイベントに参加したことがありますか。(○は1つ)

<図表8-5> イベントへの参加



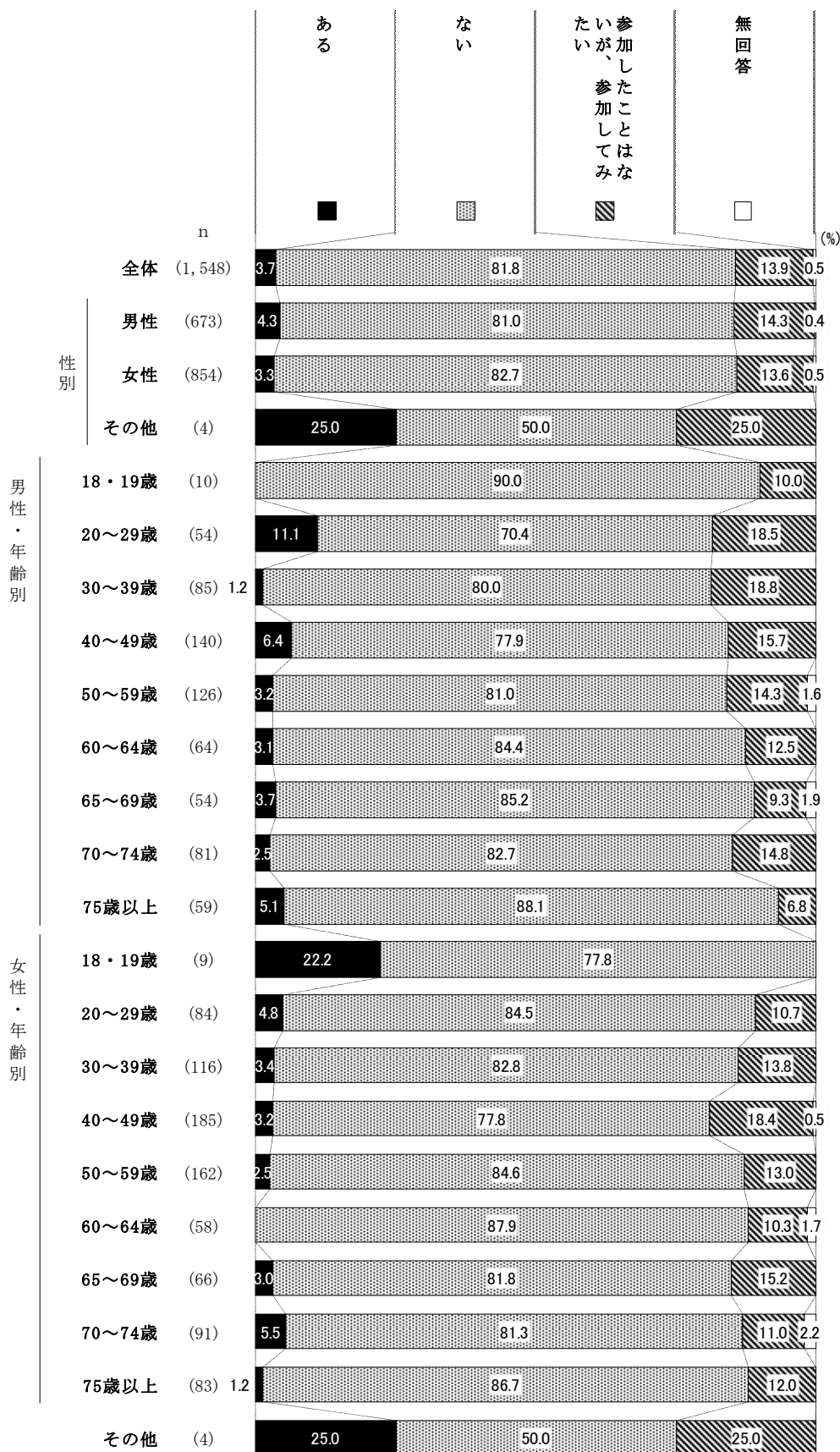
葛西海浜公園で開催されるイベントに行ったことがあるか尋ねたところ、「ある」が3.7%、「ない」が81.8%、「参加したことはないが、参加してみたい」が13.9%となっている。(図表8-5)

【性・年齢別】

性別では、男女間で大きな違いはみられない。

性・年齢別でみると、「ある」は男性20～29歳が11.1%と最も高く、「参加したことはないが、参加してみたい」は、男性20～29歳(18.5%)、男性30～39歳(18.8%)、女性40～49歳(18.4%)で2割弱と高くなっている。一方、「ない」は、男性75歳以上(88.1%)で9割弱と最も高くなっている。(図表8-6)

<図表8-6> イベントへの参加/性・年齢別



※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

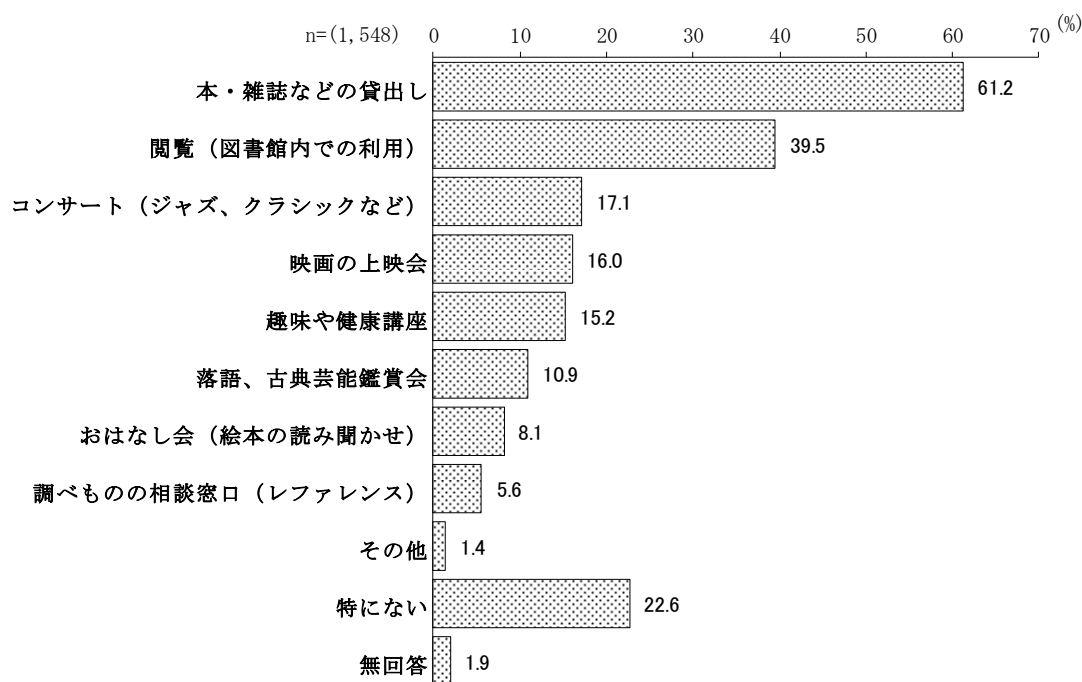
9. 区立図書館の利用について

(1) 図書館サービスの利用内容

◇ 「本・雑誌などの貸出し」は6割強

問19 あなたが、江戸川区立図書館のサービスで利用している、または利用してみたいものをお答えください。(〇はいくつでも)

＜図表9-1＞ 図書館サービスの利用内容（複数回答）



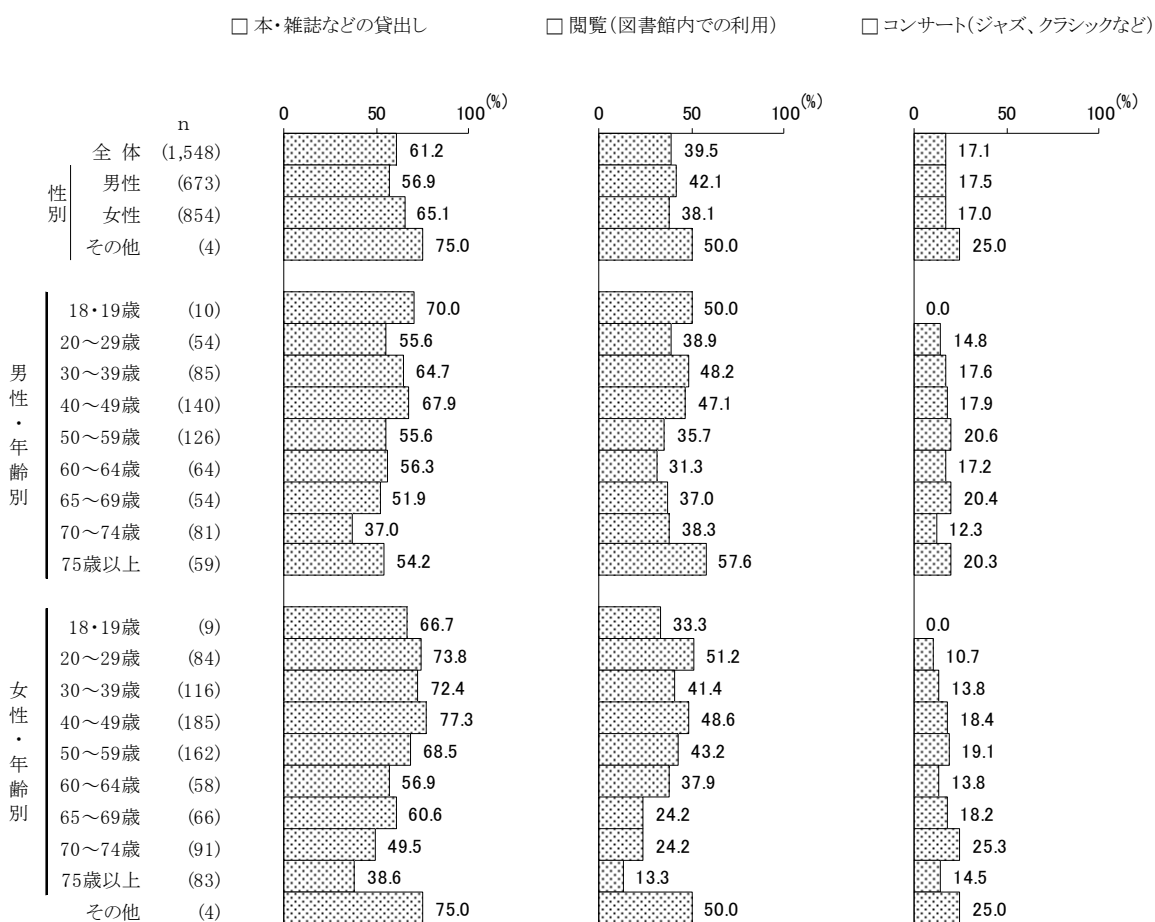
江戸川区立図書館のサービスで利用している、または利用してみたいサービスについて尋ねたところ、「本・雑誌などの貸出し」(61.2%)が6割強と最も高く、続いて「閲覧(図書館内での利用)」(39.5%)、「コンサート(ジャズ、クラシックなど)」(17.1%)、「映画の上映会」(16.0%)、「趣味や健康講座」(15.2%)となっている。(図表9-1)

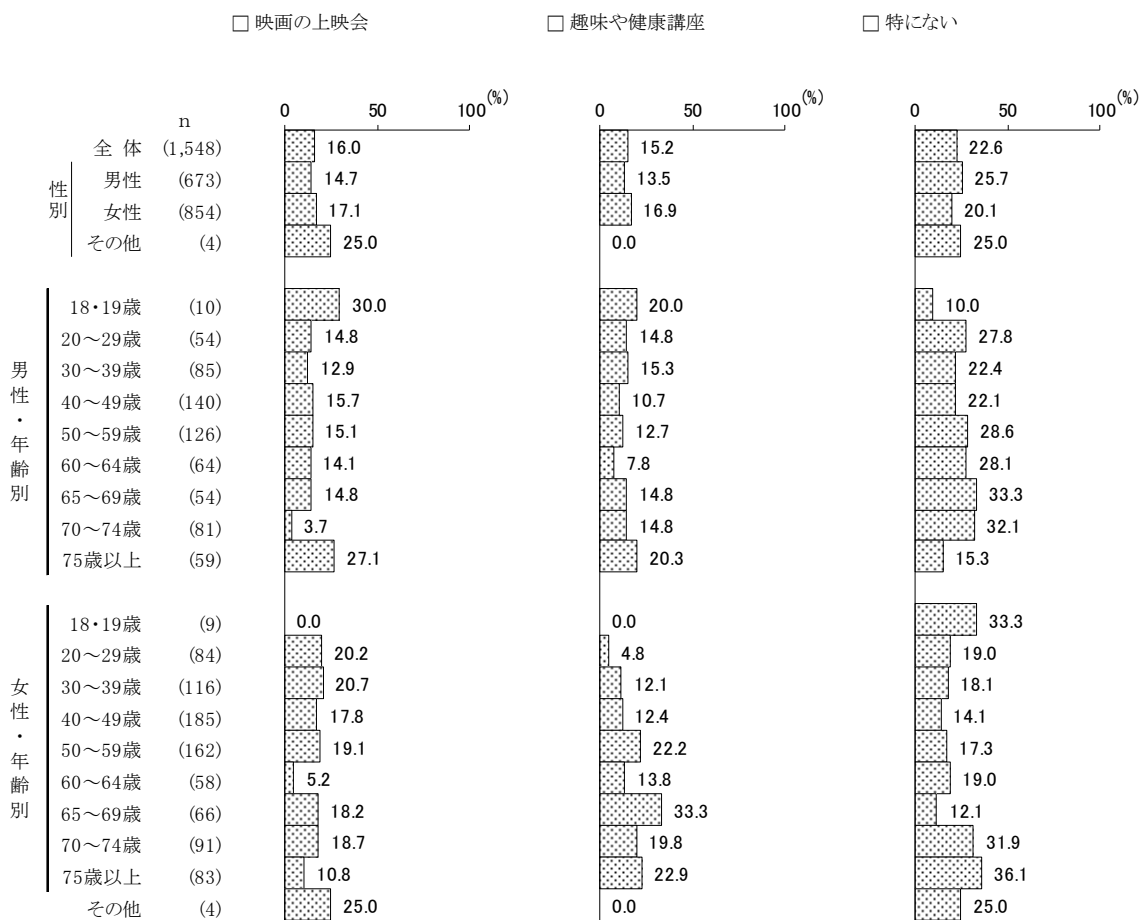
【性・年齢別】

性別では、「本・雑誌などの貸出し」は女性（65.1%）が男性（56.9%）より8.2ポイント高く、「閲覧（図書館内での利用）」は男性（42.1%）が女性（38.1%）より4.0ポイント高くなっている。また、「特にない」は男性（25.7%）が女性（20.1%）より5.6ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「本・雑誌などの貸出し」は女性20～29歳（73.8%）、女性30～39歳（72.4%）、女性40～49歳（77.3%）で7割台と高く、「閲覧（図書館内での利用）」は男性75歳以上（57.6%）で6割弱と最も高くなっている。また、「趣味や健康講座」は女性65～69歳（33.3%）で3割台半ばと高く、「特にない」は女性75歳以上（36.1%）で3割台半ばと最も高くなっている。（図表9-2）

＜図表9-2＞ 区立図書館のサービス利用／性・年齢別（上位5項目+「特にない」）





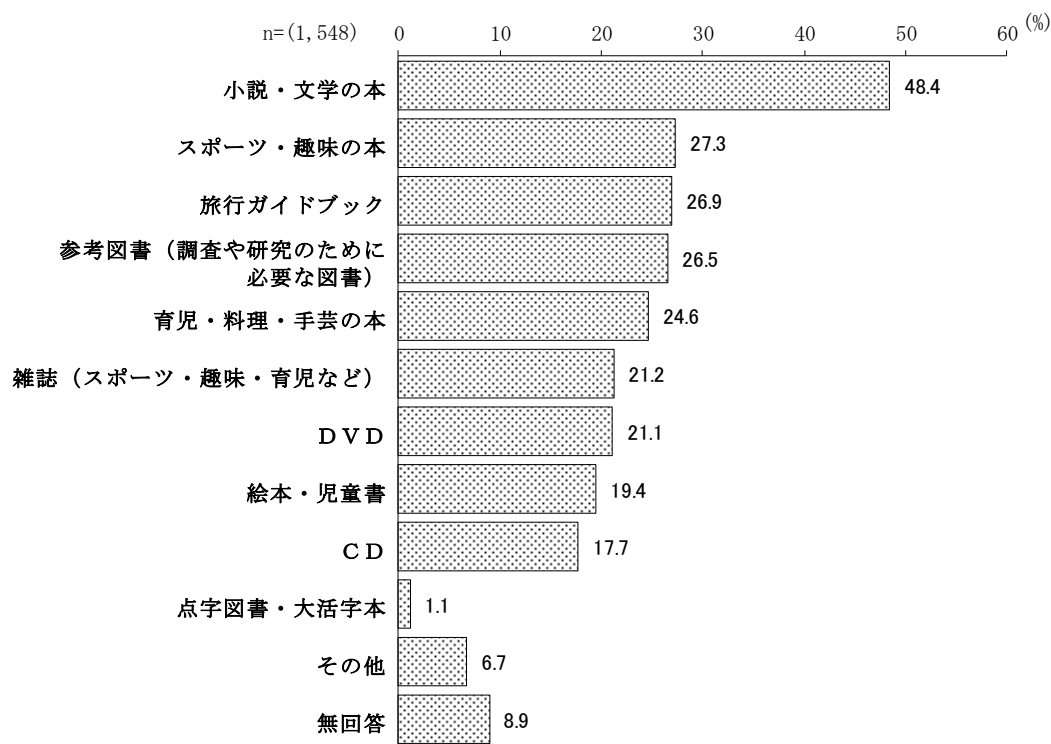
※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

(2) 借りたいと思う本や雑誌

◇ 「小説・文学の本」が5割弱と最も高い

問20 区立図書館にある本や雑誌などで借りたいと思うものはどれですか (〇はいくつでも)

<図表9-3> 借りたいと思う本や雑誌 (複数回答)



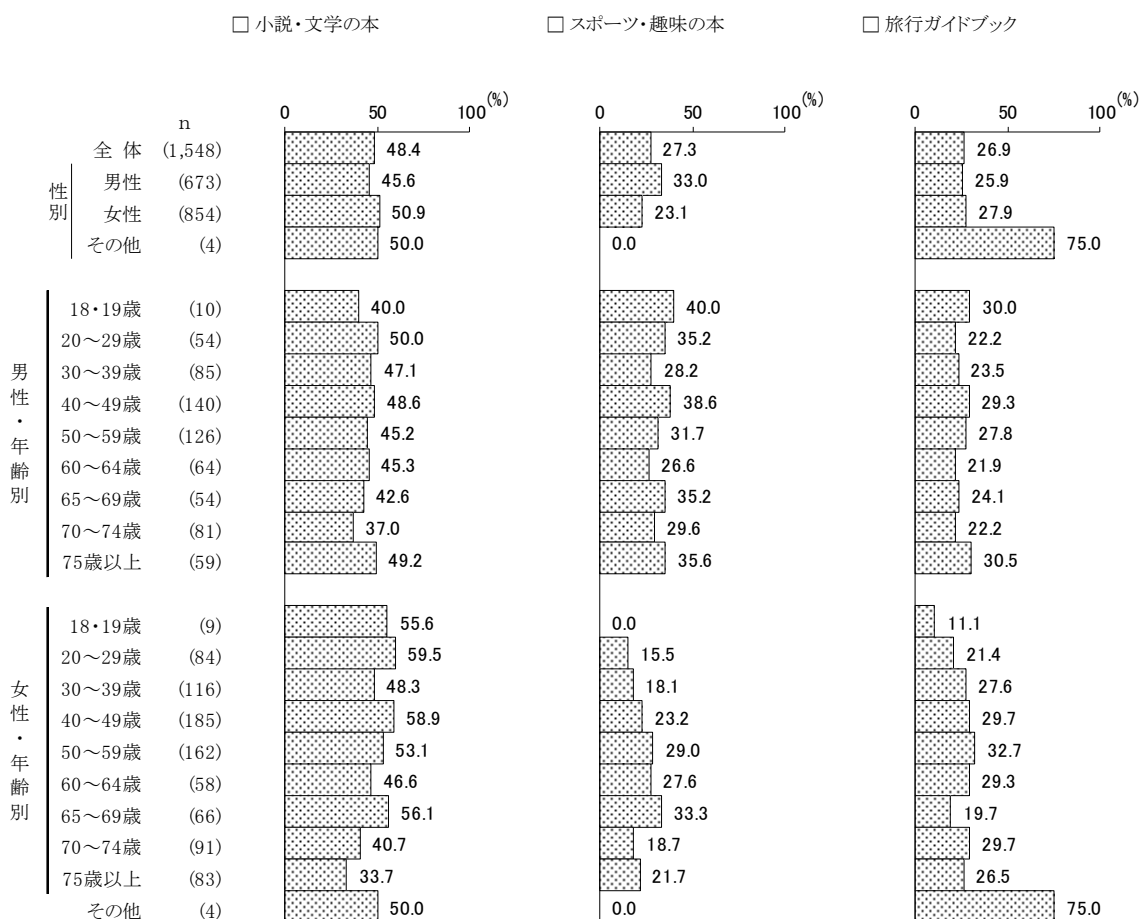
借りたいと思う本や雑誌について尋ねたところ、「小説・文学の本」(48.4%)が5割弱と最も高く、続いて「スポーツ・趣味の本」(27.3%)、「旅行ガイドブック」(26.9%)、「参考図書 (調査や研究のために必要な図書)」(26.5%)、「育児・料理・手芸の本」(24.6%)、「雑誌 (スポーツ・趣味・育児など)」(21.2%)となっている。(図表9-3)

【性・年齢別】

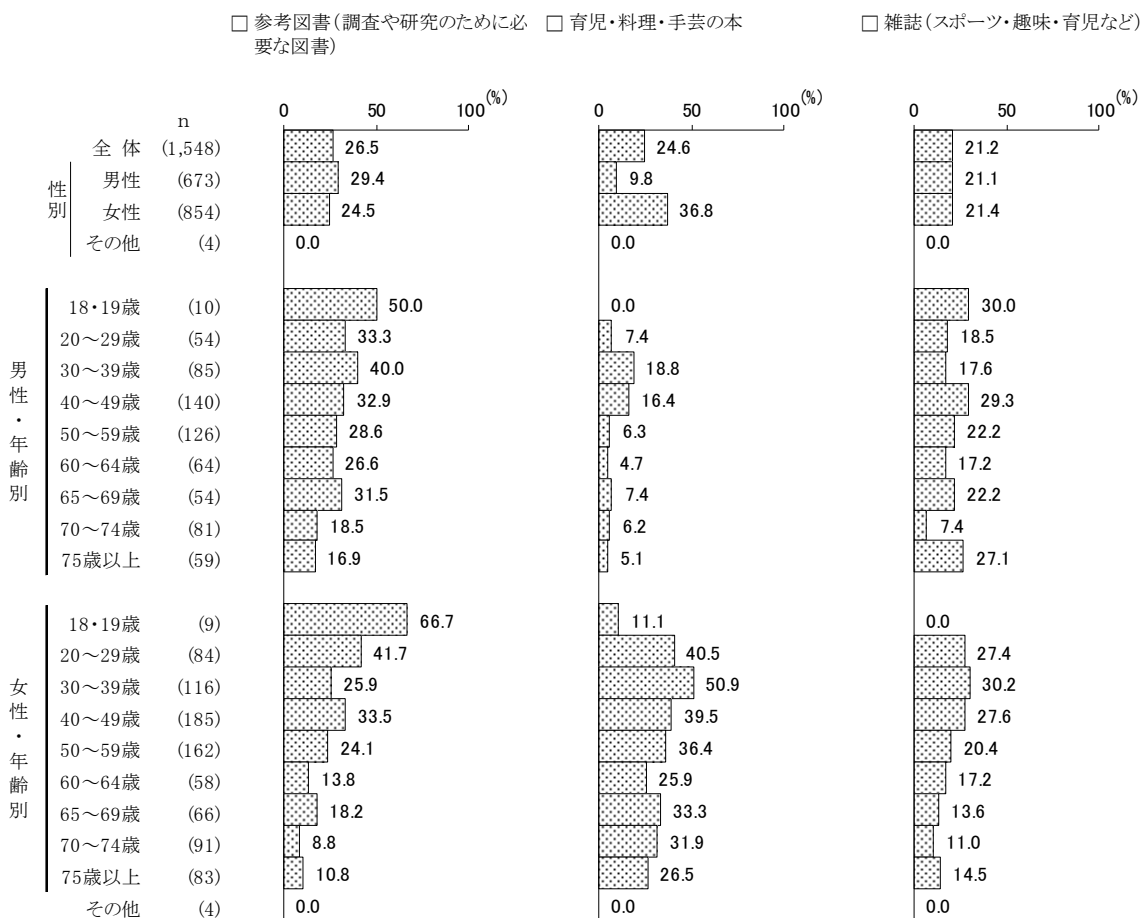
性別では、「小説・文学の本」は女性（50.9%）が男性（45.6%）より 5.3 ポイント高く、「育児・料理・手芸の本」は女性（36.8%）が男性（9.8%）より 27.0 ポイント高くなっている。また、「スポーツ・趣味の本」は男性（33.0%）が女性（23.1%）より 9.9 ポイント高く、「参考図書（調査や研究のために必要な図書）」は男性（29.4%）が女性（24.5%）より 4.9 ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「小説・文学の本」は女性 20～29 歳（59.5%）、女性 40～49 歳（58.9%）で 6 割弱と高く、「スポーツ・趣味の本」は男性 40～49 歳（38.6%）で 4 割弱と高くなっている。また、「参考図書（調査や研究のために必要な図書）」は女性 20～29 歳（41.7%）、男性 30～39 歳（40.0%）で 4 割強と高く、「育児・料理・手芸の本」は女性 20～29 歳（40.5%）、女性 30～39 歳（50.9%）、女性 40～49 歳（39.5%）で 4～5 割と高くなっている。（図表 9-4）

＜図表 9-4＞ 借りたいと思う本や雑誌／性・年齢別（上位 6 項目）



Ⅲ 結果と分析 9. 区立図書館の利用について



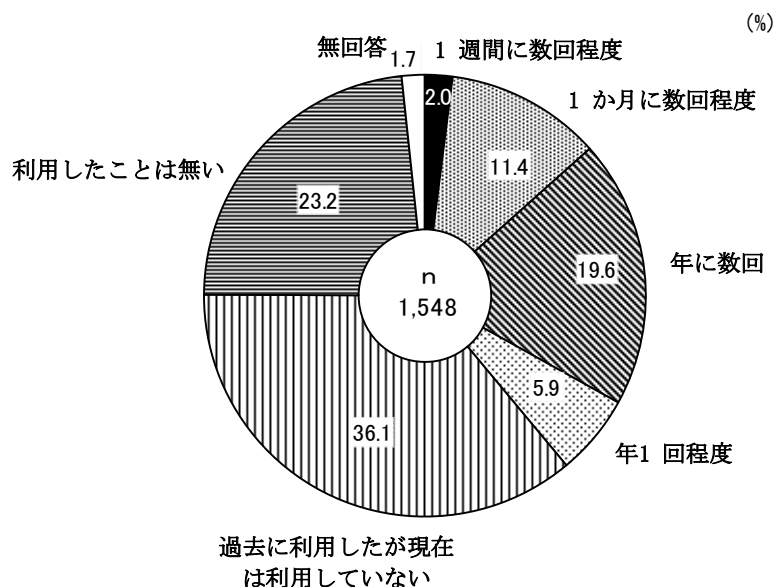
※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

(3-1) 図書館の利用頻度

◇ 「過去に利用したが現在は利用していない」が3割台半ば

問21-1 あなたは、区立図書館をどのくらいの頻度で利用していますか。
一番近いものをお答えください。(○は1つ)

<図表9-5> 図書館の利用頻度



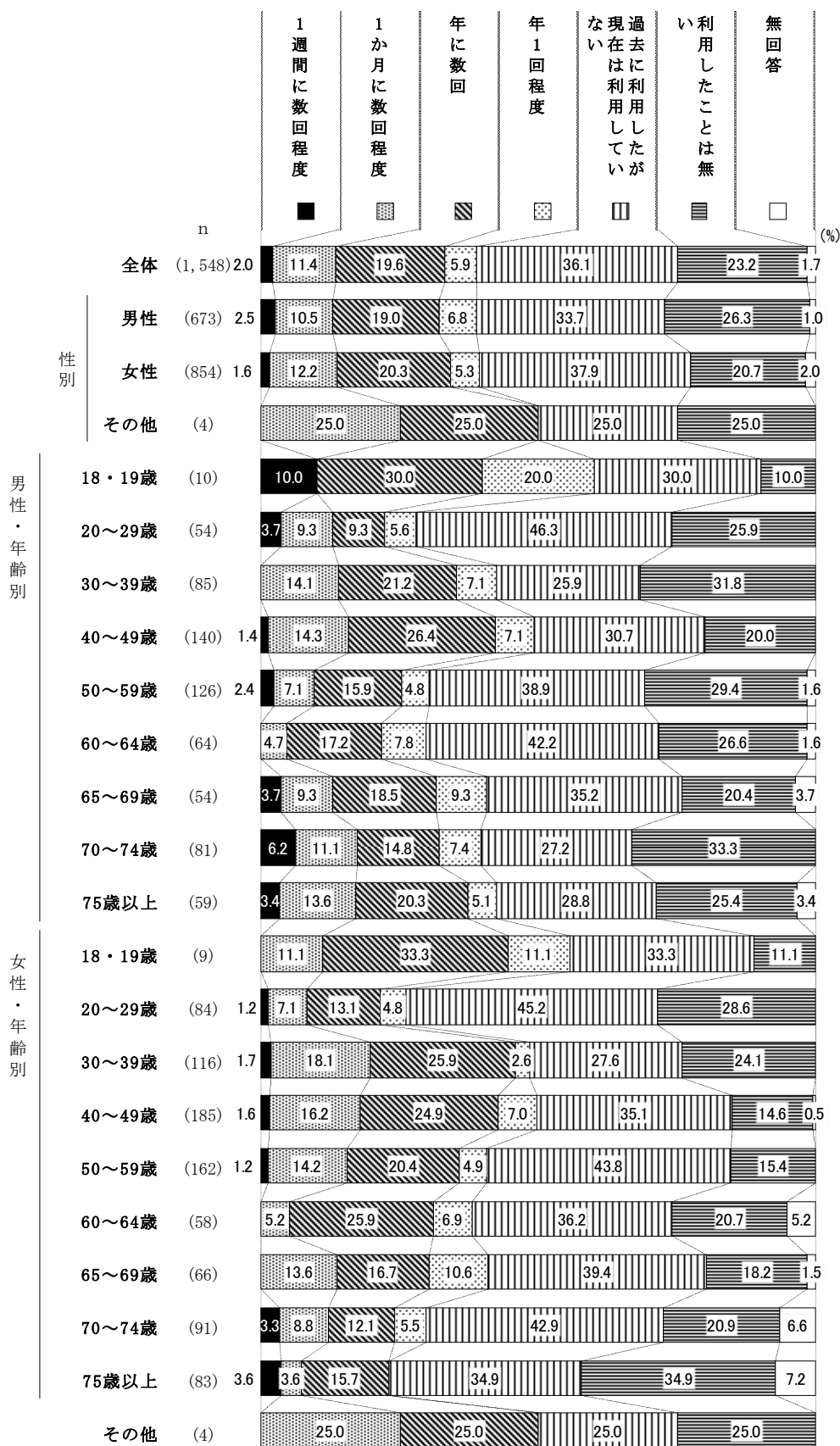
区立図書館をどのくらいの頻度で利用しているか尋ねたところ、「1週間に数回程度」が2.0%、「1か月に数回程度」が11.4%、「年に数回」が19.6%、「年1回程度」が5.9%となっている。一方、「過去に利用したが現在は利用していない」は36.1%、「利用したことは無い」は23.2%となっている。(図表9-5)

【性・年齢別】

性別では、「過去に利用したが現在は利用していない」は女性(37.9%)が男性(33.7%)より4.2ポイント高く、「利用したことは無い」は男性(26.3%)が女性(20.7%)より5.6ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「過去に利用したが現在は利用していない」は男性20~29歳(46.3%)、女性20~29歳(45.2%)で4割台半ばと高く、「利用したことは無い」は男性70~74歳(33.3%)、女性75歳以上(34.9%)で3割台半ばと高くなっている。(図表9-6)

<図表9-6> 図書館の利用頻度／性・年齢別



※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

(3-2) 図書館を利用していない理由

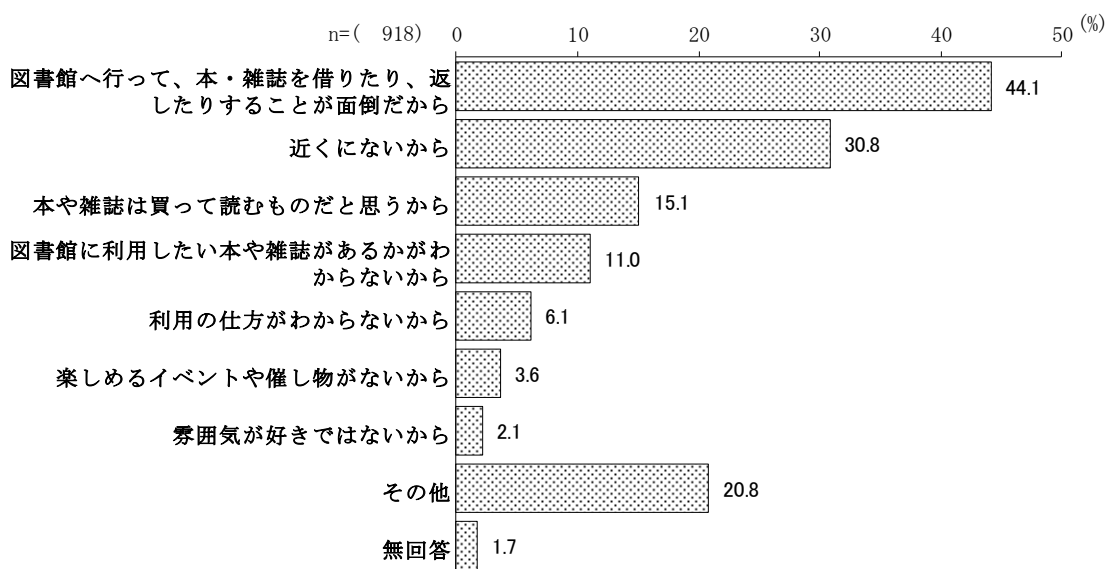
◇ 「図書館へ行って、本・雑誌を借りたり、返したりすることが面倒だから」が4割台半ば

問21-2 <問21-1で「5 過去に利用したが現在は利用していない」「6 利用したことは無い」とお答えの方に>

あなたが、区立図書館を利用していないのは、どのような理由からですか。

(○はいくつでも)

<図表9-7> 図書館を利用していない理由 (複数回答)



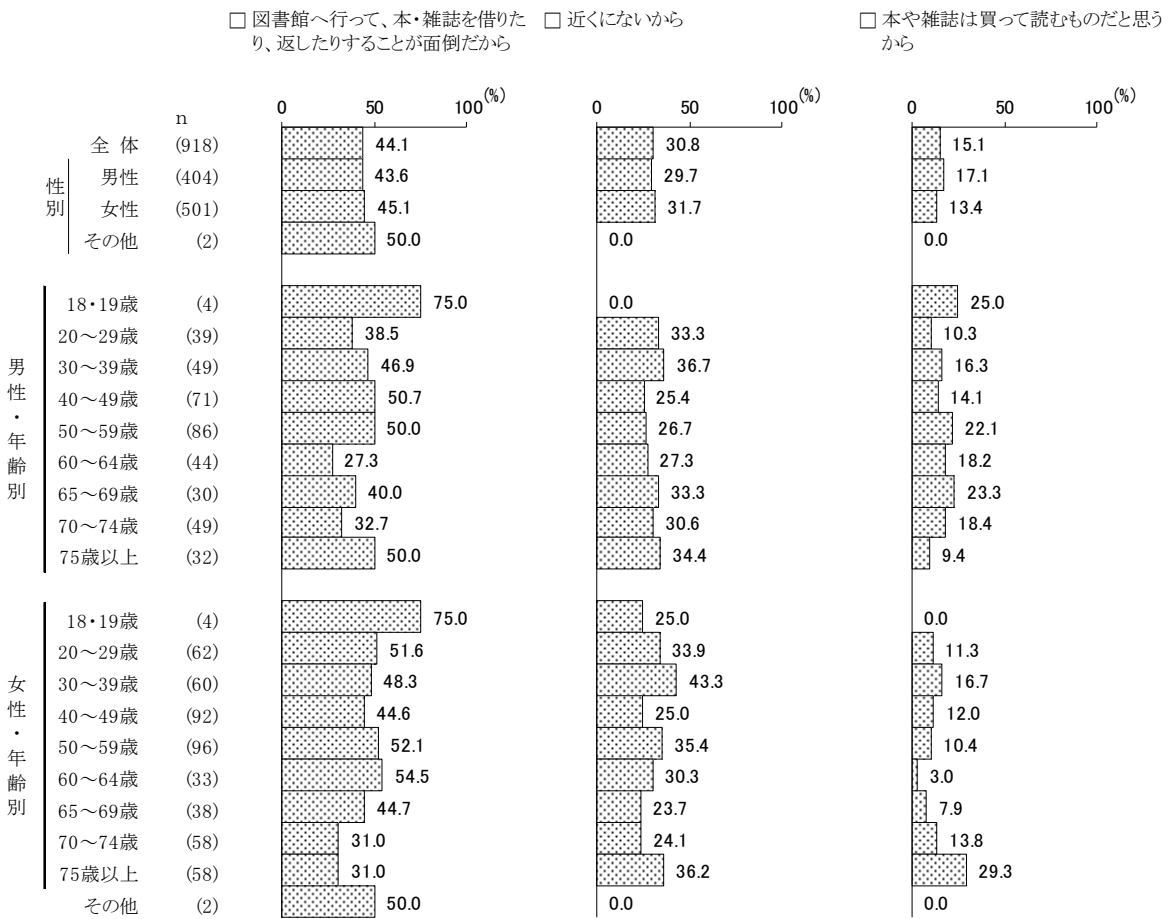
現在は区立図書館を利用していない、利用したことがないと回答した人に理由を尋ねたところ、「図書館へ行って、本・雑誌を借りたり、返したりすることが面倒だから」(44.1%)が4割台半ばで最も高く、次いで「近くにないから」(30.8%)が3割強となっている。(図表9-7)

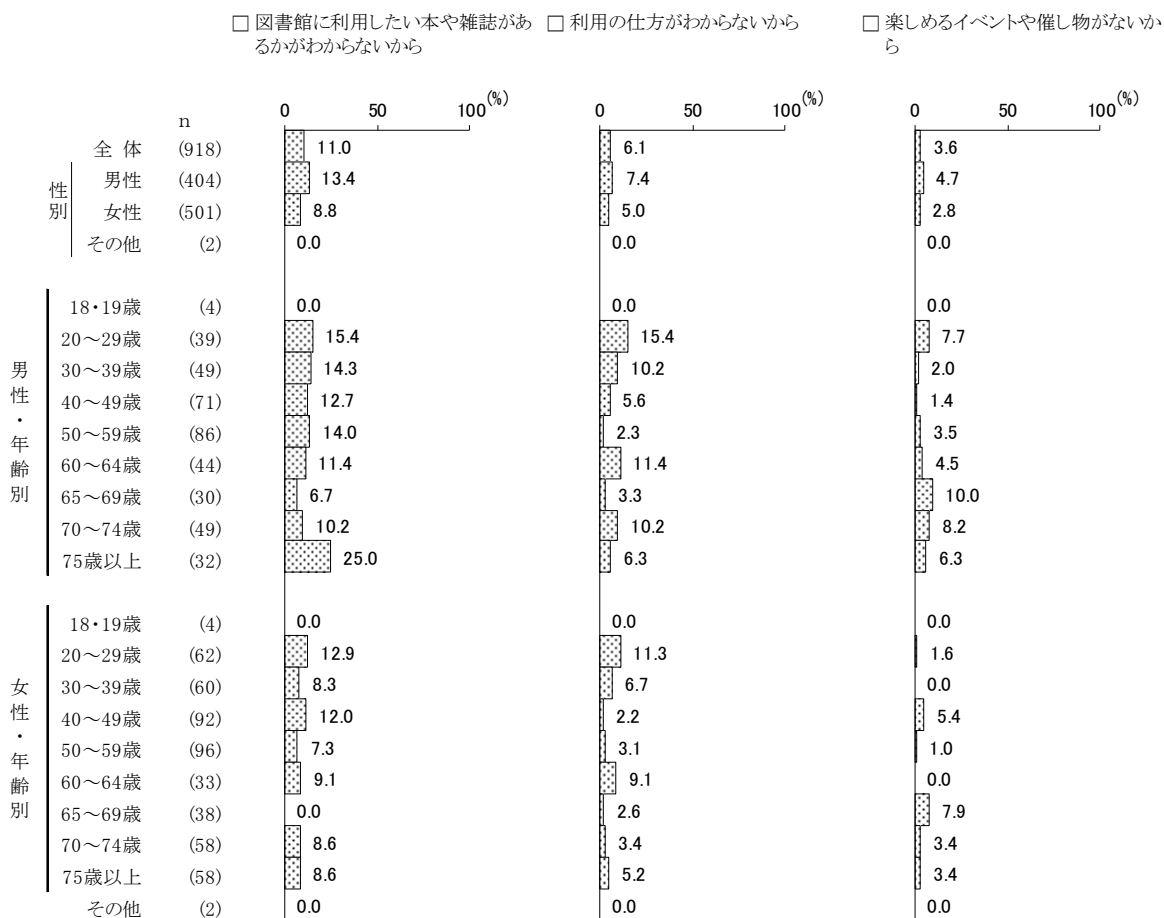
【性・年齢別】

性別では、「本や雑誌は買って読むものだと思うから」は男性(17.1%)が女性(13.4%)より3.7ポイント高く、「図書館に利用したい本や雑誌があるかわからないから」も男性(13.4%)が女性(8.8%)より4.6ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「図書館へ行って、本・雑誌を借りたり、返したりすることが面倒だから」は女性60～64歳(54.5%)で5割台半ばと最も高く、「近くにないから」は女性30～39歳(43.3%)で4割強と最も高い。また、「本や雑誌は買って読むものだと思うから」は女性75歳以上(29.3%)で3割弱と最も高く、「図書館に利用したい本や雑誌があるかわからないから」は男性75歳以上(25.0%)で2割台半ばと最も高くなっている。(図表9-8)

<図表9-8> 図書館を利用していない理由／性・年齢別(上位6項目)





※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

10. 地域活動への参加意向について

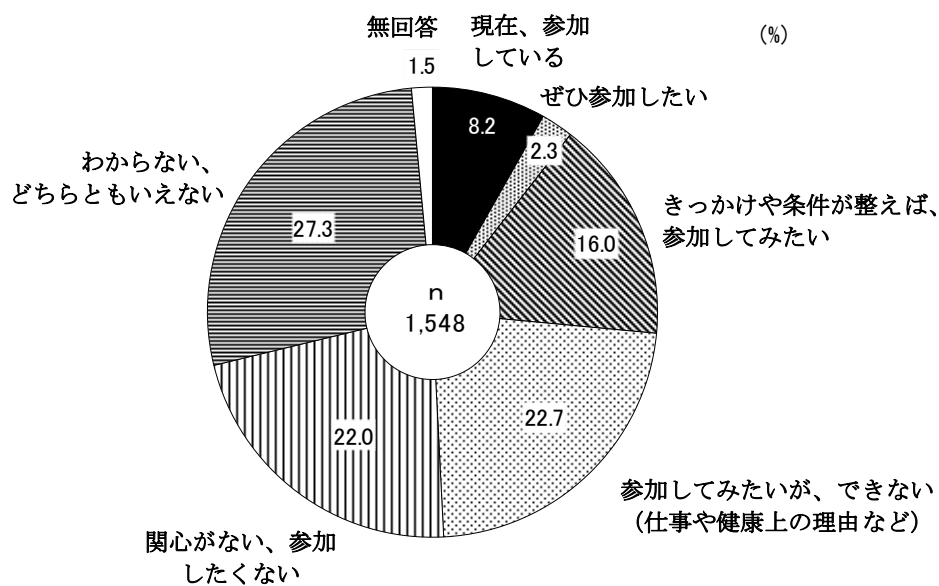
(1) 地域活動への参加の意向

◇ <参加意向>は4割強

江戸川区では、町会・自治会等の地域力を活かして「安全・安心パトロール」や「地域まつり」、「区民運動会」などの地域活動が活発に行われています。

問22-1 あなたは、地域活動をしたしたいと思いますか。(〇は1つ)

<図表 10-1> 地域活動への参加の意向



(注) <参加したい> = 「ぜひ参加したい」 + 「きっかけや条件が整えば参加してみたい」 + 「参加してみたいが、できない」・・・41.0%
 <参加しない> = 「関心がない」・・・22.0%

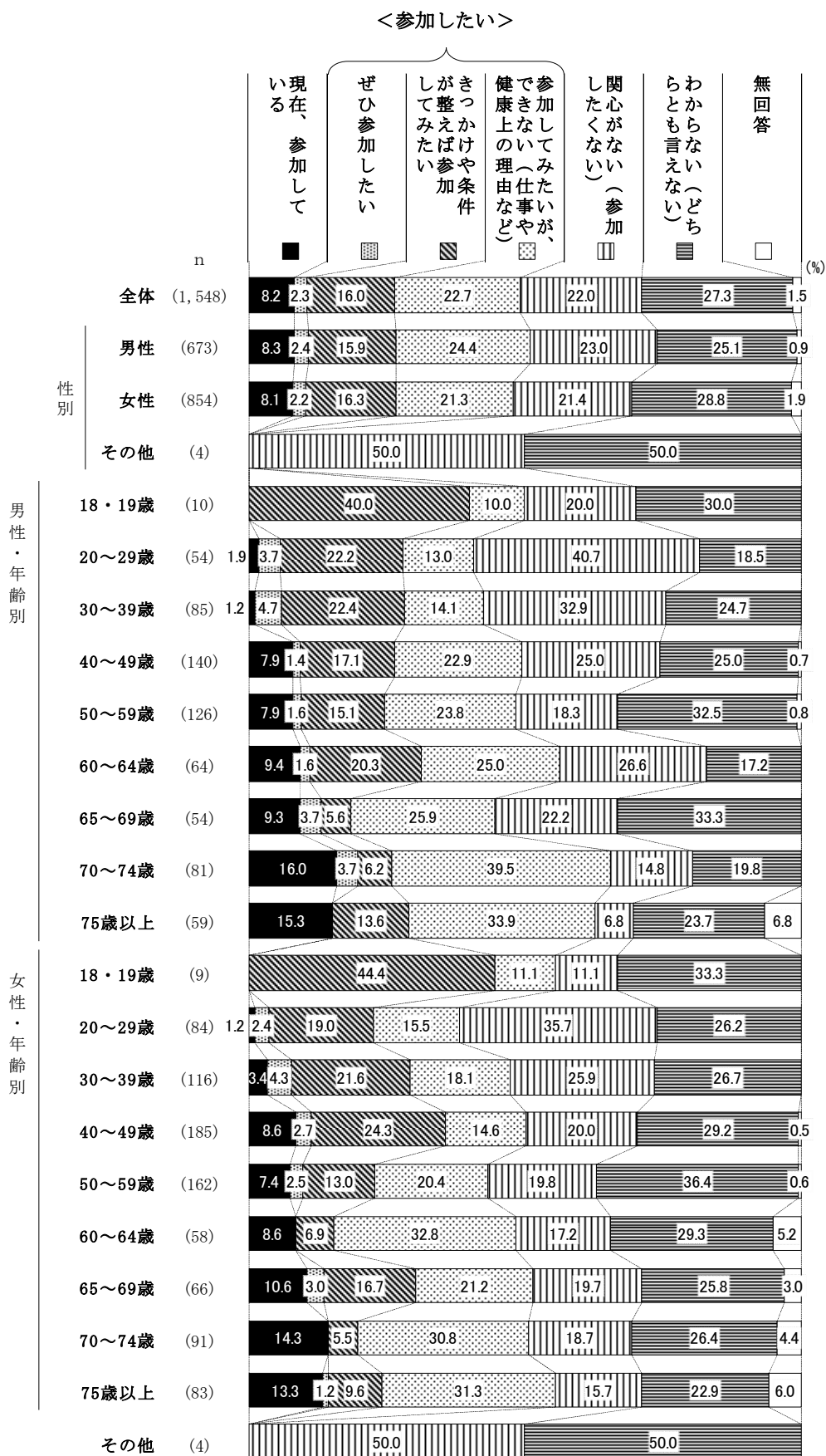
地域活動をしたか尋ねたところ、「現在参加している」(8.2%)は1割弱、「ぜひ参加したい」(2.3%)、「きっかけや条件が整えば参加してみたい」(16.0%)、「参加してみたいが、できない(仕事や健康上の理由など)」(22.7%)を合わせた<参加したい(計)>(41.0%)は4割強となっている。一方、「関心がない(参加したくない)」(22.0%)が2割強、「わからない(どちらともいえない)」(27.3%)は2割台半ばとなっている。(図表10-1)

【性・年齢別】

性別では、「参加してみたいが、できない（仕事や健康上の理由など）」は男性（24.4%）が女性（21.3%）よりも3.1ポイント高く、「わからない、どちらともいえない」は女性（28.8%）が男性（25.1%）よりも3.7ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「現在、参加している」は男性70～74歳（16.0%）、男性75歳以上（15.3%）で1割台半ばと高くなっている。また、「きっかけや条件が整えば参加してみたい」は女性40～49歳（24.3%）で2割台半ばと最も高く、「参加してみたいが、できない（仕事や健康上の理由など）」は男性70～74歳（39.5%）で4割弱と最も高くなっている。一方、「関心がない（参加したくない）」は男性20～29歳（40.7%）で4割と最も高く、「わからない（どちらともいえない）」は女性50～59歳（36.4%）で3割台半ばと最も高くなっている。（図表10-2）

＜図表 10-2＞ 地域活動への参加の意向／性・年齢別

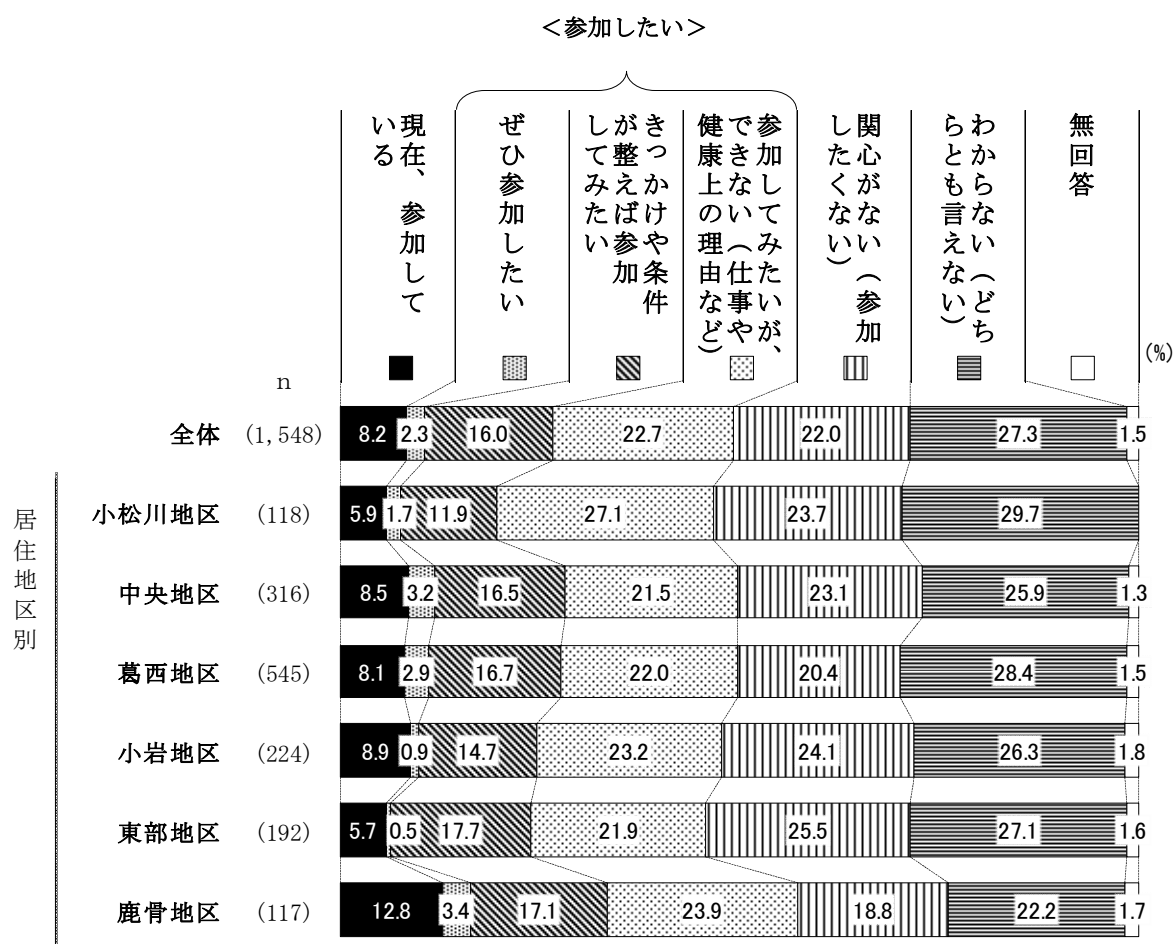


※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

【居住地区別】

居住地区別でみると、「現在、参加している」は“鹿骨地区”（12.8%）で1割台半ばと最も高く、「参加してみたいが、できない（仕事や健康上の理由など）」は“小松川地区”（27.1%）で2割台半ばと最も高くなっている。一方、「関心がない（参加したくない）」は“東部地区”（25.5%）で2割台半ばと最も高く、「わからない（どちらともいえない）」は“小松川地区”（29.7%）で3割弱と最も高くなっている。（図表10-3）

＜図表10-3＞ 地域活動への参加の意向／居住地区別

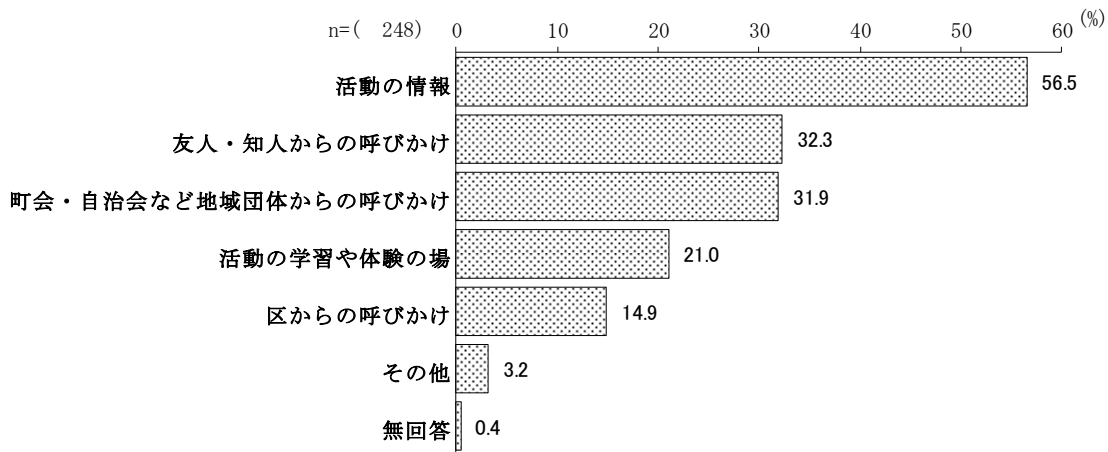


(1-1) 地域活動をするために必要なこと

◇ 「活動の情報」が5割台半ば

問22-2 <問22-1で「3 きっかけや条件が整えば参加してみたい」とお答えの方に>
 あなたが地域活動をするためには、何が必要ですか。(〇は2つまで)

<図表 10-4> 地域活動をするために必要なこと (複数回答)



「きっかけや条件が整えば参加してみたい」と回答した人に活動をするために必要なことを尋ねたところ、「活動の情報」(56.5%)が5割台半ばで最も高く、続いて「友人・知人からの呼びかけ」(32.3%)、「町会・自治会など地域団体からの呼びかけ」(31.9%)が各3割強となっている。

(図表 10-4)

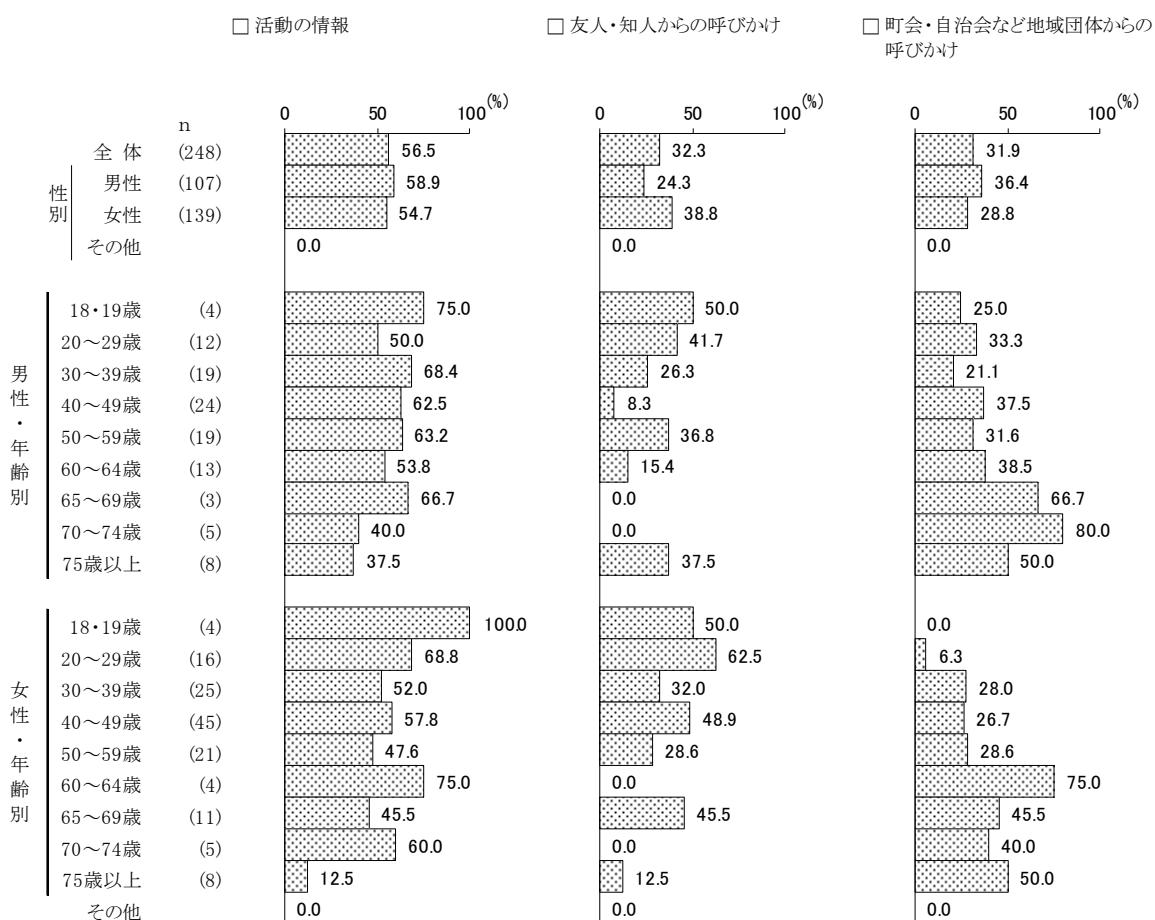
【性・年齢別】

性別では、「町会・自治会など地域団体からの呼びかけ」は男性（36.4%）が女性（28.8%）より7.6ポイント高く、「区からの呼びかけ」も男性（19.6%）が女性（10.8%）より8.8ポイント高くなっている。一方、「友人・知人からの呼びかけ」は女性（38.8%）が男性（24.3%）より14.5ポイント高くなっている。

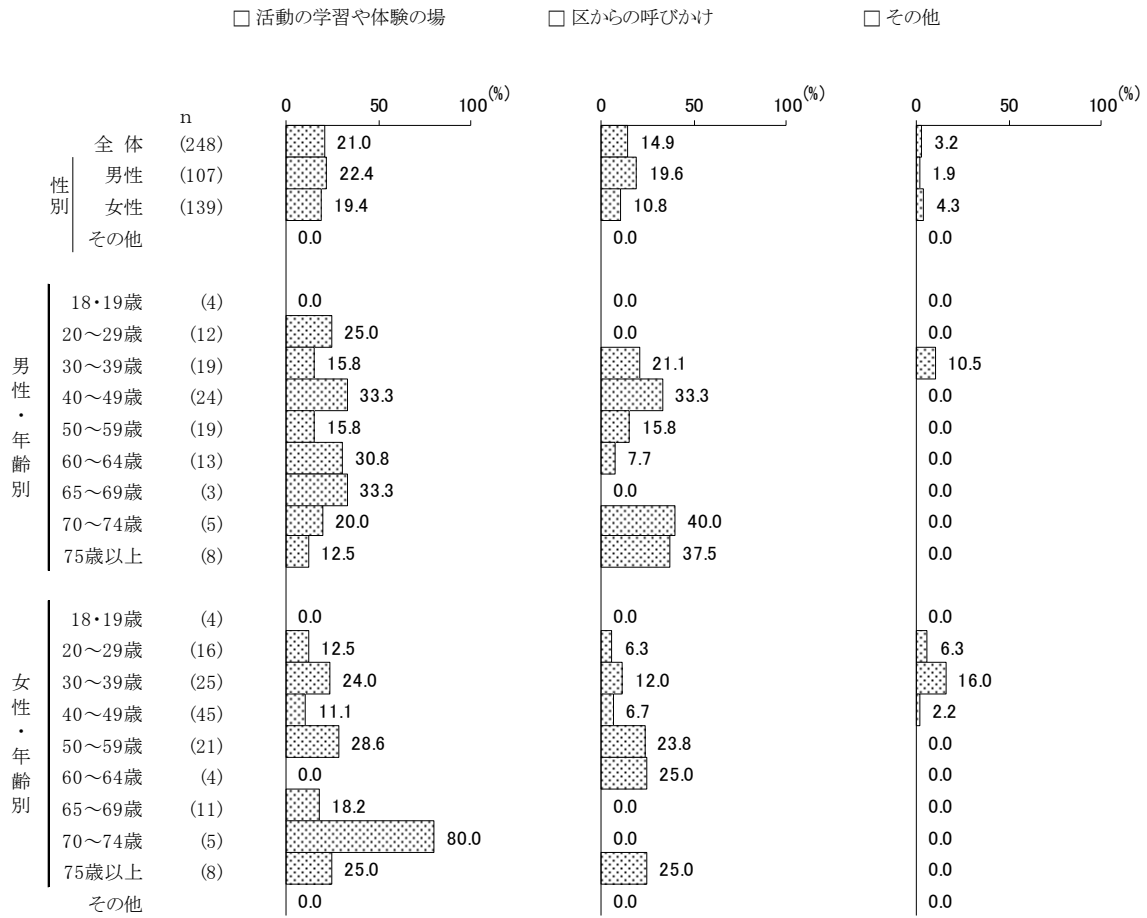
性・年齢別については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

(図表10-5)

<図表 10-5> 地域活動をするために必要なこと／性・年齢別（上位6項目）



Ⅲ 結果と分析 10. 地域活動への参加意向について

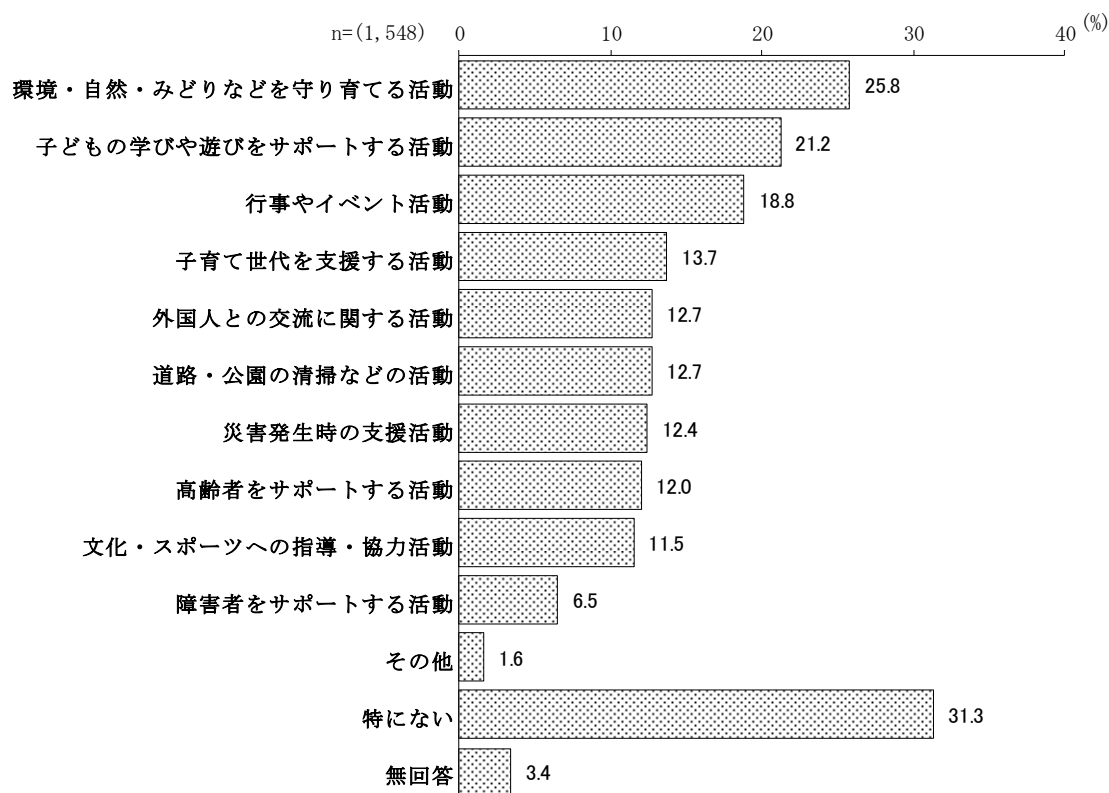


(2) 参加したい活動

◇ 「環境・自然・みどりなどを守り育てる活動」が2割台半ばで最も高い

問23 あなたは、どのような地域活動をしたと思いますか。(〇はいくつでも)

<図表 10-6> 参加したい活動 (複数回答)



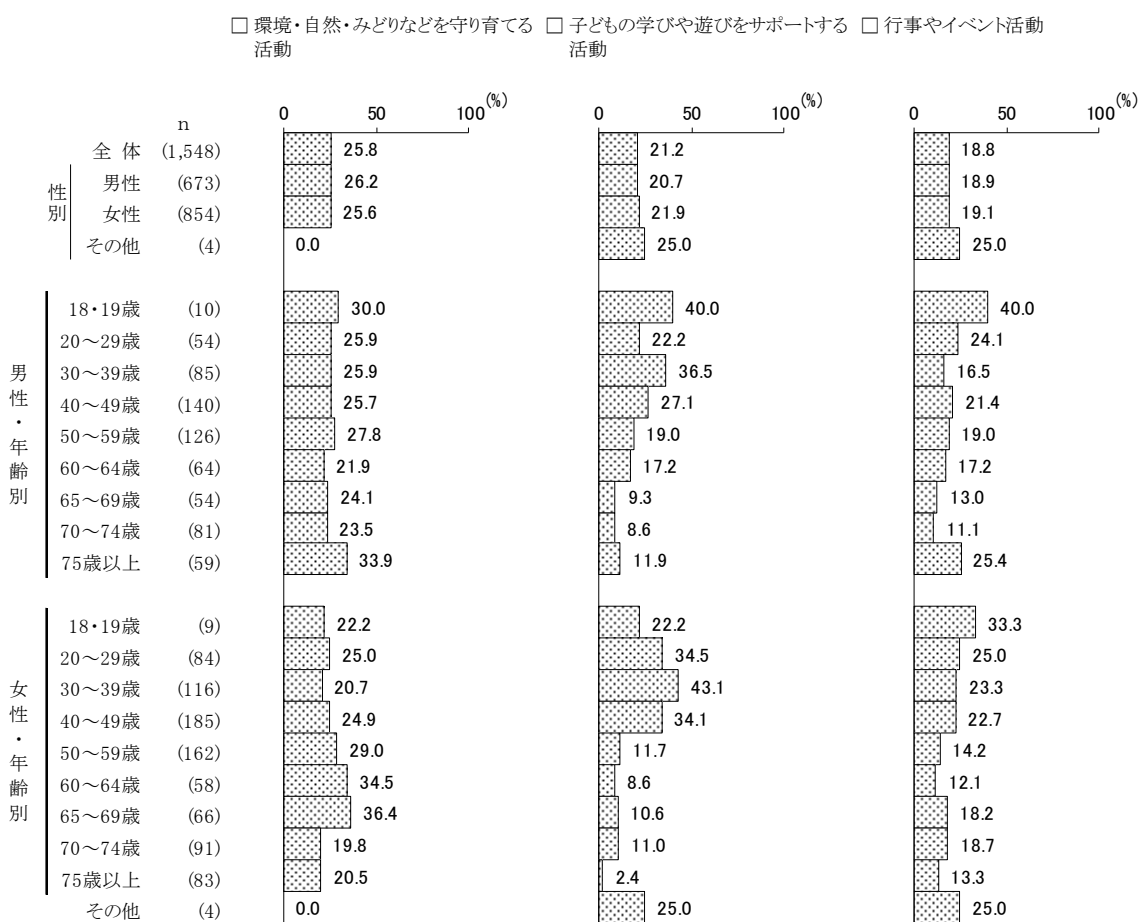
どのような地域活動に参加したいかを尋ねたところ、「環境・自然・みどりなどを守り育てる活動」(25.8%)が2割台半ばと最も高く、続いて「子どもの学びや遊びをサポートする活動」(21.2%)、「行事やイベント活動」(18.8%)が2割前後となっている。一方、「特にない」(31.3%)は3割強となっている。(図表 10-6)

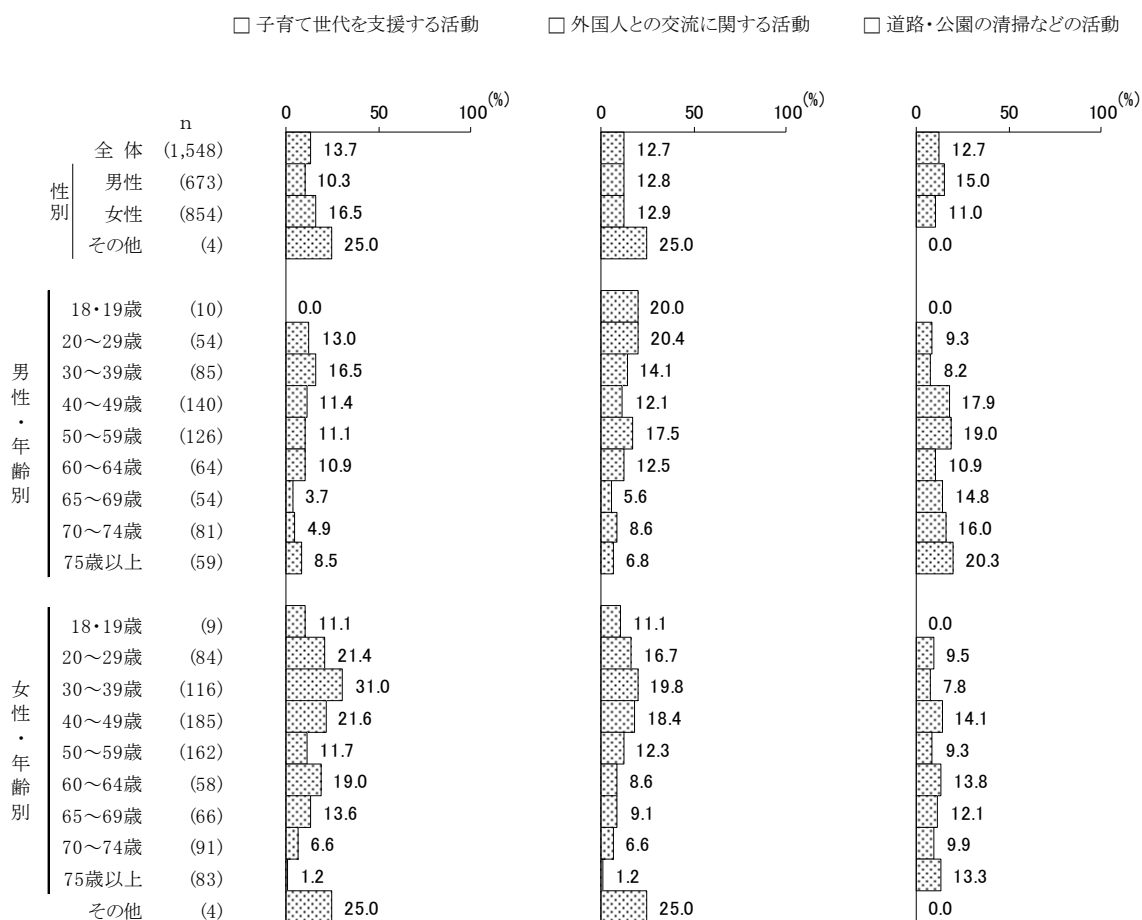
【性・年齢別】

性別では、「道路・公園の清掃などの活動」は男性（15.0%）が女性（11.0%）より 4.0 ポイント高く、「子育て世代を支援する活動」は女性（16.5%）が男性（10.3%）より 6.2 ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「環境・自然・みどりなどを守り育てる活動」は女性 60～64 歳（34.5%）、女性 65～69 歳（36.4%）で 3 割台半ばと高く、「子どもの学びや遊びをサポートする活動」は女性 30～39 歳（43.1%）で 4 割台半ばと最も高くなっている。また、「子育て世代を支援する活動」も女性 30～39 歳（31.0%）で 3 割強と最も高くなっている。（図表 10-7）

＜図表 10-7＞ 参加したい活動／性・年齢別（上位 6 項目）





※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

11. 問題のある商法の提示・悪質業者からの勧誘について

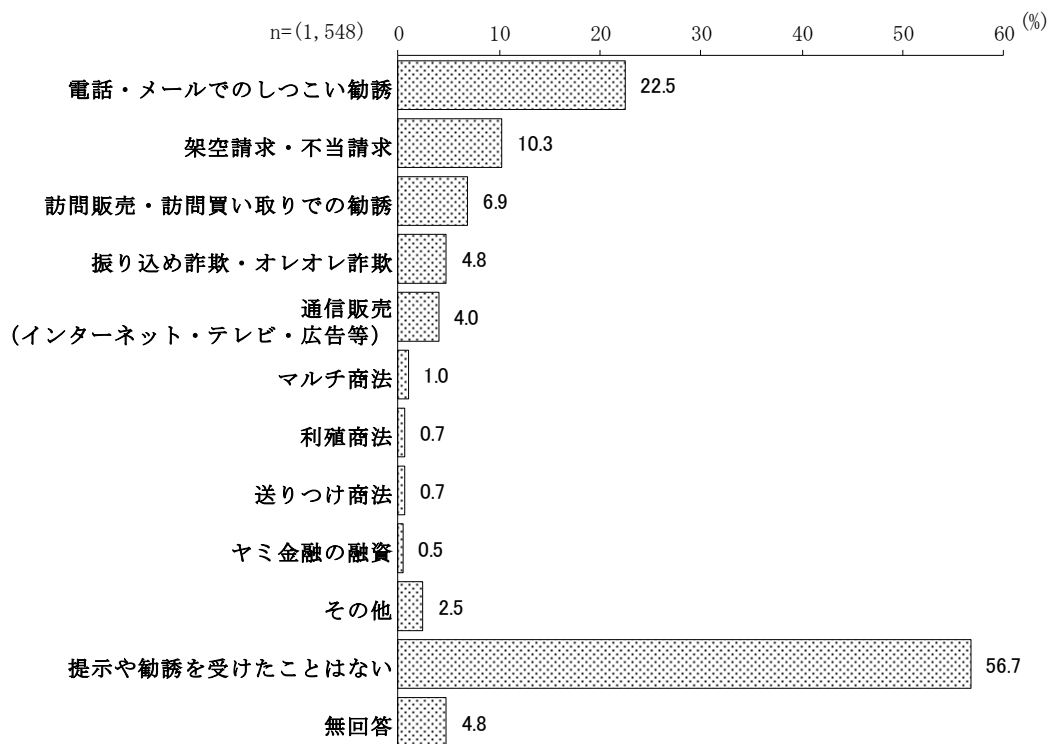
(1) 問題のある商法の提示・悪質業者からの勧誘などの経験

◇ 「電話・メールでのしつこい勧誘」が2割強で最も高い

消費者センターは、消費生活相談、消費者教育や消費生活情報の提供などを行っています。
令和元年度には、4,885件の消費生活相談を受け付けています。

問24 あなたは、この一年間に問題のある商法の提示や悪質業者から勧誘を受けた経験はありますか。
(○はいくつでも)

<図表 11-1> 問題のある商法の提示・悪質業者からの勧誘などの経験（複数回答）



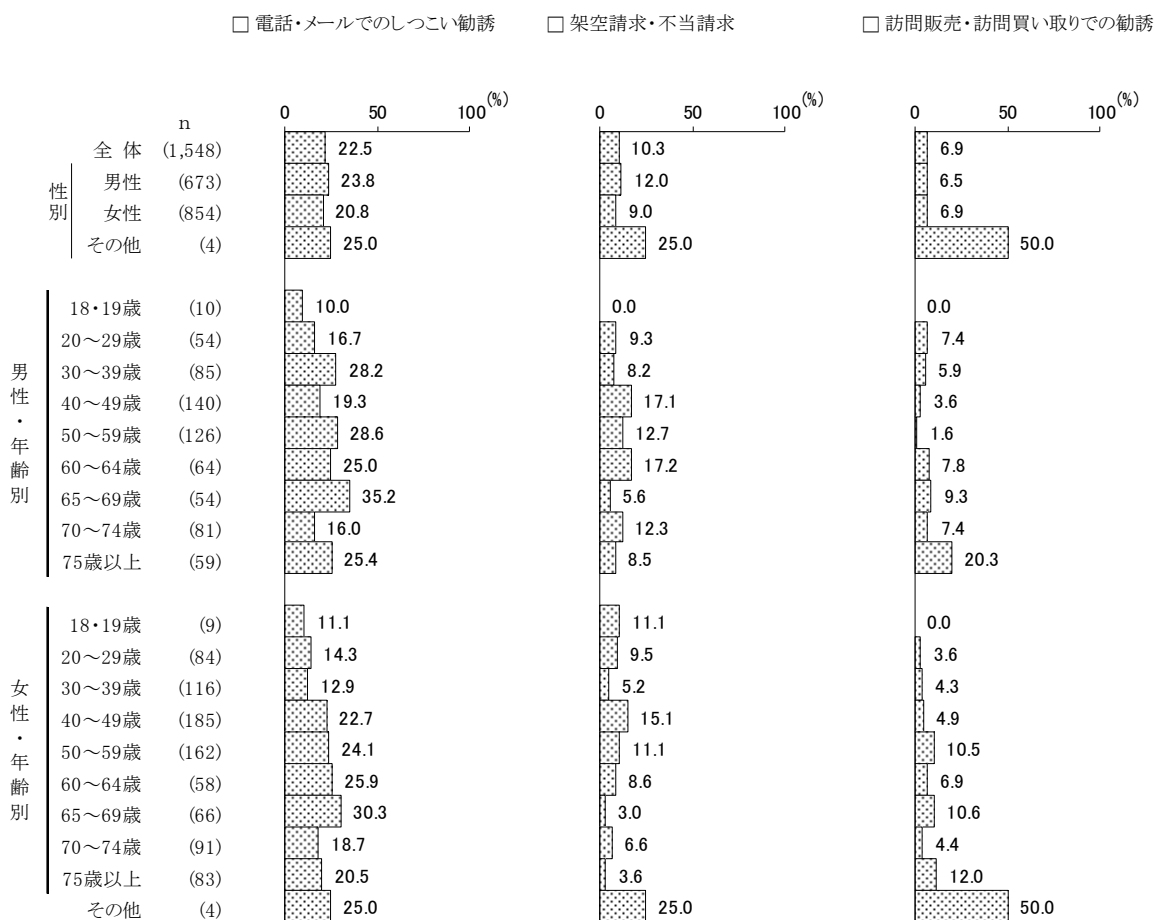
問題のある商法の提示・悪質業者からの勧誘などの経験について尋ねたところ、「電話・メールでのしつこい勧誘」(22.5%)が2割強と最も高く、次いで「架空請求・不当請求」(10.3%)となっている。一方、「提示や勧誘を受けたことはない」(56.7%)は5割台半ばとなっている。(図表11-1)

【性・年齢別】

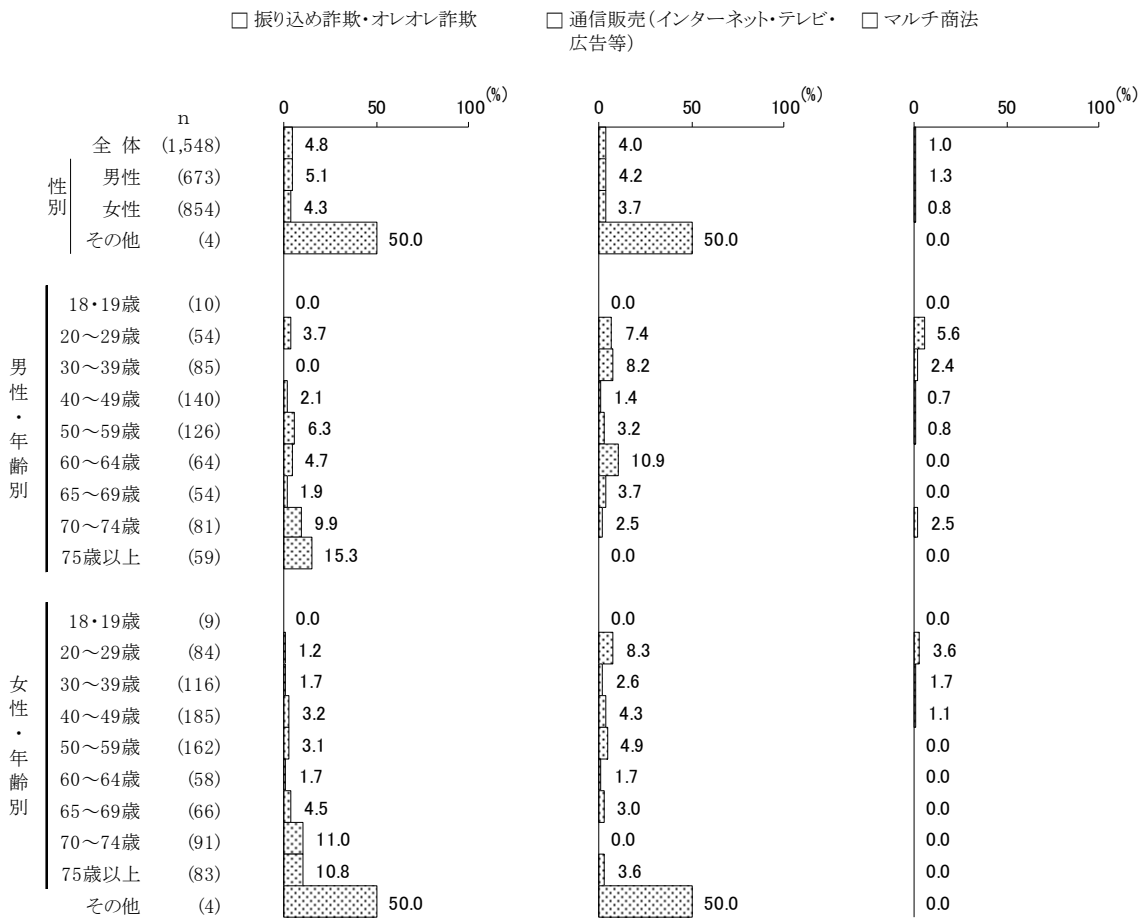
性別では、「電話・メールでのしつこい勧誘」は男性（23.8%）が女性（20.8%）より3.0ポイント高く、「架空請求・不当請求」も男性（12.0%）が女性（9.0%）より3.0ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「電話・メールでのしつこい勧誘」は男性65～69歳（35.2%）で3割台半ばと最も高く、次いで女性65～69歳（30.3%）で高い。「架空請求・不当請求」は男性40～49歳（17.1%）、男性60～64歳（17.2%）で1割台半ばと高く、「訪問販売・訪問買い取りでの勧誘」「振り込め詐欺・オレオレ詐欺」はいずれも男性75歳以上（20.3%、15.3%）で最も高くなっている。（図表11-2）

＜図表11-2＞ 問題のある商法の提示・悪質業者からの勧誘などの経験／性・年齢別（上位6項目）



Ⅲ 結果と分析 11. 問題のある商法の提示・悪質業者からの勧誘について



※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

12. 睡眠について

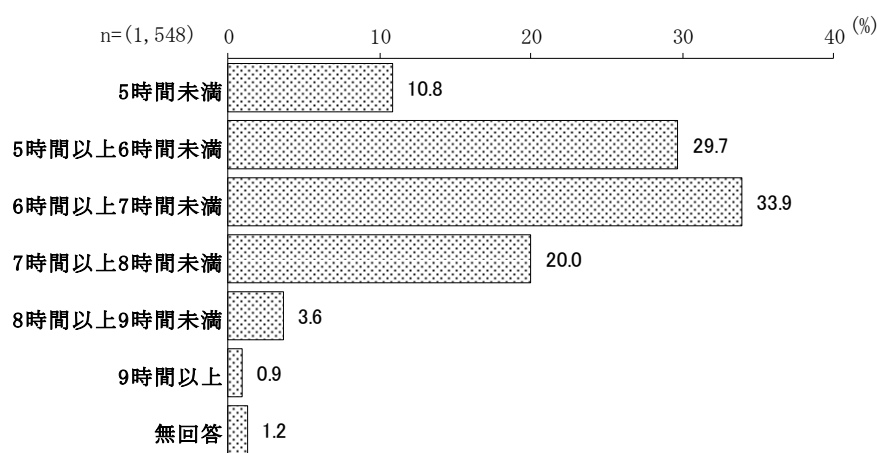
(1) 1日の平均睡眠時間

◇ 「5時間以上6時間未満」、「6時間以上7時間未満」が3割前後

睡眠には、心身の疲労を回復する働きがあり、睡眠時間の不足や、睡眠の質が悪化すると健康上の問題や日常生活に支障が生じます。

問25 この1か月間、あなたの1日の平均睡眠時間はどのくらいでしたか。(○は1つ)

<図表 12-1> 1日の平均睡眠時間



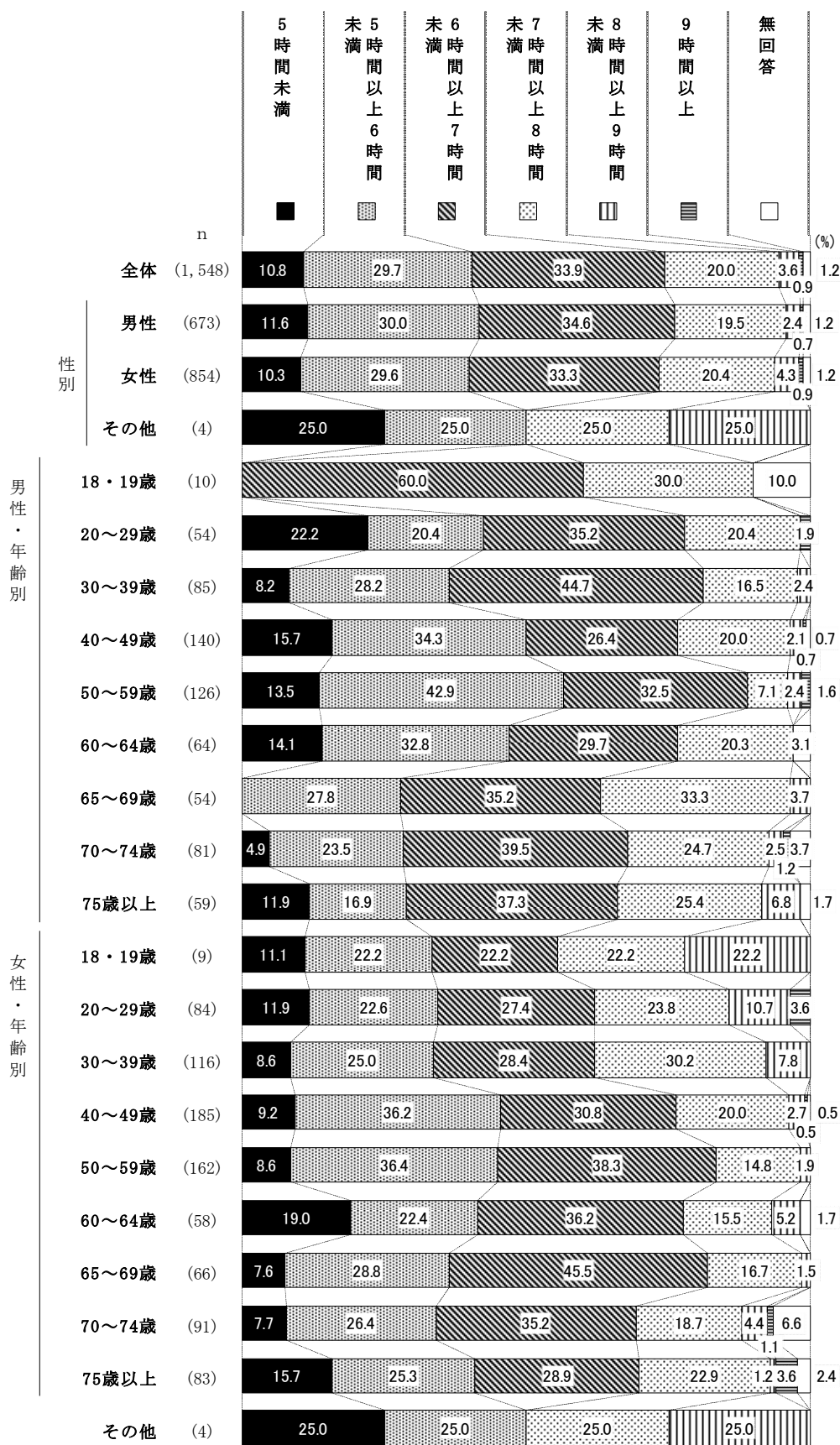
この1か月間の1日の平均睡眠時間を尋ねたところ、「5時間以上6時間未満」(29.7%)、「6時間以上7時間未満」(33.9%)が3割前後、続いて「7時間以上8時間未満」(20.0%)が2割となっている。(図表 12-1)

【性・年齢別】

性別では、男女間で大きな違いはみられない。

性・年齢別でみると、「5時間未満」は男性20～29歳(22.2%)で2割強と高い。「5時間以上6時間未満」は男性50～59歳(42.9%)で4割台半ばと最も高く、「6時間以上7時間未満」は男性30～39歳(44.7%)、女性65～69歳(45.5%)で高い。また、「7時間以上8時間未満」は男性65～69歳(33.3%)、女性30～39歳(30.2%)で高くなっている。(図表 12-2)

＜図表 12-2＞ 1日の平均睡眠時間／性・年齢別



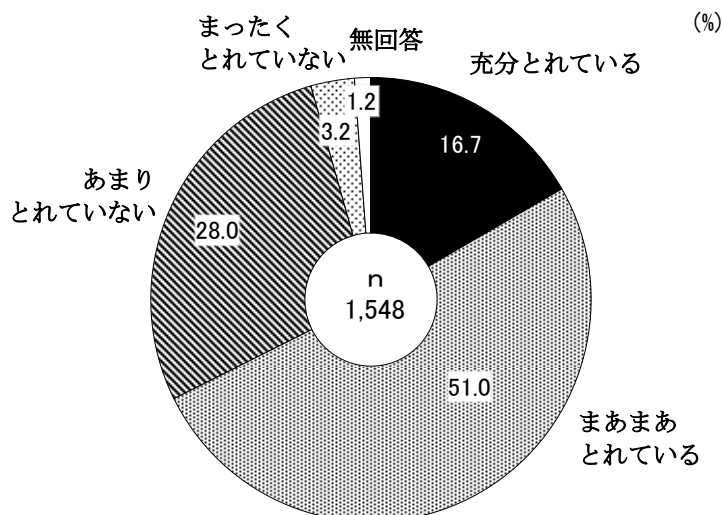
※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

(2) 睡眠による休養

◇ <とれていない(計)>が3割強

問26 この1か月間、あなたは睡眠で休養が充分とれていると感じますか。(○は1つ)

<図表 12-3> 睡眠による休養



(注) <とれている(計)> = 「充分とれている」 + 「まあまあとれている」・・・67.7%
 <とれていない(計)> = 「あまりとれていない」 + 「まったくとれていない」・・・31.2%

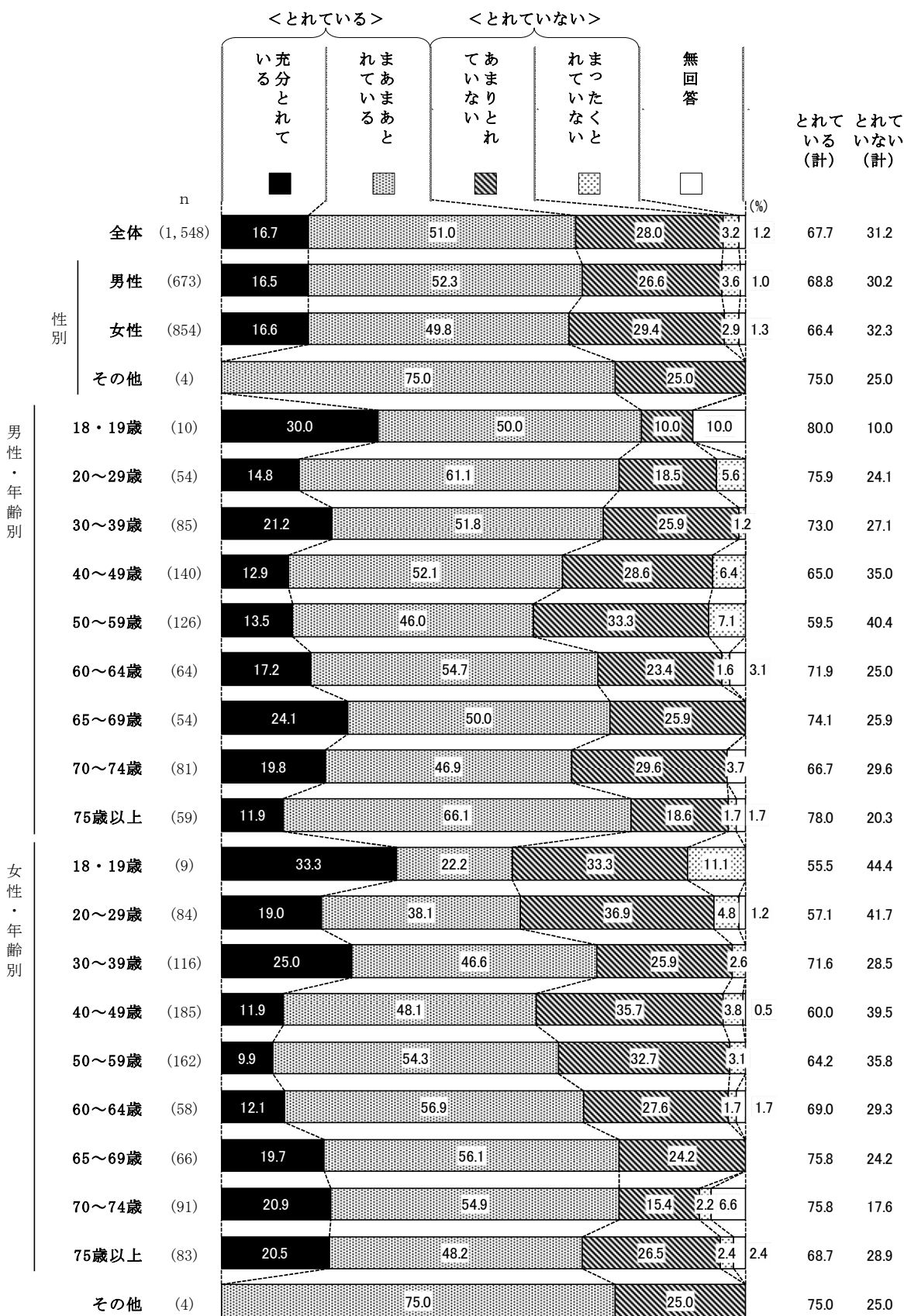
この1か月間、睡眠で休養が充分とれていると感じるかを尋ねたところ、「充分とれている」(16.7%)と「まあまあとれている」(51.0%)を合わせた<とれている(計)>(67.7%)が7割弱となっている。これに対し、「あまりとれていない」(28.0%)と「まったくとれていない」(3.2%)を合わせた<とれていない(計)>(31.2%)が3割強となっている。(図表 12-3)

【性・年齢別】

性別では、<とれている(計)>は男性(68.8%)が女性(66.4%)より2.4ポイント高く、<とれていない(計)>は女性(32.3%)が男性(30.2%)より2.1ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、<とれている(計)>は男性75歳以上(78.0%)で7割台半ばと最も高い。一方、<とれていない(計)>は男性50~59歳(40.4%)、女性20~29歳(41.7%)で4割強と高くなっている。(図表 12-4)

<図表 12-4> 睡眠による休養／性・年齢別



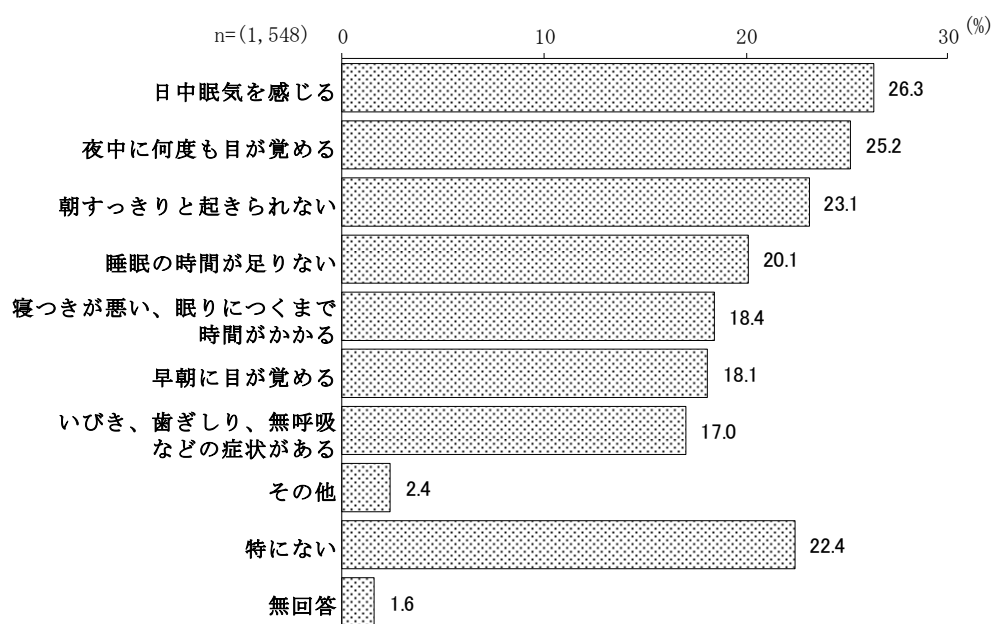
※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

(3) 睡眠に関する悩み

◇ 「日中眠気を感じる」が2割台半ば

問27 あなたは睡眠に関する悩みがありますか。(○はいくつでも)

<図表 12-5> 睡眠に関する悩み(複数回答)



睡眠に関する悩みについて尋ねたところ、「日中眠気を感じる」(26.3%)が2割台半ば最も高く、続いて「夜中に何度も目が覚める」(25.2%)、「朝すっきりと起きられない」(23.1%)、「睡眠の時間が足りない」(20.1%)となっている。一方、「特にない」(22.4%)は2割強となっている。

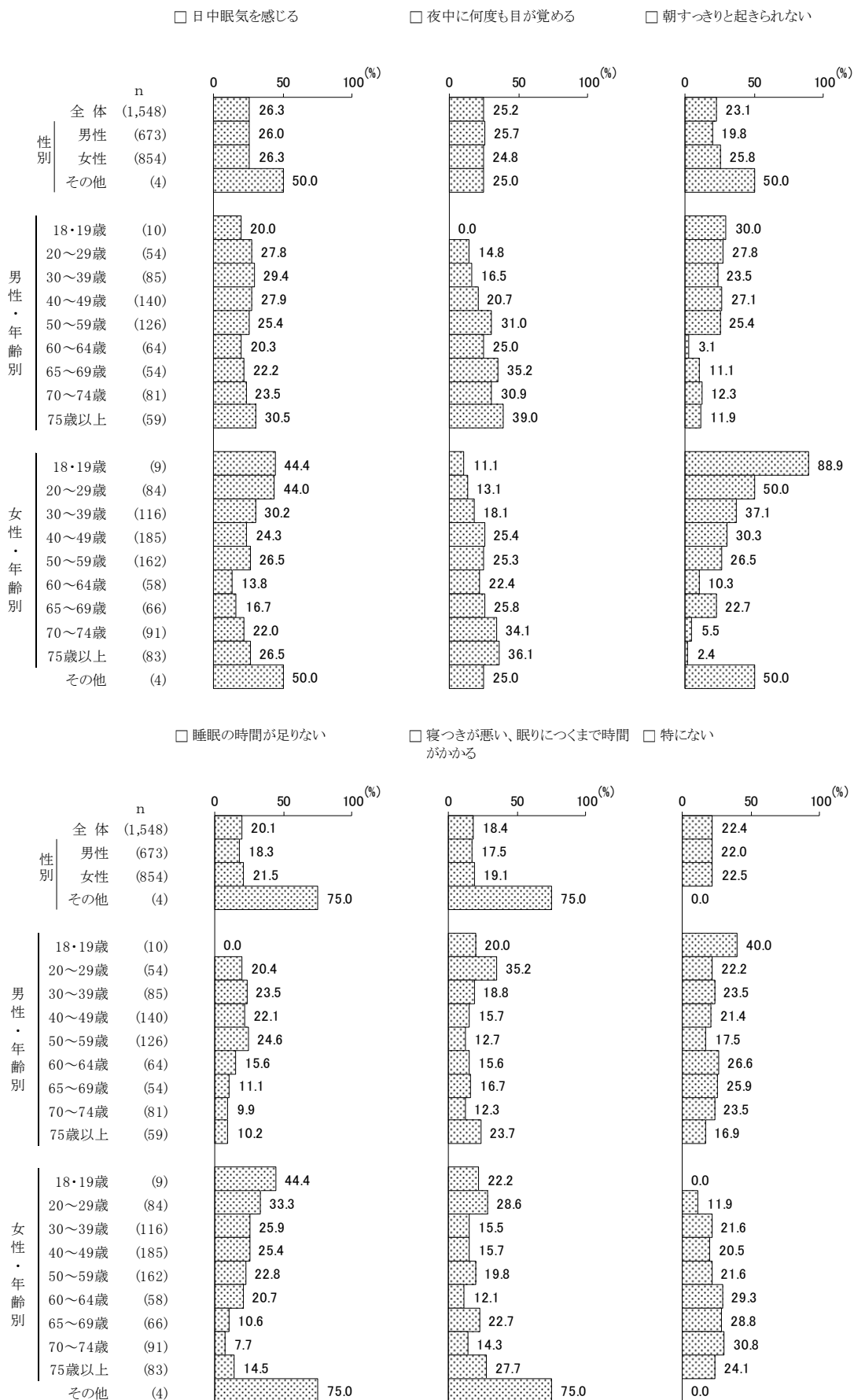
(図表 12-5)

【性・年齢別】

性別では、「朝すっきりと起きられない」は女性(25.8%)が男性(19.8%)より6.0ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「日中眠気を感じる」は女性20~29歳(44.0%)で4割台半ばと最も高く、「夜中に何度も目が覚める」は男性75歳以上(39.0%)、女性75歳以上(36.1%)で高くなっている。また、「朝すっきりと起きられない」「睡眠の時間が足りない」は女性20~29歳(50.0%、33.3%)で最も高く、「寝つきが悪い、眠りにつくまで時間がかかる」は男性20~29歳(35.2%)で最も高くなっている。(図表 12-6)

<図表 12-6> 睡眠に関する悩み／性・年齢別（上位5項目＋「特になし」）



※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

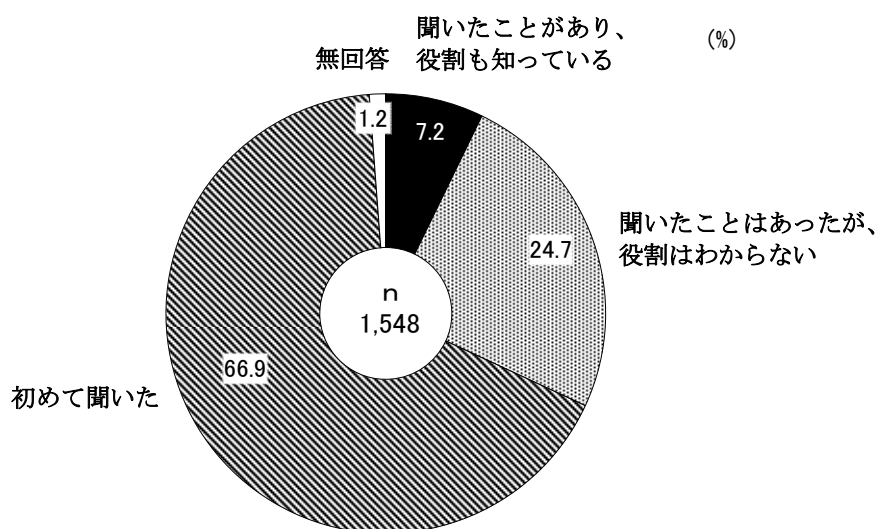
13. 自殺予防・対策について

(1) ゲートキーパー（いのち見守り隊）という言葉の認知度

◇ <聞いたことがある（計）>は3割強

問28 あなたは、これまでに自殺予防におけるゲートキーパー（いのち見守り隊）という言葉を知っていますか。（○は1つ）

<図表 13-1> ゲートキーパー（いのち見守り隊）という言葉の認知度



注) <聞いたことがある（計）> = 「聞いたことがあり、役割も知っている」 + 「聞いたことはあったが、役割はわからない」・・・31.9%

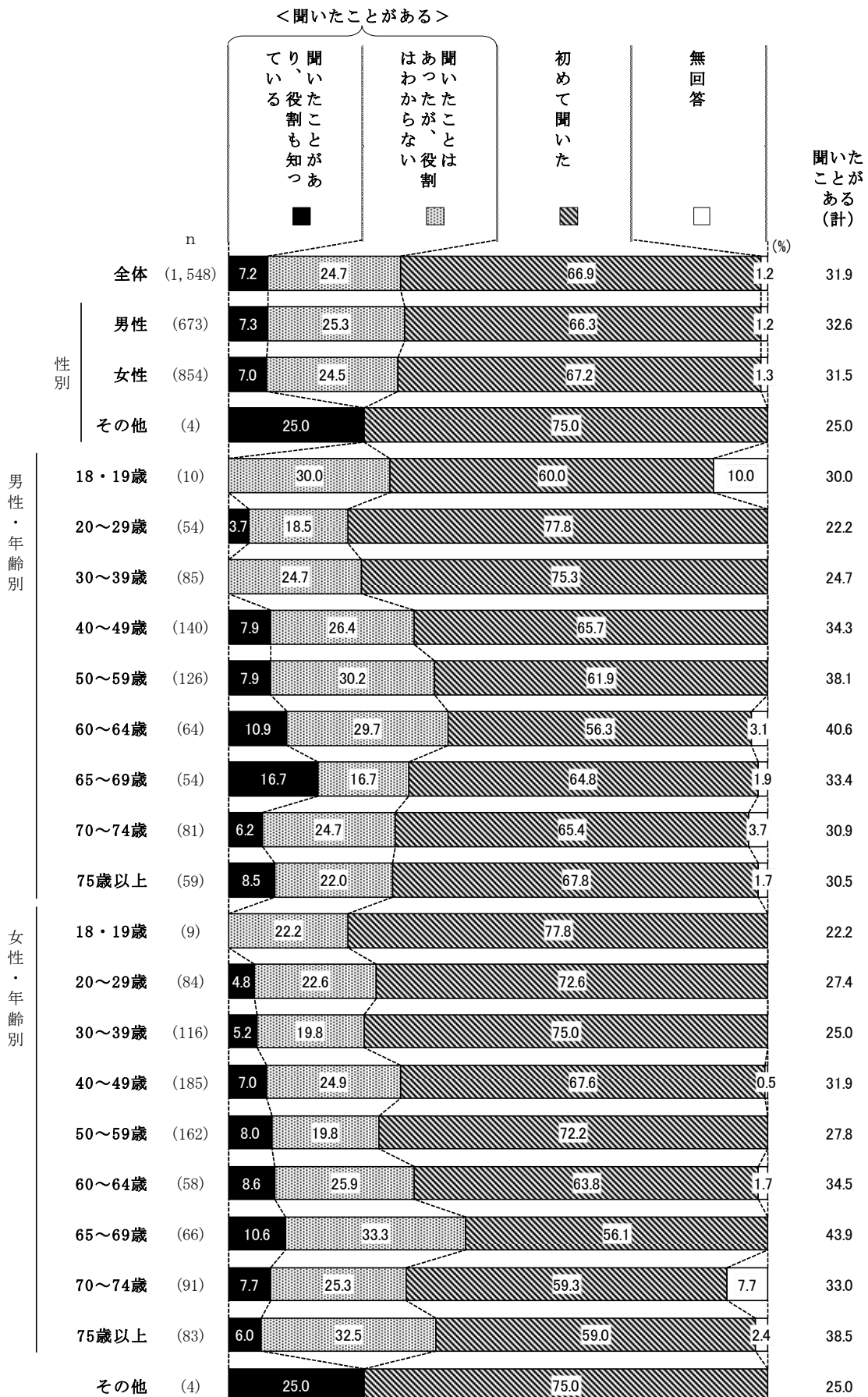
これまでに自殺予防におけるゲートキーパー（いのち見守り隊）という言葉を知ったことがあるかを尋ねたところ、「聞いたことがあり、役割も知っている」（7.2%）と「聞いたことはあったが、役割はわからない」（24.7%）を合わせた<聞いたことがある（計）>（31.9%）が3割強、「初めて聞いた」（66.9%）が6割台半ばとなっている。（図表 13-1）

【性・年齢別】

性別では、<聞いたことがある（計）>は男性（32.6%）が女性（31.5%）より1.1ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、<聞いたことがある（計）>は女性 65～69 歳（43.9%）で4割台半ばと最も高く、次いで男性 60～64 歳（40.6%）、女性 75 歳以上（38.5%）となっている。（図表 13-2）

<図表 13-2> ゲートキーパー（いのち見守り隊）という言葉の認知度／性・年齢別



※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする

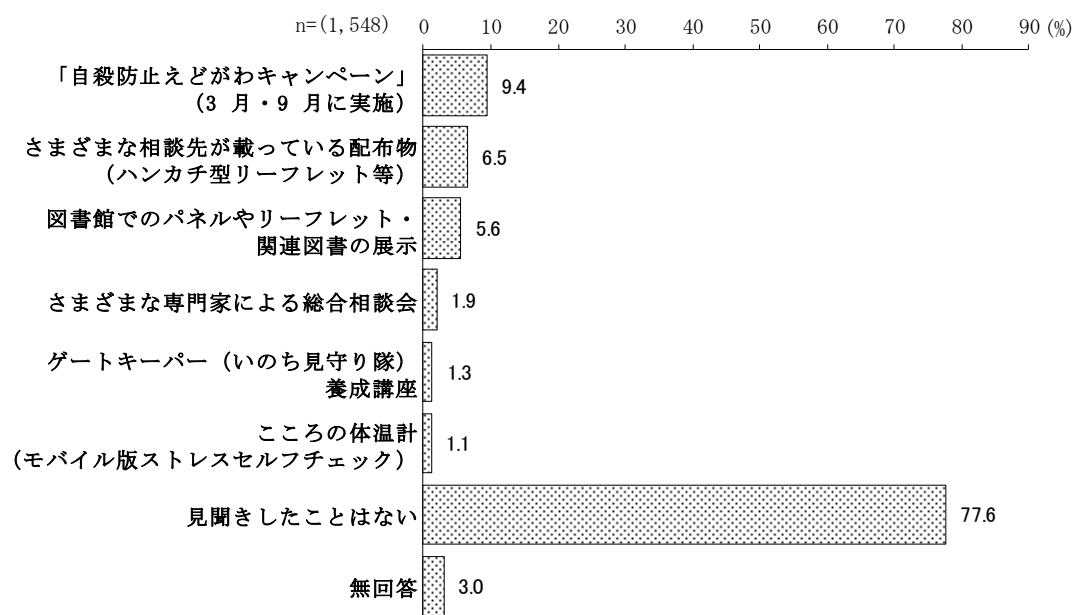
(2) 区の自殺対策の取り組みについての認知度

◇ 「見聞きしたことはない」が8割弱

問29 あなたは、下記の江戸川区の自殺対策の取り組みを見聞きしたことがありますか。

(○はいくつでも)

<図表 13-3> 区の自殺対策の取り組みについての認知度 (複数回答)



区の自殺対策の取り組みを見聞きしたことがあるかについて尋ねたところ、「自殺防止えどがわキャンペーン」(3月・9月に実施) (9.4%) が1割弱で最も高く、続いて「さまざまな相談先が載っている配布物 (ハンカチ型リーフレット等)」(6.5%)、「図書館でのパネルやリーフレット・関連図書の展示」(5.6%)となっている。一方、「見聞きしたことはない」(77.6%)は8割弱となっている。

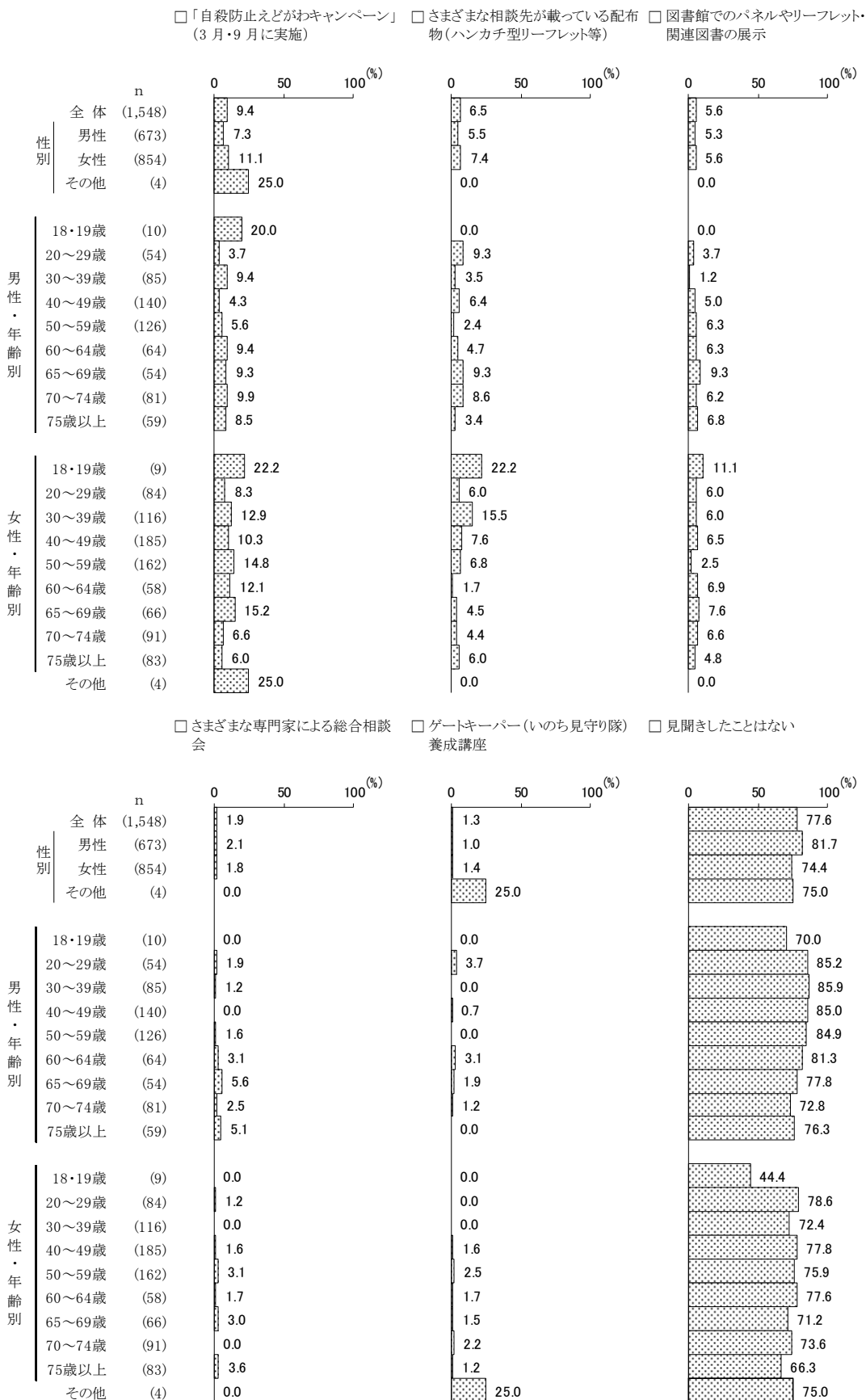
(図表 13-3)

【性・年齢別】

性別では、「自殺防止えどがわキャンペーン (3月・9月に実施)」は女性 (11.1%) が男性 (7.3%) より 3.8 ポイント高く、「見聞きしたことはない」は男性 (81.7%) が女性 (74.4%) より 7.3 ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「自殺防止えどがわキャンペーン(3月・9月に実施)」は女性 50～59歳(14.8%)、女性 65～69歳(15.2%)で1割台半ばと高い。一方、「見聞きしたことはない」は男性 20～64歳(81.3～85.9%)で8割台と高くなっている。(図表 13-4)

＜図表 13-4＞ 区の自殺対策の取り組みについての認知度／性・年齢別
 (上位5項目+「見聞きしたことはない」)



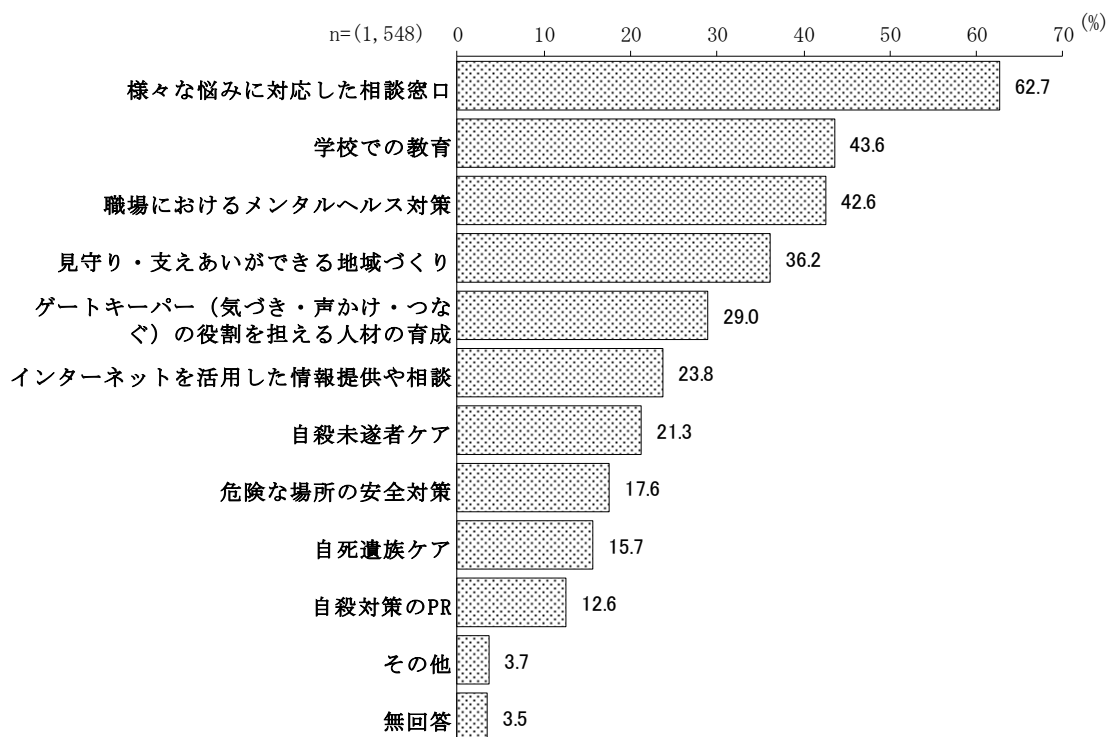
※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

(3) 自殺者をなくすために必要な自殺対策について

◇ 「様々な悩みに対応した相談窓口」が6割強で最も高い

問30 江戸川区の自殺者をなくすために、あなたはどのような自殺対策が必要だと思いますか。
(○はいくつでも)

<図表 13-5> 自殺者をなくすために必要な自殺対策（複数回答）



江戸川区の自殺者をなくすために、どのような自殺対策が必要か尋ねたところ、「様々な悩みに対応した相談窓口」（62.7%）が6割強で最も高く、続いて「学校での教育」（43.6%）、「職場におけるメンタルヘルス対策」（42.6%）、「見守り・支えあいができる地域づくり」（36.2%）となっている。

（図表 13-5）

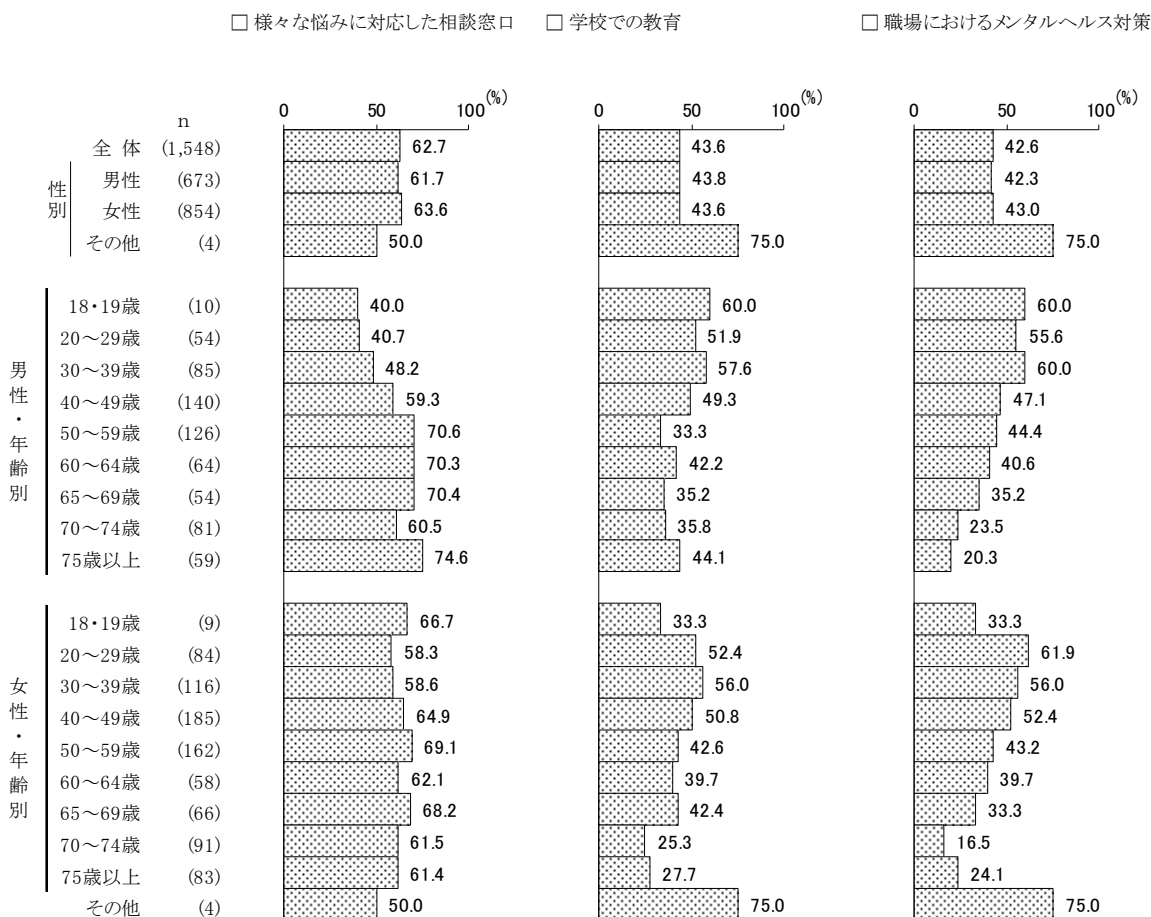
【性・年齢別】

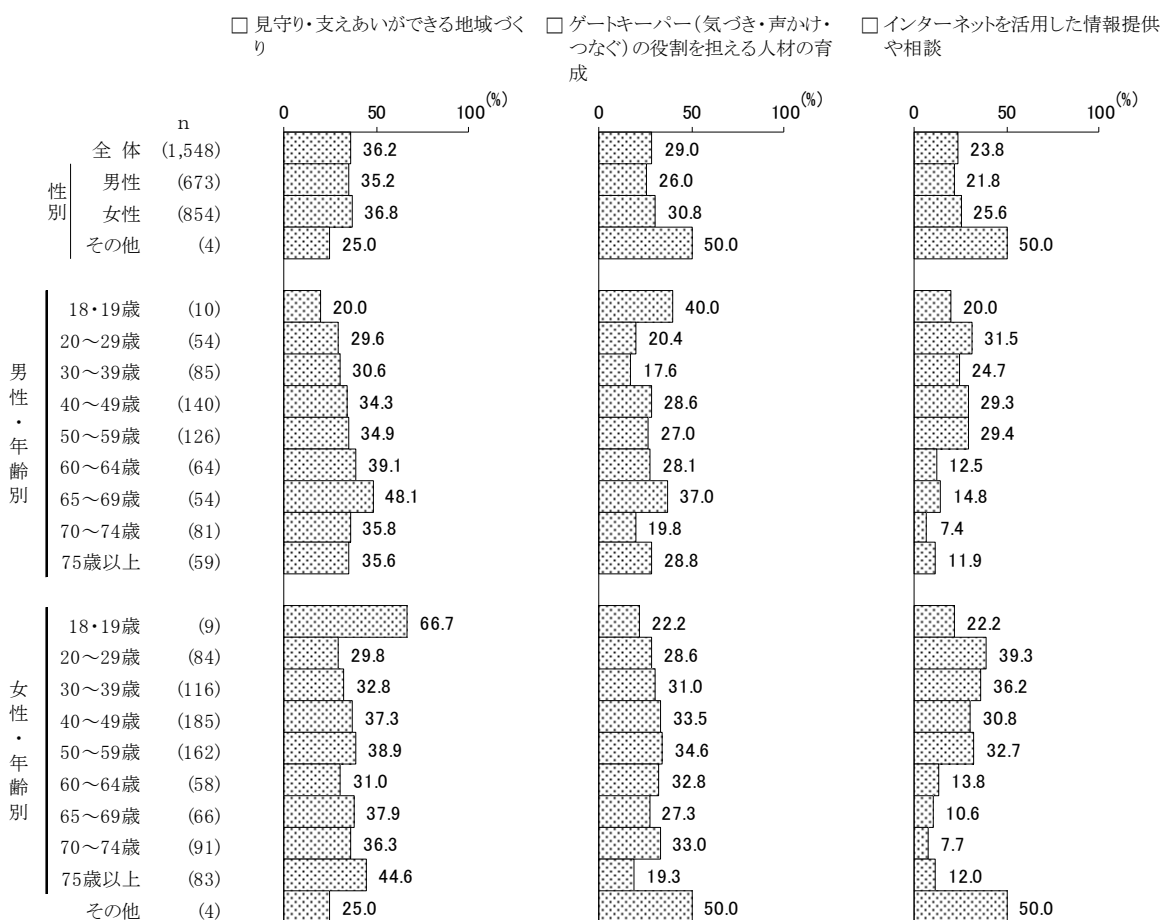
性別では、「ゲートキーパー（気づき・声かけ・つなぐ）の役割を担える人材の育成」は女性（30.8%）が男性（26.0%）より4.8ポイント高く、「インターネットを活用した情報提供や相談」も女性（25.6%）が男性（21.8%）より3.8ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「様々な悩みに対応した相談窓口」は男性75歳以上（74.6%）で7割台半ばと最も高く、「学校での教育」は男性30～39歳（57.6%）、女性30～39歳（56.0%）で5割台半ばと高くなっている。また、「職場におけるメンタルヘルス対策」は男性30～39歳（60.0%）、女性20～29歳（61.9%）で高く、「見守り・支えあいができる地域づくり」は男性65～69歳（48.1%）、「インターネットを活用した情報提供や相談」は女性20～29歳（39.3%）で最も高くなっている。

（図表13-6）

＜図表13-6＞ 自殺者をなくすために必要な自殺対策／性・年齢別（上位6項目）





※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

14. 今後の公園の役割と区民参加について

(1) 今後の公園に求める役割

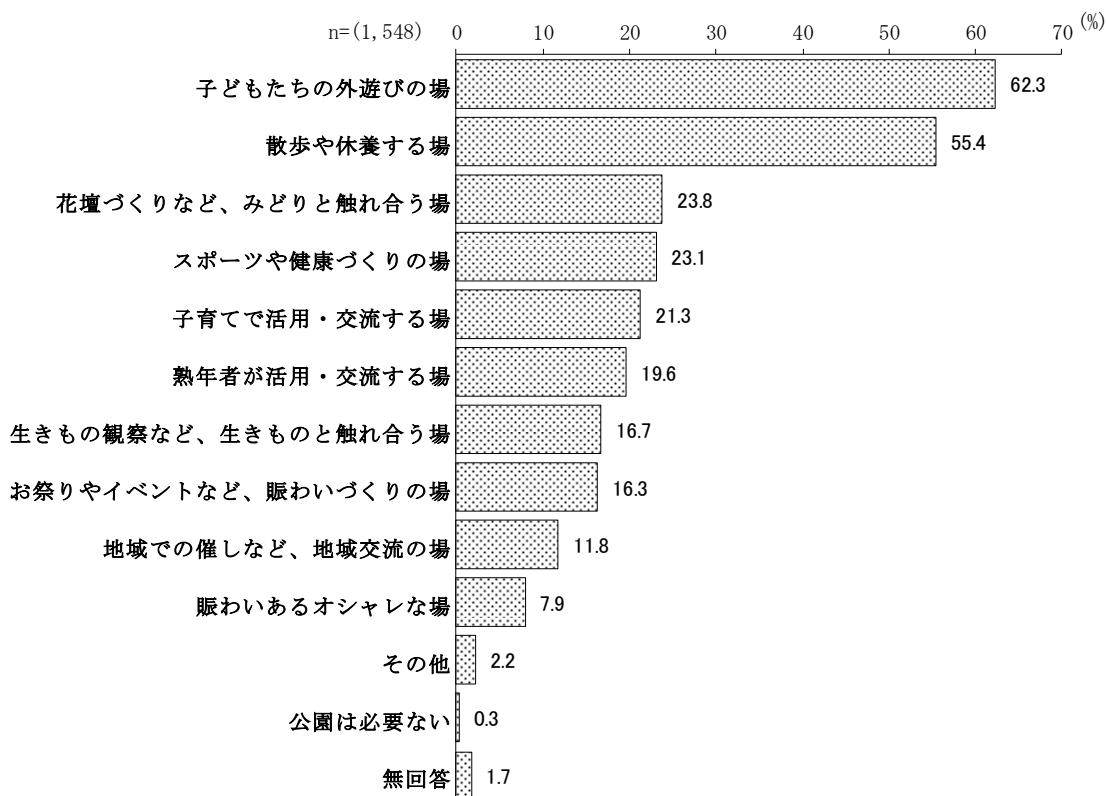
◇ 「子どもたちの外遊びの場」が6割強で最も高い

「ゆたかな心 地にみどり」を合言葉に区民の皆さんと力を合わせて緑化運動を開始してから、今年（令和2年）で50年になります。

区内の公園は488か所あり、広さは23区で1番となっています。これからも区民のみなさんから愛される、安らぎと潤いのある親しまれる公園の充実に取り組んでいきます。

問31 あなたが、今後の公園に特に求める役割は何ですか。（○は3つまで）

<図表 14-1> 今後の公園に求める役割（複数回答）



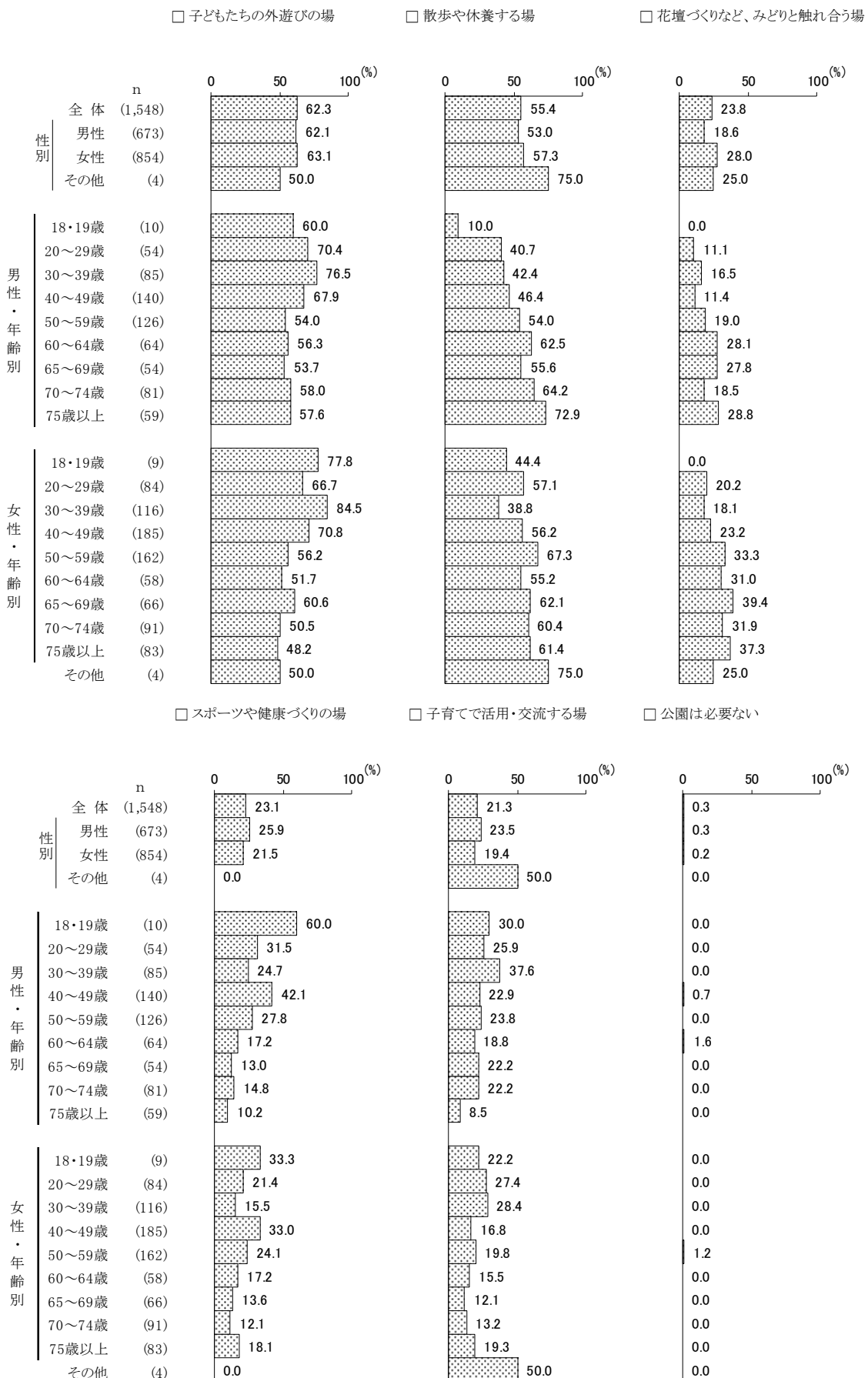
今後の公園に特に求める役割について尋ねたところ、「子どもたちの外遊びの場」（62.3%）が6割強と最も高く、続いて「散歩や休養する場」（55.4%）、「花壇づくりなど、みどりと触れ合う場」（23.8%）、「スポーツや健康づくりの場」（23.1%）、「子育てで活用・交流する場」（21.3%）となっている。（図表 14-1）

【性・年齢別】

性別では、「スポーツや健康づくりの場」は男性（25.9%）が女性（21.5%）より 4.4 ポイント高く、「子育てで活用・交流する場」も男性（23.5%）が女性（19.4%）より 4.1 ポイント高くなっている。これらに対し、「散歩や休養する場」は女性（57.3%）が男性（53.0%）より 4.3 ポイント高く、「花壇づくりなど、みどりと触れ合う場」も女性（28.0%）が男性（18.6%）より 9.4 ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「子どもたちの外遊びの場」は女性 30～39 歳（84.5%）で 8 割台半ばと最も高く、次いで男性 30～39 歳（76.5%）となっている。「散歩や休養する場」は男性 75 歳以上（72.9%）で 7 割台半ばと最も高い。また、「花壇づくりなど、みどりと触れ合う場」は女性 65～69 歳（39.4%）、女性 75 歳以上（37.3%）で高く、「スポーツや健康づくりの場」は男性 40～49 歳（42.1%）、「子育てで活用・交流する場」は男性 30～39 歳（37.6%）で最も高くなっている。（図表 14-2）

＜図表 14-2＞ 今後の公園に求める役割／性・年齢別（上位5項目＋「公園は必要ない」）



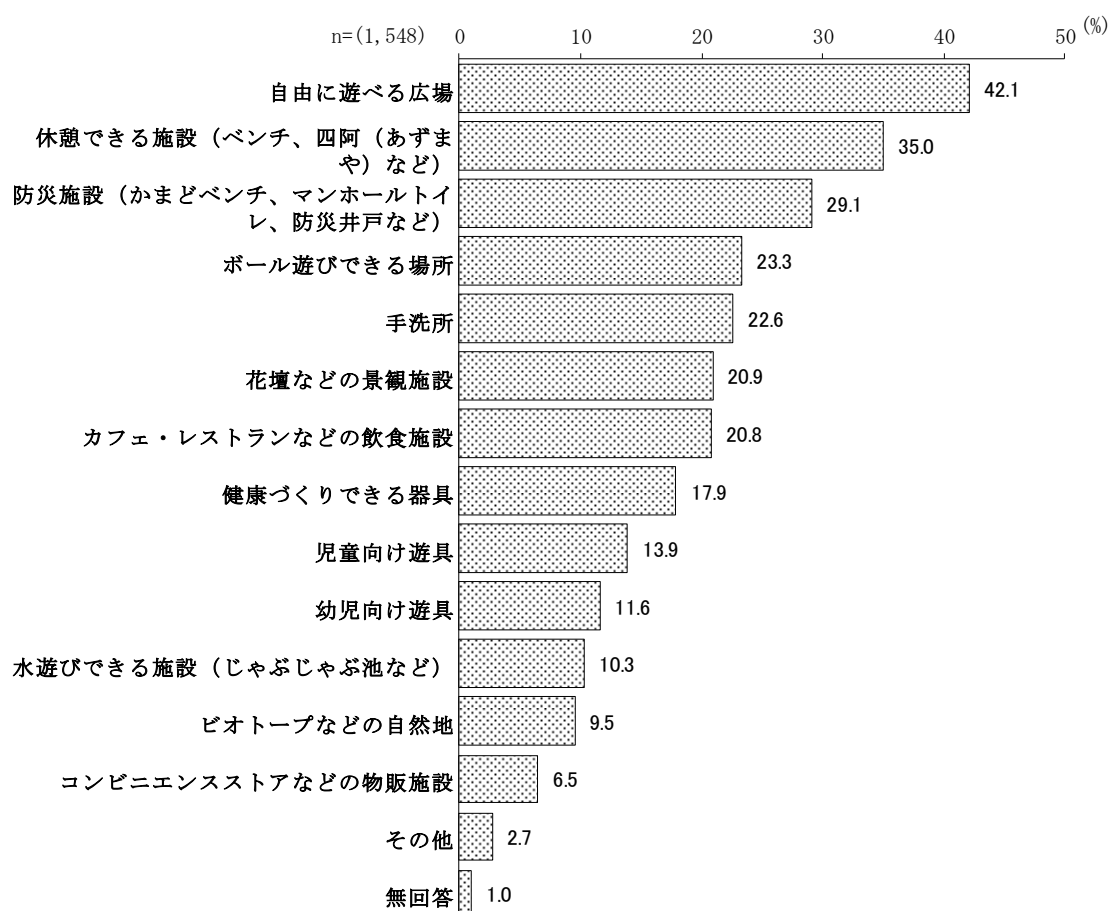
※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

(2) 今後の公園に必要な施設

◇ 「自由に遊べる広場」が4割強で最も高い

問32 あなたが、今後の公園に特に必要だと思う施設は何ですか。(○は3つまで)

<図表 14-3> 今後の公園に必要な施設 (複数回答)



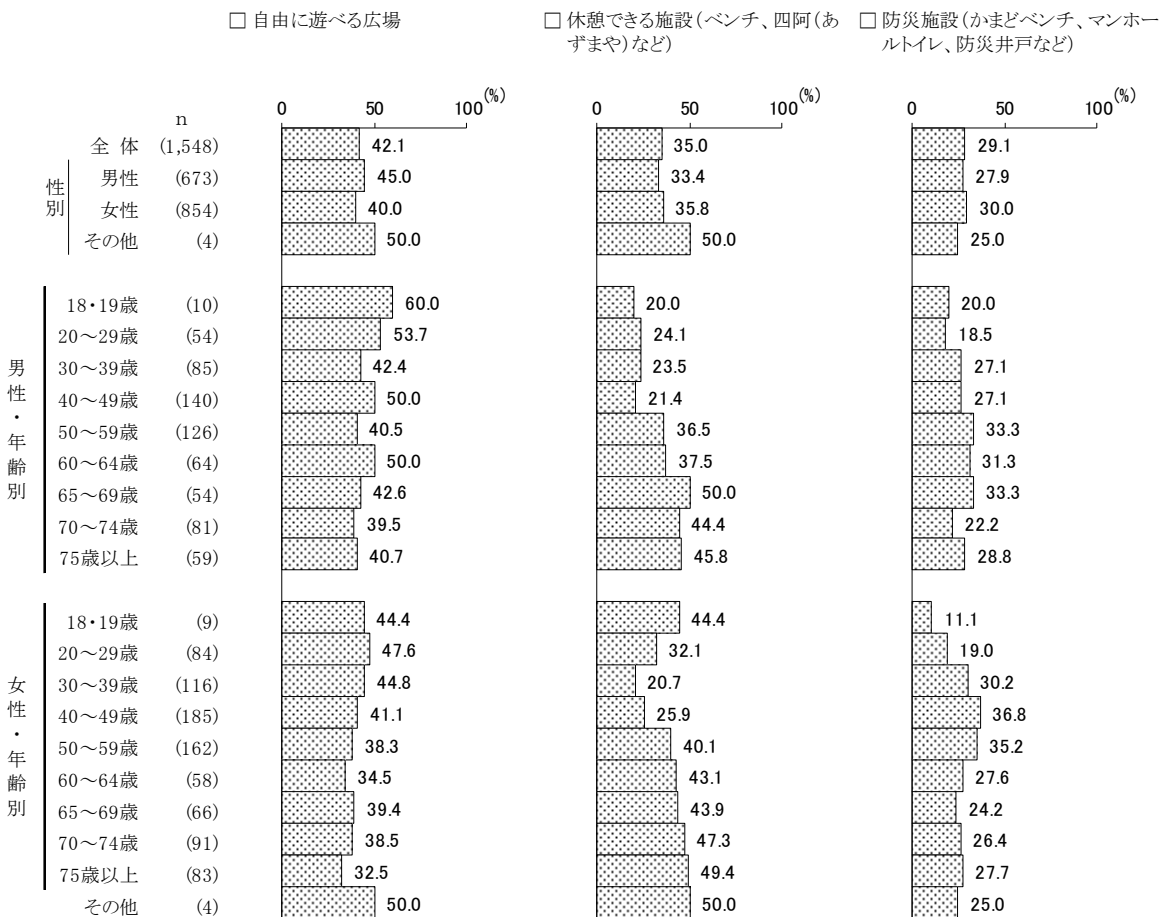
今後の公園に特に必要だと思う施設について尋ねたところ、「自由に遊べる広場」(42.1%)が4割強と最も高く、続いて「休憩できる施設 (ベンチ、四阿 (あずまや) など)」(35.0%)、「防災施設 (かまどベンチ、マンホールトイレ、防災井戸など)」(29.1%)、「ボール遊びできる場所」(23.3%)、「手洗所」(22.6%)、「花壇などの景観施設」(20.9%)となっている。(図表 14-3)

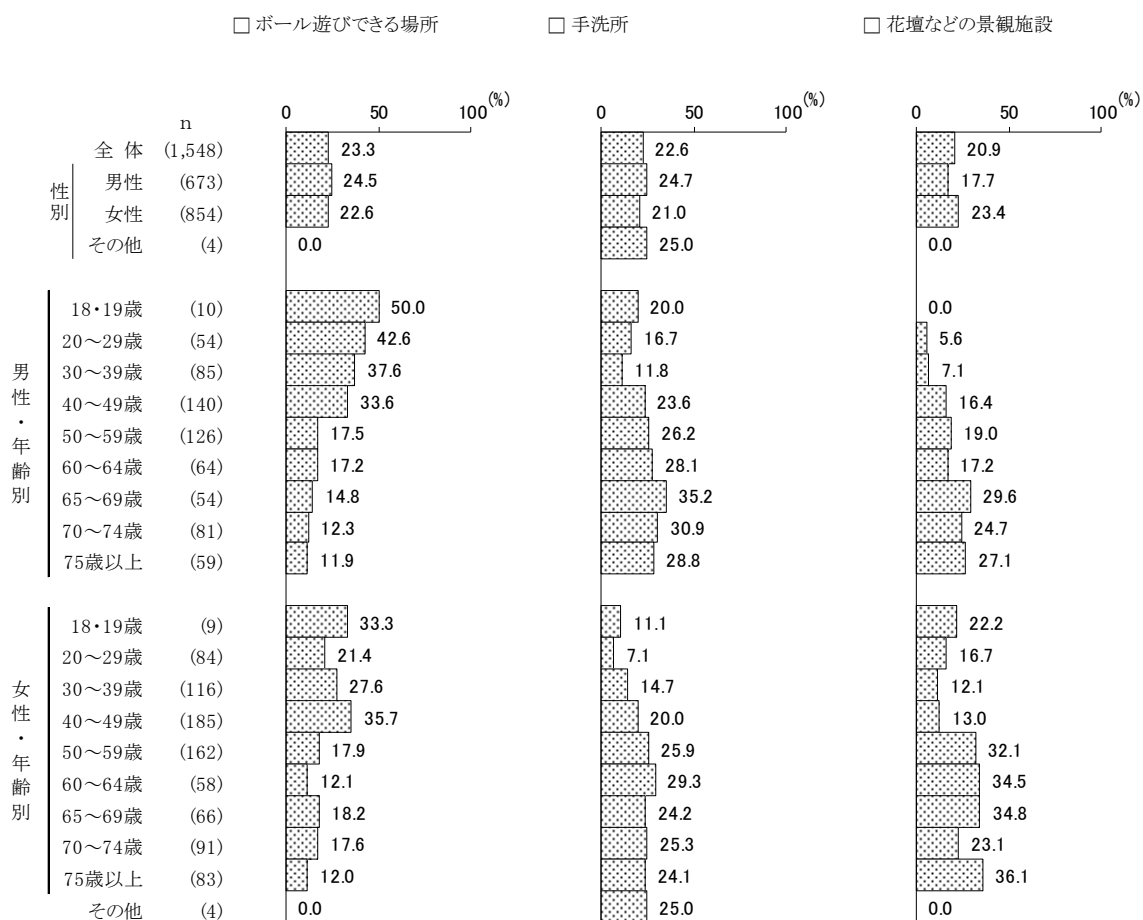
【性・年齢別】

性別では、「自由に遊べる広場」は男性（45.0%）が女性（40.0%）より5ポイント高く、「手洗所」も男性（24.7%）が女性（21.0%）より3.7ポイント高くなっている。これらに対し、「花壇などの景観施設」は女性（23.4%）が男性（17.7%）より5.7ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「自由に遊べる広場」は男性20～29歳（53.7%）で5割台半ばと最も高く、「休憩できる施設（ベンチ、四阿（あずまや）など）」は男性65～69歳（50.0%）、女性75歳以上（49.4%）で5割前後と高い。また、「防災施設（かまどベンチ、マンホールトイレ、防災井戸など）」は女性40～49歳（36.8%）、「ボール遊びできる場所」は男性20～29歳（42.6%）、「手洗い所」は男性65～69歳（35.2%）、「花壇などの景観施設」は女性75歳以上（36.1%）で最も高くなっている。（図表14-4）

＜図表14-4＞ 今後の公園に必要な施設／性・年齢別（上位6項目）





※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

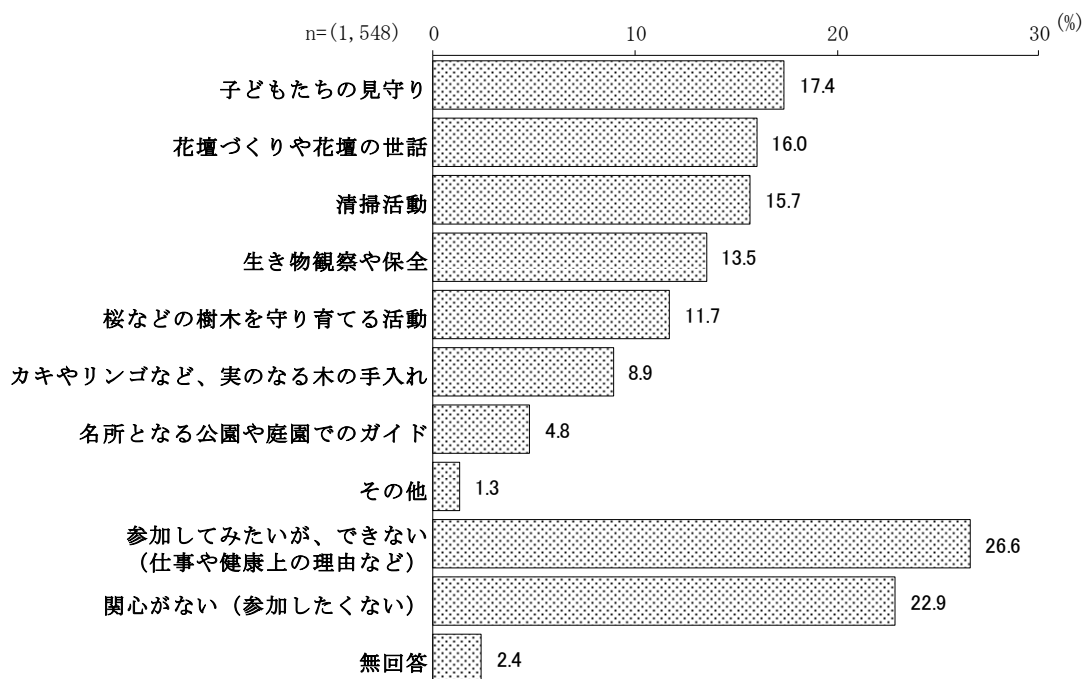
(3) 参加したい活動、興味がある活動

◇ 「子どもたちの見守り」「花壇づくりや花壇の世話」「清掃活動」が上位

江戸川区は、公園を近隣住民の皆さんが様々な活動、活躍をしていただける場にしていきたいと考えています。

問33 あなたが参加したい活動や、興味がある活動を教えてください。(〇はいくつでも)

<図表 14-5> 参加したい活動、興味がある活動 (複数回答)



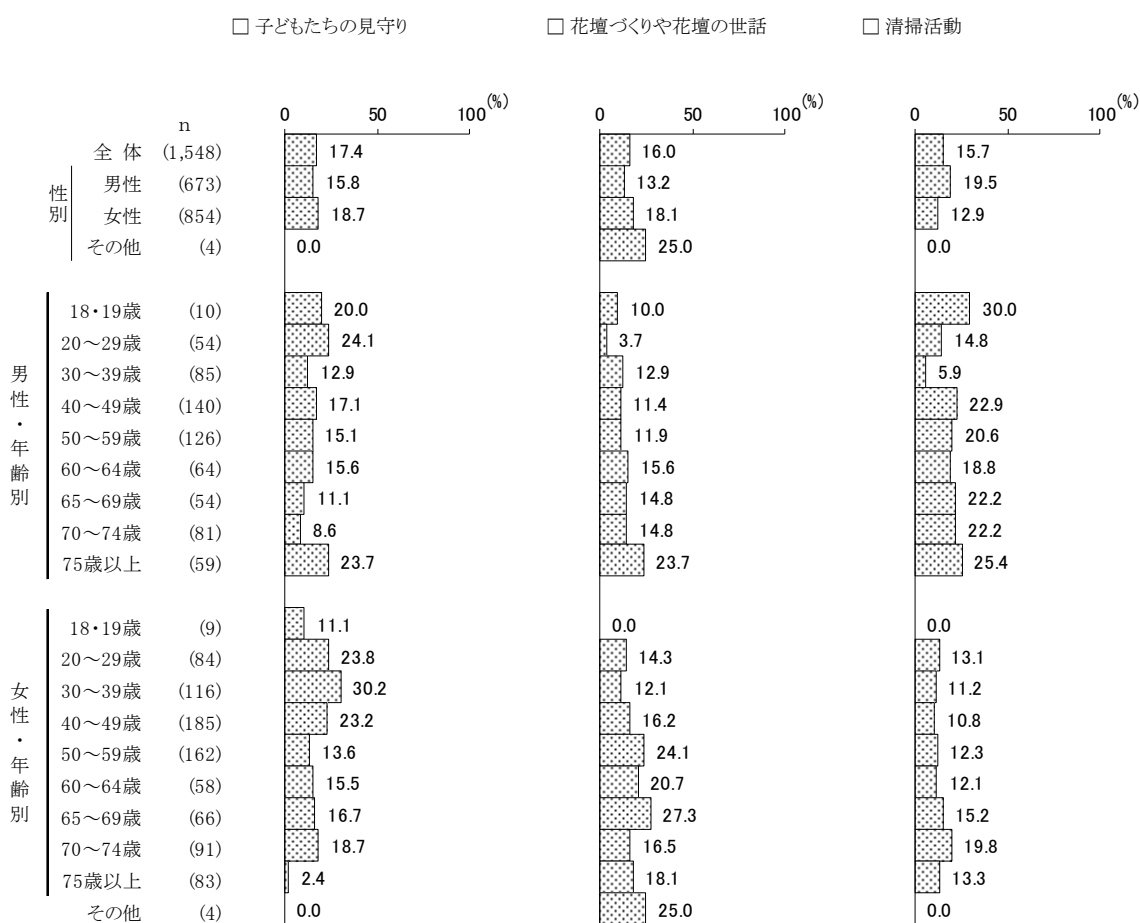
参加したい活動や、興味がある活動について尋ねたところ、「子どもたちの見守り」(17.4%)、「花壇づくりや花壇の世話」(16.0%)、「清掃活動」(15.7%)が各1割台半ばで上位となっている。一方、「参加してみたいが、できない(仕事や健康上の理由など)」(26.6%)、「関心がない(参加したくない)」(22.9%)はいずれも2割台半ばとなっている。(図表 14-5)

【性・年齢別】

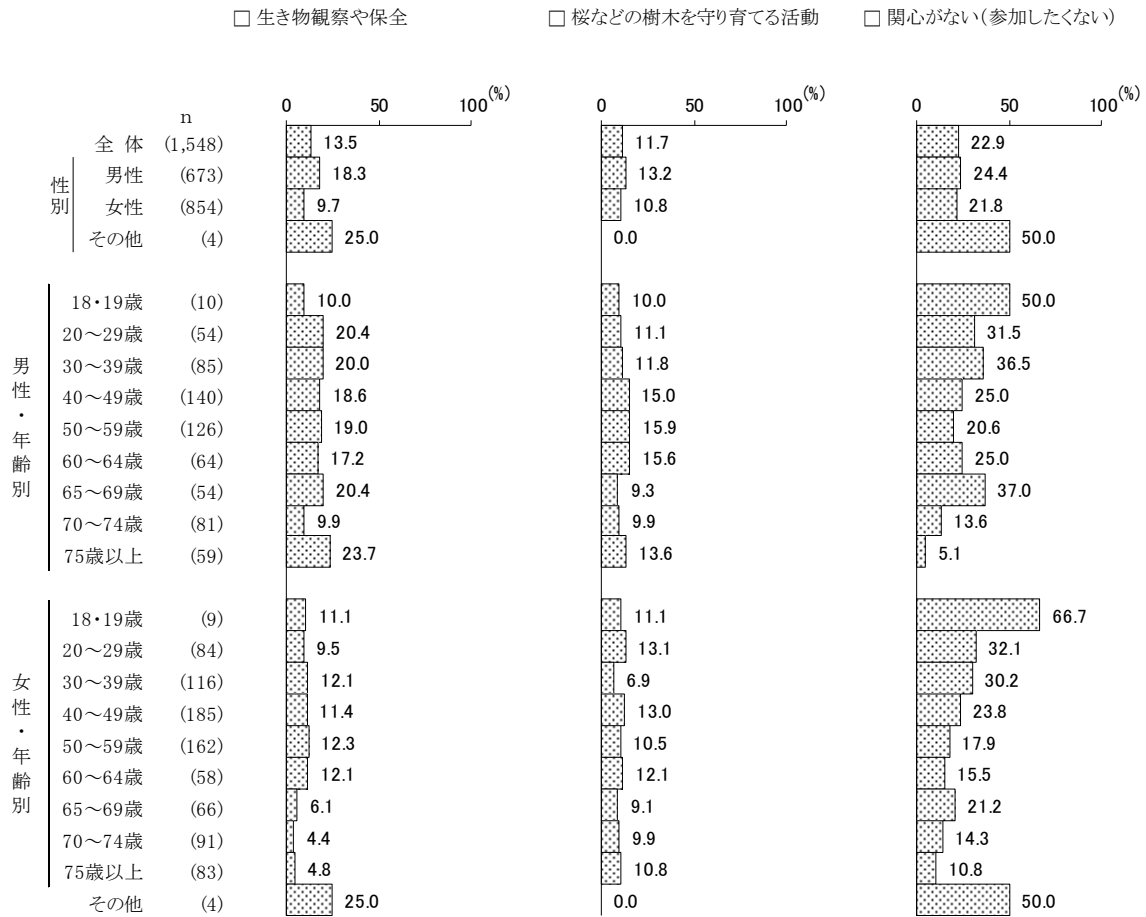
性別では、「清掃活動」は男性（19.5%）が女性（12.9%）より6.6ポイント高く、「生き物観察や保全」も男性（18.3%）が女性（9.7%）より8.6ポイント高くなっている。これらに対し、「花壇づくりや花壇の世話」は女性（18.1%）が男性（13.2%）より4.9ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「子どもたちの見守り」は女性30～39歳（30.2%）で3割強と最も高く、「花壇づくりや花壇の世話」は女性65～69歳（27.3%）で2割台半ばと最も高くなっている。また、「生き物観察や保全」は男性75歳以上（23.7%）で2割台半ばと最も高い。一方、「関心がない（参加したくない）」は男性30～39歳（36.5%）、男性65～69歳（37.0%）で3割台半ばと最も高くなっている。（図表14-6）

＜図表14-6＞ 参加したい活動、興味がある活動／性・年齢別（上位5項目＋「関心がない」）



Ⅲ 結果と分析 14. 今後の公園の役割と区民参加について



※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

15. 広報と情報化について

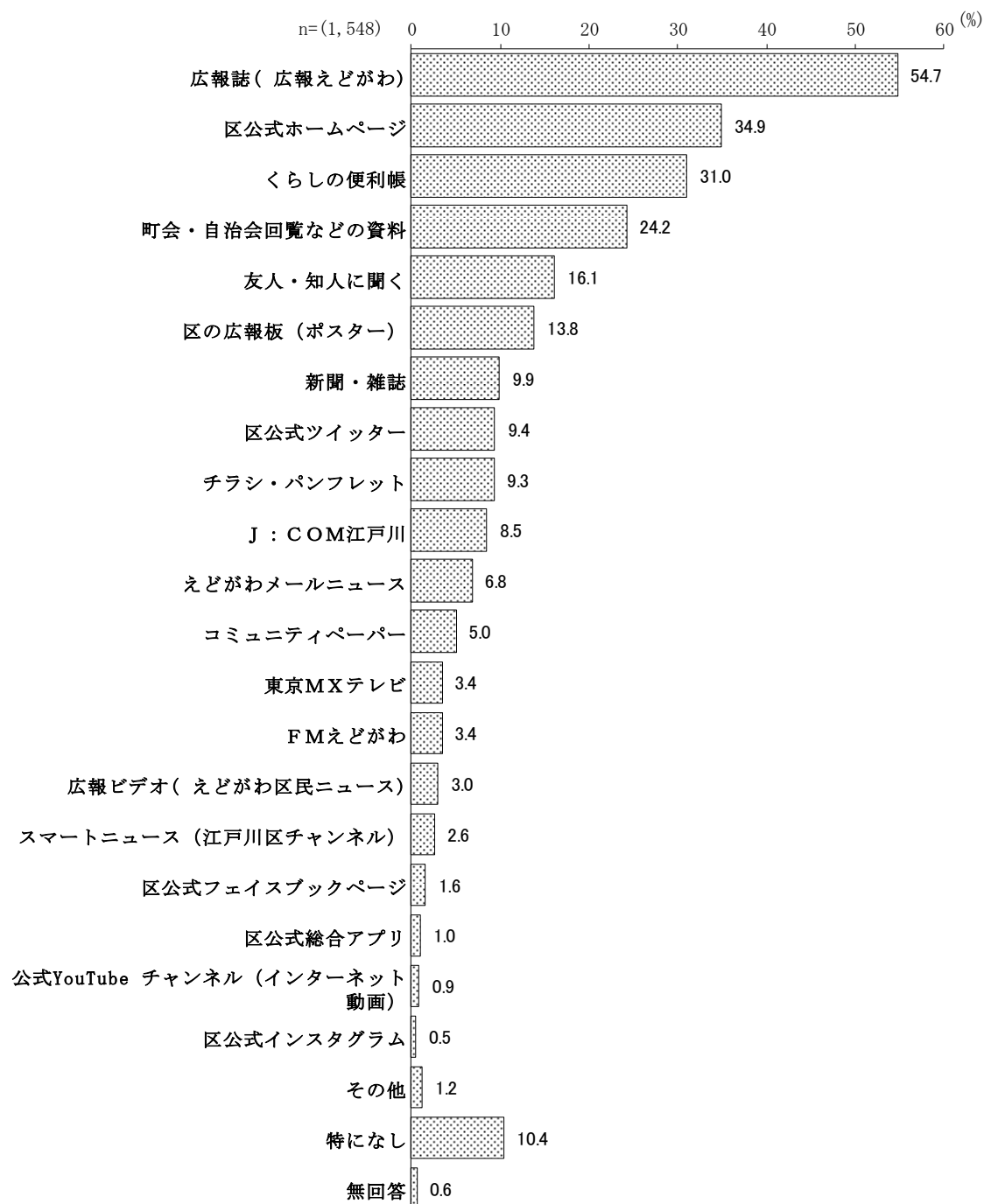
(1) 区の情報の入手手段

◇ 「広報誌（広報えどがわ）」が5割台半ばで最も高い

問34 あなたは、江戸川区からの情報全般をどのような手段（媒体）で入手していますか。

（○はいくつでも）

<図表 15-1> 区の情報の入手手段（複数回答）



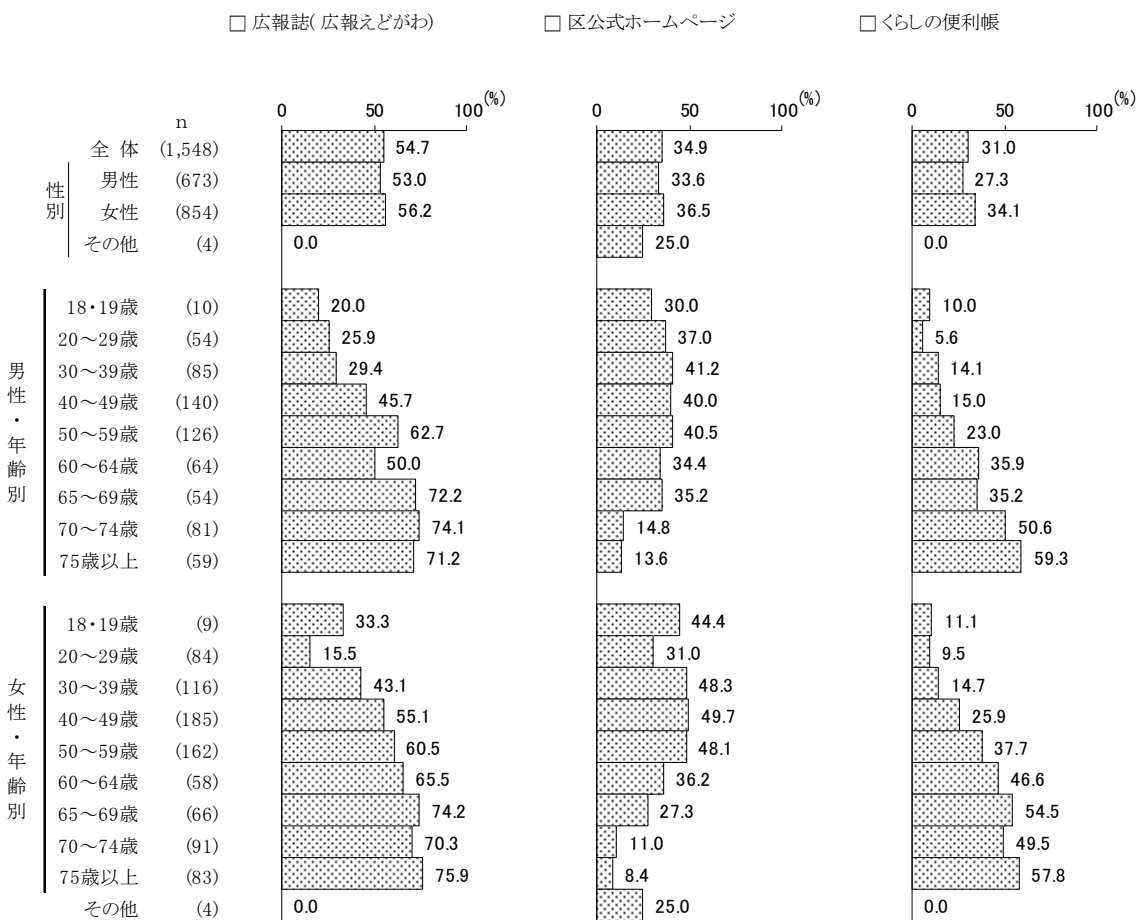
区の情報の入手手段を聞いたところ、「広報誌（広報えどがわ）」（54.7%）が5割台半ばと最も高く、続いて「区公式ホームページ」（34.9%）、「くらしの便利帳」（31.0%）、「町会・自治会回覧などの資料」（24.2%）などとなっている。（図表15-1）

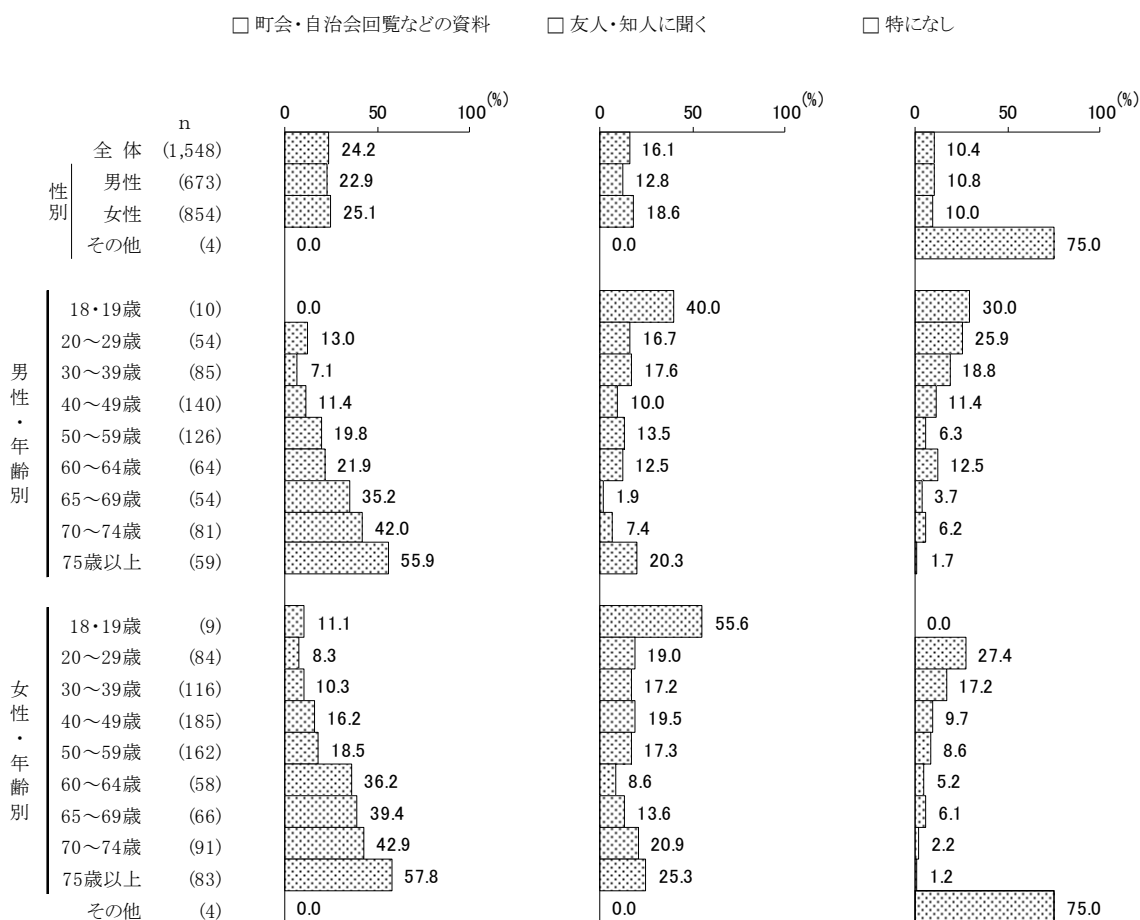
【性・年齢別】

性別では、「くらしの便利帳」は女性（34.1%）が男性（27.3%）より6.8ポイント高く、「友人・知人に聞く」も女性（18.6%）が男性（12.8%）より5.8ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「広報誌（広報えどがわ）」は男性・女性とも65歳以上（70.3～75.9%）で7割台にのぼり、「区公式ホームページ」は女性30～59歳（48.1～49.7%）で5割弱と高くなっている。また、「くらしの便利帳」は男性70歳以上、女性65～69歳、女性75歳以上（50.6～59.3%）で5割台と高く、「町会・自治会回覧などの資料」は男性75歳以上（55.9%）、女性75歳以上（57.8%）で5割台と高くなっている。（図表15-2）

<図表 15-2> 区の情報の入手手段／性・年齢別（上位5項目＋「特になし」）





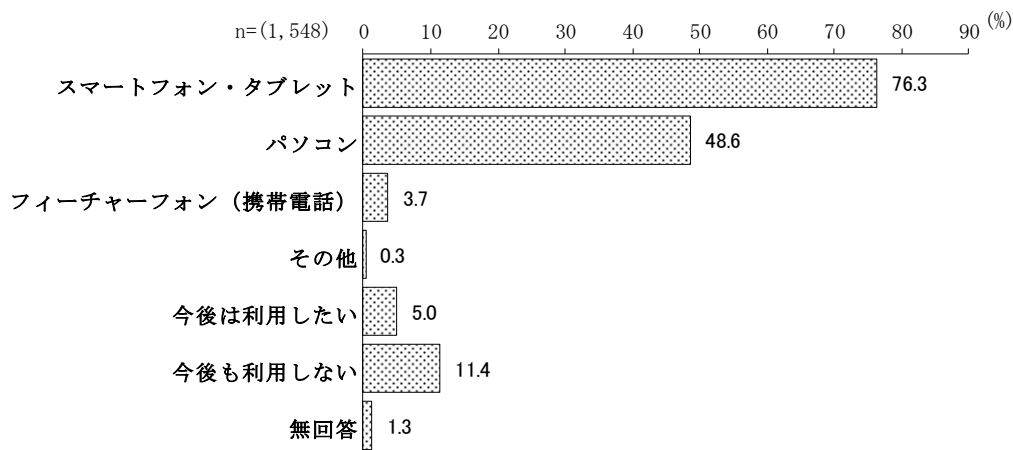
※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

(2) インターネットの利用状況

◇ <利用している(計)>は8割台半ば

問35 あなたは、インターネットを利用していますか。利用するときは何を使いますか。
(○はいくつでも)

<図表 15-3> インターネットの利用状況



(注) <利用している>=「スマートフォン・タブレット」+「パソコン」+「フィーチャーフォン (携帯電話)」
+「その他」・・・83.5%
<利用していない>=「今後は利用したい」+「今後も利用しない」・・・16.4%

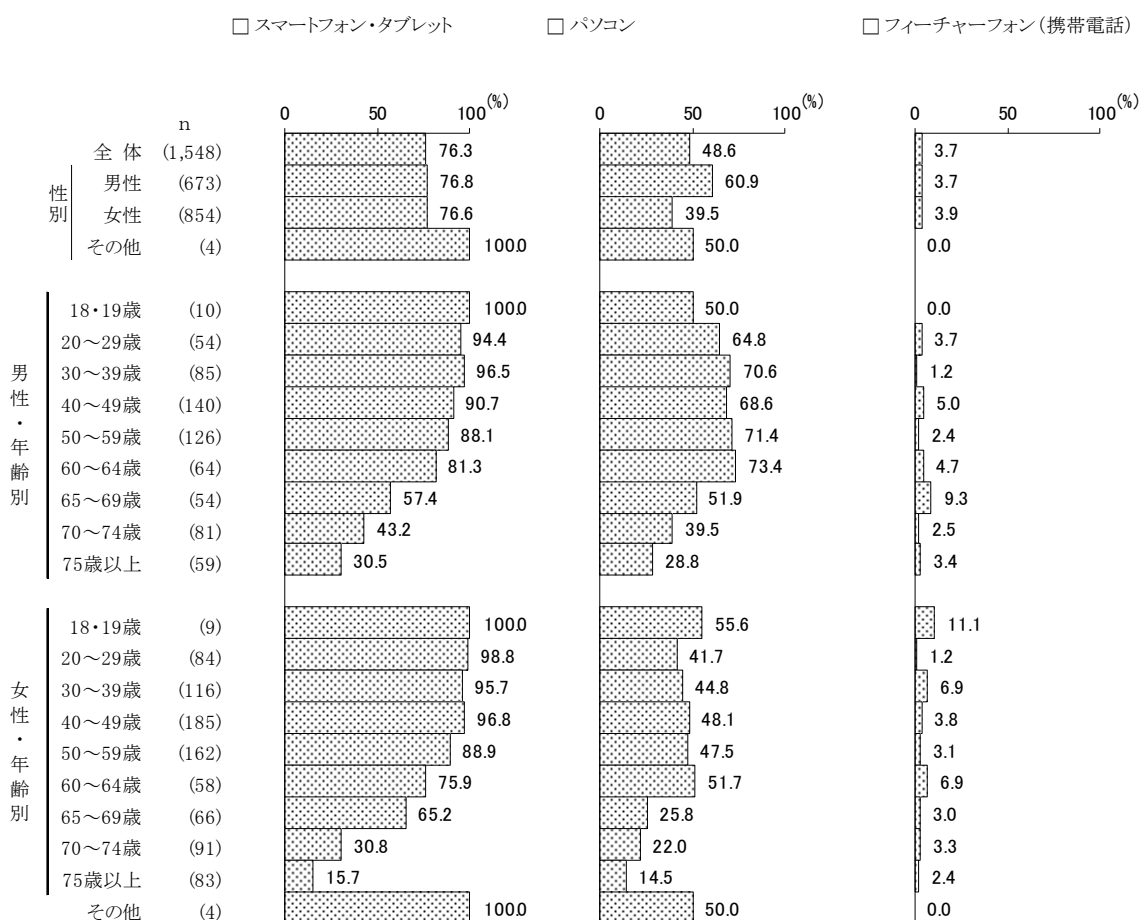
インターネットの利用機器は、「スマートフォン・タブレット」(76.3%)が7割台半ばと最も高くなっている。また、「スマートフォン・タブレット」「パソコン」「フィーチャーフォン (携帯電話)」「その他」を合わせた<利用している(計)>(83.5%)は8割台半ばを占め、「今後は利用したい」(5.0%)と「今後も利用しない」(11.4%)を合わせた<利用していない(計)>(16.4%)は1割台半ばとなっている。(図表15-3)

【性・年齢別】

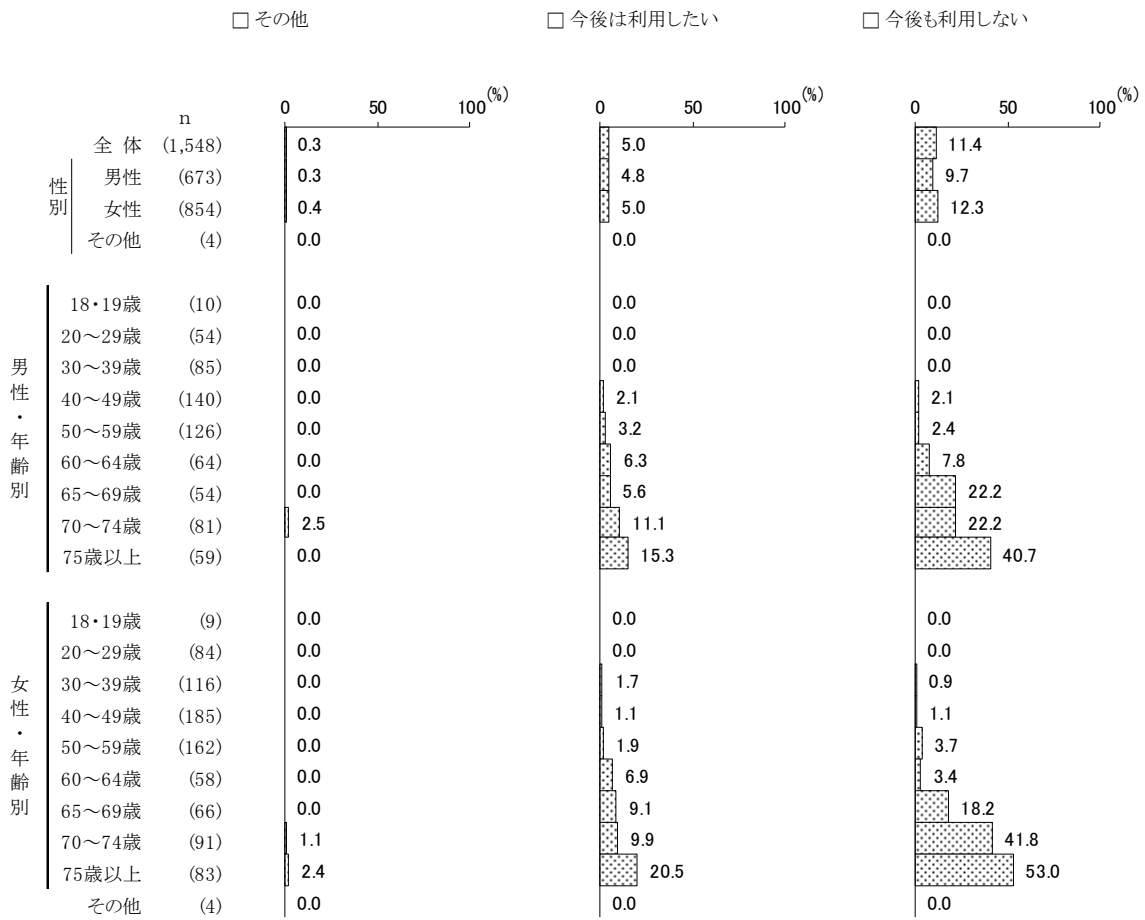
性別では、「パソコン」は男性（60.9%）が女性（39.5%）より21.4ポイント高くなっている。一方、「今後も利用しない」は女性（12.3%）が男性（9.7%）より2.6ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「スマートフォン・タブレット」は男女ともに年齢が低いほど割合が高くなる傾向がみられる。また、「パソコン」は男性30～39歳（70.6%）、男性50～59歳（71.4%）、男性60～64歳（73.4%）で7割台と高い。一方、「今後は利用したい」は女性75歳以上（20.5%）で2割と高く、「今後も利用しない」は男性75歳以上（40.7%）で4割、女性75歳以上（53.0%）で5割台半ばと高くなっている。（図表15-4）

＜図表15-4＞ インターネットの利用機器／性・年齢別



Ⅲ 結果と分析 15. 広報と情報化について



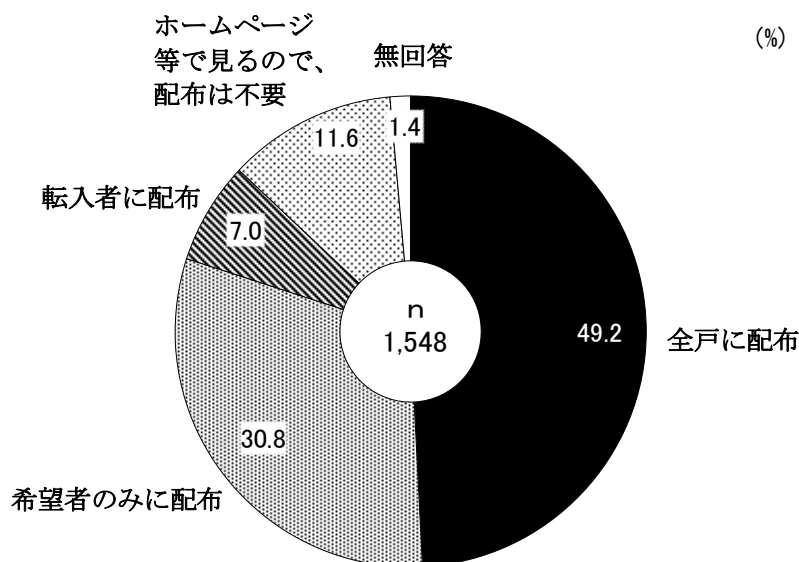
※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

(3) 「くらしの便利帳」の配布方法

◇ 「全戸に配布」が5割弱と最も高い

問36 「くらしの便利帳」は、日常生活に関わりの深い区のサービスを紹介しています。どのように配布することが適切だと思いますか。(〇は1つ)

<図表 15-5> 「くらしの便利帳」の配布方法



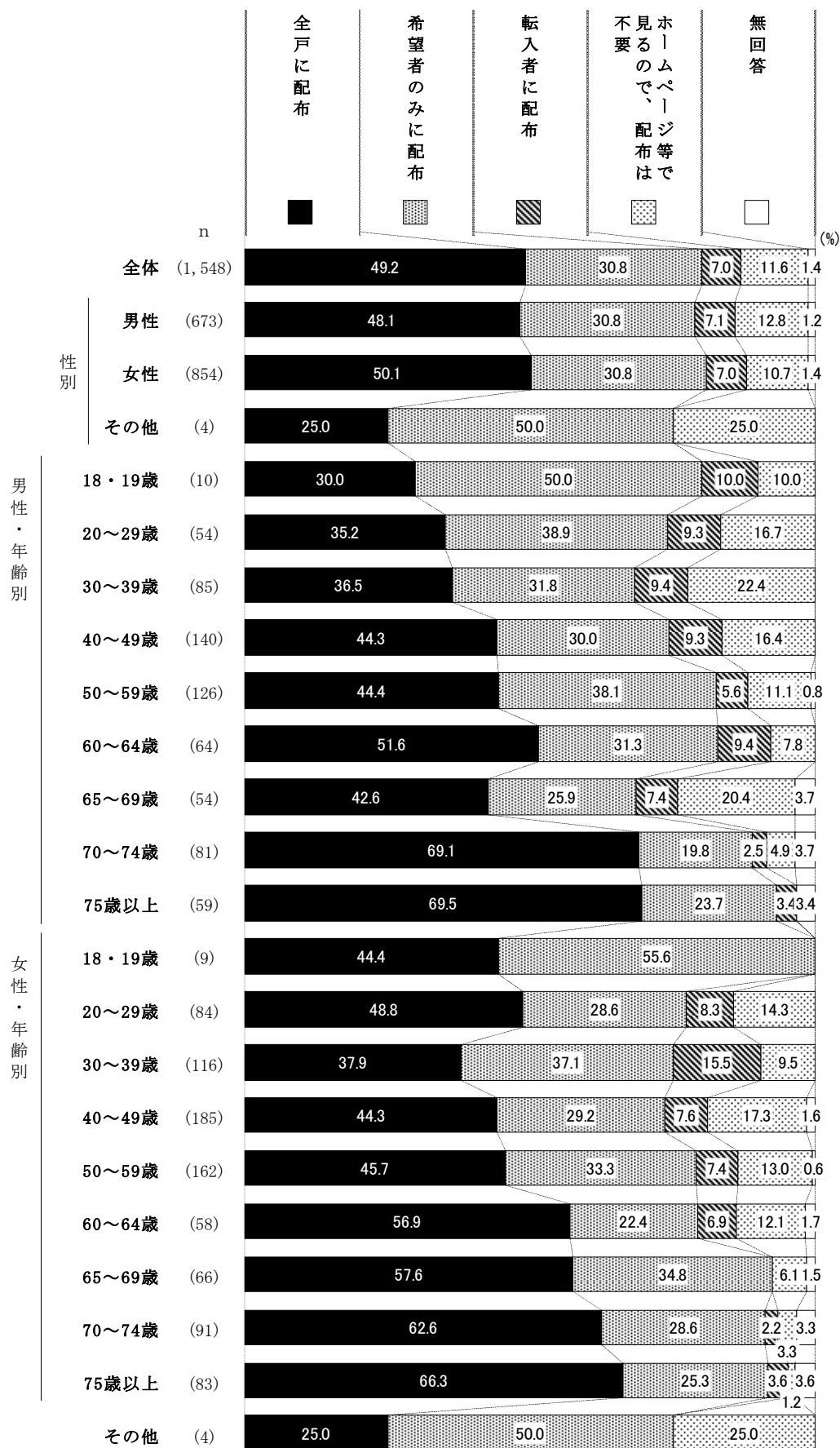
「くらしの便利帳」をどのように配布することが適切かを尋ねたところ、「全戸に配布」(49.2%)が5割弱と最も高く、続いて「希望者のみに配布」(30.8%)が3割強となっている。(図表 15-5)

【性・年齢別】

性別では、性別では、「全戸に配布」は女性(50.1%)が男性(48.1%)より2.0ポイント高く、「ホームページ等で見るので、配布は不要」は男性(12.8%)女性(10.7%)2.1ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「全戸に配布」は男性70~74歳、男性75歳以上(69.1%、69.5%)、女性70~74歳、女性75歳以上(62.6%、66.3%)で6割台と高くなっている。また、「希望者のみに配布」は男性20~29歳(38.9%)、男性50~59歳(38.1%)で4割弱と高く、「ホームページ等で見るので、配布は不要」は男性30~39歳(22.4%)で2割強と高くなっている。(図表 15-6)

＜図表 15-6＞ 「くらしの便利帳」の配布方法／性・年齢別



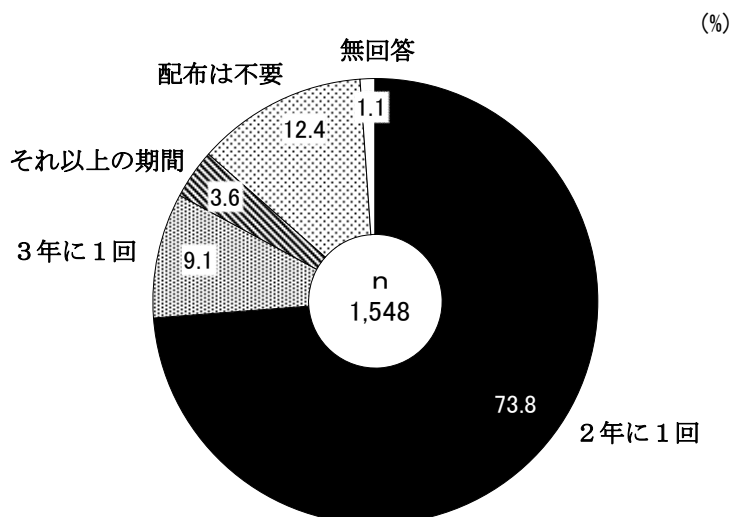
※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

(4) 「くらしの便利帳」の発行期間

◇ 「2年に1回」が7割台半ば

問37 「くらしの便利帳」は、2年に1回発行しています。あなたは、発行期間はどのくらいが適切だと思いますか。(〇は1つ)

<図表 15-7> 「くらしの便利帳」の発行期間



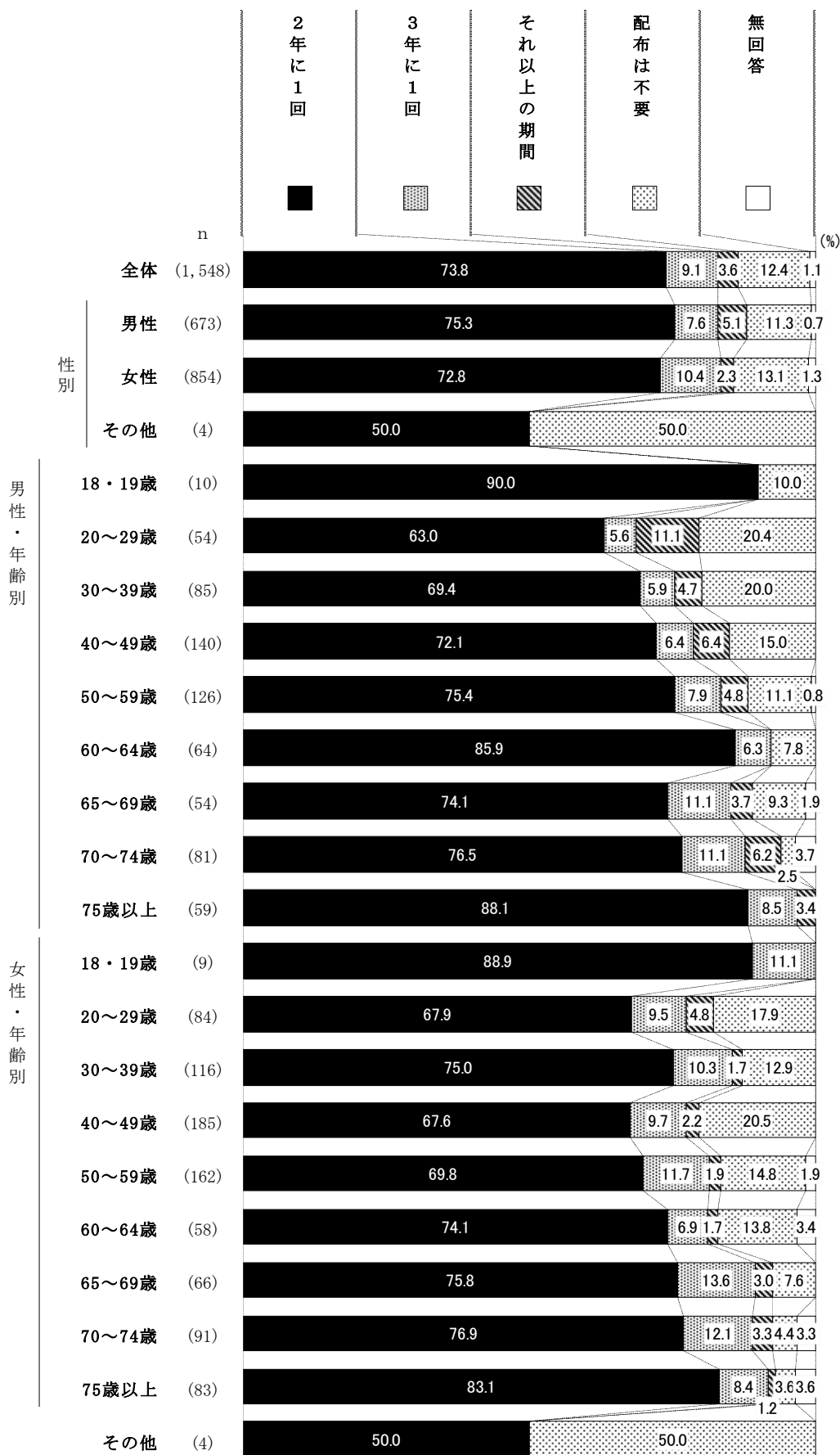
「くらしの便利帳」の発行期間はどのくらいが適切だと思うかを尋ねたところ、「2年に1回」(73.8%)が7割台半ばで最も高く、続いて「配布は不要」(12.4%)、「3年に1回」(9.1%)が1割前後となっている。(図表 15-7)

【性・年齢別】

性別では、「2年に1回」は男性(75.3%)が女性(72.8%)より2.5ポイント高く、「3年に1回」は女性(10.4%)が男性(7.6%)より2.8ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「2年に1回」は男性60～64歳(85.9%)、男性75歳以上(88.1%)、女性75歳以上(83.1%)で8割台と高くなっている。一方、「配布は不要」は男性20～29歳(20.4%)、男性30～39歳(20.0%)、女性40～49歳(20.5%)で2割強と高くなっている。(図表 15-8)

<図表 15-8> 「くらしの便利帳」の発行期間／性・年齢別



※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

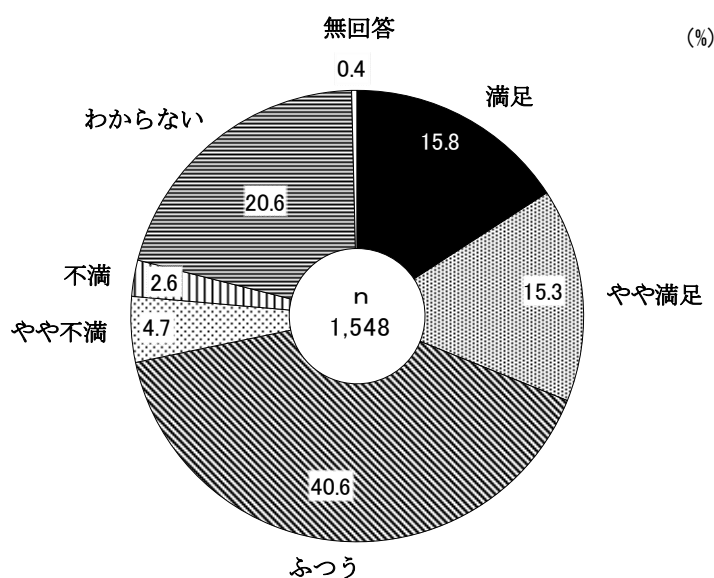
16. 江戸川区職員の接遇について

(1) 江戸川区職員の接遇に対する満足度

◇ <満足(計)>は3割強

問38 あなたは、江戸川区職員の接遇について、どの程度満足していますか。(○は1つ)

<図表 16-1> 江戸川区職員の接遇に対する満足度



(注) <満足(計)> = 「満足」 + 「やや満足」・・・31.1%

<不満(計)> = 「不満」 + 「やや不満」・・・7.3%

江戸川区職員の接遇に対する満足度は、「満足」(15.8%)と「やや満足」(15.3%)を合わせた<満足(計)>(31.1%)が3割強となっている。一方、「不満」(2.6%)と「やや不満」(4.7%)を合わせた<不満(計)>(7.3%)は1割弱となっている。(図表16-1)

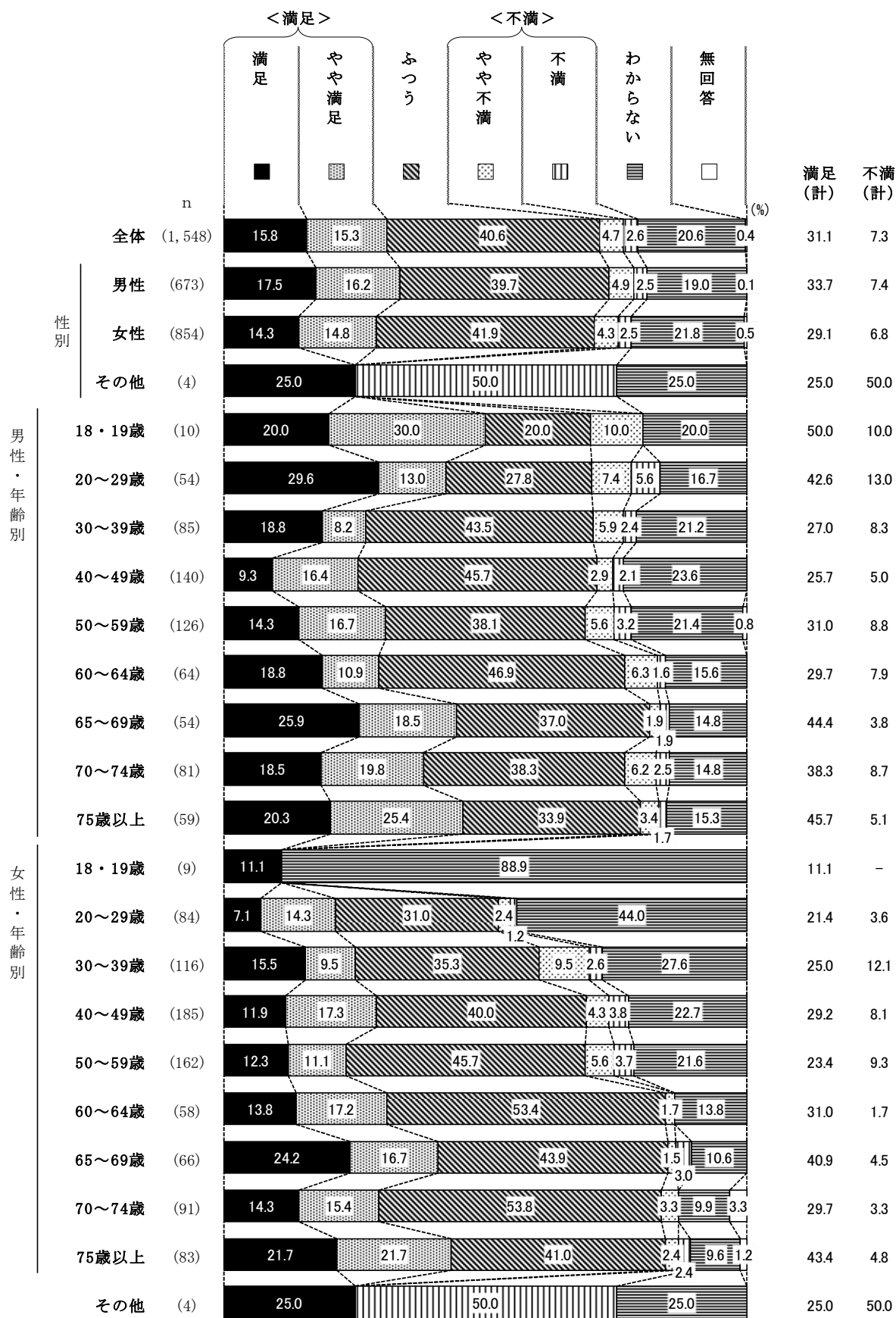
【性・年齢別】

性別では、<満足(計)>は男性(33.7%)が女性(29.1%)より4.6ポイント高くなっている。

性・年齢別で見ると、<満足(計)>は男性20～29歳(42.6%)、男性65～69歳(44.4%)、男性75歳以上(45.7%)、女性65～69歳(40.9%)、女性75歳以上(43.4%)で4割台と高くなっている。

(図表 16-2)

<図表 16-2> 江戸川区職員の接遇に対する満足度／性・年齢別



※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

17. 区政への要望について

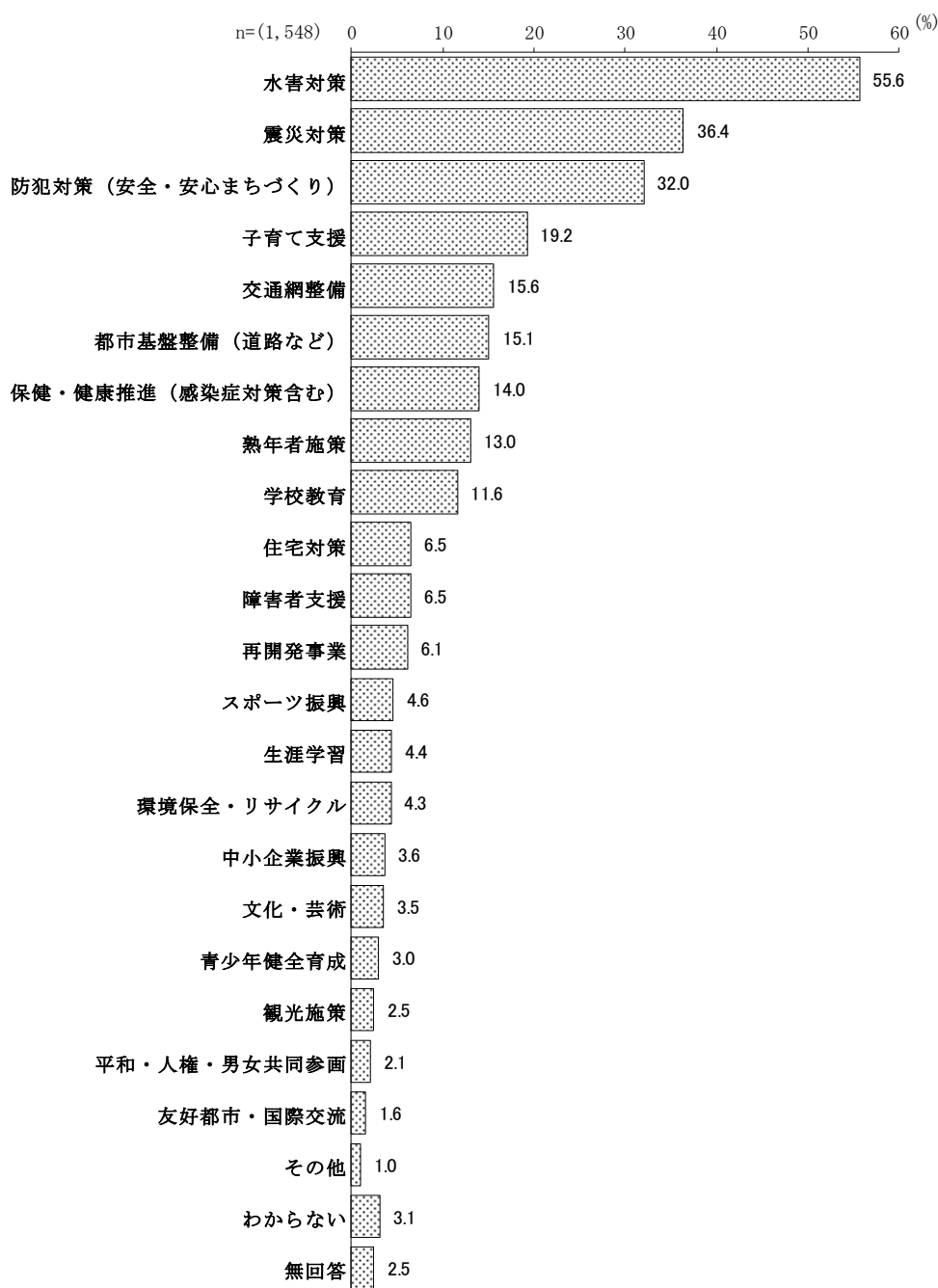
(1) 今後推進してほしい施策

◇ 「水害対策」が5割台半ばで最も高い

問39 あなたは、江戸川区は今後どのような施策を推進していけばよいと思いますか。

(〇は3つまで)

<図表 17-1> 今後推進してほしい施策（複数回答）



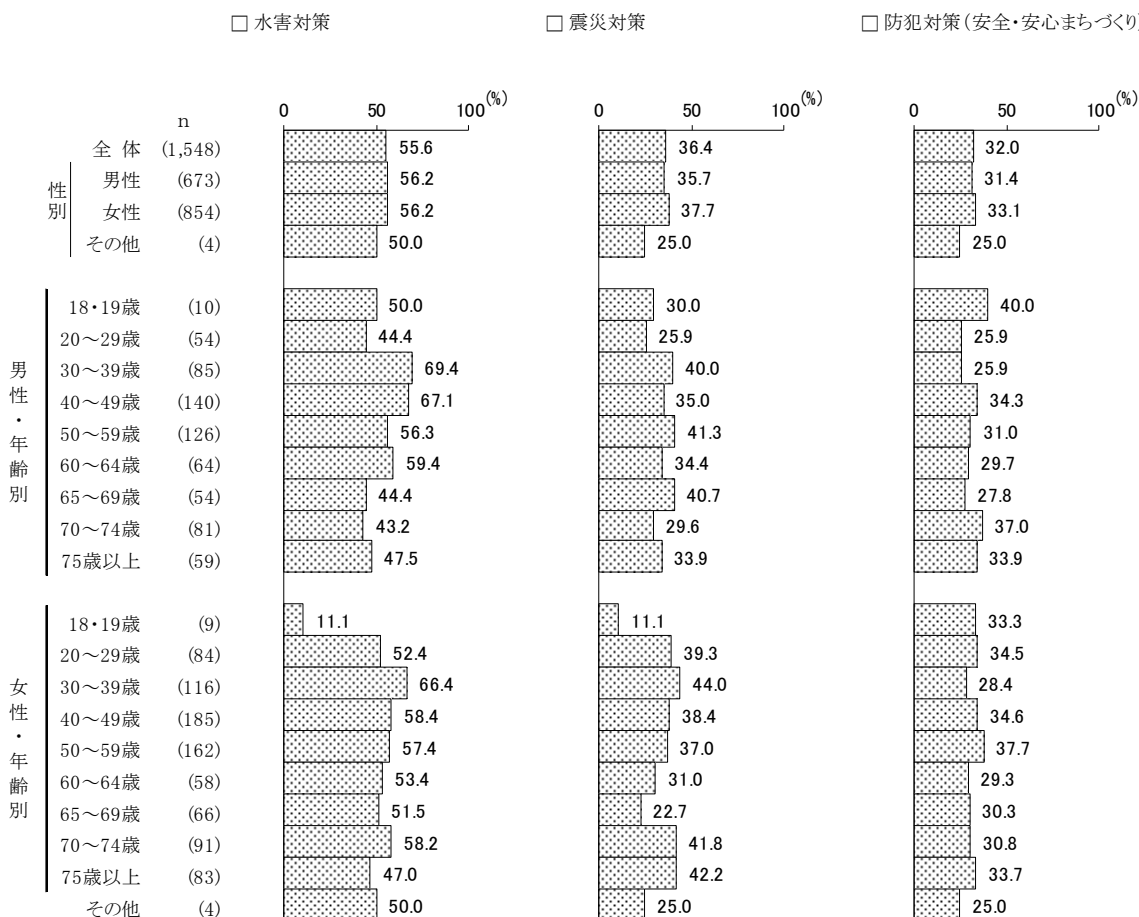
今後推進してほしい施策については、「水害対策」(55.6%)が5割台半ばと最も高く、次いで「震災対策」(36.4%)、「防犯対策(安全・安心まちづくり)」(32.0%)、「子育て支援」(19.2%)、「交通網整備」(15.6%)、「都市基盤整備(道路など)」(15.1%)となっている。(図表17-1)

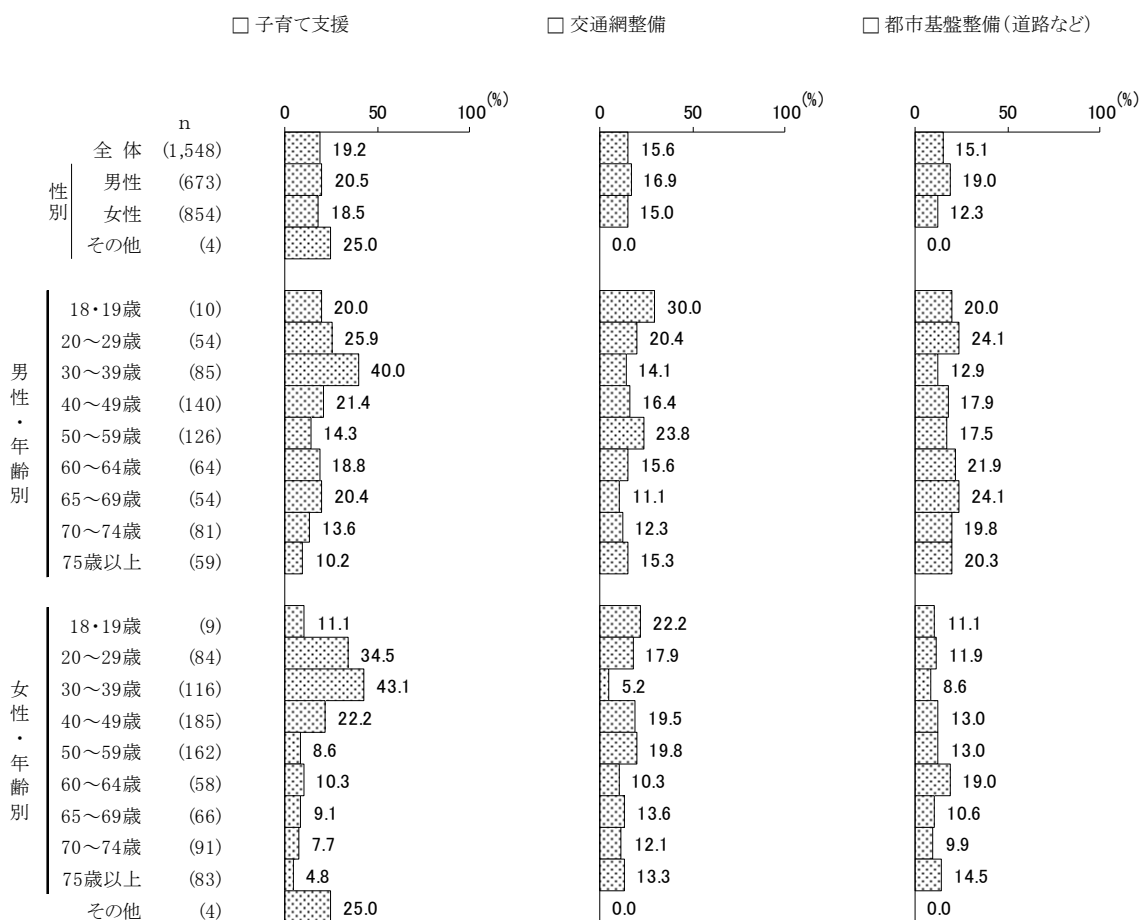
【性・年齢別】

性別では、「都市基盤整備(道路など)」は男性(19.0%)が女性(12.3%)より6.7ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「水害対策」は男性30～39歳(69.4%)、男性40～49歳(67.1%)、女性30～39歳(66.4%)で6割台と高くなっている。また、「震災対策」は女性30～39歳(44.0%)、「防犯対策(安全・安心まちづくり)」は女性50～59歳(37.7%)、「子育て支援」は女性30～39歳(43.1%)、「交通網整備」は男性50～59歳(23.8%)で最も高く、「都市基盤整備(道路など)」は男性20～29歳、男性65～69歳(各24.1%)で高くなっている。(図表17-2)

<図表17-2> 今後推進してほしい施策／性・年齢別(上位6項目)





※男性、女性の“18・19歳”及び“その他”については「n」が少ないため具体的なコメントは行わず参考資料とする。

今回を含めた過去7回の上位5項目をみると、平成18年～平成22年は「防犯対策（安全・安心まちづくり）」が第1位、平成24年～平成29年は「震災対策」が第1位となっていたが、令和2年は「水害対策」が第1位となっている。順位は異なるが、上位5項目は前回調査と同一となっている。

(図表17-3)

＜図表 17-3＞過去7回の上位5項目の推移

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
令和2年	水害対策 55.6%	震災対策 36.4%	防犯対策（安全・安心まちづくり） 32.0%	子育て支援 19.2%	交通網整備 15.6%
平成29年	震災対策 35.7%	防犯対策（安全・安心まちづくり） 30.3%	水害対策 29.5%	子育て支援 20.3%	交通網整備 15.7%
平成26年	震災対策 39.1%	防犯対策（安全・安心まちづくり） 33.4%	水害対策 25.0%	子育て支援 21.2%	熟年者施策 19.9%
平成24年	震災対策 43.5%	防犯対策（安全・安心まちづくり） 33.6%	高齢者福祉 28.8%	水害対策 26.4%	子育て支援 18.1%
平成22年	防犯対策（安全・安心まちづくり） 39.2%	高齢者福祉 34.9%	子育て支援 22.7%	震災対策 22.6%	学校教育 20.3%
平成20年	防犯対策（安全・安心まちづくり） 47.2%	災害対策 36.1%	高齢者対策 35.3%	子育て対策 20.2%	交通網整備 17.0%
平成18年	防犯対策（安全・安心まちづくり） 48.0%	高齢者対策 31.3%	防災対策 21.4%	子育て対策 21.0%	交通網整備 19.4%

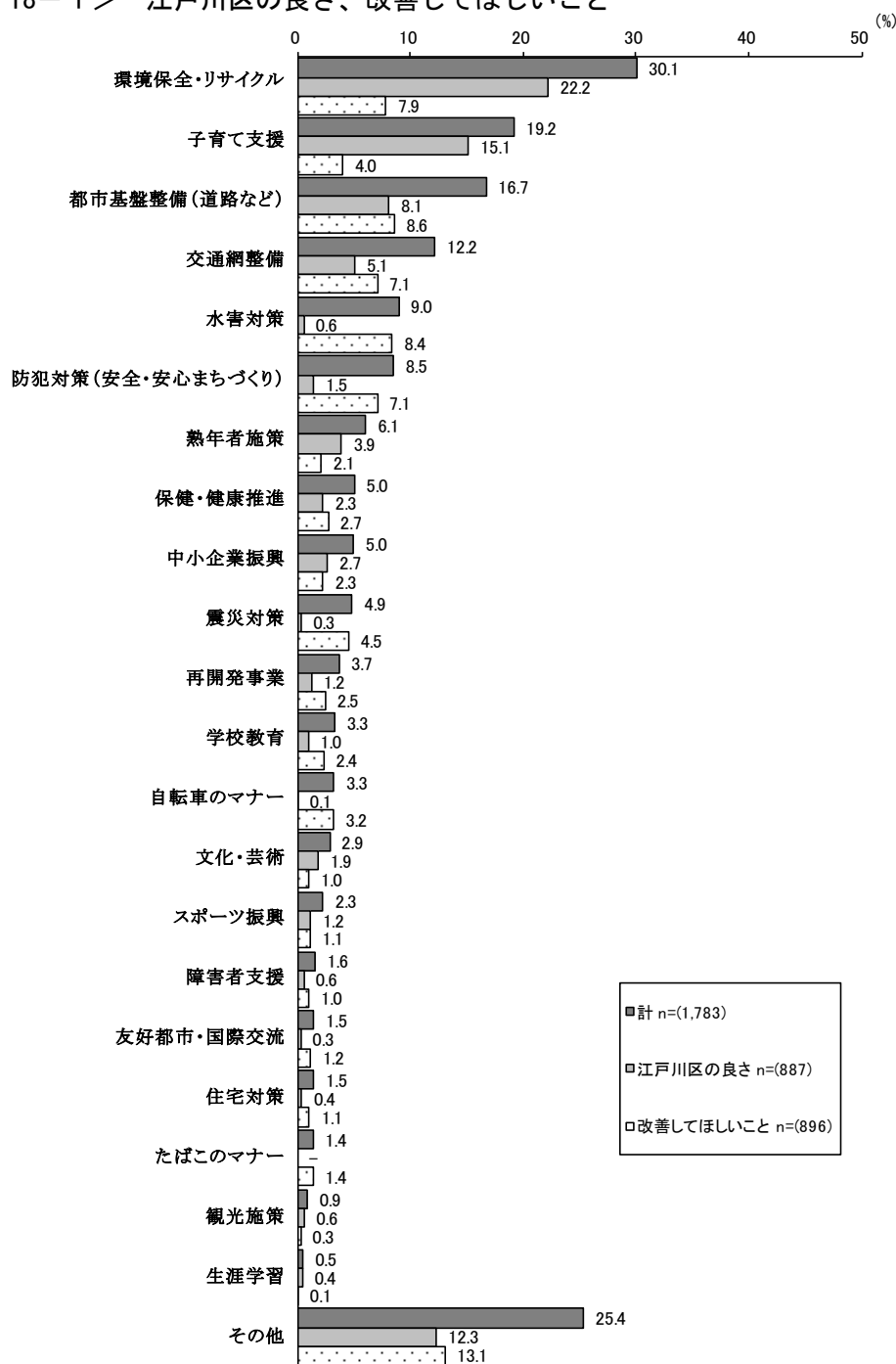
※平成18年「防災対策」（3位）→平成20年「災害対策」（2位）→平成22年から「震災対策」と「水害対策」に分割。

18. 自由記述

(1) 江戸川区ならではの良さ、改善してほしいこと

問40 あなたが、江戸川区で暮らしているなかで、江戸川区の「良さ」または「改善してほしい」と感じるのは、どのようなことですか。子育て支援、熟年者施策、生活環境、産業振興、災害対策、まちづくりなど、どのような分野でもかまいません。できるだけ具体的にお書きください。

<図表 18-1> 江戸川区の良さ、改善してほしいこと



※構成比は総件数に対する比率。

江戸川区の「良さ」または「改善してほしい」と感じることにについて、自由回答形式で求めた。

回答内容を「問 30 今後推進してほしい施策」の選択肢で分類したところ、江戸川区の「良さ」と「改善してほしいこと」の合計では、「環境保全・リサイクル」(30.1%)が3割強と多く、次いで「子育て支援」(19.2%)が2割弱となっている。

江戸川区の「良さ」では、「環境保全・リサイクル」(22.2%)が2割強と多く、「子育て支援」(15.1%)が1割台半ばとなっている。

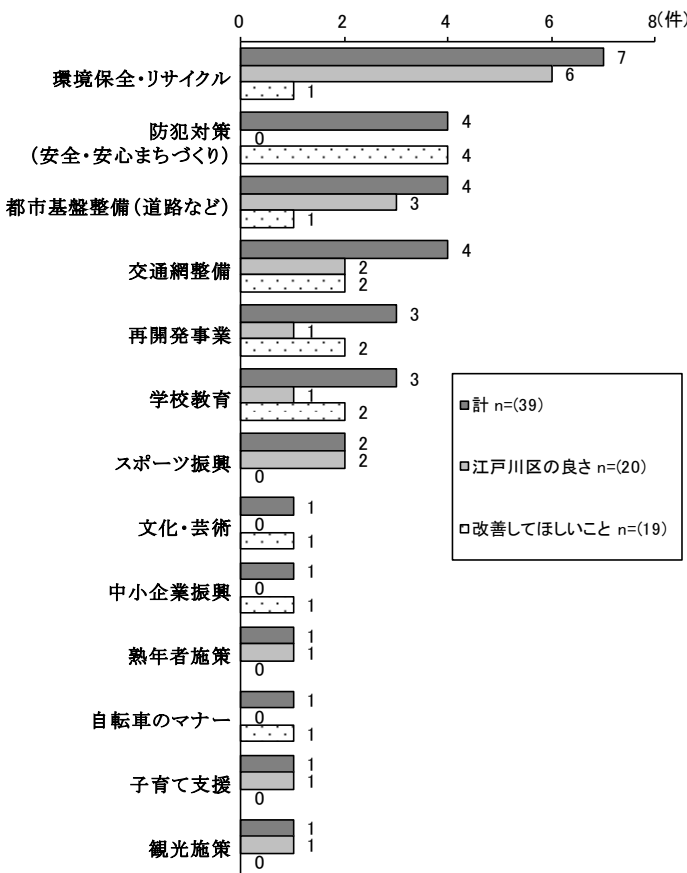
「改善してほしいこと」では、「都市基盤整備(道路など)」(8.6%)が最も高く、「水害対策」(8.4%)と「環境保全・リサイクル」(7.9%)などと続いている。(図表 18-1)

【年齢別】

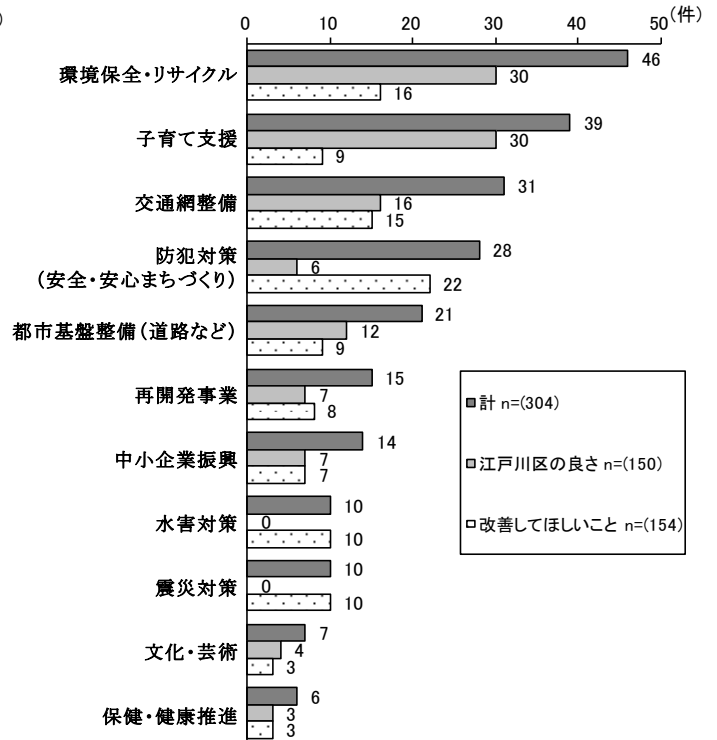
年齢別でみると、「環境保全・リサイクル」は30歳代以外の年齢層で上位1位となっており、30歳代では「子育て支援」が上位1位となっている。また、「子育て支援」は20歳代、40歳代、50歳代で上位2位、「都市基盤整備(道路など)」は60歳代で上位2位、「熟年者施策」は70歳以上で上位2位となっている。(図表 18-2)

<図表 18-2> 江戸川区の良さ、改善してほしいこと／年齢別(上位10項目)

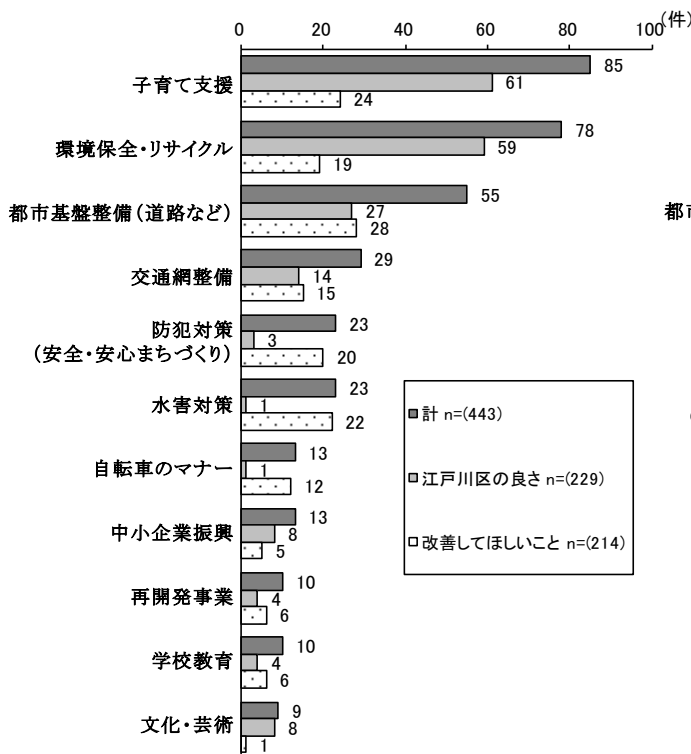
【18・19歳】



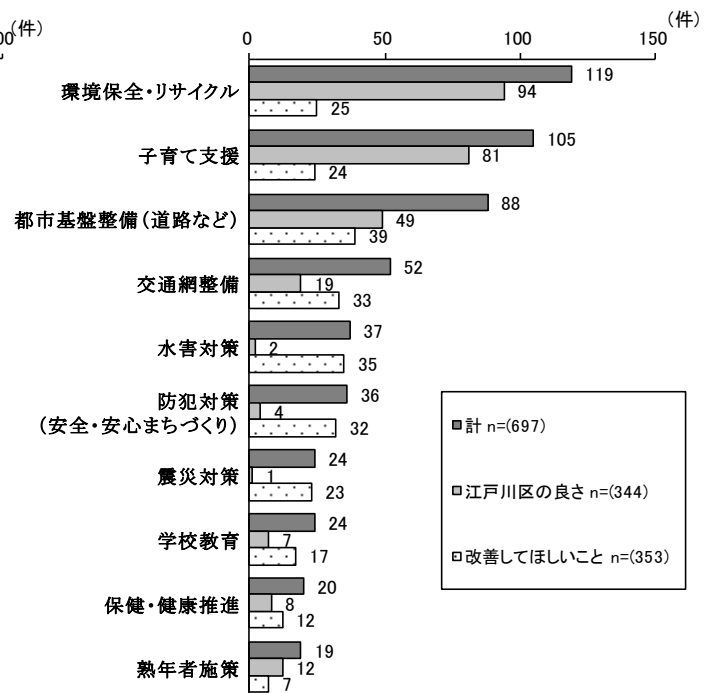
【20歳代】



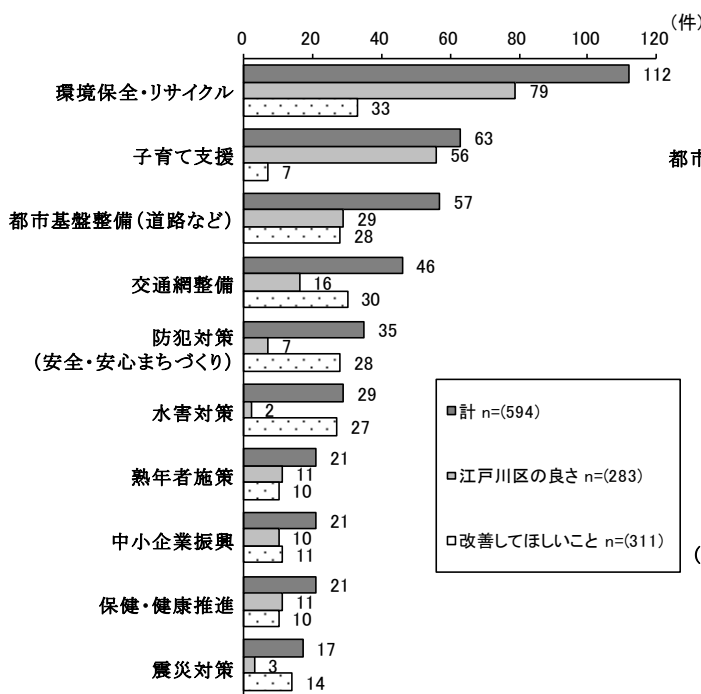
【30 歳代】



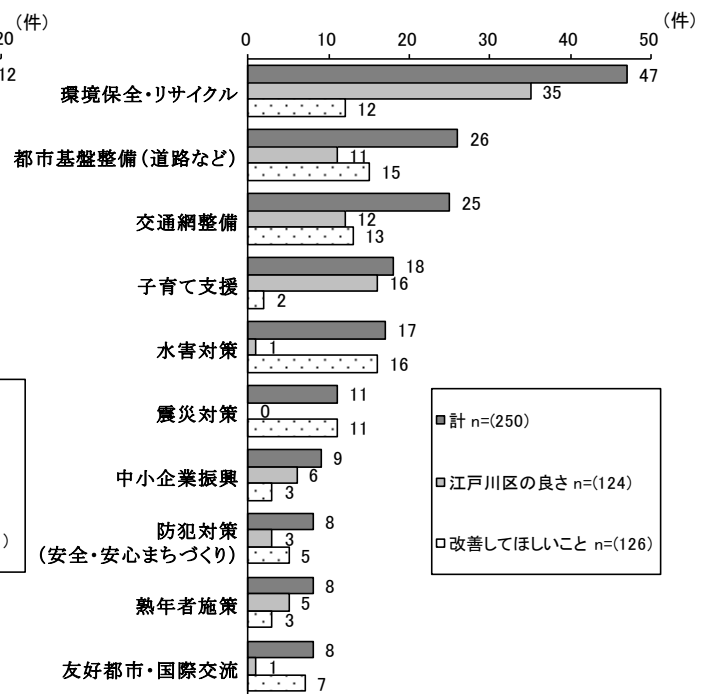
【40 歳代】



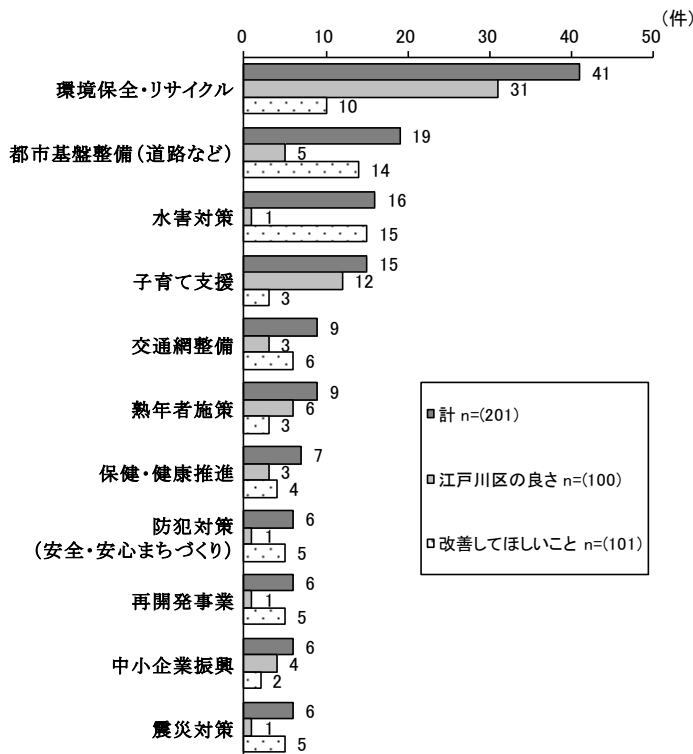
【50 歳代】



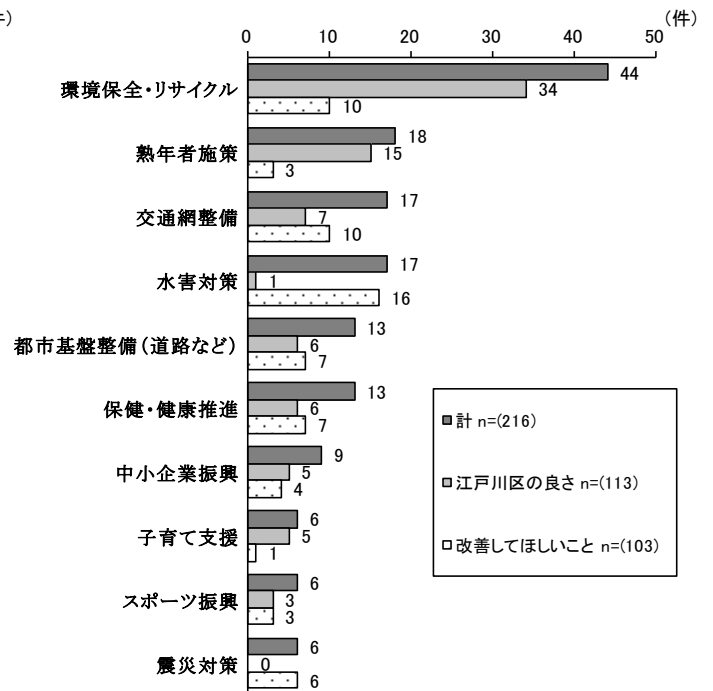
【60～64 歳】



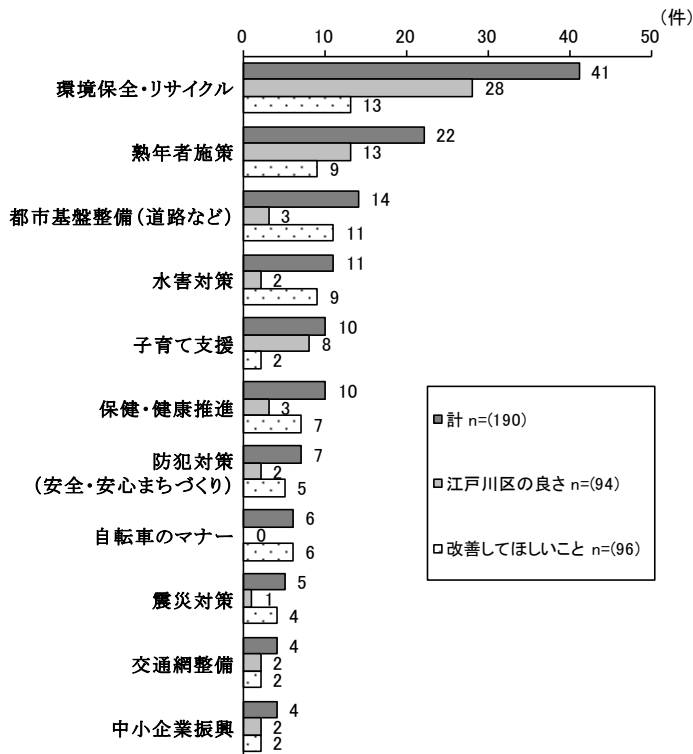
【65～69 歳】



【70～74 歳】



【75 歳以上】



具体的な意見について、各項目ごとに代表的なものを抜粋して掲載する。

環境保全・リサイクル

【江戸川区の良さ】

- ・緑が豊かなところ。散歩に行ける場所が多い。(女性 50 歳代、鹿骨地区)
- ・公園や自然に触れることができる場所が多い。(男性 30 歳代、小岩地区)
- ・桜や梅など季節の花が綺麗だったり時々野鳥を見かけたりする。自然の多いところが良いと思う。
(女性 20 歳代、東部地区)
- ・長年の緑化推進施策により、うるおいのある環境づくりが進んでいる。将来を見据えた施策に積極的に取り組んでいる。(男性 70～74 歳、小岩地区)
- ・道路の整備や緑化、公園の整備など、穏やかに生活できる環境づくりに力を入れている印象がとても強くあり、居心地良く感じている。(男性 20 歳代、中央地区)
- ・海が近い公園が多い。自然環境に恵まれていて、散歩したり、四季を感じたり、気持ちが良い。
(男性 70～74 歳、葛西地区)
- ・自然環境が素晴らしいと思う。木の手入れやごみの少なさがとても住み心地の良い環境を作り出している。(男性 20 歳代、葛西地区)
- ・夏になると親水公園の水がいつもきれい。いつも掃除してくれる方に感謝しております。
(男性 40 歳代、中央地区)

【改善してほしいこと】

- ・公園の草刈りなど、メンテナンスをもう少し頻繁にやってほしい。(女性 30 歳代、葛西地区)
- ・街中にゴミ、ポイ捨て、歩きタバコなどが多い。(女性 50 歳代、中央地区)
- ・ゴミの分別への意識が低いと思う。その点の教育を充実させた方が良い気がする。
(その他 20 歳代、小松川地区)
- ・公園が多いのは良いが、公園にゴミが多くポイ捨てされており、特にタバコの吸い殻がとても多いため、小さい子どもを安全に遊ばすことが難しい。ゴミのポイ捨てやタバコの吸い殻は歩道でもとても多いと感じている。公園や歩道での禁煙やゴミのポイ捨てをなくすような対策をお願いしたい。ゴミのポイ捨ては子どもたちがやっていることも多いようで、学校での教育も必要ではないか。
(女性 30 歳代、東部地区)
- ・公園のトイレの汚れが気になるので、できれば清掃回数を増やしてもらいたい。
(男性 20 歳代、中央地区)
- ・秋口、毎年、並木路に小虫が多いので、駆除をしてほしい。(男性 65～69 歳、葛西地区)
- ・緑道へのゴミ捨て。犬の排泄物。(女性 50 歳代、小岩地区)
- ・荒川沿い、総武線の下から平井・小松川運動公園～都立大島公園（国の広場）まで、ウォーキングをしている。総武線下を土手に上がる所から水漏れして、道路から住宅の方まで流れ出している。ウォーキングコースも街中もマスクが落ちている。ゴミ集めをしていただきたい。
(女性 75 歳以上、小松川地区)

子育て支援

【江戸川区の良さ】

- ・子育て支援については、他の区や県に比べ、とても恩恵を受けているし、充実しているので、とても満足している。(女性 40 歳代、中央地区)
- ・子育て支援に関し、医療費の無償化、学費の無償化により、育てやすい環境を提供していただいている。(男性 50 歳代、葛西地区)
- ・23 区内の便利さがあがりながら、下町の近所づきあいもあるところ。子育ての支援が厚く、医療費などの費用面の補助が充実しているところ。(女性 40 歳代、小岩地区)
- ・子育て世帯に対するサービスはとても充実している。共働き世帯にはとても良く、子どもを預けられる場所も多い。(女性 20 歳代、無回答)
- ・産後のケアに関して、きちんと対応してくださり、新しく母親になられたお母さんにとっては、とても心強いと思う。これからも力を入れていただきたい。(女性 65～69 歳、葛西地区)
- ・子育てしやすい。子どもの医療費が助かる。就学支援が整っている（特別支援など）。公園が多い。
(女性 40 歳代、中央地区)
- ・子育てに強い区と昔から言われているだけあり、子ども関係のサポートや施設が多いと思う。全てが密集しているので便利。(女性 30 歳代、葛西地区)
- ・子育て施設が良かったため住み始めた。この部分は続けてほしい。(男性 50 歳代、東部地区)

【改善してほしいこと】

- ・マンション（大、小、様々）が多くできているが、それに伴う子育て施設や学校教育の充実、雇用の面をもっと活性化してほしい。(女性 50 歳代、小松川地区)
- ・子どもの貧困をなくす。(男性 50 歳代、鹿骨地区)
- ・子育てしやすい環境のためか、子育て世代が多く、保育園、幼稚園に入りにくい状況。希望する園へ皆が入れるように、どうか改善してほしい。(女性 30 歳代、葛西地区)
- ・「子育て支援について」子どものことでの悩みをなかなか話せずにいる保護者の方も多くいるように感じる（発達なども含め）。ポスターや掲示物等もなかなか見えていない方が多くいるようで、スマホ等で気軽にアクセスでき、情報収集ができる場がもっと広がっていったらいいのかなと思う。
(女性 20 歳代、中央地区)
- ・子育て支援を更に充実してほしい。区内でも場所によってサービスに格差を感じ、改善を希望する。夫婦 2 人共働きの時は、区のサービスの恩恵を受けられなかった。(女性 40 歳代、中央地区)
- ・ボール遊びできる公園を増やす。学校の給食費の支援。子どもの育児支援にもっと力を入れてほしい。(女性 40 歳代、中央地区)
- ・0 歳児の保育枠を増やす。(男性 30 歳代、小岩地区)
- ・共働きで子育てしている家庭への支援が、経済面、保育の面ともに拡充されると良いと思う。
(女性 40 歳代、葛西地区)

都市基盤整備（道路など）

【江戸川区の良さ】

- ・歩道は広くてベビーカーが押しやすい。（女性 30 歳代、東部地区）
- ・区画整理ができていて良い。（男性 60～64 歳、東部地区）
- ・区外での生活経験と比較すると、道路や下水環境が充実していると思う。（男性 30 歳代、小岩地区）
- ・川沿いの道が整備されている。散歩に便利。（男性 65～69 歳、東部地区）
- ・区画整理などのまちづくりを行った結果、とても良い街並みになっているところ。ゆとりある街並みだと思う。（男性 40 歳代、小岩地区）
- ・公園が多く、トイレや花壇などよく整備されている。（女性 40 歳代、中央地区）
- ・公園の数の多さと、小さな公園にもトイレが設置されているのは安心。住んでいる地区は区画整理が進み、歩道を安心して歩くことができる。子育てをしていた 40 年以上前は、乳母車を押して歩くのも大変だった。（女性 70～74 歳、東部地区）
- ・公園が多い。歩車分離など、道路が整備されている。（女性 40 歳代、葛西地区）

【改善してほしいこと】

- ・道路がまだまだ狭い所がある。電柱の地中化を進める。（男性 65～69 歳、東部地区）
- ・道路工事している場所より、もっと工事すべき場所があるようにいつも感じる。必要性の高いところからやってほしい。（女性 30 歳代、鹿骨地区）
- ・道路の幅がなかなか広くならない。でこぼこで使いにくい。バス通りも狭くて危ない。自転車道路を進めるならば整備してほしい。狭くて危なかったり、途中で駐車スペースがあったり、途中までしかなかったりする。（女性 60～64 歳、小岩地区）
- ・道路が狭かったり、信号がなく、交通事故が起こりそうな場所が多々見受けられるため、そういったところの対策をしてほしい。（男性 20 歳代、葛西地区）
- ・自転車レーンを広い道路だけでもつけてもらいたい。交差点の信号は正面から太陽が当たると、色が見えにくく、とても危険なので、光を遮るカバーを付けてもらいたい。

（男性 75 歳以上、無回答）

- ・江戸川区の中でも道路整備の状況が全く違い、不公平に感じる。（男性 50 歳代、小岩地区）
- ・道路の段差でつまずきそうになるため、段差をなくすようにしてほしい。

（女性 75 歳以上、小岩地区）

- ・道路のバリアフリー他、インターロッキング等で歩道が整備されているが、水はけを考慮してか、傾斜がきつく、平坦な面が無く歩きにくい。また狭い歩道はインターロッキングにすると、ガタついているので、アスファルトで傾斜をとればよいと思う。（男性 60～64 歳、葛西地区）

交通網整備

【江戸川区の良さ】

- ・都心、空港（羽田）までのアクセスが比較的よい。生活がしやすい。（買い物など）。
(女性 20 歳代、東部地区)
- ・バスや電車の利便性。（男性 20 歳代、葛西地区）
- ・都心まで短時間で行ける割にはのんびりと暮らせる環境でよいと思う。（女性 60～64 歳、中央地区）
- ・買い物、交通の便がよい。（女性 70～74 歳、小岩地区）
- ・バスが多く、行きたい所への交通利便性が良い。スーパーがたくさんあって便利。
(女性 30 歳代、中央地区)
- ・都心に出るのに便利。（男性 70～74 歳、鹿骨地区）
- ・生まれてから今まで江戸川区にしか住んだことがない。他の状況がわからないが、昔に比べたら、交通網、生活環境等、すごくよくなった。（女性 50 歳代、鹿骨地区）

【改善してほしいこと】

- ・交通の便が悪いので、高齢者の方などは出掛けるのに不便を感じていると思う。バスのルートや本数を増やすなどの対策をとっていただきたい。（女性 40 歳代、中央地区）
- ・江戸川区はバスがないと縦の移動ができない。どうしても自動車を使う回数が多くなってしまふ。小岩から葛西へバスで行けても時間もかかるし面倒。（女性 40 歳代、小岩地区）
- ・縦の交通が不便なので、バスを出してもらえたら嬉しい。とても便利になると思うので、是非お願いしたい。（女性 50 歳代、中央地区）
- ・区内間での交通手段がバスしか基本なく、電車の駅が少ないと思う。まだ年齢的に歩くことが苦ではないので、大きな問題ではないが、歳をとったときの不安がある。（男性 30 歳代、中央地区）
- ・バス運行の間隔があき過ぎで、利用したいが、利用しづらく、不便を感じている。
(女性 70～74 歳、東部地区)
- ・東西線の混み具合については、区がどうこうできるものではありませんが、今後、子どもを通学させる親としては心配がある。交通の便の良い所に高校が無いことも少し残念。
(女性 40 歳代、葛西地区)

水害対策

【江戸川区の良さ】

- ・ほぼ何も困ることなく、生活できる。災害に関する取組がよい。（ハザードマップ配布など）。
(女性 50 歳代、小岩地区)
- ・浸水の恐れに関する情報発信は明確でよかった。（男性 30 歳代、小岩地区）
- ・災害対策も水害時は、区内が危険だということをはっきり伝えたことは、とてもよいと思う。現実的で具体的な対策を取ってくれていると感じる。（女性 40 歳代、小岩地区）

【改善してほしいこと】

- ・江戸川区のハザードマップを見ると、赤い部分が多く、底地が多い。やはり水害、震災は心配になる。各地域別に推奨する避難例を示してほしい。どのような水害対策を講じているか、教えていただきたい。(男性 70～74 歳、葛西地区)
- ・震災や水害はとても不安。できれば、区内でも安心して避難できる場所がほしい。特に水害は心配。(女性 40 歳代、東部地区)
- ・水害時に江戸川区にはいけないということで、具体的にどのように避難したら最善かを示してほしい。(男性 40 歳代、中央地区)
- ・広域避難も大事だが、水害対策にもう少し力を入れてほしい。(女性 40 歳代、鹿骨地区)
- ・水害対策に限度があることは、重々承知しているが、できるだけやってほしい。
(男性 70～74 歳、葛西地区)
- ・難しいと思うが、災害対策に力を入れてほしい。昨年、初めて地元の小学校に避難をしたが、その際の運営の仕方に色々感じる場所があった。例えば、避難だけして、その前後の設営や片付けに関しての関心ややり方など。そのような点について勉強会があると嬉しいと思った。自主的な勉強も必要だが、それに目を向ける雰囲気づくりというか、身近に接する機会があるとよいと思う。
(女性 40 歳代、中央地区)
- ・江戸川区は水害が発生した場合に被害が甚大になると思うので、少しでも被害を抑える努力と起こってしまった時の手厚い保護を考えてほしい。(男性 50 歳代、中央地区)

防犯対策（安全・安心まちづくり）**【江戸川区の良さ】**

- ・地域の方が小学生の見守りをしてくれるところは、とてもよいと思う。(女性 40 歳代、中央地区)
- ・地域住民の温かさ。犯罪が少ないと思う。(男性 50 歳代、鹿骨地区)
- ・緑が多く、穏やかな町。治安もそれほど悪くない。(女性 20 歳代、中央地区)
- ・治安など街の環境はとても住みやすいと思う。(男性 40 歳代、中央地区)
- ・パトロールがかなり頻繁に行われているところ。(男性 20 歳代、葛西地区)
- ・防犯カメラの設置が多い。(女性 60～64 歳、東部地区)
- ・家族で住んでいる人が多いので、治安も良いと感じる。(女性 20 歳代、葛西地区)
- ・防犯対策を町ぐるみでされていて、安心して暮らせる。感染症対策も率先してしてくださっているので、更に推進していただきたい。(女性 50 歳代、小松川地区)

【改善してほしいこと】

- ・街灯が少なく、夜道で安心することができない。(女性 18・19 歳、葛西地区)
- ・治安が維持されてほしい。不審者情報が多い町であり、改善してもらいたい。
(女性 50 歳代、葛西地区)
- ・防犯カメラの増設などの防犯対策の強化。(男性 70～74 歳、小松川地区)

- ・駅前や公共の場で騒いだり、ケンカをしている場面をよく見るので、見回りや声かけをしてほしい。
(女性 20 歳代、中央地区)
- ・夜道が暗い部分がまだまだある。通学路や学校周辺はもう少し街灯等の増設を希望。昨今の被害は老若男女である。(女性 40 歳代、葛西地区)
- ・盗難が多く、防犯面が心配。強化してほしい。(女性 20 歳代、葛西地区)
- ・葛西臨海公園駅周辺は、夜うす暗く、少し怖い時がある。公園側の高架下は何か建設中のようだが、環七側の高架下は会社ばかりで、夜間は人気も少なく、バスも早く終わってしまうので一人歩きは怖い。(女性 50 歳代、葛西地区)

熟年者施策

【江戸川区の良さ】

- ・高齢者の対策が色々あり、住みやすく、安心して暮らせる。独居でも心配ない(カルチャー、熟年者体操等)。(女性 75 歳以上、中央地区)
- ・熟年者を対象にしたサークル活動が盛んに行われている。(男性 65~69 歳、中央地区)
- ・子育て、熟年者に優しい区だと思う。(女性 50 歳代、葛西地区)
- ・老人ホームや老人の施設もたくさんあり、お年寄り同士の交流がたくさんあり、祖父がたくさんお世話になっている。(女性 20 歳代、東部地区)
- ・福祉に力を入れ、子育てから高齢者に優しい区とされていること。緑が豊富で、公園が多いこと。
(女性 30 歳代、中央地区)

【改善してほしいこと】

- ・熟年者施策の充実、それに係る介護事業者等の教育や指導の強化。(女性 50 歳代、東部地区)
- ・子育て、熟年者施策は多少、少ないかと思うので、幅広くした方がよいと思う。
(男性 65~69 歳、小松川地区)
- ・家の電球が切れて困っている老人がいた。電球一つだけだから付け替えを電気屋さんに頼むのも心苦しいし、かといって自分で付け替えるのは高くて危ない。こんな時、生活面で気軽に助けを求められる、日常お助けマンがいるとよいと思う。(女性 50 歳代、小松川地区)
- ・特養の数を増やしてほしい。民間の老人ホームは入居に高額のコストがかかる。子育て支援と同じレベルで介護の必要な高齢者の問題に取り組んでください。家族が介護疲れで困らないようにしてほしい。大規模な商業施設は一定数必要だが、同時に地元の商店が生き残れる施策をとってほしい。地元の商店は、子供・老人の見守りの役割を果たしている。そのためにも商店街の活性化が必要。今後の区の施策に大変期待しています。(男性 50 歳代、東部地区)
- ・高齢者が多い江戸川区。特別養護老人ホームを増やしてほしい。総合病院がない。
(女性 75 歳以上、小松川地区)

保健・健康推進

【江戸川区の良さ】

- ・区の健診等が充実していること。(女性 40 歳代、中央地区)
- ・健康、保健について充実していると思う。夫は 2 回、私は 3 回のがんをがん検診で見つけていただき、早期発見のため完治している。(女性 75 歳以上、小岩地区)
- ・新型コロナウイルス感染症対策等、前向きに区として取り組んでいるところ。
(男性 70～74 歳、葛西地区)
- ・コロナ禍にあって、PCR センター・軽症者用宿泊施設の設置やクラスターの発生した場所の公開など、積極的な取組を行っている点が評価できる。(女性 30 歳代、東部地区)
- ・医療サービスが充実している (女性 20 歳代、東部地区)

【改善してほしいこと】

- ・江戸川区に大きい病院がないと思う。新型コロナウイルス感染症のような病気もすみやかに診てもらえるようにしてほしいです。(女性 70～74 歳、東部地区)
- ・大きな病院がない。介護の場合、自宅での看取りを希望した場合に Dr. をお願いする場合、夜中、明け方でも駆けつけてくださる Dr. がわからない。(女性 70～74 歳、東部地区)
- ・診療所が多いものの、多くの医者が区外から通勤していて、江戸川区に在住していないと聞いたことがある。また公立の総合病院がない。このため休日や夜間の医療体制が脆弱ではないかと心配している。(女性 40 歳代、葛西地区)
- ・今年は新型コロナウイルス感染に見まわれ、区、保健所とも大変だったと思うが、このようなパニック状態にも負けない区民からの電話において、漠然とした内容ではなく、区民が納得、安心できる細かな医療機関との連携を強くお願いしたいと思う。(男性 75 歳以上、中央地区)
- ・総合病院を充実してほしい。熟年者の独居が増えるので、見守りや支援など、近所付き合いのあり方など。(女性 70～74 歳、小岩地区)

中小企業振興

【江戸川区の良さ】

- ・商店街の充実。(男性 50 歳代、小岩地区)
- ・買い物する場所が多く、生活しやすい。(女性 20 歳代、中央地区)
- ・飲食店や美容院が多い。アリオがある。(女性 40 歳代、葛西地区)
- ・親しみやすく、住みやすい。近くにスーパーやクリニック等が多く、便利。
(男性 40 歳代、小岩地区)
- ・ホームセンターや 24 時間営業の店舗等、暮らしに関わるお店が揃っていて、非常に便利であること。
(男性 20 歳代、小松川地区)

【改善してほしいこと】

- ・商店街のような場所がない（賑わいを感じる所）。（男性 50 歳代、葛西地区）
- ・近くに商業施設がなく、買い物に不便（東大島）（女性 60～64 歳、小松川地区）
- ・飲食店が少ない。商業施設が少ない。娯楽が足りない。（男性 40 歳代、鹿骨地区）
- ・スーパーなど日用品のお店が遠いので、これから先、買い物をどうしようか不安。近くに店ができればよいと思っている。（女性 70～74 歳、小岩地区）
- ・商品店、スーパー等が近くになく、大変不便だと感じる。緑、公園ももっと作ってほしいと思う。
（女性 60～64 歳、小松川地区）

震災対策

【江戸川区の良さ】

- ・緑の多さや災害に対する準備などは十分だと思う。（女性 40 歳代、葛西地区）
- ・昭和 51 年から江戸川区で暮らし、仕事ができ、子育てができて、生活ができて、災害対策もできているので安心して暮らすことができている。（男性 65～69 歳、小松川地区）

【改善してほしいこと】

- ・防災行政無線の“聞こえの悪さ”に不安を感じている。気象条件によっては、内容が全くわからない時もある。肝心な時に聞き取れないのでは意味がありませんので、是非改善できますようお願いする。（女性 70～74 歳、東部地区）
- ・自然災害時に陸の孤島になる可能性があることに対して具体的な対策がないこと。
（男性 50 歳代、葛西地区）
- ・地域の方と合同避難訓練を実施したい。（男性 20 歳代、葛西地区）
- ・震災対策をもっと積極的かつ目に見えるように実施してほしい。職員の顔が日常的にわかるように、もっと職場で地域活動に参加してほしい。（男性 50 歳代、中央地区）
- ・地震等、自然災害に対して、ここ近年非常に不安を感じている。だいたい避難場所は、学校、町会等になりますが、どう考えても余裕があるとは思えない。何日間かは自宅で頑張るしかないと考えている。（女性 60～64 歳、小岩地区）
- ・災害対策について。学校等、避難場所に使う場所の環境の整備（自家発電、衛生、防犯、断熱材等）。安全に避難できる建物の確保（建設）。5 区の間が区外に避難するのは、人口が多すぎて不可能。避難する途中で災害の被害に遭いそう。また 5 区以外も人口が密集しているし、河川の氾濫の恐れもある。（男性 60～64 歳、葛西地区）

再開発事業

【江戸川区の良さ】

- ・小岩駅周辺再開発のますますの推進を期待している。（男性 70～74 歳、小岩地区）
- ・再開発地域に住んでいるためか、環境は良好。（男性 75 歳以上、小松川地区）

- ・緑が多く、公園が多く、生活環境が良い。公園等の清掃、道路など清潔感がある。整備計画、再開発等、確実に実施している。(男性 70～74 歳、東部地区)

【改善してほしいこと】

- ・マンションが建って人が急激に増えて不安。(女性 50 歳代、葛西地区)
- ・都営新宿線の駅前の再開発、特に一之江駅。商業施設が少ないので、結局、車で買い物に行くことが常態化してしまっているため。(男性 50 歳代、中央地区)
- ・昔ながらの景観を損なう高い建物(マンション等)の建築はやめてほしい。かつては見上げれば空が見えたが、今ではマンションが目に入ってくる。息苦しさを感ずる。(男性 50 歳代、中央地区)
- ・小岩駅周辺の再開発事業を推進してほしい。(女性 20 歳代、小岩地区)

学校教育

【江戸川区の良さ】

- ・区立幼稚園、区立小学校での学校教育は、よかったと思う。(男性 60～64 歳、中央地区)
- ・他の区に比べて、福祉と学校教育に優れている点。(女性 40 歳代、小岩地区)
- ・区の小学校内ですすくスクールがあるため、別の学童にいかなくても、そこで安心して過ごせる点ではすごく素晴らしいと思った。(女性 20 歳代、鹿骨地区)

【改善してほしいこと】

- ・学校を少人数クラスにしてほしい。(女性 40 歳代、鹿骨地区)
- ・行政のデジタル化を推進し、諸手続きがインターネットでできるようになってほしい。学校教育に ICT を積極的に取り入れ、児童・生徒の学力向上を図ってほしい。(男性 70～74 歳、小岩地区)
- ・質の高い教育を受けることができるようになってほしい。他の都市部の区と比べ低い。私立校と比べ、同レベルの教育を公立校でも受けることができるようにしてほしい。(女性 30 歳代、中央地区)
- ・小・中学校に知的に問題はないが、発達障害などで普通学級にいるのが難しい子どものために情緒級を作してほしい。普通級か支援級(知的)しか選択がなく辛い思いをしている子どもがいるのを知ってほしい。(女性 30 歳代、東部地区)
- ・子どものために学校教育をもっと進めてほしい。学力向上、スポーツと進めてほしい。
(男性 50 歳代、小岩地区)

自転車のマナー

【改善してほしいこと】

- ・自動車の運転する機会が多いが、運転中に自転車が危ないと思うことが多い。自転車のマナーの悪さが目立つ。(男性 40 歳代、東部地区)
- ・自転車の運転が酷い。特に高齢者。逆走や傘さし・スマホ運転など多すぎるので、罰則を厳しくしてほしい。(男性 20 歳代、東部地区)

- ・歩道の半分を自転車、半分を歩行者に区切っている所で、あまり守っていない人が多く、かえって混乱する時がある。(女性 50 歳代、葛西地区)
- ・自転車の危険な運転、違法駐輪等の取り締まりを強化してほしい。(女性 30 歳代、中央地区)
- ・とにかく自転車のマナーが悪すぎる。ほとんどの自転車乗りが歩道を走る。しかも罪悪感がまるでない。(男性 40 歳代、葛西地区)
- ・自転車の交通ルールを作してほしい。(女性 50 歳代、中央地区)

文化・芸術

【江戸川区の良さ】

- ・図書館や公園などの公共施設の充実。(男性 20 歳代、鹿骨地区)
- ・定期的に区の図書館を利用するが本の種類も豊富でインターネットを利用したシステムも活用されていて便利。(女性 20 歳代、鹿骨地区)
- ・四季折々に行事がある。(女性 75 歳以上、小松川地区)
- ・区内には伝統工芸がたくさんある。新型コロナウイルス感染症の影響でその工芸でマスク等を作成されていて、より深く知ることができました。(女性 60～64 歳、葛西地区)

【改善してほしいこと】

- ・図書館が駅の近くにあると嬉しい。(女性 30 歳代、中央地区)
- ・図書館の本を借りることが好きで、よく利用していたが、新型コロナウイルス感染症の流行以降、行きづらくなってしまった。全ての図書館に本の消毒機を設置してもらえたら、大変ありがたい。
(女性 40 歳代、葛西地区)
- ・熟年者としての楽しみの一つは、文化・芸術（特に演劇、音楽クラシック）だが、身体の状況から都心に出掛けられなくなってきているので、是非区内でも多く、観、聴できるよう支援して頂きたいと思う。(女性 75 歳以上、鹿骨地区)
- ・国際交流、文化・芸術を積極的に。(男性 50 歳代、鹿骨地区)

スポーツ振興

【江戸川区の良さ】

- ・スポーツをする場所が多いところ。(男性 18・19 歳、東部地区)
- ・区の施設で体を動かすスポーツを習うことができることがとてもよい。(女性 40 歳代、東部地区)
- ・リズム体操を取り入れてくださっていること、とても楽しく体のためによい。
(女性 75 歳以上、中央地区)

【改善してほしいこと】

- ・子供向けの料金の安いスポーツ、学力のプログラムがたくさん増えてほしい。スポーツセンターなどでのプログラムになかなか当選しづらい。(女性 40 歳代、中央地区)

- ・何年か前にプール（スポーツセンター内）を利用したが、使いづらかった。
(女性 70～74 歳、葛西地区)
- ・健康を保つために、小学校から色々なスポーツを身に付けることが大事だと思う。総合体育館やスポーツセンターをあと 2～3 個増やし、身近な場所でスポーツを楽しめたら幸せだと思う。スポーツの種類（空手、柔道等）も増やし、色々なスポーツを体験できる場になるとよい。
(女性 40 歳代、東部地区)

障害者支援

【江戸川区の良さ】

- ・町の心の温かさがとてもよいと思う。私は車イス生活ですが、とても優しい心を頂いている。
(女性 65～69 歳、東部地区)
- ・家族に知的障害があり、作業所で支援をしていただいている。障害者スポーツもプールを利用させていただき、助かっている。(女性 40 歳代、中央地区)
- ・夫婦で仲良く暮らしている。障害者支援はすごいと感じている。(女性 65～69 歳、中央地区)

【改善してほしいこと】

- ・障害者施設の少なさ。バリアフリーや障害者施設の少なさはいくつか感じた。
(男性 20 歳代、葛西地区)
- ・信号の無い横断歩道が多く、目の不自由な人が轢かれそうになったところを何度か助けたことがある。何とかしてほしい。(女性 40 歳代、葛西地区)
- ・親（私）が障害のある息子の世話ができなくなってしまったら、どうしようと常に思っている。施設やグループホームの情報を集めてはいるが、まだまだ足りていないような気がする。今後、増えていくことを願う。(女性 40 歳代、中央地区)

友好都市・国際交流

【江戸川区の良さ】

- ・外国の人が多く住んでおり、異文化交流などやりやすいのがよい。(男性 30 歳代、葛西地区)
- ・幅広い世代、人種(外国の方)が住みやすい。(女性 20 歳代、葛西地区)

【改善してほしいこと】

- ・外国人向けの施策。昨今日本へ仕事のために来る方々向けに、標識や施設利用案内などの多言語化をするべき。そうすればもっと外国人とコミュニケーションが取れ、わかりあえる機会も多くなり、トラブルが減ると思う。(男性 20 歳代、鹿骨地区)
- ・外国からの住居者が増え、活気もあるし、とてもよいとは思っているのだが、マナーが悪いように思う。
(女性 70～74 歳、小岩地区)
- ・外国人の住民にゴミ出しルールをわかりやすく伝わるようにしてほしい。(女性 50 歳代、小岩地区)

住宅対策

【改善してほしいこと】

- ・空き家をなるべく減らして、町全体を明るく、クリーンにしてほしい。(女性 50 歳代、葛西地区)
- ・区営住宅の整備。長期間住んでいる家族への公営住宅、他、特典を与えてほしい。
(男性 50 歳代、葛西地区)
- ・住宅地での日照時間が少なくなりつつある。冬場の日照は健康に関わるので、日照権は守ってほしい。(男性 75 歳以上、葛西地区)

たばこのマナー

【改善してほしいこと】

- ・歩きタバコをしている人が多いので、罰則を設けてほしい。(女性 30 歳代、中央地区)
- ・たばこの規制、歩きながらやポイ捨て、自転車中、路上全面禁煙をお願いしたい。
(男性 50 歳代、葛西地区)

観光施策

【江戸川区の良さ】

- ・自然動物園など無料であそこまで充実している施設は誇れる。(女性 30 歳代、小岩地区)

【改善してほしいこと】

- ・伝統をクローズアップした観光促進。(男性 60～64 歳、葛西地区)
- ・臨海公園以外の大きなレジャー施設で思い浮かぶものがない。改善していただきたい。
(女性 20 歳代、葛西地区)

生涯学習

【江戸川区の良さ】

- ・くすのきの生涯学習で仲間ができ、楽しく暮らしている。(女性 65～69 歳、中央地区)
- ・くすのきの活動で熟年は元気で過ごされている方が多く、素晴らしいことと思っている。
(女性 70～74 歳、葛西地区)

その他

【江戸川区ならではの良さ】

- ・江戸川区は暮らしやすいと思う。(女性 70～74 歳、小松川地区)
- ・どんな人でも住めるところ。(女性 20 歳代、東部地区)
- ・下町情緒があるところ。(女性 40 歳代、小岩地区)
- ・騒音が少なく住みやすい。(男性 70～74 歳、小岩地区)
- ・職員の対応が丁寧になり、色々な相談にのってもらいやすくなっている。
(女性 65～69 歳、東部地区)
- ・緊急事態宣言時の対応が早かった。(女性 50 歳代、小松川地区)
- ・社会人になるまでと、出産後に住んでいます。江戸川区はバランスがよいと感じる。所得の低い人には親切に感じる(今後はそれだけでは発展しない)。(女性 30 歳代、中央地区)
- ・横のつながりが強く、地域の活動に参加している方も多く、協力し合える住民同士の土壌が根付いているところが素晴らしいです。(女性 40 歳代、中央地区)
- ・今回のアンケートで江戸川区は様々な取り組みをしていることを知った。「くらしの便利帳」等、配布物にしっかり目を通そうと感じた。(女性 75 歳以上、小松川地区)

【改善してほしいこと】

- ・区役所の受付時間を通常も延長してほしい。土曜日も受付してほしい。(男性 50 歳代、中央地区)
- ・広報えどがわが各家庭のポストに入っているが、新聞の折り込みにも入っている。二重になり無駄。
(女性 65～69 歳、葛西地区)
- ・広報えどがわに募集・採用欄を充実させてほしい。(女性 40 歳代、葛西地区)
- ・区内共通商品券、近所(松島)に券を買う場所がなく、区役所の近所まで行かないとないので、販売する所を増やしてほしい。(女性 75 歳以上、中央地区)
- ・10 年暮らしているが、どこにどのような施設があるかがわからない。明確なマップをHP上に載せていただきたい。(女性 20 歳代、小松川地区)
- ・住民税が高い。(男性 20 歳代、中央地区)
- ・広報車が走っているが、何と言っているのかわかりづらく、音としか感じない。聞き取りやすくしてほしい。(男性 75 歳以上、葛西地区)
- ・区のことすべてデジタル化。区民は家からPC、スマートフォンなどから確認及び必要な申請をできることは必要です。(男性 50 歳代、葛西地区)
- ・温かさが感じられる区にしてほしい。SNS等中心の行政にしないでほしい。全てスマホに詰め込むのは嫌いな人もいる。(男性 50 歳代、葛西地区)

IV 調査票

第33回 江戸川区民世論調査

調査へのご協力をお願い

区民の皆様には、日頃から区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび、江戸川区では、「第33回 江戸川区民世論調査」を実施することといたしました。この調査は、区民の皆様が日頃から感じていることやご要望をお聞きし、今後の区政運営に役立てるために実施しているものです。

調査の実施にあたり、区内にお住まいの満18歳以上の方4,000人を無作為に選ばせていただきました。

調査の実施は江戸川区が委託している株式会社サーベイリサーチセンターが行います。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和2年11月

江戸川区長 斉藤 猛

－ ご記入にあたってのお願い －

《ご記入にあたって》

- 封筒のあて名のご本人様がお答えください。
- 回答は、あてはまる選択肢の番号に○印をつけてください。
- 例えば、「(○は3つまで)」など回答の数が指定されている質問では、指定の数以内で選んでください。
- 質問によっては、一部の方にのみ回答していただく場合があります。
- 「その他」を選んだ場合は、() 内に具体的に記入してください。
- 調査結果はすべて統計的に処理しますので、個人の回答内容が公表されることは一切ありません。
- 回答は、以下のいずれかの方法で、12月4日(金)までにご回答ください。

《WEB回答》

回答期間：11月24日(火)～12月4日(金)

パソコン・スマートフォン等で、以下のサイトにアクセスしてご回答ください。スマートフォンからは、右のQRコードによりアクセスしていただけます。

<https://research.surece.co.jp/2020edogawa>

※ 上段ID、下段パスワード



《回答した調査票の郵送》

回答期間：11月13日(金)～12月4日(金)

調査票を同封の返信用封筒に入れ、郵送してください。(切手不要)

【お問い合わせ・調査受託事業者】

株式会社 サーベイリサーチセンター
〒103-0027
東京都中央区日本橋3-13-5
KDX日本橋313ビル5階
電話：0120-791-196
(受付時間 平日 10:00～17:00)

【調査主体】

江戸川区 経営企画部広報課区政案内係
東京都江戸川区中央1-4-1
電話：03-5662-6168 (直通)

【居住年数・永住意向について】

問1 あなたは、江戸川区に住んで何年になりますか。(〇は1つ) <n = 1,548>

1	1年未満	2.1%	3	6年～10年	9.0	5	21年～30年	17.2
2	1年～5年	10.3	4	11年～20年	16.9	6	31年以上	44.4

問2 あなたは、今後も江戸川区に住み続けたいと思いますか。(〇は1つ) <n = 1,548>

1	住み続けたい	46.5%	4	区外へ移るつもり	3.2
2	できれば住み続けたい	28.0	5	わからない	16.9
3	できれば区外へ移りたい	5.3	(無回答)		0.1

問3 あなたは、江戸川区に愛着や親しみを感じますか。(〇は1つ) <n = 1,548>

1	感じている	55.5%	3	あまり感じていない	9.6
2	やや感じている	32.5	4	感じていない	2.1
			(無回答)		0.3

【江戸川区の現況について】

問4 ア～ツの各項目の現況について、どの程度満足しているかお答えください。

(それぞれ〇は1つずつ)

<n = 1,548> (%)

項目	評価	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	わからない	無回答
	ア. 買い物の便		38.5	24.5	24.6	8.9	3.2	0.1
イ. 交通の便		31.0	24.7	23.1	15.5	5.0	0.1	0.6
ウ. 道路・歩道の整備		20.1	26.9	35.5	12.4	3.8	0.6	0.7
エ. 公園・水辺の整備		34.4	31.2	26.0	4.5	1.1	2.3	0.5
オ. 緑化の推進		32.4	29.6	29.9	4.5	1.2	2.0	0.5
カ. 街の景観		13.2	20.7	47.4	13.0	4.1	1.0	0.6
キ. 街のバリアフリー		6.1	15.0	46.3	19.4	6.4	5.9	0.8
ク. ごみの収集		27.6	25.2	37.3	6.3	2.5	0.7	0.4
ケ. リサイクルの推進		14.4	20.3	50.5	5.2	1.6	7.6	0.5
コ. 地域の治安・安全性		9.2	17.2	42.7	20.7	8.1	1.4	0.6
サ. 災害への備え		6.7	13.0	42.1	20.5	10.1	6.8	0.7
シ. 近所づきあい		7.9	11.8	62.7	7.1	2.8	7.2	0.4
ス. 文化施設の充実度		10.6	21.2	48.5	8.9	2.6	7.4	0.8
セ. スポーツ施設の充実度		11.2	20.6	45.0	11.0	3.0	8.7	0.5
ソ. 熟年者の生活環境		6.9	17.7	45.9	8.5	2.3	18.0	0.8
タ. 子育て環境		16.5	28.7	31.1	4.5	1.9	16.1	1.3
チ. 健康相談・健康診査		14.1	24.2	46.1	4.6	1.1	9.5	0.4
ツ. 病院・診療所の充実度		13.4	27.3	41.8	11.4	3.6	2.5	0.1

問5 あなたは、江戸川区の現況を総合的にみた場合、どの程度満足していますか。(〇は1つ)

<n = 1,548>

1 満足	15.6%	4 やや不満	9.2
2 やや満足	41.9	5 不満	0.6
3 ふつう	30.6	(無回答)	2.1

【SDGsについて】

SDGs(持続可能な開発目標)は、2015年に国連で採択された国際目標です。目標年度は2030年度。17の目標(ゴール)と169のターゲットで構成され、「誰一人取り残さない」という理念のもと、経済・社会・環境のバランスを取りながら、すべての人が平和で豊かに暮らせる世界を目指しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



江戸川区は、誰もが安心して自分らしく暮らせる共生社会の実現に向けてSDGsに積極的に取り組んでいます

問6 あなたは「SDGs」を知っていますか。(〇は1つ)

<n = 1,548>

1 知っている	23.3%	3 全く知らない	49.4
2 名前は聞いたことがあるが内容は知らない	25.1	(無回答)	2.3

問7 「SDGs」17の目標(ゴール)のうち、区が特に力を入れて取り組んでほしい目標(ゴール)をお答えください。(〇は5つまで)

<n = 1,548>

1 貧困をなくそう	37.0%	10 人や国の不平等をなくそう	23.4
2 飢餓をゼロに	12.5	11 住み続けられるまちづくりを	58.7
3 すべての人に健康と福祉を	57.3	12 つくる責任 つかう責任	12.8
4 質の高い教育をみんなに	34.0	13 気候変動に具体的な対策を	29.7
5 ジェンダー平等を実現	9.7	14 海の豊かさを守ろう	12.5
6 安全な水とトイレを世界中に	20.4	15 陸の豊かさも守ろう	7.4
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	20.0	16 平和と公正をすべての人に	23.3
8 働きがいも経済成長も	30.2	17 パートナーシップで目標を達成しよう	2.5
9 産業と技術革新の基盤をつくろう	9.9	18 わからない、あてはまるものはない	3.4
		(無回答)	2.1

【共生社会について】

問8 江戸川区は、「誰もが安心して自分らしく暮らせる共生社会」を目指しています。共生社会を目指す上で、区が特に力を入れて行うべきと思う取り組みをお答えください。(〇はいくつでも)

<n = 1,548>

1	子どもに関する取り組み	66.5%	7	不登校、ひきこもり、生活困窮などの	
2	熟年者に関する取り組み	57.8		状態にある人々に関する取り組み	47.4
3	障害者に関する取り組み	44.6	8	分からない	5.2
4	外国人に関する取り組み	25.1	9	その他()	2.1
5	女性活躍に関する取り組み	26.3		(無回答)	2.1
6	LGBT等の人々に関する取り組み	14.9			

※ 江戸川区では60歳以上の方を、円熟した人格、熟慮できる知恵、熟達した技量を持つ方として「熟年者」と呼んでいます。

【なごみの家の認知度などについて】

「なごみの家」は、子どもから熟年者まで障害の有無に関わらず、誰もが住み慣れた地域で安心して自分らしい暮らしを続けることを目指す地域共生社会の拠点です。その機能は①地域のなんでも相談、②誰でも集える交流の場、③地域のネットワークづくりの3つがあります。

問9 あなたは、「なごみの家」について知っていますか。(〇は1つ)

<n = 1,548>

1	利用したことがあり、内容をよく知っている	0.8%
2	利用したことがあるが、内容は知らない	0.4
3	利用したことはないが、内容はよく知っている	1.6
4	利用したことはないが、だいたいの内容は知っている	8.6
5	利用したことはないが、名前は知っている(内容は知らない)	37.6
6	まったく知らない (無回答)	49.6 1.4

問10 あなたは、「なごみの家」などで進めている下記の「地域の支えあい活動」に参加したいと思いませんか。(〇はいくつでも)

<n = 1,548>

1	会食やサロンなど、地域との交流の支援	9.6%
2	安否確認が必要な熟年者宅への見守りや支援	17.1
3	認知症の人・障害者やその家族の地域生活の見守りや支援	15.4
4	体操など健康維持・向上のための集いの支援	13.9
5	子育て世帯への見守りや支援	18.0
6	子ども食堂の補助等、運営の支援	17.4
7	防災訓練・災害弱者の避難補助等の支援	14.5
8	外出が困難な人への買い物支援	14.7
9	ゴミ出し、電球の取り換えなどの、ちょっとした生活支援	13.5
10	参加したいと思わない、特にな (無回答)	41.5 4.9

【災害対策について】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、緊急事態宣言発令中の約2ヶ月間、防災行政無線による外出自粛などの呼びかけを行いました。区民の皆様からは、役立ったとの声のほか、聞き取りづらいという声もいただきました。

そこで、防災行政無線放送の聞こえ方について伺います。

問11-1 防災行政無線を聞いた場所を可能な範囲で教えてください。

町名（ （例）中央、宇喜田町	（ ）丁目	（ ）番（地）
-------------------	----------	------------

問11-2 防災行政無線の聞こえ方を教えてください。

（自宅など同じ場所で、異なる状況で聞いていた場合は、それぞれについて〇は1つ）

<n=1,548> (%)

	よく聞こえた	まあ聞こえた	あまり聞こえなかった	まったく聞こえなかった	無回答
a 屋外	37.1	29.0	15.2	3.8	14.9
b 屋内 （窓を開けていた）	23.5	32.4	26.4	5.5	12.2
c 屋内 （窓を閉めていた）	10.5	24.5	38.9	16.0	10.0

問11-3 <問11-2で「あまり聞こえなかった」「まったく聞こえなかった」とお答えの方に>

聞こえなかった理由は何ですか。（〇は1つ）

<n=912> (%)

1 周囲の騒音が大きい	10.0%	3 放送内容が分かりづらい	23.1
2 放送音が反響している	63.2	（無回答）	3.7

問12 あなたは区からの防災情報をどのように取得しますか。（〇はいくつでも） <n=1,548>

1 防災行政無線	42.1%	8 FMえどがわ	2.9
2 区公式ホームページ	30.0	9 テレビ・ラジオなどの報道情報	25.0
3 区公式ツイッター	9.1	（J:COM、FMえどがわを除く）	
4 区公式フェイスブック	1.7	10 インターネット	24.0
5 えどがわメールニュース	8.7	（区公式ホームページを除く）	
6 区気象情報システム	3.5	11 その他（ ）	2.8
7 J:COM江戸川チャンネル緊急放送	5.1	12 特になし	11.6
		（無回答）	3.9

近年、地球温暖化による気候変動の影響により、想定を上回る巨大台風や集中豪雨による被害が全国各地で頻発しています。

低地帯に位置する江戸川区では、洪水や高潮などにより堤防が決壊するような大規模水害が発生すると浸水域が広範囲にわたります。浸水域内に留まった場合、ライフラインが途絶した劣悪な環境に2週間以上取り残される可能性があります。



早期に区外の浸水しない地域等へ広域避難することが最も安全な対応であるため、江戸川区を含む江東5区では次のような情報を発表し、広域避難を呼びかけます。

- 氾濫発生 の 72 時間前 (3 日前) 共同検討開始・・・【逃げる準備】
- // 48 時間前 (2 日前) 自主的広域避難情報・・・【区外の安全な場所に逃げる】
- // 24 時間前 (1 日前) 広域避難勧告・・・【直ちに区外へ退去】
- // 9 時間前 域内垂直避難指示(緊急)・・・【浸水しない頑丈な高い建物へ避難】

問13-1 大規模水害時、あなたは江戸川区外の浸水しない地域へ広域避難できますか。(○は1つ)

<n = 1,548>

1	48時間以上前に広域避難できると思う	12.2%
2	24時間前なら広域避難できると思う	28.2
3	直前まで判断できないと思う	25.5
4	大規模水害発生前の広域避難はできないと思う	8.9
5	広域避難できるかわからない (無回答)	21.4 3.7

} →問13-4(1)、(2)へ

問13-2 問13-1で「1」または「2」と答えた方におたずねします。

大規模水害時に広域避難する場合、あなたは江戸川区外のどこへ避難しますか。(○は1つ)

<n = 626>

1	親戚、友人・知人宅、別宅	53.4%	4	避難先として行政から指定された施設	24.0
2	民間施設(ホテル、旅館など)	13.7	5	その他()	2.4
3	勤務先や在学先(学校)関連施設	4.2		(無回答)	2.4

問13-3 問13-2で選択された広域避難先について、あなたはどのような手段で避難しますか。

(○は2つまで) <n = 626>

1	徒歩	27.6%	4	自動車	45.2	7	タクシー	6.1
2	自転車	16.6	5	鉄道	42.3	8	その他()	0.5
3	バイク	1.4	6	バス	6.9		(無回答)	3.2

問13-4 問13-1で「4」または「5」と答えた方におたずねします。

(1) 大規模水害時に広域避難しない場合、あなたは江戸川区内のどこへ避難しますか（〇は1つ）

<n = 469>

1	民間施設（マンションなど高層建物）	16.8%	4	その他（		2.1
2	勤務先や在学先（学校）、関連施設	3.6	5	避難しないで自宅にとどまる		41.8
3	公共施設（小・中学校、区民館など）	33.0		（無回答）		2.6

(2) 大規模水害時に広域避難しない理由について、あなたはどのようにお考えですか。

理由ごとにお答えください。（それぞれ〇は1つずつ）

<n = 469> (%)

広域避難しない理由	あてはまる	どちらとも いえない	あてはま らない	無回答
1 仕事や学校がある	23.7	15.4	50.7	10.2
2 家や家財から長く離れることが心配	21.5	27.3	40.3	10.9
3 広域避難する先の当てがない	65.9	15.1	10.2	8.7
4 遠くまでの避難が困難な家族がいる	24.7	14.5	51.4	9.4
5 ペットなどを飼っている	19.2	2.8	67.4	10.7
6 自宅が一番安全だと思う	29.2	33.3	28.6	9.0
7 近隣の高層建物等へ避難すれば十分	23.0	36.7	30.5	9.8

問14 あなたは地震が起こったときのために、日頃から備えをしていますか。

項目ごとにお答えください。（それぞれ〇は1つずつ）

<n = 1,548> (%)

項目	はい	いいえ	無回答
《家庭での備え》			
1 家具の固定や、配置に工夫をしている	55.5	42.1	2.5
2 窓や食器棚のガラス面に飛散防止フィルムを貼っている	12.9	83.7	3.5
3 食器棚のものが飛び出さないように、留め金具などを付けている	26.4	70.3	3.4
《地域の中での備え》			
4 町会・自治会などが実施する防災訓練に参加したことがある	21.4	75.8	2.8
5 近所の安全な場所や危険な場所の確認・点検をしたことがある	35.3	62.0	2.6
《自分自身の備え》			
6 消火器の使い方を知っている	72.2	25.6	2.3
7 家庭で避難場所や連絡方法を確認している	50.4	46.6	3.0
8 職場や学校などから徒歩で帰宅するルートを確認している	56.4	37.9	5.7
9 災害用伝言ダイヤル「171」を知っている	53.5	43.5	3.0
10 災害情報をFMえどがわ（84.3MHz）で確認できることを知っている	15.0	81.8	3.2
11 区ホームページから常に情報を取得している	16.9	79.7	3.4
12 区公式SNS（Twitter等）をフォローしている	10.0	86.7	3.3

【省エネ・省資源を意識した行動について】

江戸川区は平成20年2月に「エコタウンえどがわ推進計画」を策定しました。この計画をもとに区は、えどがわエコセンターと協力して省エネルギーの取り組みである「もったいない運動」などを推進しています。この「もったいない運動」では、地球温暖化防止のため、省エネ・省資源を意識した行動やごみ減量・リサイクルなどを呼びかけています。

問15 あなたは次の1～19の行動をしていますか。項目ごとにお答えください。(それぞれ○は1つつ)

<n = 1,548> (%)

項目	はい	いいえ	無回答
1 部屋の照明や冷暖房などは、省エネに配慮したスイッチの入切をしている	82.5	16.2	1.3
2 夏は28℃、冬は20℃を冷暖房温度の目安としている	51.6	47.0	1.5
3 冷蔵庫にもものを詰め込みすぎないようにしている	67.6	30.3	2.1
4 家電製品を購入するときには、省エネルギー製品を購入するようにしている	75.2	23.3	1.6
5 自動車の利用を極力ひかえ、バスなどの公共交通や自転車などを利用するようにしている	67.4	31.0	1.6
6 区内で水素バスが運行していることを知っている	60.6	38.0	1.4
7 区内に水素ステーションがあることを知っている	21.4	77.0	1.6
8 買い物の際にはレジ袋削減のため買い物袋(マイバッグ)を持参している	89.7	8.9	1.4
9 生ごみの水切りを行っている	87.5	11.2	1.4
10 修理できるものは修理して使うようにしている	81.1	17.2	1.6
11 割り箸やペットボトルなどの使い捨て商品は使わないようにしている	32.3	66.3	1.4
12 食品ロスという言葉もしくは取り組みを知っている	87.9	10.7	1.4
13 食品を無駄にしないための何らかの取り組みをしている	72.0	26.3	1.7
14 リサイクルショップを利用している	32.2	66.2	1.6
15 不用品の無償譲渡の情報登録制度「リサイクルバンク」を知っている	16.0	82.6	1.5
16 古紙などの資源は、町会・自治会などで行う集団回収に出すようにしている	66.7	32.1	1.2
17 どのような紙が「雑がみ」としてリサイクルできるか知っている	44.4	53.9	1.7
18 マイクロプラスチック問題という言葉もしくは取り組みを知っている	54.8	43.5	1.7
19 上記1～18のほかに、省エネ・省資源やごみ減量・リサイクルなどにつながる環境に配慮した取り組みを行っている 具体的に：()	15.4	77.1	7.5

【葛西海浜公園について】

平成30年10月に、葛西海浜公園がラムサール条約湿地に登録されました。東京駅から15分という都心に近いこの葛西海浜公園の貴重な環境の保全と活用を江戸川区は東京都とともに進めていきます。

問16 あなたは、葛西海浜公園がラムサール条約湿地に登録されたことを知っていますか。(〇は1つ)

<n = 1,548>

1 知っている	28.6%	2 知らない	70.9
		(無回答)	0.5

問17 あなたは、葛西海浜公園に行ったことがありますか。(〇は1つ)

<n = 1,548>

1 ある	86.2%	3 行ったことはないが、行ってみたい	5.7
2 ない	7.5	(無回答)	0.6

問18 あなたは、葛西海浜公園で開催される野鳥など生きもの観察会や清掃活動などのイベントに参加したことがありますか。(〇は1つ)

<n = 1,548>

1 ある	3.7%	3 参加したことはないが、参加してみたい	13.9
2 ない	81.8	(無回答)	0.5

【図書館の利用について】

問19 あなたが、江戸川区立図書館のサービスで利用している、または利用してみたいものをお答えください。(〇はいくつでも)

<n = 1,548>

1 本・雑誌などの貸出し	61.2%	7 趣味や健康講座	15.2
2 閲覧(図書館内での利用)	39.5	8 調べものの相談窓口(レファレンス)	5.6
3 おはなし会(絵本の読み聞かせ)	8.1	9 その他()	1.4
4 映画の上映会	16.0	10 特になし	22.6
5 コンサート(ジャズ、クラシックなど)	17.1	(無回答)	1.9
6 落語、古典芸能鑑賞会	10.9		

問20 区立図書館にある本や雑誌などで借りたいと思うものはどれですか(〇はいくつでも)

<n = 1,548>

1 小説・文学の本	48.4%	7 点字図書・大活字本	1.1
2 絵本・児童書	19.4	8 雑誌(スポーツ・趣味・育児など)	21.2
3 参考図書	26.5	9 CD	17.7
(調査や研究のために必要な図書)		10 DVD	21.1
4 旅行ガイドブック	26.9	11 その他()	6.7
5 育児・料理・手芸の本	24.6	*ビジネス書、外国語の本など具体的に。	
6 スポーツ・趣味の本	27.3	(無回答)	8.9

問21-1 あなたは、区立図書館をどのくらいの頻度で利用していますか。

一番近いものをお答えください。(○は1つ)

<n = 1,548>

1	1週間に数回程度	2.0%	5	過去に利用したが現在は利用していない	36.1
2	1か月に数回程度	11.4	6	利用したことは無い	23.2
3	年に数回	19.6		(無回答)	1.7
4	年1回程度	5.9			

問21-2 問21-1で「5」または「6」と答えた方におたずねします。

あなたが、区立図書館を利用していないのは、どのような理由からですか。(○はいくつでも)

<n = 918>

1	近くにないから	30.8%	5	図書館へ行って、本・雑誌を借りたり、返したりすることが面倒だから	44.1
2	利用の仕方がわからないから	6.1	6	本や雑誌は買って読むものだと思うから	15.1
3	図書館に利用したい本や雑誌があるかがわからないから	11.0	7	楽しめるイベントや催し物がないから	3.6
4	雰囲気が好きではないから	2.1	8	その他()	20.8
				(無回答)	1.7

【地域活動への参加意向について】

江戸川区では、町会・自治会等の地域力を活かして「安全・安心パトロール」や「地域まつり」、「区民運動会」などの地域活動が活発に行われています。

問22-1 あなたは、地域活動をしたと思いますか。(○は1つ)

<n = 1,548>

1	現在、参加している	8.2%
2	ぜひ参加したい	2.3
3	きっかけや条件が整えば、参加してみたい	16.0
4	参加してみたいが、できない(仕事や健康上の理由など)	22.7
5	関心がない、参加したくない	22.0
6	わからない、どちらともいえない(無回答)	27.3
		1.5

問22-2 問22-1で「3」と答えた方におたずねします。

あなたが地域活動をするためには、何が必要ですか。(○は2つまで)

<n = 248>

1	活動の情報	56.5%	5	区からの呼びかけ	14.9
2	活動の学習や体験の場	21.0	6	その他()	3.2
3	友人・知人からの呼びかけ	32.3		(無回答)	0.4
4	町会・自治会など地域団体からの呼びかけ	31.9			

問23 あなたは、どのような地域活動をしたと思いますか。(○はいくつでも)

<n = 1,548>

1	子どもの学びや遊びをサポートする活動	21.2%
2	環境・自然・みどりなどを守り育てる活動	25.8
3	行事やイベント活動	18.8
4	外国人との交流に関する活動	12.7
5	文化・スポーツへの指導・協力活動	11.5
6	高齢者をサポートする活動	12.0
7	子育て世代を支援する活動	13.7
8	災害発生時の支援活動	12.4
9	道路・公園の清掃などの活動	12.7
10	障害者をサポートする活動	6.5
11	その他()	1.6
12	特にない(無回答)	31.3
		3.4

【問題のある商法の提示・悪質業者からの勧誘について】

消費者センターは、消費生活相談、消費者教育や消費生活情報の提供などを行っています。
令和元年度には、4,885 件の消費生活相談を受け付けています。

問24 あなたは、この一年間に問題のある商法の提示や悪質業者から勧誘を受けた経験はありますか。
(○はいくつでも) <n = 1, 548>

1 架空請求・不当請求	10.3%	7 マルチ商法	1.0
2 振り込め詐欺・オレオレ詐欺	4.8	8 送りつけ商法	0.7
3 通信販売（インターネット・テレビ・広告等）	4.0	9 ヤミ金融の融資	0.5
4 訪問販売・訪問買い取りでの勧誘	6.9	10 その他（ ）	2.5
5 電話・メールでのしつこい勧誘	22.5	11 提示や勧誘を受けたことはない	56.7
6 利殖商法	0.7	(無回答)	4.8

【睡眠について】

睡眠には、心身の疲労を回復する働きがあり、睡眠時間の不足や、睡眠の質が悪化すると健康上の問題や日常生活に支障が生じます。

問25 この1か月間、あなたの1日の平均睡眠時間はどのくらいでしたか。(○は1つ) <n = 1, 548>

1 5時間未満	10.8%	5 8時間以上9時間未満	3.6
2 5時間以上6時間未満	29.7	6 9時間以上	0.9
3 6時間以上7時間未満	33.9	(無回答)	1.2
4 7時間以上8時間未満	20.0		

問26 この1か月間、あなたは睡眠で休養が充分とれていると感じますか。(○は1つ) <n = 1, 548>

1 充分とれている	16.7%	4 まったくとれていない	3.2
2 まあまあとれている	51.0	(無回答)	1.2
3 あまりとれていない	28.0		

問27 あなたは睡眠に関する悩みがありますか。(○はいくつでも) <n = 1, 548>

1 睡眠の時間が足りない	20.1%
2 日中眠気を感じる	26.3
3 夜中に何度も目が覚める	25.2
4 寝つきが悪い、眠りにつくまで時間がかかる	18.4
5 朝すっきりと起きられない	23.1
6 早朝に目が覚める	18.1
7 いびき、歯ぎしり、無呼吸などの症状がある	17.0
8 その他（ ）	2.4
9 特にない	22.4
(無回答)	1.6

【自殺予防・対策について】

問28 あなたは、これまでに自殺予防におけるゲートキーパー（いのち見守り隊）という言葉を知ったことがありますか。(〇は1つ) <n = 1,548>

1	聞いたことがあります、役割も知っている	7.2%	3	初めて聞いた	66.9
2	聞いたことはあったが、役割はわからない	24.7		(無回答)	1.2

問29 あなたは、下記の江戸川区の自殺対策の取り組みを見聞きしたことがありますか。(〇はいくつでも) <n = 1,548>

1	「自殺防止えどがわキャンペーン」(3月・9月に実施)	9.4%
2	図書館でのパネルやリーフレット・関連図書の展示	5.6
3	さまざまな相談先が載っている配布物(ハンカチ型リーフレット等)	6.5
4	ゲートキーパー(いのち見守り隊)養成講座	1.3
5	さまざまな専門家による総合相談会	1.9
6	こころの体温計(モバイル版ストレスセルフチェック)	1.1
7	見聞きしたことはない	77.6
	(無回答)	3.0

問30 江戸川区の自殺者をなくすために、あなたはどのような自殺対策が必要だと思いますか。(〇はいくつでも) <n = 1,548>

1	様々な悩みに対応した相談窓口	62.7%
2	見守り・支えあいができる地域づくり	36.2
3	ゲートキーパー(気づき・声かけ・つなぐ)の役割を担える人材の育成	29.0
4	学校での教育	43.6
5	職場におけるメンタルヘルス対策	42.6
6	自殺未遂者ケア	21.3
7	自死遺族ケア	15.7
8	危険な場所の安全対策	17.6
9	インターネットを活用した情報提供や相談	23.8
10	自殺対策のPR	12.6
11	その他()	3.7
	(無回答)	3.5

【今後の公園の役割と区民参加について】

「ゆたかな心 地にみどり」を合言葉に区民の皆さんと力を合わせて緑化運動を開始してから、今年(令和2年)で50年になります。

区内の公園は488か所あり、広さは23区で1番となっています。これからも区民のみなさんから愛される、安らぎと潤いのある親しまれる公園の充実に取り組んでいきます。

問31 あなたが、今後の公園に特に求める役割は何ですか。(〇は3つまで) <n = 1,548>

1	子どもたちの外遊びの場	62.3%
2	子育てで活用・交流する場	21.3
3	熟年者が活用・交流する場	19.6
4	スポーツや健康づくりの場	23.1
5	散歩や休養する場	55.4
6	賑わいあるオシャレな場	7.9
7	花壇づくりなど、みどりと触れ合う場	23.8
8	生きもの観察など、生きものと触れ合う場	16.7
9	地域での催しなど、地域交流の場	11.8
10	お祭りやイベントなど、賑わいづくりの場	16.3
11	その他()	2.2
12	公園は必要ない	0.3
	(無回答)	1.7

問32 あなたが、今後の公園に特に必要だと思う施設は何ですか。(〇は3つまで) <n = 1,548>

1	自由に遊べる広場	42.1%
2	幼児向け遊具	11.6
3	児童向け遊具	13.9
4	水遊びできる施設(じゃぶじゃぶ池など)	10.3
5	健康づくりできる器具	17.9
6	ボール遊びできる場所	23.3
7	休憩できる施設(ベンチ、四阿(あずまや)など)	35.0
8	ビオトープなどの自然地	9.5
9	花壇などの景観施設	20.9
10	カフェ・レストランなどの飲食施設	20.8
11	コンビニエンスストアなどの物販施設	6.5
12	防災施設(かまどベンチ、マンホールトイレ、防災井戸など)	29.1
13	手洗所	22.6
14	その他()	2.7
	(無回答)	1.0

江戸川区は、公園を近隣住民の皆さんが様々な活動、活躍をしていただける場にしていきたいと考えています。

問33 あなたが参加したい活動や、興味がある活動を教えてください。(〇はいくつでも)

<n = 1,548>

1	花壇づくりや花壇の世話	16.0%
2	子どもたちの見守り	17.4
3	清掃活動	15.7
4	カキやリンゴなど、実のなる木の手入れ	8.9
5	桜などの樹木を守り育てる活動	11.7
6	名所となる公園や庭園でのガイド	4.8
7	生き物観察や保全	13.5
8	その他()	1.3
9	参加してみたいが、できない(仕事や健康上の理由など)	26.6
10	関心がない(参加したくない)	22.9
	(無回答)	2.4

【広報と情報化について】

問34 あなたは、江戸川区からの情報全般をどのような手段(媒体)で入手していますか。

(〇はいくつでも) <n = 1,548>

1	広報誌(広報えどがわ)	54.7%	12	J:COM江戸川	8.5
2	くらしの便利帳	31.0	13	東京MXテレビ	3.4
3	区公式ホームページ	34.9	14	FMえどがわ	3.4
4	区公式ツイッター	9.4	15	区の広報板(ポスター)	13.8
5	区公式フェイスブックページ	1.6	16	町会・自治会回覧などの資料	24.2
6	区公式インスタグラム	0.5	17	チラシ・パンフレット	9.3
7	区公式総合アプリ	1.0	18	新聞・雑誌	9.9
8	えどがわメールニュース	6.8	19	コミュニティペーパー	5.0
9	広報ビデオ(えどがわ区民ニュース)	3.0	20	友人・知人に聞く	16.1
10	公式YouTubeチャンネル (インターネット動画)	0.9	21	その他()	1.2
11	スマートニュース (江戸川区チャンネル)	2.6	22	特になし (無回答)	10.4 0.6

問35 あなたは、インターネットを利用していますか。利用するときは何を使いますか。
(〇はいくつでも) <n = 1,548>

インターネットを利用している方		インターネットを利用していない方	
1 スマートフォン・タブレット	76.3%	5 今後は利用したい	5.0
2 フィーチャーフォン(携帯電話)	3.7	6 今後も利用しない	11.4
3 パソコン	48.6	(無回答)	1.3
4 その他()	0.3		

問36 「くらしの便利帳」は、日常生活に関わりの深い区サービスを紹介しています。
どのように配布することが適切だと思いますか。(〇は1つ) <n = 1,548>

1 全戸に配布	49.2%	3 転入者に配布	7.0
2 希望者のみに配布	30.8	4 ホームページ等で見るので、配布は不要	11.6
		(無回答)	1.4

問37 「くらしの便利帳」は、2年に1回発行しています。あなたは、発行期間はどのくらいが適切だと思いますか。(〇は1つ) <n = 1,548>

1 2年に1回	73.8%	3 それ以上の期間	3.6
2 3年に1回	9.1	4 配布は不要	12.4
		(無回答)	1.1

【江戸川区職員の接遇について】

問38 あなたは、江戸川区職員の接遇について、どの程度満足していますか。(〇は1つ) <n = 1,548>

1 満足	15.8%	4 やや不満	4.7
2 やや満足	15.3	5 不満	2.6
3 ふつう	40.6	6 わからない	20.6
		(無回答)	0.4

【区政への要望について】

問39 あなたは、江戸川区は今後どのような施策を推進していけばよいと思いますか。(〇は3つまで)

<n = 1,548>

1	都市基盤整備（道路など）	15.1%	13	青少年健全育成	3.0
2	再開発事業	6.1	14	生涯学習	4.4
3	交通網整備	15.6	15	文化・芸術	3.5
4	住宅対策	6.5	16	スポーツ振興	4.6
5	震災対策	36.4	17	保健・健康推進（感染症対策含む）	14.0
6	水害対策	55.6	18	中小企業振興	3.6
7	防犯対策（安全・安心まちづくり）	32.0	19	観光施策	2.5
8	環境保全・リサイクル	4.3	20	友好都市・国際交流	1.6
9	熟年者施策	13.0	21	平和・人権・男女共同参画	2.1
10	障害者支援	6.5	22	その他（ ）	1.0
11	子育て支援	19.2	23	わからない	3.1
12	学校教育	11.6		（無回答）	2.5

問40 あなたが、江戸川区で暮らしているなかで、江戸川区の「良さ」または「改善してほしい」と感じるのは、どのようなことですか。子育て支援、熟年者施策、生活環境、産業振興、災害対策、まちづくりなど、どのような分野でもかまいません。できるだけ具体的にお書きください。

「良さ」

「改善してほしい点」

最後に、お答えいただいたことを統計的に処理するため、あなたご自身やご家族について、お知らせください。

F 1 あなたの性別をお知らせください。 <n = 1,548>

1 男性	43.5%	2 女性	55.2	3 その他	0.3	(無回答)	1.1
------	-------	------	------	-------	-----	-------	-----

F 2 あなたの年齢をお知らせください。 <n = 1,548>

1 18・19歳	1.2%	4 40～49歳	21.0	7 65～69歳	7.8
2 20～29歳	9.0	5 50～59歳	18.7	8 70～74歳	11.1
3 30～39歳	13.0	6 60～64歳	7.9	9 75歳以上	9.2
				(無回答)	1.1

F 3 あなたのご職業をお知らせください。(〇は1つ) <n = 1,548>

1 自営業者	8.1%	4 勤め(パートタイム)	16.5	7 無職	15.2
2 家族従業(家事手伝い)	0.9	5 家事専業	12.5	8 その他()	3.0
3 勤め(フルタイム)	39.5	6 学生	2.8	(無回答)	1.5

F 4 一緒に暮らしているご家族の人数(ご自身を含めて)をお知らせください。 <n = 1,548>

1 1人	13.4%	3 3人	27.3	5 5人	6.3	7 7人以上	1.1
2 2人	29.5	4 4人	19.6	6 6人	1.5	(無回答)	1.3

F 5 同居者(本人以外)をお知らせください。(あてはまる番号すべてに〇) <n = 1,321>

1 小学校入学前のお子さん	13.2%	3 16～64歳の方	76.1
2 小・中学生	18.4	4 65歳以上の方	33.4
		(無回答)	1.1

F 6 現在のあなたの住居の種類をお知らせください。(〇は1つ) <n = 1,548>

1 持ち家	62.2%	5 給与住宅(社宅・公務員住宅など)	2.3
2 都営・区営の賃貸住宅	4.1	6 住宅に間借り	0.8
3 都市再生機構・公社の賃貸住宅	3.5	7 会社等の独身寮・寄宿舎	0.4
4 民間の賃貸住宅	24.4	8 その他()	1.2
		(無回答)	1.2

F 7 あなたのお住まいの場所をお知らせください。

町 名

		丁目
--	--	----

(例

中央	1	丁目
----	---	----

)

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

令和3年3月発行

第33回江戸川区民世論調査

編集・発行 / 江戸川区経営企画部広報課

東京都江戸川区中央1丁目4番1号

電話 03(5662)6168〔直通〕

集計・分析 / 株式会社 サーベイリサーチセンター

東京都中央区日本橋3丁目13番5号

KDX日本橋ビル5階

電話 03(6826)4666